



講義内容
2012

全学共通科目

外国語科目

講 義 内 容

目次案内

全学共通科目

外国語科目 … (2)

※科目の並び順は、科目名の 50 音順、担当教員氏名の 50 音順でソートされています。

※全学共通科目の宗教教育科目・教養教育科目・保健体育科目、専門教育科目、「日本語」・「日本事情」科目、随意科目、教職課程・資格講座科目は、別冊になっています。

(この冊子は平成 24 年 3 月 1 日現在の情報を元に作成しています。)

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英会話 I	ウェルズ J. K.	264201	5
英会話 I	ウェルズ J. K.	264301	6
英会話 I	ウェルズ J. K.	264401	7
英会話 I	ウェルズ J. K.	264501	8
英会話 I	ミックエリゴット, J. P.	264601	9
英会話 I	ミックエリゴット, J. P.	264701	10
英会話 I	ミックエリゴット, J. P.	264801	11
英会話 I	ミックエリゴット, J. P.	265311	12
英会話 I	レイン R. V.	265201	13
英会話 I	レイン R. V.	265301	13
英会話 I	レーン C. M.	265001	14
英会話 I	レーン C. M.	265101	15
英会話 I	ロビン G. F.	351201	16
英会話 I	ロンゴ T.	264901	16
英会話 I	ロンゴ T.	265321	17
英会話 II	西村 祐子	287401	18
英会話 II	西村 祐子	287601	19
英会話 II	ロビン G. F.	354301	20
英会話 II	ロンゴ T.	287501	21
英会話 III	ウェルズ J. K.	287701	21
英会話 III	ロンゴ T.	287801	22
英語 I A	朝川 真紀	234801	22
英語 I A	安齋 薫	239101	23
英語 I A	安齋 薫	240041	23
英語 I A	井伊 順彦	237921	24
英語 I A	飯沼 好永	238001	24
英語 I A	石原 孝哉	237501	25
英語 I A	伊勢村 定雄	233601	26
英語 I A	市川 仁	234201	27
英語 I A	井出 功一	234301	27
英語 I A	井出 功一	235001	27
英語 I A	伊藤 美代子	237931	28
英語 I A	岩永 祥恵	235101	29
英語 I A	岩屋 玉江	235301	29
英語 I A	岩屋 玉江	237401	30
英語 I A	上田 倫史	236501	31
英語 I A	上田 倫史	239601	32
英語 I A	梅原 敏弘	237601	32
英語 I A	太田 雅子	234501	33
英語 I A	太田 雅子	235201	33
英語 I A	大庭 直樹 平野 桃子	236801	34
英語 I A	大庭 直樹 相馬 美明	239301	35

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語 I A	大瀨 利春	235701	36
英語 I A	尾形 重政	240101	36
英語 I A	萩野 一成	347001	37
英語 I A	風間 則比古	234601	38
英語 I A	風間 則比古	235901	38
英語 I A	川崎 笑佳	235611	38
英語 I A	川崎 笑佳	240011	39
英語 I A	川崎 浩太郎	235401	39
英語 I A	川崎 浩太郎	237701	40
英語 I A	吉川 直澄	234701	40
英語 I A	吉川 直澄	236001	40
英語 I A	熊沢 和明	237801	41
英語 I A	熊沢 和明	238201	41
英語 I A	熊沢 和明	238801	41
英語 I A	小泉 和弘	233711	42
英語 I A	古富 猛	236301	42
英語 I A	古富 猛	237911	42
英語 I A	平野 桃子	237201	43
英語 I A	平野 桃子	237941	43
英語 I A	相馬 美明	235501	44
英語 I A	相馬 美明	236601	45
英語 I A	相馬 美明	237901	46
英語 I A	高橋 佳江	240201	46
英語 I A	塚本 利男	236101	47
英語 I A	塚本 利男	236701	47
英語 I A	勅使河原 三保子	234001	48
英語 I A	勅使河原 三保子	239801	48
英語 I A	手島 敬子	238301	49
英語 I A	照山 雄彦	347101	50
英語 I A	外池 一子	233701	51
英語 I A	永野 光一	236201	52
英語 I A	萩原 輝	238401	52
英語 I A	萩原 輝	239001	53
英語 I A	萩原 輝	347211	53
英語 I A	濱口 真木	240021	54
英語 I A	ピアス D. M.	239701	55
英語 I A	広川 治	238501	56
英語 I A	福田 一貴	234101	57
英語 I A	福田 一貴	234901	58
英語 I A	富士川 美紀	233801	59
英語 I A	本田 崇洋	347201	60
英語 I A	本間 俊一	238101	61
英語 I A	松堂 啓子	240031	62
英語 I A	真砂 久晃	235601	62
英語 I A	三木 望	239401	63
英語 I A	水崎 野里子	235621	63
英語 I A	水崎 野里子	237101	64
英語 I A	矢島 直子	239501	64
英語 I A	山口 晃	236401	64
英語 I A	吉沢 栄治郎	237001	65

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語 I A	渡辺 彰子	238901	66
英語 I A	渡部 孝治	234401	67
英語 I A	渡部 孝治	235801	67
英語 I A	梶台 七重	233901	68
英語 I A [基礎英語特別クラス]	落合 和昭	240211	69
英語 I A [基礎英語特別クラス]	佐藤 江里子	240221	70
英語 I A [基礎英語特別クラス]	ピアス D. M.	240231	71
英語 I A [基礎英語特別クラス]	渡辺 彰子	346901	72
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	飯沼 好永	291901・291902	72
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	石原 孝哉	292001・292002	73
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	伊藤 美代子	291601・291602	74
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	大淵 利春	292301・292302	75
英語 I A 英語 I B [再クラス]	杉本 誠	354601・354602	76
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	鈴木 美貴子	291701・291702	77
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	埴 美智子	292601・292602	77
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	濱口 真木	291501・291502	78
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	本間 章郎	292701・292702	79
英語 I A 英語 I B [再クラス]	水崎 野里子	354701・354702	80
英語 I A 英語 I B [再クラス]	水崎 野里子	354901・354902	80
英語 I A 英語 I C (会話) [再クラス]	吉沢 栄治郎	291801・291802	81
英語 I B	伊勢村 定雄	246201	82
英語 I B	伊勢村 定雄	246601	83
英語 I B	伊勢村 定雄	246731	84
英語 I B	伊良部 祥子	243701	85
英語 I B	伊良部 祥子	244101	86
英語 I B	伊良部 祥子	244401	87
英語 I B	上田 倫史	244601	88
英語 I B	上田 倫史	244611	89
英語 I B	尾形 重政	242201	90
英語 I B	尾形 重政	242501	91
英語 I B	尾形 重政	246401	92
英語 I B	尾形 重政	246721	92
英語 I B	尾形 重政	246901	93
英語 I B	荻野 一成	348101	94
英語 I B	亀田 三重子	244701	95
英語 I B	亀田 三重子	245501	95
英語 I B	木元 喜久子	244801	96
英語 I B	木元 喜久子	245101	96
英語 I B	木元 喜久子	245601	97
英語 I B	近藤 真彫	243401	97
英語 I B	佐藤 アヤ子	348201	98
英語 I B	白鳥 義博	240401	99
英語 I B	白鳥 義博	240601	100
英語 I B	杉村 初枝	244201	100
英語 I B	杉村 初枝	244501	101
英語 I B	杉本 誠	348301	102
英語 I B	高橋 明子	240801	103
英語 I B	高橋 明子	241501	103
英語 I B	高橋 明子	241601	103
英語 I B	高橋 佳江	240701	104

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語 I B	高橋 佳江	241301	104
英語 I B	高橋 佳江	242311	104
英語 I B	高橋 佳江	246801	105
英語 I B	塚本 利男	243201	105
英語 I B	塚本 利男	243801	106
英語 I B	塚本 利男	244621	106
英語 I B	勅使河原 三保子	241201	107
英語 I B	勅使河原 三保子	242001	107
英語 I B	照山 雄彦	243101	108
英語 I B	西村 祐子	246501	109
英語 I B	濱口 真木	240411	110
英語 I B	濱口 真木	243301	110
英語 I B	濱口 真木	243901	111
英語 I B	濱口 真木	244641	111
英語 I B	林 孝憲	348401	112
英語 I B	樋渡 俊光	241401	112
英語 I B	樋渡 俊光	242321	113
英語 I B	樋渡 俊光	242801	113
英語 I B	樋渡 俊光	244001	113
英語 I B	樋渡 俊光	244631	114
英語 I B	樋渡 俊光	246741	114
英語 I B	福田 一貴	246101	115
英語 I B	福田 一貴	246711	116
英語 I B	藤井 道行	245201	117
英語 I B	藤井 道行	245701	118
英語 I B	本間 章郎	241001	119
英語 I B	本間 章郎	241901	120
英語 I B	本間 章郎	242101	121
英語 I B	増田 恵子	241101	122
英語 I B	増田 恵子	242401	122
英語 I B	増田 恵子	242901	122
英語 I B	松堂 啓子	244301	123
英語 I B	海琳 泰子	244901	123
英語 I B	海琳 泰子	245001	124
英語 I B	海琳 泰子	245801	124
英語 I B	三芳 康義	242301	125
英語 I B	三芳 康義	242601	125
英語 I B	三芳 康義	243001	126
英語 I B	望月 千栄子	241801	126
英語 I B	望月 千栄子	242701	127
英語 I B	矢島 直子	246001	127
英語 I B	山口 晃	240901	128
英語 I B	山口 晃	241701	128
英語 I B	吉沢 栄治郎	240301	129
英語 I B	吉沢 栄治郎	240501	130
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	佐々木 隆	348001	131
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	白鳥 義博	246951	131
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	藤井 道行	246931	132
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	松堂 啓子	246921	133
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	望月 千栄子	246911	134

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語 I B [基礎英語特別クラス]	矢島 直子	246941	134
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	岩井 洋美	293201・293202	135
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	江田 幸子	293401・293402	135
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	太田 美智子	293601・293602	136
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	川崎 笑佳	294201・294202	137
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	田中 靖子	294001・294002	137
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	本間 俊一	294101・294102	138
英語 I B 英語 I C (会話) [再クラス]	矢島 直子	293901・293902	138
英語 II A	朝川 真紀	251801	139
英語 II A	安齋 薫	248201	140
英語 II A	安齋 薫	249601	140
英語 II A	安齋 薫	254401	141
英語 II A	井伊 順彦	249901	141
英語 II A	井伊 順彦	251301	142
英語 II A	石原 孝哉	349301	142
英語 II A	伊藤 美代子	249701	143
英語 II A	岩井 洋美	250121	144
英語 II A	岩永 祥恵	253001	144
英語 II A	上田 倫史	249101	145
英語 II A	梅原 敏弘	249001	145
英語 II A	太田 美智子	250011	146
英語 II A	太田 由紀子	252601	147
英語 II A	大庭 直樹 萩原 輝	251961	148
英語 II A	大庭 直樹 萩野 一成	349411	149
英語 II A	大淵 利春	248501	150
英語 II A	大淵 利春	249301	150
英語 II A	大淵 利春	252501	151
英語 II A	萩野 一成	248701	151
英語 II A	落合 和昭	349201	152
英語 II A	落合 真裕	248801	153
英語 II A	小布施 圭佐三	250301	154
英語 II A	小布施 圭佐三	251201	155
英語 II A	甲斐 捷子	254461	156
英語 II A	風間 則比古	253201	156
英語 II A	川崎 笑佳	250001	157
英語 II A	川崎 笑佳	250501	157
英語 II A	小泉 和弘	251401	158
英語 II A	古富 猛	248401	158
英語 II A	古富 猛	252701	158
英語 II A	近藤 真彫	250201	159
英語 II A	佐藤 江里子	248301	160
英語 II A	佐藤 江里子	253801	161
英語 II A	佐藤 孝一	253101	161
英語 II A	清水 雅夫	252201	162
英語 II A	平野 桃子	249501	162
英語 II A	菅原 典子	251901	163
英語 II A	菅原 典子	252301	164
英語 II A	杉本 誠	248901	165

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語Ⅱ A	鈴木 美貴子	250101	166
英語Ⅱ A	鈴木 美貴子	250901	166
英語Ⅱ A	鈴木 美貴子	251701	166
英語Ⅱ A	高見 陽子	252401	167
英語Ⅱ A	竹村 恵都子	251001	167
英語Ⅱ A	照山 雄彦	349401	168
英語Ⅱ A	外池 一子	251951	169
英語Ⅱ A	西原 克政	253301	170
英語Ⅱ A	西村 祐子	254501	171
英語Ⅱ A	塙 美智子	250401	172
英語Ⅱ A	藤井 道行	249201	173
英語Ⅱ A	富士川 美紀	251601	174
英語Ⅱ A	堀 千和子	254101	175
英語Ⅱ A	本田 崇洋	251971	176
英語Ⅱ A	松堂 啓子	249401	177
英語Ⅱ A	真砂 久晃	254301	177
英語Ⅱ A	真砂 久晃	254471	178
英語Ⅱ A	三木 望	248601	179
英語Ⅱ A	三木 望	254481	180
英語Ⅱ A	三幣 友行	251711	181
英語Ⅱ A	三幣 友行	254451	181
英語Ⅱ A	三輪 久恵	254001	182
英語Ⅱ A	山口 晃	254601	182
英語Ⅱ A	吉江 正雄	250801	183
英語Ⅱ A	吉沢 栄治郎	253701	184
英語Ⅱ A	渡辺 彰子	250511	185
英語Ⅱ A	梶台 七重	251101	186
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	国見 晃子	294601・294602	187
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	久保 ひさ子	295601・295602	188
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	竹村 恵都子	295001・295002	188
英語Ⅱ A 英語Ⅱ B [再クラス]	萩原 輝	355201・355202	188
英語Ⅱ A 英語Ⅱ B [再クラス]	林 明人	355301・355302	189
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	堀 千和子	295401・295402	189
英語Ⅱ A 英語Ⅱ B [再クラス]	本間 俊一	355401・355402	190
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	三木 望	295301・295302	191
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	吉江 正雄	295011・295012	192
英語Ⅱ A 英語Ⅱ C (会話) [再クラス]	渡辺 彰子	295501・295502	193
英語Ⅱ B	井伊 順彦	258001	193
英語Ⅱ B	飯沼 好永	257401	194
英語Ⅱ B	伊勢村 定雄	258701	195
英語Ⅱ B	市川 仁	256401	196
英語Ⅱ B	井出 功一	256301	196
英語Ⅱ B	岩永 祥恵	257551	196
英語Ⅱ B	植村 恵子	256601	197
英語Ⅱ B	植村 恵子	259301	198
英語Ⅱ B	江田 幸子	255701	199
英語Ⅱ B	太田 雅子	256701	199
英語Ⅱ B	太田 美智子	257301	200
英語Ⅱ B	太田 由紀子	254701	201

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語ⅡB	大庭 直樹 太田 由紀子	255011	203
英語ⅡB	大淵 利春	257561	204
英語ⅡB	荻野 一成	350401	205
英語ⅡB	落合 和昭	255501	206
英語ⅡB	落合 真裕	258301	207
英語ⅡB	落合 真裕	259401	208
英語ⅡB	小布施 圭佐三	257901	209
英語ⅡB	小布施 圭佐三	258601	210
英語ⅡB	小布施 圭佐三	259981	211
英語ⅡB	狩野 晃一	255601	212
英語ⅡB	狩野 晃一	257311	213
英語ⅡB	吉川 直澄	256801	213
英語ⅡB	国見 晃子	255801	214
英語ⅡB	古富 猛	256001	215
英語ⅡB	近藤 真彫	256011	215
英語ⅡB	佐々木 隆	259801	216
英語ⅡB	佐々木 隆	350501	217
英語ⅡB	佐藤 アヤ子	350511	217
英語ⅡB	佐藤 江里子	259951	218
英語ⅡB	清水 雅夫	256901	218
英語ⅡB	白鳥 義博	255001	219
英語ⅡB	鈴木 美貴子	258801	219
英語ⅡB	高見 陽子	258101	220
英語ⅡB	田中 靖子	254801	220
英語ⅡB	田中 靖子	259961	221
英語ⅡB	塚本 利男	259811	221
英語ⅡB	永野 光一	259701	222
英語ⅡB	西原 克政	257571	222
英語ⅡB	埴 美智子	256101	223
英語ⅡB	林 孝憲	350301	223
英語ⅡB	ピアス. D. M.	259501	224
英語ⅡB	本間 俊一	257501	225
英語ⅡB	町田 成男	257801	225
英語ⅡB	町田 成男	258901	226
英語ⅡB	三木 望	257201	226
英語ⅡB	水崎 野里子	256121	227
英語ⅡB	三輪 久恵	254901	227
英語ⅡB	三輪 久恵	259971	228
英語ⅡB	山口 晃	256501	228
英語ⅡB	渡辺 彰子	255901	229
英語ⅡB	渡部 孝治	258201	229
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	安齋 薫	295901・295902	230
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	木元 喜久子	296901・296902	230
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	熊沢 和明	296911・296912	231
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	平野 桃子	296301・296302	231
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	高野 秀夫	296201・296202	232
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	高野 秀夫	296501・296502	232
英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]	松堂 啓子	295801・295802	233
英語ⅡD	梅原 敏弘	260701	233

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
英語ⅡD	久保 ひさ子	261601	234
英語ⅡD	熊沢 和明	261001	234
英語ⅡD	白鳥 義博	260901	235
英語ⅡD	平野 桃子	260401	235
英語ⅡD	手島 敬子	261801	236
英語ⅡD	福田 一貴	260601	237
英語ⅡD	真砂 久晃	260501	238
英語ⅡD	吉沢 栄治郎	260801	238
英語ⅡD	依田 里花	261501	239
英語ⅡD	依田 里花	261711	240
英語ⅢA	佐藤 孝一	262301	240
英語L L I	岩井 洋美	265401	241
英語L L I	甲斐 捷子	265501	241
英語L L I	甲斐 捷子	265601	242
英語L L I	甲斐 捷子	266001	243
英語L L I	久保 ひさ子	266101	243
英語L L I	高野 秀夫	351301	244
英語L L I	外池 一子	265801	245
英語L L I	外池 一子	265901	246
英語L L I	ピアス, D. M.	266111	247
英語L L I	真砂 久晃	265701	247
英語L L II	梅原 敏弘	354401	248
英語L L II	甲斐 捷子	288701	248
英語L L II	勅使河原 三保子	288601	249
英語L L II	三木 望	288501	250
英語L L III	勅使河原 三保子	289301	251
英語L L III	西村 祐子	289401	252
英文講読	林 明人	284901	253
英文講読	福田 一貴	285101	254
英文講読	矢島 直子	285001	255
現代を読むスペイン語	齊藤 明美	286301	255
現代を読む中国語	塩旗 伸一郎	286201	256
現代を読むドイツ語	井村 行子	286001	257
現代を読むフランス語	小黑 昌文	286101	258
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	258
時事英語研究	梅原 敏弘	285801	259
時事英語研究	落合 和昭	285901	260
時事英語研究	高野 秀夫	285701	260
時事英語研究	町田 成男	285811	261
時事英語研究	矢島 直子	285911	261
スペイン語ⅠA	上野 勝広	280001	262
スペイン語ⅠA	大岩 功	353401	263
スペイン語ⅠA	齊藤 明美	280511	264
スペイン語ⅠA	佐藤 佐知	279401	265
スペイン語ⅠA	佐藤 佐知	279801	265
スペイン語ⅠA	中島 聡子	279601	266
スペイン語ⅠA	真下 祐一	280501	267
スペイン語ⅠA	ルイズティノコ, C.	279501	267
スペイン語ⅠA	ルイズティノコ, C.	279901	268

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]	石井 登	302801・302802・302803	268
スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB [再クラス]	上野 勝広	356401・356402	269
スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]	大岩 功	302601・302602・302603	270
スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]	萩野 恵	303001・303002・303003	271
スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]	齊藤 明美	302701・302702・302703	272
スペイン語ⅠA (選) スペイン語ⅠA	中島 聡子	289901・289902	273
スペイン語ⅠB	上野 勝広	281701	274
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵	280901	275
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵	281301	275
スペイン語ⅠB	佐藤 麻里乃	280701	275
スペイン語ⅠB	佐藤 麻里乃	281201	276
スペイン語ⅠB	真下 祐一	281711	276
スペイン語ⅠB	横藤田 稔泰	353601	277
スペイン語ⅠB	米田 博美	280801	277
スペイン語ⅠB	米田 博美	281101	278
スペイン語ⅠB (選) スペイン語ⅠB	齊藤 明美	290501・290502	279
スペイン語Ⅱ (選) スペイン語ⅡA	佐藤 麻里乃	291101・291102	280
スペイン語ⅡA	石井 登	282111	280
スペイン語ⅡA	大岩 功	353701	281
スペイン語ⅡA	濱田 和範	282401	282
スペイン語ⅡA	真下 祐一	282101	283
スペイン語ⅡA	真下 祐一	282301	284
スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB スペイン語ⅡC (会話) [再クラス]	石井 登	303301・303302・303303	285
スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB スペイン語ⅡC (会話) [再クラス]	大岩 功	303201・303202・303203	285
スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB [再クラス]	栗林 ゆき絵	356501・356502	286
スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB スペイン語ⅡC (会話) [再クラス]	濱田 和範	303101・303102・303103	286
スペイン語ⅡB	石井 登	282501	287
スペイン語ⅡB	齊藤 明美	282621	288
スペイン語ⅡB	濱田 和範	282611	289
スペイン語ⅡB	横藤田 稔泰	353801	289
スペイン語ⅡD スペイン語ⅡB	真下 祐一	282801・282802	290
スペイン語コミュニケーションⅠ	モラーレス, ムニョス, S.	288301	291
スペイン語コミュニケーションⅡ	モラーレス, ムニョス, S.	289101	292
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	293
中国語ⅠA	秋元 翼	272501	294
中国語ⅠA	秋元 翼	273201	295
中国語ⅠA	岩崎 皇	272701	296
中国語ⅠA	岩崎 皇	274411	296
中国語ⅠA	梅田 雅子	352601	297
中国語ⅠA	小栗山 恵	272301	298
中国語ⅠA	小栗山 恵	273001	298

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
中国語 I A	神谷 智幸	274301	299
中国語 I A	佐藤 普美子	272711	299
中国語 I A	佐藤 普美子	273311	300
中国語 I A	塩旗 伸一郎	272721	301
中国語 I A	塩旗 伸一郎	273321	302
中国語 I A	塩旗 伸一郎	274401	303
中国語 I A	曹 泰和	274101	304
中国語 I A	根岸 政子	272201	305
中国語 I A	根岸 政子	272901	306
中国語 I A	橋本 幸枝	272401	307
中国語 I A	橋本 幸枝	273101	307
中国語 I A	本間 由香利	272601	308
中国語 I A	本間 由香利	273301	308
中国語 I A	三田村 圭子	274211	309
中国語 I A	宮本 厚子	274201	310
中国語 I A 中国語 I B 中国語 I C (会話) [再クラス]	秋元 翼	300601・300602・300603	311
中国語 I A 中国語 I B 中国語 I C (会話) [再クラス]	曹 泰和	301201・301202・301203	312
中国語 I A 中国語 I B 中国語 I C (会話) [再クラス]	曹 泰和	301511・301512・301513	312
中国語 I A 中国語 I B 中国語 I C (会話) [再クラス]	張 涓涛	301301・301302・301303	313
中国語 I A 中国語 I B 中国語 I C (会話) [再クラス]	弘兼 加奈子	301501・301502・301503	314
中国語 I A 中国語 I B 中国語 I C (会話) [再クラス]	蘭 明	301401・301402・301403	314
中国語 I A 中国語 I B [再クラス]	蘭 明	356001・356002	315
中国語 I A (選) 中国語 I A	岩崎 皇	289801・289802	315
中国語 I A (選) 中国語 I A	宮本 厚子	289811・289812	316
中国語 I B	岩崎 皇	276811	317
中国語 I B	王 聡	352801	317
中国語 I B	小栗山 恵	274701	318
中国語 I B	小栗山 恵	275401	318
中国語 I B	神谷 智幸	274601	319
中国語 I B	神谷 智幸	275301	320
中国語 I B	佐藤 普美子	275111	320
中国語 I B	佐藤 普美子	275711	321
中国語 I B	塩旗 伸一郎	275121	322
中国語 I B	塩旗 伸一郎	275721	323
中国語 I B	下出 宣子	274901	324
中国語 I B	下出 宣子	275601	325
中国語 I B	曹 泰和	275101	326
中国語 I B	陳 洲拳	276801	326
中国語 I B	徳間 佳信	275001	327
中国語 I B	徳間 佳信	275701	327
中国語 I B	徳間 佳信	276701	328
中国語 I B	三田村 圭子	276501	328
中国語 I B	宮本 厚子	276601	329
中国語 I B	柳 幹康	274801	330

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
中国語 I B	柳 幹康	275501	330
中国語 I B	李 雲	276611	331
中国語 I B (選) 中国語 I B	蘭 明	290401・290402	332
中国語 II (選) 中国語 II A	三田村 圭子	291001・291002	333
中国語 II A	秋元 翼	277601	334
中国語 II A	天野 祐子	277521	335
中国語 II A	上原 かおり	277201	336
中国語 II A	上原 かおり	277811	337
中国語 II A	梅田 雅子	277301	338
中国語 II A	梅田 雅子	353001	340
中国語 II A	大久保 明男	277821	341
中国語 II A	佐藤 普美子	277701	342
中国語 II A	弘兼 加奈子	277501	342
中国語 II A	宮本 厚子	277401	343
中国語 II A	李 雲	277511	344
中国語 II A	李 雲	277801	344
中国語 II A 中国語 II B 中国語 II C (会話) [再クラス]	小栗山 恵	301901・301902・ 301903	344
中国語 II A 中国語 II B [再クラス]	弘兼 加奈子	356201・356202	345
中国語 II A 中国語 II B 中国語 II C (会話) [再クラス]	本間 由香利	301801・301802・ 301803	346
中国語 II A 中国語 II B 中国語 II C (会話) [再クラス]	李 雲	302001・302002・ 302003	346
中国語 II B	秋元 翼	278401	347
中国語 II B	岩崎 皇	278121	348
中国語 II B	岩崎 皇	278521	348
中国語 II B	上原 かおり	278001	349
中国語 II B	上原 かおり	278301	350
中国語 II B	梅田 雅子	278101	351
中国語 II B	王 聡	353111	352
中国語 II B	大久保 明男	278531	352
中国語 II B	弘兼 加奈子	278111	353
中国語 II B	本間 由香利	278511	354
中国語 II B	李 雲	278501	354
中国語 II D 中国語 II B	塩旗 伸一郎	278911・278912	355
中国語 II D 中国語 II B	曹 泰和	278901・278902	356
中国語 II D 中国語 II B	宮本 厚子	278801・278802	357
中国語 III A	岩崎 皇	279101	358
中国語コミュニケーション I	小川 隆	288201	358
中国語コミュニケーション II	陳 洲拳	289001	359
中国語スキルアップ	張 渭涛	287101	360
朝鮮語 I A (選)	宋 美玲	290101	361
朝鮮語 I A (選)	宋 美玲	290111	362
朝鮮語 I B (選)	白 寅英	290701	363
朝鮮語 I B (選)	白 寅英	290711	364
朝鮮語 II (選)	宋 美玲	291211	365
ドイツ語 I A	志真 斗美恵	266901	366
ドイツ語 I A	清水 修	351401	367
ドイツ語 I A	杉本 正俊	266701	368
ドイツ語 I A	武田 利勝	266301	368

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
ドイツ語ⅠA	武田 利勝	266501	369
ドイツ語ⅠA	森 公成	266401	369
ドイツ語ⅠA	吉中 俊貴	266201	370
ドイツ語ⅠA	吉中 俊貴	266601	370
ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]	岡本 時子	297401・297402・ 297403	371
ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]	岡本 時子	297411・297412・ 297413	371
ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]	松岡 晋	297201・297202・ 297203	372
ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB [再クラス]	南 はるつ	355601・355602	372
ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]	本橋 右京	297101・297102・ 297103	373
ドイツ語ⅠA (選) ドイツ語ⅠA	森 公成	289601・289602	373
ドイツ語ⅠB	篠原 敏昭	351601	374
ドイツ語ⅠB	武田 利勝	267201	374
ドイツ語ⅠB	武田 利勝	267401	375
ドイツ語ⅠB	堀内 美江	267801	375
ドイツ語ⅠB	松岡 晋	267301	376
ドイツ語ⅠB	松岡 晋	267601	376
ドイツ語ⅠB	吉中 俊貴	267101	377
ドイツ語ⅠB	吉中 俊貴	267501	377
ドイツ語ⅠB (選) ドイツ語ⅠB	井村 行子	290201・290202	378
ドイツ語Ⅱ (選) ドイツ語ⅡA	志真 斗美恵	290801・290802	379
ドイツ語ⅡA	飯塚 公夫	268111	380
ドイツ語ⅡA	清水 修	351801	381
ドイツ語ⅡA	杉本 正俊	268101	382
ドイツ語ⅡA	松岡 晋	268301	382
ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅡC (会話) [再クラス]	摂津 隆信	298001・298002・ 298003	383
ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅡC (会話) [再クラス]	南 はるつ	298201・298202・ 298203	383
ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅡC (会話) [再クラス]	本橋 右京	298101・298102・ 298103	384
ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB [再クラス]	吉中 俊貴	355701・355702	384
ドイツ語ⅡB	飯塚 公夫	268401	385
ドイツ語ⅡB	篠原 敏昭	351901	385
ドイツ語ⅡB	摂津 隆信	268501	386
ドイツ語ⅡB	吉中 俊貴	268511	386
ドイツ語ⅡD ドイツ語ⅡB	松岡 晋	268701・268702	387
ドイツ語ⅢA	井村 行子	268801	388
ドイツ語コミュニケーションⅠ	リープハート, A.	288001	389
ドイツ語コミュニケーションⅡ	リープハート, A.	288801	389
ドイツ語スキルアップ	堀内 美江	286901	390
フランス語ⅠA	大野 英士	269901	390
フランス語ⅠA	桑田 禮彰	269201	391
フランス語ⅠA	桑田 禮彰	269601	392
フランス語ⅠA	佐藤 久美子	269101	393
フランス語ⅠA	佐藤 久美子	269501	393
フランス語ⅠA	高橋 明美	352001	394

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
フランス語ⅠA	遠山 博雄	269301	394
フランス語ⅠA	浜崎 設夫	269401	395
フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC(会話)[再クラス]	大野 英士	299301・299302・ 299303	395
フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC(会話)[再クラス]	小黒 昌文	299001・299002・ 299003	396
フランス語ⅠA フランス語ⅠB [再クラス]	小黒 昌文	355801・355802	397
フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC(会話)[再クラス]	長谷川 光明	299011・299012・ 299013	397
フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC(会話)[再クラス]	浜崎 設夫	298801・298802・ 298803	398
フランス語ⅠA(選) フランス語ⅠA	伊藤 なお	289711・289712	398
フランス語ⅠA(選) フランス語ⅠA	桑田 禮彰	289701・289702	399
フランス語ⅠB	東 辰之介	270301	400
フランス語ⅠB	東 辰之介	270901	401
フランス語ⅠB	木下 雄介	352201	402
フランス語ⅠB	桑田 禮彰	270501	403
フランス語ⅠB	谷川 かおる	270201	404
フランス語ⅠB	谷川 かおる	270401	404
フランス語ⅠB	遠山 博雄	270601	405
フランス語ⅠB	長谷川 光明	270101	405
フランス語ⅠB(選) フランス語ⅠB	小黒 昌文	290301・290302	406
フランス語Ⅱ(選) フランス語ⅡA	桑田 禮彰	290901・290902	407
フランス語ⅡA	東 辰之介	271201	408
フランス語ⅡA	今関 アン	271401	409
フランス語ⅡA	小黒 昌文	271301	410
フランス語ⅡA	菅谷 暁	271211	410
フランス語ⅡA	高橋 明美	352401	411
フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅡC(会話)[再クラス]	東 辰之介	299801・299802・ 299803	412
フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅡC(会話)[再クラス]	今関 アン	299701・299702・ 299703	413
フランス語ⅡA フランス語ⅡB [再クラス]	桑田 禮彰	355901・355902	414
フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅡC(会話)[再クラス]	畑中 千晶	299601・299602・ 299603	415
フランス語ⅡB	小黒 昌文	271611	415
フランス語ⅡB	木下 雄介	352501	416
フランス語ⅡB	菅谷 暁	271501	416
フランス語ⅡB	今関 アン	271601	417
フランス語ⅡD フランス語ⅡB	伊藤 なお	271801・271802	418
フランス語コミュニケーションⅠ	ラリア・三倉. M.	288101	419
フランス語コミュニケーションⅡ	ラリア・三倉. M.	288901	419
フランス語スキルアップ	遠山 博雄	287001	419
マルチ・メディア	上田 倫史	286601	420
マルチ・メディア	梅原 敏弘	286701	421
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	422
マルチ・メディア	白鳥 義博	286801	423
名文で味わうスペイン語	齊藤 明美	285501	424
名文で味わう中国語	佐藤 普美子	285401	425
名文で味わうドイツ語	松岡 晋	285201	425

外国語科目

科目名	教員氏名	履修コード	ページ
名文で味わうフランス語	遠山 博雄	285301	426
名文で味わうロシア語	廣田 英靖	285601	426
ロシア語ⅠA	大須賀 史和	283601	426
ロシア語ⅠA	木村 敦夫	353901	427
ロシア語ⅠA	佐野 洋子	283401	427
ロシア語ⅠA	廣田 英靖	283301	428
ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅠC (会話) [再クラス]	安徳 ニーナ	303801・303802・ 303803	428
ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅠC (会話) [再クラス]	木村 敦夫	303501・303502・ 303503	429
ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅠC (会話) [再クラス]	木村 英明	303701・303702・ 303703	429
ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB [再クラス]	廣田 英靖	356601・356602	430
ロシア語ⅠA (選) ロシア語ⅠA	クロチコフ Y.	290001・290002	430
ロシア語ⅠB	木村 英明	284001	431
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	283701	431
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	283801	432
ロシア語ⅠB	廣田 英靖	354001	433
ロシア語ⅠB (選) ロシア語ⅠB	木村 英明	290601・290602	433
ロシア語Ⅱ (選) ロシア語ⅡA	クロチコフ Y.	291201・291202	434
ロシア語ⅡA	木村 敦夫	354101	434
ロシア語ⅡA	木村 英明	284201	435
ロシア語ⅡA	廣田 英靖	284301	435
ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅡC (会話) [再クラス]	安徳 ニーナ	304101・304102・ 304103	436
ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅡC (会話) [再クラス]	大須賀 史和	304001・304002・ 304003	436
ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅡC (会話) [再クラス]	クロチコフ Y.	303901・303902・ 303903	437
ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB [再クラス]	廣田 英靖	356701・356702	437
ロシア語ⅡB	木村 敦夫	284501	438
ロシア語ⅡB	木村 英明	284401	438
ロシア語ⅡB	廣田 英靖	354201	439
ロシア語ⅡD ロシア語ⅡB	クロチコフ Y.	284701・284702	439
ロシア語コミュニケーションⅠ	安徳 ニーナ	288401	440
ロシア語コミュニケーションⅡ	安徳 ニーナ	289201	440
ロシア語スキルアップ	クロチコフ Y.	287301	441
スペイン語ⅢA	休講		
フランス語ⅢA	休講		
ロシア語ⅢA	休講		

全 学 共 通 科 目

外国語科目

履修コード	264201
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
授業スケジュール	First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s). Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving(not just sitting)is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN! There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students on the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.
準備学習	To be announced at the time if that situation arises.
履修上の留意点	Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also. Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!
成績評価の方法	Participation: 50% Tests: 25%(one test each semester) Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)
教科書/テキスト	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
参考書	
その他	The first class is VERY important, so please do not be absent! *I am allowed only 40 students in a class, so if there are more than 40 students we will use 'kujibiki' to decide the students. I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! SEE YOU IN CLASS SOON!

履修コード	264301
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
授業スケジュール	First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s). Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving(not just sitting)is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN! There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students on the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.
準備学習	To be announced at the time if that situation arises.
履修上の留意点	Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also. Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!
成績評価の方法	Participation: 50% Tests: 25%(one test each semester) Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)
教科書/テキスト	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
参考書	
その他	The first class is VERY important, so please do not be absent! *I am allowed only 40 students in a class, so if there are more than 40 students we will use 'kujibiki' to decide the students. I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! SEE YOU IN CLASS SOON!

履修コード	264401
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ J. K.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
---------------------	--

授業スケジュール	First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s). Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving(not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN! There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students on the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.
----------	---

準備学習	To be announced at the time if that situation arises.
------	---

履修上の留意点	Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also. Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!
---------	--

成績評価の方法	Participation: 50% Tests: 25%(one test each semester) Quizzes: 25%(usually part of assignments or announced quiz)
---------	---

教科書/テキスト	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
----------	---

参考書	
-----	--

その他	The first class is VERY important, so please do not be absent! *I am allowed only 40 students in a class, so if there are more than 40 students we will use 'kujibiki' to decide the students. I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! SEE YOU IN CLASS SOON!
-----	--

履修コード	264501
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ J. K.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
---------------------	--

授業スケジュール	First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner(s). Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN! There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students on the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.
----------	--

準備学習	To be announced at the time if that situation arises.
------	---

履修上の留意点	Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also. Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!
---------	--

成績評価の方法	Participation: 50% Tests: 25% (one test each semester) Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)
---------	---

教科書/テキスト	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
----------	---

参考書	
-----	--

その他	The first class is VERY important, so please do not be absent! *I am allowed only 40 students in a class, so if there are more than 40 students we will use 'kujibiki' to decide the students. I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! SEE YOU IN CLASS SOON!
-----	--

履修コード	264601
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Week 1 Welcome to English. Class Orientation Week 2 Student Introductions Week 3 Unit 1 You Are an Interesting Person! Week 4 Unit 2 What an Unusual Family Week 5 Unit 3 Thank God It's Friday Week 6 Unit 4 Wow! Everything's On Sale Week 7 Unit 5 Listen To That Engine! Week 8 Unit 6 Got Any Travel Plans? Week 9 Unit 7 That's Not Pizza! Week 10 Unit 8 Welcome To Las Vegas Week 11 Unit 9 Hey, Look at Her! Week 12 unit 10 Meet Your Lucky Date! Week 13 Student Reports Week 14 Written Exam Week 15 Speaking Exam</p>
----------	---

Week 1 Welcome Back from Summer Vacation!
Week 2 Unit 11 Traveling Around Japan
Week 3 Unit 12 Highlights in Sports
Week 4 Unit 13 Shake, Rattle and Roll
Week 5 Unit 14 I Need a Job!
Week 6 Unit 15 Dare To Dream
Week 7 Unit 16 I've Got a Question for You!
Week 8 Unit 17 What's on Your Mind?
Week 9 Unit 18 Home Is Where the Heart Is
Week 10 Unit 19 Holidays to Remember
Week 11 Unit 20 Guess What Happened to Me!
Week 12 Student Reports
Week 13 Student Reports
Week 14 Written Exam
Week 15 Speaking Exam

準備学習	Each week before the next class meeting, students must review the previous lesson and prepare for a vocabulary and dictation test.
------	--

履修上の留意点	Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.
---------	---

成績評価の方法	Attendance 50% Weekly Tests 20% Student Reports 10% Final Exam 20%
---------	---

教科書/テキスト	Dale Fuller & Clyde Grimm著 New Airwaves Developing Better Listening Skills Macmillan Language House ¥2,100
----------	---

参考書	Bilingual dictionary
-----	----------------------

履修コード	264701
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット. J. P.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Week 1 Welcome to English. Class Orientation</p> <p>Week 2 Student Introductions</p> <p>Week 3 Unit 1 You Are an Interesting Person!</p> <p>Week 4 Unit 2 What an Unusual Family</p> <p>Week 5 Unit 3 Thank God It's Friday</p> <p>Week 6 Unit 4 Wow! Everything's On Sale</p> <p>Week 7 Unit 5 Listen To That Engine!</p> <p>Week 8 Unit 6 Got Any Travel Plans?</p> <p>Week 9 Unit 7 That's Not Pizza!</p> <p>Week 10 Unit 8 Welcome To Las Vegas</p> <p>Week 11 Unit 9 Hey, Look at Her!</p> <p>Week 12 unit 10 Meet Your Lucky Date!</p> <p>Week 13 Student Reports</p> <p>Week 14 Written Exam</p> <p>Week 15 Speaking Exam</p>
----------	---

Week 1 Welcome Back from Summer Vacation!
 Week 2 Unit 11 Traveling Around Japan
 Week 3 Unit 12 Highlights in Sports
 Week 4 Unit 13 Shake, Rattle and Roll
 Week 5 Unit 14 I Need a Job!
 Week 6 Unit 15 Dare To Dream
 Week 7 Unit 16 I've Got a Question for You!
 Week 8 Unit 17 What's on Your Mind?
 Week 9 Unit 18 Home Is Where the Heart Is
 Week 10 Unit 19 Holidays to Remember
 Week 11 Unit 20 Guess What Happened to Me!
 Week 12 Student Reports
 Week 13 Student Reports
 Week 14 Written Exam
 Week 15 Speaking Exam

準備学習	Each week before the next class meeting, students must review the previous lesson and prepare for a vocabulary and dictation test.
履修上の留意点	Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.
成績評価の方法	Attendance 50% Weekly Tests 20% Student Reports 10% Final Exam 20%
教科書/テキスト	Dale Fuller & Clyde Grimm著 New Airwaves Developing Better Listening Skills Macmillan Language House¥2,100
参考書	Bilingual dictionary

履修コード	264801
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Week 1 Welcome to English. Class Orientation</p> <p>Week 2 Student Introductions</p> <p>Week 3 Unit 1 You Are an Interesting Person!</p> <p>Week 4 Unit 2 What an Unusual Family</p> <p>Week 5 Unit 3 Thank God It's Friday</p> <p>Week 6 Unit 4 Wow! Everything's On Sale</p> <p>Week 7 Unit 5 Listen To That Engine!</p> <p>Week 8 Unit 6 Got Any Travel Plans?</p> <p>Week 9 Unit 7 That's Not Pizza!</p> <p>Week 10 Unit 8 Welcome To Las Vegas</p> <p>Week 11 Unit 9 Hey, Look at Her!</p> <p>Week 12 unit 10 Meet Your Lucky Date!</p> <p>Week 13 Student Reports</p> <p>Week 14 Written Exam</p> <p>Week 15 Speaking Exam</p>
----------	---

Week 1 Welcome Back from Summer Vacation!
 Week 2 Unit 11 Traveling Around Japan
 Week 3 Unit 12 Highlights in Sports
 Week 4 Unit 13 Shake, Rattle and Roll
 Week 5 Unit 14 I Need a Job!
 Week 6 Unit 15 Dare To Dream
 Week 7 Unit 16 I've Got a Question for You!
 Week 8 Unit 17 What's on Your Mind?
 Week 9 Unit 18 Home Is Where the Heart Is
 Week 10 Unit 19 Holidays to Remember
 Week 11 Unit 20 Guess What Happened to Me!
 Week 12 Student Reports
 Week 13 Student Reports
 Week 14 Written Exam
 Week 15 Speaking Exam

準備学習	Each week before the next class meeting, students must review the previous lesson and prepare for a vocabulary and dictation test.
------	--

履修上の留意点	Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.
---------	---

成績評価の方法	Attendance 50% Weekly Tests 20% Student Reports 10% Final Exam 20%
---------	---

教科書/テキスト	Dale Fuller & Clyde Grimm著 New Airwaves Developing Better Listening Skills Macmillan Language House ¥2,100
----------	---

参考書	Bilingual dictionary
-----	----------------------

履修コード	265311
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット J. P.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Week 1 Welcome to English. Class Orientation Week 2 Student Introductions Week 3 Unit 1 You Are an Interesting Person! Week 4 Unit 2 What an Unusual Family Week 5 Unit 3 Thank God It's Friday Week 6 Unit 4 Wow! Everything's On Sale Week 7 Unit 5 Listen To That Engine! Week 8 Unit 6 Got Any Travel Plans? Week 9 Unit 7 That's Not Pizza! Week 10 Unit 8 Welcome To Las Vegas Week 11 Unit 9 Hey, Look at Her! Week 12 unit 10 Meet Your Lucky Date! Week 13 Student Reports Week 14 Written Exam Week 15 Speaking Exam</p>
----------	---

Week 1 Welcome Back from Summer Vacation!
Week 2 Unit 11 Traveling Around Japan
Week 3 Unit 12 Highlights in Sports
Week 4 Unit 13 Shake, Rattle and Roll
Week 5 Unit 14 I Need a Job!
Week 6 Unit 15 Dare To Dream
Week 7 Unit 16 I've Got a Question for You!
Week 8 Unit 17 What's on Your Mind?
Week 9 Unit 18 Home Is Where the Heart Is
Week 10 Unit 19 Holidays to Remember
Week 11 Unit 20 Guess What Happened to Me!
Week 12 Student Reports
Week 13 Student Reports
Week 14 Written Exam
Week 15 Speaking Exam

準備学習	Each week before the next class meeting, students must review the previous lesson and prepare for a vocabulary and dictation test.
------	--

履修上の留意点	Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.
---------	---

成績評価の方法	Attendance 50% Weekly Tests 20% Student Reports 10% Final Exam 20%
---------	---

教科書/テキスト	Dale Fuller & Clyde Grimm著 New Airwaves Developing Better Listening Skills Macmillan Language House ¥2,100
----------	---

参考書	Bilingual dictionary
-----	----------------------

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン. R. V.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This course will: [1] help students to use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, [2] help students to speak English without translating from Japanese, and [3] improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
---------------------	--

授業スケジュール	[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final exam using selected textbook activities.
----------	---

準備学習	In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.
------	--

履修上の留意点	Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
---------	---

成績評価の方法	Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
---------	---

教科書/テキスト	Author: Steven Molinsky and Bill Bliss Title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 Publisher: Longman Date: 2003 ISBN 0-13-183937-3
----------	--

参考書	none
-----	------

その他	none
-----	------

履修コード	265301
科目名	英会話I
担当者名	レイン. R. V.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This course will: [1] help students to use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, [2] help students to speak English without translating from Japanese, and [3] improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
---------------------	--

授業スケジュール	[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final exam using selected textbook activities.
----------	---

準備学習	In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.
------	--

履修上の留意点	Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
---------	---

成績評価の方法	Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
---------	---

教科書/テキスト	Author: Steven Molinsky and Bill Bliss Title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 Publisher: Longman Date: 2003 ISBN 0-13-183937-3
----------	--

参考書	none
-----	------

その他	none
-----	------

履修コード	265001
科目名	英会話I
担当者名	レーン. C. M.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Students will have the opportunity to improve the four(4) skills necessary to communicate in English.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Class 1 Introduction to course</p> <p>Class 2 Getting to know each other activities</p> <p>Class 3 Group and pair work introductions and question making</p> <p>Class 4 The different stages of the English language - discussion</p> <p>Class 5 Pronunciation of similar sounding words</p> <p>Class 6 Different varieties of English - For example, Japanese English</p> <p>Class 7 American and British English - differences</p> <p>Class 8 Britain as a multi-cultural society</p> <p>Class 9 Britain/Japan - differences and similarities</p> <p>Class 10 Movies as an instrument of showing the culture of a country</p> <p>Class 11 Movies - continued</p> <p>Class 12 How to make a good presentation</p> <p>Class 13 Gender issues in Japan/UK</p> <p>Class 14 Traditions, customs, holidays and festivals</p> <p>Class 15 Presentations</p> <p>Class 16 Talking about summer activities</p> <p>Class 17 Jokes and humour</p> <p>Class 18 Interesting history and facts about the UK - quiz</p> <p>Class 19 Royal families</p> <p>Class 20 Arranged marriages</p> <p>Class 21 Women's rights - abortion</p> <p>Class 22 The buying and selling of children - discussion</p> <p>Class 23 Charity</p> <p>Class 24 Advertising</p> <p>Class 25 The role of journalists</p> <p>Class 26 Child labour</p> <p>Class 27 Staying healthy</p> <p>Class 28 Endangered animals</p> <p>Class 29 Christmas traditions</p> <p>Class 30 Presentation</p>
----------	--

準備学習	No preparation.
------	-----------------

履修上の留意点	Students must take responsibility for their education: prepare, work diligently and ask questions when necessary.
---------	---

成績評価の方法	Maximum of 4 absences each semester. Students will be evaluated through presentations and class participation.
---------	--

教科書/テキスト	Handouts given by the teacher.
----------	--------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	265101
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C. M.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Students will have the opportunity to improve the four(4) skills necessary to communicate in English.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Class 1 Introduction to the course. Class 2 Getting to know each other activities. Class 3 Pair and group work - introductions and asking questions. Class 4 The different stages of the English language. Class 5 Pronunciation of similar sounding words. Class 6 Different varieties of English -For example, Japanese English. Class 7 American and British English - differences. Class 8 Britain as a multi-cultural society. Class 9 Movies as an instrument of showing the culture of a country. Class 10 Movies continued. Class 11 Gender issues in Japan and the UK. Class 12 How to make a presentation in English. Class 13 Traditions, customs, holidays and festivals. Class 14 Japanese Traditions, customs, holidays and festivals. Class 15 Presentations. Class 16 Discussion on summer activites. Class 17 Jokes and humour. Class 18 Interesting history and facts about the UK - quiz Class 19 Royal families. Class 20 Arranged marriages. Class 21 Women s rights - abortion. Class 22 The buying and selling of children - discussion. Class 23 Charity. Class 24 Charity continued. Class 25 Advertising. Class 26 The role of journalists. Class 27 Staying healthy. Class 28 Endangered animals. Class 29 Christmas traditions. Class 30 Presentations.</p>
----------	---

準備学習	No preparation.
------	-----------------

履修上の留意点	Students must take responsibility for their education: prepare,work diligently and ask questions when necessary.
---------	--

成績評価の方法	Maximum of 4 absences each semester. Class participation is very important and each student will give one presentation each semester.
---------	---

教科書／テキスト	Handouts given by the teacher.
----------	--------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	351201
科目名	英会話I
担当者名	ロビン. G. F.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This topic-based course will develop speaking skills in English for students through interactive controlled pair and group communication projects. A variety of topic-oriented discussion, role-playing, dialogue, and drill activities will be used to enhance the students' ability to express themselves. A basic text will be used for warm-up speaking and other materials will be provided by the teacher to extend oral skill development. Students will be graded on classroom participation, homework assignments, and a speaking test at the end of term.
---------------------	---

授業スケジュール	Lesson 1 and 2: Abilities Lesson 3 and 4: Time and Date Lesson 5 and 6: Daily Routine Lesson 7 and 8: Location and Moving Things Lesson 9 and 10: Directions Lesson 11 and 12: Personal Information Lesson 13: Speaking test Lesson 14 and 15: Family Lesson 16 and 17: Likes and Dislikes Lesson 18 and 19: About Tomorrow Lesson 20 and 21: The Past Lesson 22 and 23: Describing People Lesson 24 and 25: In a Restaurant Lesson 26 and 27: Making Comparisons Lesson 28: Review Lesson 29: Rehearsal for speaking test Lesson 30: Speaking test
----------	---

準備学習	Read class material or handouts before class.
------	---

履修上の留意点	
---------	--

成績評価の方法	40%Attendance and participation in class 40%Speaking tests 20%Homework assignments
---------	--

教科書/テキスト	Fifty-Fifty, Book 1 by Warren Wilson and Roger Bernard Longmans
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	264901
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ. T.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Students will have the opportunity to improve the four(4) skills necessary to communicate in English.
---------------------	---

授業スケジュール	Class1 Intro 4books, Part 1 Class2-7 U1~6 4books, Part 1 Class8 Review 4books, Part 1 Class9-14 U7~12 4books, Part 1 Class15 Review 4books, Part 1 Class16 Intro 4books, Part 2 Class17-22 U1~6 4books, Part 2 Class23 Review 4books, Part 2 Class24-29 U7~12 4books, Part 2 Class30 Review 4books, Part 2
----------	---

準備学習	no preparation.
------	-----------------

履修上の留意点	Students must take responsibility for their education: prepare, work diligently and ask questions when necessary.
---------	---

成績評価の方法	Maximum of 4 absences each semester. No tests. Instead, class participation is vital.
---------	---

教科書/テキスト	1st semester, 4books, Part 1; 2nd semester, 4books, Part 2.
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	265321
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ. T.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Students will have the opportunity to improve the four(4) skills necessary to communicate in English.
---------------------	---

授業スケジュール	Class1 Intro 4books, Part 1
	Class2-7 U1~6 4books, Part 1
	Class8 Review 4books, Part 1
	Class9-14 U7~12 4books, Part 1
	Class15 Review 4books, Part 1
	Class16 Intro 4books, Part 2
	Class17-22 U1~6 4books, Part 2
	Class23 Review 4books, Part 2
	Class24-29 U7~12 4books, Part 2
	Class30 Review 4books, Part 2

準備学習	no preparation.
------	-----------------

履修上の留意点	Students must take responsibility for their education: prepare, work diligently and ask questions when necessary.
---------	---

成績評価の方法	Maximum of 4 absences each semester. No tests. Instead, class participation is vital.
---------	---

教科書/テキスト	1st semester, 4books, Part 1; 2nd semester, 4books, Part 2.
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	西村 祐子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>自然で聞き取りやすい英語を話せるようになる。 TOEFLの聞き取り問題、プレゼンテーション問題を学習し、現在よりも20%程度高い得点がえられることをめざす。 (TOEICレベルで750程度、準一級程度をめざす)。</p>
---------------------	---

基本的な文法をつかひこなし、基本的な英語表現をつかひ日常感じたことを表現できるようにする。

Skypeで海外とつなぎ、さまざまな国の人々と交流し、意見交換する積極性を養う。

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Orientation + Self-introduction 2 TOEFL Listening Practice 1 pair work 1 3 TOEFL Listening Practice 2 pair work 2 4 TOEFL Listening Practice 3 pair work 3 5 TOEFL Listening Practice 4 pair work 4 6 TOEFL Listening Practice 5 pair work 5 7 Review Exercise 1 8 TOEFL Listening Practice 6 pair work 6 9 TOEFL Listening Practice 7 pair work 7 10 TOEFL Listening Practice 8 pair work 8 11 TOEFL Listening Practice 9 pair work 9 12 Review Exercise 2 13 TOEFL Listening Practice 10 pair work 10 14 TOEFL Listening Practice 11 pair work 11 15 Group discussion with guest presenter via skype
----------	--

後期

- 1 TOEFL Presentation Practice1 Group discussion 1
- 2 TOEFL Presentation Practice2 Group discussion 2
- 3 TOEFL Presentation Practice3 Group discussion 3
- 4 TOEFL Presentation Practice4 Group discussion 4
- 5 Group Discussion with guest presenters via Skype
- 6 TOEFL Presentation Practice5 Group discussion 5
- 7 TOEFL Presentation Practice6 Group discussion 6
- 8 TOEFL Presentation Practice7 Group discussion 7
- 9 TOEFL Presentation Practice8 Group discussion 8
- 10 Group Discussion with guest presenters via Skype
- 11 TOEFL Presentation Practice9 Group discussion 9
- 12 TOEFL Presentation Practice10 Group discussion 10
- 13 TOEFL Presentation Practice11 Group discussion 11
- 14 Review Test 1
- 15 Review Test 2

準備学習	<p>英語で簡単な自己紹介が1分でできるようにしておく。 Skypeをつかってクラスメートと英語で授業時間外に英語で話す機会もあるので自宅のPCにSkypeをダウンロードしておく。 自宅PC用のカメラとマイクをつけておく。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>授業はすべて英語でおこなう。 質問、メールもすべて英語で。 期末試験はおこなわない。 授業の出席点、発表、課題提出による評価をする。 会話を上達させるためには英語を多読し英語での作文も必要となるのでYeStudyによる課題提出やSkypeによる課外会話練習などが課せられる。</p>
---------	--

英検レベルが準一級からTOEIC700点程度以上を到達点とする。
すでにこのレベルに達している場合は同一講師のLL3の受講をすすめる。

履修者は第一回目の授業で英語による自己紹介を1分程度おこなう。

成績評価の方法	<p>出席点 (出席率、受講態度含む) ; 40% 提出物、小テスト; 60%</p>
---------	---

定期試験はない。

教科書/テキスト	<p>オンライン上で提供する (教場にて指示)。</p>
----------	------------------------------

参考書	<p>教場で指定する。</p>
-----	-----------------

履修コード	287601
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	西村 祐子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>自然で聞き取りやすい英語を話せるようになる。 TOEFLの聞き取り問題、プレゼンテーション問題を学習し、現在よりも20%程度高い得点がえられることをめざす。 (TOEICレベルで750程度、準一級程度をめざす)。</p>
---------------------	---

基本的な文法をつかひこなし、基本的な英語表現をつかひ日常感じたことを表現できるようにする。
Skypeで海外とつなぎ、さまざまな国の人々と交流し、意見交換する積極性を養う。

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Orientation + Self-introduction 2 TOEFL Listening Practice 1 pair work 1 3 TOEFL Listening Practice 2 pair work 2 4 TOEFL Listening Practice 3 pair work 3 5 TOEFL Listening Practice 4 pair work 4 6 TOEFL Listening Practice 5 pair work 5 7 Review Exercise 1 8 TOEFL Listening Practice 6 pair work 6 9 TOEFL Listening Practice 7 pair work 7 10 TOEFL Listening Practice 8 pair work 8 11 TOEFL Listening Practice 9 pair work 9 12 Review Exercise 2 13 TOEFL Listening Practice 10 pair work 10 14 TOEFL Listening Practice 11 pair work 11 15 Group discussion with guest presenters via skype
----------	---

後期

- 1 TOEFL Presentation Practice1 Group discussion 1
- 2 TOEFL Presentation Practice2 Group discussion 2
- 3 TOEFL Presentation Practice3 Group discussion 3
- 4 TOEFL Presentation Practice4 Group discussion 4
- 5 Group Discussion with guest presenters via Skype
- 6 TOEFL Presentation Practice5 Group discussion 5
- 7 TOEFL Presentation Practice6 Group discussion 6
- 8 TOEFL Presentation Practice7 Group discussion 7
- 9 TOEFL Presentation Practice8 Group discussion 8
- 10 Group Discussion with guest presenters via Skype
- 11 TOEFL Presentation Practice9 Group discussion 9
- 12 TOEFL Presentation Practice10 Group discussion 10
- 13 TOEFL Presentation Practice11 Group discussion 11
- 14 Review Test 1
- 15 Review Test 2

準備学習	<p>英語で簡単な自己紹介が1分でできるようにしておく。 Skypeをつかってクラスメートと英語で授業時間外に英語で話す機会もあるので自宅のPCにSkypeをダウンロードしておく。 自宅PC用のカメラとマイクをつけておく。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>授業はすべて英語でおこなう。 質問、メールもすべて英語で。 期末試験はおこなわない。 授業の出席点、発表、課題提出による評価をする。 会話を上達させるためには英語を多読し英語での作文も必要となるのでYeStudyによる課題提出やSkypeによる課外会話練習などが課せられる。</p>
---------	--

英検レベルが準一級からTOEIC700点程度以上を到達点とする。
すでにこのレベルに達している場合は同一講師のLL3の受講をすすめる。

履修者は第一回目の授業で英語による自己紹介を1分程度おこなう。

成績評価の方法	<p>出席点 (出席率、受講態度含む) ; 40% 提出物、小テスト ; 60%</p>
---------	--

定期試験はない。

教科書/テキスト	オンライン上で入手可能な教材を教場にて指定。
----------	------------------------

参考書	Bilingual dictionary
-----	----------------------

履修コード	354301
科目名	英会話II
担当者名	ロビン. G. F.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>This class is for everyone. Not only experienced speakers, but beginners as well, are encouraged to participate. Even if you have difficulty, making an effort will get you a good grade.</p> <p>This class will emphasize conversation, public speaking and discussion. This is not an information course, but a participation course. Therefore good attendance is necessary to get a passing grade. The course will focus on improving grammar, vocabulary, and fluency in speaking through topic-oriented materials.</p> <p>Various kinds of activities will be used to enhance your conversational skills, such as pair work, information gap, group discussion, language games, story-building, dictation and so on. As your conversation skills develop, you will then use them for the purpose of making a speech later in the course. Some work sheets will be given at that time to enhance your speech-making skills. A few homework assignments will also be given relating to your speaking projects.</p> <p>Enjoy and Learn!</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>One unit every two weeks from the texts and other activities using other materials.</p> <p>Week</p> <p>1 Introduction</p> <p>2 Asking Questions</p> <p>3 Unit 1</p> <p>4 Unit 1</p> <p>5 Unit 2</p> <p>6 Unit 2</p> <p>7 Unit 3</p> <p>8 Unit 3</p> <p>9 Unit 4</p> <p>10 Unit 4</p> <p>11 Unit 5</p> <p>12 Unit 5</p> <p>13 Review</p> <p>14 Rehearsal for Speaking Test</p> <p>15 Test</p> <p>16 Unit 6</p> <p>17 Unit 6</p> <p>18 Unit 7</p> <p>19 Unit 7</p> <p>20 Unit 8</p> <p>21 Unit 8</p> <p>22 Unit 9</p> <p>23 Unit 9</p> <p>24 Unit 10</p> <p>25 Unit 10</p> <p>26 Review</p> <p>27 Review</p> <p>28 Conversation activities</p> <p>29 Rehearsal</p> <p>30 Test</p>
----------	--

準備学習	Read class material or handouts before class.
------	---

履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1) Speak English whenever possible. 2) Do homework if assigned. 3) Attend all classes. If absent, bring a stamped note. 4) Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary.
---------	---

成績評価の方法	<p>40% Attendance and participation in class</p> <p>40% Speaking tests</p> <p>20% Homework assignments</p>
---------	--

教科書/テキスト	Text to be announced.
----------	-----------------------

参考書	
-----	--

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ. T.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Students will have the opportunity to improve the four(4) skills necessary to communicate in English.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>Class1 Intro 4books, Part 1 Class2-7 U1~6 4books, Part 1 Class8 Review 4books, Part 1 Class9-14 U7~12 4books, Part 1 Class15 Review 4books, Part 1</p> <p>Class16 Intro 4books, Part 2 Class17-22 U1~6 4books, Part 2 Class23 Review 4books, Part 2 Class24-29 U7~12 4books, Part 2 Class30 Review 4books, Part 2</p>
----------	--

準備学習	no preparation.
------	-----------------

履修上の留意点	Students must take responsibility for their education: prepare, work diligently and ask questions when necessary.
---------	---

成績評価の方法	Maximum of 4 absences each semester. No tests. Instead, class participation is vital.
---------	---

教科書/テキスト	1st semester, 4books, Part 1; 2nd semester, 4books, Part 2.
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ. J. K.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>English Conversation III Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important! Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.</p>
----------	--

準備学習	To be announced at the time if that situation arises.
------	---

履修上の留意点	<p>ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also. * It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time. The first class is very important, so please do not be absent! Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>Participation: 50% Grading: Class participation evaluation and attendance</p>
---------	---

教科書/テキスト	<p>There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used. Notebooks will be checked in the second class.</p>
----------	---

参考書	
-----	--

その他	<p>I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. SEE YOU IN CLASS!</p>
-----	--

履修コード	287801
科目名	英会話Ⅱ
担当者名	ロンゴ, T.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Students will study more advanced topics than in English I and II.
授業スケジュール	Each class will give students the opportunity to learn & discuss new topics.
準備学習	no preparation necessary.
履修上の留意点	Students who study diligently will succeed.
成績評価の方法	Maximum of 8 absences in one year.
教科書/テキスト	To be decided at 1st class.
参考書	

履修コード	234801
科目名	英語ⅠA
担当者名	朝川 真紀

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。英語を駆使して情報を入手したり発信するため、文法・語法を確実に理解し、英語の基本8品詞をマスターした上で、区別しにくく間違いやすい英語の語句や表現をきちんと整理していく。さらに、英語と日本語の表現構造や発想の違いに注目しながら、日常の様々な事柄を英語で書く力を身につける。英語を書く楽しさを育みながら、自分の考えを正確に伝え、細かな感情を表現できるようにする。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>1 名詞 (1) 数えられる名詞と数えられない名詞の使い方 2 名詞 (2) 日英の意味のずれやニュアンスの違いを学んでいく 3 冠詞 (1) 冠詞の用法と基礎的なルール、使い方による意味の違いを学ぶ 4 冠詞 (2) 冠詞句の用法 5 代名詞 (1) 人称代名詞、指示代名詞、不定代名詞の用法を学ぶ 6 代名詞 (2) 代名詞の用法を学ぶ 7 動詞 (1) 自動詞と他動詞の用法を学ぶ 8 動詞 (2) 受動態の文章を書く 9 動詞 (3) さまざまな動詞の原義を学び文章を書く 10 動詞 (4) 助動詞時制、態、法を形作る助動詞を学ぶ 11 動詞 (5) 能力、可能性、許可、推測、必要、義務、願望の助動詞を使った表現 12 時制 動詞の時制に注意しながら英文を書く 13 準動詞 不定詞、分詞、動名詞の使い方を学ぶ 14 主語 日・英で主語が異なるときについて学ぶ 15 名詞と動詞についての理解度の確認 16 形容詞 (1) 限定用法と叙述用法について学び英文を書く 17 形容詞 (2) 比較のできない形容詞、二つ以上の形容詞の並べ方について学ぶ 18 形容詞 (3) 形容詞の正確な使い方 19 副詞(句) 副詞の正確な使い方 20 比較 (1) 原級、比較級、最上級の表現を学ぶ 21 比較 (2) 劣等比較について用法を学ぶ 22 関係詞 (1) 関係代名詞、関係副詞、関係形容詞を使った英語表現 23 関係詞 (2) 限定用法と継続用法を使った英語表現を学ぶ 24 接続詞 (1) 等位接続詞を使った英語表現を学ぶ 25 接続詞 (2) 従属接続詞を使った英語表現を学ぶ 26 前置詞 (1) 時間に関する前置詞を使って英文を書く 27 前置詞 (2) 場所、原因などにかかわる前置詞の正用法を学ぶ。 28 コロケーション 「動詞十名詞」のコロケーションを学ぶ 29 カタカナ語 カタカナ語を英語にする時の注意点を学ぶ 30 形容詞、副詞、関係詞、接続詞、前置詞の理解度を確認する</p>
----------	--

準備学習	毎回予習を必ず行い、また、重要語句に関する小テストを行うので暗記をしてきてほしい
履修上の留意点	必ず予習をしてくること。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨ざしてもらいたい。欠席が全授業数の3分の1を超えた場合は単位を与えない。遅刻は授業開始30分以内まで認め、遅刻3回で1回欠席とする。
成績評価の方法	平常点(30%)、提出物(20%)、定期試験(50%)。平常点には予習状況、小テスト、授業中の態度などを含み、提出物は通年で4回レポート課題を与える。
教科書/テキスト	木塚晴夫著『英語ならこう言う・ポイント200』鶴見書店 1800円 ISBN978-4-7553-0363-0C1082 片野田浩子『5分間新TOEICテスト・リスニング650』南雲堂 700円 ISBN978-4-523-17553-7-c0082
参考書	

履修コード	239101
科目名	英語ⅠA
担当者名	安齋 薫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基礎をもとに、Writing、Speakingの運用能力をのばします。
---------------------	-------------------------------------

授業スケジュール	1回 Introduction 2,3回 Asking for Repetition 4,5回 Natural Responses 6,7回 Thanks and Apologies 8,9回 Greetings and Farewells 10,11回 Meeting people on the Campus 12,13回 Making Appointment 14,15回 まとめ 16,17回 Requests and permission 18,19回 Suggestion and Advice 20,21回 Intension and Wishes 22,23回 Techniques 24,25回 College life 26,27回 Physical Appearance 28,29,30回復習、まとめ
----------	--

準備学習	予習をしてくること。
------	------------

履修上の留意点	授業中の携帯の使用は禁止。
---------	---------------

成績評価の方法	出席回数は全体の3分の2以上が必要。定期試験、レポートで評価する。
---------	-----------------------------------

教科書/テキスト	The Road From Writing To Speaking (成美堂) 1600円
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	240041
科目名	英語ⅠA
担当者名	安齋 薫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基礎をもとに、Writing、Speakingの運用能力をのばします。
---------------------	-------------------------------------

授業スケジュール	1回 Introduction 2,3回 Asking for Repetition 4,5回 Natural Responses 6,7回 Thanks and Apologies 8,9回 Greetings and Farewells 10,11回 Meeting people on the Campus 12,13回 Making Appointment 14,15回 まとめ 16,17回 Requests and permission 18,19回 Suggestion and Advice 20,21回 Intension and Wishes 22,23回 Techniques 24,25回 College life 26,27回 Physical Appearance 28,29,30回復習、まとめ
----------	--

準備学習	予習をしてくること。
------	------------

履修上の留意点	授業中の携帯の使用は禁止。
---------	---------------

成績評価の方法	出席回数は全体の3分の2以上が必要。定期試験、レポートで評価する。
---------	-----------------------------------

教科書/テキスト	The Road From Writing To Speaking (成美堂) 1600円
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	237921
科目名	英語ⅠA
担当者名	井伊 順彦

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	多様な内容の教科書を使用し、日本人が苦手とする英語の発音について具体的に説明し、日本式発音からの脱却を心がけるほか、聴き取りや書き取りの作業を通じて実践的な英語力の増強をめざす。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期：</p> <p>1) ガイダンス 2) ~13) 各授業、前半45分間で単語の学習、後半45分間でリスニング・ディクテーションを行う 14) 復習とまとめ 15) 授業内小テスト</p> <p>後期：</p> <p>16) 小テストの返却、解説 17) ~28) 各授業、前半45分間で単語の学習、後半45分間でリスニング・ディクテーションを行う 29) 復習とまとめ 30) 授業内小テスト</p>
----------	--

準備学習	1) 高校までの文法項目を簡単に復習しておくこと。 2) 教科書を開いて、第1章だけでも眺めるとよい。
履修上の留意点	遅刻や欠席の成績評価への(悪)影響については、共通のガイドラインに従うので、注意すること。とにかく積極的かつ真摯な授業態度を求める。
成績評価の方法	複数回の小テスト(40%)、平常点および出席数(30%+20%)、授業に対する姿勢(10%)。
教科書/テキスト	『場面別リスニング練習』(Task Listening) (金星堂)
参考書	

履修コード	238001
科目名	英語ⅠA
担当者名	飯沼 好永

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎とし、より正確な英語表現を身に付けることを目的とします。
---------------------	--

授業スケジュール	大学生の日常生活に基づいた例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現の修得も目指します。テキストの各単元とプリントを2週単位で進みます。
----------	--

準備学習	基本的な英文法を常に確認するように心がけてください
履修上の留意点	予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。
成績評価の方法	成績は、定期試験(6割)、出席状況、授業への取り組み方、課題(4割)を基本に行います。
教科書/テキスト	山村三郎、木下裕昭、小峰和子『Expanding Your Writing Skills』(朝日出版) 1,600円 ISBN4-255-15269-1
参考書	

履修コード	237501
科目名	英語ⅠA
担当者名	石原 孝哉

授業概要/ 到達目標（ねらい）	英語の基本を文型や構造を分析して理解し、基本的な文章が書けることを目標にします。聞き取り、発音、アクセントなどを含めて総合的な英語力を身につけることを目指します。
--------------------	---

授業スケジュール	1【前期】イギリスの歴史に隠された実話を教材に総合的な英語力の向上を目指します。1, 2, Barmy Britons 3, 4, Island Invaders 5, 6, Miserable Middle Ages—1 7, 8, Miserable Middle Ages—2 9, 10, Creepy Country 11, 12, Batty Beliefs and Curious Customs 13, 14, The Revolting English—1 15, Revolting English 2
----------	---

【後期】1, 2, Terrible Tudors and Slimy Stuarts —1 3, 4, Terrible Tudors and Slimy Stuarts—2 5, 6 Cruel Criminals—1 7, 8 Cruel Criminals—2 9, 10, Cruel Criminals—3 11, 12, Gorgeous Georgians and Vile Victorians—1 13, 14, Gorgeous Georgians and Vile Victorians—2 15, Woe for Workers

準備学習	予習をしっかりとやること
履修上の留意点	教科書には付録のDVDが付いていて自宅で予習、復習ができます。コンピューターがあれば大変便利です。
成績評価の方法	中間試験、後期末試験、レポート、発表、出席などを総合的に評価します。
教科書／テキスト	Horrible Histories ENGLAND 南雲堂2000円
参考書	

履修コード	233601
科目名	英語ⅠA
担当者名	伊勢村 定雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 英語の音声面 (発音、イントネーション、リズムetc.) 習得。 口語英語の認識と理解を深める。 通年で少なくとも200のセンテンスを暗証できるようにする。 英文理解のために辞書の用い方をマスターする。
授業スケジュール	<p>授業の進め方は以下のとおり： 本文の音読→訳読→問題→長いダイアログ→コラム→短いダイアログ→グループで口頭テスト： このサイクルをほぼ3～4コマで行う。</p>

- 1回 インTRODクシヨンと全体説明
- 2回 Unit 1 American Academic Year: 本文読み、発音指導 (プリント用意する)
- 3回 Dialogue and Practice
- 4回 Dialogue test (1回)
- 5回 Unit 2 A Day of an America University Student: 本文読み
- 6回 Dialogue & Practice
- 7回 Dialogue test (2回)
- 8回 Unit 3 How Americans get Around: 本文読み
- 9回 Dialogue & Practice
- 10回 Dialogue Test (3回)
- 11回 Unit 4 Getting a Driver's License: 本文読み
- 12回 Dialogue & Practice
- 13回 Dialogue test (4回)
- 14回 Unit 5 Tip or Gratuity: 本文&Dialogue
- 15回 Dialogue test (5回)

後期

第1回と

- 2回 後期のINTRODUCTION (発音確認) とUnit6: Toilets and Bathrooms: 本文読み
 - 3回 Dialogue & Practice
 - 4回 Dialogue test (6回)
 - 5回 Unit 7 American Houses: 本文読み
 - 6回 Dialogue & Practice
 - 7回 Dialogue test (7回)
 - 8回 Unit 8 the Senior Prom: 本文読み
 - 9回 Dialogue & Practice
 - 10回 Dialogue test (8回)
 - 11回 Unit 9 Fashion: 本文読み
 - 12回 Dialogue & Practice
 - 13回 Dialogue test (9回)
 - 14回 Unit 10 The American Diet:
- 最後の仕上げとしてテキストのDialogue をモデルにしてグループで英語のやり取りを作成して練習する。
- 15回 最後のDialogue test (10回)

準備学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本文とダイアログの訳読と音読を事前に済ませておくこと。その英語を聞かれても意味と発音が答えられるようにしておくこと。 2. 特にテスト前は、ダイアログのテスト部分は100回の音読を必ずやること。
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予習や復習は必ずして、授業に参加してください。また、辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席状況&授業態度=15点。 2. 考查結果=85点。 3. 単位取得には三分の二以上の出席を前提とする。
教科書/テキスト	Some Common Knowledge of American Life (「アメリカ生活の常識と疑問」). Sadao Isemura/Dennis R. Kogge著、1800円 [授業初日に直接教室で購入して下さい]
参考書	
その他	

履修コード	234201
科目名	英語ⅠA
担当者名	市川 仁
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスでは、文法の基本事項を確認し、英語表現の基礎を固めることを目標とします。
授業スケジュール	テキストに従って、毎回各章の問題を消化していきます。 受講生は、予習をしてクラスに出席していることが前提なので、クラスで演習問題の解答を発表してもらいます。
準備学習	指定範囲を必ず予習してきてください。
履修上の留意点	語学のクラスなので、クラスには必ず出席すること。またクラスには、予習をしてテキストの演習問題を解いて、出席すること。
成績評価の方法	成績は前・後期の定期試験（55％）と、平常点（出席数（20％）や授業中の発表（25％）など）を総合して評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。
教科書／テキスト	岸野英治著『コミュニケーションのための英文法・英作文』英宝社、¥1900、ISBN 978-4-269-32018-5 C1082
参考書	
その他	必ず辞書を持ってくること

履修コード	234301
科目名	英語ⅠA
担当者名	井出 功一
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この講義のねらいは、英文をたくさん読んだり聞いたりして、そこに用いられている英語を正確に把握し、新たに英文を創造する力をつけることです。
授業スケジュール	「プレミアムリーダー」というテキストを使用して、講義を進めていきます。このテキストは多彩な話題と平易な文章を通して、学習者が楽しく英語力をつけるよう工夫されています。 本書のUnit1～Unit15を各2回ずつ行いますが、ときには時事に関する記事も使用する予定です。
準備学習	開講時に指示します。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。
成績評価の方法	前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価。
教科書／テキスト	『Premium Reader Pre-intermediate』金星堂
参考書	

履修コード	235001
科目名	英語ⅠA
担当者名	井出 功一
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この講義のねらいは、英文をたくさん読んだり聞いたりして、そこに用いられている英語を正確に把握し、新たに英文を創造する力をつけることです。
授業スケジュール	「プレミアムリーダー」というテキストを使用して、講義を進めていきます。このテキストは多彩な話題と平易な文章を通して、学習者が楽しく英語力をつけるよう工夫されています。 本書のUnit1～Unit15を各2回ずつ行いますが、ときには時事に関する記事も使用する予定です。
準備学習	開講時に指示します。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。
成績評価の方法	前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価。
教科書／テキスト	『Premium Reader Pre-intermediate』金星堂
参考書	

履修コード	237931
科目名	英語ⅠA
担当者名	伊藤 美代子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	コミュニケーションに必要な最低限の文法事項を、実際に「使う」ことを経験しながら学ぶ。文法の修得だけでなくスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、発音矯正も行う、語彙の拡大にも勤め総合的な英語力の強化をめざす。
---------------------	---

授業スケジュール	できる限り英語を使用して実際に英語を使うことを経験する。ただし、構文等の説明には日本語を使用する。1単元を1回半の授業で終了する。
----------	---

前期:
Lesson 1: Introduction
Lesson 2: Unit 1
Lesson 3: Units 1-2
Lesson 4: Unit 2
Lesson 5: Unit 3
Lesson 6: Units 3-4
Lesson 7: Unit 4
Lesson 8: Review of Units 1-4
Lesson 9: Unit 5
Lesson 10: Units 5-6
Lesson 11: Unit 6
Lesson 12: Unit 7
Lesson 13: Units 7-8
Lesson 14: Unit 8
Lesson 15: Review of Units 5-8

後期:
Lesson 16: Check on Summer Homework
Lesson 17: Unit 9
Lesson 18: Units 9-10
Lesson 19: Unit 10
Lesson 20: Unit 11
Lesson 21: Units 11-12
Lesson 22: Unit 12
Lesson 23: Review of Units 9-12
Lesson 24: Unit 13
Lesson 25: Units 13-14
Lesson 26: Unit 14
Lesson 27: Unit 15
Lesson 28: Unit 15-16
Lesson 29: Unit 16
Lesson 30: Review of Units 13-16

*なお上記は状況により変更の可能性あり。

準備学習	予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。
履修上の留意点	予習が絶対条件。また、公欠、忌引等正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席したのものには単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。
教科書/テキスト	English Grip (金星堂)
参考書	

履修コード	235101
科目名	英語ⅠA
担当者名	岩永 祥恵

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確実なものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と語彙力を生かしながら様々な場面での会話表現に慣れていき、自分の意思を的確に表現する能力を伸ばしていきたいと思います。
---------------------	--

授業スケジュール	使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、会話表現の習熟を図ります。スケジュールは以下のとおり。 第1回：イントロダクション、Greetings 第2～5回：Greetings, Asking for directions 第6回：これまでのまとめおよび小テスト 第7～10回：Requesting information, Making things clear 第11回：Comparing things 第12回：これまでのまとめおよび小テスト 第13～14回：Explaining what's wrong 第15回：理解度の確認 第16～19回：Going for a job interview, Making a phone call 第20回：これまでのまとめおよび小テスト 第21～24回：Reporting emergencies, Getting invited to a party 第25回：これまでのまとめおよび小テスト 第26～29回：Making complaints, Asking a favor 第30回：理解度の確認
----------	---

準備学習	予習をすること。
------	----------

履修上の留意点	授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。
---------	--

成績評価の方法	平常点(授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)30パーセント及び前期・後期試験70パーセントによる。
---------	---

教科書/テキスト	Scott Berlin et al. Discover Great Britain and Ireland 金星堂 2200円 ISBN 978-4-7647-3864-5
----------	--

参考書	『リーダーズ英和辞典』 研究社
-----	-----------------

履修コード	235301
科目名	英語ⅠA
担当者名	岩屋 玉江

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語による意志伝達：入学時の英語を基礎として英語の運用能力の向上を目指します。
---------------------	---

授業スケジュール	テキストに沿って進めていきますが、必要に応じてプリントも使用します。(1)ガイダンス(2)名詞(1)めがねはglassかglassesか(3)名詞(2)お客は常にguestだろうか(4~5)冠詞 by an hourとthe hourの違いを覚える必要がある(6~7)代名詞 もうひとつはanotherかthe otherか(8)動詞(1)「彼と結婚する」はmarry himかmarry with himか(9)動詞(2)ねるは常にsleepか(10)助動詞 shall, will, mayの違いに注意(11)時制 動詞は「時」とともに変化する(12~13)準動詞 泳ぎに行くのはgo to swim かgo swimmingか(14)主語 日、英で主語が異なるときがある(15)理解度の確認(16)形容詞(1)「とてもおいしい」はvery deliciousか(17)形容詞(2)「せまい」はいつもnarrowだろうか(18)副詞 agoとbeforeはどう違う(19~20)比較 多様な比較表現を整理しておこう(21~22)関係詞 場所のあとがいつもwhereとは限らない(23)接続詞 日本語の「と」や「が」はいつもandとbutではない(24)前置詞(1)時間に関する前置詞(25~26)前置詞(2)場所、原因などに関わる前置詞(27)コロケーション 単語同士には相性がある(28~29)カタカナ語 「サラリーマン」を英語で言うと(30)理解度の確認
----------	---

準備学習	学習する範囲の予習
------	-----------

履修上の留意点	授業は発表形式で行います。辞書は毎回持参してください。単位取得には全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期試験70%と平常点(小テスト、授業への参加度、授業態度等)30%の総合評価とします。
---------	---

教科書/テキスト	木塚春夫著 Write it Right! 音羽書房鶴見書店 1800円 ISBN4-7553-0363-0C1082
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	237401
科目名	英語ⅠA
担当者名	岩屋 玉江

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語による意志伝達：入学時の英語を基礎として英語の運用能力の向上を目指します。
授業スケジュール	テキストに沿って進めていきますが、必要に応じてプリントも使用します。(1)ガイダンス(2)名詞(1) めがねはglassかglassesか (3)名詞(2) お客は常にguestだろうか (4~5)冠詞 by an hour and the hourの違いを覚える必要がある (6~7)代名詞 もうひとつはanotherかthe otherか (8)動詞(1)「彼と結婚する」はmarry himかmarry with himか (9)動詞(2) ねるは常にsleepか (10)助動詞 shall, will, mayの違いに注意 (11)時制 動詞は「時」とともに変化する (12~13)準動詞 泳ぎに行くのはgo to swim かgo swimming か (14)主語 日、英で主語が異なるときがある (15)理解度の確認 (16)形容詞(1)「とてもおいしい」はvery deliciousか (17)形容詞(2)「せまい」はいつもnarrowだろうか (18)副詞 agoとbeforeはどう違う(19~20)比較 多様な比較表現を整理しておこう (21~22)関係詞 場所のあとがいつもwhereとは限らない (23)接続詞 日本語の「と」や「が」はいつもandとbutではない (24)前置詞(1) 時間に関する前置詞 (25~26)前置詞(2) 場所、原因などに関わる前置詞(27)コロケーション 単語同士には相性がある (28~29)カタカナ語 「サラリーマン」を英語で言うと (30)理解度の確認
準備学習	学習する範囲の予習
履修上の留意点	授業は発表形式で行います。辞書は毎回持参してください。単位取得には全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。
成績評価の方法	前期・後期試験70%と平常点(小テスト、授業への参加度、授業態度等)30%の総合評価とします。
教科書/テキスト	木塚春夫著 Write it Right! 音羽書房鶴見書店 1800円 ISBN4-7553-0363-0C1082
参考書	

履修コード	236501
科目名	英語ⅠA
担当者名	上田 倫史

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意をつかみ英語で要約をしたり、様々な事柄を英語で描写、説明をする力を身につける訓練を行う。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. introduction (self-introduction) 2. 文章要約の準備 (1) 3. 文章要約の準備 (2) 4. 文章要約の準備 (3) 5. 要約練習 (1-1) 6. 要約練習 (1-2) 7. 要約練習 (1-2) 8. 確認テスト (1) 9. 要約練習 (2-1) 10. 要約練習 (2-2) 11. 要約練習 (2-3) 12. 要約練習 (3-1) 13. 要約練習 (3-2) 14. 要約練習 (3-3) 15. 確認テスト (2) 16. 英語による説明のための準備 (1) 17. 英語による説明のための準備 (2) 18. 英語による説明のための準備 (3) 19. 英語による説明のための準備 (4) 20. 英語による描写、説明 (1-1) 21. 英語による描写、説明 (1-2) 22. 英語による描写、説明 (1-3) 23. 確認テスト (3) 24. 英語による描写、説明 (2-1) 25. 英語による描写、説明 (2-2) 26. 英語による描写、説明 (2-1) 27. 英語による描写、説明 (2-2) 28. 英語による描写、説明 (3-1) 29. 英語による描写、説明 (3-2) 30. 確認テスト (4)
----------	--

準備学習	予習の段階に必要な英単語を調べる。また確認として、語彙テストを適宜行う予定なので、準備をする事。
------	--

履修上の留意点	授業には必ず辞書または電子辞書 (携帯電話の辞書機能は不可) を持参すること。また授業回数の3分の2以上出席すること。
---------	---

成績評価の方法	中間・期末テスト (60%)、平常点 (出席、授業態度等10%)、課題 (20%)、確認小テスト (10%)
---------	--

教科書/テキスト	配付物およびオンライン資料
----------	---------------

参考書	必要に応じて、授業内で紹介していく。
-----	--------------------

履修コード	239601
科目名	英語ⅠA
担当者名	上田 倫史

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の退位をつかみ英語で要約をしたり、様々な事柄を英語で描写、説明をする力を身につける訓練を行う。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. introduction (self-introduction) 2. 文章要約の準備 (1) 3. 文章要約の準備 (2) 4. 文章要約の準備 (3) 5. 要約練習 (1-1) 6. 要約練習 (1-2) 7. 要約練習 (1-2) 8. 確認テスト (1) 9. 要約練習 (2-1) 10. 要約練習 (2-2) 11. 要約練習 (2-3) 12. 要約練習 (3-1) 13. 要約練習 (3-2) 14. 要約練習 (3-3) 15. 確認テスト (2) 16. 英語による説明のための準備 (1) 17. 英語による説明のための準備 (2) 18. 英語による説明のための準備 (3) 19. 英語による説明のための準備 (4) 20. 英語による描写、説明 (1-1) 21. 英語による描写、説明 (1-2) 22. 英語による描写、説明 (1-3) 23. 確認テスト (3) 24. 英語による描写、説明 (2-1) 25. 英語による描写、説明 (2-2) 26. 英語による描写、説明 (2-1) 27. 英語による描写、説明 (2-2) 28. 英語による描写、説明 (3-1) 29. 英語による描写、説明 (3-2) 30. 確認テスト (4)
----------	--

準備学習	予習の段階で必要な英単語を調べる。また確認として、語彙テストを適宜行う予定なので、準備をする事。
履修上の留意点	授業には必ず辞書を持参すること。また事業の回数の3分の2以上は出席をする事。
成績評価の方法	確認テスト (60%)、課題 (20%)、確認小テスト (10%)、平常点 (出席、授業態度10%)
教科書/テキスト	配布物およびオンライン資料
参考書	必要に応じて授業中に紹介する
その他	出席には、特に気をつけること。

履修コード	237601
科目名	英語ⅠA
担当者名	梅原 敏弘

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の能力を基盤として英語による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じて教員の用意したその他の教材を用いて指導を行い、実用的な英語の総合能力を養ってもらうことを最終目標とする。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回：プリント使用の授業</p> <p>第2～14回：UNIT 1～UNIT 6</p> <p>第15、16回：プリント使用の授業</p> <p>第17～29回：UNIT 7～UNIT 12</p> <p>第30回：プリント使用の授業</p>
----------	---

準備学習	特になし
履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提に授業を進める。事前の準備をしていない学生がいた場合出席とはみなさないなのでそのつもりで授業に臨むこと。
成績評価の方法	前期、後期の授業態度、発表内容、試験結果をもとに総合的に評価する。また、全授業回数において最低でも3分の2以上出席をしていなければならない。
教科書/テキスト	安藤誠祐 Richard S. Lavin 『Starting on the TOEIC Test--TOEICテストははじめの一步』 (朝日出版社) 1800円 ISBN978-4-255-15500-5
参考書	

履修コード	234501
科目名	英語ⅠA
担当者名	太田 雅子

授業概要/
到達目標 (ねらい)

多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。

授業スケジュール

テキスト・CD・DVD等を用いて、目・耳・口を多いに使って英語を身につけていく。
原則、1回の授業でテキストの1章進む。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. Introduction | 16. Speech |
| 2. Unit 1 | 17. Unit 11 |
| 3. Unit 2 | 18. Unit 12 |
| 4. Unit 3 | 19. Review |
| 5. Unit 4 | 20. Unit 13 |
| 6. Review | 21. Unit 14 |
| 7. Unit 5 | 22. Unit 15 |
| 8. Unit 6 | 23. Unit 16 |
| 9. Unit 7 | 24. Review |
| 10. Unit 8 | 25. Unit 17 |
| 11. Review | 26. Unit 18 |
| 12. Unit 9 | 27. Unit 19 |
| 13. Unit 10 | 28. Unit 20 |
| 14. Speech | 29. Speech |
| 15. Review | 30. Review |

準備学習

テキスト各unitの5.Read About the Lyricsと6.Read All About the Artist/Groupを必ず予習すること

履修上の留意点

全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。

成績評価の方法

平常点 (会話発表、小テストなど)

教科書/テキスト

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Hit Parade Listening Third Edition, Macmillan Languagehouse, ¥2100, ISBN978-4-7773-6379-7

参考書

履修コード	235201
科目名	英語ⅠA
担当者名	太田 雅子

授業概要/
到達目標 (ねらい)

多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。

授業スケジュール

テキスト・CD・DVD等を用いて、目・耳・口を多いに使って英語を身につけていく。
原則、1回の授業でテキストの1章進む。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. Introduction | 16. Speech |
| 2. Unit 1 | 17. Unit 11 |
| 3. Unit 2 | 18. Unit 12 |
| 4. Unit 3 | 19. Review |
| 5. Unit 4 | 20. Unit 13 |
| 6. Review | 21. Unit 14 |
| 7. Unit 5 | 22. Unit 15 |
| 8. Unit 6 | 23. Unit 16 |
| 9. Unit 7 | 24. Review |
| 10. Unit 8 | 25. Unit 17 |
| 11. Review | 26. Unit 18 |
| 12. Unit 9 | 27. Unit 19 |
| 13. Unit 10 | 28. Unit 20 |
| 14. Speech | 29. Speech |
| 15. Review | 30. Review |

準備学習

テキスト各unitの5.Read About the Lyricsと6.Read All About the Artist/Groupを必ず予習すること

履修上の留意点

全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。

成績評価の方法

平常点 (会話発表、小テストなど)

教科書/テキスト

Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Hit Parade Listening Third Edition, Macmillan Languagehouse, ¥2100, ISBN978-4-7773-6379-7

参考書

履修コード	236801
科目名	英語ⅠA
担当者名	大庭 直樹 平野 桃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>このクラスは、前期と後期の担当者は異なります。 前期担当は平野 (進藤) 桃子講師、後期は大庭直樹講師です。</p> <p>前期の講義内容 様々なトピックに関して、例文となるダイアログ等を理解した後、英語で自分の意見を言えるように訓練する。</p> <p>後期の講義内容 この授業は、ライティング・スピーキングによる意思伝達力を身につけることを主眼に置く。自分の考えを英語で表現するには、まず短い単文で表現する訓練することから始めるのがよい。そして、それらの単文が全体で、一つの内容を表現するようにする。そのためには、単文が論理的に繋がるように接続詞などをつかって、全体を再構成していく必要がある。こうした訓練を口頭と文章の両方から、さまざまなテーマで繰り返し訓練していく。最終的には、パラグラフ単位の英文を書くことを目標とするが、そのためにはまず、パラグラフとは何か、どのような構成で組み立てられているか、といった基本的なことを英文を例に学んでいく。</p>
授業スケジュール	<p>前期 第1回、オリエンテーション 第2～14回、初めの内は2回の授業で1unit、慣れてきたらペースをあげる。 第15回、前期試験</p> <p>後期 具体的な授業スケジュールは、後期の最初の授業で指示する。</p>
準備学習	<p>前期/後期 必ず予習をして、前もって与えられた課題を調べて、問題点を明らかにしてクラスに臨むこと。</p>
履修上の留意点	<p>前期 予、復習を必ずすること。辞書は毎回持参のこと。 出席を重視します。</p> <p>後期 このクラスは演習形式で進めていくので、受講生の積極的な参加が不可欠である。出席については、基本的に全出席を原則とし、三分の二以上の出席が必須である。</p>
成績評価の方法	<p>前期 試験が70%、平常点が30%</p> <p>後期 後期定期試験(30%)、レポート(20%)、出席・平常点(30%)、プレゼンテーション(20%) それらを総合的に評価する。</p>
教科書/テキスト	<p>前期 Taboo Talk—Express Your Opinions on Controversial Topics Jonathan Lynch (Cengage Learning) ¥2205 ISBN 978-4-86312-205-5</p> <p>後期 テキストについては、9月の最初のクラスで指示する。</p>
参考書	

履修コード	239301
科目名	英語ⅠA
担当者名	大庭 直樹 相馬 美明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスは、前期と後期の担当者は異なります。 前期担当は相馬美明講師、後期は大庭直樹講師です。
---------------------	---

前期の講義内容
基本的に授業はリスニング主体で行なわれる。TOEFL・TOEIC などのリスニング・セクションの問題に加え、毎回、映画・音楽など多岐にわたる生の英語に触れながら聴解力を高めていく。最終的には自らの考えを自らのことばで伝えることを学ぶ。

後期の講義内容
この授業は、ライティングによる意思伝達技能を身につけることを主眼に置く。2、3行の英文を書くことから、更に進んでパラグラフ単位の英文を書くことを目指す。そのためにはまず、パラグラフとは何か、どのような構成で組み立てられているか、といった基本的なことを英文を例に学んでいく。そして次に、テーマを決めてパラグラフを書く訓練をしていくのだが、その際、その構成にしたがって単文で英文を書いていく。次に、それらの英文が論理的に繋がるよう、接続詞などをつかって、再構成する訓練をしていく。こうした訓練をさまざまなテーマで繰り返し行う。

授業スケジュール	<p>前期授業スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) インTRODクッション、年間計画、諸注意など (2) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ① (3) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions (4) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions), Film ③ (5) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④ (6) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer), Questions (7) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions), Film ⑤～⑥ (8) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False questions), Film ⑦ (9) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示 (10) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑧～⑨ (11) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨ (12) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩ (13) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出 (15) 授業総まとめ <p>後期授業スケジュール 具体的なスケジュールは、後期の最初の授業で指示する。</p>
----------	---

準備学習	<p>前期 学生は、自らの無限の可能性を信じ、積極的に授業に臨むこと。</p> <p>後期 必ず予習をして、前もって与えられた課題を調べて、問題点を明らかにしてクラスに臨むこと。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>前期 出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨ざしてもらいたい。</p> <p>後期 このクラスは演習形式で進めていくので、受講生の積極的な参加が不可欠である。したがって、必ず予習をして、前もって与えられた課題を調べて、問題点を明らかにしてクラスに臨むこと。</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>前期 定期試験 (40%)、レポート (10%)、出席・平常点 (40%)、プレゼンテーション (10%) それらを総合的に評価する。</p> <p>後期 後期定期試験 (30%)、レポート (20%)、出席・平常点 (40%)、プレゼンテーション (10%) それらを総合的に評価する。</p>
---------	---

教科書/テキスト	<p>前期 教科書は特に指定せず、毎回プリントを使用する。</p> <p>後期 テキストについては、9月の最初のクラスで指示する。</p>
----------	---

参考書	<p>前期 必要に応じ、適宜指示する。</p>
-----	-----------------------------

履修コード	235701
科目名	英語ⅠA
担当者名	大瀨 利春

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	日常会話レベルの英作文練習を通して、英作文能力と英会話の向上を目指す。
授業スケジュール	授業の最初に15分程度リスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。なるべく多くの英作文を行いたい。 具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。 前期 (1) Introduction (2) Asking for Repetition and Explanation (3) Natural Responses (4) Thanks and Apologies (5) Greeting and Farewells (6) Review (7) Making Appointments (8) Requests and Permission (9) Suggestions and Advice (10) Intentions and Wishes (11) Techniques for Carrying Conversation 1 (12) Techniques for Carrying Conversation 2 (13) College Life (14) Physical Appearance and Personality (15) Review 後期 (16) Introduction, Review (17) Friends and Dating (18) Health and Sports (19) Eating, Drinking, and Smoking (20) Review (21) Speaking on the Phone (22) Giving Directions (23) Overseas Travel 1 (24) Overseas Travel 2 (25) Studying Abroad (26) Review (27) Free English composition 1 (28) Free English composition 2 (29) Free English composition 3 (30) Review
準備学習	授業参加にはテキストの予習が必要。
履修上の留意点	辞書を持参してください。(電子辞書可)
成績評価の方法	前、後期試験の結果(7割)、課題、小テスト、授業参加度等の平常点(3割)。
教科書/テキスト	山口俊治、Timothy Minton、『The Road from Writing to Speaking』成美堂、1600円 ISBN4-7919-5026-7 C1082
参考書	

履修コード	240101
科目名	英語ⅠA
担当者名	尾形 重政
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基に英語の運用能力向上を目指します。文章表現の場合、文法を復習しながらセンテンス、さらにパラグラフへ、会話表現の場合、平易な日常基本表現から短いダイアログ、さらに様々な場面の会話表現の理解と運用能力を目指します。
授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合もあります。
準備学習	教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。 ②練習問題を解く。 ③知らない語句は辞書で確認しておく。
履修上の留意点	予習をしっかりとすること。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせません。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。
教科書/テキスト	
参考書	英和辞典を持参してください。
その他	全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてください

履修コード	347001
科目名	英語ⅠA
担当者名	荻野 一成

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	前期：これまで学習してきた文法事項のおさらいをしつつ、短い英文を繰り返し書くことによって、様々な表現力を身につけるベーシック・ステップ。特に中・高時代英語が苦手だった学生でも無理なく取り組めるよう、段階を追って練習する。
---------------------	--

後期：旅行やショッピングなど日常生活の様々なシーン別に、やや複雑な文章を書く。またトピックに連動した会話練習も行う。

正確な文章を書くことも大切だが、まずは「意見や考えを伝えられる文章」を書けるようにすることが最大の目標。一年後、意外にも幅広い文章が書けるようになっていくことに驚くだろう。

授業スケジュール	第1回・・・：キックオフ・セッション (ガイダンス) / 動詞 第2回・・・：進行形・未来形・助動詞 第3回・・・：名詞・冠詞・代名詞 第4回・・・：前置詞・接続詞 (1) 第5回・・・：形容詞・副詞・比較 第6回・・・：命令文・感嘆文 第7回・・・：不定詞 第8回・・・：インターバル・セッション (復習・確認) / 動名詞・分詞 第9回・・・：各種疑問文・Itの特別用法 第10回・・・：受動態 第11回・・・：完了形 第12回・・・：接続詞 (2) 第13回・・・：基本5文型 第14回・・・：仮定法 第15回・・・：関係代名詞/レビュー・セッション (復習・まとめ)
----------	---

- 第16回・・・：リターン・セッション (夏期課題提出など)
- 第17回・・・：I'm Going to Miss You! (送迎)
- 第18回・・・：Boarding Pass (空港で)
- 第19回・・・：Passport, Please (入国審査)
- 第20回・・・：Exchange Rate (両替)
- 第21回・・・：Single or Double (部屋の予約)
- 第22回・・・：Want to Get Together? (友人に会う)
- 第23回・・・：インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日
- 第24回・・・：Bus Stop (バスに乗る)
- 第25回・・・：Bikes for Hire (自転車)
- 第26回・・・：Tickets (チケット)
- 第27回・・・：Try It On (ショッピング)
- 第28回・・・：Sharp Picture! (電化製品の購入)
- 第29回・・・：I Have a Toothache! (歯医者予約)
- 第30回・・・：ラップアップ・セッション (総まとめ) / 年度末筆記試験

※予定は変更になる場合有り。初日のガイダンスで年間予定表を配布する。

準備学習	初日のキックオフ・セッション (ガイダンス) で詳しく指示する。
------	----------------------------------

履修上の留意点	予習・復習は必須。授業にはテキスト・筆記用具・辞書を必ず持参すること。授業への積極的な参加を求める。
---------	--

成績評価の方法	授業内小テスト、課題提出、年度末筆記試験 (70%)、出席点 (30%) による総合評価。特に、欠席が全体の3分の1以上をはるかに超えた場合には、試験の結果が良くても総合評価が60点未満になる場合があるので注意。
---------	--

教科書/テキスト	1. 佐藤哲三 他著 Prime for English Writing 大学生の英作文入門 (株)南雲堂 1600円 ISBN4-523-17474-1 2. 勿士ファーフルシス 他著 Active Communication (株)南雲堂 1300円 ISBN4-523-17424-5
----------	--

参考書	必要に応じて指示する。
-----	-------------

その他	YeStudyの活用有り。
-----	---------------

履修コード	234601
科目名	英語ⅠA
担当者名	風間 則比古
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。
授業スケジュール	パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を映画を鑑賞しながら学ぶ。1～3章ではアメリカの風土や生活を描いた作品を題材とする。4～14章ではさまざまなジャンルの作品を鑑賞し感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明。15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。
準備学習	前もって必ず予習しておくこと。
履修上の留意点	授業の予習をすること。辞書を持っていくこと。
成績評価の方法	授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。
教科書/テキスト	Unique English Composition (1), 成美堂
参考書	英文法書、各種辞書
その他	出席を重視しますので、休まないで必ず出席して下さい。

履修コード	235901
科目名	英語ⅠA
担当者名	風間 則比古
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。
授業スケジュール	パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を映画を鑑賞しながら学ぶ。1～3章ではアメリカの風土や生活を描いた作品を題材とする。4～14章ではさまざまなジャンルの作品を鑑賞し感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明。15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。
準備学習	必ず予習しておくこと。
履修上の留意点	授業の予習をすること。辞書を持っていくこと。
成績評価の方法	授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。
教科書/テキスト	Unique English Composition (1), 成美堂
参考書	英文法書、各種辞書
その他	出席を重視しますので、休まないで必ず出席して下さい。

履修コード	235611
科目名	英語ⅠA
担当者名	川崎 笑佳
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語能力を基盤として、英文による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業ではテキストや必要に応じて教員の準備したその他教材を使った指導を行い、英文パラグラフの構造を確認してもらいながら、基本的な英文からより効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEICやTOEFLなどを取り入れた小テストも毎回授業に取り入れる予定である。
授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14回：UNIT 1～14 第15、16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT 14～22 第30回：プリント使用の授業
準備学習	円滑な授業進行のためにも予習は必須である。年間のスケジュールをチェックし、当日の授業内容を事前に確認しておくこと。(スケジュールに細かい変更が生じた場合はその都度連絡する。)
履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提として授業を進める。事前の準備のない学生は欠席扱いとするのでそのつもりで授業に臨むこと。また、毎回授業の中で英作文を作成してもらうので辞書を必ず持ってくること。(電子辞書可)
成績評価の方法	授業態度(出席状況、発表内容、授業の内容に関する予習の有無を含む)40%、前期、後期に提出してもらうレポートの内容40%、各ユニットの確認テストの点数20%とする。
教科書/テキスト	黒川裕一『SUBJECT: E-MAIL-Writing Effective Messages 大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1995円 ISBN4-523-17396-6
参考書	

履修コード	240011
科目名	英語ⅠA
担当者名	川崎 笑佳

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語能力を基盤として、英文による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業ではテキストや必要に応じて教員の準備したその他教材を使った指導を行い、英文パラグラフの構造を確認してもらいながら、基本的な英文からより効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEICやTOEFLなどを取り入れた小テストも毎回授業に取り入れる予定である。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14回：UNIT 1～14 第15、16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT 14～22 第30回：プリント使用の授業
----------	--

準備学習	円滑な授業進行のためにも予習は必須である。年間のスケジュールをチェックし、当日の授業内容を事前に確認しておくこと。(スケジュールに細かい変更が生じた場合はその都度連絡する。)
------	---

履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提として授業を進める。事前の準備のない学生は欠席扱いとするのでそのつもりで授業に臨むこと。また、毎回授業の中で英作文を作成してもらうので辞書を必ず持ってくること。(電子辞書も可)
---------	---

成績評価の方法	授業態度(出席状況、発表内容、授業の内容に関する予習の有無を含む)40%、前期、後期に提出してもらうレポートの内容40%、各ユニットの確認テストの点数20%とする。
---------	--

教科書/テキスト	黒川裕一『SUBJECT: E-MAIL-Writing Effective Messages 大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1995円 ISBN4-523-17396-6
----------	---

参考書	なし
-----	----

履修コード	235401
科目名	英語ⅠA
担当者名	川崎 浩太郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 入学時の英語力を基礎として、英語運用能力を総合的に向上させるための授業です。 (到達目標) 様々な状況に応じて、より効果的に自分の気持ちや考えを表現できるようになることを目標とします。
---------------------	--

授業スケジュール	Emailや日常会話などで使われる口語的な表現を学び、日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていきます。TOEICのリスニングなども行う予定です。 第1回～第15回 教科書Unit 1～11 第16回～第30回 教科書Unit 12～22
----------	---

準備学習	次に行うユニットの例文等について分からない単語や表現があれば、必ず辞書で確認しておくこと。 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
------	---

履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。毎時間必ず辞書を持参して下さい。
---------	--

成績評価の方法	授業中の発表、態度50%、レポート50%の割合で総合的に評価します。
---------	------------------------------------

教科書/テキスト	黒川 裕一 『Subject:E-Mail—大学生のEメール英作文』 南雲堂 ¥1900(税別) ISBN4-523-17396-6
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	237701
科目名	英語ⅠA
担当者名	川崎 浩太郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 入学時の英語力を基礎として、英語運用能力を総合的に向上させるための授業です。 (到達目標) 様々な状況に応じて、より効果的に自分の気持ちや考えを表現できるようになることを目標とします。
---------------------	--

授業スケジュール	Emailや日常会話などで使われる口語的な表現を学び、日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。TOEICのリスニングなども行う予定です。 第1回～第15回 教科書Unit 1～11 第16回～第30回 教科書Unit 12～22
----------	---

準備学習	次に行うユニットの例文等について分からない単語や表現があれば、必ず辞書で確認しておくこと。 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
------	---

履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。毎時間必ず辞書を持参して下さい。
---------	--

成績評価の方法	授業中の発表、態度50%、レポート50%の割合で総合的に評価します。
---------	------------------------------------

教科書/テキスト	黒川 裕一 『Subject:E-Mail—大学生のEメール英作文』 南雲堂 ¥1900(税別) ISBN4-523-17396-6
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	234701
科目名	英語ⅠA
担当者名	吉川 直澄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基にして、英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。
---------------------	--

授業スケジュール	パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を 映画を鑑賞しながら学ぶ。本年度はアメリカの風土や文化、社会を描いた作品を鑑賞し、最終的には感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明、15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。
----------	---

準備学習	自分の好きな英語圏の映画(無論今年度授業で使用する作品が望ましい)のDVDを使用して、まず全体を日本語音声・英語字幕で観てみる。2,3分のシーンを今度は英語音声・英語字幕で注意して聞く。最後に英語音声で字幕無しで聴き、自分でも発音とアクセントをまねて練習してみる。
------	--

履修上の留意点	授業の予習をすること。辞書を持ってくること。
---------	------------------------

成績評価の方法	授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。
---------	---

教科書/テキスト	映画総合教材『ブラダを着た悪魔』松柏社 2200円 ISBN978-4-88198-636-3
----------	---

参考書	Warren Buckland, Teach yourself Film Studies, Teach Yourself, 2003.
-----	---

履修コード	236001
科目名	英語ⅠA
担当者名	吉川 直澄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基にして、英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄について自分の意見が書けるようになることを目的とする。
---------------------	--

授業スケジュール	パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を 映画を鑑賞しながら学ぶ。本年度はアメリカの風土や文化、社会を描いた作品を鑑賞し、最終的には感想を英語で書いてもらう。1回目には授業の説明、15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。
----------	---

準備学習	自分の好きな英語圏の映画(無論今年度授業で使用する作品が望ましい)のDVDを使用して、まず全体を日本語音声・英語字幕で観てみる。2,3分のシーンを今度は英語音声・英語字幕で注意して聞く。最後に英語音声で字幕無しで聴き、自分でも発音とアクセントをまねて練習してみる。
------	--

履修上の留意点	授業の予習をすること。辞書を持ってくること。
---------	------------------------

成績評価の方法	授業における発表、毎回提出する授業内提出物、前・後期の試験に基づいて総合的に判断する。
---------	---

教科書/テキスト	映画総合教材『ブラダを着た悪魔』松柏社 2200円 ISBN978-4-88198-636-3
----------	---

参考書	Warren Buckland, Teach yourself Film Studies, Teach Yourself, 2003.
-----	---

履修コード	237801
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。
授業スケジュール	前期、Unit1 School Life, Unit2 Part Time Job, Unit3 Movies, Unit4 Phone Calls, Unit5 TV Programs, Unit6 Future Plans 後期、Unit7 Music, Unit8 Sports, Unit9 Study Abroad, Unit10 Parties, Unit11 Traveling Overseas, Unit12 American and Japanese Cultures
準備学習	教科書でとりあげる話題について、どんなことを話すか、毎回準備をしてきてください。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	授業態度 発表などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書/テキスト	New Activator (金星堂)
参考書	開講時に適時指示、プリントを配布します。
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。教員所有のiPad、XBOX360、PS3を活用した授業をします。

履修コード	238201
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。
授業スケジュール	前期、Unit1 School Life, Unit2 Part Time Job, Unit3 Movies, Unit4 Phone Calls, Unit5 TV Programs, Unit6 Future Plans 後期、Unit7 Music, Unit8 Sports, Unit9 Study Abroad, Unit10 Parties, Unit11 Traveling Overseas, Unit12 American and Japanese Cultures
準備学習	教科書でとりあげる話題について、どんなことを話すか、毎回準備をしてきてください。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	授業態度 発表などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書/テキスト	New Activator (金星堂)
参考書	開講時に適時指示、プリントを配布します。
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。教員所有のiPad、XBOX360、PS3を活用した授業をします。

履修コード	238801
科目名	英語ⅠA
担当者名	熊沢 和明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。 平易な英会話の教科書を使い、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。
授業スケジュール	前期、Unit1 School Life, Unit2 Part Time Job, Unit3 Movies, Unit4 Phone Calls, Unit5 TV Programs, Unit6 Future Plans 後期、Unit7 Music, Unit8 Sports, Unit9 Study Abroad, Unit10 Parties, Unit11 Traveling Overseas, Unit12 American and Japanese Cultures
準備学習	教科書でとりあげる話題について、どんなことを話すか、毎回準備をしてきてください。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	授業態度 発表などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書/テキスト	New Activator (金星堂)
参考書	開講時に適時指示、プリントを配布します。
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。教員所有のiPad、XBOX360、PS3を活用した授業をします。

履修コード	233711
科目名	英語ⅠA
担当者名	小泉 和弘

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	世界の主要国を九つ選び、その国々の歴史、文化、経済等を学び、本文に出てきた表現を参考にしながら英作文を完成させていく。また、ディクテーションをおこない、英語を聞く練習をおこなう。
---------------------	---

授業スケジュール	1. ガイダンス 2. イギリス (1) 3. イギリス (2) 4. ドイツ (1) 5. ドイツ (2) 6. ドイツ (3) 7. ドイツ (4) 8. フランス (1) 9. フランス (2) 10. フランス (3) 11. フランス (4) 12. イタリア (1) 13. イタリア (2) 14. ビデオ学習 15. 試験 16. アメリカ (1) 17. アメリカ (2) 18. アメリカ (3) 19. アメリカ (4) 20. カナダ (1) 21. カナダ (2) 22. ロシア (1) 23. ロシア (2) 24. 中国 (1) 25. 中国 (2) 26. 日本 (1) 27. 日本 (2) 28. ビデオ学習 29. ビデオ学習 30. 試験
----------	--

準備学習	教科書の本文及び、練習問題を予習しておくこと。
------	-------------------------

履修上の留意点	毎回おそらくクラス全体の半数ほどの学生が指名され、こちらからの質問になんらかのかたちで答えることになろう。積極的かつ真摯な勉学姿勢を強く求める。
---------	--

成績評価の方法	①年間で数回おこなう予定の小テストの成績、②授業中の質疑応答の出来、③出席数などを柱とするが、詳しくは教室で説明する。
---------	---

教科書/テキスト	Major Countries In The World (鳳書房) (世界の主要国)
----------	--

参考書	場合に応じて教室で指示する。
-----	----------------

履修コード	236301
科目名	英語ⅠA
担当者名	古富 猛

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。
---------------------	--

授業スケジュール	テキストは平易な教材を用い、発音や表現に注意しつつ基礎的な単語・熟語・構文などの習得を図る。 前期は第1回オリエンテーション、第2回～3回文型、第3回～4回テキストのイントロダクション 第5回～9回the man from Australia, 第10～14回room for one more. 第15回～19回the foreign hotel, 第20回～25回half cup of tea, 第26～30回the five pound note
----------	--

準備学習	他の作品にあたること。
------	-------------

履修上の留意点	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくる。また英語の辞書 (電子辞書でも可) を必ず持参すること。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
---------	--

教科書/テキスト	Folktales and legends of England, 成美堂
----------	---------------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	237911
科目名	英語ⅠA
担当者名	古富 猛

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。
---------------------	--

授業スケジュール	テキストは平易な教材を用い、発音や表現に注意しつつ基礎的な単語・熟語・構文などの習得を図る。 前期は第1回オリエンテーション、第2回～3回文型、第3回～4回テキストのイントロダクション 第5回～9回the man from Australia, 第10～14回room for one more. 第15回～19回the foreign hotel, 第20回～25回half cup of tea, 第26～30回the five pound note
----------	--

準備学習	他の作品にあたること。
------	-------------

履修上の留意点	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくる。また英語の辞書 (電子辞書でも可) を必ず持参すること。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
---------	--

教科書/テキスト	Folktales and legends of England, 成美堂
----------	---------------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	237201
科目名	英語ⅠA
担当者名	平野 桃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	--

授業6、7回にわたり同一テーマの下、インターネットの記事やビデオを用いて読む、聞く訓練を行い、それらを基に書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。

授業スケジュール	<p>前期1：導入 2～7：グローバル社会①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：フェアトレード①～⑥ 15：理解度の確認</p> <p>後期1：導入 2～7：環境問題①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：グループプレゼンテーションの準備①～⑥ 15：グループプレゼンテーション本番</p>
----------	--

準備学習	yeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度の確認テスト3回（60%）、プレゼンテーション（20%）平常点（出席、授業態度等20%）
教科書／テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	

履修コード	237941
科目名	英語ⅠA
担当者名	平野 桃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	--

授業6、7回にわたり同一テーマの下、インターネットの記事やビデオを用いて読む、聞く訓練を行い、それらを基に書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。

授業スケジュール	<p>前期1：導入 2～7：グローバル社会①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：フェアトレード①～⑥ 15：理解度の確認</p> <p>後期1：導入 2～7：環境問題①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：グループプレゼンテーション準備①～⑥ 15：グループプレゼンテーション本番</p>
----------	---

準備学習	yeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度の確認テスト3回（60%）、プレゼンテーション（20%）平常点（出席、授業態度等20%）
教科書／テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	

履修コード	235501
科目名	英語ⅠA
担当者名	相馬 美明

授業概要/
到達目標 (ねらい)

基本的に授業はリスニング主体で行なわれる。TOEFL・TOEIC などのリスニング・セクションの問題に加え、毎回、映画・音楽など多岐にわたる生の英語に触れながら聴解力を高めていく。また、プレゼンテーションを通じ、最終的には自らの考えを自らのことばで伝えることを学ぶ。

授業スケジュール

- (1) イントロダクション、年間計画、諸注意など
- (2) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ①
- (3) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions
- (4) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions), Film ③
- (5) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④
- (6) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer), Questions
- (7) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions), Film ⑤～⑥
- (8) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False questions), Film ⑦
- (9) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示
- (10) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑧～⑨
- (11) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨
- (12) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩
- (13) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ
- (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出
- (15) 授業総まとめ
- (16) 後期予定確認, TOEFL Exercise 13 PART A, Wedding Ceremonies Expenses, We're All Alone
- (17) TOEFL Exercise 14 PART B, Excellent power of memory, Film ①
- (18) TOEFL Exercise 16 PART C, Coin changer, Film ①
- (19) TOEFL Exercise 17 PART A, Diplomacy, Film ①～②
- (20) TOEFL Exercise 18 PART B, プレゼンテーションについて指示、説明
- (21) TOEFL Exercise 19 PART C, Film ②, She's got a way.
- (22) TOEFL Exercise 20 PART A, Film ②～③
- (23) TOEFL Exercise 21 PART B, Film ③, The Story of O-TEI
- (24) TOEFL Exercise 22 PART C, Film ③～④
- (25) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ、力だめし
- (26) プレゼンテーション 1
- (27) プレゼンテーション 2
- (28) プレゼンテーション 3
- (29) 一年のまとめ、確認
- (30) 授業総まとめ

準備学習

学生は、自らの無限の可能性を信じ、積極的に授業に臨むこと。

履修上の留意点

出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨してもらいたい。

成績評価の方法

定期試験 (40%)、レポート (10%)、出席・平常点 (40%)、プレゼンテーション (10%) それらを総合的に評価する。

教科書/テキスト

教科書は特に指定せず、毎回プリントを使用する。

参考書

必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	236601
科目名	英語ⅠA
担当者名	相馬 美明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的に授業はリスニング主体で行なわれる。TOEFL・TOEIC などのリスニング・セクションの問題に加え、毎回、映画・音楽など多岐にわたる生の英語に触れながら聴解力を高めていく。また、プレゼンテーションを通じ、最終的には自らの考えを自らのことばで伝えることを学ぶ。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> (1) イントロダクション、年間計画、諸注意など (2) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ① (3) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions (4) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions), Film ③ (5) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④ (6) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer), Questions (7) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions), Film ⑤～⑥ (8) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False questions), Film ⑦ (9) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示 (10) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑧～⑨ (11) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨ (12) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩ (13) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ (14) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出 (15) 授業総まとめ (16) 後期予定確認, TOEFL Exercise 13 PART A, Wedding Ceremonies Expenses, We're All Alone (17) TOEFL Exercise 14 PART B, Excellent power of memory, Film ① (18) TOEFL Exercise 16 PART C, Coin changer, Film ① (19) TOEFL Exercise 17 PART A, Diplomacy, Film ①～② (20) TOEFL Exercise 18 PART B, プレゼンテーションについて指示、説明 (21) TOEFL Exercise 19 PART C, Film ②, She's got a way. (22) TOEFL Exercise 20 PART A, Film ②～③ (23) TOEFL Exercise 21 PART B, Film ③, The Story of O-TEI (24) TOEFL Exercise 22 PART C, Film ③～④ (25) TOEFL Exercise PART A-C まとめ、力だめし (26) プレゼンテーション 1 (27) プレゼンテーション 2 (28) プレゼンテーション 3 (29) 一年のまとめ、確認 (30) 授業総まとめ
----------	---

準備学習	学生は、自らの無限の可能性を信じ、積極的に授業に臨むこと。
履修上の留意点	出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨ざしてもらいたい。
成績評価の方法	定期試験 (40%)、レポート (10%)、出席・平常点 (40%)、プレゼンテーション (10%) それらを総合的に評価する。
教科書/テキスト	教科書は特に指定せず、毎回プリントを使用する。
参考書	必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	237901
科目名	英語ⅠA
担当者名	相馬 天明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的に授業はリスニング主体で行なわれる。TOEFL・TOEIC などのリスニング・セクションの問題に加え、毎回、映画・音楽など多岐にわたる生の英語に触れながら聴解力を高めていく。また、プレゼンテーションを通じ、最終的には自らの考えを自らのことばで伝えることを学ぶ。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>イントロダクション、年間計画、諸注意など</p> <p>(1) TOEFL Exercise 1 PART A, (True or False questions), Film ①</p> <p>(2) Film ①～②, Your Song (Background of the singer), Questions</p> <p>(3) TOEFL Exercise 2 PART B, Chimpanzee, (True or False questions), Film ③</p> <p>(4) TOEFL Exercise 3 PART C, Film ③～④</p> <p>(5) Film ④～⑤, Top of the world (Background of the singer), Questions</p> <p>(6) TOEFL Exercise 4 PART A, Halloween (True or False questions), Film ⑤～⑥</p> <p>(7) TOEFL Exercise 5 PART B, A certain story (True or False questions), Film ⑦</p> <p>(8) TOEFL Exercise 6 PART C, Film ⑧, レポート内容説明、指示</p> <p>(9) TOEFL Exercise 7 PART A, The sound of silence (Background of the singer), Film ⑧～⑨</p> <p>(10) TOEFL Exercise 8 PART B, Film ⑨</p> <p>(11) TOEFL Exercise 9 PART C, Film ⑨～⑩</p> <p>(12) TOEFL Exercise PART A-C, まとめ</p> <p>(13) Film まとめ、リスニングの最終確認、レポート提出</p> <p>(14) 授業総まとめ</p> <p>(15) 後期予定確認, TOEFL Exercise 13 PART A, Wedding Ceremonies Expenses, We're All Alone</p> <p>(16) TOEFL Exercise 14 PART B, Excellent power of memory, Film ①</p> <p>(17) TOEFL Exercise 16 PART C, Coin changer, Film ①</p> <p>(18) TOEFL Exercise 17 PART A, Diplomacy, Film ①～②</p> <p>(19) TOEFL Exercise 18 PART B, プレゼンテーションについて指示、説明</p> <p>(20) TOEFL Exercise 19 PART C, Film ②, She's got a way.</p> <p>(21) TOEFL Exercise 20 PART A, Film ②～③</p> <p>(22) TOEFL Exercise 21 PART B, Film ③, The Story of O-TEI</p> <p>(23) TOEFL Exercise 22 PART C, Film ③～④</p> <p>(24) TOEFL Exercise PART A-C まとめ、力だめし</p> <p>(25) プレゼンテーション 1</p> <p>(26) プレゼンテーション 2</p> <p>(27) プレゼンテーション 3</p> <p>(28) 一年のまとめ、確認</p> <p>(29) 授業総まとめ</p>
----------	---

準備学習	学生は、自らの無限の可能性を信じ、積極的に授業に臨むこと。
履修上の留意点	出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨ざしてもらいたい。
成績評価の方法	定期試験 (40%)、レポート (10%)、出席・平常点 (40%)、プレゼンテーション (10%) それらを総合的に評価する。
教科書/テキスト	教科書は特に指定せず、毎回プリントを使用する。
参考書	必要に応じ、適宜指示する。

履修コード	240201
科目名	英語ⅠA
担当者名	高橋 佳江

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を書くことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。
---------------------	--

授業スケジュール	概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。
----------	--

準備学習	わからない単語などは予め調べておくこと。
履修上の留意点	教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。
成績評価の方法	2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。
教科書/テキスト	初回の授業時に指示する。
参考書	
その他	必ず復習をすること。

履修コード	236101
科目名	英語ⅠA
担当者名	塚本 利男

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、ライティングのポイントをつかみ、身近で興味深い社会問題について自分の意見が書ける基礎を習得することを目標とする。
---------------------	---

授業スケジュール	1回 ガイダンス 2回 Unit 1 Overcoming Disasters 3回 Unit 2 Going Digital 4回 Unit 3 Judging Others 5回 Unit 4 Ping-pong Hero 6回 Unit 5 Marry Me, Robot 7回 Unit 6 Remember Not to Forget! 8回 Unit 7 Alienated on Earth 9回 Unit 8 Daylight Savings 10回 Unit 9 Society Service 11回 Unit 10 The First Lady 12回 Unit 11 Homesick for Earth 13回 Unit 12 'Anime' is English! 14回 Unit 13 Money & Taxes 15回 前期テスト 16回 前期テスト返却とその説明 17回 Unit 14 Individual Appeal 18回 Unit 15 Exercise against Stress! 19回 Unit 16 Social Networking 20回 Unit 17 Bob and Annie 21回 Unit 18 Paying with Plastic 22回 Unit 19 CCTV 23回 Unit 20 Galapagos Syndrome 24回 Unit 21 Finding and Finishing Employment 25回 Unit 22 Censorship 26回 Unit 23 Impatience! 27回 Unit 24 An Important Patient 28回 後期テスト 29回 後期テスト返却とその説明 30回 再テスト 授業の総仕上げとして毎回、授業の最後に小論文(30分)を書き提出してもらいます。
----------	---

準備学習	必ず予習をして出席すること。
------	----------------

履修上の留意点	出席を重視します。辞書(電子辞書)を持ってくること。
---------	----------------------------

成績評価の方法	発表などの平常評価(20%)、小論文(30%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
---------	--

教科書/テキスト	Writing Points! 『文法を活かす英文ライティング入門』 奥田隆一・Anthony Allan著 (株)金星堂 1,900円+税 ISBN978-4-7647-3939-0 C1082
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	236701
科目名	英語ⅠA
担当者名	塚本 利男

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、ライティングのポイントをつかみ、身近で興味深い社会問題について自分の意見が書ける基礎を習得することを目標とする。
---------------------	---

授業スケジュール	1回 ガイダンス 2回 Unit 1 Overcoming Disasters 3回 Unit 2 Going Digital 4回 Unit 3 Judging Others 5回 Unit 4 Ping-pong Hero 6回 Unit 5 Marry Me, Robot 7回 Unit 6 Remember Not to Forget! 8回 Unit 7 Alienated on Earth 9回 Unit 8 Daylight Savings 10回 Unit 9 Society Service 11回 Unit 10 the First Lady 12回 Unit 11 Homesick for Earth 13回 Unit 12 'Anime' is English! 14回 Unit 13 Money & Taxes 15回 前期テスト 16回 前期テスト返却とその説明 17回 Unit 14 Individual Appeal 18回 Unit 15 Exercise against Stress! 19回 Unit 16 Social Networking 20回 Unit 17 Bob and Annie 21回 Unit 18 Paying with Plastic 22回 Unit 19 CCTV 23回 Unit 20 Galapagos Syndrome 24回 Unit 21 Finding and Finishing Employment 25回 Unit 22 Censorship 26回 Unit 23 Impatience! 27回 Unit 24 An Important Patient 28回 後期テスト 29回 後期テスト返却とその説明 30回 再テスト 授業の総仕上げとして毎回、授業の最後に小論文(30分)を書き提出してもらいます。
----------	---

準備学習	必ず予習をして出席すること。
------	----------------

履修上の留意点	出席を重視します。辞書(電子辞書)を持ってくること。
---------	----------------------------

成績評価の方法	発表などの平常評価(20%)、小論文(30%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
---------	--

教科書/テキスト	Writing Points! 『文法を活かす英文ライティング入門』 奥田隆一・Anthony Allan著 (株)金星堂 1,900円+税 ISBN978-4-7647-3939-0 C1082
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	234001
科目名	英語ⅠA
担当者名	勅使河原 三保子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要：テキストを用い、基礎的な文法項目を復習しながら英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）を統合的に訓練する。授業3回で2ユニットのペースを進める。 到達目標：高校までに学習した文法項目を復習し、より確実に使えるものとする。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	---

授業スケジュール	前期1：導入 2～7：ユニット1～4 8：理解度の確認 9～14：ユニット5～8 15：理解度の確認 後期1～6：ユニット9～12 8：理解度の確認 7～12：ユニット13～16 13～14：1年間の復習 15：理解度の確認
----------	---

準備学習	テキスト付属のCDやYeStudyを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度の確認テスト4回（80%）、小テスト（10%）、授業態度（5%）、YeStudy活用（5%）
教科書／テキスト	1) Manuel Dos Santos 2) "Mega Goal 2" 3) McGraw-Hill 4) ¥1,995 5) 9780071324250

参考書	
-----	--

履修コード	239801
科目名	英語ⅠA
担当者名	勅使河原 三保子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要：授業6、7回にわたり同一テーマの下、インターネットの記事やビデオを用いて読む・聞く訓練を行い、それらを基に書く・話す訓練を行い、テストで締めくくる。 到達目標：高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	前期1：導入 2～7：グローバル社会①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：フェアトレード①～⑥ 15：理解度の確認 後期1：導入 2～7：環境問題①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：グループプレゼンテーション準備①～⑥ 15：グループプレゼンテーション本番
----------	--

準備学習	YeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度の確認テスト3回（60%）、プレゼンテーション（20%）、平常点（授業態度、小テスト、授業外のYeStudy利用等20%）
教科書／テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	

履修コード	238301
科目名	英語ⅠA
担当者名	手島 敬子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	本授業では、日常生活において実際に活用できる自然で正確な「ライティング」能力を習得することを目指します。単なる単語の置き換え、日本文から英文への置き換えに陥りがちな「英作文」を避けるために、身近なテーマを教材に、日常生活で使用される口語英語を「書く」「聞く」「話す」というあらゆる面から学ぶことで、段階的に自然な表現を身につけていきます。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 : ガイダンス 第2回～第14回 : Unit 1からUnit 10まで進める予定 第15回 : 前期末試験 第16回 : 答案返却と解説 第17回～第29回 : Unit 11からUnit 20まで進める予定 第30回 : 後期末試験
----------	---

準備学習	授業は予習を前提に進めていきます。また、学習したことへの理解を発展させるために、Unit終了時に次回授業までのタスクが課されます。従って、受講者は教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。
------	--

履修上の留意点	2/3以上の授業出席と前期・後期末試験の受験が評価の必要条件になります。
---------	--------------------------------------

成績評価の方法	前期・後期末試験 (50～60%)、タスク (30～40%)、授業参加度 (10～20%) に基づき、総合的に評価を行います。
---------	---

教科書/テキスト	村田和代/大谷麻美著 『新・発信型英作文』 マクミランランゲージハウス 2、100円 ISBN 978-4-7773-6416-9
----------	--

参考書	特になし。 必要に応じプリント配布。
-----	--------------------

履修コード	347101
科目名	英語ⅠA
担当者名	照山 雄彦

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>概要 自らの考えを英語で表現する力を養うことを目的とするが、その前提となる基本語彙、基本構文を学習しつつ、英語表現能力の獲得を目指す。そのための素材として、きわめて今日的な話題に関する英文の理解とその話題についての各自の意見を英語で表現する能力の養成を図るものとする。</p> <p>目標 日本人と英米人の間には、概念の相違による思考、意志の表現に違いがあり、またそれぞれの生得の語感に異なった部分がある。本授業では英語を正しく理解するための基礎とその運用能力をめざす。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容の説明、Unit1 2. Unit2 3. Unit3 4. Unit4 5. Unit5 6. Unit6 7. Unit7 8. Unit8 9. Unit9 10. Unit10 11. Unit11 12. Unit12 13. unit13 14. まとめ 15. 理解度の確認 16. prologue 17. The awakening 18. Starting a new life 19. The stalker 20. The road a head 21. At Oxbridge airport 22. A long hard search 23. Brooding time 24. The old photograph 25. Meeting the principal 26. Confronting the hardtruth 27. The letter from the past 28. Departure for the future 29. まとめ 30. 理解度の確認
----------	--

準備学習	基礎知識として大切ですからよく復習、予習をすること。毎回の授業の後で小テストをするのでできるだけ休まないようにすること。
履修上の留意点	授業内容の説明をしますので、第一日めは必ず出席すること。実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること、疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること
成績評価の方法	出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。
教科書／テキスト	授業の第1日めに教場にて紹介する。
参考書	授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	233701
科目名	英語ⅠA
担当者名	外池 一子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに身につけた英語力を基礎として、より高度な英語運用能力を身につけることをめざします。授業はテキストを中心に進めますが、会話に必要なリスニング能力の強化にも力を入れ、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>春学期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと小作文 2-3. 英語発音の基礎 4-5. Animals and Language 6-7. Ethnic Food 8. Review 9-10. Great Destinations 11-12. Natural Disasters 13-14. Extreme Adventures 15. Review
----------	--

秋学期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 春学期最終試験の返却と復習 2-3. Business 4-5. Great Explorers 6-7. Insects 8. Review 9-10. Global Warming 11-12. Underwater World 13-14. Traditions and Rituals 15. Review
-----	--

準備学習	毎週必ず予習をして出席すること。 また、春学期・秋学期ともに授業の進度に合わせて小テストを行うので、毎週復習を欠かさないこと。
------	--

履修上の留意点	<p>辞書を持ってくること。</p> <p>出席日数が3分の2以上の履修者のみが成績評価の対象となるが、予習をしていない場合は出席とみなさないので注意してください。</p>
---------	--

成績評価の方法	春学期と秋学期の2度の定期試験（70%）と、出席、小テスト、提出物、発表などの平常点（30%）から総合的に評価します。 特に出席状況や授業態度を重視し、出席日数が3分の2に満たない場合は定期試験の受験資格を失うので注意すること。
---------	---

教科書／テキスト	開講時に指示します。
----------	------------

参考書	
-----	--

その他	コンピューター教室を利用する場合があるので、第1回目の授業からIDとパスワードを使えるようにしておくこと。忘れた場合は授業を受けられない可能性があるため、十分注意すること。また、授業関連の連絡や練習問題、課題提出などにはYeStudyを利用するので、授業開始前に使い方を覚えておくこと。
-----	---

履修コード	236201
科目名	英語ⅠA
担当者名	永野 光一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語による意志伝達(ライティングとスピーキング)の基礎的な力を養成。入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。
---------------------	--

授業スケジュール	Q&Aやペア/グループ・ワークなどの聞く・話す活動や、センテンスやパラグラフを書く活動などを行う。(1) Orientation (2-8) Overcoming Disasters, Going Digital, Judging Others, Ping-Pong Hero, Marry Me, Robot, Remember Not to Forget!, Reflection & Writing 1, Oral Presentation 1, (9-15) Alienated on Earth, Daylight Savings, Society Service, The First Lady, Homesick for Earth, 'Anime' is English!, Reflection & Writing 2, Oral Presentation 2 (16) Summer Vacation (17-23) Money & Taxes, Individual Appeal, Exercise against Stress!, Social Networking, Bob and Annie, Playing with Plastic, Reflection & Writing 3, Oral Presentation 3 (24-30) CCTV, Galapagos Syndrome, Finding and Finishing Employment, Censorship, Impatience!, An Important Patient, Reflection & Writing 4
----------	--

準備学習	前回授業内容の復習をし小テストの準備をすること。
------	--------------------------

履修上の留意点	授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。
---------	---

成績評価の方法	出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。小テストとライティングや発表などの課題の成績を入れて総合的に評価。
---------	--

教科書/テキスト	Okuda, Takaichi and Allan, Anthony. (2012). "Writing Points!: Basic Grammar for Better Writing." (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3939-0 C1082
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	238401
科目名	英語ⅠA
担当者名	萩原 輝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では今までに学んできた、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語による意志伝達能力を向上させることをめざす。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回: イントロダクション第2回から第14回: 基本的な文法項目の説明や英作文の練習を数多くした後、2回程スピーチをしてもらう予定。第15回: 前期試験 第16回から第29回: 本文の精読、基本文法・語法の説明をしながら、本文の内容に関連したスピーチを2回程してもらう。第30回: 後期試験
----------	---

準備学習	単語の意味は、自分で英和辞典を使って調べてくること。授業の復習は、なるべくその日の内に行い、習った内容を身に付けて欲しい。
------	---

履修上の留意点	・必ず、英和・和英辞書を持参のこと。(電子辞書可) ・原則として、全授業数の三分の一以上を欠席すると単位を取得できません。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期の試験の結果60%、授業態度30%、提出物10%で評価します。
---------	--------------------------------------

教科書/テキスト	A Visit to Amazing Kansai-based Companies 『英語で知る日本の企業秘話』 井上 治 他著 (松柏社) ISBN978-4-88198-663-9
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	239001
科目名	英語ⅠA
担当者名	萩原 輝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では今までに学んできた、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語による意志伝達能力を向上させることを目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回：イントロダクション第2回から第14回：基本的な文法項目の説明や英作文の練習を数多くした後に、2回程スピーチをしてもらう予定。第15回：前期試験 第16回から第29回：本文の精読、基本文法・語法の説明をしながら、本文の内容に関連したスピーチを2回程してもらう。第30回：後期試験
----------	---

準備学習	単語の意味は、自分で英和辞典を使って調べてくること。授業の復習は、なるべくその日の内に行い、習った内容を身に付けて欲しい。
------	---

履修上の留意点	1. 必ず、英和・和英辞典を持参のこと。(電子辞書可) 2. 原則として、全授業数の三分の一以上欠席すると単位を取得出来ません。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期の試験結果60%、授業態度30%、提出物10%で評価します。
---------	-------------------------------------

教科書/テキスト	A Visit to Amazing Kansai-based Companies 『英語で知る日本の企業秘話』 井上 治他著 (松柏社) ISBN978-4-88198-663-9
----------	---

参考書	適宜、授業中に提示します。
-----	---------------

その他	
-----	--

履修コード	347211
科目名	英語ⅠA
担当者名	萩原 輝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では今までに学んできた、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語による意志伝達能力を向上させることを目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回：イントロダクション第2回から第14回：基本的な文法項目の説明や英作文の練習を数多くした後に、2回程スピーチをしてもらう予定。第15回：前期試験 第16回から第29回：本文の精読、基本文法・語法の説明をしながら、本文の内容に関連したスピーチを2回程してもらう。第30回：後期試験
----------	---

準備学習	新出単語は自分で辞書を引いて調べてくること。授業の復習はなるべくその日の内に短時間でよいからして欲しい。
------	--

履修上の留意点	1. 必ず、英和・和英辞典を持参のこと。(電子辞書可) 2. 原則として、全授業数の三分の一以上欠席すると単位を取得出来ません。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期試験の結果60%、授業態度30%、提出物10%、で評価します。
---------	--------------------------------------

教科書/テキスト	A Visit to Amazing Kansai-based Companies 『英語で知る日本の企業秘話』 井上 治他著 (松柏社) ISBN978-4-88198-663-9
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	240021
科目名	英語ⅠA
担当者名	濱口 真木
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。
授業スケジュール	テキストは平易な教材を用い、発音や表現に注意しつつ基礎的な単語・熟語・構文などの習得を図る。 前期 第1回 オリエンテーション、第2～3回 Unit1、第4～5回 Unit2、第6～7回 Unit3、第8～9回 Unit4、第10～11回 Unit5、第12～13回 Unit6、第14回 前期のまとめ、第15回 前期テスト 後期 第1～3回 Unit7、第4～5回 Unit8、第6～7回 Unit9、第8～9回 Unit10、第10～11回 Unit11、第12～13回 Unit12、第14回 後期のまとめ、第15回 後期テスト
準備学習	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくること。
履修上の留意点	テキスト、ノート、英語の辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
教科書／テキスト	The World Watches Japan 南雲堂 1,900円+税
参考書	

履修コード	239701
科目名	英語ⅠA
担当者名	ピアス, D. M.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	This advances students to a moderate speaking ability. The method of the course is to render students active throughout the ninety-minute period. Conversational practice in quotidian situations such as banking, telephone, and business will continuously introduce new vocabulary and appropriate speech patterns. Students will improve their English composition and aural comprehension by correcting materials they themselves have produced. Conversation practice is crucial for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. There will be short lectures on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.
---------------------	--

授業スケジュール	SCHEDULE OF TOPICS
	CLASS 1 Conversation
	CLASS 2 Conversation
	CLASS 3 Ranking
	CLASS 4 Ranking
	CLASS 5 Opinions
	CLASS 6 Opinions
	CLASS 7 Gratitude
	CLASS 8 Gratitude
	CLASS 9 Modesty
	CLASS 10 Modesty
	CLASS 11 Politics
	CLASS 12 Politics
	CLASS 13 Liberty
	CLASS 14 Liberty
	CLASS 15 Wages
	CLASS 16 Wages
	CLASS 17 Marriage
	CLASS 18 Marriage
	CLASS 19 Youth
	CLASS 20 Youth
	CLASS 21 Wealth
	CLASS 22 Wealth
	CLASS 23 Honesty
	CLASS 24 Honesty
	CLASS 25 Submission
	CLASS 26 Submission
	CLASS 27 Ambition
	CLASS 28 Ambition
	CLASS 29 Scholarship
	CLASS 30 Scholarship

準備学習	Class preparation: The course proceeds exactly according to the series of topics in the textbook. You can prepare for the upcoming class by reading the first five pages, starting from the last exercise of the class.
------	---

履修上の留意点

成績評価の方法	ATTENDANCE: Speaking ability is directly proportional to the amount of practice. We wish that you would participate in all the classes, although allowance will be made for marriages, funerals, interviews, illness, and sporting events.
---------	--

EVALUATION: Small assessments of your English ability will be made sporadically throughout the year, but there will be no large final exams.

FINAL ASSESSMENT:

The final evaluation of your English ability depends 70% on your improvement on comparison with your ability in the first class.

教科書/テキスト	Textbook and materials: We will probably use Sociological Investigation, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2011, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test: do not buy the text until after the first class.
----------	--

参考書

履修コード	238501
科目名	英語ⅠA
担当者名	広川 治

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 映画のセリフと歌の歌詞を教材として用いて、会話表現を中心とする英語表現を学んでいく。 (到達目標) 会話表現や英語自体に慣れ親しんでいくことを目標とする。
---------------------	---

授業スケジュール	映画や歌のプリントを配布して授業を進める。何の映画、歌を取り上げるかについては、受講者の人数、男女比を確認し、初回にアンケートを行ってから決めて発表する。映画や演劇のレポートを課題とすることもある。
----------	---

<前期>

1. ガイダンス、アンケート
2. 歌 3. 歌
4. 映画 (1) 5. 映画 (2) 6. 映画 (3) 7. 映画 (4) 8. 映画 (5)
9. 歌
10. 中間テスト (映画)
11. 歌 12. 歌
13. 期末テスト (歌)
14. 前期成績発表
15. 再テスト

<後期>

1. 歌 2. 歌
3. 映画 (1) 4. 映画 (2) 5. 映画 (3) 6. 映画 (4) 7. 映画 (5)
8. 歌
9. 中間テスト (映画)
10. 歌 11. 歌
12. 期末テスト (歌)
13. 歌
14. 年間成績発表
15. 再テスト

準備学習	必要に応じて授業時に指示する。
------	-----------------

履修上の留意点	遅刻も欠席扱いとしてカウントしていくほか、授業中の居眠りなど、授業に集中して参加していない者は、欠席扱いとする。特に、隠れて携帯や他の授業の予習、読書などを行っている者は、出席と偽って参加していない不正行為、すなわちカンニング(cheating)に等しいので、発覚時点で出席停止、単位不可とするので注意。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期の試験。出席・遅刻状況。その他の受講態度。病気、あるいは部活動の大会等で欠席が増える場合でも、年間で3分の1の欠席まで。
---------	---

教科書/テキスト	プリント配布。
----------	---------

参考書	
-----	--

履修コード	234101
科目名	英語IA
担当者名	福田 一貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要)入学時の英語を基礎とし、英語運用能力の向上を目指す。 (到達目標)これまでに学んだことを用いて、英文を正確に読み取り、聞き取れるようにする。次に、読み取った英文を応用し、正確な英文を書くことができるようになることを目指す。前期・後期2つずつ、こちらが配布するハンドアウトに基づいて上記の内容を行っていく。また、英作文の基礎として、基本例文の暗記テストを毎回実施する。
---------------------	--

授業スケジュール	(前期) 1. イントロダクション 2. ハンドアウト1の読解、聞き取り、作文練習その1 3. ハンドアウト1の読解、聞き取り、作文練習その2 4. ハンドアウト1の読解、聞き取り、作文練習その3 5. ハンドアウト1の読解、聞き取り、作文練習その4 6. ハンドアウト1の読解、聞き取り、作文練習その5 7. ハンドアウト1の復習 8. ハンドアウト2の読解、聞き取り、作文練習その1 9. ハンドアウト2の読解、聞き取り、作文練習その2 10. ハンドアウト2の読解、聞き取り、作文練習その3 11. ハンドアウト2の読解、聞き取り、作文練習その4 12. ハンドアウト2の読解、聞き取り、作文練習その5 13. ハンドアウト2の復習 14. 予備日 15. 前期試験 (後期) 16. 前期講評 17. ハンドアウト3の読解、聞き取り、作文練習その1 18. ハンドアウト3の読解、聞き取り、作文練習その2 19. ハンドアウト3の読解、聞き取り、作文練習その3 20. ハンドアウト3の読解、聞き取り、作文練習その4 21. ハンドアウト3の読解、聞き取り、作文練習その5 22. ハンドアウト3の復習 23. ハンドアウト4の読解、聞き取り、作文練習その1 24. ハンドアウト4の読解、聞き取り、作文練習その2 25. ハンドアウト4の読解、聞き取り、作文練習その3 26. ハンドアウト4の読解、聞き取り、作文練習その4 27. ハンドアウト4の読解、聞き取り、作文練習その5 28. ハンドアウト4の復習 29. 予備日 30. 後期試験
----------	--

準備学習	必ずノートを用意してほしい。1つの英文を扱い終わる度に、ノートを提出してもらう。授業には、必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。また、授業内で単語テストを行うので、復習をすること。
------	--

履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないと試験の受験資格を失う。
---------	------------------------------

成績評価の方法	期末テスト(70%)、平常点(出席、授業態度等10%)、ノート提出(5%)、授業内での小テスト(15%)
---------	--

教科書/テキスト	配付物
----------	-----

参考書	なし
-----	----

履修コード	234901
科目名	英語ⅠA
担当者名	福田 一貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要)入学時の英語を基礎とし、英語運用能力の向上を目指す。 (到達目標)これまでに学んだことを用いて、英文を正確に読み取り、聴き取れるようにする。次に、読み取った英文を応用し、正確な英文を書くことができるようになることを目指す。前期・後期2つずつ、こちらが配布するハンドアウトに基づいて上記の内容を行っていく。また、英作文の基礎として、基本例文の暗記テストを毎回実施する。
---------------------	--

授業スケジュール	(前期) 1. イントロダクション 2. ハンドアウト1の読解、聴き取り、作文練習その1 3. ハンドアウト1の読解、聴き取り、作文練習その2 4. ハンドアウト1の読解、聴き取り、作文練習その3 5. ハンドアウト1の読解、聴き取り、作文練習その4 6. ハンドアウト1の読解、聴き取り、作文練習その5 7. ハンドアウト1の復習 8. ハンドアウト2の読解、聴き取り、作文練習その1 9. ハンドアウト2の読解、聴き取り、作文練習その2 10. ハンドアウト2の読解、聴き取り、作文練習その3 11. ハンドアウト2の読解、聴き取り、作文練習その4 12. ハンドアウト2の読解、聴き取り、作文練習その5 13. ハンドアウト2の復習 14. 予備日 15. 前期試験 (後期) 16. 前期講評 17. ハンドアウト3の読解、聴き取り、作文練習その1 18. ハンドアウト3の読解、聴き取り、作文練習その2 19. ハンドアウト3の読解、聴き取り、作文練習その3 20. ハンドアウト3の読解、聴き取り、作文練習その4 21. ハンドアウト3の読解、聴き取り、作文練習その5 22. ハンドアウト3の復習 23. ハンドアウト4の読解、聴き取り、作文練習その1 24. ハンドアウト4の読解、聴き取り、作文練習その2 25. ハンドアウト4の読解、聴き取り、作文練習その3 26. ハンドアウト4の読解、聴き取り、作文練習その4 27. ハンドアウト4の読解、聴き取り、作文練習その5 28. ハンドアウト4の復習 29. 予備日 30. 後期試験
----------	--

準備学習	必ずノートを用意してほしい。1つの英文を扱い終わる度に、ノートを提出してもらう。授業には、必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。また、授業内で単語テストを行うので、復習をすること。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないと試験の受験資格を失う。
成績評価の方法	期末テスト(70%)、平常点(出席、授業態度等10%)、ノート提出(5%)、授業内での小テスト(15%)
教科書/テキスト	配付物
参考書	なし

履修コード	233801
科目名	英語ⅠA
担当者名	富士川 美紀

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	The goal of this class is to: 1 improve your overall English skills and review grammar & important vocabulary 2 learn practical English
---------------------	---

We will do the following activities in class: ①review basic grammar and English composition ② learn basic vocabulary used in our daily lives ③listen to a variety of English listening materials

授業スケジュール	【前期】
	第1回 Orientation and self-introduction
	第2回 文の成り立ち+ Vocabulary 1
	第3回 文の種類 + Vocabulary 2
	第4回 動詞 + Vocabulary 3
	第5回 5文型 + Vocabulary 4
	第6回 現在形・過去形 + Vocabulary 5
	第7回 未来形 + Vocabulary 6
	第8回 助動詞 + Vocabulary 7
	第9回 進行形 + Vocabulary 8
	第10回 完了形 + Vocabulary 9
	第11回 受動態 + Vocabulary 10
	第12回 不定詞 + Vocabulary 11
	第13回 動名詞 + Vocabulary 12
	第14回 分詞 + Vocabulary 13
	第15回 Midterm exam

	【後期】
	第1回 Orientation + 前期の復習 + Vocabulary 14
	第2回 名詞・冠詞 + Vocabulary 15
	第3回 代名詞 + Vocabulary 16
	第4回 形容詞 + Vocabulary 17
	第5回 副詞 + Vocabulary 18
	第6回 前置詞 + Vocabulary 19
	第7回 接続詞 + Vocabulary 20
	第8回 疑問詞 + Listening training 1
	第9回 関係詞 + Listening training 2
	第10回 比較 + Listening training 3
	第11回 否定 + Listening training 4
	第12回 仮定法 + Listening training 5
	第13回 プリント演習 + 後期復習
	第14回 プリント演習 + 後期復習
	第15回 Final exam

準備学習	Please come to class well-prepared.
履修上の留意点	Students are expected to attend regularly and participate actively in classwork. Excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
成績評価の方法	Students will be evaluated and graded as follows : (1) attendance, classwork and homework assignments (40%); (2) midterm & final exams (60%)
教科書/テキスト	小中 秀彦 著「Basic Grammar for Everyday Writing 会話作文のための復習英文法」朝日出版社、1800円+税 ISBN978-4-255-15389-6 * Other learning materials will be handed out in class.
参考書	・「A Shorter Course in Everyday Vocabulary Quizzes 5分間日常基本英単語・熟語1000」佐藤 誠司 著、南雲堂 ・「A Shorter Course in Practical Grammar 5分間実践英文法」小池 直己/佐藤 誠司 著、南雲堂
その他	Don't be afraid of speaking in English! Let's enjoy learning English!

履修コード	347201
科目名	英語ⅠA
担当者名	本田 崇洋

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校まで基本的な英文法を復習して確実に物にするようにする。英語の論理性や特性、日本語との違いを学びながら、ライティングのこつを学んでいく。テキストに沿ってその都度、単語テストや小テストを行い、英作文の向上をはかる。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回年間授業計画、テキスト、予習の方法、成績評価などについての説明</p> <p>第2回Chapter1 Talking about Myself</p> <p>第3回Chapter2 A Day in My Life</p> <p>第4回Chapter3 My Family</p> <p>第5回Chapter4 My Town and Neighborhood</p> <p>第6回Chapter5 My Likes and Interests</p> <p>第7回Chapter6 The Joy of Shopping</p> <p>第8回Chapter7 My Campus Life</p> <p>第9回Chapter8 My kind of Career</p> <p>第10回Chapter9 Romance, Dating and Marriage</p> <p>第11回Chapter10 Fashion and Trends</p> <p>第12回Chapter11 Travels and Correspondence</p> <p>第13回Chapter12 Sports and Entertainment</p> <p>第14回前期のまとめ、復習、質問など</p> <p>第15回定期試験</p> <p>第16回前期定期テストの結果、後期授業の計画などについての説明</p> <p>第17回Chapter13 Education Issues</p> <p>第18回Chapter14 The Environment and Our Life</p> <p>第19回Chapter15 Health and Dieting</p> <p>第20回Chapter16 Religions and Customs</p> <p>第21回第22回Chapter17 Marketing and Economics</p> <p>第23回第24回Chapter18 Society and Its Problems</p> <p>第25回第26回Chapter19 Media and Journalism</p> <p>第27回第28回Chapter20 Society in the Future</p> <p>第29回後期のまとめ、復習、質問など</p> <p>第30回定期試験</p>
----------	---

準備学習	単語の意味、発音記号を調べ、テキスト内の問題を解き、必ず予習をして授業にでること。
------	---

履修上の留意点	辞書を必携のこと
---------	----------

成績評価の方法	定期試験60% 平常点(出席回数、授業態度、小テスト)40%をもとに総合評価する。ただし、単位取得には三分の二以上の出席を前提とする。
---------	---

教科書/テキスト	テキスト:「English Writing for Global Communication -グローバル社会の英作文」 安達一美他、金星堂、定価2100円
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	238101
科目名	英語I A
担当者名	本間 俊一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。</p> <p>学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する表現能力を養えるようにする。</p> <p>教材として、映画映像を利用し、音声で理解・表現する力を養う。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>4月 ガイダンス</p> <p>4月中旬～7月 Text Unit1～Unit4 の学習</p> <p>7月後半 前期授業内テスト</p> <p>9～11月 Text Unit5～Unit12の学習</p> <p>12月 後期授業内テスト</p>
----------	--

準備学習	授業前に、次回学習する内容を予習し、疑問点を明らかにして、講義にのぞむように努力したい。
------	--

履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
---------	---

成績評価の方法	<p>前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。</p> <p>授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、授業外でもパソコン・ネットワークを利用して、提出可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。</p>
---------	--

教科書/テキスト	The Third Man『第三の男』 (朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15335-3
----------	--

参考書	
-----	--

その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。 USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。
-----	---

履修コード	240031
科目名	英語ⅠA
担当者名	松堂 啓子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法を確認しながら、語彙、表現力を固め、短い英文を書けることを目指さず。
---------------------	--

授業スケジュール	二回の授業で、一章分テキストを進める予定です。
----------	-------------------------

- 1 ガイダンス
- 2 Amber (1)
- 3 Amber (2)
- 4 Material World (1)
- 5 Material World (2)
- 6 Symbol (1)
- 7 Symbol (2)
- 8 Review
- 9 The Maori (1)
- 10 The Maori (2)
- 11 Manatees (1)
- 12 Manatees (2)
- 13 Followers of Fashion (1)
- 14 Followers of Fashion (2)
- 15 Review
- 16 Food (1)
- 17 Food (2)
- 18 Water (1)
- 19 Water (2)
- 20 The Marsh Arabs (1)
- 21 The Marsh Arabs (2)
- 22 Review
- 23 Stepping Out (1)
- 24 Stepping Out (2)
- 25 Medicine (1)
- 26 Medicine (2)
- 27 The Saami (1)
- 28 The Saami (2)
- 29 Penguin Feather Fabric
- 30 Review

準備学習	語句の意味、発音等を確認する。
履修上の留意点	出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
成績評価の方法	試験90%、平常点10%で評価する。
教科書/テキスト	『やさしい英語で学ぶBBCドキュメンタリー』（成美堂）2,300円 ISBN4-7919-1038-9
参考書	

履修コード	235601
科目名	英語ⅠA
担当者名	真砂 久晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法的に正しく、読み手に明確に伝わる言い方を選んで英文が書けることをねらいとしていきます。
---------------------	---

授業スケジュール	(1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。 もしテキストが入荷していない場合は、注文しておくこと。 (2)～(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ。 (15) 前期末テスト (16)～(28) テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
----------	--

準備学習	言うまでもなく、テキストの予習と復習が重要であるが、特に予習は怠りなくすること。
履修上の留意点	出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。
成績評価の方法	前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%)＋テスト(75%)＝100%となる。詳細は最初の授業で説明する。
教科書/テキスト	「Matrix—A Systematic Approach to Writing English— <発信する英語ライティング入門>」 (金星堂) 1900円 (税別)
参考書	

履修コード	239401
科目名	英語ⅠA
担当者名	三木 望

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 授業6、7回にわたり同一テーマの下、インターネットの記事やビデオを用いて読む・聞く訓練を行い、それらを基に書く・話す訓練を行い、テストで締めくくる。 (到達目標) 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	前期1: 導入 2~7: グローバル社会①~⑥ 8: 理解度の確認 9~14: フェアトレード①~⑥ 15: 理解度の確認 後期1: 導入 2~7: 環境問題①~⑥ 8: 理解度の確認 9~14: グループプレゼンテーション準備①~⑥ 15: グループプレゼンテーション本番
----------	--

準備学習	YeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
------	---------------------------------------

履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
---------	-------------------------------

成績評価の方法	理解度の確認テスト3回 (60%)、プレゼンテーション (20%)、平常点 (出席、授業態度等20%)
---------	---

教科書/テキスト	配付物およびオンライン資料
----------	---------------

参考書	
-----	--

履修コード	235621
科目名	英語ⅠA
担当者名	水崎 野里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎として実用英語の運用能力の向上を目指します。具体的には口語英作文の練習を積みます。日常生活でこの状況には英語でどう対応するか？
---------------------	---

授業スケジュール	テキストは一クラス一課を目標とします。口語英作文、日常会話の英語練習に励みます。前期は(1)オリエンテーション・教科書前半・前期試験、後期は引き続き教科書を学んで行き、最後は後期試験。
----------	--

なお、教科書の進行具合では教授用DVDを使用します。映像と英語・日本語訳の確認練習、英語のヒアリング練習をします。

準備学習	できれば予習が望ましい。
------	--------------

履修上の留意点	積極的な授業参加を希望します。辞書を必ず持ってきて下さい。
---------	-------------------------------

成績評価の方法	出席率・授業参加度・前期後期二度の試験・授業態度などを総合して評価します。
---------	---------------------------------------

教科書/テキスト	「コミュニケーションのための口語英作文」(成美堂)
----------	---------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	237101
科目名	英語ⅠA
担当者名	水崎 野里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語でコミュニケーションをするために必要な基礎的な例文の習得を目指します。
授業スケジュール	<p>[講義内容] 教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、自由に応用出来る練習を積んでいきます。</p> <p>[授業スケジュール] 前期： 第1週 Orientation 第2週～14週 教科書を一課ずつ学んでいきます。 第15週 前期試験 後期： 第15週～29週 教科書残り。応用練習。 第30週 後期試験</p>
準備学習	できれば予習が望ましい。
履修上の留意点	積極的な授業参加をお願いします。辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末での二度の試験に出席率・授業態度・授業参加度などを総合して評価します。
教科書/テキスト	「E-メール英作文」(南雲堂)
参考書	
その他	授業の進行具合によってはDVDを使用します。日常会話の英語のヒアリングと日本語への転換を確認します。

履修コード	239501
科目名	英語ⅠA
担当者名	矢島 直子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要： 授業6, 7回にわたり同一テーマのもと、インターネットの記事やビデオを用いて読む・聞く訓練を行い、それを基に書く・話す訓練を行い、テストで締めくくる。</p> <p>到達目標： 高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。</p>
授業スケジュール	<p>前期 1：導入、2～7：グローバル社会①～⑥、8：理解度の確認、9～14：フェアトレード①～⑥、15：理解度の確認</p> <p>後期 1：導入、2～7：環境問題①～⑥、8：理解度の確認、9～14：グループプレゼンテーション準備①～⑥、15：グループプレゼンテーション本番</p>
準備学習	YeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度の確認テスト3回(60%)、プレゼンテーション(20%)、平常点(20%)
教科書/テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	

履修コード	236401
科目名	英語ⅠA
担当者名	山口 晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎として、英語の運用力を養います。英吾による意思伝達を授業の中で考えていきます。
授業スケジュール	英文のテキストを毎回ていねいに検討していきます。
準備学習	プリントはあらかじめ配っておきますので、各自でまず一回予習してください。これはとても大切です。授業の中で、ほかの人の発表に耳を澄まし、自分の予習した内容との相違を考えてください。
履修上の留意点	<p>三分の二以上の出席が必要です。</p> <p>授業には必ず英和・和英の辞書を持ってきてください。</p> <p>遅刻すると、発表の機会がなくなるにもなりますので、遅刻のないようにしてください。</p>
成績評価の方法	出席、発表、レポートによる総合評価をします。
教科書/テキスト	プリントを配布します。
参考書	授業の中で、随時紹介します。

履修コード	237001
科目名	英語ⅠA
担当者名	吉沢 栄治郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	短い和文を英訳してゆきます。和文英訳力を高めることをねらいとします。ごく日常的な日本語を英訳してゆきます。一回の授業につき通常6題の和文を英語に直す練習をしてゆきます。いろいろの訳例があるとおもいますが、そのうちの一つは確実に覚えるようにしたいものです。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第一回 オリエンテーション chap.1 nouns I</p> <p>第二回 chap.1 nouns 1-II</p> <p>第三回 chap.2 nouns II (A)</p> <p>第四回 chap.2 nouns B 1-3</p> <p>第五回 chap.3 nouns III A 1-5, nouns B 6-7</p> <p>第六回 chap.3 nouns B 1-4</p> <p>第七回 chap.4 personal pronouns A 1-5</p> <p>第八回 chap.4 personal pronouns B 1-3</p> <p>第九回 chap.4 personal pronouns B 4</p> <p>第九回 chap.5 demonstrative pronouns A 1-5</p> <p>第十回 chap.5 demonstrative pronouns B 1-4</p> <p>第十一回 chap.6 indefinite pronouns A 1-6</p> <p>第十二回 chap.6 definitive pronouns B 1-5</p> <p>第十三回 chap.7 relative pronouns A 1-6</p> <p>第十四回 chap.7 relative pronouns B 1-4</p> <p>第十五回 総括質問受け付け</p>
----------	---

後期

第一回
chap.7 relative pronouns B 5-6 chap.8 adjectives I A 1-4

第二回
chap.8 adjectives B 1-3

第三回
chap.9 adjectives II A 1-5

第四回
chap.9 adjectives B 1-4

第五回
chap.10 comparisons A 1-6

第六回
chap.10 comparisons B 1-4

第七回
chap.11 relative adverbs A 1-6

第八回
chap.11 relative adverbs A&B 11-4

第九回
chap.12 present tense 1-6

第十回
chap.12 present tense B 1-4

第十一回
chap.13 past tense A 1-6

第十二回
chap.13 past tense B 1-4

第十三回
chap.14 future tense A 1-6

第十四回
chap.14 future tense B 1-4

第十五回
統括質問受け付け

準備学習	なるべく予習をしておいてください。
履修上の留意点	和英辞典をこまめに使用して下さい。
成績評価の方法	試験は評価全体の5割、レポートが3割、平常点は2割。以上を原則とし、若干の微調整をおこなう。

教科書／テキスト 増田綱 編 「新大学英作文」成美堂

参考書

履修コード 238901

科目名 英語I A

担当者名 渡辺 彰子

授業概要/
到達目標 (ねらい)

授業概要

世界中の企業やビジネスに関し平易な英語でビジネスを読み、ビジネスへの見識を深める。
また、国際的な話題に触れながらlistening, speaking, reading, writingの英語運用能力を身につける。興味のあるビジネスに関して、グループを作りディスカッションを行う。

到達目標

1. 英語を用いて世界中の企業やビジネスを知ること、日本から世界へと視野を広げる。
2. 英語のlistening, speaking, reading, writing運用能力をつける。
ビジネスに関連した語彙や英語表現を使用し、コンセプトを表現できる、要旨を解説できる。
会話表現の場合、ダイアログからディスカッションへと発展させる。
3. 英語でビジネスについて紹介ができる。
これらの到達目標達成のために、各トピックに関連する記事を事前に収集し、自ら考察したうえで授業に臨むことにより、より深い理解ができることを期待する。

授業スケジュール

1. Sony
2. Gucci
3. Sam Walton: Wal-Mart
4. IKEA
5. Andrew Carnegie
6. Anita Roddick
7. Google Power
8. Amazon
9. Azim Premji
10. Skype
11. eBay
12. Starbucks Around the World
13. -15. Group Presentation
16. Lenobo
17. MTN
18. Apple' s iPod
19. BHP Billiton
20. Richard Branson
21. New Coke
22. Big Airlines in Big Trouble
23. A Bankruptcy of Trust 1: Enron
24. A Bankruptcy of Trust 2: Arthur Andersen
25. The Fall of Barings Bank
26. -30. Group presentation

準備学習

準備学習は授業内及びYeStudyで連絡をするので、毎回必ず確認し予習をすること。
授業内容に関連したHPを取り扱う場合は、関連したメディアに目を通しておくこと。
各トピックに関する重要単語は確認をするので、毎回復習を怠らないこと。
課題は期限内に提出すること。

履修上の留意点

予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法

各トピック終了後に課せられる課題（グループワークを含む）60%、
レポート（年2回出題）20%、
平常点（トピックで使用された単語の確認、授業内での発表や発言などを含む）20%

教科書／テキスト

Andrew E. Bennett, 嶋林 昭治, Sean A. White 『Bottom Line Business Stories』成美堂
ISBN : 978-4-7919-5083-6 C1082 1,995円

参考書

履修コード	234401
科目名	英語ⅠA
担当者名	渡部 孝治

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の総合的な力を高めることを目的とする。slash reading-sight translation (直読直解・同時通訳方式) をマスターさせたい。この方式によって英文を速く読み、理解することを目指す。またリスニングも同じ方式 (slash listening) を取り入れてリスニング力の向上もはかりたい。加えて英語的な表現を身につけるように心がけたい。前期は精読・精聴中心で、文法事項についても詳しく解説する。後期は速読・速聴中心に進める。同時に基本的な英語表現を学ばせる。
---------------------	--

授業スケジュール	使用する教材の内容に沿って、slash reading, slash listening をマスターさせ、基本的な文法事項にも留意させ、英語表現力の向上をはかる。前期一文法事項に詳しく触れ、精読・精聴を中心に進める。後期一速読・速聴を中心に進め、英語表現力を高める。
----------	---

準備学習	授業時に当てていきますのでテキストの予習を必ずしておくこと。
------	--------------------------------

履修上の留意点	授業時できるだけ多くの人に当てていきますのであらかじめ全員が予習を必ずしておくこと。辞書 (電子辞書) を持参のこと。
---------	---

成績評価の方法	出席状況 (実授業回数の少なくとも 2/3 以上の出席が原則)、平常点 (授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト) 及び前期・後期試験による。
---------	---

教科書/テキスト	開講時に指示する
----------	----------

参考書	英和中辞典 (電子辞書)
-----	--------------

履修コード	235801
科目名	英語ⅠA
担当者名	渡部 孝治

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法・構文の基礎を確認しながら英語の力総合的な力を伸ばし、それらの知識を英語でのコミュニケーションに活かす力を身につけることを目標とします。slash reading, slash listening もマスターしていきます。
---------------------	---

授業スケジュール	英語表現における考え方や文の構造について、読むこと・書くこと両面から理解を深めます。slash reading (意味のまとまりごとの読み方)、slash listening (意味のまとまりごとの聞き方) もマスターしていきます。前期は基礎的なものを中心に、後期はその応用の発展を目指します。
----------	---

準備学習	授業時に当てていきますのでテキストの予習を必ずしておくこと。
------	--------------------------------

履修上の留意点	毎回、辞書を必ず持参してください。授業時にできるだけ多くの人に当てていきますので、必ず全員が予習をやっていること。
---------	---

成績評価の方法	前・後期末の試験の結果と小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数の 3 分の 2 以上の出席を基本要件とします。
---------	---

教科書/テキスト	開講時に指示する。
----------	-----------

参考書	開講時に指示する。
-----	-----------

履修コード	233901
科目名	英語ⅠA
担当者名	梶台 七重
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業ではピーナッツの漫画を基に、語彙のスペリング、英作文、基本動詞を使った口語表現、300-400字の社会的文化的なリーディングで実践的な語彙力を培う。また、漫画から示唆される比較文化的なトピックや問題に親しむことも目標とします。
授業スケジュール	1回目 授業概要説明 2-3回目 Lesson1 Body Language 4-5回目 Lesson2 Lucy's Psychiatry Stand 6-7回目 Lesson3 Friend Forever 8回目 Lucy's football trick ① 9-10回目 Lesson4 Peanuts as a Social Group 11-12回目 Lesson5 Schroeder the Music Lover 13-14回目 Lesson6 Girls in Peanuts 15回目 Lucy's football trick ② 16-17回目 Lesson7 Sally and her Legal Beagle 18-19回目 Lesson8 Linu's Security Blanket 20-21回目 Lesson9 Crabby Lucy 22-23回目 Lesson10 Someday My Great Pumpkin Will Come 24回目 Lucy's football trick ③ 25-26回目 Lesson11 Good Grief! It's Valentine's Day 27-28回目 Lesson12 The Life and Work of Charles Schulz 29-30回目 まとめ 補足
準備学習	予習必須。わからない単語は必ず辞書を引いて調べておくこと。
履修上の留意点	予習前提で授業を進めます。
成績評価の方法	試験 (前期・後期) 50%、平常点 (授業内の発表、発言・態度) 50%
教科書/テキスト	外山晴子著、'Enjoy English with Charlie Brown and Friends' (『ピーナッツで学ぶ英語と比較文化』)、株式会社南雲堂、¥2,100+税、ISBN 978-4-523-175841 c0082
参考書	

履修コード	240211
科目名	英語ⅠA [基礎英語特別クラス]
担当者名	落合 和昭

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はリスニングの中で使用されている語彙や慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する(一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある)。</p> <p>到達目標としては、このクラスのレベルは英語の基礎から中級(英検、三級、準二級、二級、準一級)程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、リスニングを通して学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>年間の授業計画は次の通りである。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 第一回 オリエンテーション 第二回 『TOEIC』 UNIT 1 第三回 『ヒアリング』 UNIT 1 第四回 『TOEIC』 UNIT 2 第五回 『ヒアリング』 UNIT 2 第六回 『TOEIC』 UNIT 3 第七回 『ヒアリング』 UNIT 3 第八回 『TOEIC』 UNIT 4 第九回 『ヒアリング』 UNIT 4 第十回 『TOEIC』 UNIT 5 第十一回 『ヒアリング』 UNIT 5 第十二回 『TOEIC』 UNIT 6 第十三回 『ヒアリング』 UNIT 6 第十四回 『TOEIC』 UNIT 8 第十五回 前期のまとめ </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 第十六回 『ヒアリング』 UNIT 7 第十七回 『TOEIC』 UNIT 9 第十八回 『ヒアリング』 UNIT 8 第十九回 『TOEIC』 UNIT 10 第二十回 『ヒアリング』 UNIT 9 第二十一回 『TOEIC』 UNIT 11 第二十二回 『ヒアリング』 UNIT 10 第二十三回 『TOEIC』 UNIT 12 第二十四回 『TOEIC』 UNIT 13 第二十五回 『TOEIC』 UNIT 14 第二十六回 プリント 第二十七回 プリント 第二十八回 プリント 第二十九回 プリント 第三十回 後期のまとめ </td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table>	第一回 オリエンテーション 第二回 『TOEIC』 UNIT 1 第三回 『ヒアリング』 UNIT 1 第四回 『TOEIC』 UNIT 2 第五回 『ヒアリング』 UNIT 2 第六回 『TOEIC』 UNIT 3 第七回 『ヒアリング』 UNIT 3 第八回 『TOEIC』 UNIT 4 第九回 『ヒアリング』 UNIT 4 第十回 『TOEIC』 UNIT 5 第十一回 『ヒアリング』 UNIT 5 第十二回 『TOEIC』 UNIT 6 第十三回 『ヒアリング』 UNIT 6 第十四回 『TOEIC』 UNIT 8 第十五回 前期のまとめ	第十六回 『ヒアリング』 UNIT 7 第十七回 『TOEIC』 UNIT 9 第十八回 『ヒアリング』 UNIT 8 第十九回 『TOEIC』 UNIT 10 第二十回 『ヒアリング』 UNIT 9 第二十一回 『TOEIC』 UNIT 11 第二十二回 『ヒアリング』 UNIT 10 第二十三回 『TOEIC』 UNIT 12 第二十四回 『TOEIC』 UNIT 13 第二十五回 『TOEIC』 UNIT 14 第二十六回 プリント 第二十七回 プリント 第二十八回 プリント 第二十九回 プリント 第三十回 後期のまとめ	
第一回 オリエンテーション 第二回 『TOEIC』 UNIT 1 第三回 『ヒアリング』 UNIT 1 第四回 『TOEIC』 UNIT 2 第五回 『ヒアリング』 UNIT 2 第六回 『TOEIC』 UNIT 3 第七回 『ヒアリング』 UNIT 3 第八回 『TOEIC』 UNIT 4 第九回 『ヒアリング』 UNIT 4 第十回 『TOEIC』 UNIT 5 第十一回 『ヒアリング』 UNIT 5 第十二回 『TOEIC』 UNIT 6 第十三回 『ヒアリング』 UNIT 6 第十四回 『TOEIC』 UNIT 8 第十五回 前期のまとめ	第十六回 『ヒアリング』 UNIT 7 第十七回 『TOEIC』 UNIT 9 第十八回 『ヒアリング』 UNIT 8 第十九回 『TOEIC』 UNIT 10 第二十回 『ヒアリング』 UNIT 9 第二十一回 『TOEIC』 UNIT 11 第二十二回 『ヒアリング』 UNIT 10 第二十三回 『TOEIC』 UNIT 12 第二十四回 『TOEIC』 UNIT 13 第二十五回 『TOEIC』 UNIT 14 第二十六回 プリント 第二十七回 プリント 第二十八回 プリント 第二十九回 プリント 第三十回 後期のまとめ			

※ 上記の『TOEIC』は使用テキストの『TOEICテスト・サブプリメントイディオム・ボキャブラリー』、『ヒアリング』は使用テキスト『大学英語ヒアリングのエッセンス』を指す。

準備学習	<p>翌週のテキストの箇所に、わからない単語や表現があれば、必ず、辞書を引き、意味を明らかにしておくこと。また、音読することも忘れないこと。ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしてこよう。</p>
履修上の留意点	<p>出席が3分の2を越えない場合は、「不合格」となるので、注意をすること。授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取るのので、学生の積極的な参加を求める。なお、リスニングと発音練習は毎回行う。</p>
成績評価の方法	<p>前期のまとめ(20%)、後期のまとめ(20%)、授業(ミニ・テスト、発表、課題等)(60%)。</p>
教科書/テキスト	<p>1) 小池直巳 『TOEICテスト・サブプリメントイディオム・ボキャブラリー』 南雲堂 700円 ISBN978-4-523-17550-6 C0082 2) Wayne I. Phillips 『大学英語ヒアリングのエッセンス』 朝日出版社 900円 ISBN4-255-15252-3 C1082 3) プリント</p>
参考書	

履修コード	240221
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 英語による意志伝達(Writing and/or Speaking)に必要な文法・語法の基礎を習得し、英語の運用能力を高める。 テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。 (到達目標) より高度な英語運用能力を習得するために、高校までに学習した英語を復習・再確認することで、基礎を定着させる。
---------------------	---

授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 オリエンテーション・実力テスト ・第2回 Unit1 ・第3回 Unit2 ・第4回 Unit3 ・第5回 Unit4 ・第6回 Unit5 ・第7回 Unit6 ・第8回 Unit7 ・第9回 Unit8 ・第10回 Unit9 ・第11回 Unit10 ・第12回 Unit11 ・第13回 Unit12 ・第14回 確認プリント ・第15回 理解度の確認 (小テスト) ・第16回 自由英作文・実力テスト ・第17回 Unit13 ・第18回 Unit14 ・第19回 Unit15 ・第20回 Unit16 ・第21回 Unit17 ・第22回 Unit18 ・第23回 Unit19 ・第24回 Unit20 ・第25回 Unit21 ・第26回 Unit22 ・第27回 Unit23 ・第28回 確認プリント ・第29回 確認プリント ・第30回 理解度の確認 (小テスト)
----------	--

※基本的に1回に1ユニットずつ進む。

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・次週の授業範囲のユニットを必ず予習する。 (単語の意味調べ・和訳・英訳・エクササイズ等を終わらせておく。) ・辞書をひく習慣をつける。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 ・授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(50%)と平常点(50%)から総合的に評価する。 ・授業態度を重視する。(平常点に含まれる。)
教科書/テキスト	『基礎からの英語入門<改訂新版>』(南雲堂)1,900円+税
参考書	

履修コード	240231
科目名	英語ⅠA [基礎英語特別クラス]
担当者名	ピアス. D. M.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	The course is career-oriented. Speaking English is the final proof of your English ability; you will learn to speak English well enough to make a good impression.
---------------------	--

授業スケジュール	SCHEDULE OF TOPICS
	CLASS 1 Addressing people
	CLASS 2 Addressing people
	CLASS 3 Social hierarchy
	CLASS 4 Social hierarchy
	CLASS 5 Self expression
	CLASS 6 Self expression
	CLASS 7 Gift-giving
	CLASS 8 Gift-giving
	CLASS 9 Informality
	CLASS 10 Informality
	CLASS 11 News coverage
	CLASS 12 News coverage
	CLASS 13 Personal freedom
	CLASS 14 Personal freedom
	CLASS 15 Consumption
	CLASS 16 Consumption
	CLASS 17 Courtship
	CLASS 18 Courtship
	CLASS 19 Adolescence
	CLASS 20 Adolescence
	CLASS 21 Social classes
	CLASS 22 Social classes
	CLASS 23 Candor
	CLASS 24 Candor
	CLASS 25 Authority
	CLASS 26 Authority
	CLASS 27 Employment
	CLASS 28 Employment
	CLASS 29 Politicians
	CLASS 30 Politicians

準備学習	Class preparation: The course proceeds exactly according to the series of topics in the textbook. You can prepare for the upcoming class by reading the first five pages, starting from the last exercise of the class.
------	---

履修上の留意点	
成績評価の方法	PARTICIPATION: It would be best if you could participate in all of the classes, but allowance is made for marriages, funerals, interviews, sports events, and illness.

EVALUATIONS: Small sporadic evaluations will be made throughout the year, but there will be no major examination at the end of the course.

FINAL ASSESSMENT: The final evaluation of your English ability depends 70% on your improvement as compared with your ability in the first class.

教科書/テキスト	Textbook and materials: We will probably use Sociological Investigation, Adam Pelagius, Themis Research Group, 2011. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class.
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	346901
科目名	英語IA [基礎英語特別クラス]
担当者名	渡辺 彰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上を目指す。 センテンスからパラグラフへと多様な英語表現を身につけると共に、英文法の復習を行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を用いて考え、日本から世界へと視野を広げる。 2. 英語のlistening, speaking, reading, writing運用能力をつける。 トピックに関連した語彙や英語表現を使用し、コンセプトを表現できる、要旨を解説できる。 3. 英語で自分の主張を述べる。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非人称主語 (impersonal subjects) を使った構文 (1) 2. 非人称主語 (impersonal subjects) を使った構文 (2) 3. 仮定法 4. 発話動詞 (say, tell, talk, speak) 5. 否定詞 6. 形容詞構文 (1) 7. 形容詞構文 (2) 8. 名詞構文 9. 時制——過去と過去完了 10. 接続詞 11. 助動詞 12. 感覚・認識動詞 13. -15. まとめ 16. 比較級 (1) 17. 比較級 (2) 18. 代名詞 19. 進行形 20. 文修飾副詞 21. 'when' の2つの用法 22. 使役動詞 23. 総合演習 24. -26. まとめ 27. -30. プレゼンテーション
----------	--

準備学習	<p>準備学習は授業内及びYeStudyで連絡をするので、毎回必ず確認し予習をすること。 授業内容に関連したHPを取り扱う場合は、関連したメディアに目を通しておくこと。 各トピックに関する重要単語は確認をするので、毎回復習を怠らないこと。 課題は期限内に提出すること。</p>
------	--

履修上の留意点

成績評価の方法	<p>各トピック終了後に課せられる課題（グループワークを含む）60%、レポート（年2回出題）20%、 平常点（毎回行われるトピックに関わる単語の確認、授業内での発表や発言などを含む）20%</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>富岡龍明、James Hill『Read Better to Write Better』金星堂 2205円 ISBN4-7647-3757-4</p>
----------	--

参考書

履修コード	291901 291902
科目名	英語IA 英語IC (会話) [再クラス]
担当者名	飯沼 好永

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、様々な英語表現の練習を行っていきます。テキストの各Unitとプリントを2週単位で進みます。</p>
----------	---

準備学習	<p>辞書で単語を調べるときに、意味だけでなく品詞も確認しながら、英文の構造を理解することを心がけてください。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。</p>
---------	-------------------------------

成績評価の方法	<p>成績は、定期試験（6割）、出席状況、授業への取り組み方、課題（4割）を基本に行います。</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>登美博之/Gordon Bateson編著 English Writing Using Everyday Expressions 朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5</p>
----------	--

参考書

履修コード	292001 292002
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	石原 孝哉
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の基本的な構造を、構文、句型などを中心に学習します。作文、語彙、発音、アクセント、リスニング、などを含めて全体的な基礎力向上を目指します。
授業スケジュール	【前期】 イギリスの歴史に隠された実話を教材に総合的な英語力の向上を目指します。1, Self-introduction 2, Barmy Britons 3, 4, Island Invaders 5, 6, Miserable Middle Ages—1 7, 8, Miserable Middle Ages—2 9, 10, Creepy Country 11, 12, Batty Beliefs and Curious Customs 13, 14, The Revolting English—15, Revolting English 2 【後期】 1, 2, Terrible Tudors and Slimy Stuarts —1 3, 4, Terrible Tudors and Slimy Stuarts—2 5, 6 Cruel Criminals—1 7, 8 Cruel Criminals—2 9, 10, Cruel Criminals—3 11, 12, Gorgeous Georgians and Vile Victorians—1 13, 14, Gorgeous Georgians and Vile Victorians—2 15, Woe for Workers
準備学習	教科書をよく予習しておいて出席してください。
履修上の留意点	教科書には付録のDVDが付いています。利用にはコンピューターがあると便利です。レポートを重視します。
成績評価の方法	前期末、後期末のテストの結果ばかりでなく、出席、レポート、平常点験などを総合評価します。
教科書/テキスト	Horrible Histories ENGLAND 南雲堂、2000円
参考書	随時指示します。

履修コード	291601 291602
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	伊藤 美代子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	コミュニケーションに必要な最低限の文法事項を、実際に「使う」ことを経験しながら学ぶ。文法の修得だけでなくスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、発音矯正も行い、語彙の拡大にも勤め総合的な英語力の強化をめざす。
---------------------	---

授業スケジュール	できる限り英語を使用して実際に英語を使うことを経験する。ただし、構文等の説明には日本語を使用する。1単元を1回半の授業で終了する。
----------	---

前期:

Lesson 1: Introduction
Lesson 2: Unit 1
Lesson 3: Units 1-2
Lesson 4: Unit 2
Lesson 5: Unit 3
Lesson 6: Units 3-4
Lesson 7: Unit 4
Lesson 8: Review of Units 1-4
Lesson 9: Unit 5
Lesson 10: Units 5-6
Lesson 11: Unit 6
Lesson 12: Unit 7
Lesson 13: Units 7-8
Lesson 14: Unit 8
Lesson 15: Review of Units 5-8

後期:

Lesson 16: Check on Summer Homework
Lesson 17: Unit 9
Lesson 18: Units 9-10
Lesson 19: Unit 10
Lesson 20: Unit 11
Lesson 21: Units 11-12
Lesson 22: Unit 12
Lesson 23: Review of Units 9-12
Lesson 24: Unit 13
Lesson 25: Units 13-14
Lesson 26: Unit 14
Lesson 27: Unit 15
Lesson 28: Unit 15-16
Lesson 29: Unit 16
Lesson 30: Review of Units 13-16

*なお上記は状況により変更の可能性あり。

準備学習	予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。
履修上の留意点	予習が絶対条件。また、公欠、忌引等正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席したものは単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。
教科書/テキスト	English Grip (金星堂)
参考書	

履修コード	292301 292302
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	大淵 利春
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語のリスニング力、ライティング力、および発音の向上を目指す。
授業スケジュール	<p>テキストの練習問題を解いていくことを中心に進める。また、テキストとは別にプリントを用いて、ライティングの練習も行う。具体的なスケジュールは以下の通り。</p> <p>前期 (1) Course Introduction (2) Learn English through Jazz and Pops (3) Fly Me to the Moon (4) When You Wish upon a Star (5) Autumn Leaves (6) Writing Practice 1 (7) Misty (8) I Left My Heart in San Francisco (9) Writing practice 2 (10) The Nearness of You (11) All of You (12) Writing Practice 3 (13) Smile (14) Writing Practice 4 (15) Review</p> <p>後期 (16) Review, Introduction (17) If (18) Because (19) Writing Practice 5 (20) Every Breath You Take (21) Review (22) Writing Practice 6 (23) What a Wonderful World (24) A Song for You (25) Review (26) That's What Friends are for (27) Writing Practice 7 (28) Writing Practice 8 (29) Writing Practice 9 (30) Review</p>
準備学習	必ず予習をする。 わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達している場合のみ、評価の対象となる。
成績評価の方法	年2回(前期後期)の定期試験(70%)と小テスト、提出物、課題、発表などの平常点(30%)から総合的に評価する。
教科書/テキスト	Emi Itoi, Chiyo Hayashi, Shinya Kano, 『Learn English through Jazz and Pops』 金星堂 2300円 ISBN 978-4-7647-3928-4
参考書	

履修コード	354601 354602
科目名	英語ⅠA 英語ⅠB [再クラス]
担当者名	杉本 誠

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>世界の文化、政治経済、情報、教育、科学、環境、娯楽、スポーツなどのあらゆる分野のニュースを通してReading, Listening, Speaking, Writingのバランスのとれた英語運用力を養うことを目的とする。</p> <p>授業では、英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主眼をおきます。さらに、練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目指します。</p> <p>(到達目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばす。 2. 英文に現れる語彙、文型を身に付ける。 3. 平明ながら正確な英文が構築できる。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 授業方針の説明</p> <p>第2回 Unit 1 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第3回 Unit 1 練習問題</p> <p>第4回 Unit 2 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第5回 Unit 2 練習問題</p> <p>第6回 Unit 3 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第7回 Unit 3 練習問題</p> <p>第8回 Unit 4 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第9回 Unit 4 練習問題</p> <p>第10回 Unit 5 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第11回 Unit 5 練習問題</p> <p>第12回 Unit 6 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第13回 Unit 6 練習問題</p> <p>第14回 Unit 1 ~ 6 までの総復習、まとめ</p> <p>第15回 前期末試験</p> <p>第16回 Unit 7 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第17回 Unit 7 練習問題</p> <p>第18回 Unit 8 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第19回 Unit 8 練習問題</p> <p>第20回 Unit 9 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第21回 Unit 9 練習問題</p> <p>第22回 Unit 10 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第23回 Unit 10 練習問題</p> <p>第24回 Unit 11 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第25回 Unit 11 練習問題</p> <p>第26回 Unit 12 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第27回 Unit 12 練習問題</p> <p>第28回 Unit 7 ~ 9 までの総復習、まとめ、小テスト</p> <p>第29回 Unit 10 ~ 12 までの総復習、まとめ、小テスト</p> <p>第30回 後期末試験</p>
----------	--

準備学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各ユニットごとに英文の大意をまとめること。 2. 質問箇所を明記しておくこと。
履修上の留意点	かならず毎時間の予習が必要である。
成績評価の方法	前・後期試験 (50%)、小テスト (40%)、プレゼンテーションと出席率 (10%) で評価する。
教科書/テキスト	『1/2版: ニュースメディアの英語2012年度版』 (朝日出版) 1,100円 ISBN 978-4-255-15521-0
参考書	

履修コード	291701 291702
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	鈴木 美貴子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 教科書に従い、短い英文や会話文をリスニングしながら学び、メール文を作成する。 (到達目標) 基礎文法・基本単語を確認しながら、基礎英語力を身に付ける。
授業スケジュール	第1回前期オリエンテーション、第2～14回Unit1～12まで進む。第15回前期理解度の確認、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit13～24まで進む。第29回後期理解度の確認、第30回総復習。
準備学習	辞書をよくひきながら問題をやってみる。
履修上の留意点	必ず辞書を持参し、授業中も辞書をよくひくこと。
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書/テキスト	テリー・オブライエン『Hello, I'm Bradley-English for Active Communicationブラッドリーのハッピーライフ実生活で役立つ大学英語』(南雲堂、2100円) ISBN978-4-523-17700-5 C0082
参考書	

履修コード	292601 292602
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	埜 美智子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語運用能力のしっかりした基礎を作ることを目的とします。
授業スケジュール	[講義内容] 教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、Summaryの聞き取り等を通じて総合的な英語運用能力を高めていく予定です。 [授業スケジュール] 前期： 第1週 Orientation 第2週～14週 教科書の第1章から8章まで 第15週 前期試験 後期： 第15週～29週 9章から15章まで 第30週 後期試験
準備学習	英語に慣れるために英英辞書などを活用しておくこと。
履修上の留意点	練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、小テスト、授業態度などの評価を加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。
教科書/テキスト	What Should We Think About? 表現力を磨くためのリーディング&英作文 松柏社
参考書	

履修コード	291501 291502
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	濱口 真木
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。
授業スケジュール	テキストは平易な教材を用い、発音や表現に注意しつつ基礎的な単語・熟語・構文などの習得を図る。 前期 第1回 オリエンテーション、第2～3回 文の要素、第4～5回 基本五文型、第6～7回 第一文型・be動詞・一般動詞、第8～9回 動詞の種類、第10～11回 第二文型・名詞(1)、第12～13回 名詞(2)、第14回 前期のまとめ、第15回 前期テスト 後期 第1～3回 第三文型・代名詞(1)、第4回 代名詞(2)、第5～6回 第四文型・形容詞、第7～8回 第五文型・副詞、第9～10回 冠詞、前置詞、第11～12回 接続詞 関係詞、第13回助動詞、第14回 後期のまとめ、第15回 後期テスト
準備学習	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくること。
履修上の留意点	テキスト、ノート、英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
教科書/テキスト	Make It Clear 朝日出版 1,600円+税 ISBN978-4-255-15514-2
参考書	
その他	出席は特に気をつけること。

履修コード	292701 292702
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	本間 章郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英語の基本的な文法と構文を確認しながら、重要な表現の習得による英会話と英作文における意思伝達の向上、ビジネス英語における単語の語彙の増加を目指します。</p> <p>(到達目標) 使用する教科書は、ビジネス英語の習得を目指したものです。ビジネスにおける様々な状況を設定し、それぞれの場面で使われるビジネス英語に特有の単語や表現を、会話と英作文の練習問題を通して学んでいきます。また、小テストをおこない、ビジネス英語によく使われる単語を覚えていただくか確認していきます。特によく知っている単語の、ビジネスにおける特別な意味を学んでほしいと思います。大学を卒業して就職したあと、ビジネスにおいて、英語が必要とされることが、多かれ少なかれあるのではないかと思います。そうした場合、この授業で学んだことが生かされるよう期待しています。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：授業ガイダンス 第2回：1 手紙 第3回：2 ファックス 第4回：3 電子メール 第5回：4 電話 第6回：5 面会の申し入れ 第7回：6 ホテルの予約 第8回：7 オフィスの移転通知 第9回：8 支店の開設案内 第10回：9 レセプションへの招待 第11回：10 アンケートの回答依頼 第12回：11 資料の送付依頼 第13回：12 慶弔 第14回：進度の調節のための予備日 第15回：理解度の確認 第16回：小テスト 第17回：13 会議の通知 第18回：14 議事録 第19回：15 物品の購入 第20回：16 社内研修の案内 第21回：17 社外研修の報告 第22回：18 日程の中間報告 第23回：19 引き合い (1) 第24回：20 引き合い (2) 第25回：21 注文 第26回：22 代金の回収 第27回：23 クレームと調整 第28回：理解度の確認 第29回：授業のまとめ 第30回：進度調節のための予備日</p>
----------	---

授業の進度に応じて、授業で扱う教科書の章の変更があるかもしれないので、注意してください。

準備学習	毎回、事前に教科書の予習が必要です。わからない単語・表現を調べて、質問に答えられるようにしてください。
------	---

履修上の留意点	語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。原則として、3分の2以上出席すること。
---------	---

成績評価の方法	<p>成績評価は次の諸点から総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書から出題する学年末テスト (成績評価全体の約80%) 2. 授業でおこなう小テスト (成績評価全体の約20%)
---------	---

教科書/テキスト	<p>豊田暁著 Essentials of Global Business English (『ビジネス英語エッセンシャルズ』) 南雲堂 2000円+税 ISBN978-4-523-17605-3</p>
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	354701 354702
科目名	英語ⅠA 英語ⅠB [再クラス]
担当者名	水崎 野里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Eメール英作文のテキストを使用しつつ、実用的な英作文の運用力の向上を目指します。
授業スケジュール	【前期】第1週：ガイダンス 以降1クラスに教科書Unit1課ずつ、教科書Unit11まで予定。前期試験。 【後期】Unit12-Unit22まで予定。後期試験。 毎度Eメールの模範文を参考に、有用な基本英文の学習、挨拶や感謝の表現など実用的な日本語文章の英語変換・英語表現を学んでいきます。

準備学習	できれば予習が望ましい。
履修上の留意点	授業には必ず辞書を持参してください。
成績評価の方法	前期と後期の平常試験の成績と出席率・授業態度・授業参加度などを総合して評価します。
教科書／テキスト	Yuichi Kurosawa: Subject E-Mail, Writing Effective Messages(NAN'UN=DO) (大学生のEメール英作文：南雲堂) ¥1900
参考書	
その他	毎回例文のネイティブによる朗読を聴き、また例文を口に出して実際に読み・発音して行くことでヒアリング・英語発音・スピーキングの能力の向上も目指します。

履修コード	354901 354902
科目名	英語ⅠA 英語ⅠB [再クラス]
担当者名	水崎 野里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎として実用英語の運用能力の向上を目指します。具体的には口語英作文の練習を積みます。日常生活でこの状況には英語でどう対応するか？
授業スケジュール	テキストは一クラス一課を目標とします。口語英作文、日常会話の英語練習に励みます。前期は(1)オリエンテーション・教科書前半・前期試験、後期は引き続き教科書を学んで行き、最後は後期試験。 なお、教科書の進行具合では教授用DVDを使用します。映像と英語・日本語訳の確認練習、英語のヒアリング練習をします。
準備学習	できれば予習が望ましい。
履修上の留意点	積極的な授業参加を希望します。辞書を必ず持ってきて下さい。
成績評価の方法	出席率・授業参加度・前期後期二度の試験・授業態度などを総合して評価します。
教科書／テキスト	「コミュニケーションのための口語英作文」(成美堂)
参考書	
その他	適宜にリーディング用のテキストをプリントして授業中に配布する。

履修コード	291801 291802
科目名	英語ⅠA 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	吉沢 栄治郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	短い和文を順次、英訳してゆきます。和文英訳力を高めることをねらいとします。
---------------------	---------------------------------------

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第一回 オリエンテーション、練習問題 1-2 p.3</p> <p>第二回 練習問題 3-6 p.4</p> <p>第三回 練習問題 1-4 p.7-8</p> <p>第四回 練習問題 5-6 p.8,11</p> <p>第五回 練習問題 1-3 p.12,15</p> <p>第六回 練習問題 4-6 p.15,16</p> <p>第七回 練習問題 1-4 p.19</p> <p>第八回 練習問題 5-6 p.20,23</p> <p>第九回 練習問題 3-6 p.23,24</p> <p>第十回 練習問題 1-4 p.27,28</p> <p>第十一回 練習問題 5-6 p.28 1-2 p.31</p> <p>第十二回 練習問題 3-6 p.32</p> <p>第十三回 練習問題 1-4 p.35</p> <p>第十四回 練習問題 5-6 p.36 1-2 p.39</p> <p>第十五回 総括質問 受け付け</p> <p>後期</p> <p>第一回 練習問題 1-4 p.39</p> <p>第二回 練習問題 5-6 p.40</p> <p>第三回 練習問題 1-2 p.43</p> <p>第三回 練習問題 3-6 p.44</p> <p>第四回 練習問題 1-3 p.47 4 p.48</p> <p>第五回 練習問題 5-6 p.48 1-2 p.52</p> <p>第六回 練習問題 3-6 p.52,53</p> <p>第七回 練習問題 1-4 p.56,57</p> <p>第八回 練習問題 5-6 p.57 1 p.62</p> <p>第九回 練習問題 2-4 p.62,63</p> <p>第十回 練習問題 1-5 p.66,67</p> <p>第十一回 練習問題 A p.68</p> <p>第十二回 練習問題 B p.68</p> <p>第十三回 練習問題 A p.71</p> <p>第十四回 練習問題 B p.72</p> <p>第十五回 総括質問 受け付け</p>
----------	---

準備学習	なるべく予習をしておいてください。
履修上の留意点	和英辞典を積極的に使用して下さい。
成績評価の方法	ペーパーテスト5割、レポート提出3割、及び平常点2割などで総合評価します。
教科書/テキスト	三井 平六 編 「生きた英語表現」 (成美堂)
参考書	

履修コード	246201
科目名	英語ⅠB
担当者名	伊勢村 定雄

授業概要/ 到達目標（ねらい）	1. 基礎的な発音の習得 2. 辞書の使い方 3. さらに進んで文語と口語の大まかな区別の仕方 4. 以上のものを英文の読解に結びつける 以上4点をめざすものとする。
--------------------	--

授業スケジュール	基本的にはじめから各Unitごとに進める。日程は以下のとおり。なお、授業の進め方は、すべての英文について、音読、訳読を繰り返していくが、必要に応じて辞書のひきかた、文語英語と口語英語の相違について理解するように促す。また、進め方は原則としてテキストの順序に沿っていくものとする。
----------	---

前期

- 1 回Unit 1 College Life
- 2 回音読指導
- 3 回訳読の注意点の指摘、コラム
- 4 回練習問題
- 5 回Unit 2 Working 本文読み（音読、訳読以下同じ）
- 6 回会話文2例、コラム
- 7 回練習問題
- 8 回中間考査
- 9 回Unit 3 Fashion 本文読み
- 10 回会話文2例、コラム
- 11 回練習問題
- 12 回Unit 4 Dating 本文読み
- 13 回会話文2例、コラム
- 14 回練習問題
- 15 回期末考査

後期

- 1 回Unit 5 Camping 本文読み
- 2 回会話文2例
- 3 回練習問題
- 4 回Unit 6 Food/Cooking 本文読み
- 5 回会話文2例、コラム
- 6 回練習問題
- 7 回中間考査
- 8 回Unit 7 Homecoming/SpringJam 本文読み
- 9 回会話文2例、コラム
- 10 回練習問題
- 11 回Unit 8 Parties 本文読み
- 12 回会話文2例、コラム
- 13 回練習問題
- 14 回Unit 9 Sports 本文読み
- 15 回期末考査

準備学習	予習は、必ず、教科書中の英文はすべて聞かれたら答えられるようにしておく。 さらに語彙は発音と意味は調べて、かならず答えられるようにしておくこと。
------	---

履修上の留意点	予習必須！ 辞書持参のこと！ テキストを忘れた場合は事前に対処すること！ 出席率は2/3以上をもって、評価対象とする。 遅刻は授業後にならず届けること！届けない場合は欠席となる。
---------	---

成績評価の方法	ペーパーテスト都合4回の平均を基礎として評価する。また、それに及ばないものについては出席が良好な場合に限り15%与える場合もある。
---------	---

教科書／テキスト	American Campus Life（「アメリカン・キャンパス・ライフ」）. Natilee Harren/Sadao Isemura/Keisuke Inoue著, 英光社, 1800円
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	246601
科目名	英語I B
担当者名	伊勢村 定雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の基礎的な発音と語彙を把握できるようにする。 2. 辞書の使い方をマスターする。 3. E-mailの英語の特徴をつかむ。 4. 英語のイントネーションを意識しながら練習できるようにする。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>1回イントロダクション : E-mailの特徴と性質についての説明をする; 発音イントネーションの点検をさせる。前期はプライベート、後期はビジネス関連に関するものを扱う予定。(進み具合によって調整することあり)</p> <p>2回Unit 1 ~ 4回Unit 3 : 出会い</p> <p>5回Unit 4 : 日本紹介</p> <p>6回Unit 5 ~ 7回Unit 6 : 出産&茶道</p> <p>8回前期中間考査</p> <p>9回Unit 7 ~ 11回Unit 9 : クリスマス&小包</p> <p>12回Unit 10 ~ 13回Unit 11 : 春&花粉症</p> <p>14回Unit 12 : 大統領選挙</p> <p>15回前期期末考査</p> <p>後期</p> <p>1回Unit 13 : 冬が来た</p> <p>2回Unit 14 : 子育て方法</p> <p>3回Unit 15 : ある殺人事件</p> <p>4回Unit 16 : レジャー</p> <p>5回Unit 17 : ゴールデン・ウィーク</p> <p>6回Unit 18 : テロ</p> <p>7回Unit 19 : 帰省</p> <p>8回後期中間考査</p> <p>9回Unit 20 : 船舶事故</p> <p>10回Unit 21 : 戦争中</p> <p>11回Unit 22 : がんばらなくちゃ</p> <p>12回Unit 23 : ビジネスレター</p> <p>13回Unit 24 : メールによる広告 1</p> <p>14回Unit 25 : メールによる広告 2</p> <p>15回後期期末考査</p>
----------	---

* 内容は一部入れ替えと変更がありうる。

準備学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回1 Unitは進むので、その部分はすべて英語の語義と発音が分かるようにしておくこと。 2. 音読は必ず2~3回はしておくこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト (80%)、平常点 (出席、授業態度等15%)、実力テスト2回*を受験すること (5%)
教科書/テキスト	An Introduction to E-mail Reading, Sadao Isemura & John Hulgin著、1800円 (教室で直接購入してください)
参考書	

履修コード	246731
科目名	英語IB
担当者名	伊勢村 定雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英文の基礎的な読み方を通して、辞書の引き方と読解を習得させる。かつ、語彙数では、あらたに1000語の範囲の語彙(熟語も含む)を理解可能にする。その副産物として、アメリカ社会の問題把握ができるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>1 回導入：全体の方針説明</p> <p>2 回Higher Education：「アメリカの大学」に関わる語彙と表現を主眼として読みすすめる。音読、訳読。発音のための指針を出し、徹底をはかる。</p> <p>3 回口語と文語の違いの導入をはかる。</p> <p>4 回T. V. in Everyday Life：現代アメリカ社会の見方を「テレビの英語」を学び、理解できるようにする。</p> <p>5 回用語を特に注意させる。かつ発音も指針に照らして直していく。(以下同じ)</p> <p>6 回テレビ用の口語表現を学ぶ。</p> <p>7 回Weights and Measures：「計る」という視点から英語をみる。</p> <p>8 回「計測」の英語表現を読み、理解する。</p> <p>9 回語彙テストを行なう。かつ口語の英語も読む。</p> <p>1 0 回Ethnicity：人種問題を通して米語をみる。</p> <p>1 1 回「人種構成」をNew Yorkを例に挙げて理解させる。そのためのヒントも用意する。</p> <p>1 2 回口語英語の視点からみるとどういふ表現があるかを音読しつつさぐる。</p> <p>1 3 回The Press：「アメリカのメディア」の実態をみる。</p> <p>1 4 回口語英語の視点から、メディア英語をみる。</p> <p>1 5 回期末考査のための質問時間をとる。</p> <p>1 6 回後期の導入</p> <p>The Internet：テキスト本文を音読しつつ、読みを確認する。</p> <p>1 7 回インターネットの転換点における英語表現を学ぶ。</p> <p>1 8 回インターネット関連の口語英語を学ぶ。</p> <p>1 9 回Family：アメリカの「家族」の基本を英語で学ぶ。</p> <p>2 0 回前回の継続と語彙のチェックをさせて、注意を向けさせる。</p> <p>2 1 回この話題での口語英語を学ぶ。</p> <p>2 2 回Greetings：アメリカの「挨拶」の仕方の概略。</p> <p>2 3 回口語英語では挨拶はどうなっているのかを学ぶ。</p> <p>2 4 回問題を解く。</p> <p>2 5 回語彙及び読解のテスト</p> <p>2 6 回Marriage：アメリカの「結婚」形態と社会の関係をみる。音読及び訳読。</p> <p>2 7 回音読及び訳読。</p> <p>2 8 回口語英語で結婚の問題を見る。</p> <p>2 9 回Parties：アメリカの「パーティー」の形式を考える。</p> <p>3 0 回パーティー関連を口語英語で見る。</p>
----------	---

準備学習	辞書で単語の意味を調べ、音も含めて、英文はすべて答えられるようにしておく。
履修上の留意点	<p>予習不可欠。</p> <p>出席はきちんとすること！</p> <p>辞書持参のこと！</p> <p>授業中は発言者に注意を向けることを常識とする。</p>
成績評価の方法	<p>前期末・後期末試験の他2回のテストをし、計4回試験をして、その平均で評価をつける。</p> <p>60点未満は不合格となる。</p> <p>他、出席が良好なものには、15点を上限に加えることがある。</p> <p>全授業数の3分の1以上欠席すると、原則として受験資格がなくなる。</p>
教科書／テキスト	Practice for Communicative English, Sadao Isemura & David W. Chapmon 私版(1800円) *初回に販売します。
参考書	

履修コード	243701
科目名	英語I B
担当者名	伊良部 祥子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とspeed readingの基礎を身につける。また、精読に加えて、段落、文章等の大意を把握する。 (到達目標) 近年、世界はますますグローバル化が進み、国際社会における共通語としての英語の重要性が増している。この授業では時事英語を教材に英語構文を読み取る力をつけ、語彙も増やし、英文記事内容をつかむことができるようにする。また、同時に刻々変化する世界情勢についても関心が向くようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit 1 Japanese City's Desperate Cry Resonates Around the World 3. Unit 1 4. Unit 2 4 Questions He Leaves Behind 5. Unit 2 6. Unit 3 Wedding gives monarchy, Britons new glow 7. Unit 3 8. 小テスト 9. Unit 4 Villagers bumped aside in global land rush 10. Unit 4 11. Unit 5 For woman who work in Pakistan, a price to pay 12. Unit 5 13. Unit 6 Itokawa asteroid dust 14. Unit 6 15. 小テスト 16. Unit 7 Japan wins Women's World Cup 17. Unit 7 18. Unit 8 Artificial brotherhood of BRICKS struggles to play a role 19. Unit 8 20. Unit 9 Keeping secrets in the age of WikiLeaks 21. Unit 9 22. 小テスト 23. Unit 10 China's Liu given Nobel in absentia 24. Unit 10 25. Unit 11 Global lessons from Finland's schoolrooms 26. Unit 11 27. Unit 12 K-pop takes on the world while J-pop stays home 28. Unit 12 29. 小テスト 30. テスト返却
----------	---

準備学習	授業の前にわからない単語は調べておきましょう。
履修上の留意点	この授業は演習科目なので出席が重要です。
成績評価の方法	4回の小テスト（70％）と平常点（30％）で総合評価します。
教科書／テキスト	Masami Takahashi他編『The Half-Edition of English through the News Media 2012 -ニューズメディアの英語12/24版』朝日出版社 1100円 ISBN 978-4-255-15521-0
参考書	ニューストピックスの背景となる知識を得るために、日本の新聞等を読みましょう。

履修コード	244101
科目名	英語IB
担当者名	伊良部 祥子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) さまざまなトピックの英文記事を読むことを通して、高校英語を基礎として、より高度な構文の理解力を身につけます。 (到達目標) パラグラフ構成、リーディングスキルを学ぶことにより、速読・精読のスキルを身につけます。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit 1. The Popularity of the Japanese Language 3. Unit 1 4. Unit 2. The Job Search for College Seniors 5. Unit 2 6. Unit 3. Visiting the Birthplace of Jazz 7. Unit 3 8. 小テスト 9. Unit 4. What Makes Hollywood Films Wonderful? 10. Unit 5. Is Illegal Immigration a Problem? 11. Unit 5. 12. Unit 6. Gun Control 13. Unit 7. Wall Street After 9/11 14. 小テスト 15. テスト返却他 16. Unit 8. The Future of the Auto Industry 17. Unit 9. Major League Dreams and Odds 18. Unit 9 19. Unit 10 F1 Racing Comes to America 20. Unit 11 Environmental Champions Muir and Pinchot 21. Unit 11 22. 小テスト 23. テスト返却、Unit 12 24. Unit 12 Balancing Growth and Protectionism 25. Unit 13 The Leadership of Female CEO's 26. Unit 14 Today's Feminist Movement 27. Unit 14 28. Unit 15 The Rise of Neo-conservatism 29. Unit 15 30. 小テスト
----------	--

準備学習	わからない単語は授業の前に調べておくこと。また、いつも日本語の新聞等を読み、世界情勢等に関心を持ちましょう。
履修上の留意点	この授業は演習科目であるので原則として3分の2以上の出席が必要です。また、積極的な授業参加を重視します。
成績評価の方法	4回の小テスト(70%) 平常点(30%)で総合評価します。
教科書/テキスト	Hideo Kobayashi 他 『American Dynamics』金星堂 1800円 ISBN978-4-7647-3944-4
参考書	トピックの背景となる知識を得るため、普段から新聞等を読みましょう。

履修コード	244401
科目名	英語ⅠB
担当者名	伊良部 様子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 様々なトピックの英文を読むことを通し、高校英語を基礎として、より高度な構文の理解力を身につけます。 (到達目標) 英語のパラグラフ構成やリーディングスキルを学ぶことにより、正確に内容を把握できるようにします。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Lesson 1 The T-shirt 3. Lesson 1 4. Lesson 2 Hey, whacha doin'? 5. Lesson 2 6. Lesson 3 You Got 30 Minutes! 7. Lesson 3 8. 小テスト 9. Lesson 4 The Flag of the United States 10. Lesson 4 11. Lesson 5 Names 12. Lesson 6 Jonny Depp 13. Lesson 7 American Holidays 14. Lesson 7 15. 小テスト 16. テスト返却 Lesson 8 Autistic Savant 17. Lesson 8 18. Lesson 9 Linus 19. Lesson 9 20. Lesson 10 Environmental Disaster 21. Lesson 10 22. 小テスト 23. Lesson 11 The Man in Black 24. Lesson 11 25. Lesson 12 Famous Animals 26. Lesson 13 The Incandescent Light Bulb 26. Lesson 14 Jazz 27. Lesson 14 28. Lesson 15 Tectonic Plates 29. 小テスト 30. テスト返却他
----------	---

準備学習	授業の前にテキストの単語を調べておきましょう。普段から新聞を読み、世界で何が起きているか関心を持ちましょう。
------	--

履修上の留意点	この授業は演習科目なので、原則として3分の2以上の出席が必要です。また、積極的な授業参加、レポートや小テスト等の課題を重視します。
---------	---

成績評価の方法	4回の小テスト(70%)、平常点(30%)で総合評価します。
---------	--------------------------------

教科書/テキスト	『Focus on Reading』松柏社 1900円 ISBN 978-4-88198-659-2
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	244601
科目名	英語I B
担当者名	上田 倫史

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までの英語の知識を基に、英語を早く、正確に読む練習を行うと共に、世界で起こる様々な出来事や情報を英語を使って理解する。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 読解 (1) 3. 読解 (2) 4. 読解 (3) 5. 読解 (4) 6. 読解 (5) 7. 確認テスト (1) 8. 読解 (6) 9. 読解 (7) 10. 読解 (8) 11. 読解 (9) 12. 読解 (10) 13. 確認テスト (2) 14. 解説 15. 予備 16. 読解 (11) 17. 読解 (12) 18. 読解 (13) 19. 読解 (14) 20. 読解 (15) 21. 予備 22. 確認テスト (3) 23. 読解 (16) 24. 読解 (17) 25. 読解 (18) 26. 読解 (19) 27. 読解 (20) 28. 確認 29. 予備 30. 確認テスト (4)
----------	---

準備学習	一回につき一課進むことを目標とするので、事前に単語を調べてくること。
履修上の留意点	辞書(電子辞書)を持ってくること。また、授業の3分の2以上は出席すること。
成績評価の方法	平常評価 (25%)、テキストの小テスト (15%)、試験 (60%)
教科書/テキスト	Insights 2012 世界を読むメディア英語入門 ISBN978-4-7647-3934-5 金星堂
参考書	

履修コード	244611
科目名	英語I B
担当者名	上田 倫史

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までの英語の知識を基に、英語を早く、正確に読む練習を行うと共に、世界で起こる様々な出来事や情報を英語を使って理解する。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 読解 (1) 3. 読解 (2) 4. 読解 (3) 5. 読解 (4) 6. 読解 (5) 7. 確認テスト (1) 8. 読解 (6) 9. 読解 (7) 10. 読解 (8) 11. 読解 (9) 12. 読解 (10) 13. 確認テスト (2) 14. 解説 15. 予備 16. 読解 (11) 17. 読解 (12) 18. 読解 (13) 19. 読解 (14) 20. 読解 (15) 21. 予備 22. 確認テスト (3) 23. 読解 (16) 24. 読解 (17) 25. 読解 (18) 26. 読解 (19) 27. 読解 (20) 28. 確認 29. 予備 30. 確認テスト (4)
----------	---

準備学習	一回につき一課進むことを目標とするので、事前に単語を調べてくること。
履修上の留意点	辞書（電子辞書）を持ってくること。また、授業の3分の2以上は出席すること。
成績評価の方法	平常評価（25%）、テキストの小テスト（15%）、試験（60%）
教科書／テキスト	Insights 2012 世界を読むメディア英語入門 ISBN978-4-7647-3934-5 金星堂
参考書	

履修コード	242201
科目名	英語I B
担当者名	尾形 重政

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	これまでの英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。毎回、テキストの本文を全員に1文ずつ読んでもらいます。また毎回、小テストを行いながらリスニング力や語彙力の増強も目指していきます。
---------------------	--

授業スケジュール	基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は2回で1章を終える予定です。 第1回：ガイダンス 第2回：U.1； 語句の確認と設問の解答 第3回：U.1； 本文の内容理解 第4回：U.2； 語句の確認と設問の解答 第5回：U.2； 本文の内容理解 第6回：U.3； 語句の確認と設問の解答 第7回：U.3； 本文の内容理解 第8回：U.4； 語句の確認と設問の解答 第9回：U.4； 本文の内容理解 第10回：U.5； 語句の確認と設問の解答 第11回：U.5； 本文の内容理解 第12回：U.6； 語句の確認と設問の解答 第13回：U.6； 本文の内容理解 第14回：前期授業のまとめ 第15回：前期期末試験 第16回：U.7； 語句の確認と設問の解答 第17回：U.7； 本文の内容理解 第18回：U.8； 語句の確認と設問の解答 第19回：U.8； 本文の内容理解 第20回：U.9； 語句の確認と設問の解答 第21回：U.9； 本文の内容理解 第22回：後期中間試験 第23回：U.10； 語句の確認と設問の解答 第24回：U.10； 本文の内容理解 第25回：U.11； 語句の確認と設問の解答 第26回：U.11； 本文の内容理解 第27回：U.12； 語句の確認と設問の解答 第28回：U.12； 本文の内容理解 第29回：1年間の授業のまとめ 第29回：講義のまとめ 第30回：後期期末試験
----------	--

準備学習	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。 ①教科書次回の学習範囲を少なくとも3回は読む。 ②練習問題を解く。 ③知らない語句は辞書で確認しておく。
------	--

履修上の留意点	予習をしっかりしてくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。2時間で1Unitを終わらせず。復習も大切です。内容確認と2回程度の読み。
---------	---

全授業回数の3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が重要です。

成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、年3回の試験結果に発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。
---------	---

教科書/テキスト	小林英雄, Patrick R. Polen, 三木茂著『Ameridan Dynamics』金星堂 1800円 ISBN978-4-7647-3944-4
----------	---

参考書	
-----	--

その他	全授業回数の3分の2以上出席し、かつ3回の試験を受けることによって単位認定が可能となります。3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分注意してください。毎回、英和辞書を持参してください。
-----	---

履修コード	242501
科目名	英語ⅠB
担当者名	尾形 重政

授業概要/ 到達目標（ねらい）	これまでの英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。毎回、テキストの本文を全員に1文ずつ読んでもらいます。また毎回、小テストを行いながらリスニング力や語彙力の増強も目指していきます。
--------------------	--

授業スケジュール	基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は2回で1章を終える予定です。 第1回：ガイダンス 第2回：U.1； 語句の確認と設問の解答 第3回：U.1； 本文の内容理解 第4回：U.2； 語句の確認と設問の解答 第5回：U.2； 本文の内容理解 第6回：U.3； 語句の確認と設問の解答 第7回：U.3； 本文の内容理解 第8回：U.4； 語句の確認と設問の解答 第9回：U.4； 本文の内容理解 第10回：U.5； 語句の確認と設問の解答 第11回：U.5； 本文の内容理解 第12回：U.6； 語句の確認と設問の解答 第13回：U.6； 本文の内容理解 第14回：前期授業のまとめ 第15回：前期期末試験 第16回：U.7； 語句の確認と設問の解答 第17回：U.7； 本文の内容理解 第18回：U.8； 語句の確認と設問の解答 第19回：U.8； 本文の内容理解 第20回：U.9； 語句の確認と設問の解答 第21回：U.9； 本文の内容理解 第22回：後期中間試験 第23回：U.10； 語句の確認と設問の解答 第24回：U.10； 本文の内容理解 第25回：U.11； 語句の確認と設問の解答 第26回：U.11； 本文の内容理解 第27回：U.12； 語句の確認と設問の解答 第28回：U.12； 本文の内容理解 第29回：1年間の授業のまとめ 第29回：講義のまとめ 第30回：後期期末試験
----------	--

準備学習	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。 ①教科書次回の学習範囲を少なくとも3回は読む。 ②練習問題を解く。 ③知らない語句は辞書で確認しておく。
------	--

履修上の留意点	予習をしっかりとくること。予習してきていることを前提に授業は進めます。2時間で1Unitを終わらせます。 復習も大切です。内容確認と2回程度の読み。
---------	---

全授業回数の3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が重要です。

成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、年3回の試験結果に発表や小テストなどの評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。
---------	---

教科書／テキスト	小林英雄、Patrick R. Polen、三木茂著『Ameridan Dynamics』金星堂 1800円 ISBN978-4-7647-3944-4
----------	---

参考書	
-----	--

その他	全授業回数の3分の2以上出席し、かつ3回の試験を受けることによって単位認定が可能となります。3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分注意してください。 毎回、英和辞書を持参してください。
-----	---

履修コード	246401
科目名	英語ⅠB
担当者名	尾形 重政
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。
授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合があります。 第1回：ガイダンス 第2回～第9回：第1章 (1-1, 1-2, 1-3, 1-4) 第10回～第13回：第2章 (2-1, 2-2) 第14回：前期のまとめ 第15回：前期期末試験 第16回～第19回：第2章 (2-3, 2-4) 第20回～21回：第3章 (3-1) 第22回～第28回：第3章 (3-2, 3-3, 3-4, 3-5) 第29回：1年間のまとめ 第30回：後期期末試験
準備学習	教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。 ②練習問題を解く。 ③知らない語句は辞書で確認しておく。
履修上の留意点	予習をしっかりとってくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。
教科書/テキスト	池上 彰著『やさしく読めるお金と経済の話』 朝日出版社 1700円 ISBN978-4-255-15517-3
参考書	英和辞典を持参してください。
その他	全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となります。3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に留意して下さい。

履修コード	246721
科目名	英語ⅠB
担当者名	尾形 重政
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。
授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合があります。 第1回：ガイダンス 第2回～第9回：第1章 (1-1, 1-2, 1-3, 1-4) 第10回～第13回：第2章 (2-1, 2-2) 第14回：前期のまとめ 第15回：前期期末試験 第16回～第19回：第2章 (2-3, 2-4) 第20回～21回：第3章 (3-1) 第22回～第28回：第3章 (3-2, 3-3, 3-4, 3-5) 第29回：1年間のまとめ 第30回：後期期末試験
準備学習	教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。 ②練習問題を解く。 ③知らない語句は辞書で確認しておく。
履修上の留意点	予習をしっかりとってくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。
成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日(夏休み直前)の試験1回、と後期中間試験と授業最終日(冬休み直前)の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。
教科書/テキスト	池上 彰著『やさしく読めるお金と経済の話』 朝日出版社 1700円 ISBN978-4-255-15517-3
参考書	英和辞典を持参してください。
その他	全授業回数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となります。3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に留意して下さい。

履修コード	246901
科目名	英語I B
担当者名	尾形 重政

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	これまでの英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、さらに段落・文章等の大意の把握を目指します。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意の把握を目指します。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>テキストを読み進めると同時に、適宜、英字新聞、英語検定問題、あるいはTOEIC問題などを使用する場合もあります。</p> <p>第1回：イントロダクション…出欠、授業、教科書、学習方法等全般について</p> <p>第2回：第1章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第3回：第1章；本文内容確認</p> <p>第4回：第2章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第5回：第2章；本文の内容理解</p> <p>第6回：第3章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第7回：第3章；本文の内容理解</p> <p>第8回：第4章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第9回：第4章；本文の内容理解</p> <p>第10回：第5章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第11回：第5章；本文の内容理解</p> <p>第12回：第6章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第13回：第6章；本文の内容理解</p> <p>第14回：前期期末試験</p> <p>第15回：期末試験返却と後期について</p> <p>第16回：第7章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第17回：第7章；本文の内容理解</p> <p>第18回：第8章；語句の確認と設問の解答</p> <p>第19回：第8章；本文の内容理解</p> <p>第20回：第9章；語句の理解と設問の解答</p> <p>第21回：第9章；本文の内容理解</p> <p>第22回：第10章；語句の理解と設問の解答</p> <p>第23回：第10章；本文の内容理解</p> <p>第24回：後期中間試験</p> <p>第25回：試験返却等</p> <p>第26回：第11章；語句の理解と設問の解答</p> <p>第27回：第11章；本文の内容理解</p> <p>第28回：第12章；語句の理解と設問の解答</p> <p>第29回：後期期末試験</p> <p>第30回：後期期末試験（追再試）</p>
----------	---

準備学習	<p>教科書学習範囲を①少なくとも3回は読む。</p> <p>②練習問題を解く。</p> <p>③知らない語句は辞書で確認しておく。</p>
------	--

履修上の留意点	予習をしっかりしてくる。予習してきていることを前提に授業は進めます。1時間に1レッスンを終わらせます。復習もすること；内容の確認と2回程度の読み。
---------	---

成績評価の方法	積極的な授業参加を重視し、前期授業の最終日（夏休み直前）の試験1回、と後期中間試験と授業最終日（冬休み直前）の試験との合計3回の試験結果を総合的に判断します。
---------	---

教科書／テキスト	The Art of Healing 南雲堂 1785円 ISBN 978-4-523-17707-4
----------	---

参考書	英和辞典を持参してください。
-----	----------------

その他	全授業回数数の3分の2以上出席し、かつ2回の試験を受けることによって単位認定が可能となる；3分の1以上欠席すると単位認定が難しくなる可能性が高いので十分に気をつけてくださ
-----	---

履修コード	348101
科目名	英語ⅠB
担当者名	荻野 一成

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>前期： 毎回、英文を読むうえで必要不可欠な基礎文法に焦点をあて、やや短めの文章を読みながら文法・構文を確認していく。これまで英文にアレルギーをもっていた学生でも取り組みやすいだろう。</p> <p>後期： サッカー界のスーパースター、ベッカムやハリポタ役のダニエル・ラドクリフ、さらに大英帝国の礎を築いたビクトリア女王など、イギリスの著名人12名を取り上げて、イギリス文化に触れていく。ロンドン・オリンピックが開催される今年ならではの授業となるだろう。</p>
---------------------	---

これまで曖昧だった文法知識を再確認しながら、英文で意思表現ができるようになることが最大の目標である。また、社会的・歴史的に大きな影響力を与えたイギリスの著名人に対する理解を深めることは、一般常識として就活対策にも役立つ。

授業スケジュール	<p>第1回・・・キックオフ・セッション (ガイダンス)</p> <p>第2回・・・現在時制</p> <p>第3回・・・過去時制と肯定文</p> <p>第4回・・・命令文</p> <p>第5回・・・名詞/代名詞</p> <p>第6回・・・形容詞と副詞/比較級と最上級</p> <p>第7回・・・状態動詞/助動詞</p> <p>第8回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日</p> <p>第9回・・・willとbe going to / 動名詞と不定詞</p> <p>第10回・・・現在進行形/過去進行形</p> <p>第11回・・・過去時制と否定/現在完了</p> <p>第12回・・・受動態/同等比較表現</p> <p>第13回・・・場所と移動を表す前置詞/時を表す前置詞と副詞</p> <p>第14回・・・関係詞/副詞節</p> <p>第15回・・・数を表す表現</p> <p>第16回・・・リーディング・ガイダンス</p> <p>第17回・・・David Beckham</p> <p>第18回・・・Tony Blair</p> <p>第19回・・・Paul McCartney</p> <p>第20回・・・Mick Jagger</p> <p>第21回・・・Henry VIII</p> <p>第22回・・・Queen Victoria</p> <p>第23回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日</p> <p>第24回・・・James Watt</p> <p>第25回・・・Daniel Radcliffe</p> <p>第26回・・・Hugh Grant</p> <p>第27回・・・Christopher Wren</p> <p>第28回・・・J. K. Rowling</p> <p>第29回・・・William Shakespeare</p> <p>第30回・・・ラップアップ・セッション (総まとめ) / 年度末筆記試験</p>
----------	--

※予定は変更になる場合有り。初日のガイダンスで年間予定表を配布する。

準備学習	初日のキックオフ・セッション (ガイダンス) で詳しく指示する。
履修上の留意点	予習・復習は必須。授業にはテキスト・筆記用具・辞書を必ず持参すること。授業への積極的な参加を求める。
成績評価の方法	授業内小テスト、課題提出、年度末筆記試験 (70%)、出席点 (30%) による総合評価。特に、欠席が全体の3分の1以上をはるかに超えた場合には、試験の結果が良くても総合評価が60点未満となる場合があるので注意。
教科書/テキスト	<p>1. Robert Hickling他著 Get Reading! 大学生のための読解演習と基本文法 榊金屋堂 1950円+税 ISBN978-4-7647-3877-5</p> <p>2. Terry O'Brien他著 Famous Britons, Past and Present 文法とパラグラフ・リーディングで学ぶイギリスのヒーロー 榊南雲堂 1600円+税 ISBN978-4-523-17537-7</p>
参考書	必要に応じて指示する。
その他	YeStudyの活用有り。

履修コード	244701
科目名	英語ⅠB
担当者名	亀田 三重子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>目標: Reading-英文の基本構文を定着させる事。大意をつかむ読解力をつける。 Listening-文章を見ずに繰り返し英語を聞くことで聴解力をつける。 概要: 英語で世界事情を知る事を目標に、様々な英語を聞き分けたり各国の記事や資料を読む。又、タイムリーな記事も扱う。</p>
授業スケジュール	1, 英語で自己紹介 2, India 3, 4, Philippines 5, 6, Thailand 7, Vietnam 8, 小テスト 9, 10, Korea 11, 12, France 13, Italy 14, 理解度の確認 15, 16, Denmark 17, 18, Portugal 19, 20, Turkey 21, 22, Egypt 23, South Africa 24, 小テスト 25, 26, Brazil 27, 28, Peru 29, Guatemala, 30, 理解度の確認
準備学習	英語授業ですので必ず予習をする事 (単語確認。記事を読む。DVDを聴く。)
履修上の留意点	提出課題は必ず提出の事。辞書は必携の事。積極的な発言、参加。私語は慎む事。
成績評価の方法	前期、後期の「理解度の確認2回」、小テスト2回 (6割)。提出物 (1割)。授業への取り組み方 (発表、参加) (3割)。
教科書/テキスト	Scott Berlin, 小林めぐみ 「DVDで学ぶ世界の文化と英語」 (World Adventures) 金星堂 ¥2300 ISBN978-4-7647-3907-9 C1082
参考書	適宜プリントと資料を配布する。

履修コード	245501
科目名	英語ⅠB
担当者名	亀田 三重子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>目標: Reading-英文はどのような構成になっているかしっかり掴ませる。 長文の要旨を掴む読解力をつける。 Listening-毎回繰り返し英語を聴く事によって英文に頼らない聴解力をつける。 概要: 世界各国の様々な事情をそれぞれ違った英語で聴いたり記事を読んだりする。その国に関する記事を含むタイムリーな記事や資料も扱う。</p>
授業スケジュール	1, 講義のガイダンス, 英語による自己紹介。2-1章。 3, 4-2章。 5, 6-3章。 7-4章。 8-小テスト。 9, 10-5章。 11, 12-6章。 13-7章。 14-「理解度の確認」 15, 16-8章。 17, 18-9章。 19, 20-10章。 21, 22-11章。 23-12章。 24-小テスト。 25, 26-13章。 27, 28-14章。 29-15章。 30-「理解度の確認」
準備学習	必ず予習をして来る事 (単語確認、記事を読む、DVDを聴く)
履修上の留意点	辞書必携の事。課題の提出。積極的な発言、取り組み。私語は慎む事。
成績評価の方法	理解度の確認2回、小テスト2回 (6割) レポート (1割) 平常点-発言、発表 (3割)
教科書/テキスト	Scott Berlin 小林めぐみ 「DVDで学ぶ世界の文化と英語」 (World Adventures) 金星堂 ¥2300 ISBN978-4-7647-3907-9C1082
参考書	適宜プリントと資料を配布する。

履修コード	244801
科目名	英語ⅠB
担当者名	木元 喜久子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 価値観の多元化と一元化が拮抗しつつあるこのグローバル社会において、多元化国家の先駆としてのアメリカの問題はいずれ各国が直面する様々な課題を提示している。政治から文化まで20の多角的な視点から巨大国の実像に迫る。 (授業目標) 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と実践的な英文読解のスキルの習得を目指す。またTOEIC用の問題を使用して、リスニング力の向上を目指す。
授業スケジュール	前期: Ch.1~7, Which America? Which Americans?, Melting Pot or Vegetable Soup?, No Easy Task, Immigrants, Whose Right Is Right?, A Time for Change, The Right for Change 前期の最後の授業日は理解度の確認、 また各ユニット終了毎にリスニング教材を使って、聞き取り練習をする。 後期: Ch. 8, 9, 10, 11, 16, 18, 19, 20, Soul Mates, It's My Body, A National Health Care Plan, Education in America, Spreading the Wealth, The Will of the People, One Nation?, The Road Ahead 後期の最後の授業日も理解度の確認、 また前期同様リスニング教材を使って聞き取り練習をする。
準備学習	特になし。
履修上の留意点	十分な予習と積極的な授業参加・発表が求められる。毎回、辞書を必携のこと。(電子辞書も可)、また全授業の3分の2以上は必ず出席すること。
成績評価の方法	前後学期期末試験の成績60%(欠試は不可)、 平常点(授業中の発表、課題、小テスト等)40%とする。
教科書/テキスト	John Tilmant 庭野吉弘 (著者)、America: Images and Realities 「アメリカ そのイメージと実像」、(成美堂) ISBN978-4-7919-5092-8
参考書	

履修コード	245101
科目名	英語ⅠB
担当者名	木元 喜久子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) イギリスで活躍中の現代作家 リチャード ピアードが読み解き、鮮度抜群の英語で語った現代の社会で最もホットな話題—インターネット、携帯電話から大学の意義といった身近な話題に及ぶ—を読んで、世界の今の理解を深める。 (到達目標) 入学時の英語を基礎にして、より高度な構文の理解と実践的な英文読解スキルの習得を目指す。またTOEIC用の問題を使用して、リスニング力の向上を目指す。
授業スケジュール	前期: Unit 1~6, Why is God So Quiet?, The Olympic Ideal - Up in Smoke, How to Lose a Trillion Dollars, Is Democracy the Best We Can Do?, You Can Always Reach Me, I like to Read in the Bath 前期の最後の授業日は理解度の確認、 また各ユニット終了毎にリスニング教材を使って聞き取り練習 後期: Unit 7~12, Big Brother is Watching You!, The Internet - Is It All Good?, Fighting is Good for You, Food is Fuel, But It's the Right Answer!, University is a Waste of Time 後期の最後の授業日は理解度の確認、また前期同様にリスニングの聞き取り練習継続
準備学習	特になし
履修上の留意点	予習と積極的な授業参加・発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。(電子辞書も可) 全授業の3分の2以上必ず出席すること
成績評価の方法	前後学期期末試験の成績60%(欠試は不可)、 平常点(授業中の発表、課題、小テスト等)40%とする。
教科書/テキスト	Richard Beard, 山本史郎 Eat the World Aive - 16 Hot Global Topics - 「世界の今に切り込む」 (成美堂) ISBN978-4-7919-3098-2
参考書	

履修コード	245601
科目名	英語IB
担当者名	木元 喜久子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) イギリスで活躍中の現代作家 リチャード ビアードが読み解き、鮮度抜群の英語で語った現代の社会で最もホットな話題—インターネット、携帯電話から大学の意義といった身近な問題に及ぶ—を読んで、世界の今の理解を深める。 (授業目標) 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と実践的な英文読解スキルの習得を目指す。またTOEIC用の問題を使用して、リスニング力の向上を目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	前期: Unit 1~6, Why is God So Quiet?, The Olympic Ideal -Up in Smoke, How to Lose a Trillion dollars, Is Democracy the Best We Can Do?, You Can Always Reach Me, I like to Read in the Bath 前期の最後の授業日は理解度の確認、 また各ユニット終了毎にリスニング教材を使って、聞き取り練習をする。 後期: Unit 7~12, Big Brother is Watching You!, The Internet- Is It All Good?, Fightin' is Good for You, Food is Fuel, But It's the Right Answer!, University is a Waste of Time 後期の最後の授業日は理解度の確認、 また前期同様リスニング教材を使って聞き取り練習をする。
----------	--

準備学習	特になし。
履修上の留意点	十分な予習と積極的な授業参加、発表が求められる。毎回、辞書は必携のこと。(電子辞書も可)、全授業の3分の2以上は必ず出席すること。
成績評価の方法	前後学期期末試験の成績60%(欠試は不可)、 平常点(授業中の発表、課題、小テスト等)40%とする。
教科書/テキスト	Richard Beard 山本史郎(著者)、Eat the World Alive - 16 Hot Global Topics- (成美堂) ISBN978-4-7919-3098-2
参考書	

履修コード	243401
科目名	英語IB
担当者名	近藤 真彰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語ニュースの正確な理解および速読の力を養い、英語を通じて世界の動きを知る習慣を身につける。
---------------------	--

授業スケジュール	【前期】第1週: ガイダンス 第2~13週: 教科書にしたがって時事英語の読み方の基本を学ぶ。第14,15週: 復習 【後期】第1週: 前期試験の解答 第2~13週: 前期に続き教科書を進めつつ、リアルタイムの英語ニュースも読んでいく。第14,15週: 復習
----------	--

準備学習	英語を学ぶだけでなく、日常的に時事問題に興味を持って考えること。
履修上の留意点	全授業日数の三分の二以上の出席を必要とする。
成績評価の方法	前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価する。
教科書/テキスト	『時事英語の総合演習 - 2012年度版 - 』(朝日出版社)1500円+税 ISBN 9784255155227 C1082
参考書	

履修コード	348201
科目名	英語I B
担当者名	佐藤 アヤ子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	今まで学んだきた英文法はなんとなく分かっているいるが、なんとなく理解していない学生が多いです。そこで、英文法を基礎からしっかり学び直し、読解力、作文力まで養成することを到達目標とします。
---------------------	---

授業スケジュール	1 文の要素 第1文型・第2文型・練習問題 2 第3文型・第4文型・練習問題 3 第5文型・練習問題 4 文の要素のまとめテスト 5 基本時制・練習問題 6 完了形・進行形・練習問題 7 時のまとめ・練習問題 8 受動態・練習問題 9 助動詞・練習問題 10 不定詞1・練習問題 11 不定詞2・練習問題 12 動名詞・練習問題 13 まとめ 14 まとめ 15 前期テスト 16 分詞・練習問題 17 分詞構文・練習問題 18 関係代名詞・練習問題 19 関係副詞・複合関係詞・練習問題 20 接続詞・練習問題 21 句と節・文の要素1・練習問題 22 句と節・文の要素2・練習問題 23 比較・練習問題 24 仮定法・練習問題 25 話法の転換・練習問題 26 名詞・冠詞・練習問題 27 代名詞・練習問題 28 形容詞・副詞・練習問題 29 前置詞・練習問題 30 後期テスト
----------	---

準備学習	予習をして授業に参加すること。
履修上の留意点	文法は理解することが大事です。十分な復習が必要です。
成績評価の方法	前・後期試験、小テスト、出席率などを総合して評価します。
教科書／テキスト	教科書＋プリント使用。教科書は最初の授業時に指示します。プリントは教科書ですから、しっかり保管すること。
参考書	
その他	辞書を持参すること。

履修コード	240401
科目名	英語I B
担当者名	白鳥 義博

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	社内公用語を英語にする企業が増えている現状を念頭に置いて、これからのキャリアに役立つ英語力、とりわけ読解力とリスニング力の増強を目指します。具体的にはイギリスやアメリカの文化や国民性に関する教材 (映画や文学を含む) を多種使用して、楽しみながら英語を習得することを目標とします。高校までには学ばなかったようなタイプの英語を教材にすることで、英語圏の文化に親しむこともできたら幸いです。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回：ガイダンス 第2回：実力テスト 第3回：読解 (1) 第4回：読解 (2) 第5回：読解 (3) 第6回：読解 (4) 第7回：まとめ 第8回：聞き取り (1) 第9回：聞き取り (2) 第10回：聞き取り (3) 第11回：聞き取り (4) 第12回：聞き取り (5) 第13回：まとめ 第14回：予備日 第15回：テスト</p>
----------	---

後期：前期と同じ

準備学習	<p>1) 高校までの文法項目を簡単に復習しておくこと。 2) 何のために英語を学習するのか、目的意識を高めておくこと。</p>
履修上の留意点	遅刻や欠席の成績評価への (悪) 影響については、共通のガイドラインに従うので、注意すること。
成績評価の方法	前期末試験 (50%) および後期末試験 (50%) の素点合計に、出席や授業中の態度に関して良い意味でも悪い意味でも顕著なポイントを加・減点する。
教科書/テキスト	初回到教場で指示する。
参考書	

履修コード	240601
科目名	英語ⅠB
担当者名	白鳥 義博
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	社内公用語を英語にする企業が増えている現状を念頭に置いて、これからのキャリアに役立つ英語力、とりわけ読解力とリスニング力の増強を目指します。具体的にはイギリスやアメリカの文化や国民性に関する教材（映画や文学を含む）を多種使用して、楽しみながら英語を習得することを目標とします。高校までには学ばなかったようなタイプの英語を教材にすることで、英語圏の文化に親しむこともできたら幸いです。
授業スケジュール	前期 第1回：ガイダンス 第2回：実力テスト 第3回：読解（1） 第4回：読解（2） 第5回：読解（3） 第6回：読解（4） 第7回：まとめ 第8回：聞き取り（1） 第9回：聞き取り（2） 第10回：聞き取り（3） 第11回：聞き取り（4） 第12回：聞き取り（5） 第13回：まとめ 第14回：予備日 第15回：テスト 後期：前期と同じ
準備学習	1) 高校までの文法項目を簡単に復習しておくこと。 2) 何のために英語を学習するのか、目的意識を高めておくこと。
履修上の留意点	遅刻や欠席の成績評価への（悪）影響については、共通のガイドラインに従うので、注意すること。
成績評価の方法	前期末試験（50%）および後期末試験（50%）の素点合計に、出席や授業中の態度に関して良い意味でも悪い意味でも顕著なポイントを加・減点する。
教科書／テキスト	初回到教場で指示する。
参考書	

履修コード	244201
科目名	英語ⅠB
担当者名	杉村 初枝
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テキストのリーディングとDVDによるリスニングを通して学習していきます。入学時の英語力をさらに向上させること、日常的なリスニング力を高めることを目標に、構文、語彙に忠実な英文解釈と、大意を把握する速読の両面を取り入れて授業を進めていきます。
授業スケジュール	テキストの各課を、3回に分け、1回目テキストの速読による大意把握、2回目DVDを使用したリスニング、3回目DVDスクリプトの精読のスタイルで授業を進めます。 1回目オリエンテーション、2～4回1課、5～7回2課、8～10回3課、11回中間テスト、12～14回4課、15～17回5課、18～20回6課、21回中間テスト、22～24回7課、25～27回8課、28回～29回9課、30回期末テスト
準備学習	各課ごとに担当者を決め、発表、レポート提出をしてもらいます。担当者はあらかじめレポートをまとめ、授業後に提出してください。基本的に授業中の発表は全員にチャンスがあり、成績評価の対象となりますので、各自十分予習をし、意欲的に授業に取り組んでください。英和辞典を各自授業時に持参してください。（電子辞書可ですが、中辞典以上のレベルのものをお勧めします）。
履修上の留意点	授業の出席回数全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象なりません。出欠の確認は通常授業開始後に行いますので、遅刻をしないように注意してください。出席していても、授業態度に問題があると認められた場合は欠席扱いとします。
成績評価の方法	授業時の平常点、レポート評価、試験の成績により総合的に評価します。詳しくは授業履修に関するマニュアルを開講時に配布し説明します。
教科書／テキスト	『ビデオリスニング：エコライフを目指す』 朝日出版 1800円
参考書	

履修コード	244501
科目名	英語ⅡB
担当者名	杉村 初枝
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テキストのリーディング、ビデオのリスニングを通して学習していきます。入学時の英語力を向上させること、日常的に使えるリスニング力を鍛えることを目標に、テキストの精読、大意をつかむ速読を取り入れて、英文解釈力アップを目指します。
授業スケジュール	テキストの各課を3回に分けて、1回目テキストの速読による大意把握、2回目DVDを使用したリスニング、3回目DVDスクリプトの精読を行います。 1回目オリエンテーション、2～4回1課、5～7回2課、8～10回3課、11回中間テスト、12～14回4課、15～17回5課、18～20回6課、21回中間テスト、22～24回7課、25～27回8課、28～29回9課、30回期末テスト
準備学習	各課ごとに担当者を決め、発表レポート提出をしてもらいます。授業中の発表は毎回全員にチャンスがありますので、各自予習をして積極的に授業に臨んでください。授業時には、各自英和辞典を持参してください。(電子辞書可ですが、中辞典以上のレベルのものをお勧めします。)
履修上の留意点	授業への出席回数全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象になりません。出欠の確認は基本的に授業開始後に行いますので、遅刻をしないよう注意してください。また、出席していても授業態度に問題があると認められた場合は欠席扱いとしますので各自意欲的に授業に参加してください。
成績評価の方法	授業時の平常点、レポート評価、試験の成績により総合的に評価します。詳細は履修に関するマニュアルを開講時に配布し説明します。
教科書/テキスト	Science World Vol.2 (朝日出版社) 1800円
参考書	

履修コード	348301
科目名	英語ⅠB
担当者名	杉本 誠

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>21世紀をどのような時代にするかを考え、議論し、行動するには20世紀から引き継がれた問題を丹念に検討する必要があります。授業ではこれらの諸問題を11の読みやすい評論文の形で提示した総合英語のテキストから学ぶこととします。特に情報、文化、教育、環境、政治経済などの問題から重点的に学びます。</p> <p>経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。</p> <p>(到達目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身に付ける。 2. 英文に現れる語彙、文型を身に付ける。 3. 平明ながら正確な英文が構築できる。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 授業方針の説明</p> <p>第2回 Lesson 1 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第3回 Lesson 1 練習問題</p> <p>第4回 Lesson 2 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第5回 Lesson 2 練習問題</p> <p>第6回 Lesson 3 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第7回 Lesson 3 練習問題</p> <p>第8回 Lesson 4 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第9回 Lesson 4 練習問題、Lesson 1～3までの小テスト</p> <p>第10回 Lesson 5 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第11回 Lesson 5 練習問題</p> <p>第12回 Lesson 6 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第13回 Lesson 6 練習問題、Lesson 4～6までの小テスト</p> <p>第14回 Lesson 1～6までの総復習、まとめ</p> <p>第15回 前期末試験</p> <p>第16回 Lesson 7 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第17回 Lesson 7 練習問題</p> <p>第18回 Lesson 8 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第19回 Lesson 8 練習問題</p> <p>第20回 Lesson 9 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第21回 Lesson 9 練習問題</p> <p>第22回 Lesson 10 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第23回 Lesson 10 練習問題</p> <p>第24回 Lesson 11 内容まとめ、語法、イディオム</p> <p>第25回 Lesson 11 練習問題</p> <p>第26回 Lesson 7～8までの小テスト</p> <p>第27回 Lesson 9～11までの小テスト</p> <p>第28回 Lesson 7～9までの総復習、まとめ</p> <p>第29回 Lesson 10～11までの総復習、まとめ</p> <p>第30回 後期末試験</p>
----------	--

準備学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各レッスンごとに英文の大意をまとめること。 2. 質問箇所を明記しておくこと。
履修上の留意点	<p>かならず毎時間の予習が必要である。</p>
成績評価の方法	<p>前・後期試験(50%)、小テスト(40%)、プレゼンテーションと出席率(10%)で評価する。</p>
教科書/テキスト	<p>『World Events』(オセアニア出版) 1,500円 ISBN4-87203-089-3 C1082</p>
参考書	

履修コード	240801
科目名	英語I B
担当者名	高橋 明子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、人間と自然との関わりをテーマにしたビデオ映像に用いられる英語の大意がつかめるようになる。リスニング力を向上させ、簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
授業スケジュール	4回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1～4：導入とA Real Winner、5～8：Zoo Dentists、9～12：Solar Cooking、13・14：Bird Girl(1)、15：中間テスト。後期16・17：Bird Girl(2)、18～21：Beagle Patrol、22～25：Polar Bears in Trouble、26～29：Aquarium on Wheels、30：期末テスト。
準備学習	毎回の授業で用いられる語句の下調べをする。テキスト付属のDVD映像をあらかじめ視聴する。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト(60%)、平常点(出席、授業態度等40%)
教科書/テキスト	山科美和子、横山三鶴 他著、『Snapshots from the Globe ナショナルジオグラフィックDVDで学ぶ一人と自然』、センテージラーニング株式会社、本体2300円＋税、ISBN 978-1-133-31772-2
参考書	

履修コード	241501
科目名	英語I B
担当者名	高橋 明子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、人間と自然との関わりをテーマにしたビデオ映像に用いられる英語の大意がつかめるようになる。リスニング力を向上させ、簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
授業スケジュール	4回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1～4：導入とA Real Winner、5～8：Zoo Dentists、9～12：Solar Cooking、13・14：Bird Girl(1)、15：中間テスト。後期16・17：Bird Girl(2)、18～21：Beagle Patrol、22～25：Polar Bears in Trouble、26～29：Aquarium on Wheels、30：期末テスト。
準備学習	毎回の授業で用いられる語句の下調べをする。テキスト付属のDVD映像をあらかじめ視聴する。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト(60%)、平常点(出席、授業態度等40%)
教科書/テキスト	山科美和子、横山三鶴 他著、『Snapshots from the Globe ナショナルジオグラフィックDVDで学ぶ一人と自然』、センテージラーニング株式会社、本体2300円＋税、ISBN 978-1-133-31772-2
参考書	

履修コード	241601
科目名	英語I B
担当者名	高橋 明子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、人間と自然との関わりをテーマにしたビデオ映像に用いられる英語の大意がつかめるようになる。リスニング力を向上させ、簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
授業スケジュール	4回にわたり同一テーマの下、読む、聞く、書く、話す訓練を行い、テストで締めくくる。前期1～4：導入とA Real Winner、5～8：Zoo Dentists、9～12：Solar Cooking、13・14：Bird Girl(1)、15：中間テスト。後期16・17：Bird Girl(2)、18～21：Beagle Patrol、22～25：Polar Bears in Trouble、26～29：Aquarium on Wheels、30：期末テスト。
準備学習	毎回の授業で用いられる語句の下調べをする。テキスト付属のDVD映像をあらかじめ視聴する。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	中間・期末テスト(60%)、平常点(出席、授業態度等40%)
教科書/テキスト	山科美和子、横山三鶴 他著、『Snapshots from the Globe ナショナルジオグラフィックDVDで学ぶ一人と自然』、センテージラーニング株式会社、本体2300円＋税、ISBN 978-1-133-31772-2
参考書	

履修コード	240701
科目名	英語ⅠB
担当者名	高橋 佳江
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を読むことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。
授業スケジュール	概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。
準備学習	わからない単語などは予め調べておくこと。
履修上の留意点	教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。
成績評価の方法	2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。
教科書/テキスト	初回の授業時に指示する。
参考書	
その他	必ず復習をすること。

履修コード	241301
科目名	英語ⅠB
担当者名	高橋 佳江
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を読むことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。
授業スケジュール	概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。
準備学習	わからない単語などは予め調べておくこと。
履修上の留意点	教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。
成績評価の方法	2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。
教科書/テキスト	初回の授業時に指示する。
参考書	
その他	必ず復習をすること。

履修コード	242311
科目名	英語ⅠB
担当者名	高橋 佳江
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を読むことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。
授業スケジュール	概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。
準備学習	わからない単語などは予め調べておくこと。
履修上の留意点	教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。
成績評価の方法	2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。
教科書/テキスト	初回の授業時に指示する。
参考書	
その他	必ず復習をすること。

履修コード	246801
科目名	英語ⅠB
担当者名	高橋 佳江
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法を理解しながらまとまった量の英文を読むことができるようになる。また、リスニングに慣れていく。
授業スケジュール	概ね1回の授業で1課ずつ進んでいく。基本的な文法事項の復習、毎回の授業でリスニングの練習も併せて行う。必要に応じ小テストを行う。
準備学習	わからない単語などは予め調べておくこと。
履修上の留意点	教科書、ノート、辞書は必ず持ってくる。出欠に関する諸届けは忘れずに提出すること。
成績評価の方法	2/3以上出席をして前期後期の試験の点数の平均が原則60点以上の者を合格とする。授業時の発言点、小テストの点などの平常点も加味する。
教科書/テキスト	初回の授業時に指示する。
参考書	
その他	必ず復習をすること。

履修コード	243201
科目名	英語ⅠB
担当者名	塚本 利男
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。
授業スケジュール	イギリスの文化、歴史、スポーツなどについての英文を読みます。1. ガイダンス 2. Arriving in London 3. London's museums and art galleries 4. Royal palaces and castles 5. Sports venues 6. Shopping in London 7. Unit 1~5のまとめと小テスト 8. Canterbury 9. Cheddar, Wells and Glastonbury 10. Cheltenham and Broadway 11. Chester 12. The Yorkshire Dales 13. Newcastle-upon-Tyne 14. Unit6~11のまとめと小テスト 15. 前期テスト 16. 前期テストの返却と説明 17. Swansea and Gower 18. Brecon Beacons 19. Conwy and Caernarfon 20. Unit 12~14のまとめと小テスト 21. Edinburgh 22. Glasgow 23. The Isle of Skye 24. Unit15~17のまとめと小テスト 25. Belfast 26. The Causeway Coast 27. The Isle of Man 28. Unit18~20のまとめと小テスト 29. 後期テスト 30. 後期テスト返却とその説明 (再テスト)
準備学習	必ず予習をして授業に出席すること。
履修上の留意点	出席を重視します。辞書(電子辞書)を持ってくること。
成績評価の方法	発表などの平常授業の評価(20%)、小テスト(20%)、前期・後期のテスト(60%)の総合評価。
教科書/テキスト	Touring Britain 『英国探訪』 相澤一美・伊藤典子・リチャード・パウエル著 (株)朝日出版社 1,900円+税 ISBN978-4-255-15509-8 C1082
参考書	

履修コード	243801
科目名	英語ⅠB
担当者名	塚本 利男
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。
授業スケジュール	イギリスの文化、歴史、スポーツなどについての英文を読みます。1. ガイダンス 2. Arriving in London 3. London's museums and art galleries 4. Royal palaces and castles 5. Sports venues 6. Shopping in London 7. Unit 1~5のまとめと小テスト 8. Canterbury 9. Cheddar, Wells and Glastonbury 10. Cheltenham and Broadway 11. Chester 12. The Yorkshire Dales 13. Newcastle-upon-Tyne 14. Unit6~11のまとめと小テスト 15. 前期テスト 16. 前期テストの返却と説明 17. Swansea and Gower 18. Brecon Beacons 19. Conwy and Caernarfon 20. Unit 12~14のまとめと小テスト 21. Edinburgh 22. Glasgow 23. The Isle of Skye 24. Unit15~17のまとめと小テスト 25. Belfast 26. The Causeway Coast 27. The Isle of Man 28. Unit18~20のまとめと小テスト 29. 後期テスト 30. 後期テスト返却とその説明 (再テスト)
準備学習	必ず予習をして授業に出席すること。
履修上の留意点	出席を重視します。辞書(電子辞書)を持ってくること。
成績評価の方法	発表などの平常授業の評価(20%)、小テスト(20%)、前期・後期のテスト(60%)の総合評価。
教科書/テキスト	Touring Britain 『英国探訪』 相澤一美・伊藤典子・リチャード・パウエル著 (株)朝日出版社 1,900円+税 ISBN978-4-255-15509-8 C1082
参考書	

履修コード	244621
科目名	英語ⅠB
担当者名	塚本 利男
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語を基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、出来るだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。
授業スケジュール	現代社会で話題になっていることからや学術的な問題などに関する英文を読みます。 1. ガイダンス 2. ヨーガ 3. ポスト・イット 4. 宇宙旅行 5. インターネット俗語 6. アイスcream味見人 7. ミア・ハム 8. いじめ 9. ケベック冬祭り 10. 盗作 11. シックハウス症候群 12. バードストライク 13. 人口減少 14. 2~13までのまとめと小テスト 15. 前期テスト 16. 前期テストの返却とその説明 17. クラゲ 18. ガラス職人 19. ブラジル流サッカー 20. エディプス・エレクトラ・コンプレックス 21. ヤフー! 22. 光公害 23. 英語の種類 24. バーチャルリアリティー 25. ガイ・フォークス祭り 26. 2030年 27. 宇宙飛行士 28. 安全性テスト用人形 29. 後期テスト 30. 後期テストの返却とその説明 (再テスト)
準備学習	必ず予習して出席すること。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	年2回の学期試験(60%)、小テスト(20%)、出席の状況、発表などの平常授業の評価(20%)、を総合して評価します。
教科書/テキスト	Practical Reading Expert 『リーディング エキスパート 基礎強化編』 穴戸真・森茂利・鎌田幸雄・Jason Barrows 著 (株)成美堂 1,800円+税 ISBN978-4-7919-5081-2 C1082
参考書	

履修コード	241201
科目名	英語I B
担当者名	勅使河原 三保子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要：授業6、7回にわたり同一テーマの下、インターネットの記事やビデオを用いて読む・聞く訓練を行い、それらを基に書く・話す訓練を行い、テストで締めくくる。 到達目標：高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	前期1：導入 2～7：言語とアイデンティティー①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：人生①～⑥ 15：理解度の確認 後期1：導入 2～7：幸福①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：テーマ4 (未定) ①～⑥ 15：理解度の確認
----------	--

準備学習	YeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度確認テスト4回 (80%)、平常点 (授業態度、小テスト、授業外のYeStudy利用等20%)
教科書/テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	

履修コード	242001
科目名	英語I B
担当者名	勅使河原 三保子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要：授業6、7回にわたり同一テーマの下、インターネットの記事やビデオを用いて読む・聞く訓練を行い、それらを基に書く・話す訓練を行い、テストで締めくくる。 到達目標：高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事やビデオに用いられる英語の大意がつかめるようになる。簡単な筆記、口頭での応答ができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	前期1：導入 2～7：言語とアイデンティティー①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：人生①～⑥ 15：理解度の確認 後期1：導入 2～7：幸福①～⑥ 8：理解度の確認 9～14：テーマ4 (未定) ①～⑥ 15：理解度の確認
----------	--

準備学習	YeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度確認テスト4回 (80%)、平常点 (授業態度、小テスト、授業外のYeStudy利用等20%)
教科書/テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	

履修コード	243101
科目名	英語I B
担当者名	照山 雄彦

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	概要 国際語としての英語の実用性を重視する立場から英語運用能力のうち、特に構文の理解と文法 の力を高めることを主眼とする。そのために英語の構文をしっかりと習得することを目指す。
---------------------	--

目標
この授業では、原書講読を通してアメリカの文化や社会を垣間見ながら、英語の読解力を高め
ることを目標にします。語彙・文法・表現・構文などに注意しながら、じっくりと内容を理解す
ることに時間をかけていきます。

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1、授業内容の説明、最重要動詞の表現 2、最重要動詞の表現 3、最重要動詞の表現 4、最重要名詞の表現 5、最重要名詞の表現 6、最重要名詞の表現 7、最重要名詞の表現 8、理解度の確認 9、動詞と文型 10、時制 11、時間の表現 12、動詞と名詞の働き 13、形容詞と副詞の働き 14、助動詞の表現 15、理解度の確認 16、能動文と受動文 17、修飾 18、接続 19、否定と強調と省略 20、理解度の確認 21、多種にわたっての目的、補語 22、注意すべき文型 23、Itを含む文型、there構文 24、句、節による修飾 25、to否定詞を含む構文 26、分詞を含む構文 27、注意すべき接続詞 28、仮定、比較を表す構文 29、名詞の構文、無生物主語構文 30、理解度の確認
----------	--

準備学習	毎回、予習となる課題があります。授業の終わりには小テストを行います。丹念に辞書を引くこ と。これが外国語習得の一番の近道です。こつこつ積み上げて力をつけていきましょう。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の説明をするので第一日めは必ず出席すること。毎回、辞書持参のこと。(電子辞書可) ・原則として、全授業数の2/3以上出席のこと。(遅刻3回で1欠席になります)
---------	---

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢(平常点) ・授業内での課題の発表(平常点) ・夏の課題 ・小テスト ・前期後期定期試験(100点×2) 出席を前提に、上記を総合的に判断して評価します。
---------	---

教科書/テキスト	最初の授業に説明する
----------	------------

参考書	適宜、授業で紹介します。
-----	--------------

履修コード	246501
科目名	英語ⅡB
担当者名	西村 祐子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基礎として、インターネットの記事や英字新聞の英語の大意がつかめるようになる。英語で日常の出来事を書いたり口頭での表現ができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(授業のめざすものと受け方について) Infinitive 2 Causative verbs 3 Gerund 4 復習、テスト 5 Relative pronoun-(1) 6 Relative pronoun -(2) 7 Relative pronoun (3) 8 復習、テスト 9 Conjunctions 10 Past participle-1 11 Past participle-2 12 Past participle-3 13 復習、テスト 14 Relative pronoun nonrestrictive 15 Relative pronoun with preposition <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Various 'it' usages 2 Relative clause with what 3 Subjunctive clause 4 Relative adverb (1) 5 復習、テスト 6 Relative adverb (2) 7 Exclamatory sentence (1) 8 Exclamatory sentence (2) 9 Various prepositions 10 Perfect infinitive and perfect gerund (1) 11 Perfect infinitive and perfect gerund (2) 12 Review exercise 1 13 Review exercise 2 14 Review exercise 3 15 Review exercise 4
----------	--

以上はオンライン上で入手する教材、このほかに教科書を各回1ユニットずつ学習する。

準備学習	YeStudyに登録し使い方を学習しておく。
------	------------------------

履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないと単位習得ができない。
---------	-----------------------------

必修クラスなので基本的な英語を学ぶことに重点をおく。
課題をきちんと提出し、授業にでることを習慣づけてほしい。

成績評価の方法	授業内小テスト、提出物(60%)、平常点(出席、授業態度等40%)、
---------	------------------------------------

教科書/テキスト	Hit Parade Listening; Third Edition, Macmillan Language House 978-4-7773-6379-7 2100円 その他配布物およびオンライン資料
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	240411
科目名	英語ⅠB
担当者名	濱口 真木
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高校までに培った英語力を基にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの技能の向上を目指す。
授業スケジュール	高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共に幅広い分野の英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。 前期 第1回 オリエンテーション、第2～3回 文の要素、第4～5回 基本五文型、第6～7回 第一文型・be動詞・一般動詞、第8～9回 動詞の種類、第10～11回 第二文型・名詞(1)、第12～13回 名詞(2)、第14回 前期のまとめ、第15回 前期テスト 後期 第1～3回 第三文型・代名詞(1)、第4回 代名詞(2)、第5～6回 第四文型・形容詞、第7～8回 第五文型・副詞、第9～10回 冠詞、前置詞、第11～12回 接続詞 関係詞、第13回 助動詞、第14回 後期のまとめ、第15回 後期テスト
準備学習	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしておくこと。
履修上の留意点	テキスト、ノート、英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
教科書/テキスト	Make It Clear 朝日出版 1,600円+税 ISBN978-4-255-15514-2
参考書	

履修コード	243301
科目名	英語ⅠB
担当者名	濱口 真木
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	様々な英文を読んでリーディング力やリスニングなどの強化を目指す。主に読解能力、重要な語彙の習得、パラグラフリーディングによる内容把握の能力などの向上を図る。
授業スケジュール	高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共に幅広い分野の英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。 前期 第1回 オリエンテーション、第2～3回 Unit1、第4～5回 Unit2、第6～7回 Unit3、第8～9回 Unit4、第10～11回 Unit5、第12～13回 Unit6、第14回 前期のまとめ、第15回 前期テスト 後期 第1～3回 Unit7、第4～5回 Unit8、第6～7回 Unit9、第8～9回 Unit10、第10～11回 Unit11、第12～13回 Unit12、第14回 後期のまとめ、第15回 後期テスト
準備学習	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしておくこと。
履修上の留意点	テキスト、ノート、英語の辞書(電子辞書でも可)を必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
教科書/テキスト	Science in Focus 成美堂 1,900円+税 ISBN978-4-7919-5082-9
参考書	

履修コード	243901
科目名	英語1B
担当者名	濱口 真木

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に、様々な分野の英文を読みこむ。
---------------------	--

授業スケジュール	高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共に幅広い分野の英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。
----------	--

前期

第1回 オリエンテーション、第2～3回 Unit1、第4～5回 Unit2、第6～7回 Unit3、第8～9回 Unit4、第10～11回 Unit5、第12～13回 Unit6、第14回 前期のまとめ、第15回 前期テスト

後期

第1～3回 Unit7、第4～5回 Unit8、第6～7回 Unit9、第8～9回 Unit10、第10～11回 Unit11、第12～13回 Unit12、第14回 後期のまとめ、第15回 後期テスト

準備学習	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくること。
------	-----------------------------

履修上の留意点	テキスト、ノート、英語の辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
---------	-----------------------------------

成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
---------	--

教科書/テキスト	The World Watches Japan 南雲堂 1,900円+税
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	244641
科目名	英語1B
担当者名	濱口 真木

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	読解力の向上、重要な語彙の習得、文章の大意を把握する能力の習得を主眼に英文を読みこむ。
---------------------	---

授業スケジュール	高校までの英語で培った読解能力を更に強化すると共に幅広い分野の英文を読むことで、できるだけ日本語を介さずにイメージで英文の意味を直接理解できる能力を身につける。
----------	--

前期

第1回 オリエンテーション、第2～3回 Unit1、第4～5回 Unit2、第6～7回 Unit3、第8～9回 Unit4、第10～11回 Unit5、第12～13回 Unit6、第14回 前期のまとめ、第15回 前期テスト

後期

第1～3回 Unit7、第4～5回 Unit8、第6～7回 Unit9、第8～9回 Unit10、第10～11回 Unit11、第12～13回 Unit12、第14回 後期のまとめ、第15回 後期テスト

準備学習	授業は口頭による発表形式をとるので予習をしてくること。
------	-----------------------------

履修上の留意点	テキスト、ノート、英語の辞書（電子辞書でも可）を必ず持参すること。
---------	-----------------------------------

成績評価の方法	前期・後期テストの他に口頭発表、出席など総合で評価します。2/3以上の出席者を評価対象とし、60点以上を合格とする。
---------	--

教科書/テキスト	Science in Focus 成美堂 1,900円+税 ISBN978-4-7919-5082-9
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	348401
科目名	英語ⅠB
担当者名	林 孝憲

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	近年英字新聞で取り上げられる頻度が高いビジネスや社会問題を中心とする時事的な内容を取り扱い、正確に構文を理解して読んでゆく。リスニングはプリントを配布して行う。特に精読を心掛けて進め、英字新聞を読む準備としたい。
---------------------	--

授業スケジュール	1, 2回 : Toyko Marathone 3, 4回 : Mozart 5, 6回 : Capsule Endoscopes 7, 8回 : Collagen 9, 10回 : Bananas 11, 12回 : Agroforestry 13, 14回 : Sustainable Coffee 15, 16回 : Heat Pumps 17, 18回 : Urban Mines 19, 20回 : Akiba Otaku 21, 22回 : Internships 23, 24回 : Digital natives 25, 26回 : Statins 27, 28回 : Clones 29, 30回 : Anime Business
----------	--

準備学習	単語の意味調べなどの予習が必要になる。
------	---------------------

履修上の留意点	
---------	--

成績評価の方法	平常での発表および前後期の試験結果を含め総合的に評価する。平常での発表及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。平常点40%、前後期の試験60%を基準とする。
---------	--

教科書/テキスト	『Eco-action and the Changing Global Economy エコアクションと経済』(南雲堂) 1900円 +税 ISBN978-4-523-17687-9
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	241401
科目名	英語ⅠB
担当者名	樋渡 俊光

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎として、より高度な構文の理解と習得をはかり、参考文献として日本文学の翻訳本等に分れ、専門的興味をもたせる。
---------------------	---

授業スケジュール	上記目標達成の為、大学生として色々な社会的一般教養を英文を通して学習する為に、興味ある内容とする。 世界の教育(1-6)社会学(7-12)健康・医学・医療(13-18)環境・資源(19-24)経済(25-30)
----------	--

準備学習	毎回、予習をすること。授業は必ず辞書持参のこと。
------	--------------------------

履修上の留意点	日頃から世界の情報に注意を払い、教材の予習をはかる。
---------	----------------------------

成績評価の方法	年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価します。
---------	-----------------------------

教科書/テキスト	Shawn M. Clankie VOA Special English 南雲堂 1785円(価格) ISBN 978-4-523-17617-6 C0082
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	242321
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	国際人育成の為、国際人としての英語力を身につける為に高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又副教材を通して基礎的なBusiness Englishの習得をはかる。
授業スケジュール	国際社会のさまざまな新事情を学ぶ内容とする。 AmericaのSchool ID Tags・他 (1-6) Hackers・他 (7-12) イギリスの話題・他 (13-18) 認知症の問題・他 (19-24) 南アフリカ問題・他 (25-30) 副教材: Business English, Japan Times等を授業内に取り入れる。
準備学習	毎回予習を行うこと。必ず辞書持参のこと。
履修上の留意点	教材の予習、辞書持参
成績評価の方法	年2回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価
教科書/テキスト	Richard Best The World at a Glance 南雲堂 1500円+税 ISBN4-523-17525-X C0082
参考書	

履修コード	242801
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎として、より高度な構文の理解と習得をはかり、参考文献として日本文学の翻訳本等にふれ、専門的興味をもたせる。
授業スケジュール	上記目標達成の為、大学生として色々な社会的一般教養を英文を通して学習する為に、興味ある内容とする。 世界の教育(1-6) 社会学(7-12) 健康・医学・医療(13-18) 環境・資源(19-24) 経済 (25-30)
準備学習	毎回予習をすること。必ず辞書持参のこと。
履修上の留意点	日頃から世界の情報に注意を払い、教材の予習をはかる。
成績評価の方法	年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価します。
教科書/テキスト	Shawn M. Glankie VOA Special English 南雲堂 1785円 (価格) ISBN 978-4-523-17617-6 C0082
参考書	

履修コード	244001
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	国際人育成の為、国際人としての英語力を身につける為に高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又副教材を通して基礎的なBusiness Englishの習得をはかる。
授業スケジュール	国際社会のさまざまな新事情を学ぶ内容とする。授業前に単語の試験あり。 AmericaのSchool ID Tags・他 (1-6) Hackers・他 (7-12) イギリスの話題・他 (13-18) 認知症の問題・他 (19-24) 南アフリカ問題・他 (25-30) 副教材: Business English, Japan Times等を授業内に取り入れる。
準備学習	毎回予習を行うこと。辞書持参のこと。
履修上の留意点	教材の予習、辞書持参
成績評価の方法	年2回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価
教科書/テキスト	Richard Best The World at a Glance 南雲堂 1500円+税 ISBN4-523-17525-X C0082
参考書	

履修コード	244631
科目名	英語ⅠB
担当者名	樋渡 俊光
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	国際人としての英語力を身につける為に、高度な英語の構文の理解と習得をはかり、参考文献として英文で書かれた日本史にふれて専門的興味をもたせる。
授業スケジュール	色々な社会的分野に関して英文を通して興味ある内容とする。 水の問題・他 (1-6) 健康問題・他 (7-12) 学生生活・他 (13-18) Levi物語・他 (19-24) 女性の社会的地位・他 (25-30) 又日本史に関する英文資料の利用
準備学習	毎回予習を行うこと。辞書は必ず持参。
履修上の留意点	日頃から新聞、テレビ等を通して世界の情報に興味をもち、教材の予習をはかる。
成績評価の方法	年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価。
教科書/テキスト	Robert Hickling Get Reading! 金星堂 1950円 ISBN 978-4-7647-3877-5
参考書	

履修コード	246741
科目名	英語ⅠB
担当者名	樋渡 俊光
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、出来るだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目標とします。
授業スケジュール	1回：オリエンテーション、2回～14回：「大人」なる年齢、数字についての迷信、食事と健康、リサイクルあれこれ、余暇の過ごし方など、16回～29回：人生とは、占術とは、チョコレートの効用、食生活と環境問題など内容の英文を読みます。15回と30回：前期と後期のテストを実施します。毎回、授業の総仕上げとして、テキストの問題の小テストを行います。
準備学習	必ず予習して出席すること。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	年2回の学期試験 (50%)、小テスト (25%)、出席の状況、発表などの平常点 (25%)、を総合して評価します。
教科書/テキスト	初回授業にて指示します。
参考書	

履修コード	246101
科目名	英語IB
担当者名	福田 一貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要)入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。 (到達目標) これまでに学んだことを用いて、英文を正確に読み取り、聴き取れるようにする。 前期・後期2つずつ、こちらが配布するハンドアウトに基づいて上記の内容を行っていく。テキストのレベルは段階的にあげていくつもりである。クラスによっては進度・レベルを変更する場合もある。
---------------------	---

授業スケジュール	(前期) 1. イントロダクション 2. ハンドアウト1の読解、聴き取りその1 3. ハンドアウト1の読解、聴き取りその2 4. ハンドアウト1の読解、聴き取りその3 5. ハンドアウト1の読解、聴き取りその4 6. ハンドアウト1の読解、聴き取りその5 7. ハンドアウト1の復習 8. ハンドアウト2の読解、聴き取りその1 9. ハンドアウト2の読解、聴き取りその2 10. ハンドアウト2の読解、聴き取りその3 11. ハンドアウト2の読解、聴き取りその4 12. ハンドアウト2の読解、聴き取りその5 13. ハンドアウト2の復習 14. 予備日 15. 前期試験 (後期) 16. 前期講評 17. ハンドアウト3の読解、聴き取りその1 18. ハンドアウト3の読解、聴き取りその2 19. ハンドアウト3の読解、聴き取りその3 20. ハンドアウト3の読解、聴き取りその4 21. ハンドアウト3の読解、聴き取りその5 22. ハンドアウト3の復習 23. ハンドアウト4の読解、聴き取りその1 24. ハンドアウト4の読解、聴き取りその2 25. ハンドアウト4の読解、聴き取りその3 26. ハンドアウト4の読解、聴き取りその4 27. ハンドアウト4の読解、聴き取りその5 28. ハンドアウト4の復習 29. 予備日 30. 後期試験
----------	--

準備学習	1つの英文を扱い終わる度に、ノートを提出してもらおう。授業には、必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。また、授業内で単語テストを行うので、復習をすること。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	期末テスト(70%)、平常点(出席、授業態度等10%)、ノート提出(5%)、授業内での小テスト(15%)
教科書/テキスト	配付物
参考書	なし

履修コード	246711
科目名	英語1B
担当者名	福田 一貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。 (到達目標) これまでに学んだことを用いて、英文を正確に読み取り、聴き取れるようにする。 前期・後期2つずつ、こちらが配布するハンドアウトに基づいて上記の内容を行っていく。テキストのレベルは段階的にあげていくつもりである。クラスによっては進度・レベルを変更する場合もある。
---------------------	--

授業スケジュール	(前期) 1. イントロダクション 2. ハンドアウト1の読解、聴き取りその1 3. ハンドアウト1の読解、聴き取りその2 4. ハンドアウト1の読解、聴き取りその3 5. ハンドアウト1の読解、聴き取りその4 6. ハンドアウト1の読解、聴き取りその5 7. ハンドアウト1の復習 8. ハンドアウト2の読解、聴き取りその1 9. ハンドアウト2の読解、聴き取りその2 10. ハンドアウト2の読解、聴き取りその3 11. ハンドアウト2の読解、聴き取りその4 12. ハンドアウト2の読解、聴き取りその5 13. ハンドアウト2の復習 14. 予備日 15. 前期試験 (後期) 16. 前期講評 17. ハンドアウト3の読解、聴き取りその1 18. ハンドアウト3の読解、聴き取りその2 19. ハンドアウト3の読解、聴き取りその3 20. ハンドアウト3の読解、聴き取りその4 21. ハンドアウト3の読解、聴き取りその5 22. ハンドアウト3の復習 23. ハンドアウト4の読解、聴き取りその1 24. ハンドアウト4の読解、聴き取りその2 25. ハンドアウト4の読解、聴き取りその3 26. ハンドアウト4の読解、聴き取りその4 27. ハンドアウト4の読解、聴き取りその5 28. ハンドアウト4の復習 29. 予備日 30. 後期試験
----------	--

準備学習	1つの英文を扱い終わる度に、ノートを提出してもらう。授業には、必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。また、授業内で単語テストを行うので、復習をすること。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	期末テスト(70%)、平常点(出席、授業態度等10%)、ノート提出(5%)、授業内での小テスト(15%)
教科書/テキスト	配付物
参考書	なし

履修コード	245201
科目名	英語I B
担当者名	藤井 道行

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英語の4技能を無理なく伸ばすことを目的とした、テキストを用います。ただし、この科目の設定目標に即して、リーディングのパートを優先します。特に語彙力、イディオムを強化します。また、リスニングと文法のパートにも可能な限り時間を割きます。授業内外でテキストに本気で取り組めば、アクティブに英語を読む、聞くヒントを発見する機会がたくさんあると思います。</p> <p>(到達目標) ある程度の長さのまとまった内容をもつ平易な英文を、より速く、より正確に読めるようになることを目標とします。学生の到達度は、小テストによって確認します。その到達度を高めるためにどうしても必要となるのが、基礎的な文法事項の理解です。その定着のために、テキストに用意されている豊富な文法問題に取り組めます。その他に、授業では次のことにストレス(力点)を置きます。ひとつは、テキストの文章を読むとき、どこを速読で処理し、どこを精読すべきかを、速やかに判断するコツを身につけることです。もうひとつは、より自然な英語のダイアログ、あるいは説明内容を耳から理解することに慣れることによって、英語を聞き取ることと、スピーディーに英語を読み取ることに有機的な結びつきを見つけることです。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 イントロダクション</p> <p>第2回 Unit 1 A world of difference Worlds apart</p> <p>第3回 Unit 1 A world of difference A world in one family</p> <p>第4回 Unit 2 The work week Charles, Prince of Wales</p> <p>第5回 Unit 2 The work week Who earns how much?</p> <p>第6回 Unit 3 Good times, bad times A Shakespearean Tragedy</p> <p>第7回 Unit 3 Good times, bad times The first time I fell in love</p> <p>第8回 理解度確認のための小テスト</p> <p>第9回 Unit 4 Getting it right Kids then and now</p> <p>第10回 Unit 4 Getting it right Rules for life</p> <p>第11回 Unit 5 Our Changing World Life fifty years from now</p> <p>第12回 Unit 5 Our Changing World World weather warning</p> <p>第13回 Unit 6 What matters to me The heart of the home</p> <p>第14回 Unit 6 What matters to me My closest relative</p> <p>第15回 理解度確認のための小テスト</p> <p>第16回 Unit 7 Passions and fashions Soccer-global passion</p> <p>第17回 Unit 7 An Interview/ Things I'm passionate about</p> <p>第18回 Unit 8 No fear! Dangerous trips in history</p> <p>第19回 Unit 8 No fear! Fears and phobias</p> <p>第20回 Unit 9 It depends how you look at it</p> <p>第21回 Unit 9 A social conscience</p> <p>第22回 理解度確認のための小テスト</p> <p>第23回 Unit 10 All things high tech Architecture old and new</p> <p>第24回 Unit 10 What do you do on the Internet?</p> <p>第25回 Unit 11 Seeing is believing</p> <p>第26回 Unit 11 A discussion of optical illusions</p> <p>第27回 Unit 12 People who changed the world</p> <p>第28回 Unit 12 Telling it like it is She didn't say that!</p> <p>第29回 補足資料を読む・聞く</p> <p>第30回 理解度確認のための小テスト</p>
----------	---

準備学習	<p>毎回の授業の準備にどれだけの熱意と時間を注ぐことが出来るかが、この授業のみならず、受講者の英語力そのものを高める上での決め手となります。この準備段階で特に心がけたいのは、テキストの文章をきちんと声に出して読めるようにすることです。そのためには、発音に自信のない単語の発音記号は調べる必要があります。特に、アクセントの位置をしっかりとチェックしましょう。授業で取り組むリスニングのタスクにも役立ちます。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>言うまでもなく、授業にコンスタントに出席することが、履修上きわめて重要です。この点については、1回目の授業で具体的に説明します。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>1. 平常点 (授業内でのあらゆる活動、具体的には、指名による、あるいは自主的な発表、積極的な質問、通年で数回提出予定の課題の出来、予習の確認のための単語の問題に答える等) 20%</p> <p>2. 授業内に行う4回の小テストの成果 80%</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>著者名 Liz and John Soars 書名 American Headway 3 (Second Edition) 出版社 Oxford University Press 価格 2,990円 ISBN: 978-0-19-472983-3</p>
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	245701
科目名	英語ⅠB
担当者名	藤井 道行

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英語の4技能を無理なく伸ばすことを目的とした、テキストを用います。ただし、この科目の設定目標に即して、リーディングのパートを優先します。特に語彙力、イディオムを強化します。また、リスニングと文法のパートにも可能な限り時間を割きます。授業内外でテキストに本気で取り組めば、アクティブに英語を読む、聞くヒントを発見する機会がたくさんあると思います。</p> <p>(到達目標) ある程度の長さのまとまった内容をもつ平易な英文を、より速く、より正確に読めるようになることを目標とします。学生の到達度は、小テストによって確認します。その到達度を高めるためにもどうしても必要となるのが、基礎的な文法事項の理解です。その定着のために、テキストに用意されている豊富な文法問題に取り組めます。その他に、授業では次のことにストレス(力点)を置きます。ひとつは、テキストの文章を読むとき、どこを速読で処理し、どこを精読すべきかを、速やかに判断するコツを身につけることです。もうひとつは、より自然な英語のダイアログ、あるいは説明内容を耳から理解することに慣れることによって、英語を聞き取ることと、スピーディーに英語を読み取ることに間に有機的な結びつきを見つけることです。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 イン트로ダクション</p> <p>第2回 Unit 1 A world of difference Worlds apart</p> <p>第3回 Unit 1 A world of difference A world in one family</p> <p>第4回 Unit 2 The work week Charles, Prince of Wales</p> <p>第5回 Unit 2 The work week Who earns how much?</p> <p>第6回 Unit 3 Good times, bad times A Shakespearean Tragedy</p> <p>第7回 Unit 3 Good times, bad times The first time I fell in love</p> <p>第8回 理解度確認のための小テスト</p> <p>第9回 Unit 4 Getting it right Kids then and now</p> <p>第10回 Unit 4 Getting it right Rules for life</p> <p>第11回 Unit 5 Our Changing World Life fifty years from now</p> <p>第12回 Unit 5 Our Changing World World weather warning</p> <p>第13回 Unit 6 What matters to me The heart of the home</p> <p>第14回 Unit 6 What matters to me My closest relative</p> <p>第15回 理解度確認のための小テスト</p> <p>第16回 Unit 7 Passions and fashions Soccer-global passion</p> <p>第17回 Unit 7 An Interview/ Things I'm passionate about</p> <p>第18回 Unit 8 No fear! Dangerous trips in history</p> <p>第19回 Unit 8 No fear! Fears and phobias</p> <p>第20回 Unit 9 It depends how you look at it</p> <p>第21回 Unit 9 A Social conscience</p> <p>第22回 理解度確認のための小テスト</p> <p>第23回 Unit 10 All things high tech Architecture old and new</p> <p>第24回 Unit 10 What do you do on the Internet?</p> <p>第25回 Unit 11 Seeing is believing</p> <p>第26回 Unit 11 A discussion of optical illusions</p> <p>第27回 Unit 12 People who changed the world</p> <p>第28回 Unit 12 Telling it like it is She didn't say that!</p> <p>第29回 補足資料を読む・聞く</p> <p>第30回 理解度確認のための小テスト</p>
----------	---

準備学習	毎回の授業の準備にどれだけの熱意と時間を注ぐことが出来るかが、この授業のみならず、受講者の英語力そのものを高める上での決め手となります。この準備段階で特に心がけたいのは、テキストの文章をきちんと声に出して読めるようにすることです。そのためには、発音に自信のない単語の発音記号は調べる必要があります。特に、アクセントの位置をしっかりとチェックしましょう。授業で取り組むリスニングのタスクにも役立つはずです。
履修上の留意点	言うまでもなく、授業にコンスタントに出席することが履修上きわめて重要です。この点については、1回目の授業で具体的に説明します。
成績評価の方法	<p>1. 平常点 (授業内でのあらゆる活動、具体的には、指名による、あるいは自主的な発表、積極的な質問、通年で数回提出予定の課題の出来、予習の確認のための単語の問題に答える等) 20%</p> <p>2. 授業内に行う4回の小テストの成果 80%</p>
教科書/テキスト	<p>著者名 Liz and John Soars</p> <p>書名 American Headway 3 (Second Edition)</p> <p>出版社 Oxford University Press 価格 2,990円 ISBN: 978-0-19-472983-3</p>
参考書	

履修コード	241001
科目名	英語ⅠB
担当者名	本間 章郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成と英単語の語彙の増加、そしてTOEICに慣れることを目指します。</p> <p>(到達目標)</p> <p>使用する教科書は、環境問題、文化、教養、健康、ビジネス活動など、現代社会において関心の高いテーマを扱ったもので、比較的、読みやすい英文で書かれています。英文を読む上での基本的な構文を確認しながら、内容を的確に把握し、それぞれのテーマに関連する語彙を習得してもらいたいと思います。</p> <p>また、小テストとしてTOEIC用の問題を使用します。リスニング問題などに対して、特に抵抗感を感じる方もいるかもしれませんが、小テストを重ねることで、TOEICに頻出するビジネスに関連する語彙を学び、TOEICという試験自体に慣れてもらえればと思います。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回：授業ガイダンス</p> <p>第2回：Unit 7 Capsule Endoscopes</p> <p>第3回：Unit 7 Capsule Endoscopes</p> <p>第4回：Unit 8 Rice Flour</p> <p>第5回：Unit 8 Rice Flour</p> <p>第6回：Unit 9 Collagen</p> <p>第7回：Unit 9 Collagen</p> <p>第8回：Unit 10 Bananas</p> <p>第9回：Unit 10 Bananas</p> <p>第10回：Unit 11 Agroforestry</p> <p>第11回：Unit 11 Agroforestry</p> <p>第12回：Unit 12 Sustainable Coffee</p> <p>第13回：Unit 12 Sustainable Coffee</p> <p>第14回：進度の調節のための予備日</p> <p>第15回：進度の調節のための予備日</p> <p>第16回：小テスト</p> <p>第17回：Unit 13 Heat Pumps</p> <p>第18回：Unit 13 Heat Pumps</p> <p>第19回：Unit 14 Urban Mines</p> <p>第20回：Unit 14 Urban Mines</p> <p>第21回：Unit 16 Internships</p> <p>第22回：Unit 16 Internships</p> <p>第23回：Unit 18 Statins</p> <p>第24回：Unit 18 Statins</p> <p>第25回：Unit 19 Clones</p> <p>第26回：Unit 19 Clones</p> <p>第27回：Unit 20 Anime Business</p> <p>第28回：理解度の確認</p> <p>第29回：授業のまとめ</p> <p>第30回：進捗調節のための予備日</p>
----------	--

授業の進度に応じて、授業で扱う教科書の章の変更があるかもしれないので、注意してください。

準備学習	<p>毎回、事前に教科書の予習が必要です。十分な時間をかけて、準備を行って授業に臨んでください。また、小テストをおこなった次の週には、質問をしながら解答を確認していくので、必ずテストの復習をおこなってください。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。原則として、3分の2以上出席すること。</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>成績評価は次の諸点から総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書から出題する学年末テスト (成績評価全体の約80%) 2. 授業でおこなう小テスト (成績評価全体の約20%)
---------	---

教科書/テキスト	<p>ジョアン・ペロケティ他 Eco-action and the Changing Global Economy (『エコアクションと経済』) 南雲堂 1900円+税 ISBN978-4-523-17687-9</p>
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	241901
科目名	英語ⅠB
担当者名	本間 章郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成と英単語の語彙の増加、そしてTOEICに慣れることを目指します。</p> <p>(到達目標)</p> <p>使用する教科書は、環境問題、文化、教養、健康、ビジネス活動など、現代社会において関心の高いテーマを扱ったもので、比較的、読みやすい英文で書かれています。英文を読む上での基本的な構文を確認しながら、内容を的確に把握し、それぞれのテーマに関連する語彙を習得してもらいたいと思います。</p> <p>また、小テストとしてTOEIC用の問題を使用します。リスニング問題などに対して、特に抵抗感を感じる方もいるかもしれませんが、小テストを重ねることで、TOEICに頻出するビジネスに関連する語彙を学び、TOEICという試験自体に慣れてもらえればと思います。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回：授業ガイダンス</p> <p>第2回：Unit 7 Capsule Endoscopes</p> <p>第3回：Unit 7 Capsule Endoscopes</p> <p>第4回：Unit 8 Rice Flour</p> <p>第5回：Unit 8 Rice Flour</p> <p>第6回：Unit 9 Collagen</p> <p>第7回：Unit 9 Collagen</p> <p>第8回：Unit 10 Bananas</p> <p>第9回：Unit 10 Bananas</p> <p>第10回：Unit 11 Agroforestry</p> <p>第11回：Unit 11 Agroforestry</p> <p>第12回：Unit 12 Sustainable Coffee</p> <p>第13回：Unit 12 Sustainable Coffee</p> <p>第14回：進度の調節のための予備日</p> <p>第15回：進度の調節のための予備日</p> <p>第16回：小テスト</p> <p>第17回：Unit 13 Heat Pumps</p> <p>第18回：Unit 13 Heat Pumps</p> <p>第19回：Unit 14 Urban Mines</p> <p>第20回：Unit 14 Urban Mines</p> <p>第21回：Unit 16 Internships</p> <p>第22回：Unit 16 Internships</p> <p>第23回：Unit 18 Statins</p> <p>第24回：Unit 18 Statins</p> <p>第25回：Unit 19 Clones</p> <p>第26回：Unit 19 Clones</p> <p>第27回：Unit 20 Anime Business</p> <p>第28回：理解度の確認</p> <p>第29回：授業のまとめ</p> <p>第30回：進捗調節のための予備日</p>
----------	--

授業の進度に応じて、授業で扱う教科書の章の変更があるかもしれないので、注意してください。

準備学習	<p>毎回、事前に教科書の予習が必要です。十分な時間をかけて、準備を行って授業に臨んでください。また、小テストをおこなった次の週には、質問をしながら解答を確認していくので、必ずテストの復習をおこなってください。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。原則として、3分の2以上出席すること。</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>成績評価は次の諸点から総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書から出題する学年末テスト (成績評価全体の約80%) 2. 授業でおこなう小テスト (成績評価全体の約20%)
---------	---

教科書/テキスト	<p>ジョアン・ペロケティ他 Eco-action and the Changing Global Economy (『エコアクションと経済』) 南雲堂 1900円+税 ISBN978-4-523-17687-9</p>
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	242101
科目名	英語I B
担当者名	本間 章郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英語の基本的な文法および構文を確認しながら、英文を的確に読むことのできる読解力の育成と英単語の語彙の増加、そしてニュース英語を聞きながら、英語の音声に慣れることを目指します。</p> <p>(到達目標) 使用する教科書は、BBCで放映された、さまざまな現代の社会問題などを扱ったニュースを編集した教科書です。実際にBBCで放映された映像と音声から、それぞれのニュースの内容を的確に把握し、英語の音声聞き取ることを練習していきます。英語の音声聞き取ることに抵抗感を感じる方もいるかと思いますが、教科書は段階的に内容を把握していくことができるように編集されているので、徐々に英語の音声に慣れていくことができるのではないかと思います。音声を聞き取る練習の後、英語の基本的な構文や重要な語彙を確認しながら、英文の内容を確認していきます。この授業が、的確に英文の内容を総合的に把握する力を育む機会になればと思います。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：授業ガイダンス 第2回：Unit 1 Olympic Tickets on Sale 第3回：Unit 1 Olympic Tickets on Sale 第4回：Unit 2 Free from House Arrest 第5回：Unit 2 Free from House Arrest 第6回：Unit 3 Kate Middleton Tour 第7回：Unit 3 Kate Middleton Tour 第8回：Unit 4 Wikipedia-10 Years Old 第9回：Unit 4 Wikipedia-10 Years Old 第10回：Unit 5 Beef from Cloned Cows 第11回：Unit 5 Beef from Cloned Cows 第12回：Unit 7 Women's Lives in Afghanistan 第13回：Unit 7 Women's Lives in Afghanistan 第14回：進捗調整のための予備日 第15回：進捗調整のための予備日 第16回：小テスト 第17回：Unit 8 British Summertime Controversy 第18回：Unit 8 British Summertime Controversy 第19回：Unit 9 Bio-diversity at Risk 第20回：Unit 9 Bio-diversity at Risk 第21回：Unit 10 Tobacco Displays Banned 第22回：Unit 10 Tobacco Displays Banned 第23回：Unit 12 Jobs for the Over-50s 第24回：Unit 12 Jobs for the Over-50s 第25回：Unit 13 Imports Increase Food Miles 第26回：Unit 13 Imports Increase Food Miles 第27回：Unit 15 A Celebration of Multiculturalism in London 第28回：理解度の確認 第29回：授業のまとめ 第30回：進捗調整のための予備日</p>
----------	--

授業の進度に応じて、授業で扱う教科書の章の変更があるかもしれないので、注意してください。

準備学習	<p>毎回、事前に教科書の予習が必要です。十分な時間をかけて、付属のDVDを聞いて空欄の単語の聞き取りに挑戦してみてください。また、わからない単語・表現を調べて、内容に関する質問に答えられるようにしてください。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>語学の授業ですので、毎回、出席を取ります。成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。原則として、3分の2以上出席すること。</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>成績評価は次の諸点から総合的に判断します。 1. 教科書から出題する学年末テスト (成績評価全体の約80%) 2. 授業でおこなう小テスト (成績評価全体の約20%)</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>小野田 榮他 BBC Understanding the News in English 9 (『DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える9』) 金星堂 2400円+税 ISBN978-4-7647-3937-6 C1082</p>
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	241101
科目名	英語ⅠB
担当者名	増田 恵子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指してまいります。
授業スケジュール	第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です（第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回）。第29回：講義のまとめ。理解度の確認（第8、15、22、30回）。
準備学習	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	試験の成績60%、小テスト20%、平常点20%を基本に、総合的に評価します。
教科書／テキスト	Hit Parade Listening/Third Edition (Nobuhiro Kumai/Stephen Timson著) 出版：MACMILLAN LANGUAGEHOUSE (2100円) ISBN: 978-4-7773-6379-7
参考書	

履修コード	242401
科目名	英語ⅠB
担当者名	増田 恵子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指してまいります。
授業スケジュール	第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です（第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回）。第29回：講義のまとめ。理解度の確認（第8、15、22、30回）。
準備学習	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	試験の成績60%、小テスト20%、平常点20%を基本に、総合的に評価します。
教科書／テキスト	Reading Pass 1 (Andrew E. Bennett著) (南雲堂 2310円) ISBN: 978-4-523-17608-4
参考書	

履修コード	242901
科目名	英語ⅠB
担当者名	増田 恵子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の基礎を固めながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指してまいります。
授業スケジュール	第1回：ガイダンス。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1～2回で1章を終える予定です（第2～7回、第9～14回、第16～21回、第23～28回）。第29回：講義のまとめ。理解度の確認（第8、15、22、30回）。
準備学習	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をもらうので、単語調べ等の予習が必要となります。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	試験の成績60%、小テスト20%、平常点20%を基本に、総合的に評価します。
教科書／テキスト	First Steps to Scitech English Basic (深山晶子 他) 桐原書店(1995円) ISBN: 978-4-342-55000-3
参考書	

履修コード	244301
科目名	英語I B
担当者名	松堂 啓子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	概要：入学時の英語を基礎として、語彙力、読解力の強化を図る。適宜、文法事項の解説を加えながら本文精読を行う。 目標：各段落の要点を押さえながら、文章の流れを把握する力をつける。
---------------------	---

授業スケジュール	1 ガイダンス 2 Alphabet 3 August 4 Barbarian 5 Review 6 Boycott 7 Champagne 8 Constable 9 Review 10 Cosmopolitan 11 Coup D'Etat 12 Derby 13 Review 14 Dictator 15 Fascist 16 Gentleman 17 Review 18 Guerrilla 19 Humorous 20 Lynch 21 Review 22 Marathon 23 Mile 24 Proletariat 25 Review 26 Romantic 27 Sabotage 28 Tragedy 29 Yankee 30 Review
----------	--

準備学習	語句の意味や発音を確認する。
履修上の留意点	単位取得には三分の二以上の出席日数が必要。
成績評価の方法	試験の結果60%、平常点40%で評価。
教科書／テキスト	『英単語のロマンスI』鷹書房弓プレス 1600円 ISBN4-8034-1154-9 C1082
参考書	

履修コード	244901
科目名	英語I B
担当者名	海琳 泰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要 欧米の通信社発信のニュースにダイレクトに触れる事は、情報があふれている今日の生活で非常に重要な事である。環境 健康に焦点をしばって正確な情報を取れる様にする。又、音声で日常のニュースを理解できる様にする。 到達目標 Reading--環境 健康に関するAP通信、ライター通信の記事を読む。 Listening-前週のBBC World のニュースの聞き取り。
---------------------	--

授業スケジュール	毎回授業の始め20分間はBBC World のニュースの聞き取り。 1-2 サンゴ礁 3-4 じゃがいも 5-6 オフィスに氷 7-8 アルツハイマー 9-10 サハラ砂漠の緑化 11-12 ストレス 13-14 ダム建設 15 まとめ 理解度の確認 16 禁煙 17-18 氷河 19-20薬草 21-22 干ばつ 23-24 アルコール 25-26 海面上昇 27-28 脂肪 29 エコ都市建設 30 まとめ 理解度の確認
----------	--

準備学習	予習の時、単語のみでなく固有名詞などもきちんと調べる事。毎日ニュースのヘッドラインをチェックしノートを作成すること。
履修上の留意点	毎日、Web上、テレビ、新聞等で国際問題、科学、医療、環境問題のニュースに注目すること。
成績評価の方法	試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答20%
教科書／テキスト	小笠原真司 Pino Cutrone編 Healing Our World (Today's Health and Environment News) 世界の環境と健康ニュースを読む 南雲堂 1800円 ISBN978-4-523-17647-3 C0082
参考書	
その他	水曜日III限

履修コード	245001
科目名	英語ⅠB
担当者名	海琳 泰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要 現代社会において、科学、医療情報は、生活全般に関わる重要な情報である。論理的思考の表現に最適な英語で正確に情報を取れる様にする。又、音声で日常のニュースを理解できる様にする。 到達目標 Reading—米国の一般人向け科学雑誌Science Newsの記事を読む。Listening—前週のBBC Worldのニュースの聞き取り。
---------------------	---

授業スケジュール	毎回授業の始め20分間はBBC Worldのニュースの聞き取り。1-2運転中の注意事項 3-4キリマンジャロの雪 5-6ナノテク電池 7-8地中海沿岸の初期人類 9-10表情 11-12津波 13-14ケブラーの活躍 15まとめ 理解度の確認 16ジャンクフード 17-18触感と脳 19-20体温調節 21-22抗うつ剤 23-24海水 25-26血中酸素濃度 27-28距離と時間 29絶滅の危機 30まとめ 理解度の確認
----------	---

準備学習	予習の時、単語のみでなく固有名詞などもきちんと調べること。 毎日ニュースのヘッドラインをチェックしノートを作成すること。
------	---

履修上の留意点	毎日、Web上、テレビ、新聞等で国際問題、科学、医療、環境問題のニュースに注目すること。
---------	--

成績評価の方法	試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20% 授業中の解答20%
---------	--------------------------------------

教科書/テキスト	野崎嘉信 Kevin Cleary 松本和子編著 Science Flash 先端科学の恵み 金星堂 1950円 ISBN978-4-7647-3925-3 C1082
----------	--

参考書	
-----	--

その他	水曜日 1限
-----	--------

履修コード	245801
科目名	英語ⅠB
担当者名	海琳 泰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要 英語を社会人レベルで使えるようになるためには、ヨーロッパ全体についての知識は不可欠である。現在進行形のEU EURO はもちろん歴史の大きな流れに焦点をあてて、英語でヨーロッパについて学ぶ。又、音声でヨーロッパの経済危機等ニュースを理解できる様にする。
---------------------	---

到達目標 Reading-英語学習に不可欠なヨーロッパ文化について学ぶ。Listening-前週のBBC World のニュースの聞き取り。

授業スケジュール	毎回授業の始め20分間は BBC World のニュースの聞き取り。2011年8月私はユーラシア大陸の最西端ポルトガルのロカ岬に立っていた。リスボン条約締結時EU首脳達が並んで記念撮影したジェロニモス修道院など現在の財政危機などささいな事に思えてしまう堂々とした建造物に圧倒されてしまった。1-2 EU EURO 言語 3 街の基本構造 4 ギリシャ 5 キリスト教 6-7 ルネサンス 8 Venice 9-10 フランス 11-12 スペイン 13 タータンチェック 14 London 15 まとめ 理解度の確認 16 Brussels 17-18 EU議会 19 Copenhagen 20 東西ドイツ 21-22 ライン川 23 スイス 24-25 Vienna 26-27 Praha 28-29未来 30 まとめ 理解度の確認 写真、ビデオ等で視覚的にも楽しめる授業とする。
----------	--

準備学習	予習の時 単語のみでなく地名は必ず地図で調べて確認すること。毎日ニュースのヘッドラインをチェックしノートを作成すること。
------	--

履修上の留意点	国際ニュースの中で特にEU、ヨーロッパに注目し、新聞、Web上、テレビ等で情報収集に努めること。EU の拡大、経済危機等、現在進行形の問題に焦点をあわせて最新の情報をとりいれていくこと。そのとき過去のヨーロッパ史に目を向けないと理解できない問題があることに気づくことと思う。
---------	---

成績評価の方法	試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20% 授業中の解答20%
---------	--------------------------------------

教科書/テキスト	John H. Randle 椋平淳著 Europe: A Changing Continent ヨーロッパ最前線 成美堂 1800円 ISBN 978-4-7919-3084-5 C1082
----------	--

参考書	
-----	--

その他	水曜日 11 限
-----	----------

履修コード	242301
科目名	英語ⅠB
担当者名	三芳 康義

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必修条件になっているため、要旨をつかむことに集中した速読に慣れることで、英語の語感を鋭敏にし、実践的な英語力をつける演習を行います。
---------------------	--

授業スケジュール	前期は、癖のないしっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英文の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから、後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力を入れ、内容の要旨を指摘する程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。同時に、会話文を中心にしたシャドーイングによるリスニングも行い、英語のリズムやイントネーションの基本を身につけることを目指します。
----------	---

準備学習	普段から英字新聞や英文雑誌などを意識的に読むことを心掛けてください。同時に、音声言語としての英語に慣れるために、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語の音声を聴くように習慣づけることが大切です。
------	--

履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書（電子辞書を含む）は必ず持参し、授業中であっても常に引くことを習慣づけること。
---------	--

成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
---------	---

教科書/テキスト	『America FAQ』 著者 Coen Nishiumi 出版社 IBCパブリッシング (1200円+税) ISBN 978-4-7946-0089-9
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	242601
科目名	英語ⅠB
担当者名	三芳 康義

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必修条件となっているため、とくに総合的な英文をたくさん読み、英語の語感を鋭敏にし、実用的な英語力の演習を行います。
---------------------	---

授業スケジュール	前期は、癖のない、しっかりとした英文の構造や語法の解説に時間を割き、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期になるまでに、一応の文法事項の復習を修了させてから後期の授業に臨む。とくに後期では、長文読解に力点を置き、日本語の和訳は、要約程度にとどめ、速読による大量の英文を読んでいく。また、適宜American accentを中心に、プリントなどを併用してシャドーイングも行い、英語のリズムやイントネーションの基礎を身につけることでリスニング力を向上させることを目指します。
----------	--

準備学習	英語辞書（電子辞書を含む）の持参を義務付けます。
------	--------------------------

履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な発言による授業参加を求めます。
---------	---

成績評価の方法	授業中の積極的な口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
---------	--

教科書/テキスト	『America FAQ』 著者 Coen Nishiumi 出版社 IBCパブリッシング 定価 (1200円+税) ISBN978-4-7946-0089-9
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	243001
科目名	英語ⅠB
担当者名	三芳 康義

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必修条件になっているため、とくにさまざまな分野の英文をたくさん読み、英語の語感を身につけ、実用的な英語力の向上を目指すこととなります。
---------------------	---

授業スケジュール	前期は、癖のない、しっかりとした英文を精読しながら、語法や文法事項の説明を再確認し、英語の「読み」を徹底的に訓練します。後期には、一応の文法事項の復習を修了させたうえで速読による長文読解に力点を置き、日本語和訳は要約程度にとどめ、要点を的確につかむ練習を行う。同時に、会話文を中心にしたシャドーイングによるリスニングもを行い、英語のリズムやイントネーションの基本を身につけることを目指します。
----------	--

準備学習	普段から英字新聞や英文雑誌などを意識的に読むことを心掛けてください。同時に、音声言語としての英語に慣れるために、ラジオやテレビなどのメディアを通じて、たくさんの英語の音声を聴くように習慣づけることが大切です。
------	--

履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書（電子辞書を含む）は必ず持参し、授業中であっても常に引くことを習慣づけること。
---------	--

成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
---------	---

教科書/テキスト	『America FAQ』 著者 Goen Nishiumi 出版社 IBCパブリッシング 定価 (1200円+税) ISBN 978-4-7946-0089-9
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	241801
科目名	英語ⅠB
担当者名	望月 千栄子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	前期はヒアリングを中心に映画の内容を字幕なしで理解できる事为目标に進めていきます。後期は高校英語の基礎に立ったスピードリーディングのテクニックを用い、平易な文章を大量に読む能力を培います。
---------------------	--

授業スケジュール	第1回： オリエンテーション 第2回： Unit1 第3回： Unit1後半～Unit2 第4回： Unit2 第5回： Unit3 第6回： Unit3後半と小テスト 第7回： Unit4 第8回： Unit4後半～Unit5 第9回： Unit5 第10回： Unit6 第11回： Unit6後半～Unit7 第12回： Unit7後半と小テスト 第13回： Unit8 第14回： Unit8後半とreview 第15回： 理解度の確認
----------	--

夏休み

第16回： Unit9
第17回： Unit9後半～Unit10
第18回： Unit10
第19回： まとめとreview
第20回～第29回： 毎回5～6ページを目標に読み進めていく
第30回： 理解度の確認

準備学習	各回予習可能な箇所は事前に予習し、授業にのぞむこと。
------	----------------------------

履修上の留意点	いかなる理由があろうと授業回数の3分の2以上出席しないと試験の受験資格を失う。
---------	---

成績評価の方法	出席20%、授業への参加度及び小テスト30%、中間、期末試験50%で評価を下す。但し、60%以上を合格とみなす。
---------	--

教科書/テキスト	The Devil Wears Prada: 映画総合教材『ブラダを着た悪魔』 (松柏社) ¥2200 ISBN978-4-88198-636-3
----------	--

プリント配布

参考書	
-----	--

履修コード	242701
科目名	英語I B
担当者名	望月 千栄子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	前期はヒアリングを中心に映画の内容を字幕なしで理解できる事を目標に進めていきます。 後期は高校英語の基礎に立ったスピードリーディングのテクニックを用い、平易な文章を大量に読む能力を培います。
---------------------	--

授業スケジュール	第1回： オリエンテーション 第2回： Unit1 第3回： Unit1後半～Unit2 第4回： Unit2 第5回： Unit3 第6回： Unit3後半と小テスト 第7回： Unit4 第8回： Unit4後半～Unit5 第9回： Unit5 第10回： Unit6 第11回： Unit6後半～Unit7 第12回： Unit7後半と小テスト 第13回： Unit8 第14回： Unit8後半とreview 第15回： 理解度の確認
----------	--

夏休み

第16回： Unit9 第17回： Unit9後半～Unit10 第18回： Unit10 第19回： まとめとreview 第20回～第29回： 配布プリントを毎回5～6ページを目標に読み進めていく 第30回： 理解度の確認
--

準備学習	各回予習可能な箇所は事前に予習し、授業にのぞむ事。
履修上の留意点	いかなる理由があろうと全授業数の2/3以上出席しないと試験の受験資格を失う。
成績評価の方法	出席20%、授業への参加度及び小テスト30%、中間、期末試験50%で評価を下す。 但し、60%以上を合格とみなす。
教科書/テキスト	The Devil Wears Prada: 映画総合教材『ブラダを着た悪魔』（松柏社）¥2200 ISBN978-4-88198-636-3 プリント配布
参考書	

履修コード	246001
科目名	英語I B
担当者名	矢島 直子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要： 教科書に沿って授業を進め、その際、必要に応じて英語の文法・文章構造の説明を行います。最初は訳読をしますが、慣れたら文章の要点をつかむ訓練に入ります。 到達目標： 辞書を引けば、時事的な内容の英文を読めるようにすること。
---------------------	--

授業スケジュール	授業は英語の長文を聞き、読んで意味を取り、問題に答えてもらう形式をとります。 前期： 1回目ー授業全体の説明、2、3回目ー1B、4、5回目ー2A、6、7回目ー3A、8、9回目ー4A、10、11回目ー5A、12、13回目ー6A、14回目ー前期の進度調整と質問に充てる、15回目ー前期末試験。後期： 16回目ー前期末試験の解説と7A、17、18回目ー7A、19、20回目ー8B、21、22回目ー10B、23、24回目ー11A、25、26回目ー11B、27、28回目ー12A、29回目ー後期の進度調整と質問に充てる、30回目ー後期末試験。
----------	---

準備学習	授業前： 辞書を引いて、1回分全体の英文の意味が分かるようにしておくこと。 授業後： 学んだ分を読み返すこと。
履修上の留意点	どんだん当てますから、必ず予習をしていただくこと。1回目の授業から出席してください。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験資格を失います。
成績評価の方法	平常点が15%、前期末・後期末試験が85%の割合で成績評価をします。
教科書/テキスト	Paul MacIntyre, Reading Explorer 4, Heinle/ Cengage Learning, 2, 856円(CD-ROM付き)、ISBN 978-1-4240-2939-6
参考書	

履修コード	240901
科目名	英語ⅠB
担当者名	山口 晃
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎にして、さらに深いreadingへと進んでいきます。
授業スケジュール	英文のテキストを毎回いいねいに検討していきます。
準備学習	プリントはあらかじめ配布しますので、めいめいで一回まず予習をしておいてください。これはとても大切です。授業の中で他の人の発表に耳を澄まし、自分の内容との相違を考えてください。
履修上の留意点	三分の二以上の出席が必要です。 授業ではかならず、毎回、英和・和英の辞書をもってきてください。 遅刻するとその日は発表にあたりませんので、遅刻の内容にしてください。
成績評価の方法	出席、発表、レポートによる総合評価です。
教科書／テキスト	プリントを配布します。
参考書	授業の中で、随時紹介します。

履修コード	241701
科目名	英語ⅠB
担当者名	山口 晃
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	入学時の英語力を基礎にして、さらに深いreadingへと進んでいきます。
授業スケジュール	英文のテキストを毎回いいねいに検討していきます。
準備学習	プリントはあらかじめ配布しますので、めいめいで一回まず予習しておいてください。これはとても大切なことです。授業中、他の人の発表に耳を澄まし、自分の内容との相違を考えてください。
履修上の留意点	三分の二以上の出席が必要です。 授業ではかならず、毎回、英和・和英の辞書をもってきてください。 遅刻するとその日は発表にあたりませんので、遅刻のないようにしてください。
成績評価の方法	出席、発表、レポートによる総合評価。
教科書／テキスト	プリントを配布します。
参考書	授業の中で、随時紹介します。

履修コード	240301
科目名	英語I B
担当者名	吉沢 栄治郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高度な読解力達成をめざします。小説を読んでゆきます。原文を板書していきますので、それをノートに筆写してもらい、併せて参考訳も板書しますのでそれも筆写してもらいます。状況を想像しながら読み進めていって下さい。一回の授業について原文2ページくらい目途に進めてゆきます。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第一回 オリエンテーション a few miles.. in the dark. 第二回 there is a path... over their shoulders. 第三回 the first man... look what I done. 第四回 George knelt... over at Lennie. 第五回 'so you forgot...'... looked sharply at him. 第六回 'what'd you take ... from up north.' 第七回 'Up north?'... didn't catch us.' 第八回 Lennie giggled happily... no supper? 第九回 'Sure we are, ... that mouse. 第十回 Lennie reluctantly ... Aunt Clara. 第十一回 An' she stopped ... over the water. 第十二回 George walked... all the time. 第十三回 He took on... none of it.' 第十四回 George still started... stole from me.' 第十五回 総括質問受け付け</p> <p>後期</p> <p>第一回 George said.. else to go. 第二回 If them other guys... the can to Lennie. 第三回 Then he opened... remember that?' 第四回 Sure I can, George. ... a little night breeze. 第五回 The bunk house was... the old man said. 第六回 He was sore... before he'd eat it. 第七回 And if there was... Nigger, huh? 第八回 'Yeah. Nice fella too... a laboring man. 第九回 The old swamper looked.. Yeah, him too, said George. 第十回 The boss pointed... your interest is.' 第十一回 George said, ... on the bunk. 第十二回 'Now he's got ... no questions.' 第十三回 Damn right.. said George. 第十四回 Let the big guy talk... against Lennie?' 第十五回 総括質問受け付け</p>
----------	--

準備学習	なるべく予習をしておいてください。
履修上の留意点	英和辞典を使用してください。
成績評価の方法	評価全体の5割は試験、レポートは3割、平常点は2割。若干の微調整をおこなう。
教科書/テキスト	スタインバック「二十日鼠も人間も」南雲堂
参考書	

履修コード	240501
科目名	英語I B
担当者名	吉沢 栄治郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高度な読解力達成をめざします。小説を読んでゆきます。原文を板書していきますので、それをノートに筆写し、併せて参考訳も板書しますので、それも筆写していただきます。状況を思い描きながら読み進めていって下さい。なお、一回の授業について、原文2ページくらいを目途に進めてゆきます。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第一回 オリエンテーション The chrysanthemums The high grey-flannel fog of winter.. and positive yellow leaves.</p> <p>第二回 It was a time of quiet and.. for her energy.</p> <p>第三回 She brushed.. and raise some apples that big.</p> <p>第四回 Her eyes sharpened.. I guess.</p> <p>第五回 She heard her husband calling Scotty down.. lawn mores, Fixed.</p> <p>第六回 Two rows of articles .. get started?</p> <p>第七回 The man caught up her laughter and echoed.. flowers.</p> <p>第八回 Elisa saw that he was a big man.. a way to live, ..</p> <p>第九回 He leaned confidentially over ... I haven't anything for you to do..</p> <p>第十回 His eyes left her face.. that's what she told me.</p> <p>第十一回 Elisa's eyes grew alert and eager.. so you can tell the lady.</p> <p>第十二回 Yes, I'll try.. can you understand that?</p> <p>第十三回 She was kneeling .. you can fix these.</p> <p>第十四回 His manner changed.</p> <p>第十五回 総括質問受けつけ</p>
----------	--

後期	
第一回	It would be a lonely life.. into the house
第二回	In the kitchen.. sunshine.
第三回	This was the only color .. and went out.
第四回	The little roadster bounced... each other very much?
第五回	Sometimes a little, .. like an old woman.
第六回	The white quail the wall opposite the fireplace.. the shoulder of a hill?
第七回	For that matter, a funny little bug..
第八回	The lot isn't bought, and .. if you want.
第九回	No, Mary, I like... drew it.
第十回	I love you so much, .. to protect her hands.
第十一回	Harry liked.. might be better.
第十二回	The living room... I'm glad you don't.
第十三回	one night... what had happened.
第十四回	She saw him looking over his paper... taking unfair advantage.
第十五回	総括質問

準備学習	なるべく予習をしておいてください。
履修上の留意点	英和辞典を大いに使用して下さい。
成績評価の方法	ペーパーテスト5割、レポート提出3割、平常点2割などで総合評価します。
教科書/テキスト	スタインベック「長い谷間」(南雲堂)
参考書	

履修コード	348001
科目名	英語 B [基礎英語特別クラス]
担当者名	佐々木 隆

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要としてはクラス編成の基礎英語特別クラスとして、英語基礎力の確認と養成をはかるため、英検3級、準2級程度の内容を中心に扱い、「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の4技能を総合的に取り扱いながらレベルアップを図りたい。
---------------------	---

到達目標としては基礎英語の習得、レベル的には英検準2級程度のは4技能を駆使してコミュニケーションを図れるようにしたい。

授業スケジュール	(1) 講義のねらい、授業の進め方の確認、(2) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ1、(3) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ2、(4) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ3、(5) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ4、(6) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ5、(7) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ6、(8) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ7、(9) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ8、(10) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ9、(11) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ10、(12) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ11、(13) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ12、(14) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ13、(15) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ14、(16) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ15、(17) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ16、(18) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ17、(19) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ18、(20) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ19、(21) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ20、(22) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ21、(23) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ22、(24) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ23、(25) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ24、(26) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ25、(27) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ26、(28) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ27、(29) 補助教材問題取り組みとデジタルフラッシュ28、(30) まとめと総合デジタルフラッシュ
----------	--

各授業において毎回補助教材の問題を解き、さらに教員独自作成のデジタルフラッシュを活用し、生活英語の単語を増強する。また、アメリカやイギリスの小学校、中学校で使用されている教科書なども活用していきたいと考えている。

準備学習	質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
------	----------------------

履修上の留意点	出席や授業中における活動状況も評価等に含まれる。
---------	--------------------------

成績評価の方法	出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したものの、欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。
---------	--

教科書/テキスト	補助教材を配布
----------	---------

参考書	
-----	--

その他	英語辞典の携帯は必須。紙媒体辞書、電子辞書でもよい。携帯電話の辞書機能では不足するので、必ず英語辞典を用意すること。
-----	--

関連リンク	http://www.ssk.econfn.com
-------	---

履修コード	246951
科目名	英語 B [基礎英語特別クラス]
担当者名	白鳥 義博

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	大学卒業以降に役立つ英語力とは何か?このような問題意識を持って、主に実用的な単語力の増強を目指すクラスです。極端な話、文法がめちゃくちゃでも、単語を並べるだけで意思の疎通が図れる場合もあります。具体的にはTOEICテストを念頭に置いて、実社会での生活で役立つ単語の習熟を目標とします。
---------------------	--

授業スケジュール	(前期) 初回: ガイダンス 第2回~: 毎回、テキストのChapterを1つ進めてゆく。 最終回: 期末試験 (後期) 前期と同じ *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
----------	--

準備学習	指示に応じて予習と復習を行うこと。
------	-------------------

履修上の留意点	授業中の活動に積極的に参加すること。
---------	--------------------

成績評価の方法	出席状況、平常点、授業中に行うテストの成績などから総合的に評価する。
---------	------------------------------------

教科書/テキスト	初回到教場で指定する。
----------	-------------

参考書	
-----	--

履修コード	246931
科目名	英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	藤井 道行

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業の概要) コースの設定に即して英語の基礎力を無理なく定着させることを目的としたテキストを用います。テキストは、易しいものから難しいものへと段階的に進んでいきます。コンスタントに授業に出席していれば、加速するテキストの流れに気づかないうちにうまく乗ることができると思います。</p> <p>(到達目標) 英語の「読む、書く、聞く、話す」の各スキルの基礎をしっかりと固めることが、この授業の現実的な目標です。その到達度は、小テストによって確認します。また、授業の発展的な目標は、自分が興味を持っていることを、英語を通して知る、英語によって発信する意欲を育てることです。その目標を達成するためには、少人数による授業にコンスタントに出席し、各種の発表をくりかえすことが必要となります。そうした学習活動によって、学生は、よりアクティブに英語を学ぶ姿勢を身につけることができるようになるはずです。また、そのアクティブな姿勢の土台となるのは、発表内容の完成度を過度に気にしないで、しっかりと声で発表する前向きな気持ちです。その気持ちこそ、この授業の出発点であり到達点です。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 授業内容の説明</p> <p>第2回 Unit 1 自己紹介 つながる音に慣れる (1) 名詞</p> <p>第3回 Unit 2 家族・ペット つながる音に慣れる (2) 動詞</p> <p>第4回 Unit 3 趣味 つながる音に慣れる (3) 主語+動詞+～</p> <p>第5回 Unit 4 大学生生活 消える音に慣れる (1) 人称代名詞</p> <p>第6回 Unit 5 食べ物 消える音に慣れる (2) 疑問詞</p> <p>第7回 Unit 6 コンサート 消える音に慣れる (3) How+形容詞/副詞</p> <p>第8回 Unit 7 道案内 変化する音に慣れる (1) 助動詞 (1)</p> <p>第9回 Unit 8 日本文化紹介 変化する音に慣れる (2) 助動詞 (2)</p> <p>第10回 Unit 9 ジェスチャー 変化する音に慣れる (3) 前置詞</p> <p>第11回 Unit 10 観光案内 変化する音に慣れる (4) 過去形、未来形</p> <p>第12回 Unit 11 航空券をNetでGet カタカナ語の音に慣れる 現在進行形</p> <p>第13回 Unit 12 E-mail を送る 数字の聞き取り Review 1</p> <p>第14回 補足のプリントを読む</p> <p>第15回 理解度の確認のための小テスト</p> <p>第16回 Unit 13 機内で 日本語にない音 (1) 時、天候を表すIt</p> <p>第17回 Unit 14 空港で 日本語にない音 (2) 接続詞</p> <p>第18回 Unit 15 ホテル まぎらわしい音の区別 (1) 不定詞</p> <p>第19回 Unit 16 レストランで まぎらわしい音の区別 (2) 形容詞</p> <p>第20回 Unit 17 ショッピング まぎらわしい音の区別 (3) 頻度を表す副詞</p> <p>第21回 Unit 18 ベースボール まぎらわしい音の区別 (4) 比較級</p> <p>第22回 Unit 19 ミュージカル鑑賞 語頭と語尾で違って聞こえる音 現在完了</p> <p>第23回 Unit 20 旅行案内 つつりと発音 (1) 受動態 (1)</p> <p>第24回 Unit 21 トラブル・シューティング つつりと発音 (2) 受動態 (2)</p> <p>第25回 Unit 22 体調不良 ポーズ (pause) のとり方 分詞</p> <p>第26回 Unit 23 電話での申し込み イントネーション 動名詞</p> <p>第27回 Unit 24 さよなら、アメリカ センスグループ Review 2</p> <p>第28回 プリントで物語を読む。</p> <p>第29回 総復習として、テキストを読み直す。</p> <p>第30回 理解度の確認のための小テスト</p>
----------	--

準備学習	毎回の授業を学生自身にとっても、クラス全体にとっても、より効率性の高いものにするためには授業の準備が何よりも大切です。その準備段階でもっとも役に立つのは、テキストに添付されているCDを何度も聞きながら、本文や文法事項の例文をくりかえし音読することです。音読することによって、テキストへの親しみがますます。また、しっかりと授業準備のためには、辞書がどうしても必要となります。自分にとって使いやすい辞書を用意しておいてください。
------	--

履修上の留意点	言うまでもなく、授業にコンスタントに出席することが履修上きわめて重要です。この点については、1回目の授業で具体的に説明します。
---------	---

成績評価の方法	<p>(1) 平常点 (授業内でのあらゆる活動、具体的には、指名による、あるいは自主的な発表、積極的な質問、通年で数回提出予定の課題の出来、予習の確認のための単語の問題に答える等) 40%</p> <p>(2) 前期末と後期末の授業内に行う小テストの成果 60%</p>
---------	---

教科書/テキスト	<p>(著者名) JACETリスニング研究会 (書名) 総合英語パワーアップ (入門編) (出版社) 南雲堂 (価格) 1,900円 (ISBN) 978-4-523-17624-4</p>
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	246921
科目名	英語IB [基礎英語特別クラス]
担当者名	松堂 啓子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	概要：音声教材を使用し、語彙力文法力を強化するためのエクササイズを繰り返し行う。 目標：学習したテーマについて、自分の考えを英語で表現する。
---------------------	---

授業スケジュール	授業二回でテキストを一章ずつ進める予定です。
----------	------------------------

- 1 ガイダンス
- 2 Hamburger History (1)
- 3 Hamburger History (2)
- 4 Rings and Things (1)
- 5 Rings and Things (2)
- 6 Bringing up Baby (1)
- 7 Bringing up Baby (2)
- 8 Review
- 9 The Bhutanese (1)
- 10 The Bhutanese (2)
- 11 Into the Wilderness (1)
- 12 Into the Wilderness (2)
- 13 Jade (1)
- 14 Jade (2)
- 15 Review
- 16 The Mongols (1)
- 17 The Mongols (2)
- 18 Diamonds (1)
- 19 Diamonds (2)
- 20 Gorillas in Our Midst (1)
- 21 Gorillas in Our Midst (2)
- 22 Review
- 23 A Father's Labor (1)
- 24 A Father's Labor (2)
- 25 Queues (1)
- 26 Queues (2)
- 27 Ahead of Fashion (1)
- 28 Ahead of Fashion (2)
- 29 Learning to See
- 30 Review

準備学習	語句の意味や発音を確認する。
------	----------------

履修上の留意点	単位取得には三分の二以上の出席日数が必要。
---------	-----------------------

成績評価の方法	試験の結果60%、平常点40%で評価。
---------	---------------------

教科書／テキスト	『BBCドキュメンタリーの世界へようこそ』 成美堂 2,300円 ISBN978-4-7919-1085-4
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	246911
科目名	英語I B 【基礎英語特別クラス】
担当者名	望月 千栄子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	TOEICの中レベルの問題を中心に演習を通してスコアの向上を目指します。 ヒアリング、文法、語彙の実践問題を毎回テスト形式でやっています。 皆さん、TOEICスコア800を目指して頑張ってください！
授業スケジュール	前期はTOEICに出題される基礎的語彙、文法を確認しながら初歩的なリスニングの問題を練習します。前期後半から後期にかけては中級レベルの文法とリスニング問題へと移行します。

第1回： オリエンテーション
 第2回～第4回： Practical tips for the TOEIC Test Chapter1~4
 第5回～第7回： 同上 Chapter5~8
 第8回～第10回： 同上 Chapter9~12
 第11回： まとめとreview
 第12回～第14回： Word Master Approach for the TOEIC Test Unit1~2
 第15回： 理解度の確認

夏休み

第16回～第29回： Word Master Approach for the TOEIC Test Unit3~24
 第30回： 理解度の確認

準備学習	CDが付いている教科書は復習を必ず行って下さい。 予習の出来る箇所はしておく事。
履修上の留意点	いかなる理由があろうと全授業回数数の3分の2以上の出席がないと試験の受験資格を失う。
成績評価の方法	出席20%、授業への参加度30%、中間、期末試験50%で評価を下す。 但し、60%以上を合格とみなす。
教科書/テキスト	Practical Tips for the TOEIC Test: ストラテジーで学ぶTOEICテスト (成美堂) ¥2000 ISBN978-4-7919-3123-1 Word Master Approach for the TOEIC Test [Student Book] TOEICテスト ワードマスターアプローチ (成美堂) ¥900 ISBN4-7919-0071-5
参考書	

履修コード	246941
科目名	英語I B 【基礎英語特別クラス】
担当者名	矢島 直子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要： 教科書の長文を読んで理解し、問題に答えてもらう形式で授業を進めます。必要に応じて、熟語・文法・構文の説明をします。大学初級レベルの授業です。 到達目標： 辞書を引けば、英語の文章が読めるようになること。
授業スケジュール	前期： 1回目ー授業全体の説明、2~13回目ー1~6章、14回目ー前期の進捗調整と質問の日、15回目ー前期末試験。後期： 16回目ー前期末試験の解説と7章、17回目ー7、8章、18、19回目ー9章、20~28回目ー10~15章、29回目ー後期の進捗調整と質問の日、30回目ー後期末試験。
準備学習	授業前： 辞書を引き、1回分に進む分の意味を理解し、問題を解いてくること。 授業後： 学んだ分を読み返すこと。
履修上の留意点	どんどん当てますから、予習をしておくこと。1回目の授業から出席して下さい。 全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験資格がなくなりますから、注意すること。
成績評価の方法	平常点15%、前期末・後期末試験85%の割合で成績評価します。
教科書/テキスト	関口智子、編著、『多様なトピックを楽しむリーディングブック』、松柏社、1,700円、ISBN 978-4-88198-619-6
参考書	

履修コード	293201 293202
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	岩井 洋美
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法事項を確認しながら異文化比較についての英文を読んでいく。簡単なリスニングの練習と正確な発音やリズムで読む練習をし、英語の基礎力を身につけます。
授業スケジュール	1イントロダクション、2発音、聞き取り(1)、3発音、聞き取り(2)、4確認小テスト、5品詞、6文型、7時制、8確認小テスト、9助動詞、10受動態、11確認小テスト、12to不定詞(1)、13to不定詞(2)、14to不定詞(3)、15確認小テスト、16前期復習、17分詞、18分詞構文、19動名詞、20確認小テスト、21比較、22関係代名詞、23that、24確認小テスト、25複雑な構造、26リーディング(1)、27リーディング(2)、28前置詞、29接続詞、30確認小テスト
準備学習	毎回当たっていくので、事前にテキストに目を通し、わからない単語を調べ練習問題を解いておくこと。
履修上の留意点	遅刻、欠席は減点していき、3分の1以上欠席した人は単位を取得できません。3回以上無断欠席をした場合も同様です。就職活動を控えている学生は第1回の授業で報告すること。1回目の授業で年間の詳細な日程をお知らせします。
成績評価の方法	前期・後期の学期末試験40%、確認小テストとリーディング30%、平常点30%
教科書/テキスト	川田伸道著、Know the Differences, Broaden Your World!, 朝日出版社、1600円、ISBN 978-4-255-15496-1
参考書	なし

履修コード	293401 293402
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	江田 幸子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスは一年時の再履修クラスなので、基礎的な英語の習得を基本において、英語の読解力、及び聴解力の向上を目指します。
授業スケジュール	内容： ①出来るだけ平易で、良い英語文で書かれた、今日的な会話文や英語(文)を扱います。読解のクラスですが、一年時で基礎的な英語(文法も含む)習得につまずいていることが予想されます。なので、読解に必要な、基礎文法事項を確認しながら授業を進めていくこととなります。 スケジュール： 初回：オリエンテーション、次回授業のプリント配布(発音指導用) 二回目以降～最終回：一課を二回で終わるように授業を進めていきます。その他、適宜、クラス内試験を行い、学習状況を確認していきます。
準備学習	例年、予習をしないで授業に出て来る人が見られます。英語が理解できたかどうか、を重要課題としますし、わからないところは、説明をして、わからないところがわかるように、なりたいため、必ず、自宅予習を行い、わからなかったところを予習課題として授業に持参するよにしてください。効率の良い学習の習熟をはかるには、以上の過程が欠かせません。 テキストを買わない(コピーもしない)人、辞書を持たない(語彙数の少ない辞書は不可)、筆記具も持たず、手ぶらで授業に出てくる人がいますが、勉強をする態勢にない人はこのクラスの履修を避けてください。 辞書を使いますので、必ず辞書は各自持つようにしてください。 辞書を持っていない人で、このクラスを履修する人は、辞書を必ず入手してください。 辞書、ノート、筆記具を持参する授業になります。
履修上の留意点	このクラスを履修するひとは、英和中辞典以上の、English-Japanese dictionaryが必要で、持っていない人で、履修する場合は、辞書を入手した上で履修登録してください。
成績評価の方法	①前、後期試験の筆記試験の結果 ②その他、発表状況、クラスへの貢献度、真摯な学習態度など、総合的に評価します。
教科書/テキスト	・TOEIC Test Training 500 (Revised Edition) 編著者 Roger Pattimore, Koji Mizushima NAN' UN-DO
参考書	

履修コード	293601 293602
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	太田 美智子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。基礎をかためよう。
---------------------	--------------------------------

授業スケジュール	第1回 オリエンテーション
	第2回 Lesson 1 Love me Tender
	第3回 Lesson 2 Be My Baby
	第4回 Lesson 3 Imagine
	第5回 Lesson 4 Unchained Melody
	第6回 Lesson 5 The Loco-motion
	第7回 映画
	第8回 映画
	第9回 Lesson 6 When a man Loves a Woman
	第10回 Lesson 7 Yesterday Once More
	第11回 Lesson 8 Hard to Say I'm Sorry
	第12回 Lesson 9 Help!
	第13回 Lesson 10 I Just Called to Say I Love You
	第14回 前期のまとめ
	第15回 前期の理解度確認テスト
	第16回 Lesson 11 Sailing
	第17回 Lesson 12 Best Of My Love
	第18回 Lesson 13 Stand By Me
	第19回 Lesson 14 Faith
	第20回 Lesson 15 Let It Be
	第21回 映画
	第22回 映画
	第23回 Lesson 16 Rush Rush
	第24回 Lesson 17 Woman
	第25回 Lesson 18 You've Got a Freind
	第26回 Lesson 19 Are You Lonesome Tonight
	第27回 Lesson 20 Bridge Over Troubled Water
	第28回 後期のまとめ 1
	第29回 後期のまとめ 2
	第30回 後期の理解度確認テスト

準備学習	事前にテキストに目を通し、必要に応じ辞書を活用するなどの予習が必要。
履修上の留意点	必ず授業参加すること。椅子に坐しているだけではいけない。 欠席は全出席数の3分の1が限界だが、基本的には休まない姿勢で臨もう。 また、遅刻2回で欠席1回に相当。遅刻と認定されるのは始業より30分まで。
成績評価の方法	授業への参加度合、提出物の達成度、期末試験、小テストなどによる総合評価。
教科書/テキスト	Kim R. Kanel Pop Song Listening 成美堂 900円 ISBN4-7919-4525-5 C1082
参考書	

履修コード	294201 294202
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	川崎 笑佳
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の英文読解能力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的には時事英語を扱ったテキスト中心に進める予定だが、学生の要望等に応じてReading指導の他にTOEIC、TOEFLその他の教材を使用した授業も取り入れる。
授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14回：UNIT 1～10 第15回：前期授業習熟度チェック 第16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT 11～20 第30回：後期授業習熟度チェック
準備学習	円滑な授業進行のためにも予習は必須である。年間のスケジュールをチェックし、当日の授業内容を事前に確認しておくこと。(スケジュールに細かい変更が生じた場合はその都度連絡する。)
履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提に授業を進める。授業までに毎回各ユニットの内容を調べて授業に出席すること。事前の準備のない学生は出席しているとはみなさないのそのつもりで授業に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	授業態度(出席状況、発表内容、授業の内容に関する予習の有無を含む)50%、前期、後期の試験結果50%とする。
教科書/テキスト	大月実、Lena Vidahl『News for You2012/2013Edition-やさしいメディア英語2012/2013年版』(成美堂)1900円 ISBN978-4-7919-5091-1
参考書	

履修コード	294001 294002
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	田中 靖子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語圏では、アングロサクソン系の短い単語の基本動詞が日常多く使われております。このような基本動詞を確実に習得することによって、英語力の向上をめざします。本授業では基本単語のコアイメージの理解を深めるために、補助教材として、DVD教材を使用します。さらに、テキストの演習問題を行いながら学習した語句の定着を図ります。
授業スケジュール	(1) クラスオリエンテーション (2) be (3) come (4) go (5) take (6) give (7) get (8) have (9) keep (10) make (11) break (12) put (13) run (14) 前期のまとめ (15) 前期試験 (16) 前期試験返却 後期クラスオリエンテーション (17) catch (18) hear & listen (19) say & tell (20) look & see (21) do (22) 後期中間テスト (23) speak & talk (24) do (25) let (26) 前置詞 at on (27) 前置詞 in to (28) 前置詞 of with (29) 後期のまとめ (30) 後期試験
準備学習	事前に予告のあったところは、読みわからない語句などは調べてから授業に臨むこと。
履修上の留意点	毎時、理解度のチェックのために、課題を出して提出してもらう。教科書はもちろんのこと、辞書を持参すること。
成績評価の方法	1 以下のような基準で総合的に評価する。 前期テスト 30% 後期テスト 35% 前期中間テスト 10% 後期中間テスト10% 授業への参加状況 (授業内課題、授業への貢献度) 15% 2 前後期ともに3分の2以上の出席を必要としている。それに満たない場合は定期試験を受ける資格を失う。遅刻は3回で1回分の欠席となる。 授業開始45分以上遅れた場合は、欠席扱いとなるので、注意すること。 欠席を補う提出物はないので、くれぐれも遅刻、欠席しないように注意すること。 3 公的な欠席と認められるには、証明書の提出が必要である。
教科書/テキスト	1 書名 かたちで学ぶ基礎英語 2 出版社 郁文堂 3 ISBN 00130-1-14981
参考書	適宜プリントと資料を配布します。

履修コード	294101 294102
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	本間 俊一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。 学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する表現能力を養えるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Lesson1～Lesson7 の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～11月 Text Lesson11～Lesson17の学習 12月 後期授業内テスト
----------	--

準備学習	授業前に、次回学習する内容を予習し、疑問点を明らかにして、講義にのぞむように努力したい。
------	--

履修上の留意点	毎回、text の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任をもって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
---------	---

成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。 授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、授業外でもパソコン・ネットワークを利用して、提出可能であるからその方法を習熟されたい。
---------	---

教科書/テキスト	Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5
----------	---

参考書

その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。 USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。
-----	---

履修コード	293901 293902
科目名	英語ⅠB 英語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	矢島 直子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要： 英語の読みを初級から始めて、一通りの文書を読めるように練習します。英語の聞き取りにも慣れるようにしていきます。英語の長文を聞き、読んで意味を取って、問題に答えてもらう形式で授業を進めます。 到達目標： 辞書を引けば、最終的には中級程度の英文を読めるようになること。
---------------------	---

授業スケジュール	前期： 1回目ー授業全体の説明。2～14回目ー1～8章。15回目ー1前期末試験。 後期： 16回目ー1前期末試験の解説と9章。17～19回目ー9,10章。20～28回目ー11～16章。29回目ー後期の進捗調整と質問日。30回目ー後期末試験。
----------	---

準備学習	授業前： 必ず辞書を引き、授業一回分全体の意味を理解してくること。 授業後： 学んだ分を必ず読み返すこと。
------	--

履修上の留意点	どんどん当てますから、予習しておくこと。1回目の授業から出席してください。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則的に受験資格がなくなります。
---------	--

成績評価の方法	平常点が15%、前期末・後期末試験が85%の割合で評価します。
---------	---------------------------------

教科書/テキスト	宍戸真、他、『リーディング エキスパート 3 発展編』、成美堂、1,800円、 ISBN 978-4-7919-3082-1
----------	---

参考書

履修コード	251801
科目名	英語IIA
担当者名	朝川 真紀

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。英語で自分の意思表示が明確にでき、日本語表現に惑わされず、意味を正しくつかみ、語系が全く異なる英語へと表現できるようにしていく。英語表現の幅を広げ、自分の考えを正確に伝え、細かな感情表現ができるようにすると同時に、この授業では、コミュニケーションの能力を測るTOEICテストの対策を行いながら英語を学んでいく。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報を与える会話を学ぶ 2 コミュニティーにかかわるメモ/告知の英語表現を学ぶ 3 5W1Hを使った応答問題 4 イベントの告知/広告の英語表現を学ぶ 5 能動態・受動態の表現を学ぶ 6 交通関連のアナウンス/メール/告知の英語について 7 旅行関連のガイド/アナウンスの英語について 8 旅行に関する広告/告知の英語について 9 不定詞・分詞について英語表現を身につける 10 オフィスでの依頼の会話を学ぶ 11 オフィスでの通知/メール文を学ぶ 12 広告や企画に関する会話を学ぶ 13 マーケティングの手紙/メールの英文を学ぶ 14 社内アナウンス、商品の購入の英語表現を学ぶ 15 類義語について学ぶ 16 Yes/No疑問文を使った応答問題 17 リサーチレポートの英文を学ぶ 18 スケジュールの調整をする会話を学ぶ 19 人事に関するメール文について 20 付加疑問文を使った応答問題 21 金融に関する記事を学ぶ 22 関係詞を使った英語表現について 23 ニュース報道の英語を学ぶ 24 接続詞を使った英文を練習する 25 研究について話す会話を学ぶ 26 アドバイスや考えを言う応答問題 27 環境について話す会話を学ぶ 28 仮定法を学ぶ 29 医療に関するレポートの英文を学ぶ 30 これまでの表現方法について理解度の確認を行う
----------	---

準備学習	毎回予習を必ず行い、また、重要語句に関する小テストを行うので暗記をしてきてほしい。
------	---

履修上の留意点	必ず予習をしてくること。また、出席については、基本的に全出席を原則とし、一年間、無遅刻、無欠席を旨としてほしい。欠席が全授業数の3分の1を超えた場合は単位を与えない。遅刻は授業開始30分以内まで認め、遅刻3回で1回欠席とする。
---------	---

成績評価の方法	平常点(30%)、提出物(20%)、定期試験(50%)。平常点には予習状況、小テスト、授業中の態度などを含み、提出物は通年で4回レポート課題を与える。
---------	---

教科書/テキスト	上條武著『TOEICテスト攻略への最短アプローチ』金星堂 1900円 ISBN978-4-7647-3940-6
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	248201
科目名	英語II A
担当者名	安齋 薫
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Speaking、Writing等、総合的な英語能力の向上とともに、バランスの良い運用能力の取得を目指す。
授業スケジュール	第1回 Introduction 第2、3 Coming of Aged Day 第4、5 Higan and Bon 第6、7 Children's Day 第8、9 Respect for the Aged Day 第10、11 Bean Scattering Ceremony 第12、13 Doll Festival 第14、15 まとめ 第16、17 Star Festival 第18、19 Shichi go san 第20、21 Sumo 第22、23 Earthquakes 第24、25 New year's day and New year's eve 第26、27 Funerals 第28、29、30 まとめ
準備学習	予習復習の準備は必ずしてください。
履修上の留意点	3分の2以上の出席が原則的に必要。授業中の携帯の使用は禁止。辞書、電子辞書使用のこと。
成績評価の方法	出席状況(上記)、前後期試験、レポートで評価する。
教科書/テキスト	Let's write about Japan 成美堂 ¥1600 (税別) ISBN4-7919-5033-X 01382
参考書	

履修コード	249601
科目名	英語II A
担当者名	安齋 薫
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Writing、Speaking等、英語運用能力の向上を目指すとともに、総合的に運用できるようにしたい。
授業スケジュール	第1回 Introduction 第2、3回 Kabuki: The Vision 第4、5回 The Beauty of Taiwan 第6、7回 Plant 第8、9回 Addressing Environmental Problems 第10、11 Diet 第12、13 Natto 第14、15 まとめ・テスト 第16、17 Hideki Matsui 第18、19 Manga Culture 第20、21 Shoyu 第22、23 Blue LED 第24、25 Toyota 第26、27 Cheap Air Travel 第28、29、30 まとめ・テスト
準備学習	予習を行っておくこと。
履修上の留意点	出席は3分の2以上が原則的に必要。
成績評価の方法	出席状況(上記)、前・後期の試験の結果、レポート等で評価する。
教科書/テキスト	Dynamic Business and The Environment 南雲堂 ¥1900 (税別) ISBN978-4-523-17532-2c0082
参考書	

履修コード	254401
科目名	英語IIA
担当者名	安齋 薫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Writing, Speaking等、英語運用能力の向上を目指すとともに、総合的に運用できるようにしたい。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 Introduction 第2、3回 Kabuki: The Vision 第4、5回 The Beauty of Taiwan 第6、7回 Plant 第8、9回 Addressing Environmental Problems 第10、11 Diet 第12、13 Natto 第14、15 まとめ・テスト 第16、17 Hideki Matsui 第18、19 Manga Culture 第20、21 Shoyu 第22、23 Blue LED 第24、25 Toyota 第26、27 Cheap Air Travel 第28、29、30 まとめ・テスト
----------	---

準備学習	予習を行っておくこと。
------	-------------

履修上の留意点	出席は3分の2以上が原則的に必要。
---------	-------------------

成績評価の方法	出席状況(上記)、前・後期の試験の結果、レポート等で評価する。
---------	---------------------------------

教科書/テキスト	Dynamic Business and The Environment 南雲堂 ￥1900 (税別) ISBN978-4-523-17532-2c0082
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	249901
科目名	英語IIA
担当者名	井伊 順彦

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	現代イギリスの社会問題や文化を題材とした教科書を用いて、おもに英語を「書く」力および「聴く」力を伸ばしてゆく。発音の上達にも取り組みたい。
---------------------	---

授業スケジュール	毎回かなりの時間が、教科書の本文を「聴く」こと、およびなんらかのかたちで英文を「書く」ことに費やされる。教科書はおおむね3時間で1課のペースで進める予定。つまり、前期にはChapter1から7まで、後期にはChapter8から14までを扱う。なお、前後期それぞれ最終時間(15回目、30回目)に小テストをおこなう予定。
----------	---

準備学習	授業の予習が必要。教科書をぼんやり眺めるだけでもよい。
------	-----------------------------

履修上の留意点	英語の辞書を持参することが望ましい。
---------	--------------------

成績評価の方法	複数回の小テスト(40%)、平常点および出席数(30%+20%)、授業に対する姿勢(10%)。
---------	---

教科書/テキスト	『BBCドキュメンタリーに挑戦』(Challenging BBC on DVD)(成美堂)
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	251301
科目名	英語IIA
担当者名	井伊 順彦
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	現代ビジネスの基本を扱った教科書を用いて、おもに英語を「聴く」力および「書く」力を伸ばしてゆく。当該学科にぴったりの内容だと思われるので、専門課程に進んでからも役立つ知識も伝授するつもり。発音の上達にも留意する。
授業スケジュール	毎回かなりの時間が、ネイティブスピーカーの音声聴いて問題に答える(口頭もしくは筆記で)ことに費やされる。ときおりビジュアル教材を観て、英米社会の様々な問題について具体的なイメージをつかむようにしたい。これは英語の聴き取り練習にもなる。 1回の授業での速度は、基本としては1章+αだが、クラスの学力などの事情を考慮して柔軟に調整してゆく。 小テストについても、十分に予告したうえで、年間で適度な間隔を置いておこなう。
準備学習	教科書の付録を使い、自宅で学習することなどが考えられるが、詳しくは教室で指示する。
履修上の留意点	毎回おそらくクラス全体の半数ほどの学生が指名され、こちらからの質問になんらかのかたちで答えることになろう。積極的かつ真摯な勉強姿勢を強く求める。
成績評価の方法	①年間で数回おこなう予定の小テストの成績(40%)、②授業中の質疑応答の出来および出席率(30%+20%)、③授業に取り組む姿勢(10%)
教科書/テキスト	『ビジネス英会話入門』(南雲堂) (英名 Transactions)
参考書	場合に応じて教室で指示する。

履修コード	349301
科目名	英語IIA
担当者名	石原 孝哉
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語による意志伝達のための総合的な英語運用能力の向上を目指します。
授業スケジュール	前期は、教科書を中心に英語の総合力向上を目指します。 1,2 Obituaries-1 3,4 Obituaries-2 5,6 Disasters-1 7,8, The Olympics-1 9,10, The Olympics-2 11,12, Wars and Revolutions-1 13,14 Wars and Revolutions-2 15, 前期総復習 後期は教科書とプリントを併用して応用力の向上を図ります。 1,2, Science and Medicine-1, 3,4 Science and Medicine-2 5,6, Trials and Sensations-1, 新聞によく出る経済英語-1 7,8, Trials and Sensations-2, 新聞によく出る経済英語-2 9,10, Trials and Sensations-3, 新聞によく出る経済英語-3, 11,12, Politics-1, 英字新聞プリント 13,14, Politics-2, 英字新聞プリント 15、後期総復習
準備学習	授業中に指名して回答してもらいますので必ず予習して出席してください。
履修上の留意点	出席を重視し、毎回指名しますので、予習して出席してください。ときどきレポートの課題を出しますので、連続欠席をしないこと。
成績評価の方法	中間試験、後期試験の結果、グループ発表の成果、レポート、平常点、出席状況等を総合的に検討して評価します。
教科書/テキスト	Looking Backward - Major Events of the 20th Century 南雲堂 1800円
参考書	

履修コード	249701
科目名	英語IIA
担当者名	伊藤 美代子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAを修得した者がより高度な英語運用能力を身につけることを目標とする。改めて文法事項を学ぶが、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの四技能すべてを通じて実際に英語を使うことを主眼とする。各単元でセンテンスのみならず与えられた主題についてモデルを参照しながら自分の力で100語程度のパラグラフを書き、最終的には自由作文も作成できるようにする。
---------------------	--

授業スケジュール	できる限り英語を使用して実際に英語を使うことを経験する。ただし、構文等の説明には日本語を使用する。1単元を1回半の授業で終了する。
----------	---

前期:

Lesson 1: Introduction
Lesson 2: Unit 1
Lesson 3: Units 1-2
Lesson 4: Unit 2
Lesson 5: Unit 3
Lesson 6: Units 3-4
Lesson 7: Unit 4
Lesson 8: Review of Units 1-4
Lesson 9: Unit 5
Lesson 10: Units 5-6
Lesson 11: Unit 6
Lesson 12: Unit 7
Lesson 13: Units 7-8
Lesson 14: Unit 8
Lesson 15: Review of Units 5-8

後期:

Lesson 16: Check on Summer Homework
Lesson 17: Unit 9
Lesson 18: Units 9-10
Lesson 19: Unit 10
Lesson 20: Unit 11
Lesson 21: Units 11-12
Lesson 22: Unit 12
Lesson 23: Review of Units 9-12
Lesson 24: Unit 13
Lesson 25: Units 13-14
Lesson 26: Unit 14
Lesson 27: Unit 15
Lesson 28: Unit 15-16
Lesson 29: Unit 16
Lesson 30: Review of Units 13-16

*なお上記は状況により変更の可能性あり。

準備学習	予習が必須。予習しなければ授業内容の理解は不可能。
履修上の留意点	予習が絶対条件。また、公欠、忌引等正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席したものには単位を与えない。遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残り20%は平常点(出席率、小テスト、授業態度、提出物等)により評価する。
教科書/テキスト	English Ace (成美堂)
参考書	

履修コード	250121
科目名	英語ⅡA
担当者名	岩井 洋美
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	DVDを通して様々な国の文化歴史の理解を深めながら語彙表現を増やす。ネイティブではない人々が話す英語を聞き取り、同様に自分自身や自分の意見を口述記述できるようにする。
授業スケジュール	1 イントロダクション、2 インド、3 フィリピン、4 タイ、5 復習確認、6 ベトナム、7 韓国、8 フランス、9 復習確認、10スピーキング(1)、11スピーキング(2)、12イタリア、13デンマーク、14発表、15前期復習、16ポルトガル、17トルコ、18エジプト、19復習確認、20南アフリカ、21ブラジル、22復習確認、23ペルー、24グアテマラ、25復習確認、26プレゼンテーション(1)、27プレゼンテーション(2)、28プレゼンテーション(3)、29プレゼンテーション(4)、30小テスト
準備学習	テキストを読み問題を解いておくこと。付属のDVDを数回見ておくこと。
履修上の留意点	遅刻欠席は減点し、3分の1以上欠席した場合は単位を取得できません。
成績評価の方法	前期・後期試験40%、確認テスト・発表・プレゼンテーション40%、平常点20%
教科書/テキスト	Scott Berlin, World Adventures, 金星堂, 2415円(税込), 978-4-7647-3907-9
参考書	

履修コード	253001
科目名	英語ⅡA
担当者名	岩永 祥恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に作文能力を養いつつ、自分の考えを表現できる能力の涵養を目指す。
授業スケジュール	第1週：授業の概要説明 第2週～第3週：進行形 第4週～第5週：未来形 第6週～第7週：助動詞1 第8週～第9週：助動詞2 第10週～第11週：受動態 第12週～第13週：比較 第14週：不定詞 第15週：前期まとめ 第16週～第17週：課題講評 第18週～第19週：現在完了 第20週～第21週：分詞 第22週～第23週：動名詞 第24週～第25週：前置詞 第26週～第27週：間接疑問文 第28週～第29週：接続詞 第30週：後期まとめ
準備学習	予習を行うこと。
履修上の留意点	英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。
成績評価の方法	成績は前、後期1度ずつ及び夏季休暇中に課される課題の結果70パーセントと、平常点を30パーセントで評価します。
教科書/テキスト	石谷由美子編 Point by point 南雲堂、2100円
参考書	

履修コード	249101
科目名	英語IIA
担当者名	上田 倫史

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAを基礎とし、より高度な英語(Writing/Speaking)の運用能力を身につける。 授業では、英文の要約を英語で行ったり、英語で説明をしたりなどの演習を行う。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. introduction (self-introduction) 2. 文章要約の準備 (1) 3. 文章要約の準備 (2) 4. 文章要約の準備 (3) 5. 要約練習 (1-1) 6. 要約練習 (1-2) 7. 要約練習 (1-2) 8. 確認テスト (1) 9. 要約練習 (2-1) 10. 要約練習 (2-2) 11. 要約練習 (2-3) 12. 要約練習 (3-1) 13. 要約練習 (3-2) 14. 要約練習 (3-3) 15. 確認テスト (2) 16. 英語による説明のための準備 (1) 17. 英語による説明のための準備 (2) 18. 英語による説明のための準備 (3) 19. 英語による説明のための準備 (4) 20. 英語による描写、説明 (1-1) 21. 英語による描写、説明 (1-2) 22. 英語による描写、説明 (1-3) 23. 確認テスト (3) 24. 英語による描写、説明 (2-1) 25. 英語による描写、説明 (2-2) 26. 英語による描写、説明 (2-1) 27. 英語による描写、説明 (2-2) 28. 英語による描写、説明 (3-1) 29. 英語による描写、説明 (3-2) 30. 確認テスト (4)
----------	--

準備学習	必ず予習をする。 わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	出席日数が全授業日数の3分の2以上に達してる場合のみ、評価の対象となる。
成績評価の方法	平常評価 (25%)、テキストの小テスト (15%)、試験 (60%)
教科書/テキスト	授業中に指示する
参考書	

履修コード	249001
科目名	英語IIA
担当者名	梅原 敏弘

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テレビドラマを映画化した Twelve Angry Men を教材としてとりあげ、画像を通して口語英語の理解と聴解力の向上を目指します。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1週：オリエンテーション</p> <p>第2-14週：映画前半部分の表現理解と聴解練習。</p> <p>第15週：前期試験</p> <p>後期</p> <p>第16週-29週：映画後半部分の表現理解と聴解練習。</p> <p>第30週：後期試験</p>
----------	--

準備学習	特になし
履修上の留意点	予習、復習をしっかりと行うこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験を中心に、授業への積極的な参加や出席を加味して、成績評価を行います。
教科書/テキスト	テキストは使いません。
参考書	
その他	初回の授業にファイルを配布するので、USBメモリーを持参すること。

履修コード	250011
科目名	英語IIA
担当者名	太田 美智子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAを基礎として、より高度な英語運用能力習得を目指す。 多くのフレーズを覚え、応用できるようにしよう。 コミュニケーションをとるためには、相手の言っていることを理解しなければならぬ。 そのため、リスニング力も欠かせない。 スピーキング、リスニングの力を高めるうえで有効な音声変化を重視し、 ナチュラルな英語を身につけよう。
---------------------	--

授業スケジュール	第1回 オリエンテーション
	第2回 序章
	第3回 Unit1 Fly Me To The Moon 前半
	第4回 Unit1 Fly Me To The Moon 後半
	第5回 Unit2 When You Wish Upon a Star 前半
	第6回 Unit2 When You Wish Upon a Star 後半
	第7回 Unit3 Autumn Leaves 前半
	第8回 Unit3 Autumn Leaves 後半
	第9回 Unit4 Misty 前半
	第10回 Unit4 Misty 後半
	第11回 Unit5 I Left My Heart In San Francisco 前半
	第12回 Unit5 I Left My Heart In San Francisco 後半
	第13回 前期のまとめ 1
	第14回 前期のまとめ 2
	第15回 前期の理解度確認テスト
	第16回 後期オリエンテーション
	第17回 Unit6 The Nearness Of You 前半
	第18回 Unit6 The Nearness Of You 後半
	第19回 Unit7 All Of Me 前半
	第20回 Unit7 All Of Me 後半
	第21回 Unit8 Smile 前半
	第22回 Unit8 Smile 後半
	第23回 Unit9 If 前半
	第24回 Unit9 If 後半
	第25回 Unit10 Because 前半
	第26回 Unit10 Because 後半
	第27回 Unit11 Every Breath You Take 前半
	第28回 Unit11 Every Breath You Take 後半
	第29回 後期のまとめ
	第30回 後期の理解度確認テスト

準備学習	辞書をひき、丁寧に予習しよう。
履修上の留意点	授業に参加することが肝要です。椅子に座っているだけではいけません。
成績評価の方法	授業への参加度合、提出物の有無やその到達度合、また小テスト、期末テスト等の総合評価
教科書/テキスト	糸井江美他 Learn English through Jazz and Pops 金星堂 2300円 ISBN978-4-7647-3928-4 C1082
参考書	

履修コード	252601
科目名	英語IIA
担当者名	太田 由紀子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	映画『ローマの休日』（ウィリアム・ワイラー監督 1953年製作）とそのシナリオ、および映画に関連した資料を教材とする。登場人物たちのセリフや彼等の行動や場面を説明するト書き（とがき）を先ずは読み、それを自分自身で再現する訓練をする。これを行うにあたって映像を効果的に利用したい。また、映画に関連した資料として主演女優オーディリー・ヘップバーンの伝記の一部、時代背景などを配布するが、これらについても様々な課題を与える予定である。学習成果を確認するべく、随時小テストを行う。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義内容の説明を行った後、『ローマの休日』の1章～4章を日本語字幕で視聴。 2. 5章～10章を日本語字幕で視聴。映画の感想を書く。その後、基礎的な英文法の確認作業を行う。 3. 1章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、1章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 4. 1章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、2章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 5. 2章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、2章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 6. 2章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、3章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 7. 3章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、3章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 8. 3章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、4章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 9. 4章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、4章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 10. 4章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、5章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 11. 5章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、5章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 12. 5章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、1章～3章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。 13. 4章～5章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。そして最後に前期授業の総まとめ。 14. テストを実施 15. 予備日 16. 6章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、6章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 17. 6章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、7章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 18. 7章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、7章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 19. 7章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、8章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 20. 8章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、8章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 21. 8章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、9章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 22. 9章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、9章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 23. 9章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、10章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 24. 10章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、10章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 25. 10章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、6章～8章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。 26. 9章～10章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。『ローマの休日』全編を英語字幕で視聴する。 27. 『ローマの休日』に関連する映画の一部を視聴。また関連する資料を読み、課題を行う。 28. 『ローマの休日』に関連する映画の一部を視聴。また関連する資料を読み、課題を行う。 29. テストを実施 30. 予備日
----------	---

準備学習	辞書を引いたり、文法書を参考にしながら英文のシナリオを先ず読む。その際には対訳部分も参照すること。その上で、対訳部分の日本語をもとに、元の英文を再現できるか自ら訓練してみる。配布された関連資料については、予め与えられた課題を行うこと。内容や文法事項について質問を受けた場合に、適切に答えられるよう、あるいは不明な点について伝えられるよう準備すること。
------	---

履修上の留意点	授業には欠かさず出席すること。内容や文法に関して、調べても分からないことがあれば、積極的に質問をすること。
---------	---

成績評価の方法	授業時の応答および小テスト、そして前期および後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
---------	---

教科書／テキスト	『ローマの休日 名作映画完全セリフ集 スクリーンプレイ・シリーズ』、フォーイン スクリーンプレイ事業部、1200円＋税、978-4-89407-412-5
----------	---

参考書	安井稔『英文法総覧』（開拓社） 江川泰一郎『英文法解説』（金子書房）
-----	------------------------------------

履修コード	251961
科目名	英語IIA
担当者名	大庭 直樹 萩原 輝
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	前期の授業 講義内容については、教場にて指示する
	後期の授業概要 この授業は、IAをさらに発展させたライティングによる意思伝達技能を身につけることを主眼に置く。2、3行の英文を書くことから、更に進んでパラグラフ単位の英文を書くことを目指す。そのためにはまず、パラグラフとは何か、どのような構成で組み立てていくか、といった基本的なことを英文を例に学んでいく。そして、テーマを決めて英文のパラグラフを書く訓練をしていくのだが、その際、その構成にしたがって単文を書いていく。次に、それらの単文を論理的に繋がるよう、接続詞などをつかって、再構成する訓練をしていく。さまざまなテーマで、こうした英文のパラグラフを書いていく。
授業スケジュール	教場にて指示する。
準備学習	後期 必ず予習をして、前もって与えられた課題を調べて、問題点を明らかにしてクラスに臨むこと。
履修上の留意点	後期 出席については、基本的に全出席を原則とし、 三分の二以上の出席が必須である。 英和・和英辞典を持参すること。
成績評価の方法	定期試験 (30%)、課題 (20%)、出席・平常点 (30%) 発表 (20%) それらを総合的に評価する。
教科書/テキスト	〔後期テキスト〕 後期の最初のクラスで指示します。
参考書	

履修コード	349411
科目名	英語IIA
担当者名	大庭 直樹 荻野 一成

授業概要/ 到達目標（ねらい）	このクラスは、前期と後期の担当者は異なります。 前期担当は荻野一成講師、後期は大庭直樹講師です。
--------------------	---

前期の講義
(授業概要)
この授業は、IAをさらに発展させたライティングによる意思伝達技能を習得するものだが、英語に苦手意識があっても無理なく学べるよう、基本文法事項を確認しながら進めていく。毎回、震災、アニメ、携帯といった身近なトピックについて実際に短い英作文を行う。
(到達目標)
これまで学習してきたあらゆる構文や語句・フレーズを駆使して、まとまったエッセイが書けるようになることが最大の目標である。最終的に、与えられたトピックについて自分の意見や考えを表現できるようにする。

後期の授業概要
この授業は、IAをさらに発展させたライティングによる意思伝達技能を身につけることを主眼に置く。2、3行の英文を書くことから、更に進んでパラグラフ単位の英文を書くことを目指す。そのためにはまず、パラグラフとは何か、どのような構成で組み立てていくか、といった基本的なことを英文を例に学んでいく。そして、テーマを決めて英文のパラグラフを書く訓練をしていくのだが、その際、その構成にしたがって単文を書いていく。次に、それらの単文を論理的に繋がるよう、接続詞などをつかって、再構成する訓練をしていく。さまざまなテーマで、こうした英文のパラグラフを書いていく。

授業スケジュール	<p>[前期の授業スケジュール]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キックオフ・セミナー[オリエンテーション] 2. 災害時に見せた日本人の気質（主語の種類/ There is構文） 3. 裁判員制度－判断することの責任（動詞と文型） 4. ロボット無しじゃ生きられない（look, seemなどの使い方） 5. 昼の明るさをもう1時間－サマータイム（形容詞/ 疑問文の語順） 6. ファーストレディの挑戦（助動詞） 7. 「アニメ」がAnimeになるまで（進行形/ 完了形） 8. レビュー[復習日/予備日] 9. 税金の集め方・使い方（副詞と副詞句） 10. リアル・フレンドとバーチャル・フレンド（前置詞の使い分け） 11. プラスチックで払います（現在分詞・過去分詞/ 限定詞） 12. 日本の携帯よ、世界標準を目指せ（受け身/ 命令文） 13. 情報のコントロール（接続詞/ 関係詞） 14. 地球の声に耳を傾けて（比較/ 仮定法） 15. レビュー[理解度確認日] <p>後期の授業スケジュール 教場にて指示する</p>
----------	--

準備学習	前期 詳細は、初日の「キックオフ・セミナー」で指示する。
------	---------------------------------

履修上の留意点	後期 必ず予習をして、前もって与えられた課題を調べて、問題点を明らかにしてクラスに臨むこと。
---------	---

成績評価の方法	予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。
---------	------------------------------

前期	授業内で行うクイズ（確認小テスト）・作文提出（レポート）など「アウトプット評価」が全体80%となる。残る20%は「アティチュード評価」（授業参加度など、いわゆる平常点）となる。詳細については、キックオフ・セミナーで言及する。
----	--

後期	定期試験（30%）、課題（20%）、出席・平常点（30%）発表（20%）それらを総合的に評価する。
----	---

教科書／テキスト	<p>[前期テキスト]</p> <p>奥田隆一/Anthony Allan著『Writing Points! Basic Grammar for Better Writing』 金星堂、1900円 ISBN978-4-7647-3939-0</p>
----------	--

[後期テキスト]	後期の最初のクラスで指示します。
----------	------------------

参考書	
-----	--

その他	前期
-----	----

前期	<ol style="list-style-type: none"> 1. YeStudyの活用有り。 2. 参考書などについては、初日に指示する予定。
----	--

履修コード	248501
科目名	英語IIA
担当者名	大瀨 利春

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語 I A をふまえ、さらなる英語ライティング力の向上を目指す。
授業スケジュール	授業の最初に 15 分程度のリスニングをウォーミングアップとして行い、その後テキストに取り組む。なるべく多くの英作文を行いたい。 具体的な年間スケジュールは以下の通り。()内の数字は授業回数を示す。 前期 (1) Course Introduction (2) Course Description (3) Daily Schedule (4) Weekly Schedule (5) Punctuality (6) Review (7) Dream (8) Tests (9) Being Healthy (10) Comparison (11) Volunteer Work (12) Prediction (13) Eco-Friendly (14) Vacation (15) Review 後期 (16) Introduction (17) What to wear (18) Going to a Hairdresser (19) Email Message (20) Classification (21) Review (22) Meeting Old Friends (23) Describing People (24) Responsibility (25) Favorite Writers (26) Review (27) Free English composition 1 (28) Free English composition 2 (29) Free English composition 3 (30) Review
準備学習	テキストの予習をしてくること。
履修上の留意点	英和辞書を持参すること。電子辞書可
成績評価の方法	前、後期試験の結果 (7割)、課題、小テスト、授業参加度等の平常点 (3割)。
教科書/テキスト	Yuri Komuro, Braven Smillie 著、『Write Better with Patterns』金星堂、1900円 ISBN978-4-7647-3917-8
参考書	

履修コード	249301
科目名	英語IIA
担当者名	大瀨 利春

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語で短いエッセイを書く能力の習得を目指す。
授業スケジュール	授業のはじめに毎回ニュース英語を使ったリスニングの練習を行う。その後テキストにそって英語エッセイライティングの練習を行う。具体的なスケジュールは以下の通り。 前期 (1) Introduction (2) Computer Society ① (2) Computer Society ② (3) Deforestation ① (4) Deforestation ② (5) Biotechnology ① (6) Biotechnology ② (7) English and Internationalization ① (8) English and Internationalization ② (9) Global Warming ① (10) Global Warming ② (11) Bullying ① (12) Bullying ② (13) Aging Society ① (14) Aging Society ② (15) Review 後期 (16) Racism ① (17) Racism ② (18) The Seniority System ① (19) The Seniority System ② (20) Euthanasia ① (21) Euthanasia ② (22) University Education ① (23) University Education ② (24) Freeters ① (25) Freeters ② (26) Mobile Phones and E-mail ① (27) Mobile Phones and E-mail ② (28) Free English Composition ① (29) Free English Composition ② (30) Review
準備学習	テキストの予習が必要。
履修上の留意点	遅刻・欠席をしないよう心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。
成績評価の方法	前期・後期の試験結果70%と平常点30%で評価します。
教科書/テキスト	Yumiko Ishitani 『Point by Point』南雲堂 2000円 ISBN978-4-523-17652-7
参考書	

履修コード	252501
科目名	英語IIA
担当者名	大瀧 利春

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語 I A の内容をふまえ、さらなる英語ライティング力の向上を目指す。
---------------------	--------------------------------------

授業スケジュール	<p>基本的にはテキストの英作文の問題を解いていきます。 [授業スケジュール] 前期：(1) Course Introduction (2) Overcoming Disasters (3) Going Digital (4) Judging Others (5) Ping-Pong Hero (6) Marry Me, Robot (7) Remember Not to Forget (8) Alienated on Earth (9) Daylight Savings (10) Society Service (11) The First Lady (12) Homesick for Earth (13) Anime is English (14) Money & Taxes (15) Review 後期 (16) Introduction (17) Individual Appeal (18) Exercise against Stress (19) Social Networking (20) Bob and Annie (21) Paying with Plastic (22) CCTV (23) Galapagos Syndrome (24) Finding and Finishing Employment (25) Censorship (26) Impatience (27) An Important Patient (28) Free Composition (29) Review 1 (30) Review 2</p>
----------	--

準備学習	テキストの予習が必要。
------	-------------

履修上の留意点	英語の辞書を持参すること。
---------	---------------

成績評価の方法	前期・後期の試験70%、小テスト、授業態度等の平常点30%で評価します。
---------	--------------------------------------

教科書/テキスト	Takaichi Okuda, Anthony Allan, 『Writing Points!』 金星堂 1900円 ISBN978-4-7647-3939-0
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	248701
科目名	英語IIA
担当者名	荻野 一成

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	毎回、携帯電話、フリーター、いじめなど、大学生にとって身近な事象や社会問題を取り上げ、見本英文を活用しながら自分の考えや意見を表現できるようにしていく。トピックに関連した事柄についてクラスで意見交換をする場合もある。英語IAを基礎として、英文エッセイの基本構成に沿って伝えたい意見・考えを書けるようになる運用能力を身につけることを到達目標とする。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回・・・キックオフ・セッション (ガイダンス) 第2・3回・・・英語と国際化 第4・5回・・・大学教育 第6・7回・・・コンピュータ社会 第8回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日 第9・10回・・・森林破壊 第11・12回・・・高齢化社会 第13・14回・・・地球温暖化 第15回・・・レビュー・セッション (まとめ、夏期課題準備)</p> <p>第16回・・・リターン・セッション (夏期課題提出など) 第17・18回・・・いじめ 第19・20回・・・携帯電話・Eメール 第21・22回・・・バイオテクノロジー 第23回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日 第24・25回・・・高齢化社会 第26・27回・・・安楽死 第28・29回・・・フリーター 第30回・・・ラップアップ・セッション (総まとめ) / 年度末筆記試験</p>
----------	--

※予定は変更になる場合有り。初日のガイダンスで年間予定表を配布する。

準備学習	初日のキックオフ・セッション (ガイダンス) で詳しく指示する。
------	----------------------------------

履修上の留意点	辞書は必携。予習は必須。
---------	--------------

成績評価の方法	授業内小テスト、課題提出、年度末筆記試験 (70%)、出席点 (30%) による総合評価。特に、欠席が全体の3分の1をはるかに超えた場合には、試験の結果が良くても総合評価が60点未満になる場合があるので注意。
---------	--

教科書/テキスト	石谷由美子著 POINT BY POINT Writing Effective Opinion Essays 株南雲堂 2,000円 ISBN978-4-523-17652-7
----------	---

参考書	必要に応じて指示する。
-----	-------------

その他	YeStudyの活用あり。
-----	---------------

履修コード	349201
科目名	英語IIA
担当者名	落合 和昭

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスはビジネスで使用される会話表現を学びながら、TOEIC (特に、リスニング、語彙と文法) の受験にも備える。授業概要は、主として、三段階からなる。第一段階として、ミニテストを通して、ビジネス英語やTOEICの問題を解く。第二段階は、テキストを通して、解答の間違いを確認する。第三段階は、発音練習 (一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある)。 到達目標としては、このクラスのレベルは英語の基礎から中級 (英検二級、準一級) 程度とし、リスニングを通して、ビジネス英語とTOEICの問題を解き、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、TOEIC以外の、実用検定試験 (英検、TOEFL、国連英語等) の受験準備にも役立つようにする。
---------------------	--

授業スケジュール	年間の授業計画は次の通りである。
----------	------------------

第一回	オリエンテーション	第十六回	『TOEIC』 UNIT 7
第二回	『ビジネス英語』 Lesson 1	第十七回	『ビジネス英語』 Lesson 8
第三回	『TOEIC』 UNIT 1	第十八回	『TOEIC』 UNIT 8
第四回	『ビジネス英語』 Lesson 2	第十九回	『ビジネス英語』 Lesson 9
第五回	『TOEIC』 UNIT 2	第二十回	『TOEIC』 UNIT 9
第六回	『ビジネス英語』 Lesson 3	第二十一回	『ビジネス英語』 Lesson 10
第七回	『TOEIC』 UNIT 3	第二十二回	『TOEIC』 UNIT 10
第八回	『ビジネス英語』 Lesson 4	第二十三回	『ビジネス英語』 Lesson 11
第九回	『TOEIC』 UNIT 4	第二十四回	『TOEIC』 UNIT 11
第十回	『ビジネス英語』 Lesson 5	第二十五回	『ビジネス英語』 Lesson 12
第十一回	『TOEIC』 UNIT 5	第二十六回	『TOEIC』 UNIT 12
第十二回	『ビジネス英語』 Lesson 6	第二十七回	『ビジネス英語』 Lesson 13
第十三回	『TOEIC』 UNIT 6	第二十八回	『TOEIC』 UNIT 13
第十四回	『ビジネス英語』 Lesson 7	第二十九回	『ビジネス英語』 Lesson 14
第十五回	前期のまとめ	第三十回	後期のまとめ

※ 上記の『ビジネス英語』は使用テキストの『初めてのビジネス英語—大学からビジネスワールドへ—』を、『TOEIC』『TOEICポキャブラリー・プラクティス—ターゲットは600点!—』を指す。

準備学習	翌週のテキストの箇所に、わからない単語や表現があれば、必ず、辞書を引き、意味を明らかにしておくこと。また、音読することも忘れないこと。ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしてください。
------	--

履修上の留意点	授業は徹底した演習形式 (学生参加形式) を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。出席率は3分の2を越えなければ、評価は「不合格」とする。
---------	---

成績評価の方法	「前期のまとめ」は20%、「後期のまとめ」は20%、「授業」 (課題・授業中の発表・小テスト等) は60%。
---------	--

教科書/テキスト	1) James House 『初めてのビジネス英語—大学からビジネスワールドへ—』 金星堂 1, 800円 ISBN4-7647-3655-1 C1082 2) 石田久美子 『TOEICポキャブラリー・プラクティス—ターゲットは600点!—』 英宝社 1, 600円 ISBN4-269-66017-1 C3582
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	248801
科目名	英語IIA
担当者名	落合 真裕

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要： 【前期】 日本語を英訳するとき、和製英語にならないよう注意したい重要事項を確認し、英語らしい構文、表現を身につけていきます。 【後期】 例題を通してパラグラフの構成要素、アウトライン、展開方法を学び、目的に従ってある程度まとまった英文が書けるよう練習していきます。</p> <p>到達目標： 英語ⅠAで培った英語力を基礎として、ライティングによる内容伝達力の向上を目指します。和製英語にならない英語らしい英語表現を身につけ、ライティングの基礎に磨きをかけます。その後、パラグラフライティングから500—600字程度の自由作文を書けるようにします。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス 第2回 「名詞表現」を用いて表現する 第3回 「句動詞」を用いて表現する 第4回 「無生物を主語」にして表現する (1) 第5回 「無生物を主語」にして表現する (2) 第6回 「前置詞+名詞」で表現する 第7回 「動詞の代わりに前置詞」で表現する (1) 第8回 「動詞の代わりに前置詞」で表現する (2) 第9回 「接続詞を用いなくて結果」を表す方法 第10回 「文修飾の副詞」で短く表現する 第11回 「時を表す語やenough, little, muchなどや否定語を主語」にして表現する 第12回 「倒置」 第13回 「省略」 第14回 理解度の確認 第15回 パラグラフ・ライティングの基礎Ⅰ 第16回 パラグラフ・ライティングの基礎Ⅱ 第17回 列挙 第18回 例示 第19回 比較 第20回 対照 第21回 分析 第22回 類推1 第23回 類推2 第24回 結果 第25回 定義 第26回 分類 第27回 意見 第28回 理由 第29回 各種書式の書き方 (Eメール、履歴書、願書) 第30回 理解度の確認</p>
----------	---

準備学習	自分が持っている参考書等を利用してこれまで習得してきた文法事項を確認しておいてください。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。 ・ 辞書を必ず持参してください。 ・ 授業の2/3以上の出席が必要です。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期試験 (50%)、平常点 (30%)、課題 (20%) などから総合的に評価します。
---------	---

教科書/テキスト	山本三郎、岩本一、Dean Lanaras著、『Writing in English from Basics to Paragraphs』 1,600円 ISBN978-4-7919-5037-9
----------	---

参考書	特になし。
-----	-------

履修コード	250301
科目名	英語IIA
担当者名	小布施 圭佐三

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英語を書く上で重要な文法事項を取り上げ、学習した文法事項を活用して、適切な英文が書ける力を養成します。教科書は、英語を読んだり、英語で文章を書いたりしなければならない大学生として最低これだけは理解しておかなければならないと思われる英文法を79のポイントにまとめ、基本練習問題と応用練習問題がついた形式になっています。</p> <p>(到達目標) この授業の目的は、パラグラフ・ライティングのスキルを伸ばすことにあります。最終的には、500語程度の自由英作文が書けるようにしたい。成果確認のため、計4回（前期2回、後期2回）レポートを提出してもらいます。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (授業を展開する上で) 2. 品詞・文型 3. 句・節・文 4. 名詞 5. 代名詞 6. 冠詞 7. 形容詞 8. 理解度の確認 (小テスト) 9. 動詞 10. 時制 11. 進行形 12. 完了形 13. 助動詞 14. 分詞 15. 理解度の確認 16. 副詞 17. 前置詞 18. 接続詞 19. 受動態 20. 比較・否定 21. 疑問詞 22. 関係詞 23. 仮定法・話法 24. 理解度の確認 (小テスト) 25. プリント 26. プリント 27. 無生物主語 28. 名詞構文 29. 強調・倒置・省略 30. 理解度の確認
----------	--

準備学習	高校時代の英文法書にもう一度目を通しておいください。思いがけない発見があるかもしれません。予習を怠らないように。
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。英語の辞書持参のこと。
成績評価の方法	定期試験の成績60%/ レポート・授業貢献度20%/ 平常点20% などを加味して総合評価します。
教科書/テキスト	編著者：小中 秀彦：『大学生のための基礎英文法』（成美堂） 1,700円 ISBN4-7919-4909-9 C1082
参考書	使用しない。適宜プリントと資料を配布する。

履修コード	251201
科目名	英語IIA
担当者名	小布施 圭佐三

授業概要/
到達目標 (ねらい)

(授業概要)
英語を書く上で重要な文法事項を取り上げ、学習した文法事項を活用して、適切な英文が書ける力を養成します。教科書は、英語を読んだり、英語で文章を書いたりしなければならない大学生として最低これだけは理解しておかなければならないと思われる英文法を79のポイントにまとめ、基本練習問題と応用練習問題がついた形式になっています。

(到達目標)
この授業の目的は、パラグラフ・ライティングのスキルを伸ばすことにあります。最終的には、500語程度の自由英作文が書けるようにしたい。成果確認のため、計4回(前期2回、後期2回)レポートを提出してもらいます。

授業スケジュール

1. ガイダンス (授業を展開する上で)
2. 品詞・文型
3. 句・節・文
4. 名詞
5. 代名詞
6. 冠詞
7. 形容詞
8. 理解度の確認 (小テスト)
9. 動詞
10. 時制
11. 進行形
12. 完了形
13. 助動詞
14. 分詞
15. 理解度の確認
16. 副詞
17. 前置詞
18. 接続詞
19. 受動態
20. 比較・否定
21. 疑問詞
22. 関係詞
23. 仮定法・話法
24. 理解度の確認 (小テスト)
25. プリント
26. プリント
27. 無生物主語
28. 名詞構文
29. 強調・倒置・省略
30. 理解度の確認

準備学習

高校時代の英文法書にもう一度目を通しておいってください。思いがけない発見があるかもしれません。予習を怠らないように。

履修上の留意点

進度は各課90分で消化。英語の辞書持参のこと。

成績評価の方法

定期試験の成績60%/ レポート・授業貢献度20%/ 平常点20% などを加味して総合評価します。

教科書/テキスト

編著者：小中 秀彦：『大学生のための基礎英文法』（成美堂） 1,700円 ISBN4-7919-4909-9 C1082

参考書

使用しない。適宜プリントと資料を配布する。

履修コード	254461
科目名	英語IIA
担当者名	甲斐 捷子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	今年度は、AFP World News Report から、広い視野でニュース報道を学びます。私たちは毎朝、TVニュースを耳で聞き、映像を目で見て、ニュースの内容を理解しますが、それと全く同じように、このニュース報道を理解しよう、というのがこの授業の目標です。
---------------------	--

授業スケジュール	1-2回目: Lesson 1: Luxury Fashion vs. fast Fashion; 3-4回目: Lesson 2: What are Prisons for?; 5-6回目: Lesson 3: Internet Matchmaking; 7-8回目: Lesson 4: The search for Beauty; 9-10回目: Lesson 5: Which Way to Happiness?; 11-12回目: Lesson 6: The Brazilian Way; 13-14回目: Lesson 7: E-books; 15-16回目: Lesson 8: Abandoned Babies; 17-18回目: Lesson 9: Wine and Climate; 19-20回目: Lesson 10: Freedom in Cyberspace; 21-22回目: Lesson 11: Alternative Food Sources; 23-24回目: Lesson 12: How Long Do You Want to Live?; 25-26回目: Lesson 13: The WikiLeaks Phenomenon; 27-28回目: Lesson 14: What is Green Business?; 29-30回目: Lesson 15: The Future of Space Program
----------	--

準備学習	付属の DVD を予復習に活用なさるよう、お勧めします。
履修上の留意点	授業、クイズ、履修内容の習得状況の確認は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。
成績評価の方法	クイズ: 30% 履修内容の習得状況の確認: 全2回 各30% (7月下旬に1回、12月から1月上旬に1回) 平常評価としての出席: 10% とします。
教科書/テキスト	1) Bruce Allen et al 著 2) AFP World News Report 3) 成美堂 4) 2, 400円 5) 978-4-7919-5085-0
参考書	特になし。

履修コード	253201
科目名	英語IIA
担当者名	風間 則比古

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に読解力を中心に行ない、練習問題で総合的な学習ができるようにした。
---------------------	--

授業スケジュール	第1週: 授業の概要説明 第2週~第3週: Reminiscences of Childhood Readings 第4週~第5週: Metabolism: The Key to Energy 第6週~第7週: Vegetables from the Sea 第8週~第9週: Weight and Health 第10週~第11週: Frozen Foods 第12週~第13週: Milk: Nature's Miracle Food 第14週: Food Additives 第15週: 前期試験 第16週~第17週: Bacteria: Friend or Fiend? 第18週~第19週: Stress and Aromatherapy 第20週~第21週: Fears of Aging 第22週~第23週: Big Bang 第24週~第25週: The Backbone of the Japanese Economy 第26週~第27週: Better Rice and Blue Flowers: Genetic Engineering 第28週~第29週: Local Beer 第30週: 後期試験
----------	--

準備学習	毎回、必ず予習しておくこと。
履修上の留意点	英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。
成績評価の方法	成績は前、後期1度ずつの試験の結果と、平常点(出席数や授業態度など)を総合して評価します。
教科書/テキスト	千葉 剛、'Prosperous Life' (『豊かな生活』)、南雲堂
参考書	英和辞典、英文法書
その他	出席を重視しますので、毎回必ず出席して下さい。

履修コード	250001
科目名	英語IIA
担当者名	川崎 笑佳

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の英語能力を基盤としてより高度な英語運用能力の向上を目的とする。本授業ではTOEICを扱ったテキストを使用するが、必要に応じて教員の用意したその他の教材を利用し指導を行い、TOEICテストの実力はもちろん、より実用的な英語の総合能力を養ってもらうことを最終目標とする。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14：UNIT1～UNIT6 第15回：前期の授業習熟度確認 第16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT7～12 第30回：後期の授業習熟度確認
----------	--

準備学習	円滑な授業進行のためにも予習は必須である。年間のスケジュールをチェックし、当日の授業内容を事前に確認しておくこと。(スケジュールに細かい変更が生じた場合はその都度連絡する。)
------	---

履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提として授業を進める。事前の準備をしていない学生は欠席扱いとするのでそのつもりで授業に臨むこと。
---------	--

成績評価の方法	授業態度(出席状況、発表内容、授業の内容に関する予習の有無を含む)50%、前期、後期の試験結果50%とする。
---------	--

教科書/テキスト	塩見佳代子、Richard Silver、滝田尚広『Aim High for the TOEIC Test-TOEICテスト総合実践演習』(成美堂)2000円 ISBN 978-4-7919-5087-4
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	250501
科目名	英語IIA
担当者名	川崎 笑佳

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の英語能力を基盤としてより高度な英語運用能力の向上を目的とする。本授業ではTOEICを扱ったテキストを使用するが、必要に応じて教員の用意したその他の教材を利用し指導を行い、TOEICテストの実力はもちろん、より実用的な英語の総合能力を養ってもらうことを最終目標とする。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回：プリント使用の授業 第2～14：UNIT1～UNIT6 第15回：前期の授業習熟度確認 第16回：プリント使用の授業 第17～29回：UNIT7～12 第30回：後期の授業習熟度確認
----------	--

準備学習	円滑な授業進行のためにも予習は必須である。年間のスケジュールをチェックし、当日の授業内容を事前に確認しておくこと。(スケジュールに細かい変更が生じた場合はその都度連絡する。)
------	---

履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提として授業を進める。事前の準備をしていない学生は欠席扱いとするのでそのつもりで授業に臨むこと。
---------	--

成績評価の方法	授業態度(出席状況、発表内容、授業の内容に関する予習の有無を含む)50%、前期、後期の試験結果50%とする。
---------	--

教科書/テキスト	塩見佳代子、Richard Silver、滝田尚広『Aim High for the TOEIC Test-TOEICテスト総合実践演習』(成美堂)2000円 ISBN 978-4-7919-5087-4
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	251401
科目名	英語IIA
担当者名	小泉 和弘
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とします。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。具体的には、テキストをもとに、英作文をおこないます。日本語と英語の違いをよく考えて英文を作るように、英英辞典を使えるようにします。
授業スケジュール	(1~15週) Unit1~6 (16~30週) Unit7~12
準備学習	毎時間必ず辞書を持ってくること。 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
履修上の留意点	出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。 英訳・和訳の際にWeb上の翻訳機能を使うことを禁止しないが、あくまでも不完全なものであることを理解した上で参考程度にとどめること。Web翻訳丸写しのレポートは一切評価しない。
成績評価の方法	出席点、発表点50%、授業中の試験50%の割合で評価する。
教科書/テキスト	Life and Health 『生活と健康』 鳳書房 1,800円
参考書	

履修コード	248401
科目名	英語IIA
担当者名	古富 猛
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語運用能力、および聴解力の向上を目指します。
授業スケジュール	第1回日本語とは違う英語の言語システム＝文法事項や構文を理解する 第2回第1回を前提として、英語独自の表現法に馴染む 第3回最終的に語彙の習得が、聴解、運用には欠かせないので、語彙を覚える。 第4回～第6回the green prairie, 第7回～第10回the toothpick, 第11回～第14回, pistoleer Mike Fink, 第15回～19回the unwelcome neighbour, 第20回～第25回the death waltz, 第26回～第30回the wager
準備学習	他の作品にあたること。
履修上の留意点	予習をしてくること。辞書をもってくること。
成績評価の方法	前後期の定期試験、授業への参加度、課題提出などからの総合評価である。肝要なのは、授業中の真摯な姿勢である。
教科書/テキスト	American folktales and legends 金星堂
参考書	

履修コード	252701
科目名	英語IIA
担当者名	古富 猛
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語運用能力、および聴解力の向上を目指します。
授業スケジュール	第1回日本語とは違う英語の言語システム＝文法事項や構文を理解する 第2回第1回を前提として、英語独自の表現法に馴染む 第3回最終的に語彙の習得が、聴解、運用には欠かせないので、語彙を覚える。 第4回～第6回the green prairie, 第7回～第10回the toothpick, 第11回～第14回, pistoleer Mike Fink, 第15回～19回the unwelcome neighbour, 第20回～第25回the death waltz, 第26回～第30回the wager
準備学習	他の作品にあたること。
履修上の留意点	予習をしてくること。辞書をもってくること。
成績評価の方法	前後期の定期試験、授業への参加度、課題提出などからの総合評価である。肝要なのは、授業中の真摯な姿勢である。
教科書/テキスト	American folktales and legends 金星堂
参考書	

履修コード	250201
科目名	英語IIA
担当者名	近藤 真彰
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	正確な英文読解力を養うと同時に、自分の意見を英語で表現できるようにする。
授業スケジュール	【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：教科書にしたがって様々な社会問題を扱った英文を正確に読解し、それについての意見をセンテンスで述べる訓練をする。第14,15週：復習 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：前期に続き教科書を読み進めながら、パラグラフでの意見の英作を行う。第14,15週：復習
準備学習	各授業の予習復習において、英語の学習と同時に、扱うトピックについての自分の意見をよく考えること。
履修上の留意点	全授業日数の三分の二以上の出席を必要とする。
成績評価の方法	前期と後期の定期試験の成績（50%）と平常点（50%）を総合して評価する。
教科書／テキスト	茂木秀昭/Stephen Hesse/鈴木伝次 『Debating the Issues - 現代社会の視点・論点』Macmillan LanguageHouse 1800円＋税 ISBN978-4-89585-408-5
参考書	

履修コード	248301
科目名	英語IIA
担当者名	佐藤 江里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) IA(Writing and/or Speaking)を基礎とし、より高度な英語の運用能力を身につける。 テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。</p> <p>(到達目標) 各テーマに沿った簡単な論述を英語で書けるようにする。基礎からTOEIC等の各種検定まで、 様々な場面に対応できる英語力の習得をめざす。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 オリエンテーション・実力テスト ・第2回 Unit1 ・第3回 Unit2 ・第4回 Unit3 ・第5回 Unit4 ・第6回 Unit5 ・第7回 Unit6 ・第8回 Unit7 ・第9回 Unit8 ・第10回 Unit9 ・第11回 Unit10 ・第12回 確認プリント ・第13回 確認プリント ・第14回 まとめ・発展問題 ・第15回 理解度の確認 (小テスト) ・第16回 自由英作文・実力テスト ・第17回 Unit11 ・第18回 Unit12 ・第19回 Unit13 ・第20回 Unit14 ・第21回 Unit15 ・第22回 Unit16 ・第23回 Unit17 ・第24回 Unit18 ・第25回 Unit19 ・第26回 Unit20 ・第27回 確認プリント ・第28回 確認プリント ・第29回 まとめ・発展問題 ・第30回 理解度の確認 (小テスト)
----------	--

※基本的に1回に1ユニットずつ進む。

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・付属のCDを聞いて、次週の授業範囲のユニットを必ず予習する。 (単語の意味調べ・和訳・英訳・エクササイズ等が終わらせておく。) ・辞書をひく習慣をつける。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 ・授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(50%)と平常点(50%)から総合的に評価する。 ・授業態度を重視する。(平常点に含まれる。)
教科書/テキスト	『スヌーピーと学ぶライティングとリスニング』(南雲堂)2,000円+税
参考書	

履修コード	253801
科目名	英語II A
担当者名	佐藤 江里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) IA (Writing and/or Speaking) を基礎とし、より高度な英語の運用能力を身につける。 テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。 映画の中の会話から英語表現を習得する。 (到達目標) 映画に関する論述を英語で書けるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 オリエンテーション・実力テスト ・ 第2回 作品概要 ・ 第3回 作品概要 ・ 第4回 『風と共に去りぬ』 Unit1 ・ 第5回 『風と共に去りぬ』 Unit2 ・ 第6回 『風と共に去りぬ』 Unit3 ・ 第7回 『風と共に去りぬ』 Unit4 ・ 第8回 作品概要 ・ 第9回 作品概要 ・ 第10回 『若草物語』 Unit5 ・ 第11回 『若草物語』 Unit6 ・ 第12回 『若草物語』 Unit7 ・ 第13回 『若草物語』 Unit8 ・ 第14回 まとめ・発展問題 ・ 第15回 理解度の確認 (小テスト) ・ 第16回 自由英作文・実力テスト ・ 第17回 作品概要 ・ 第18回 作品概要 ・ 第19回 『オズの魔法使い』 Unit9 ・ 第20回 『オズの魔法使い』 Unit10 ・ 第21回 『オズの魔法使い』 Unit11 ・ 第22回 『オズの魔法使い』 Unit12 ・ 第23回 作品概要 ・ 第24回 作品概要 ・ 第25回 『アラバマ物語』 Unit13 ・ 第26回 『アラバマ物語』 Unit14 ・ 第27回 『アラバマ物語』 Unit15 ・ 第28回 『アラバマ物語』 Unit16 ・ 第29回 まとめ・発展問題 ・ 第30回 理解度の確認 (小テスト)
----------	--

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のDVDを見て、次週の授業範囲のユニットを必ず予習する。 (単語の意味調べ・和訳・英訳・エクササイズ等を終わらせておく。) ・ 辞書をひく習慣をつける。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 ・ 授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。
---------	---

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 (50%) と平常点 (50%) から総合的に評価する。 ・ 授業態度を重視する。(平常点に含まれる。)
---------	--

教科書/テキスト	『American Spirits in Movies』 (成美堂) 2,400円 (税別)
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	253101
科目名	英語II A
担当者名	佐藤 孝一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	身近な国内外の話題を読解しながら基礎的英語力と運用力の向上を目指す。具体的には、基本文型の習得、リーディング文章の音読・語彙・構文理解・内容理解を順次行う。練習問題で学習した内容を元に、音声聞きながらの空所補充、ダイアログ練習、英文整序をこなして、学習内容の定着を図る。
---------------------	---

授業スケジュール	授業の進め方は、原則として1時間に1章を消化していく。 残りの時間は教科書の内容をe-learningを通して、ネットでの学習に当てる。 E-learningの時間が取れない時には、自宅学習とする。
----------	---

準備学習	授業には辞書を必ず持参すること。テキストを忘れた場合には借りてその日にやる章をコピーして出席するように。本文は前の週に割り当てるので十分な準備をしてくるように。
------	--

履修上の留意点	
成績評価の方法	前期・後期の学期末試験・小テストを総合的に評価する。欠席と遅刻は減点制にします。但し、授業は全体回数の7割以上出ない場合は評価の対象にしません。

教科書/テキスト	『Enjoyable Reading』 成美堂
----------	-------------------------

参考書	辞書は発音記号がついているものか、音声機能付き電子辞書を使うように。
-----	------------------------------------

履修コード	252201
科目名	英語IIA
担当者名	清水 雅夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	日本人が犯しやすい文法上、語法上の間違いを訂正するという作業を通して、英語における表現力の向上を目指す。
授業スケジュール	全20課をすべて学習する。5課ごとにテストを行う。授業では練習問題の答を尋ねる。練習問題の一部は宿題にする。
準備学習	単語、語句を辞書で調べる。練習問題の解答を準備すること。
履修上の留意点	予習を欠かさないこと。教科書を忘れたときはコピーを準備すること。
成績評価の方法	評価は、テストおよび宿題65%、出席点20%、平常点15%の割合で行う。授業実施時数の3分の2以上出席することが合格の最低条件である。
教科書/テキスト	木塚、ノースリッジ著『英作文の盲点200』第6版 (マクミラン・ランゲージハウス) 1800円 ISBN978-4-7773-6359-9
参考書	

履修コード	249501
科目名	英語IIA
担当者名	平野 桃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。 自分の意見を英語できちんと伝えられるように努力する。
授業スケジュール	前期 unit1~9 後期 unit10~18
準備学習	必ず辞書を持参すること。 予習復習をよくすること。
履修上の留意点	出欠を重視します。 演習形式の授業なので、積極的に参加すること。熱意を高く評価します。
成績評価の方法	前期、後期末に行うテスト (スピーキングテストを含む) が70% 出席、授業内に行う小テストやレポートが30%
教科書/テキスト	Taboo Talk- Express Your Opinion on Controversial Topics Jonathan Lynch (Gengage Learning) ¥2205 ISBN978-4-86312-205-5
参考書	

履修コード	251901
科目名	英語IIA
担当者名	菅原 典子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 比較文化論的観点に立ち、日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上を目指す。それと同時に、実際のコミュニケーションに役立つ語彙の習得も目標とする。 (到達目標) 1Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。
---------------------	---

授業スケジュール	語彙：基本的に、毎時間、指示した範囲から小テストを行う。 総合教材：テキストを読み進めながら、練習問題を行う。																																																																																																
	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>語彙</td> <td>総合教材</td> </tr> <tr> <td>1.</td> <td>ガイダンス</td> <td>ガイダンス・1課</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>1課解説</td> <td>1課・2課</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>1課小テスト・2課解説</td> <td>2課・3課</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>2課小テスト・3課解説</td> <td>3課・4課</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>3課小テスト・4課解説</td> <td>4課・5課</td> </tr> <tr> <td>6.</td> <td>4課小テスト・5課解説</td> <td>5課・6課</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>5課小テスト・6課解説</td> <td>6課・7課</td> </tr> <tr> <td>8.</td> <td>6課小テスト・7課解説</td> <td>7課・8課</td> </tr> <tr> <td>9.</td> <td>7課小テスト・8課解説</td> <td>8課・9課</td> </tr> <tr> <td>10.</td> <td>8課小テスト・9課解説</td> <td>9課・10課</td> </tr> <tr> <td>11.</td> <td>9課小テスト・10課解説</td> <td>10課・11課</td> </tr> <tr> <td>12.</td> <td>10課小テスト</td> <td>11課・12課</td> </tr> <tr> <td>13.</td> <td>復習</td> <td>12課</td> </tr> <tr> <td>14.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15.</td> <td>復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16.</td> <td>前期まとめテスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17.</td> <td>11課解説</td> <td>13課・14課</td> </tr> <tr> <td>18.</td> <td>11課小テスト・12課解説</td> <td>14課・15課</td> </tr> <tr> <td>19.</td> <td>12課小テスト・13課解説</td> <td>15課・16課</td> </tr> <tr> <td>20.</td> <td>13課小テスト・14課解説</td> <td>16課・17課</td> </tr> <tr> <td>21.</td> <td>14課小テスト・15課解説</td> <td>17課・18課</td> </tr> <tr> <td>22.</td> <td>15課小テスト・16課解説</td> <td>18課・19課</td> </tr> <tr> <td>23.</td> <td>16課小テスト・17課解説</td> <td>19課・20課</td> </tr> <tr> <td>24.</td> <td>17課小テスト・18課解説</td> <td>20課・21課</td> </tr> <tr> <td>25.</td> <td>18課小テスト・19課解説</td> <td>21課・22課</td> </tr> <tr> <td>26.</td> <td>19課小テスト・20課解説</td> <td>22課・23課</td> </tr> <tr> <td>27.</td> <td>20課小テスト</td> <td>23課・24課</td> </tr> <tr> <td>28.</td> <td>復習</td> <td>24課</td> </tr> <tr> <td>29.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30.</td> <td>復習</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>後期まとめテスト</td> <td></td> </tr> </table>		語彙	総合教材	1.	ガイダンス	ガイダンス・1課	2.	1課解説	1課・2課	3.	1課小テスト・2課解説	2課・3課	4.	2課小テスト・3課解説	3課・4課	5.	3課小テスト・4課解説	4課・5課	6.	4課小テスト・5課解説	5課・6課	7.	5課小テスト・6課解説	6課・7課	8.	6課小テスト・7課解説	7課・8課	9.	7課小テスト・8課解説	8課・9課	10.	8課小テスト・9課解説	9課・10課	11.	9課小テスト・10課解説	10課・11課	12.	10課小テスト	11課・12課	13.	復習	12課	14.			15.	復習		16.	前期まとめテスト		17.	11課解説	13課・14課	18.	11課小テスト・12課解説	14課・15課	19.	12課小テスト・13課解説	15課・16課	20.	13課小テスト・14課解説	16課・17課	21.	14課小テスト・15課解説	17課・18課	22.	15課小テスト・16課解説	18課・19課	23.	16課小テスト・17課解説	19課・20課	24.	17課小テスト・18課解説	20課・21課	25.	18課小テスト・19課解説	21課・22課	26.	19課小テスト・20課解説	22課・23課	27.	20課小テスト	23課・24課	28.	復習	24課	29.			30.	復習			後期まとめテスト	
	語彙	総合教材																																																																																															
1.	ガイダンス	ガイダンス・1課																																																																																															
2.	1課解説	1課・2課																																																																																															
3.	1課小テスト・2課解説	2課・3課																																																																																															
4.	2課小テスト・3課解説	3課・4課																																																																																															
5.	3課小テスト・4課解説	4課・5課																																																																																															
6.	4課小テスト・5課解説	5課・6課																																																																																															
7.	5課小テスト・6課解説	6課・7課																																																																																															
8.	6課小テスト・7課解説	7課・8課																																																																																															
9.	7課小テスト・8課解説	8課・9課																																																																																															
10.	8課小テスト・9課解説	9課・10課																																																																																															
11.	9課小テスト・10課解説	10課・11課																																																																																															
12.	10課小テスト	11課・12課																																																																																															
13.	復習	12課																																																																																															
14.																																																																																																	
15.	復習																																																																																																
16.	前期まとめテスト																																																																																																
17.	11課解説	13課・14課																																																																																															
18.	11課小テスト・12課解説	14課・15課																																																																																															
19.	12課小テスト・13課解説	15課・16課																																																																																															
20.	13課小テスト・14課解説	16課・17課																																																																																															
21.	14課小テスト・15課解説	17課・18課																																																																																															
22.	15課小テスト・16課解説	18課・19課																																																																																															
23.	16課小テスト・17課解説	19課・20課																																																																																															
24.	17課小テスト・18課解説	20課・21課																																																																																															
25.	18課小テスト・19課解説	21課・22課																																																																																															
26.	19課小テスト・20課解説	22課・23課																																																																																															
27.	20課小テスト	23課・24課																																																																																															
28.	復習	24課																																																																																															
29.																																																																																																	
30.	復習																																																																																																
	後期まとめテスト																																																																																																

準備学習	必ず辞書をひいて予習をしておくこと。単語のみならず、発音・イディオム・例文などにも目を通す習慣をつけるように。
------	---

履修上の留意点	授業時には、辞書必携のこと。
---------	----------------

成績評価の方法	前期、後期まとめテスト80%、語彙の小テスト10%、平常点10%を基本に、総合的に評価する。
---------	--

教科書/テキスト	語彙：佐藤誠司『Everyday Vocabulary Quizzes 5分間日常基本英単語・熟語1000』南雲堂、定価735円(税込) ISBN 978-4-523-17668-8
----------	---

総合教材：Jim Knudsen, 石井隆之, 金澤順一, 木村博晃, 樋口忠彦, 松田聡太郎, 村松秀紀『Simply America, Simply Japan ちよっと日米比較』南雲堂 定価1470円(税込) ISBN N4-523-17308-7

参考書	特になし。
-----	-------

その他	特になし。
-----	-------

履修コード	252301
科目名	英語IIA
担当者名	菅原 典子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 比較文化論的観点に立ち、日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上を目指す。それと同時に、実際のコミュニケーションに役立つ語彙の習得も目標とする。 (到達目標) 1Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>語彙：基本的に、毎時間、指示した範囲から小テストを行う。 総合教材：テキストを読み進めながら、練習問題を行う。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th colspan="2">語彙</th> <th colspan="2">総合教材</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ガイダンス</th> <th colspan="2">ガイダンス・1課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.</td><td>1課解説</td><td>1課</td><td>2課</td></tr> <tr><td>2.</td><td>1課小テスト・2課解説</td><td>2課</td><td>3課</td></tr> <tr><td>3.</td><td>2課小テスト・3課解説</td><td>3課</td><td>4課</td></tr> <tr><td>4.</td><td>3課小テスト・4課解説</td><td>4課</td><td>5課</td></tr> <tr><td>5.</td><td>4課小テスト・5課解説</td><td>5課</td><td>6課</td></tr> <tr><td>6.</td><td>5課小テスト・6課解説</td><td>6課</td><td>7課</td></tr> <tr><td>7.</td><td>6課小テスト・7課解説</td><td>7課</td><td>8課</td></tr> <tr><td>8.</td><td>7課小テスト・8課解説</td><td>8課</td><td>9課</td></tr> <tr><td>9.</td><td>8課小テスト・9課解説</td><td>9課</td><td>10課</td></tr> <tr><td>10.</td><td>9課小テスト・10課解説</td><td>10課</td><td>11課</td></tr> <tr><td>11.</td><td>10課小テスト</td><td>11課</td><td>12課</td></tr> <tr><td>12.</td><td>10課小テスト</td><td>11課</td><td>12課</td></tr> <tr><td>13.</td><td>復習</td><td>12課</td><td></td></tr> <tr><td>14.</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15.</td><td></td><td>復習</td><td></td></tr> <tr><td>16.</td><td></td><td>前期まとめテスト</td><td></td></tr> <tr><td>17.</td><td>11課解説</td><td>前期まとめテスト解説</td><td></td></tr> <tr><td>18.</td><td>11課小テスト・12課解説</td><td>13課</td><td>14課</td></tr> <tr><td>19.</td><td>12課小テスト・13課解説</td><td>14課</td><td>15課</td></tr> <tr><td>20.</td><td>13課小テスト・14課解説</td><td>15課</td><td>16課</td></tr> <tr><td>21.</td><td>14課小テスト・15課解説</td><td>16課</td><td>17課</td></tr> <tr><td>22.</td><td>15課小テスト・16課解説</td><td>17課</td><td>18課</td></tr> <tr><td>23.</td><td>16課小テスト・17課解説</td><td>18課</td><td>19課</td></tr> <tr><td>24.</td><td>17課小テスト・18課解説</td><td>19課</td><td>20課</td></tr> <tr><td>25.</td><td>18課小テスト・19課解説</td><td>20課</td><td>21課</td></tr> <tr><td>26.</td><td>19課小テスト・20課解説</td><td>21課</td><td>22課</td></tr> <tr><td>27.</td><td>20課小テスト</td><td>22課</td><td>23課</td></tr> <tr><td>28.</td><td>復習</td><td>23課</td><td>24課</td></tr> <tr><td>29.</td><td></td><td>24課</td><td></td></tr> <tr><td>30.</td><td></td><td>復習</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>後期まとめテスト</td><td></td></tr> </tbody> </table>	語彙		総合教材		ガイダンス		ガイダンス・1課		1.	1課解説	1課	2課	2.	1課小テスト・2課解説	2課	3課	3.	2課小テスト・3課解説	3課	4課	4.	3課小テスト・4課解説	4課	5課	5.	4課小テスト・5課解説	5課	6課	6.	5課小テスト・6課解説	6課	7課	7.	6課小テスト・7課解説	7課	8課	8.	7課小テスト・8課解説	8課	9課	9.	8課小テスト・9課解説	9課	10課	10.	9課小テスト・10課解説	10課	11課	11.	10課小テスト	11課	12課	12.	10課小テスト	11課	12課	13.	復習	12課		14.				15.		復習		16.		前期まとめテスト		17.	11課解説	前期まとめテスト解説		18.	11課小テスト・12課解説	13課	14課	19.	12課小テスト・13課解説	14課	15課	20.	13課小テスト・14課解説	15課	16課	21.	14課小テスト・15課解説	16課	17課	22.	15課小テスト・16課解説	17課	18課	23.	16課小テスト・17課解説	18課	19課	24.	17課小テスト・18課解説	19課	20課	25.	18課小テスト・19課解説	20課	21課	26.	19課小テスト・20課解説	21課	22課	27.	20課小テスト	22課	23課	28.	復習	23課	24課	29.		24課		30.		復習				後期まとめテスト	
語彙		総合教材																																																																																																																																			
ガイダンス		ガイダンス・1課																																																																																																																																			
1.	1課解説	1課	2課																																																																																																																																		
2.	1課小テスト・2課解説	2課	3課																																																																																																																																		
3.	2課小テスト・3課解説	3課	4課																																																																																																																																		
4.	3課小テスト・4課解説	4課	5課																																																																																																																																		
5.	4課小テスト・5課解説	5課	6課																																																																																																																																		
6.	5課小テスト・6課解説	6課	7課																																																																																																																																		
7.	6課小テスト・7課解説	7課	8課																																																																																																																																		
8.	7課小テスト・8課解説	8課	9課																																																																																																																																		
9.	8課小テスト・9課解説	9課	10課																																																																																																																																		
10.	9課小テスト・10課解説	10課	11課																																																																																																																																		
11.	10課小テスト	11課	12課																																																																																																																																		
12.	10課小テスト	11課	12課																																																																																																																																		
13.	復習	12課																																																																																																																																			
14.																																																																																																																																					
15.		復習																																																																																																																																			
16.		前期まとめテスト																																																																																																																																			
17.	11課解説	前期まとめテスト解説																																																																																																																																			
18.	11課小テスト・12課解説	13課	14課																																																																																																																																		
19.	12課小テスト・13課解説	14課	15課																																																																																																																																		
20.	13課小テスト・14課解説	15課	16課																																																																																																																																		
21.	14課小テスト・15課解説	16課	17課																																																																																																																																		
22.	15課小テスト・16課解説	17課	18課																																																																																																																																		
23.	16課小テスト・17課解説	18課	19課																																																																																																																																		
24.	17課小テスト・18課解説	19課	20課																																																																																																																																		
25.	18課小テスト・19課解説	20課	21課																																																																																																																																		
26.	19課小テスト・20課解説	21課	22課																																																																																																																																		
27.	20課小テスト	22課	23課																																																																																																																																		
28.	復習	23課	24課																																																																																																																																		
29.		24課																																																																																																																																			
30.		復習																																																																																																																																			
		後期まとめテスト																																																																																																																																			

準備学習	必ず辞書をひいて予習をしておくこと。単語のみならず、発音・イディオム・例文などにも目を通す習慣をつけるように。
履修上の留意点	授業時には、辞書必携のこと。
成績評価の方法	前期、後期まとめテスト80%、語彙の小テスト10%、平常点10%を基本に、総合的に評価する。
教科書/テキスト	<p>語彙：佐藤誠司『Everyday Vocabulary Quizzes 5分間日常基本英単語・熟語1000』南雲堂、定価735円(税込) ISBN 978-4-523-17668-8</p> <p>総合教材：Jim Knudsen, 石井隆之, 金澤順一, 木村博是, 樋口忠彦, 松田聰太郎, 村松秀紀『Simply America, Simply Japan ちょっと日米比較』南雲堂 定価1470円(税込) ISBN N4-523-17308-7</p>
参考書	特になし。
その他	特になし。

履修コード	248901
科目名	英語IIA
担当者名	杉本 誠

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>現代社会は、オゾン層の破壊、熱帯雨林の伐採、温暖化現象、砂漠化といった多岐にわたる深刻な環境問題に直面している。このような状況下、「環境に優しい」を合言葉に環境保護に向けて様々な取り組みがなされ始めている。そこで、授業では『熱い地球2』のテキストを用いて、「第一部：修復へのシナリオ」「第二部：日常の環境保護」の各表題のもとに再利用、再生、脱化石燃料、省エネ、代替エネルギーなど12項目にわたって日常生活で我々が少しでも気を配れば、自然保護の一助と成り得る方法について学ぶことにする。</p> <p>各章は、それぞれWarm Up, Readingそれに続くListening, Vocabulary, Writing, Grammarの練習問題を通して、英語の総合的な能力を向上させるように構成されている。授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主題を置き、さらに練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目的とする。</p> <p>(到達目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語IIAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付ける。 2. 英文に現れる語彙、文型を身に付ける。 3. 平明ながら正確な英文が構築できる。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 授業方針の説明</p> <p>第2回 Lesson 1 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第3回 Lesson 1 練習問題</p> <p>第4回 Lesson 2 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第5回 Lesson 2 練習問題</p> <p>第6回 Lesson 3 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第7回 Lesson 3 練習問題</p> <p>第8回 Lesson 4 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第9回 Lesson 4 練習問題、Lesson 1～3までの小テスト</p> <p>第10回 Lesson 5 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第11回 Lesson 5 練習問題</p> <p>第12回 Lesson 6 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第13回 Lesson 6 練習問題、Lesson 4～6までの小テスト</p> <p>第14回 Lesson 1～Lesson 6までの総復習、まとめ</p> <p>第15回 前期末試験</p> <p>第16回 Lesson 7 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第17回 Lesson 7 練習問題</p> <p>第18回 Lesson 8 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第19回 Lesson 8 練習問題</p> <p>第20回 Lesson 9 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第21回 Lesson 9 練習問題</p> <p>第22回 Lesson 10 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第23回 Lesson 10 練習問題</p> <p>第24回 Lesson 11 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第25回 Lesson 11 練習問題</p> <p>第26回 Lesson 12 内容のまとめ、語法、イディオム</p> <p>第27回 Lesson 12 練習問題</p> <p>第28回 Lesson 7～Lesson 9までの総復習、まとめ、小テスト</p> <p>第29回 Lesson 10～Lesson 12までの総復習、まとめ、小テスト</p> <p>第30回 後期末試験</p>
----------	--

準備学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各レッスンごとに英文の大意をまとめること。 2. 質問箇所を明記しておくこと。
------	---

履修上の留意点	かならず毎時間の予習が必要である。
---------	-------------------

成績評価の方法	前・後期試験(50%)、小テスト(40%)、プレゼンテーションと出席率(10%)で評価する。
---------	--

教科書/テキスト	『Earth Day Volume 2』(オセアニア出版)1,400円 ISBN4-87203-083-4 C1082
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	250101
科目名	英語IIA
担当者名	鈴木 美貴子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 教科書に従い、短い英文を読み、英文法を確認し、CDを聞いて書き取りをし、英作文をする。 (到達目標) 英文法、リスニング、社会的トピックについて英文を書く力を身に付ける。
授業スケジュール	第1回前期オリエンテーション、第2～14回Unit1～6まで進む。第15回前期理解度の確認、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit7～12まで進む。 第29回後期理解度の確認、第30回総復習。
準備学習	辞書をよくひきながら予習をする。
履修上の留意点	必ず英和・和英辞書を持参し、授業中もよくひくこと。自ら英語表現を考え覚えることに努めて頂きたい。
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書/テキスト	山下広司『Believe in YOUR English!-Thinking about Japan日本人学生のための総合英語』 (朝日出版社、1700円) ISBN978-4-255-15513-5 C1082
参考書	

履修コード	250901
科目名	英語IIA
担当者名	鈴木 美貴子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 教科書に従い、短い英文を読み、英文法を確認し、CDを聞いて書き取りをし、英作文をする。 (到達目標) 英文法、リスニング、社会的トピックについて英文を書く力を身に付ける。
授業スケジュール	第1回前期オリエンテーション、第2～14回Unit1～6まで進む。第15回前期理解度の確認、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit7～12まで進む。 第29回後期理解度の確認、第30回総復習。
準備学習	辞書をよくひきながら予習をする。
履修上の留意点	必ず英和・和英辞書を持参し、授業中もよくひくこと。自ら英語表現を考え覚えることに努めて頂きたい。
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書/テキスト	山下広司『Believe in YOUR English!-Thinking about Japan日本人学生のための総合英語』 (朝日出版社、1700円) ISBN978-4-255-15513-5 C1082
参考書	

履修コード	251701
科目名	英語IIA
担当者名	鈴木 美貴子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 教科書に従い、短い英文を読み、英文法を確認し、CDを聞いて書き取りをし、英作文をする。 (到達目標) 英文法、リスニング、社会的トピックについて英文を書く力を身に付ける。
授業スケジュール	第1回前期オリエンテーション、第2～14回Unit1～6まで進む。第15回前期理解度の確認、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit7～12まで進む。 第29回後期理解度の確認、第30回総復習。
準備学習	辞書をよくひきながら予習をする。
履修上の留意点	必ず英和・和英辞書を持参し、授業中もよくひくこと。自ら英語表現を考え覚えることに努めて頂きたい。
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書/テキスト	山下広司『Believe in YOUR English!-Thinking about Japan日本人学生のための総合英語』 (朝日出版社、1700円) ISBN978-4-255-15513-5 C1082
参考書	

履修コード	252401
科目名	英語IIA
担当者名	高見 陽子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英語による意思伝達のスキルを向上させるため、WritingとSpeakingを軸に、IAで学んだことを基礎として高度な英語の運用能力を身につけます。</p> <p>(到達目標) この授業は、英語で表現する場合の日本語とは異なる考え方や文章構造について理解を深め、自分の意見を効果的に伝達するために必要な英語表現や話の展開の仕方に慣れながら、自分の考えを英語で正確に表現する力を身につけることを目標とします。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：イントロダクション (授業内容および評価方法、注意点の確認。基本会話表現)</p> <p>第2～3回：グループワーク (実践コミュニケーション)</p> <p>第4～9回：テキストによる参考文および文法事項の確認</p> <p>第10回：スピーチ原稿準備</p> <p>第11～13回：スピーチ (発表)</p> <p>第14～15回：前期フィードバック</p> <p>第16～23回：グループワーク、参考文および文法事項の確認</p> <p>第24～25回：スピーチ原稿準備</p> <p>第26～28回：スピーチ (発表)</p> <p>第29～30回：後期フィードバック</p>
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> 指定された箇所の予習は必ず行ってから授業に臨むこと。 テキストの内容については、特に文法事項を重点的に復習すること。 スピーチの原稿作りは段階的に進めるので、授業での指示に基づいて自宅で作業するときには、必ず期日を守って作業を済ませておくこと。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業には必ず辞書を持参してください。 全授業回数の3分の2以上の出席が必須条件となります。
---------	--

成績評価の方法	前・後期末に実施する試験 (50%)、前・後期に実施するスピーチ (30%)、平常点 (20%) による総合評価とします。各項目の詳細および注意点については、初回の授業で説明します。
---------	---

教科書/テキスト	未定
----------	----

参考書	
-----	--

履修コード	251001
科目名	英語IIA
担当者名	竹村 恵都子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基礎英語を再認識し、主としてSpeakingやWritingの英語運用能力を高めることを目的とします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。プリントも使用。</p> <p>前期 15回-オリエンテーション+Lesson 1～12 +小テスト</p> <p>後期 15回-前期成績結果発表+Lesson 13～24 +小テスト</p>
----------	---

準備学習	事前にテキスト中の単語などを辞書で調べて、毎回の授業に出席すること。
------	------------------------------------

履修上の留意点	欠席・遅刻せず、予習を含め、積極的に授業参加をすること。
---------	------------------------------

成績評価の方法	前・後期の試験を主とし (80%)、授業時の発表 (20%) など平常点を考慮して総合的に評価します。
---------	---

教科書/テキスト	“Spotlight on Britain” : Terry O'Brian, 他共著, 南雲堂 ISBN4-523-17509-8
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	349401
科目名	英語IIA
担当者名	照山 雄彦

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	概要 英語表現の積み重ねとして取り組む基本語彙、基本構文の確認とリスニング能力を養う練習も並行して行いながら、英語による自己表現能力や表現技術の基本を身につける作業を行う。
---------------------	---

目標

この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が文法的にどのようになっているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つために暗記、応用して行く。

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容の説明、The American Century 2. The American Century 3. Imagination Takes Flight 4. Imagination Takes Flight 5. Japan on the World Stage 6. Japan on the World Stage 7. Crisis of Confidence:World War1 8. Crisis of Confidence :World War2 9. A Disturbing Vision 10. A Disturbing Vision 11. Power Politics 12. Power Politics 13. Between the Wars:A Fragile Peace 14. Between the Wars:A Fragile Peace 15. 理解度の確認 16. Taisho Democracy Light and Shadow 17. Taisho Democracy Light and Shadow 18. The Golden Age of Motion Pictures 17. The Golden Age of Motion Pictures 18. The Appeal to Force 19. The Appeal to Force 20. World WarII in Europe 21. World WarII in Europe 22. From Little Science to Big Science 23. From Little Science to Big Science 24. World WarII in the Pacific 25. World WarII in the Pacific 26. Cold War Rivalry 27. Cold War Rivalry 28. Road to Recovery 29. Road to Recovery 30. 理解度の確認
----------	--

準備学習	毎回予習となる課題があります。丹念に辞書をひくこと。これが外国語習得の近道です。こつこつ積み上げていくことです。
------	--

履修上の留意点	授業内容の説明をするので第一日めは必ず出席すること。実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること。また疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること。
---------	---

成績評価の方法	出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。
---------	-----------------------------------

教科書／テキスト	授業の第1日めに教場にて紹介する。
----------	-------------------

参考書	授業の第1日めに教場にて紹介する。
-----	-------------------

履修コード	251951
科目名	英語IIA
担当者名	外池 一子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語IAで身につけた英語力を基礎として、より高度な英語運用能力を身につけることをめざします。授業はテキストを中心に進めますが、会話に必要なリスニング能力の強化にも力を入れ、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>春学期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと小作文 2-3. Food form the Earth 4-5. Communication 6-7. Cities 8. Review 9-10. The Body 11-12. Challenges 13-14. Transitions 15. Review <p>秋学期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 春学期最終試験の返却と復習 2-3. Luxuries 4-5. Nature 6-7. Life in the Past 8. Review 9-10. Travel 11-12. Careers 13-14. Celebrations 15. Review
----------	---

準備学習	毎週必ず予習をして出席すること。 また、春学期・秋学期ともに授業の進度に合わせて小テストを行うので、毎週復習を欠かさないこと。
------	--

履修上の留意点	<p>辞書を持ってくること。</p> <p>出席日数が3分の2以上の履修者のみが成績評価の対象となるが、予習をしていない場合は出席とみなさないの注意してください。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>春学期と秋学期の2度の定期試験(70%)と、出席、小テスト、提出物、発表などの平常点(30%)から総合的に評価します。</p> <p>特に出席状況や授業態度を重視し、出席日数が3分の2に満たない場合は定期試験の受験資格を失うので注意すること。</p>
---------	--

教科書/テキスト	開講時に指示します。
----------	------------

参考書	
-----	--

その他	<p>コンピューター教室を利用する場合がありますので、第1回目の授業からIDとパスワードをできるようにしておくこと。忘れた場合は授業を受けられない可能性があるの、十分注意すること。</p> <p>また、授業関連の連絡や練習問題、課題提出などにはYeStudyを利用するので、授業開始前に使い方を覚えておくこと。</p>
-----	---

履修コード	253301
科目名	英語IIA
担当者名	西原 克政

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	身体の部位を用いた慣用表現を日常生活で使えることを目指す。
授業スケジュール	1. オリエンテーション 2. Lesson1:Reading 3. Lesson1:Writing 4. Lesson2:Reading 5. Lesson2:Writing 6. Lesson3:Reading 7. Lesson3:Writing 8. Lesson4:Reading 9. Lesson4:Writing 10. Lesson5:Reading 11. Lesson5:Writing 12. Lesson6:Reading 13. Lesson6:Writing 14. Lesson7:Reading 15. Lesson7:Writing 16. Lesson8:Reading 17. Lesson8:Writing 18. Lesson9:Reading 19. Lesson9:Writing 20. Lesson10:Reading 21. Lesson10:Writing 22. Lesson11:Reading 23. Lesson11:Writing 24. Lesson12:Reading 25. Lesson12:Writing 26. Lesson13:Reading 27. Lesson13:Writing 28. Lesson14:Reading 29. Lesson14:Writing 30. Lesson15:Reading
準備学習	テキストを事前に予習しておくことを最も重要視する。授業中のプレゼンによって、その都度評価するので、予習をかかさないこと。
履修上の留意点	授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。
成績評価の方法	出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。ライティングなどの課題の発表を総合的に評価する。
教科書/テキスト	ジム・クヌーセン『身体で書く英作文』南雲堂 1890円
参考書	授業中に適宜指示する。

履修コード	254501
科目名	英語ⅡA
担当者名	西村 祐子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年で習得した英語力をさらに伸ばし、インターネットの記事や英字新聞の英語の大意がつかめるようになる。英語で日常の出来事を書いたり口頭での表現ができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション+Infinitive 2 Causative verbs 3 Gerund 4 復習、テスト 5 Relative pronoun-(1) 6 Relative pronoun -(2) 7 Relative pronoun (3) 8 復習、テスト 9 Conjunctions 10 Past participle-1 11 Past participle-2 12 Past participle-3 13 復習、テスト 14 Relative pronoun nonrestrictive 15 Relative pronoun with preposition <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Various 'it' usages 2 Relative clause with what 3 Subjunctive clause 4 Relative adverb (1) 5 復習、テスト 6 Relative adverb (2) 7 Exclamatory sentence (1) 8 Exclamatory sentence (2) 9 Various prepositions 10 Perfect infinitive and perfect gerund (1) 11 Perfect infinitive and perfect gerund (2) 12 Review exercise 1 13 Review exercise 2 14 Review exercise 3 15 Review exercise 4
----------	--

以上はオンライン上で入手する教材、このほかに教科書を各回1ユニットずつ学習する。

準備学習	YeStudyの教材を積極的に活用する。
------	----------------------

教科書の問題を復習する。英語のCDを繰り返し聞く。

履修上の留意点	出席と課題提出を習慣づけてほしい。必修のクラスなのでこの2点に留意することがもっとも重要。
---------	---

質問があれば授業中遠慮なくたずねること。
家庭学習で辞書などをしらべていて
疑問におもったことはメールなどで問い合わせる。疑問のままにしておかないこと。

成績評価の方法	出席点(出席、授業態度を含む) : 40%、課題提出、小テスト : 60% 期末テストはおこなわない。 単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。
---------	---

教科書/テキスト	Essential Listening 3: Messages and Memos Macmillan Language House 978-4-89585-419-1 ¥1,260(税込)
----------	--

このほかにオンラインで入手できる教材をつかう(教場にて入手の仕方を指示)

参考書	
-----	--

履修コード	250401
科目名	英語ⅢA
担当者名	埴 美智子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語ⅠAで行ったことを基に更に英語運用能力を高めていく。演習問題やプリント教材も行い、英語の実力を身につけることを目標とする。
授業スケジュール	<p>[講義内容]</p> <p>教科書に基づいて、口語英語の理解・運用に不可欠な基本的表現を学習すると同時に、Summaryの聞き取り等を通じて総合的な英語運用能力を高めていく予定です。</p> <p>[授業スケジュール]</p> <p>前期： 第1週 Orientation 第2週—14週 教科書の第1章から8章まで 第15週 前期試験</p> <p>後期： 第15週—29週 9章から15章まで 第30週 後期試験</p>
準備学習	新聞や本などで、自然科学の欄があったら読んでおくこと。
履修上の留意点	復習と予習は必ず行う。練習問題や単語調べは予習しておくこと。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心にし、出席、小テスト、授業態度などの評価を加味して行います。年間授業回数の3分の1以上欠席した場合は単位取得はできません。欠席が多い場合は減点の対象となります。
教科書/テキスト	Science Square 成美堂
参考書	

履修コード	249201
科目名	英語IIA
担当者名	藤井 道行

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英国国営放送BBCのコンテンツを素材とした、All in English のテキストを用います。英語の4つのスキルをトータルに伸ばすことを目的とした、英語についての視野が広がるテキストに、あせらない、緩すぎないテンポに乗って、毎回全員発表の演習スタイルで取り組みます。</p> <p>(到達目標) 「英語IA」で身につけた英語の運用能力をさらに高めることを目標とします。その到達度は、小テスト(リスニングも含む)によって確認します。その目標を達成するためにまず必要なことは、英語の4スキルの基礎がほんとうに固まっているのかどうかを、テキストに用意されている多彩なタスクに取り組むことで、受講者が自らチェックすることです。基礎の足りないスキルがあれば、授業外でそれを補う必要があります。授業内で特に力を入れたいのは、テキストに用意された具体的なテーマに即した聞き取りのタスクに取り組むことと、各テーマについて自分の意見を無理のない英語で発表することを結びつけることです。この結びつきがうまくいけば、ディスカッションに対応できる英語の発信力も自然と身につくと思います。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 授業の説明</p> <p>第2回 Unit 1.1 Ideal flatmates</p> <p>第3回 Unit 1.2 It's a first</p> <p>第4回 Unit 1.3 I'd like to enquire/ Unit 1.4 Off the Hook</p> <p>第5回 Unit 2.1 Comic relief</p> <p>第6回 Unit 2.2 We're being watched</p> <p>第7回 Unit 2.3 Just I was thinking!/ Unit 2.4 The Happiness Formula</p> <p>第8回 Unit 3.1 Dangerous games</p> <p>第9回 Unit 3.2 Find your niche</p> <p>第10回 Unit 3.3 How does it work? / Unit 3.4 Great Experiences</p> <p>第11回 Unit 4.1 And the moral is...</p> <p>第12回 Unit 4.2 A life in six words</p> <p>第13回 Unit 4.3 It's a great read</p> <p>第14回 補足資料を読む、聞く</p> <p>第15回 理解確認のために小テスト</p> <p>第16回 Unit 5.1 Bright Ideas</p> <p>第17回 Unit 5.2 Consumer crazy</p> <p>第18回 Unit 5.3 What do you think? / Unit 5.4 Genius</p> <p>第19回 Unit 6.1 The time of my life</p> <p>第20回 Unit 6.2 Future me</p> <p>第21回 Unit 6.3 So what you're saying is...</p> <p>第22回 Unit 7.1 Best of the Beep</p> <p>第23回 Unit 7.2 The news that wasn't</p> <p>第24回 Unit 7.3 What's in the news?/ Unit 7.4 New Blunders</p> <p>第25回 Unit 8.1 It's a tough call</p> <p>第26回 Unit 8.2 Body clock</p> <p>第27回 Unit 8.3 Have you got a minute?/ Unit 8.4 The human animal</p> <p>第28回 Unit 9.1 Witness</p> <p>第29回 Unit 9.2 Scam</p> <p>第30回 理解確認のための小テスト</p>
----------	--

準備学習	<p>毎回の授業の準備にどれだけの熱意と時間を注ぐことが出来るかが、授業の密度のみならず、学生の英語の受信力・発信力を高めるうえでの決め手となります。この準備段階で特に心がけたいのは、より自然な英語のダイアローグ(たとえば、映画)、あるいは説明内容(たとえば、BBC、NPRなどの放送英語)を耳で理解することに慣れることです。そのためには、時間のやりくりをして、授業外で英語を聞く機会をたくさん持つ必要があります。</p>
------	---

履修上の留意点	<p>言うまでもなく、授業にコンスタントに出席することが履修上きわめて重要です。この点については、1回目の授業で具体的に説明します。</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>1. 平常点(授業内でのあらゆる活動、具体的には、指名による、あるいは自主的な発表、積極的な質問、予習の確認のための単語の問題に答える等) 30%</p> <p>2. 授業内を行う小テストの成果 70%</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>テキスト: Speakout Upper Intermediate 著者: Frances Eales/Steve Oakes 出版社: Pearson Longman 価格: 3,060円 ISBN 978-1-4082-1933-1</p>
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	251601
科目名	英語ⅢA
担当者名	富士川 美紀

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	The aim of this course is to help you express yourself better in English with confidence and talk about your ideas on various topics in English. At the end of the course, you will be required to make a short presentation. Class activities include pair work, group discussion and individual presentations. Common mistakes will be corrected together.
---------------------	---

授業スケジュール	<p>【前期】</p> <p>Week 1 Orientation and self-introduction Week 2 Agreeing and disagreeing Week 3 Avoiding definite answers Week 4 Complimentary exclamations Week 5 Expressing emotions Week 6 Talking about yourself Week 7 Making suggestions week 8 Expressing your opinions Week 9 Writing letters Week 10 Thinking about a Career Week 11 Making small talk Week 12 Talking about daily routine Week 13 Talking about leisure activities Week 14 Talking about special friends Week 15 Midterm exam</p>
----------	--

	<p>【後期】</p> <p>Week 1 Orientation and review Week 2-3 Talking about overseas travel Week 4-5 Talking about foreign countries Week 6-7 Talking about the Japanese way of life Week 8-9 Talking about the Japanese economy and politics Week 10-11 Talking about Japanese culture Week 12-13 Talking about social problems in Japan Week 14 Review Week 15 Final exam</p>
--	---

準備学習	Please come to class well-prepared.
履修上の留意点	Students are expected to attend regularly and participate actively in classwork. Excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
成績評価の方法	Students will be evaluated and graded as follows : (1) attendance, classwork and homework assignments (40%); (2) midterm and final exams (including short presentations) (60%)
教科書/テキスト	山口 俊治、Timothy Minton 著「Writing Conversational English 話しことばの英作文」成美堂、1575円、 ISBN978-4-7919-5030-0 * Other learning materials will be handed out in class.
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「A Shorter Course in Everyday Vocabulary Quizzes 5分間日常基本英単語・熟語1000」佐藤 誠司 著、南雲堂 ・「A Shorter Course in Practical Grammar 5分間実践英文法」小池 直己/佐藤 誠司 著、南雲堂 ・「A Shorter Course in Basic Sentences 5分間英語表現構文」藤井 基精/熊澤 佐夫 著、南雲堂
その他	Don't be afraid of speaking in English! Let's enjoy learning English!

履修コード	254101
科目名	英語IIA
担当者名	堀 千和子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	自分の意見を英語で的確に書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで、自分の伝えたいことを英語で書くことを、また、main idea, topic sentence, controlling idea, supporting sentencesによって有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。後期には、5～6段落からなるエッセイを書くことを目標にして、その技術を学んでいきます。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>(1) プリント使用の授業 (2)～(3) Brainstorming (4)～(5) Time order 自叙伝を書く (6)～(7) 空間的配列 (8) Picture composition (9) 前期中間試験 (10)～(11) パラグラフの構造 (12)～(13) My Home Town 有機的なパラグラフを書く (14) 映画とプリント使用の授業 (15) 前期試験 (16)～(17) エッセイの構造 (18)～(19) Process writing (20)～(21) Explanation (22) Definition (23) 後期中間試験 (24)～(25) Classification (26)～(27) Comparison & Contrast (28) Cause & Effect (29) エッセイでの引用文献の扱い方 (30) 後期試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法事項を復習し、それを応用しながら英作文してもらいます。ライティングだけでなく、一般的な英語の力をつけてもらう文法などのエクササイズも取り入れます。 ・毎時、授業中に勉強したことの理解度を見るために、簡単な提出物を出してもらいます。(平常点となる) <p>前期は、いつどのようなことを授業で扱ったかがわかる「出席シート」に記入をし、後期は、エッセイ・ライティングに備えて、文法の正確さを気にせず制限時間内に多くの英語を書くフリー・ライティングしてもらいます。</p>
----------	--

準備学習	教科書の前半はワークシート方式になっています。できる限り、辞書などで調べて自分で英文を書いて下さい。また、YeStudyで学習の要点を載せますので、チェックして指示に従って下さい。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業中に英作文を書いてもらうので、辞書を用意すること。 ・最後に提出するエッセイのトピックは、自分の興味のある分野で書いてもらうので、平日頃から英語での情報を収集することを勧めます。
---------	---

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期中間テスト(5%)、前期試験(25%)、後期中間テスト(5%)、後期試験(30%)、前期レポート 2回(5% x 2)、夏休みレポート(5%)、後期レポート(15%)、発表・発言などの授業への貢献度、適切な質問などの授業へのまじめな取り組み(5%)から総合的に判断する。 ・遅刻は3回で1回の欠席となります(授業開始30分以上たつて来た場合は欠席扱いとなる)。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とします。欠席を補う提出物はないので、くれぐれも欠席をしないこと。 ・公的な欠席と認められるのは、忌引き、体育会の試合当日(サークルは認められない)、法定伝染病にかかった場合、教育実習などの実習である。 ・試験は、前期、後期と両方受験しなければ単位は取得できない。
---------	---

教科書/テキスト	Akiko Nakamoto, Takayuki Ishii, David Smith 著 『基礎から始めるエッセイライティング』(Essay Writing From Scratch) (マクミラン) 1890円, ISBN978-4-7773-6007-9
----------	--

参考書	
その他	YeStudyを活用します。授業の連絡事項、授業に使用するプリント、レポートなどの提出にも使用します。各自、登録して、チェックするようにして下さい。

履修コード	251971
科目名	英語ⅡA
担当者名	本田 崇洋

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1Aを基礎としてより高度な英語の運用能力を身につける。ライティング向上のために、これまで学んだ英文法の理解をさらに深める。英語の論理性や特性、日本語との違いを学びながら、ライティングに磨きをかける。テキストに沿ってその都度、単語テストや小テストを行う。状況に応じてプリントを用意して英作文や文法の練習をする。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回年間授業計画、テキスト、予習の方法、成績評価などについての説明</p> <p>第2回Chapter1 Talking about Myself</p> <p>第3回Chapter2 A Day in My Life</p> <p>第4回Chapter3 My Family</p> <p>第5回Chapter4 My Town and Neighborhood</p> <p>第6回Chapter5 My Likes and Interests</p> <p>第7回Chapter6 The Joy of Shopping</p> <p>第8回Chapter7 My Campus Life</p> <p>第9回Chapter8 My kind of Career</p> <p>第10回Chapter9 Romance, Dating and Marriage</p> <p>第11回Chapter10 Fashion and Trends</p> <p>第12回Chapter11 Travels and Correspondence</p> <p>第13回Chapter12 Sports and Entertainment</p> <p>第14回前期のまとめ、復習、質問など</p> <p>第15回定期試験</p> <p>第16回前前期定期テストの結果、後期授業の計画などについての説明</p> <p>第17回Chapter13 Education Issues</p> <p>第18回Chapter14 The Environment and Our Life</p> <p>第19回Chapter15 Health and Dieting</p> <p>第20回Chapter16 Religions and Customs</p> <p>第21回第22回Chapter17 Marketing and Economics</p> <p>第23回第24回Chapter18 Society and Its Problems</p> <p>第25回第26回Chapter19 Media and Journalism</p> <p>第27回第28回Chapter20 Society in the Future</p> <p>第29回後期のまとめ、復習、質問など</p> <p>第30回定期試験</p>
----------	--

準備学習	単語の意味、発音記号を調べ、テキスト内の問題を解き、必ず予習をして授業にでること
------	--

履修上の留意点	辞書を必携のこと
---------	----------

成績評価の方法	定期試験60% 平常点(出席回数、授業態度、小テスト)40%をもとに総合評価する。ただし、単位取得には三分の二以上の出席を前提とする。
---------	---

教科書/テキスト	テキスト:「English Writing for Global Communication -グローバル社会の英作文」 安達一美他、金星堂、定価2100円
----------	--

参考書	
-----	--

その他	
-----	--

履修コード	249401
科目名	英語IIA
担当者名	松堂 啓子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ミステリーを楽しみながら、ストーリー要約の練習やリスニング強化のエクササイズを行う。文法力、語彙力を向上させ、テキスト以外にも各自、より多くの物語、小説等を読む機会が増えることが望ましい。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>二回の授業で、一章分テキストを進めていく予定。前期はThe Red-Headed Leagueを後期はAdventure of The Copper Beechesを学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 An Easy Job (1) 3 An Easy Job (2) 4 Mr. Wilson Is Put to a Test (1) 5 Mr. Wilson Is Put to a Test (2) 6 A Job Suddenly Ends (1) 7 A Job Suddenly Ends (2) 8 Review 9 Holmes Gathers Information (1) 10 Holmes Gathers Information (2) 11 Setting the Trap (1) 12 Setting the Trap (2) 13 Holmes Explains the Plan (1) 14 Holmes Explains the Plan (2) 15 Review 16 A Job with Strange Requirements (1) 17 A Job with Strange Requirements (2) 18 The Work Begins (1) 19 The Work Begins (2) 20 A Strange Observer (1) 21 A Strange Observer (2) 22 Review 23 Miss Hunter Looks Around (1) 24 Miss Hunter Looks Around (2) 25 Mr. Holmes Has an Idea (1) 26 Mr. Holmes Has an Idea (2) 27 Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) 28 Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) 29 Review 30 映像鑑賞
----------	--

準備学習	語句の意味、発音等を確認する。
------	-----------------

履修上の留意点	出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
---------	--

成績評価の方法	試験の結果9割、平常点1割で評価する。
---------	---------------------

教科書／テキスト	『シャーロック・ホームズと巡るミステリーの旅』（センゲージ ラーニング）1,785円 ISBN978-4-86312-113-1
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	254301
科目名	英語IIA
担当者名	真砂 久晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の英語力をもとにライティングの更なるスキルアップを目指す。
---------------------	----------------------------------

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> (1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。もしテキストが入荷していない場合は、注文しておくこと。 (2)～(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ (15) 前期末テスト (16)～(28) テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
----------	---

準備学習	言うまでもなく、テキストの予習と復習が重要であるが、特に予習は怠けずに行うこと。
------	--

履修上の留意点	出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。
---------	---------------------------

成績評価の方法	前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点（25%）+テスト（75%）=100%となる。詳細は最初の授業で説明する。
---------	--

教科書／テキスト	『Writing Points! -Basic Grammar for Better Writing-』（金星堂）1900円（税別）
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	254471
科目名	英語ⅢA
担当者名	真砂 久晃
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の英語力をもとにライティングの更なるスキルアップを目指す。
授業スケジュール	(1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。 もしテキストが入荷していない場合は、注文しておくこと。 (2)～(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ (15) 前期末テスト (16)～(28)テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
準備学習	言うまでもなく、テキストの予習と復習が重要であるが、特に予習は怠けずに行うこと。
履修上の留意点	出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。
成績評価の方法	前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%) + テスト(75%) = 100%となる。詳細は最初の授業で説明する。
教科書/テキスト	「Writing Points! -Basic Grammar for Better Writing-」(金星堂) 1900円 (税別)
参考書	

履修コード	248601
科目名	英語IIA
担当者名	三木 望

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 身近なトピックを平易な英語で書くライティングの実践授業。ピア・フィードバックとライティングのプロセスを重視する活動(編集・改訂・書き直し)を行う。そして、ライティングをグループで発表して、スピーキングにも応用できる活動を行う。</p> <p>(到達目標) ライティングが編集、改訂、書き直しを通して完成するプロセスであることを理解する。ピア・フィードバックを通して、読者を意識したライティングができる。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>(前期)</p> <p>(第1回) オリエンテーション、Getting started (第2回) Getting started (第3回) Getting started (第4回) Getting to know each other (第5回) Getting to know each other (第6回) Getting to know each other (第7回) Mystery Guest (第8回) Mystery Guest (第9回) Mystery Guest (第10回) Writing about a personal experience (第11回) Writing about a personal experience (第12回) Writing about a personal experience (第13回) Class cookbook (第14回) Class cookbook (第15回) Class cookbook</p> <p>(後期)</p> <p>(第16回) オリエンテーション、Comparing & Contrasting (第17回) Comparing & Contrasting (第18回) Comparing & Contrasting (第19回) Writing a Narrative (第20回) Writing a Narrative (第21回) Writing a Narrative (第22回) Writing Emails (第23回) Writing Emails (第24回) Writing Emails (第25回) Writing Invitations (第26回) Writing Invitations (第27回) Writing Invitations (第28回) Class Restaurant Guide (第29回) Class Restaurant Guide (第30回) Class Restaurant Guide</p>
----------	--

準備学習	辞書は必ず持参すること。ノートパソコンの持参が必要な場合もある。課題をしない授業に参加できないので、必ず課題をすること(Y e s t u d yで課題を提出)。
------	---

履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないと単位を認めない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。
---------	--

成績評価の方法	ライティングの課題：50%、ピア・フィードバック：40%、授業活動：10%
---------	---------------------------------------

教科書/テキスト	(1) David Martin (2) Write Away Right Away (3) EFL Press (4) 2,782円 (5) ISBN: なし
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	254481
科目名	英語IIA
担当者名	三木 望

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) ライティングのプロセスを重視しながら、身近な話題についてパラグラフ・ライティングを行う。最後にライティングを口頭発表することによって、相手(読み手・聞き手)を意識した発信能力を培う。 (到達目標) ライティングが編集、改訂、書き直しを通して完成するプロセスであることを理解する。ピア・フィードバックを通して、読者を意識したライティングができる。 パラグラフ及びプレゼンテーションの構成と類似点が理解できる。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>(前期) (第1回) オリエンテーション (授業の概要、評価方法等) (第2回) Chapter 1: Education and Student Life (第3回) Chapter 1: Education and Student Life (第4回) Chapter 1: Education and Student Life (第5回) Chapter 2: City Life (第6回) Chapter 2: City Life (第7回) Chapter 2: City Life (第8回) Chapter 3: Business and Money (第9回) Chapter 3: Business and Money (第10回) Chapter 3: Business and Money (第11回) Chapter 4: Jobs and Professions (第12回) Chapter 4: Jobs and Professions (第13回) Chapter 4: Jobs and Professions (第14回) プレゼンテーション (第15回) プレゼンテーション (後期) (第16回) Chapter 5: Lifestyles Around the World (第17回) Chapter 5: Lifestyles Around the World (第18回) Chapter 5: Lifestyles Around the World (第19回) Chapter 6: Global Connections (第20回) Chapter 6: Global Connections (第21回) Chapter 6: Global Connections (第22回) Chapter 7: Language and Communication (第23回) Chapter 7: Language and Communication (第24回) Chapter 7: Language and Communication (第25回) Chapter 7: Language and Communication (第26回) Chapter 8: Tastes and Preferences (第27回) Chapter 8: Tastes and Preferences (第28回) Chapter 8: Tastes and Preferences (第29回) プレゼンテーション (第30回) プレゼンテーション</p>
----------	---

準備学習	ほぼ毎回小テストを行い、Ye Studyで課題を提出する。課題をしないとい授業に参加できないので、必ず課題をすること。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないと単位を認めない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。
成績評価の方法	ライティングの提出 (50%)、発表 (25%)、小テスト (25%)
教科書/テキスト	(1) Cheryl Pavlik, Margaret Keenan Segal (2) Interactions 2: Writing (3) McGraw-Hill (4) 2415円 (5) ISBN: 978-007-12831-9
参考書	

履修コード	251711
科目名	英語IIA
担当者名	三幣 友行

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語IAで学んだ英語を基礎として、英語による意思伝達能力の更なる向上を目指すとともに、その際必要な文法表現も同時に強化していきたい。
---------------------	--

授業スケジュール	第1回～第2回 Lesson 1 第3回～第4回 Lesson 2 第5回～第6回 Lesson 3 第7回～第8回 Lesson 4 第9回～第10回 Lesson 5 第11回～第12回 Lesson 6 第13回～第14回 Lesson 7 第15回～第16回 Lesson 8 第17回～第18回 Lesson 9 第19回～第20回 Lesson 10 第21回～第22回 Lesson 11 第23回～第24回 Lesson 12 第25回～第26回 Lesson 13 第27回～第28回 Lesson 14 第29回～第30回 Lesson 15
----------	---

準備学習	今回の授業でどのくらい進むかを予測し、予習をしておくこと。
------	-------------------------------

履修上の留意点	予習を前提として授業を進める。教科書、辞書（電子辞書でも可）を毎回持参すること。欠席が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。
---------	--

成績評価の方法	平常点、小テスト点、前期試験、後期試験を総合的に評価する。
---------	-------------------------------

教科書/テキスト	開講時に指示する。
----------	-----------

参考書	
-----	--

履修コード	254451
科目名	英語IIA
担当者名	三幣 友行

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語IAで学んだ英語を基礎として、英語による意思伝達能力の更なる向上を目指すとともに、その際必要な文法表現も同時に強化していきたい。
---------------------	--

授業スケジュール	第1回～第2回 Lesson 1 第3回～第4回 Lesson 2 第5回～第6回 Lesson 3 第7回～第8回 Lesson 4 第9回～第10回 Lesson 5 第11回～第12回 Lesson 6 第13回～第14回 Lesson 7 第15回～第16回 Lesson 8 第17回～第18回 Lesson 9 第19回～第20回 Lesson 10 第21回～第22回 Lesson 11 第23回～第24回 Lesson 12 第25回～第26回 Lesson 13 第27回～第28回 Lesson 14 第29回～第30回 Lesson 15
----------	---

準備学習	今回の授業でどのくらい進むかを予測し、予習をしておくこと。
------	-------------------------------

履修上の留意点	予習を前提として授業を進める。教科書、辞書（電子辞書でも可）を毎回持参すること。欠席が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。
---------	--

成績評価の方法	平常点、小テスト点、前期試験、後期試験を総合的に評価する。
---------	-------------------------------

教科書/テキスト	開講時に指示する。
----------	-----------

参考書	
-----	--

履修コード	254001
科目名	英語IIA
担当者名	三輪 久恵

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テキストに添って、英語の基本項目を習得することをめざします。語学能力とともに、あわせてコミュニケーションにおいて異文化の視点からものを見て、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを理解することの重要性を学びます。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>教材としては、テキストを中心に進みます。その他、ハンド・アウトも使用します。</p> <p>第1回：丁寧なガイダンスを行いません。</p> <p>第2回：American tourists</p> <p>第3回：Comprehension Check</p> <p>第4回：Why did they feel uncomfortable?</p> <p>第5回：Thinking and Guessing</p> <p>第6回：The Homestay</p> <p>第7回：Comprehension Check</p> <p>第8回：Why did he call to say...?</p> <p>第9回：Helping Out</p> <p>第10回：Comprehension Check Why did she react negatively?</p> <p>第11回：Thinking and Guessing</p> <p>第12回：The New Student</p> <p>第13回：Comprehension Check What was the primary cause of...?</p> <p>第14回：What was the problem?</p> <p>第15回：Software and Bosses</p> <p>第16回：夏休み明けのミニ・レポート</p> <p>第17回：First Thanksgiving Day</p> <p>第18～19回：Columbus-From Hero To Fall Guy</p> <p>第20～22回：The Dramatic Incidents Leading Up To The American Revolution</p> <p>第23回：1つの単語でも様々な意味を持つ事があり文章の中で判断する、文法をはずさない。</p> <p>第24～25回：The Freedom Trail</p> <p>第26回：ビデオ使用</p> <p>第27回：中・テスト</p> <p>第28回：単語を日本語の単語で置き換えるのではなく、概念として捉えると様々な応用がきく。</p> <p>第29回：単なる訳のための訳ではなく、作者の言わんとすることを捉える。</p> <p>第30回：中間試験・ビデオも使用の予定</p>
----------	--

準備学習	テキストの予習等の準備が大切です、それだけは年間を通して忘れないように。
履修上の留意点	授業内のテストも行ないませんが、刺激となるように、予告をしないこともあります。授業は皆さんが1度も欠席をしないものと思って計画を立てています。欠席をしないようにして下さい。
成績評価の方法	予習や授業への積極的な参加を求めます。授業中15分程度の小テスト・ミニレポート等の提出物が8回程度あります。課題は授業内容に添ったもので、授業を真面目に受けていけば取り組めるようなやさしい内容を心がけています。中間試験も行なう予定で、そうした総合評価によって成績を出します。普段出席していない学生は、成績も記録されないこととなりますから、気をつけて下さい。
教科書/テキスト	前期用：Culture Riddles-America (南雲堂) 1,400円+tax. 後期用：The Spirit of New England (旺史社) 1500円
参考書	

履修コード	254601
科目名	英語IIA
担当者名	山口 晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IAでの勉強をさらに進める形で、英語による意思伝達を授業の中で考えていきます。
---------------------	---

授業スケジュール	英文のテキストを毎回でいねいに検討していきます。
----------	--------------------------

準備学習	プリントはあらかじめ配っておきますので、めいめいでまず一回予習をしておいてください。これはとても大切なことです。授業の中で、ほかの人の発表に耳を澄まし、自分が予習した内容との違いを考えてください。
------	--

履修上の留意点	<p>三分の二以上の出席が必要です。</p> <p>授業ではかならず英和・和英の辞書を持ってきてください。</p> <p>遅刻しますと、その日は発表ができなくなりますので、遅刻のないようにしてください。</p>
---------	---

成績評価の方法	出席、発表、レポートによる総合評価です。
---------	----------------------

教科書/テキスト	プリントを配布します。
----------	-------------

参考書	授業の中で、随時紹介します。
-----	----------------

履修コード 250801

科目名 英語IIA

担当者名 吉江 正雄

授業概要/
到達目標 (ねらい)

リスニングと日常使える英語表現を覚えることを目的とします。
遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

授業スケジュール

1	Not to Be Should, but..	16	To Drain or Not to Drain
2	Not to Be Should, but..	17	Coffin Nails
3	Be My Valentine	18	Coffin Nails
4	Be My Valentine	19	In Other Worlds
5	Home Sweet Home	20	In Other Worlds
6	Home Sweet Home	21	Chung-a-Lug
7	Dating Game	22	Chung-a-Lug
8	Dating Game	23	テスト
9	テスト	24	Don't Slurp Your Soup
10	Trick or Treat	25	Don't Slurp Your Soup
11	Trick or Treat	26	How it Sounds
12	For Me?	27	How it Sounds
13	For Me?	28	Two Sides of the Same Coin
14	To Drain or Not to Drain	29	Two Sides of the Same Coin
15	前期試験	30	後期試験

準備学習

普段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。

履修上の留意点

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

成績評価の方法

①試験(40%)②発表(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書/テキスト

『日米文化を英語で表現』(成美堂)

参考書

おりにふれて教室で指示する。

履修コード	253701
科目名	英語IIA
担当者名	吉沢 栄治郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	短い和文を英訳してゆきます。和文英訳力を高めることをねらいとします。一般的な日本語を英訳してゆきます。一回の授業につきおよそ6題くらいの和文を英語に直す練習をしてゆきます。いろいろな訳例があろうかとおもいますが一つだけは確実に覚えて下さい。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第一回 オリエンテーション</p> <p>第二回 冠詞</p> <p>第三回 冠詞</p> <p>第四回 冠詞</p> <p>第五回 冠詞</p> <p>第六回 代名詞</p> <p>第七回 代名詞</p> <p>第八回 代名詞</p> <p>第九回 代名詞</p> <p>第十回 代名詞</p> <p>第十一回 関係詞</p> <p>第十二回 関係詞</p> <p>第十三回 関係詞</p> <p>第十四回 関係詞</p> <p>第十五回 総括質問</p>
----------	--

後期	<p>第一回 助動詞</p> <p>第二回 助動詞</p> <p>第三回 助動詞</p> <p>第四回 助動詞</p> <p>第五回 不定詞</p> <p>第六回 不定詞</p> <p>第七回 動名詞</p> <p>第八回 動名詞</p> <p>第九回 分詞</p> <p>第十回 前置詞</p> <p>第十一回 前置詞</p> <p>第十二回 前置詞</p> <p>第十三回 前置詞と数</p> <p>第十四回 数</p> <p>第十五回 総括質問</p>
----	---

準備学習	なるべく予習をしてください。
履修上の留意点	和英辞典を大いに使用してください。
成績評価の方法	ペーパーテスト5割、レポート提出3割、平常点2割などで総合評価します。
教科書/テキスト	中内 正夫 編「英語表現法」成美堂)
参考書	

履修コード	250511
科目名	英語IIA
担当者名	渡辺 彰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 BBCドキュメンタリーシリーズで取り上げられた国際的な話題に触れながらlistening, speaking, reading, writingの英語運用能力を身につける。各トピックの概要を理解し、どのような関連用語が用いられているかを分析する。次週は、前週に扱ったトピックに関連する話題を検索し、グループディスカッションを行う。</p> <p>到達目標 この授業では毎回異なるトピックにおいてリスニングを行う。テキストで用いた語彙や英語表現を使用し、コンセプトを表現できる、あるいは要旨を解説できることを目標とする。トピックに関連する記事を事前に収集し、自ら考察したうえで授業に臨むことにより、より深く理解することを期待する。また、各トピックを授業内で容易に把握することができるように、テキストに付属しているDVDを事前に視聴してもらおう。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. The power of the Face 2. グループディスカッション 3. Prince William 4. グループディスカッション 5. Polar Bears 6. グループディスカッション 7. The Taj Mahal 8. グループディスカッション 9. Animal Attire 10. グループディスカッション 11. Red Kangaroos 12. グループディスカッション 13. Queen Elizabeth II 14. グループディスカッション 15. Dress to Impress 16. グループディスカッション 17. The Statue of Liberty 18. グループディスカッション 19. Dream Soundtracks 20. グループディスカッション 21. Queen Victoria 22. グループディスカッション 23. The Great Wall 24. グループディスカッション 25. Attention to Detail 26. グループディスカッション 27. All Spun Out 28. グループディスカッション 29. まとめ 30. まとめ
----------	---

準備学習	<p>準備学習については授業内及びYeStudyで連絡するので、毎回必ず確認し、予習をしておくこと。</p> <p>授業内容に関連したHPを取り扱うことがあるため、関連したメディアに目を通しておくこと。</p> <p>各トピックに関する重要単語は確認をするので、毎回復習を怠らないこと。</p> <p>課題は期限内に提出すること。</p>
------	---

履修上の留意点	
---------	--

成績評価の方法	<p>各トピック終了後に課せられる課題（グループワークを含む）60%、レポート（年2回出題）20%、平常点（毎回行われるトピックに関わる単語の確認、授業内での発表や発言などを含む）20%</p>
---------	---

教科書／テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1) 森田彰, Jeffrey Miller, 千葉敦、佐藤明彦、長田宣子 2) 『Challenging BBC on DVD』 3) 成美堂 4) 2415円 5) ISBN978-4-7919-5086-7
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	251101
科目名	英語IIA
担当者名	梶台 七重

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では、身近なテーマを取り上げた短いトピック文や、対話形式のGrammar pointで英文法を軸に、実践的なスピーキング、ライティング運用能力を培う。さらに、各unitのlet's writeで発信するためのライティング力を高める。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>1回目 授業概要説明</p> <p>2回目 unit 1 Introducing Ourselves (品詞と文の要素)</p> <p>3回目 unit 2 My Dream Has Come True! (sv/svc/svo)</p> <p>4回目 unit 3 I Found This Film Interesting! (svoo/svoc)</p> <p>5-6回目 unit 4 Where Do You Come From? (現在形/過去形/未来形)</p> <p>7-8回目 unit 5 What Do You Do in Your Free Time? (進行形/完了形/完了進行形)</p> <p>9-10回目 unit 6 Inviting a Friend to a Party (受動態)</p> <p>11-12回目 unit 7 What Is Your Blood Type? (助動詞)</p> <p>13-14回目 unit 8 If I Won the Lottery, ... (仮定法)</p> <p>15回目 unit 9 How to Make a Great Dish (冠詞)</p> <p>16回目 unit 10 Guess Who She Is! (代名詞)</p> <p>17回目 unit 11 I Want a New Cell Phone! (形容詞/副詞)</p> <p>18-19回目 unit 12 Modern Dating (不定詞)</p> <p>20-21回目 unit 13 Usual Career Paths (動名詞)</p> <p>22-23回目 unit 14 I Want a Car Made in Germany! (分詞)</p> <p>24回目 unit 15 How Much Do You Pay for School? (比較)</p> <p>25回目 unit 16 The Internet: a Blessing or a Curse? (接続詞)</p> <p>26-27回目 unit 17 She Is My Heroine! (関係代名詞)</p> <p>28回目 unit 18 Wish You Were Here: Postcard Greeting (関係副詞)</p> <p>29回目 unit 19 Planning a Day Trip (否定)</p> <p>30回目 unit 20 Help Wanted: Looking for a Job (倒置/強調)</p>
----------	---

準備学習	必ず予習をしてこること。調べていない単語のないように。各unitのlet's write! を課題として提出すること。
------	---

履修上の留意点	予習を前提として授業を進める。教科書、辞書(電子辞書でも可)を必ず持参のこと。
---------	---

成績評価の方法	試験50%、平常点(授業内での発表、態度)30%、課題提出20%。
---------	-----------------------------------

教科書/テキスト	吉原玲子、藤森吉之、Micheal Hood 著、'Writing Gear Express Yourself in Good Form' (『使える英文ライティング・文法』)、株式会社金星堂、¥1,800(税別)、ISBN 978-4-7647-3879-9 c1082
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	294601 294602
科目名	英語ⅡA 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	国見 晃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では、日常生活で十分に活用できる英語の運用能力を更に身につけていきます。 テキスト中心に、演習形式で授業を進めていきます。
---------------------	--

DVDなどの映像も使用しますので、身振りや顔の表情などのボディーランゲージも合わせて学んでいきます。

授業スケジュール	以下の内容を実際の授業日数に配分して講義を行います。
----------	----------------------------

第1回：前期授業ガイダンス
 第2回～3回：Unit 1
 第4回～5回：Unit 2
 第6回～7回：Unit 3
 第8回：Review
 第9回～10回：Unit 4
 第11回～12回：Unit 5
 第13回～14回：Review
 第15回：前期期末テスト

第16回：後期授業ガイダンス
 第17回～18回：Unit 6
 第19回～20回：Unit 7
 第21回～22回：Unit 8
 第23回：Review
 第24回～25回：Unit 9
 第26回～27回：Unit 10
 第28回～29回：Review
 第30回：後期期末テスト

準備学習	担当教員の指示に従って予習を行ってください。
------	------------------------

履修上の留意点	担当教員の指示に従って予習をしてきて下さい。 辞書は必ず用意して授業に出席してください。
---------	---

遅刻3回(30分以内)で1回欠席と見なします。
 年間授業の3分の1以上欠席の場合は、単位取得が不可能となります。
 欠席に関して正当な理由がある場合には、それを証明する書類を早めに提出してください。
 (必ずしもすべての書類が受理される訳ではありません。)

私語をしたり、寝ていたり、エクササイズを全くしない等、
 授業に参加していない場合には、出席とは見なしませんので、気を付けてください。

成績評価の方法	成績は以下の配分で評価します。 前期期末テスト：30% 後期期末テスト：30% 小テスト、提出物、課題、授業内での発表：前期20%+後期20% 総合得点60%以上が単位取得となります。 授業態度も重視しますので、授業に積極的に参加して下さい。
---------	--

教科書/テキスト	Becky Tarver Chase Kristin L. Johannsen Pathways, Level 2 (Student Book with Online Workbook Access Code) HEINLE CENGAGE Learning ¥2,800 + 税 ISBN: 978-1-133-30769-3
----------	--

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.leafandletters.com
-------	---

履修コード	295601 295602
科目名	英語IIA 英語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	久保 ひさ子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	西洋でも、東洋でも、現代行われている自然治療法を、BBC Documentary映像の英語字幕付のDVD教材を使用しながら学ぶ。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 偶発的な外国語を獲得する。 2 発音・イントネーション・リズムの使い方を学習する。 3 練習問題を解く。 4 自然なスピードで読むと同時に、内容を理解し、応用できるようにする。
----------	---

Herbal Medicine, Healing Foods,
Music Dance, Body chi, Yan&Yin,
Medicine Lines, Manipulation,
Yoga&Meditation, Homeopathy,
Dilutions, Scepticism,
Massage, Manipulation, Laughter

準備学習	言葉の意味は前もって調べておく。
履修上の留意点	DVDを見る時はテキストやノートは見ないでDVD映像と音声だけに集中する。
成績評価の方法	Term-end-tests, Classwork & small tests の合計点
教科書/テキスト	Steve Lia etc. /BBC Documentary Natural Remedies/ Longman Kirihara /2000+tax
参考書	

履修コード	295001 295002
科目名	英語IIA 英語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	竹村 恵都子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基礎英語を再認識し、主としてSpeakingやWritingの英語運用能力を高め、四技能の達成を目標とします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>テキストを中心に、テープを使用しながら演習形式で授業を進めます。プリントも使用。</p> <p>前期 15回-オリエンテーション+Lesson 1~ 十小テスト</p> <p>後期 15回-前期成績結果発表+Lesson 13~ 十小テスト</p>
----------	---

準備学習	事前にテキスト中の単語などを辞書で調べて、毎回の授業に出席すること。
履修上の留意点	欠席・遅刻をせず、予習を含めて積極的に授業に取り組むこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験を主とし(80%)、授業時の発表など平常点(20%)を考慮して総合的に評価します。
教科書/テキスト	第一回目の授業で、指示します。
参考書	

履修コード	355201 355202
科目名	英語IIA 英語IIB [再クラス]
担当者名	萩原 輝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の基礎力をつけることを目標にする。文法や基本的語彙の見直しを毎回行う。
---------------------	---------------------------------------

授業スケジュール	<p>[授業の内容]</p> <p>英字新聞や英語で書かれた雑誌の文章を精読する。</p> <p>[授業スケジュール]</p> <p>前期: 第1週 オリエンテーション: 第2週~14週 プリントを読む。</p> <p>第15週 前期試験</p> <p>後期: 第16週~第29週 プリントを読む。</p> <p>第30週 後期試験</p>
----------	--

準備学習	予習は必要ないが、復習を十分に行うこと。
履修上の留意点	毎時間必ず当たるので、積極的な態度が求められる。英和・和英辞典も持参すること。
成績評価の方法	前期・後期の試験の結果60%、授業態度、30%、提出物10%で評価します。欠席数が授業回数の三分の一を超えると単位は出ない。
教科書/テキスト	特に教科書は使わず、毎時間、様々なトピックを扱ったプリントを配布する。
参考書	

履修コード	355301 355302
科目名	英語ⅡA 英語ⅡB [再クラス]
担当者名	林 明人

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 口語表現を学びながら英語の基礎を再確認する。 (到達目標) 簡単な単語を使用して短い口語表現が使えるようになること。
---------------------	--

授業スケジュール	SCHEDULE OF TOPICS CLASS 1 オリエンテーション CLASS 2 朝から寝るまでの英語表現(1) CLASS 3 朝から寝るまでの英語表現(2) CLASS 4 朝から寝るまでの英語表現(3) CLASS 5 朝から寝るまでの英語表現(4) CLASS 6 朝から寝るまでの英語表現(5) CLASS 7 キャンパス英語表現(1) CLASS 8 キャンパス英語表現(2) CLASS 9 キャンパス英語表現(3) CLASS 10 キャンパス英語表現(4) CLASS 11 キャンパス英語表現(5) CLASS 12 旅行英語表現(1) CLASS 13 旅行英語表現(2) CLASS 14 旅行英語表現(3) CLASS 15 旅行英語表現(4) CLASS 16 買い物英語表現(1) CLASS 17 買い物英語表現(2) CLASS 18 買い物英語表現(3) CLASS 19 買い物英語表現(4) CLASS 20 買い物英語表現(5) CLASS 21 レストラン英語表現(1) CLASS 22 レストラン英語表現(2) CLASS 23 レストラン英語表現(3) CLASS 24 レストラン英語表現(4) CLASS 25 レストラン英語表現(5) CLASS 26 英語で自己表現(1) CLASS 27 英語で自己表現(2) CLASS 28 英語で自己表現(3) CLASS 29 復習 CLASS 30 復習
----------	---

準備学習	日常で簡単な表現をなるべく自分で実際に言ってみる。
履修上の留意点	遅刻(電車等の遅延は除く)は認めない。
成績評価の方法	試験(40%) クラスパフォーマンス(40%) 平常点(20%)の総合評価。 尚、試験、クラスパフォーマンスのどちらかが3割に満たない場合、あるいは平常点が3分の2に満たない場合は評価の対象としない。
教科書/テキスト	プリントを配布します。
参考書	

履修コード	295401 295402
科目名	英語ⅡA 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	堀 千和子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業は教科書中心で進めていきます。教科書は、外国人向けに開発されたイギリスのテレビ・ドラマを字幕なしで見て、内容を把握し、それを運用していくことを目標として作られたものです。扱う内容は基本的な英語表現ですが、それを基礎としてspeakingとwritingの運用能力を身につけることをめざします。また、listening能力の強化にも力を入れていきます。
---------------------	---

授業スケジュール	・(1)オリエンテーションとウォーム・アップ、(2)~(14)(前期):毎週、テキストの1unit分を進めていく、(15)前期試験、(後期):(16)前期の授業、試験の復習とプリントを用いての授業(17)~(28)毎週1unit分のテキストを進める、(29)口頭でのプレゼンテーション、(30)後期試験。
----------	--

準備学習	毎週、テキストを中心に授業を進めていく。授業で学んだことを確認するため、授業の最後に小テストを毎時、実施する。遅刻したり居眠りして勉強内容を聞き逃さないように、真剣に授業に臨むこと。毎時の小テストの配点は、成績評価の大きなウェイトを占める。
------	--

履修上の留意点	毎週、授業で学んだことを、授業最後に行う小テストで確認します。ですから、授業では真剣勝負となります。遅刻、居眠り、私語、内職などをしてしまうと小テストで得点できず、単位も取得することができなくなります。欠席は通年の授業回数の3分の1以上になると、失格になります。それ以外の欠席回数であっても、毎時の小テストの点数が不足して単位が取れない可能性が非常に高くなります。教科書を用意して、授業に出席する、授業中は集中して勉強して小テストに臨むということが求められる授業です。
---------	--

成績評価の方法	・毎時の小テスト(70%)、前期試験(5%)、後期試験(5%)、夏休みレポート(5%)、後期レポート(10%)、口頭でのプレゼンテーション(5%)から総合的に判断する。 ・遅刻は3回で1回の欠席となる(授業開始後30分以上たつて来た場合は欠席扱いとなる)。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格となる。欠席を補う提出物はなく、その分の小テストの点数がなくなるのでくれぐれも欠席しないこと。
---------	---

教科書/テキスト	大八木廣人(共著) / 黄金井健夫(共著) / 滝本晴男(共著) / Janusz Buda(共著) 『カズン・ウィリアム(2)』(成美堂) 1890円 ISBN 978-4-7919-4534-4
----------	--

参考書	
その他	YeStudyを活用します。授業関係の連絡、レポートの提出などを行います。各自、登録してチェックするようにして下さい。

履修コード	355401 355402
科目名	英語ⅡA 英語ⅡB [再クラス]
担当者名	本間 俊一
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。 学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。 副教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。
授業スケジュール	4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Chapter1～Chapter9 の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～11月 Text Chapter10～Chapter17の学習 12月 後期授業内テスト
準備学習	授業前に、次回学習する内容を予習し、疑問点を明らかにして、講義にのぞむように努力したい。
履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書/テキスト	『赤毛のアン』 Anne of Green Gables (講談社インターナショナル) 693円 ISBN4-06-186057-7
参考書	
その他	授業外でもPCおよび携帯メールを利用した連携をとります。 USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。

履修コード	295301 295302
科目名	英語IIA 英語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	三木 望

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 前半は日常会話のペアワークで、会話の練習を行い、後半は和訳を介せずに、英文の直読直解を目指して、やさしい絵本・児童向けの本の読書から始めて、徐々にインプットを増やす。授業では、読んだ・聴いた本を紹介する発表を行う。</p> <p>(到達目標) ペアワークを完成させるために、英語で話して、相手の話を聴くことができる。自分の興味やレベルに合わせた選んだ本を授業内に読む・聴くことによって、読書の習慣を身につけ、英語の音声に慣れる (多読・多聴)。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>(前期)</p> <p>(第1回) オリエンテーション (授業の概要、評価方法等) と実力テスト</p> <p>(第2回) Family Tree</p> <p>(第3回) What's Your Hobby?</p> <p>(第4回) At the Pet Store</p> <p>(第5回) At the Campsite</p> <p>(第6回) Gone Fishing</p> <p>(第7回) Let's Go to a Movie</p> <p>(第8回) Trivia Quiz 1</p> <p>(第9回) Checking in</p> <p>(第10回) Haunted House</p> <p>(第11回) Storyline Onlineでハリウッドの俳優の朗読を視聴する。</p> <p>(第12回) Storyline Onlineでハリウッドの俳優の朗読を視聴する。</p> <p>(第13回) 多読・多聴の推薦図書を発表と朗読発表の準備</p> <p>(第14回) 多読・多聴の朗読発表</p> <p>(第15回) 多読・多聴の朗読発表</p> <p>(後期)</p> <p>(第16回) SpaceCandle Tour</p> <p>(第17回) Looks Like Rain</p> <p>(第18回) Flight KE 17 from Bali</p> <p>(第19回) Can I Take Your Order?</p> <p>(第20回) At the Beach</p> <p>(第21回) Valentine's Day</p> <p>(第22回) Getting Around</p> <p>(第23回) What's It For?</p> <p>(第24回) Trivia Quiz 2</p> <p>(第25回) Are You Free on Monday?</p> <p>(第26回) Storyline Onlineでハリウッドの俳優の朗読を視聴する。</p> <p>(第27回) Storyline Onlineでハリウッドの俳優の朗読を視聴する。</p> <p>(第28回) 多読・多聴の推薦図書を発表と朗読発表の準備</p> <p>(第29回) 多読・多聴の朗読発表</p> <p>(第30回) 多読・多聴の朗読発表</p>
----------	--

準備学習	Team Talkから単語のテストをほぼ毎回行う。多読・多聴の記録をYeStudyで毎回提出する。
履修上の留意点	授業の最初と最後に実力テストを行う予定だが成績には含まれない。
成績評価の方法	多読・多聴の記録ノート (50%)、推薦図書を発表 (10%)、朗読発表 (30%)、単語のテスト (10%)
教科書/テキスト	<p>教科書 1</p> <p>(1) Timothy Kiggell (2) Team Talk: A Pairwork Activity Book (3) Macmillan Languagehouse (4) 1,680円 (5) ISBN: 978-4-7773-6356-8</p> <p>教科書 2</p> <p>(1) 記載なし (2) 多読クラス用読書記録手帳 (3) SEG Bookshop (4) 税込 150円 (5) ISBNの記載なし</p>
参考書	

履修コード	295011 295012
科目名	英語ⅡA 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	吉江 正雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	リスニングと日常使える英語表現を覚えることを目的とします。 遅刻 (交通機関の遅延を除く) 及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。
---------------------	---

授業スケジュール	1 Not to Be Should, but..	16 To Drain or Not to Drain
	2 Not to Be Should, but..	17 Coffin Nails
	3 Be My Valentine	18 Coffin Nails
	4 Be My Valentine	19 In Other Worlds
	5 Home Sweet Home	20 In Other Worlds
	6 Home Sweet Home	21 Chung-a-Lug
	7 Dating Game	22 Chung-a-Lug
	8 Dating Game	23 テスト
	9 テスト	24 Don't Slurp Your Soup
	10 Trick or Treat	25 Don't Slurp Your Soup
	11 Trick or Treat	26 How it Sounds
	12 For Me?	27 How it Sounds
	13 For Me?	28 Tow Sides of the Same Coin
	14 To Drain or Not to Drain	29 Tow Sides of the Same Coin
	15 前期試験	30 後期試験

準備学習	普段から英語ニュースや映画に慣れておくこと。
履修上の留意点	遅刻 (交通機関の遅延を除く) 及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。
成績評価の方法	成績評価の方法 ①試験 (40%) ②発表 (30%) ③出席 (30%) で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。
教科書/テキスト	『日米文化を英語で表現』 (成美堂)
参考書	

履修コード	295501 295502
科目名	英語ⅡA 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	渡辺 彰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 世界遺産について英語で触れながらlistening, speaking, reading, writingの英語運用能力を身につける。世界にはどのような遺産があるのかを知り、各国の歴史や地理な遺産周辺の予備知識を得る。ウェブ上でアクセスできる本書のリスニングとリーディングの音声を、予習復習に役立てていただきたい。テキストで扱った世界遺産に関する話題をグループで話し合い、各グループに発表をしてもらう。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を用いて世界遺産を知ることで、日本から世界へと視野を広げる。 2. IAを基礎として、より高度な英語の運用能力をつける。世界遺産に関連した語彙や英語表現を使用し、コンセプトを表現できる、あるいは要旨を解説できる。会話表現の場合、ダイアログからディスカッションへと発展させる。 3. 世界遺産について、英語で紹介ができるようにする。これらの到達目標達成のために、各トピックに関連する記事を事前に収集し、自ら考察したうえで授業に臨むことにより、より深い理解ができることを期待する。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>4月 導入 英語で自己紹介</p> <p>5月 世界遺産について</p> <p>6月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>7月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>9月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>10月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>11月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>12月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>1月 世界遺産について、グループ発表</p> <p>2月 まとめ</p>
----------	--

準備学習	<p>準備学習は授業内及びYeStudyで連絡をするので、毎回必ず確認し予習をすること。授業内容に関連したHPを取り扱う場合は、関連したメディアに目を通しておくこと。各トピックに関する重要単語は確認をすること、毎回復習を怠らないこと。課題は期限内に提出すること。</p>
------	---

履修上の留意点	復習、予習を行うこと。
---------	-------------

成績評価の方法	<p>各トピック終了後に課せられる課題（グループワークを含む）60%、レポート（年2回出題）20%、平常点（毎回行われるトピックに関わる単語の確認、授業内での発表や発言などを含む）20%</p>
---------	---

教科書／テキスト	渡辺 節子『英語で学ぶ世界遺産』南雲堂 1785円 ISBN : 978-4-523-17523-0 C0082
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	258001
科目名	英語ⅡB
担当者名	井伊 順彦

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>世界各国の様々な問題を扱った教科書を用いて、おもに英語を「読む」力と「聴く」力を伸ばしてゆく。「書く」作業も当然ながら多くなる。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>なるべく和訳しないで読みたい（部分的には日本語で確認することもむろんあるが）が、内容がすこぶる豊富なので、1章を2回の授業で終わらせる予定。授業を7～8回終えることに小テストをおこなうことになる。その翌週に返却し、大事な点を解説する。第1回目の授業では全体のスケジュールの説明をする。</p>
----------	---

準備学習	辞書をよくひきながら、予習・復習をすること。
------	------------------------

履修上の留意点	<p>毎回おそらく半数ほどの学生に対して、なんらかのかたちで指名し、解答してもらうことになる。積極的かつ真摯な授業態度を強く求める。</p>
---------	--

成績評価の方法	<p>複数回おこなう小テスト（40%）、平常点および出席数（30%+20%）、授業に取り組む姿勢（10%）</p>
---------	---

教科書／テキスト	『グローバル社会の潮流』（英題 Global Concepts）（南雲堂）
----------	---------------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	257401
科目名	英語II B
担当者名	飯沼 好永
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBを基礎として、より高度な英文を正確且つ速く理解する英語力を身に付けることを目指します。
授業スケジュール	基本的な文法事項も確認しながら、さまざまな内容の英文を読んでいます。一つのプリントを2週で進む予定です。
準備学習	辞書で単語を調べるときに、意味だけでなく品詞も確認しながら、英文の構造を理解することを心がけてください。
履修上の留意点	予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。
成績評価の方法	成績は、定期試験（6割）、出席状況、授業への取り組み方、課題（4割）を基本に行います。
教科書／テキスト	プリント使用
参考書	

履修コード	258701
科目名	英語ⅡB
担当者名	伊勢村 定雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日本の国の各地域がどう英語で表現されるかを考える機会を持つ。 (2) 新たに500語の語彙を増やす。 (3) 音読の仕方をマスターし、通じる英文朗読が出来るようにする。 (4) 辞書の引き方を身につける。 (5) 文語、口語英語の違いも意識するようになる。 (6) 日英のことわざを覚える。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>1回Akihabaraを読む。 導入と説明[テキストは本文→問題→会話文→付録]の順に並んでいるので、それに沿って進めるものとする。英文はすべて音と意味が事前に分かるようにしておくこと。</p> <p>2回</p> <p>3回Shinjukuを読む。</p> <p>4回</p> <p>5回Ueno and Asakusaを読む。</p> <p>6回</p> <p>7回Shibuya and Harajukuを読む。</p> <p>8回</p> <p>9回フレックスタイム (中間試験対策etc. をやる予定)</p> <p>10回 前期中間考査</p> <p>11回Nikko and ther Highlights of Kanto Plainを読む。</p> <p>12回</p> <p>13回Hakone and Mt. Fujiを読む。</p> <p>14回</p> <p>15回 前期末考査</p> <p>後期</p> <p>16回Kamakura and the Home of Samuraisを読む。</p> <p>17回</p> <p>18回</p> <p>19回Ise and the Chubu District読む。</p> <p>20回</p> <p>21回Kyoto Iを読む。</p> <p>21回</p> <p>22回 後期中間考査</p> <p>23回Kyoto IIを読む。</p> <p>24回</p> <p>25回Chugoku and Shikokuを読む。</p> <p>26回</p> <p>27回Kyushu and Okinawaを読む。</p> <p>28回</p> <p>29回Tohoku Districtを読む。</p> <p>30回 後期末考査</p>
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> 1. 進路に合わせて英文をすべて調べて、音声と意味の双方が分かり、かつ答えられるようにしておくこと。 2. 音読は最低2回はすませておくこと
------	---

履修上の留意点	授業には必ず辞書(電子辞書は可、携帯電話の辞書機能は不可)を持参すること。必ず予習をすませて授業に臨むこと。
---------	--

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 1. 授業に積極的に参加した上で、出席率2/3 以上、考査の平均60%以上を満たしたものを合格とする。 2. なお考査は通年で中間、期末の4回400点満点の平均で出す。 3. また、出席良好者(欠席が3回未満)は特に10~15%の範囲で加点することもある。
---------	--

教科書/テキスト	Enjoy the Old and the New: An Introduction to the Japanese Landscapes 『日本今昔への誘い』、伊勢村定雄著、2000円(初回時にて教室で購入してください)
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	256401
科目名	英語ⅡB
担当者名	市川 仁
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	より多くの量の英文が読めるようになることを目指します。
授業スケジュール	予習を前提として授業を進めていきます。毎時間、各章ごとに読んでいきます。
準備学習	必ず予習をしてください。
履修上の留意点	授業に積極的に参加してください。
成績評価の方法	成績は前・後期の定期試験 (55%) と、平常点 (出席数 (20%) や授業中の発表 (25%) など) を総合して評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。
教科書/テキスト	テリー・オプライエン他『ちょっとイギリス街角散策』南雲堂、¥1900、ISBN 978-4-523-17666-4 C0082
参考書	

履修コード	256301
科目名	英語ⅡB
担当者名	井出 功一
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テキストは世界各地の国民、民族、部族が何を、どのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた食文化論です。 食文化は私たちの日常生活そのものです。そこに出てくる英文を十分に聞いたり、読んだりして、英語力の向上と食育について知識を深めることを目標とします。
授業スケジュール	イギリスのお茶、中国のお茶、茶の湯、コーヒーの道、ナイフ・フォーク文化圏、手食文化圏、中華料理、フランス料理、日本料理、アメリカ料理、パン食文化圏、根栽農耕文化、世界の麺類、牛乳の文化、香辛料。これらをそれぞれ2回ずつ行う予定です。 なお、最近の話題の食料、例えばアンデス山脈からやってきた「ヤーコン」(Yacon)、通称キャプテン・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」(New Zealand Spinach)、歴史の古い「蜂蜜酒」(Mead)、シベリヤ南部原産で16世紀にヨーロッパに導入された「ルバーブ」(Rhubarb)、フランス、イタリア原産で、サラダに最適なニュー野菜「トレビーズ」(Treviso) なども説明します。 ときには、時事に関する英文記事も使用する予定です。
準備学習	開講時に指示します。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。
成績評価の方法	前後期試験、平常試験、出席、宿題、受講態度による総合評価。
教科書/テキスト	『A Global Tour of Dietary Culture』(世界の食文化) 成美堂
参考書	『Q&A早分かり食育基本法』(大成出版社) 『食育基本法、学校で取り組むQA事典』(明治図書) 『いままで知らなかった本当の食育』(東山書房)

履修コード	257551
科目名	英語ⅡB
担当者名	岩永 祥恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の運用能力を目指した授業を行う。そのために多くの英文に触れ、リーディングの基本と展開を学び、より速く正確な読解能力の向上を目指す。
授業スケジュール	(1) 講義の内容説明 (2) ~ (6) Identifying the general topic, Identifying the topic sentence, Identifying supporting details (7) 小テスト (8) ~ (14) Identifying the main idea, Understanding transition signals, Recognizing exemplification (15) 理解度の確認 (16) ~ (20) Identifying definitions, Identifying similarities and differences, Scanning (21) 小テスト (22) ~ (26) Understanding reference, Identifying author's purpose, Making predictions (27) ~ (29) Making inferences (30) 理解度の確認
準備学習	予習を行うこと。
履修上の留意点	辞書は必ず持参すること。予習、復習は必ずすること。
成績評価の方法	前期末および後期末の試験と授業内に提出を求める課題70パーセント、小テストの結果20パーセント、平常点10パーセントで総合的に評価する。
教科書/テキスト	Nancy Stanley et al. Think in English 2 マクミランランゲージハウス 1998年
参考書	授業の第1日目に教場にて紹介する。

履修コード 256601

科目名 英語II B

担当者名 植村 恵子

授業概要/
到達目標 (ねらい)

(授業概要)
新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・ビジネス・外交・軍事・災害・犯罪・司法・環境・科学・スポーツに至るまで、多方面の英語ニュースや放送英語ニュースを読んでいきたい。

(到達目標)
英語II Bを基礎として、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びながら、新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。

授業スケジュール

1. プリント配布により、新聞英語を読む前の注意事項とその特徴についての説明
2. Chap. 1. 「国内政治」のVocabulary Buildup, NEWS 1
3. Chap. 1. 「国内政治」のEX. 1, EX. 2
4. Chap. 2. 「ビジネス」のV. B., NEWS 2
5. Chap. 2. 「ビジネス」のEX. 1, EX. 2
6. Chap. 1, 2 のまとめ
7. Chap. 3 「外交・国際会議」のV. B., NEWS 3
8. Chap. 3 「外交・国際会議」のEX. 1, EX. 2
9. Chap. 4 「海外とトピックス・文化」のV. B., NEWS 4
10. Chap. 4 「海外とトピックス・文化」のEX. 1, EX. 2
11. Chap. 3, 4のまとめ
12. Chap. 5 「軍事」のV. B., NEWS 5
13. Chap. 5 「軍事」のEX. 1, EX. 2
14. Chap. 1～5のまとめ
15. 理解度確認のためのテスト

16. 前期テストの講評
17. Chap. 6 「災害・気象」のV. B., NEWS 6
18. Chap. 6 「災害・気象」のEX. 1, EX. 2
19. Chap. 7 「犯罪・司法」のV. B., NEWS 7
20. Chap. 7 「犯罪・司法」のEX. 1, EX. 2
21. Chap. 6, 7のまとめ
22. Chap. 8 「資源・エネルギー・環境」のV. B., NEWS 8
23. Chap. 8 「資源・エネルギー・環境」のEX. 1, EX. 2
24. Chap. 9 「科学・医療」のV. B., NEWS 9
25. Chap. 9 「科学・医療」のEX. 1, EX. 2
26. Chap. 10 「スポーツ」のV. B., NEWS 10
27. Chap. 10 「スポーツ」のEX. 1, EX. 2
28. Chap. 8～10のまとめ
29. 理解度確認のためのテスト
30. 後期テストの講評

準備学習

授業は発表形式を取るため、必ず予習をして授業に臨み、日常生活においては、今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。

履修上の留意点

授業には辞書(電子辞書可)を持参し、なお、テキストを忘れた場合は当日授業分ページのコピーを授業が始まる前に必ず準備しておくこと。

成績評価の方法

前・後試験の成績60%、授業内小テスト10%、平常点(授業内での発表・発言等)30%

教科書/テキスト

堀江・加藤他『時事英語の総合演習—2012年度版—』(朝日出版社) 1, 500円
ISBN 978-4-255-15522-7

参考書

『リーダーズ英和辞典』(研究社)
『現代用語の基礎知識』(自由国民社)

履修コード	259301
科目名	英語ⅡB
担当者名	植村 恵子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・ビジネス・外交・軍事・災害・犯罪・司法・環境・科学・スポーツに至るまで、多方面の英語ニュースや放送英語ニュースを読んでいきたい。
---------------------	---

(到達目標)
英語ⅡBを基礎として、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びながら、新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標とした。

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリント配布により、新聞英語を読む前の注意事項とその特徴についての説明 2. Chap. 1. 「国内政治」のVocabulary Buildup, NEWS 1 3. Chap. 1. 「国内政治」のEX. 1, EX. 2 4. Chap. 2. 「ビジネス」のV. B., NEWS 2 5. Chap. 2. 「ビジネス」のEX. 1, EX. 2 6. Chap. 1, 2 のまとめ 7. Chap. 3 「外交・国際会議」のV. B., NEWS 3 8. Chap. 3 「外交・国際会議」のEX. 1, EX. 2 9. Chap. 4 「海外とトピックス・文化」のV. B., NEWS 4 10. Chap. 4 「海外とトピックス・文化」のEX. 1, EX. 2 11. Chap. 3, 4のまとめ 12. Chap. 5 「軍事」のV. B., NEWS 5 13. Chap. 5 「軍事」のEX. 1, EX. 2 14. Chap. 1~5のまとめ 15. 理解度確認のためのテスト 16. 前期テストの講評 17. Chap. 6 「災害・気象」のV. B., NEWS 6 18. Chap. 6 「災害・気象」のEX. 1, EX. 2 19. Chap. 7 「犯罪・司法」のV. B., NEWS 7 20. Chap. 7 「犯罪・司法」のEX. 1, EX. 2 21. Chap. 6, 7のまとめ 22. Chap. 8 「資源・エネルギー・環境」のV. B., NEWS 8 23. Chap. 8 「資源・エネルギー・環境」のEX. 1, EX. 2 24. Chap. 9 「科学・医療」のV. B., NEWS 9 25. Chap. 9 「科学・医療」のEX. 1, EX. 2 26. Chap. 10 「スポーツ」のV. B., NEWS 10 27. Chap. 10 「スポーツ」のEX. 1, EX. 2 28. Chap. 8~10のまとめ 29. 理解度確認のためのテスト 30. 後期テストの講評
----------	--

準備学習	授業は発表形式を取るため、必ず予習をして授業に臨み、日常生活においては、今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。
------	--

履修上の留意点	授業には辞書(電子辞書可)を持参し、なお、テキストを忘れた場合は当日授業分ページのコピーを授業が始まる前に必ず準備しておくこと。
---------	--

成績評価の方法	前・後試験の成績60%、授業内小テスト10%、平常点(授業内での発表・発言等)30%
---------	--

教科書/テキスト	堀江・加藤他『時事英語の総合演習—2012年度版—』(朝日出版社) 1. 500円 ISBN 978-4-255-15522-7
----------	---

参考書	『リーダーズ英和辞典』(研究社) 『現代用語の基礎知識』(自由国民社)
-----	--

履修コード	255701
科目名	英語ⅡB
担当者名	江田 幸子

授業概要/到達目標 (ねらい) どのような英語 (文) に出会っても、理解 (読解) できるようになること。さらに一歩進んで、精読、速読、が早くできるようになること。左～右へ、英語の流れに沿って読解 (内容把握) できるようになること、を目標とする。

授業スケジュール 内容：①はじめは、構文把握を徹底して精読を重視する。②精読と同時に速読が出来るようになるためには、語彙力を伸ばすことは欠かせないので、その課で調べた語彙は覚えるようにします。(辞書を引く回数が増えるほど読む速度が遅くなるため、語彙を増やすことが、精読＝速読には欠かせない) 適宜、語彙テスト/ディクテーションテストを行います。③出来るだけ正確な発音をこころがける。読解では疎かにされがちな項ですが、音声 (リズム、イントネーション) が伴わない読解は内容把握においても効率が悪くなるので、音読を重視します。とくに日本語にはなく、発音しづらい音の発音指導を取り入れます。

スケジュール：
初回：ガイダンス、および次回授業に取り上げるプリント (発音指導用) の配布
第2回～最終回：テキストの各Lessonにつき2回前後をかけて進める

(後期)
前期と同じ
*その他、必要に応じて小テストやクラス内テストをおこなう予定。

準備学習 自宅予習は必須。とくに、丹念に辞書を引いてください。テキスト、ノート、辞書は教室に持参してください。

履修上の留意点 授業では、発表が必須です。あたってから辞書を引くと授業の進度が著しく遅くなりますので、自宅での予習段階で済ませておくこと。

成績評価の方法 平常点、授業内試験の成績などから総合的に評価する。

教科書/テキスト ・DEMOCRACY AROUND THE WORLD — Ancient Origins and Contemporary Practices — 著者 Francois de Soete SEIBIDO

参考書

履修コード	256701
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 雅子

授業概要/到達目標 (ねらい) 英文を上から順に理解していく訓練を行なう。

授業スケジュール 最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。原則1回の授業でテキストの1章進む。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. Introduction | 16. Unit 13 |
| 2. Unit 1 | 17. Unit 14 |
| 3. Unit 2 | 18. Unit 15 |
| 4. Unit 3 | 19. Unit 16 |
| 5. Unit 4 | 20. Review |
| 6. Unit 5 | 21. Unit 17 |
| 7. Unit 6 | 22. Unit 18 |
| 8. Review | 23. Unit 19 |
| 9. Unit 7 | 24. Unit 20 |
| 10. Unit 8 | 25. Review |
| 11. Unit 9 | 26. Unit 21 |
| 12. Unit 10 | 27. Unit 22 |
| 13. Unit 11 | 28. Unit 23 |
| 14. Unit 12 | 29. Unit 24 |
| 15. Review | 30. Review |

準備学習 テキストのていねいな予習が必須。詳細は、一回目の授業で説明するので、必ず出席すること。

履修上の留意点

成績評価の方法 前期試験40%、後期試験40%、平常点20%

教科書/テキスト Masami Takahashi, Noriko Itoh, Richard Powell, English through the News Media 2012 edition, ¥1600, ISBN978-4-255-15520-3

参考書

履修コード	257301
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 美智子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBを基礎として、より高度な英語運用能力の習得を目指す。 リスニング力を強化するために、英語の音声変化を重視した授業をおこなう。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 オリエンテーション 第2回 Warm-Up Unit 第3回 Unit1 Sailing 前半 第4回 Unit1 Sailing 後半 第5回 Unit2 Wild Child 前半 第6回 Unit2 Wild Child 後半 第7回 Unit3 Selfish 前半 第8回 Unit3 Selfish 後半 第9回 Unit4 I Want It That Way 前半 第10回 Unit4 I Want It That Way 後半 第11回 Unit5 There You'll Be 前半 第12回 Unit5 There You'll Be 後半 第13回 Unit6 On Bended Knee 第14回 前期のまとめ 第15回 前期の理解度確認テスト 第16回 Unit7 I'm Not a Girl, Not Yet a Woman 前半 第17回 Unit7 I'm Not a Girl, Not Yet a Woman 後半 第18回 Unit8 Hard to Say I'm Sorry 前半 第19回 Unit8 Hard to Say I'm Sorry 後半 第20回 Unit9 All the Love in the World 前半 第21回 Unit9 All the Love in the World 後半 第22回 Unit10 Heart of Mine 前半 第23回 Unit10 Heart Of Mine 後半 第24回 Unit11 Goodbye Yellow Brick Road 前半 第25回 Unit11 Goodbye Yellow Brick Road 後半 第26回 Unit12 Wind Beneath My Wings 前半 第27回 Unit12 Wind Beneath My Wings 後半 第28回 後期のまとめ 1 第29回 後期のまとめ 2 第30回 後期の理解度確認テスト
----------	--

準備学習	予習と授業参加が絶対条件。座っているだけではいけない。
------	-----------------------------

履修上の留意点	予習と授業参加が絶対条件。 正当な理由なく全出席数の3分の1以上欠席した場合単位の習得は難しい。また、遅刻2回で欠席1回と数える。遅刻とみなすのは始業から30分までである。
---------	---

成績評価の方法	各学期毎の試験、小テスト、提出物の達成度合、授業態度等による総合評価
---------	------------------------------------

教科書/テキスト	熊井信弘 Top of the Pops Listening マクミラン・ランゲージハウス 2100円ISBN4-7737-6002-4 C3082
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	254701
科目名	英語ⅡB
担当者名	太田 由紀子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	映画『ローマの休日』(ウィリアム・ワイラー監督 1953年製作)とそのシナリオ、および映画に関連した資料を教材とする。相当量の英文を読み、かつ聴く訓練が可能となろう。文字と音声の両面からセリフを把握するのは有益であろうし、登場人物の行動や場面を説明するト書き(とがき)を、映像と絡めて読むことで英文の理解をリアルなものとする。映画に関連した資料として、主演女優オードリー・ヘップバーンの伝記の一部、時代背景などを配布する予定であるが、これらを併せて読むことで、複合的な英語学習を目指す。その成果を確認するべく、随時小テストを行う。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義内容の説明を行った後、『ローマの休日』の1章～4章を日本語字幕で視聴。 2. 5章～10章を日本語字幕で視聴。映画の感想を書く。その後、基礎的な英文法の確認作業を行う。 3. 1章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、1章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 4. 1章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、2章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 5. 2章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、2章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 6. 2章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、3章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 7. 3章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、3章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 8. 3章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、4章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 9. 4章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、4章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 10. 4章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、5章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 11. 5章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、5章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 12. 5章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、1章～3章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。 13. 4章～5章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。そして最後に前期授業の総まとめ。 14. テストを実施 15. 予備日 16. 6章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、6章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 17. 6章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、7章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 18. 7章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、7章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 19. 7章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、8章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 20. 8章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、8章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 21. 8章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、9章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 22. 9章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、9章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 23. 9章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、10章前半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 24. 10章前半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、10章後半を日本語字幕と英語字幕で視聴。 25. 10章後半を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、6章～8章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。 26. 9章～10章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。『ローマの休日』全編を英語字幕で視聴する。 27. 『ローマの休日』に関連する映画の一部を視聴。また関連する資料を読み、課題を行う。 28. 『ローマの休日』に関連する映画の一部を視聴。また関連する資料を読み、課題を行う。 29. テストを実施 30. 予備日
----------	---

準備学習	既に視聴した映像を思い出しながら、辞書を引いたり、文法書を参考にしながらシナリオを読む。自分の理解で正しいかどうかを確認すべく、対訳部分にも目を通しておくこと。シナリオだけでなく、配布された関連資料についても予め与えられた課題を行うこと。内容や文法事項について質問を受けた場合に、適切に答えられるよう、あるいは不明な点について伝えられるよう準備すること。
------	---

履修上の留意点	授業には欠かさず出席すること。内容や文法に関して、調べても分からないことがあれば、積極的に質問をすること。
---------	---

成績評価の方法	授業時の応答および小テスト、そして前期および後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
---------	---

教科書/テキスト	『ローマの休日 名作映画完全セリフ集 スクリーンプレイ・シリーズ』、フォーイン スクリーンプレイ事業部、1200円+税、978-4-89407-412-5
----------	---

参考書

安井稔『英文法総覧』（開拓社），江川泰一郎『英文法解説』（金子書房）

履修コード 255011

科目名 英語ⅡB

担当者名 大庭 直樹 太田 由紀子

授業概要/
到達目標 (ねらい)

このクラスは、前期と後期の担当者は異なります。
前期担当は太田由紀子講師、後期は大庭直樹講師です。

前期の講義内容

(1) 授業概要／到達目標 (ねらい)

前期はアメリカ映画『ローマの休日』のシナリオ、および映画を教材とする。相当量の英文を読み、かつ聴く訓練が可能となろう。文字と音声の両面からセリフを把握するのは有益であろうし、登場人物の行動や場面を説明するト書き(とがき)を、映像と絡めて読むことで英文の理解をリアルなものとする。

後期の講義内容

後期からは、英語ⅡBのクラスとして、できるだけ多くの英文を読むことに主眼を置いていく。どのような英文を読むかであるが、後期からはテーマを一つに設定して、そのテーマに関するできるだけ多くの文献を英文で読んでいくことにする。そのテーマとは、仏教学部の学生である皆さんには大変興味があるであろう、(そして日本人のわれわれにはあまり馴染みのない)キリスト教をテーマとして選び、キリスト教に関する文献を読み込んでいく。テキストには、キリスト教の基本的な文献、聖書についての文献、キリスト教とヨーロッパ近代文明の関わりを論じた文献などを選んで、読んでいく。テキスト以外のプリントとして、「新約聖書」に収められているイエスの譬え話などが課題としてあたえられ、その内容をクラスで発表してもらおう。
日本はキリスト教ときわめて異なる文化的伝統の中にあるが、西洋とは、結局、キリスト教の文明である。仏教学部の諸君は、後期からこのクラスを受講することで、(仏教とは対極をなす宗教)キリスト教についての基本的な知識を身につけることになる(そのためにも、参考文献としての「ふしぎなキリスト教」<講談社現代新書>を読むこと)。

講義目標：このクラスでは、できるだけたくさんさんの英文を読んで内容を要約する力を養うことを目指す。クラス以外にも相当量の英文を読むことになる。

授業スケジュール

前期

1. 講義内容の説明を行った後、『ローマの休日』(以下映画と言う)の1章～4章を日本語字幕で視聴。
2. 5章～10章を日本語字幕で視聴。映画の感想を書く。その後、基礎的な英文法の確認作業を行う。
3. 1章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、2章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
4. 2章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、3章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
5. 3章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、4章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
6. 4章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、5章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
7. 5章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、6章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
8. 6章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、7章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
9. 7章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、8章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
10. 8章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、9章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
11. 9章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、10章を日本語字幕と英語字幕で視聴。
12. 10章を英語字幕で視聴。内容および文法事項を確認した後、1章～4章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。
13. 5章～10章を英語字幕で視聴し、内容の確認作業をする。そして最後に前期授業の総まとめ。
14. テストを実施
15. 予備日

準備学習

前期

既に視聴した映像を思い出しながら、辞書を引いたり、文法書を参考にしながら英語のシナリオを読む。自分の理解で正しいかどうかを確認すべく、対訳部分にも目を通しておくこと。授業時、内容や文法事項について質問を受けた場合に、適切に答えられるよう、あるいは不明な点について伝えられるよう準備すること。

後期

あらかじめ受け取っている文献(プリント)は、必ず、十分な時間をかけて読んで、内容を整理して、問題点を明らかにして授業に出席すること。

履修上の留意点

前期

授業には欠かさず出席すること。内容や文法に関して、調べても分からないことがあれば、積極的に質問をすること。

後期

毎回の授業に出席すること。演習形式なので、積極的な参加と発表を求める。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合す

教科書／テキスト	る。 前期 『ローマの休日 名作映画完全セリフ集 スクリーンプレイ・シリーズ』、 フォーン スクリーンプレイ事業部、1200円＋税、978-4-89407-412-5 後期 プリント（文献）を教場で配布する。配布する文献は以下の通り 文献1（キリスト教とは、キリスト教の歴史、聖書とは） 文献2（イエスのたとえ話） 文献3（キリスト教とヨーロッパ文明） 文献4（一神教と多神教）
参考書	前期 安井稔『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） 後期 橋爪大三郎 X 大澤真幸『ふしぎなキリスト教』（講談社現代新書）
履修コード	257561
科目名	英語II B
担当者名	大淵 利春
授業概要/ 到達目標（ねらい）	英語IBを基礎として、より高度な英文読解力の習得を目指す。
授業スケジュール	メディア英語、具体的にはWashington PostやNew York Timesの記事を読み、英語読解力の向上を目指す。また、NHKの英語ニュースを用いて、リスニングの訓練も行う。年間スケジュールは以下の通り。 前期 (1) Introduction (2) Rosa Parks 1 (2) Rosa Parks 2 (3) US Supreme Court Justice 1 (4) US Supreme Court Justice 2 (5) Basque Terrorists 1 (6) Basque Terrorists 2 (6) Embryonic Stem Cell Research 1 (7) Embryonic Stem Cell Research 2 (8) Rising Sea Level 1 (9) Rising Sea Level 2 (10) Same-Sex Union 1 (11) Same-Sex Union 2 (12) Pakistan Earthquake 1 (13) Pakistan Earthquake 2 (14) Review 1 (15) Review 2 後期 (16) Introduction (17) Warren Buffet 1 (18) Warren Buffet 2 (19) The End of a Spanish Tradition 1 (20) The End of a Spanish Tradition 2 (21) Google 1 (22) Google 2 (23) West African Migrant 1 (24) West African Migrant 2 (25) Pope Visits Former German Death Camp 1 (26) Pope Visits Former German Death Camp 2 (27) Montenegro 1 (28) Montenegro 2 (29) Review 1 (30) Review 2
準備学習	授業参加には予習が必要。
履修上の留意点	授業には必ず辞書（電子辞書でも可、携帯電話の辞書機能は不可）を持参すること。
成績評価の方法	前後期2回の定期試験の結果70パーセントを、授業参加度、その他の課題の結果などの平常点30パーセントで評価する。
教科書／テキスト	Kimio Sato, Bill Benfield, 『New Windows on the World』成美堂 1800円 ISBN 4-7919-1043-5
参考書	

履修コード	350401
科目名	英語II B
担当者名	荻野 一成

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>一年次で培ったリーディング・スキルを更に実践レベルで活用していく。 前期は、日本の日常生活にすっかり溶け込んだお馴染みのアメリカ文化の歴史や裏話を読み解いていく。 後期は、将来有能な社会人・国際人として実りある人生を送るためのヒントや知恵を得るために、アメリカの大投資家Jim Rogers氏が幼い娘に語りかけたことばをまとめた1冊の本を読んでいく。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回・・・キックオフ・セッション (ガイダンス) 第2回・・・マクドナルド 第3回・・・ケンタッキー・フライドチキン 第4回・・・スターバックス・コーヒー 第5回・・・セブンイレブン 第6回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日 第7回・・・プロードウェー 第8回・・・ハリウッド 第9回・・・ラスベガス 第10回・・・ディズニールランド 第11回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日 第12回・・・MLB (プロ野球) 第13回・・・NFL (プロアメリカンフットボール) 第14回・・・NBA (プロバスケットボール) 第15回・・・NHL (プロアイスホッケー)</p> <p>第16回・・・リーディング・ガイダンス 第17回・・・「他人に流されず、君らしくあれ」 第18回・・・「自分の好きなことに打ち込み、夢を持って人生を送ろう」 第19回・・・「世間の常識や報道は自分の目で確かめなさい」 第20回・・・「世界を自分の目で見に出かけ、世界市民になろう」 第21回・・・「自分で考えることを身につけよう」 第22回・・・「中国の世紀に備え、地球語の1つとなる中国語を学びなさい」 第23回・・・「世界を大局的に見るためにも歴史を学びなさい」 第24回・・・インターバル・セッション (復習・確認) / 予備日 第25回・・・「自分自身を知りなさい」 第26回・・・「常に変化に敏感であれ」 第27回・・・「未来へ目を向けなさい」 第28回・・・「時流に流されるな」 第29回・・・「幸運の女神は努力を続ける人に微笑む」 第30回・・・ラップアップ・セッション (総まとめ) / 年度末筆記試験</p>
----------	--

※予定は変更になる場合有り。初日のガイダンスで年間予定表を配布する。

準備学習	初日のキックオフ・セッション (ガイダンス) で詳しく指示する。
------	----------------------------------

履修上の留意点	<p>予習・復習は必須。授業にはテキスト・筆記用具・辞書を必ず持参すること。 授業への積極的な参加を求める。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>授業内小テスト、課題提出、年度末筆記試験 (70%)、出席点 (30%) による総合評価。 特に、欠席が全体の3分の1をはるかに超えた場合には、試験の結果が良くても総合評価が60点未満になる場合もあるので注意。</p>
---------	---

教科書/テキスト	<p>1. Edward Hoffman 他著 ENJOYING AMERICAN POP CULTURE 朝日出版社 1800円+税 ISBN978-4-255-15478-7</p> <p>2. 加藤 治 他著 A Gift to My Children- A Father's Lessons for Life and Investing (未来を生きる～父から娘への12のメッセージ) 朝日出版社 2000円+税 ISBN978-4-255-15466-4</p>
----------	---

参考書	必要に応じて指示する。
-----	-------------

その他	YeStudyの活用有り。
-----	---------------

履修コード	255501
科目名	英語ⅡB
担当者名	落合 和昭

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスは現代口語英語の読解を目指す。授業概要に関しては、全体が、主として、四段階からなる。第一段階は、毎回、ミニ・テストを通して、予習してきたテキストの箇所の理解度を見る。第二段階はリスニングをする。第三段階は、学生による英文解釈。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。 到達目標としては、このクラスのレベルは英語の中級（英検二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に使用される現代口語英語表現を学び、かつ、その運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。
---------------------	--

授業スケジュール	年間の授業計画は次の通りである。
----------	------------------

第一回	オリエンテーション	第十六回	『慣用表現』 UNIT 7
第二回	『リスニング』 TEST 1~3	第十七回	『慣用表現』 UNIT 8
第三回	『リスニング』 TEST 4~6	第十八回	『慣用表現』 UNIT 9
第四回	『リスニング』 TEST 7~9	第十九回	『慣用表現』 UNIT 10
第五回	『リスニング』 TEST 10~12	第二十回	『慣用表現』 UNIT 11
第六回	『リスニング』 TEST 13~15	第二十一回	『慣用表現』 UNIT 12
第七回	『リスニング』 TEST 16~18	第二十二回	『慣用表現』 UNIT 13
第八回	『リスニング』 TEST 19~21	第二十三回	『慣用表現』 UNIT 14
第九回	『慣用表現』 UNIT 1	第二十四回	『慣用表現』 UNIT 15
第十回	『慣用表現』 UNIT 2	第二十五回	『慣用表現』 UNIT 16
第十一回	『慣用表現』 UNIT 3	第二十六回	『慣用表現』 UNIT 17
第十二回	『慣用表現』 UNIT 4	第二十七回	『慣用表現』 UNIT 18
第十三回	『慣用表現』 UNIT 5	第二十八回	『慣用表現』 UNIT 19
第十四回	『慣用表現』 UNIT 6	第二十九回	『慣用表現』 UNIT 20
第十五回	前期のまとめ	第三十回	後期のまとめ

※ 上記の『リスニング』は使用テキスト『エピソードリスニング』を、『慣用表現』は『ネイティブ英語の慣用表現』を指す。

準備学習	翌週のテキストの箇所に、わからない単語や表現があれば、必ず、辞書を引き、意味を明らかにしておくこと。また、音読することも忘れないこと。
履修上の留意点	出席が3分の2を越えない場合は、「不合格」となるので、注意をすること。授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式（学生参加形式）を取り、学生の積極的な参加を求める。なお、クラスでは、リスニングは毎回行う。
成績評価の方法	前期のまとめ（20%）、後期のまとめ（20%）、授業成績（ミニ・テスト、発表、課題等）（60%）。
教科書／テキスト	1) 神田弘慶 『エピソード・リスニング』 鶴見書店 820円 ISBN4-7553-0117-3 C1082 2) Barry Ward 『ネイティブ英語の慣用表現』 マクミラン ランゲージハウス 1,748円 ISBN4-89585-197-4 C3082
参考書	

履修コード	258301
科目名	英語II B
担当者名	落合 真裕

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要： 写真や音声、映像とともに、文化、社会学、旅、サイエンス、アドベンチャーなど、多彩な分野の英文を読んでいき、読解力とともに、頻出度の高い語彙の習得を図ります。英文和訳をするのではなく、的確に英文の情報を読み取る練習を行い、その後トピックに関する意見交換を英語で行い、リーディングを通して英語で情報発信できるように練習をしていきます。</p> <p>到達目標： 英文を効率よく読めるように前から順に情報を読み取り、短時間で大意を把握できる力を養うことを目指します。また、語彙、文法、構文にも注意を払いながらある程度まとまった文章を正確に読み取る練習をしていきます。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス 第2回 A Writer's Journey 第3回 A Life in Pictures 第4回 Aspects of Love 第5回 Animal Attraction 第6回 Food Safety 第7回 Genetic Engineering 第8回 Jiuzhaigou Nature Reserve Sichuan Province, China 第9回 Design by Nature 第10回 The Future of Fashion 第11回 The DNA Trail 第12回 Fantastic Voyage 第13回 Disappearing Forests 第14回 Animal Protectors 第15回 理解度の確認 第16回 Easter Island, Chile South Pacific 第17回 Movie Makers 第18回 Let's Dance 第19回 A Mysterious Death 第20回 Watching You 第21回 Conqueror of the World 第22回 The Mother Empress1 第23回 The Mother Empress2 第24回 Kremlin and Red Square Moscow, Russia 第25回 The Science of Small 第26回 The Threat From Space 第27回 A Precious Resource ,The Trouble with E-Waste 第28回 The Kingdom of Happiness, In Search of Longevity 第29回 Pantanal Conservation Area Mato Grosso, Brazil 第30回 理解度の確認</p>
----------	--

準備学習	<p>平日頃から英字新聞や雑誌などに目を通し、世界で話題になっている事柄に興味を持つようにしてください。日本のメディアではあまり取り上げられないようなトピックも読んでいきますので、必ず各単元のトピックに関する情報を各自で収集をしてから授業に臨んでください。</p>
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。 ・ 必ず辞書を持参してください。 ・ 授業の2/3以上の出席が必要です。
---------	--

成績評価の方法	<p>前期・後期試験 (50%)、平常点 (30%)、課題 (20%) などから総合的に評価します。</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>Paul MacIntyre, 『Reading Explorer 4』、センゲージ・ラーニング ¥2,142 ISBN978-1-4240-2936-5</p>
----------	--

参考書	<p>特になし。</p>
-----	--------------

履修コード	259401
科目名	英語II B
担当者名	落合 真裕

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要： 写真や音声、映像とともに、文化、社会学、旅、サイエンス、アドベンチャーなど、多彩な分野の英文を読んでいき、読解力とともに、頻出度の高い語彙の習得を図ります。英文和訳をするのではなく、的確に英文の情報を読み取る練習を行い、その後トピックに関する意見交換を英語で行い、リーディングを通して英語で情報発信できるように練習をしていきます。</p> <p>到達目標： 英文を効率よく読めるように前から順に情報を読み取り、短時間で大意を把握できる力を養うことを目指します。また、語彙、文法、構文にも注意を払いながらある程度まとまった文章を正確に読み取る練習をしていきます。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス 第2回 A Writer's Journey 第3回 A Life in Pictures 第4回 Aspects of Love 第5回 Animal Attraction 第6回 Food Safety 第7回 Genetic Engineering 第8回 Jiuzhaigou Nature Reserve Sichuan Province, China 第9回 Design by Nature 第10回 The Future of Fashion 第11回 The DNA Trail 第12回 Fantastic Voyage 第13回 Disappearing Forests 第14回 Animal Protectors 第15回 理解度の確認 第16回 Easter Island, Chile South Pacific 第17回 Movie Makers 第18回 Let's Dance 第19回 A Mysterious Death 第20回 Watching You 第21回 Conqueror of the World 第22回 The Mother Empress1 第23回 The Mother Empress2 第24回 Kremlin and Red Square Moscow, Russia 第25回 The Science of Small 第26回 The Threat From Space 第27回 A Precious Resource, The Trouble with E-Waste 第28回 The Kingdom of Happiness, In Search of Longevity 第29回 Pantanal Conservation Area Mato Grosso, Brazil 第30回 理解度の確認</p>
----------	--

準備学習	<p>平日頃から英字新聞や雑誌などに目を通し、世界で話題になっている事柄に興味を持つようにしてください。日本のメディアではあまり取り上げられないようなトピックも読んでいきますので、必ず各単元のトピックに関する情報を各自で収集をしてから授業に臨んでください。</p>
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。 ・ 必ず辞書を持参してください。 ・ 授業の2/3以上の出席が必要です。
成績評価の方法	<p>前期・後期試験 (50%)、平常点 (30%)、課題 (20%) などから総合的に評価します。</p>
教科書/テキスト	<p>Paul MacIntyre, 『Reading Explorer 4』、センテージ・ラーニング ¥2,142 ISBN978-1-4240-2936-5</p>
参考書	<p>特になし。</p>

履修コード	257901
科目名	英語II B
担当者名	小布施 圭佐三

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 世界が目まぐるしく変化を遂げていく中で、現状を把握し、その変化のどう対処すべきかを見定めるのは重要である。『ニューヨーク・タイムズ』を初め、数社から社会・文化・政治経済・情報・言語・教育・科学・医療・環境・娯楽・スポーツなどの記事を集めたものを読みながら、現代日本が抱える様々な問題を考えてみようと思う。</p> <p>(到達目標) この授業の目的は単なる訳読ではなく、読むためのスキルとして語い力、内容予測力、大意把握力などを養うことで英語による内容理解力を高めることにあります。到達目標は次の2点である。</p> <p>(3) 英語で書かれた一般小説、エッセイなどが辞書なしで読み、70%程度理解できる。 (4) 一般の英字新聞や英文雑誌が、理解度80%程度で読める。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>授業スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス (授業を展開する上で) 小学校英語必修化で現場は? 被災市長 住民窮状を全世界に訴える 米軍 ついにビン・ラーディンを殺害 皇太孫の結婚で英国国民も経済も輝くか? 農地困い込みで『村人』が土地を追われる パキスタン女性 働くことの代償 理解度の確認 (小テスト) 異色の『ドラッカー本』が大ベストセラーに 中国 試験好成绩の陰に厳しい教練 小惑星探査機『はやぶさ』の偉業 大学入試でネットカンニング 新生エジプトでパンの価格急騰 なでしこジャパン 世界一 理解度の確認 大学進学先選びでバスケファンが暴走 ブラジル初の女性大統領 闘牛でスペインが揺れている 新興経済発展国 (BRICS) という集まり ウィキリークス時代の機密保持 小児の臓器移植に問題山積み 理解度の確認 (小テスト) 『英国王のスピーチ』アカデミー賞主要4部門を獲得 中国人ノーベル賞受賞者 式に出席できず 学力世界1位のフィンランドの学校で今何が? K-popは世界中で人気だが、J-popは 左利きと脳の働き 日ハムに『ハンカチ王子』効果! プリント使用 理解度の確認
----------	---

準備学習	<p>テキストの記事には今日の日本社会が抱えている様々な問題が数多く含まれています。似通った記事が日本の新聞にも出ているから、毎日日本の新聞に目を通すようにしてください。多少なりとも予備知識があれば、その記事が何について書かれているのか予測がつくでしょう。</p>
------	--

履修上の留意点	<p>進度は各課90分で消化。英語の辞書持参のこと。</p>
---------	--------------------------------

成績評価の方法	<p>定期試験の成績60% / レポート・授業貢献度20% / 平常点20% などを加味して総合評価します。</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>編著者: 高橋 優身 / 伊藤 典子 / R. powell: 『ニュースメディアの英語』一演習と解説2012年度版一 (朝日出版) 1,600円 ISBN978-4-255-15520-3 C1082</p>
----------	--

参考書	<p>使用しない。適宜プリントと資料を配布する。</p>
-----	------------------------------

履修コード	258601
科目名	英語II B
担当者名	小布施 圭佐三
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) この授業の目的はビジネスに関する英文の記事を読み、実社会で役立つ国際ビジネスの常識と基礎英語コミュニケーション能力を身につけることにあります。</p> <p>(到達目標) この授業はパラグラフ・リーディングを習得し、読むためのスキルとして語い力、内容予測力、大意把握力などを養うことで英語による内容理解力を高めることにあります。一般の英字新聞や英文雑誌が、理解度80%程度で読めることを到達目標にしています。</p>
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (授業を展開する上で) 2. ビジネスとは? 3. 国際ビジネスにおける気候の影響 4. いつでも、世界のどこでもショッピング 5. 企業の管理構造 6. ビジネスにおける異文化 7. 男女の役割 8. 理解度の確認 (小テスト) 9. ニュースに国境はありません 10. 書類は整理されていますか? 11. グラフ図表の活用方法 12. 看板: ビジネス・コミュニケーション 13. Eメールと携帯 14. ネット通信のプライバシー 15. 理解度の確認 16. 時差 17. オフィスは進化している 18. コンピュータ時代の就職活動 19. ファックスはビジネスに有効 20. 電話の利用法 21. 英語が世界を結ぶ 22. 理解度の確認 (小テスト) 23. ビジネス・プロトコール 24. ビジネスの世界における日本の位置付け 25. 未来の通貨 26. 企業は国によって様々 27. 病気がビジネスに与える影響 28. バレンタイン・デーになぜチョコレートなの? 29. 企業倫理とコンプライアンス (法令遵守) 30. 理解度の確認
準備学習	専門用語については、インターネットを活用してください。毎日日本の新聞に目を通すようにしてください。多少なりとも予備知識があれば、その記事が何について書かれているのか予測がつくでしょう。
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。英語の辞書持参のこと。
成績評価の方法	定期試験の成績60%/ レポート・授業貢献度20%/ 平常点20% などを加味して総合評価します。
教科書/テキスト	編著者: 青木 雅幸/監修: P. William/『世界のビジネス事情と文化』(成美堂) 1,900円 ISBN978-4-7919-3085-2 C1082
参考書	使用しない。適宜プリントと資料を配布する。

履修コード	259981
科目名	英語II B
担当者名	小布施 圭佐三

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 政治経済の一大勢力・文化の発信地として世界的な重要性がますます高まっているEU統合後のヨーロッパに焦点を当て、それを構成している各国、各都市の最新事情を描き出したエッセイを中心に読む。政治・経済・歴史・文化などの多様な側面から、各都市の最新状況を理解することが出来るものと思われる。練習問題も多彩な形式で盛り込まれているので、総合的な英語力の養成も可能である。</p> <p>(到達目標) この授業の目的は単なる訳読ではなく、読むためのスキルとして語い力、内容予測力、大意把握力などを養うことで英語による内容理解力を高めることにあります。到達目標は次の2点である。</p> <p>(1) 英語で書かれた一般小説、エッセイなどが辞書なしで読め、70%程度理解できる。 (2) 一般の英字新聞や英文雑誌が、理解度80%程度で読める。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (授業を展開する上で) 2. ギリシャ：ヨーロッパ文明の源 3. 政教はどこまで分離できるか？ 4. 文化が甦る “玉手箱” 都市 5. “水の都” の水との戦い 6. フランスが『美しい』理由 7. プリント使用 8. 理解度の確認 (小テスト) 9. 世界を魅了するヨーロッパの “雅” 10. タイプが異なる “ツートップ” の競り合い 11. 詩情に満ちた北方の夢の島 12. 個性派都市同士の “負けられない” 話 13. プリント使用 14. プリント使用 15. 理解度の確認 16. “来る者を拒まない” 国際都市 17. 現代ヨーロッパの “心臓部” 18. プリント使用 19. ヨーロッパの “舵取り役” 20. プリント使用 21. 花心あふれる歴史都市の光と影 22. メルヘンチックな北欧の玄関 23. 理解度の確認 (小テスト) 24. 『分断』も糧にする屈強な『巨国』 25. “栄養分” 豊かな欧州大陸の一大水路 26. そびえ立つヨーロッパの “孤高” 27. 夢見る人は音楽と美食がお好き 28. 変貌も一味違う『旧東側』の古都 29. 波乱万丈のヨーロッパの行方 30. 理解度の確認
----------	--

準備学習	このテキストは学習者にエッセイの内容をより良く理解させるために各課ごとに『ピンポイント』がついています。授業に参加する前に必ず読んでおいてください。エッセイを読む際の手引きにもなっています。専門用語についてはインターネットを活用してください。
------	---

履修上の留意点	進度は各課90分で消化。音声指導に当っては、テープレコーダーを使用します。レポーター制を採用して授業の活性化を図ります。
---------	--

成績評価の方法	定期試験の成績60%/ レポート・授業貢献度20%/ 平常点20% などを加味して総合評価します。
---------	---

教科書/テキスト	著者：椋平 淳 / J. H. Randle / 『ヨーロッパ最前線』 (成美堂) 1,800円 ISBN978-4-7919-3084-5 C1082
----------	--

参考書	使用しない。適宜プリントと資料を配布する。
-----	-----------------------

履修コード	255601
科目名	英語ⅡB
担当者名	狩野 晃一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBを基礎として、できるだけ多くの量のある程度の速度で読むことに力をいれる。大意を正確につかむ努力をする。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 Chapter 1 導入、読解 (基礎)
	第2回 Chapter 1 読解 (応用)、練習問題
	第3回 Chapter 2 導入、読解 (基礎)
	第4回 Chapter 2 読解 (応用)、練習問題
	第5回 Chapter 3 導入、読解 (基礎)
	第6回 Chapter 3 読解 (応用)、練習問題
	第7回 Chapter 4 導入、読解 (基礎)
	第8回 Chapter 4 読解 (応用)、練習問題
	第9回 Chapter 5 導入、読解 (基礎)
	第10回 Chapter 5 読解 (応用)、練習問題
	第11回 Chapter 6 導入、読解 (基礎)
	第12回 Chapter 6 読解 (応用)、練習問題
	第13回 Chapter 7 導入、読解 (基礎)
	第14回 Chapter 7 読解 (応用)、練習問題
	第15回 前期 期末試験
	第16回 Chapter 8 導入、読解 (基礎)
	第17回 Chapter 8 読解 (応用)、練習問題
	第18回 Chapter 9 導入、読解 (基礎)
	第19回 Chapter 9 読解 (応用)、練習問題
	第20回 Chapter 10 導入、読解 (基礎)
	第21回 Chapter 10 読解 (応用)、練習問題
	第22回 Chapter 11 導入、読解 (基礎)
	第23回 Chapter 11 読解 (応用)、練習問題
	第24回 Chapter 12 導入、読解 (基礎)
	第25回 Chapter 12 読解 (応用)、練習問題
	第26回 Chapter 13 導入、読解 (基礎)
	第27回 Chapter 13 読解 (応用)、練習問題
	第28回 Chapter 14 導入、読解 (基礎)
	第29回 Chapter 14 読解 (応用)、練習問題
	第30回 後期 期末試験

準備学習	授業前に自ら文章に目を通しておくこと。一度目は辞書を用いずに読み進め、理解できない語句などは後に辞書でその意味を確認しておく。
------	---

履修上の留意点	必ず授業前に一通り文章に目を通しておくこと。復習は特に重要で、授業で扱った文章を繰り返し読み英語の流れや単語を定着させることを心がけて欲しい。できれば音読することが望ましい。
---------	---

成績評価の方法	基本的に定期試験によって判断する。(出席は全体の2/3が必須)
---------	---------------------------------

教科書/テキスト	教場にて指定する。
----------	-----------

参考書	教場にて指定する。
-----	-----------

履修コード	257311
科目名	英語ⅡB
担当者名	狩野 晃一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBを基礎として、できるだけ多くの量のある程度の速度で読むことに力をいれる。大意を正確につかむ努力をする。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 Chapter 1 導入、読解 (基礎) 第2回 Chapter 1 読解 (応用)、練習問題 第3回 Chapter 2 導入、読解 (基礎) 第4回 Chapter 2 読解 (応用)、練習問題 第5回 Chapter 3 導入、読解 (基礎) 第6回 Chapter 3 読解 (応用)、練習問題 第7回 Chapter 4 導入、読解 (基礎) 第8回 Chapter 4 読解 (応用)、練習問題 第9回 Chapter 5 導入、読解 (基礎) 第10回 Chapter 5 読解 (応用)、練習問題 第11回 Chapter 6 導入、読解 (基礎) 第12回 Chapter 6 読解 (応用)、練習問題 第13回 Chapter 7 導入、読解 (基礎) 第14回 Chapter 7 読解 (応用)、練習問題 第15回 前期 期末試験 第16回 Chapter 8 導入、読解 (基礎) 第17回 Chapter 8 読解 (応用)、練習問題 第18回 Chapter 9 導入、読解 (基礎) 第19回 Chapter 9 読解 (応用)、練習問題 第20回 Chapter 10 導入、読解 (基礎) 第21回 Chapter 10 読解 (応用)、練習問題 第22回 Chapter 11 導入、読解 (基礎) 第23回 Chapter 11 読解 (応用)、練習問題 第24回 Chapter 12 導入、読解 (基礎) 第25回 Chapter 12 読解 (応用)、練習問題 第26回 Chapter 13 導入、読解 (基礎) 第27回 Chapter 13 読解 (応用)、練習問題 第28回 Chapter 14 導入、読解 (基礎) 第29回 Chapter 14 読解 (応用)、練習問題 第30回 後期 期末試験
----------	---

準備学習	授業前に自ら文章に目を通しておくこと。一度目は辞書を用いずに読み進め、理解できない語句などは後に辞書でその意味を確認しておく。
------	---

履修上の留意点	必ず授業前に一通り文章に目を通しておくこと。復習は特に重要で、授業で扱った文章を繰り返し読み英語の流れや単語を定着させることを心がけて欲しい。できれば音読することが望ましい。
---------	---

成績評価の方法	定期試験によって判断する。
---------	---------------

教科書/テキスト	教場にて指定する。
----------	-----------

参考書	
-----	--

履修コード	256801
科目名	英語ⅡB
担当者名	吉川 直澄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語IBを基礎として、大意の把握を心がけつつ、英文を正確に理解する技術を総復習する。
---------------------	--

授業スケジュール	前期15回で、テキストのLesson4まで学習し、前期試験を行なう。後期15回では、Lesson7 (最終章)まで学習し、後期試験を行なう。
----------	--

準備学習	自分の関心のある分野について書いてある英文を、訳さず、気楽に読む習慣をつける事。毎日の生活の中で英語を楽しむ聞いたり、読んだりできる時間と回数を確保する事。
------	--

履修上の留意点	英語は演習科目に相当する。出席は、原則として、3分の2以上必要であり、授業内課題 (宿題、小テスト等) は重視される。
---------	---

成績評価の方法	出席、課題、前期後期試験を総合的に検討して評価する。
---------	----------------------------

教科書/テキスト	Intensive Training for the TOEIC Test 成美堂 2500円 (CD付き) ISBN-4-7919-1047-8
----------	--

参考書	TOEIC®テスト新公式問題集Vol. 4
-----	-----------------------

履修コード	255801
科目名	英語ⅡB
担当者名	国見 晃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	今年のこの授業では、日々のニュースや現在世界で起こっている様々な出来事を、表面的ではなく深く理解するために、その発端となった重大事件や現在に至るまでの経緯、関連した歴史上重要な演説や論争を、英語を通して学習していきます。
---------------------	--

主として「世界経済」「世界政治」「人種問題・民主化問題」「冷戦以後の激動の時代」をテーマとして取り扱います。

背景の知識をしっかりと理解した上で、自分自身の意見を言えるように論理的思考を身につけることも、この授業の目的となります。

授業スケジュール	以下の内容を実際の授業日数に配分して講義を行います。
----------	----------------------------

第1回：前期授業ガイダンス
 第2回～3回：Unit 1
 第4回～5回：Unit 2
 第6回～7回：Unit 3
 第8回～9回：Unit 4
 第10回～11回：Unit 5
 第12回～13回：Unit 6
 第14回：Unit 7
 第15回：前期期末テスト

第16回：後期授業ガイダンス
 第17回～18回：Unit 8
 第19回～20回：Unit 9
 第21回～22回：Unit 10
 第23回～24回：Unit 11
 第25回～26回：Unit 12
 第27回～28回：Unit 13
 第29回：Unit 14
 第30回：後期期末テスト

準備学習	必ず必ず予習をしてきて下さい。
------	-----------------

履修上の留意点	予習は絶対に必要です。 遅刻3回（30分以内）で1回欠席とみなします。 年間授業の3分の1以上欠席の場合は、単位取得が不可能となります。 正当な理由がある場合には、それを証明する書類を早めに提出して下さい。 （必ずしもすべての書類が受理される訳ではありません。）
---------	---

成績評価の方法	成績は以下の配分で評価します。 前期期末テスト：40% 後期期末テスト：40% 予習状況・授業内での発表・出席率等：前期10%＋後期10% 総合得点60%以上が単位取得となります。
---------	--

教科書／テキスト	Ichizo Ueda, Toshiko Ueda, Hideo Kobayashi, Yukio Hasegawa
----------	--

『Global Dynamics: 世界情勢を英語で読む』
 (Student Book with audio CD)

HEINLE CENGAGE Learning
 ¥2,000 + 税
 ISBN: 978-4-86312-183-6

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.leafandletters.com
-------	---

履修コード	256001
科目名	英語II B
担当者名	古富 猛

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	物語を読むことで、単語と文型を、増やし、会話の力をつける。
授業スケジュール	第1回～第2回、the green prairie, 第3回～第7回、the toothpick, 第8回～第13回、pistoleer Mike Fink, 第14回～第18回、the unwelcomed neighbour, 第19回～第23回、the death waltz, 第24回～第30回、wager

準備学習	必ず予習をする。 わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	予習をしてこること。
成績評価の方法	前期と後期の試験。平常点で評価する。
教科書/テキスト	American folktales and legends, 金星堂
参考書	

履修コード	256011
科目名	英語II B
担当者名	近藤 真彫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	時事英語の正確な読解力を養い、英語を通じて世界の動きについて考える習慣を身につける。
授業スケジュール	【前期】第1週：ガイダンス 第2～14週：主に英字新聞の記事を参照しながら、時事英語を読むための基礎を学ぶ。 第15週：復習 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～14週：前期で学んだことをふまえてリアルタイムで様々な英文記事を読んでいく。 第15週：復習

準備学習	英語を学ぶだけでなく、日常的に時事問題に興味を持ち、さまざまな問題について自分の考えを言葉にしていくこと。
履修上の留意点	全授業日数の三分の二以上の出席を必要とする。
成績評価の方法	前期と後期の定期試験の成績（50%）と平常点（50%）を総合して評価する。
教科書/テキスト	授業でプリントを配布する。
参考書	

履修コード	259801
科目名	英語II B
担当者名	佐々木 隆
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の実践的コミュニケーション能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのために多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。聞く、読む、訳す、さらには書くなどの分野を運動させながら進める。</p> <p>到達目標 基礎から応用への段階として、聞く力の養成に主眼を起きながら、実践的な英語コミュニケーション能力の習得を到達目標とする。具体的には英検で言えば2級程度、TOEICでは450~550を目指したい。</p>
授業スケジュール	<p>(1) 講義の内容説明、(2) Unit 1&2+補充問題、(3) Unit 3&4+補充問題、(4) Unit 5&6+補充問題、(5) Unit 7&8+補充問題、(6) Unit 9&10+補充問題、(7) Unit11&12+補充問題、(8) Unit13&14+補充問題、(9) Unit15&16+補充問題、(10) Unit17&18+補充問題、(11) Unit19&20+補充問題、(12) 前期まとめ+補充問題、(13) 前期の確認と補充問題、(14) 新Unit 1&2+補充問題、(15) 新Unit 3&4+補充問題、(16) 新Unit 5&6+補充問題、(17) 新Unit 7&8+補充問題、(18) 新Unit 9&10+補充問題、(19) 新Unit11&12+補充問題、(20) 新Unit13&14+補充問題、(21) Unit15&16+補充問題、(22) 新Unit17&18+補充問題、(23) 新Unit19&20+補充問題、(24) Dictation1+補充問題、(25) Dictation1+補充問題、(26) Dictation1+補充問題、(27) Dictation1+補充問題、(28) Dictation1+補充問題、(29) 年間のまとめ、(30) 年間まとめの確認</p> <p>基本的にはテキスト等を順次行なう。なお、TOEICの練習問題等なども毎回行なう予定である。*全体的にはテキストや補助教材を毎回コンスタントに進める。なお、補助教材はこちらで用意する。</p>
準備学習	補助教材の予習は欠かさないこと。
履修上の留意点	活動が多くなるため、教科書や教材、辞書等は毎回必携すること。
成績評価の方法	出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したものの、欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。
教科書/テキスト	Hiroko Katanoda / Thian Wong. TOEIC TEST LISTENING 450 南雲堂 定価(本体700円+税) ISBN978-523-17589-6
参考書	辞典は必携のこと。携帯電話、スマートフォンの辞典は使用しないで下さい。電子辞書はOKです。
その他	出席には、特に気をつけること。
関連リンク	http://www.ssk.econfn.com

履修コード	350501
科目名	英語II B
担当者名	佐々木 隆

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英語の実践的コミュニケーション能力を目指す授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのために多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。聞く、読む、訳す、さらには書くなどの分野を連動させながら進める。</p>
---------------------	--

到達目標
基礎から応用への段階として、聞く力の養成に主眼を起きながら、実践的な英語コミュニケーション能力の習得を到達目標とする。具体的には英検で言えば2級程度、TOEICでは450~550を目指したい。

授業スケジュール	<p>(1) 講義の内容説明、(2) Unit 1&2+補充問題、(3) Unit 3&4+補充問題、(4) Unit 5&6+補充問題、(5) Unit 7&8+補充問題、(6) Unit 9&10+補充問題、(7) Unit 11&12+補充問題、(8) Unit 13&14+補充問題、(9) Unit 15&16+補充問題、(10) Unit 17&18+補充問題、(11) Unit 19&20+補充問題、(12) 前期まとめ+補充問題、(13) 前期の確認と補充問題、(14) 新Unit 1&2+補充問題、(15) 新Unit 3&4+補充問題、(16) 新Unit 5&6+補充問題、(17) 新Unit 7&8+補充問題、(18) 新Unit 9&10+補充問題、(19) 新Unit 11&12+補充問題、(20) 新Unit 13&14+補充問題、(21) Unit 15&16+補充問題、(22) 新Unit 17&18+補充問題、(23) 新Unit 19&20+補充問題、(24) Dictation1+補充問題、(25) Dictation1+補充問題、(26) Dictation1+補充問題、(27) Dictation1+補充問題、(28) Dictation1+補充問題、(29) 年間まとめ、(30) 年間まとめの確認</p>
----------	---

基本的にはテキスト等を順次行なう。なお、TOEICの練習問題なども毎回行なう予定である。* 全体的にはテキストや補助教材を毎回コンスタントに進める。なお、補助教材はこちらで用意する。

準備学習	補助教材の予習は必須である。
履修上の留意点	出席や授業中における活動状況も評価等に含まれる。
成績評価の方法	出席(3分の2以上を原則)と授業中の活動、試験の結果の総合評価とする。考え方としては、出席と授業中の活動を200点、試験の結果を200点とし、それを4で除したものの、欠席が全体の3分の1以上をはるかに越えた場合には、試験の結果がよくても全体の評価は60点未満となるので要注意。
教科書/テキスト	Hiroko Katanoda / Thian Wong. TOEIC TEST LISTENING 450 南雲堂 定価(本体700円+税) ISBN978-523-17589-6
参考書	
その他	授業ではかならず辞書を携帯すること。なお、携帯電話の辞書では不足する。
関連リンク	http://www.ssk.econfn.com

履修コード	350511
科目名	英語II B
担当者名	佐藤 アヤ子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>アカデミック・リーディング及びアカデミック・ライティングの基本であるパラグラフについて学びます。パラグラフの構造を理解することは早読み、斜め読みにも通じます。また、日本語論文を書くときにも役立ちます。パラグラフの構造を理解することは、TOEFL, TOEIC対策にもなります。パラグラフの概念をしっかりと学びましょう。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期はパラグラフの構造、パターンを学び、問題を解いていきます。前期の最終授業日にテストを行います。 後期は前期に続いてパラグラフのパターンを学び、問題を解いていきます。また、学んだパラグラフを応用して、速読練習をします。学期の終わりにテストを行います。 前週に学んだ文章中の単語テストを毎回行います。</p>
----------	---

準備学習	サブテキストも配付する予定なので、教科書と合わせて、予習はしっかりと行なうこと。
履修上の留意点	教科書、辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席(3分の2以上を原則)、毎回の単語テスト、宿題レポート、前・後期試験の結果の総合評価とします。
教科書/テキスト	テキスト+プリント使用。テキストは初回の授業時に指示します。
参考書	授業中に紹介。

履修コード	259951
科目名	英語II B
担当者名	佐藤 江里子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) IB(Reading and Listening Comprehension)を基礎とし、更なる多読・速読をめざす。 テキストを中心に、演習形式で授業を進めていく。 (到達目標) 適宜プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定まで、様々な場面に対応できる英語力の習得をめざす。
---------------------	--

授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 オリエンテーション・実力テスト ・第2回 Unit1 ・第3回 Unit2 ・第4回 Unit3 ・第5回 Unit4 ・第6回 Unit5 ・第7回 Unit6 ・第8回 Unit7 ・第9回 Unit8 ・第10回 Unit9 ・第11回 Unit10 ・第12回 確認プリント ・第13回 確認プリント ・第14回 まとめ・発展問題 ・第15回 理解度の確認 (小テスト) ・第16回 自由英作文・実力テスト ・第17回 Unit11 ・第18回 Unit12 ・第19回 Unit13 ・第20回 Unit14 ・第21回 Unit15 ・第22回 Unit16 ・第23回 Unit17 ・第24回 Unit18 ・第25回 Unit19 ・第26回 Unit20 ・第27回 確認プリント ・第28回 確認プリント ・第29回 まとめ・発展問題 ・第30回 理解度の確認 (小テスト)
----------	--

※基本的に1回に1ユニットずつ進む。

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・次週の授業範囲のユニットを必ず予習する。 (単語の意味調べ・和訳・エクササイズ等を終わらせておく。) ・辞書をひく習慣をつける。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。 ・授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(50%)と平常点(50%)から総合的に評価する。 ・授業態度を重視する。(平常点に含まれる。)
教科書/テキスト	『エコイノベーションと繁栄』(南雲堂)1,900円+税
参考書	

履修コード	256901
科目名	英語II B
担当者名	清水 雅夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	環境への対応を重視するライフスタイルと、それに関連する経済活動についての文章を読みながら、読解力の向上(語彙を増やすこと、構文を把握する力を高めること)を目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	全20章のうち12章を選び、各期に6章ずつ学習してゆく。3章ごとにテストを行う。授業では、本文の訳や練習問題の答を尋ねる。
----------	---

準備学習	単語、語句を辞書で調べる。練習問題の解答を準備すること。
履修上の留意点	予習をして来る。テキストを忘れたときはコピーを準備すること。
成績評価の方法	評価は、テスト65%、出席点20%、平常点15%の割合で行う。授業実施時数の3分の2以上出席することが合格の最低条件である。
教科書/テキスト	ペロケティ、千葉、他3名著『エコアクションと経済』(南雲堂)1,900円 ISBN978-4-523-17687-9
参考書	

履修コード	255001
科目名	英語ⅡB
担当者名	白鳥 義博

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	難易度のより高い英語の読解と聞きとりを訓練する授業。イギリスやアメリカの著名な文学作品や評論文、雑誌記事、あるいはドラマや映画などを活用して、内容の理解と把握、そして鑑賞を十分にできるようにすることを目標とする。高校までには学ばなかったようなタイプの英語を教材にすることで、英語圏の文化に親しむこともできたら幸いである。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回：ガイダンス</p> <p>第2回：実力テスト</p> <p>第3回：読解 (1)</p> <p>第4回：読解 (2)</p> <p>第5回：読解 (3)</p> <p>第6回：読解 (4)</p> <p>第7回：まとめ</p> <p>第8回：聞き取り (1)</p> <p>第9回：聞き取り (2)</p> <p>第10回：聞き取り (3)</p> <p>第11回：聞き取り (4)</p> <p>第12回：聞き取り (5)</p> <p>第13回：まとめ</p> <p>第14回：予備日</p> <p>第15回：テスト</p>
----------	---

後期：前期と同じ

準備学習	自宅での予習と復習が大切。
履修上の留意点	受講態度の不真面目な学生には厳しい態度で臨むので、注意すること。
成績評価の方法	テスト、出席点、平常点、レポートなどから総合的に判断する。
教科書/テキスト	プリント教材を使用する。
参考書	

履修コード	258801
科目名	英語ⅡB
担当者名	鈴木 美貴子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 教科書の英文エッセイを読む。また、学んだ語句を使い英文を作ってみる。 (到達目標) 重要な語彙を学びながら英文読解力を高め、英文を書く力も身に付ける。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回前期オリエンテーション、第2～14回Unit1～12まで進む。第15回前期理解度の確認、第16回後期オリエンテーション、第17～28回Unit13～24まで進む。第29回後期理解度の確認、第30回総復習。
----------	---

準備学習	辞書をよくひきながら英文を読んでおく。
履修上の留意点	予習必須。必ず辞書を持参し、授業中も辞書をよくひくこと。
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書/テキスト	ロバート・H・エリクソン『Global Topics for Effective Reading and Writing読解・作文力をつけるグローバル・トピックス』(開文社、1800円) ISBN978-4-87571-155-1 C1382
参考書	

履修コード	258101
科目名	英語II B
担当者名	高見 陽子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 1Bで学んだ速読の基礎を踏まえ、大意の把握を心がけながら読むスピードを上げ、多くの量の英文を読むために必要な速読・多読のスキルを高めます。</p> <p>(到達目標) この授業では、より多くの量の英文を的確に読みこなす力を身につけるため、語彙力と構文に関する知識を増やし、「読み下し」ながら意味をつかみ取る読み方に習熟することを目標とします。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの英文を「理解しながら読み進める」ことに重点を置きます。 ・一文一文を整った日本語に訳しながら読むのではなく、頭から読み下していくことに慣れるよう練習します。 ・必要に応じて文法事項や構文に関する解説を加えます。 <p>第1回：イントロダクション (授業内容および評価方法、注意点の確認。リーディング・スキルについて) 第2～3回：グループワーク 第4～13回：テキストによるリーディング演習 第14～15回：前期フィードバック 第16～17回：グループワーク 第18～28回：テキストによるリーディング演習 第29～30回：後期フィードバック</p>
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された箇所の予習は必ず行うこと。 ・リーディング・スキルの向上に不可欠な語彙力と文法力を強化するために小テストを行うので、指定された範囲については必ず復習しておくこと。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には必ず辞書を持参してください。 ・全授業回数の3分の2以上の出席が必須条件となります。
---------	--

成績評価の方法	前・後期末に実施する試験 (50%)、小テスト (30%)、平常点 (20%) による総合評価とします。各項目の詳細および注意点については、初回の授業で説明します。
---------	--

教科書/テキスト	未定
----------	----

参考書	
-----	--

履修コード	254801
科目名	英語II B
担当者名	田中 靖子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>この授業では英文を理解するために不可欠な語彙力を強化させることをねらいとします。そのために、聞く、書く、話す、読むというすべての感覚を使った学習ができるに授業を組み立てています。さらに基本単語のコアイメージの理解を深めるために、補助教材として、DVD教材を使用しながら、演習問題を行い定着をめざします。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 クラスオリエンテーション 第2回 Friends 第3回 Personality 第4回 Love 第5回 Free Time 第6回 Favorite places 第7回 Daily Schedules 第8回 前期中間テスト 第9回 World Food 第10回 Cooking, Restaurant 第11回 Weather 第12回 Locations 第13回 Transportation 第14回 前期のまとめ 第15回 前期期末テスト 第16回 前期期末テストの返却 後期クラスオリエンテーション 第17回 Emotions 第18回 Sympathy 第19回 Nostalgia 第20回 Teenagers 第21回 Student life 第22回 New Experiences 第23回 Jobs 第24回 Business 第25回 Work Problems 第26回 News 第27回 Politics 第28回 Global issues 第29回 後期のまとめ 第30回 後期期末テスト</p>
----------	---

準備学習	予告のあったところは必ず読んで、わからない語句は辞書で調べておくこと。
------	-------------------------------------

履修上の留意点	毎時、授業内の課題は提出してもらい平常点としていくので、教科書とともに辞書を持参すること。
---------	---

成績評価の方法	<p>1 以下のような基準で総合的に評価する。 前期テスト 30% 後期テスト 35% 前期中間テスト 10% 後期中間テスト10% 授業への参加状況 (授業内課題、授業への貢献度) 15%</p> <p>2 前後期ともに3分の2以上の出席を必要としている。それに満たない場合は定期試験を受ける資格がなくなるので注意すること。</p> <p>3 公的な欠席と認められるには、証明書の提出が必要である。</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>1 書名 Impact Words + Phrases 2 出版社 Pearson Longman 3 ISBN 962-00-1421-9</p>
----------	---

参考書	適宜プリントと資料を配布します。
-----	------------------

履修コード	259961
科目名	英語II B
担当者名	田中 靖子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語を学ぶ上で、アメリカ合衆国の歴史を知ることが英文の内容を真に、深く理解する上で非常に有効なことです。この授業では同国の歴史をまとめたリーディング教材を用いることにより、読解力、語彙力の向上を図り、文化的背景にも触れていきます。今まで学習してきた、文法、語法の復習をしながら、正確に早く読みこなす力がつくように授業を構成していきます。さらに、基本単語を使いこなせるように、補助教材として、プリントとDVD教材と使用しながら、語彙力の強化をしていきます。
---------------------	---

授業スケジュール	1 オリエンテーション 2 Native American 3 The Discoverers 4 The Shot Heard Round the World 5 The Constitution of the United States 6 Lewis and Clark 7 Manifest Destiny 8 中間テスト 9 The Peculiar Institution 10 The Civil War 11 The Gilded Age 12 The Labor Movement 13 Women's Suffrage 14 まとめ 15 前期期末テスト 16 前期テスト返却 17 Immigration 18 World War 1 19 The Red Scare 20 Prohibition 21 The Great Depression 22 Hollywood 23 Pearl Harbor 24 Hiroshima and Nagasaki 25 The Vietnam War 26 The Civil Rights Movement 27 Watergate 28 The Gulf War 29 まとめ 30 後期期末テスト
----------	---

準備学習	事前に予告のあったところは、読んでわからない語句などは調べてから授業に臨むこと。
------	--

履修上の留意点	毎時、授業内の課題は提出してもらい平常点としていくので、教科書ともに辞書を持参すること。
---------	--

成績評価の方法	1 以下のような基準で総合的に評価する。 前期テスト 30% 後期テスト 35% 前期中間テスト 10% 後期中間テスト10% 授業への参加状況 (授業内課題、授業への貢献度) 15% 2 前後期ともに3分の2以上の出席を必要としている。それに満たない場合は定期試験を受ける資格がなくなるので注意すること。 3 公的な欠席と認められるには、証明書の提出が必要である。
---------	---

教科書/テキスト	1 書名: アメリカの歴史を知ろう 2 出版社: 英光社 3 ISBN: 978-4-87097-028-1
----------	--

参考書	適宜プリントと資料を配布します
-----	-----------------

履修コード	259811
科目名	英語II B
担当者名	塚本 利男

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1 Bを基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目標とします。
---------------------	---

授業スケジュール	世界のニュースを読みます。1. ガイダンス 2. 小学校英語必修化で現場は? 3. 被災市長住民の窮地を全世界に訴える 4. 米軍 ついにビン・ラーディンを殺害 5. 皇太孫の結婚で英国民も経済も輝くか? 6. 農地囲い込みで「村人」が土地を追われる 7. パキスタン女性働くことの代償 8. 異色の「ドラッカー本」大ベストセラーに 9. 中国 試験好成绩の影に厳しい教練 10. 小惑星探査機「はやぶさ」の偉業 11. 大学入試でネットカンニング 12. 新生エジプトでパンの価格急騰 13. なでしこジャパン世界一 14. 大学進学先選びでバスケットファンが暴走 15. 前期テスト 16. 前期テスト返却とその説明 17. ブラジル初の女性大統領 18. 闘牛でスペインが揺れている 19. 新興経済発展国という集まり 20. ウィキリーク時代の機密保持 21. 小児の臓器移植に問題山積み 22. 『英国汪のスピーチ』アカデミー賞主要4部門を獲得 23. 中国人ノーベル賞受賞者 式に出席せず 24. 学力世界一のフィンランドの学校で今何が? 25. K-popは世界中で人気だが、J-popは 26. 左利きと脳の働き 27. 日ハム「ハンカチ王子」効果! 28. まとめ 29. 後期テスト 30. 後期テスト返却とその説明 (再テスト)
----------	--

準備学習	必ず予習をして授業に出席すること。
------	-------------------

履修上の留意点	出席を重視します。辞書(電子辞書)を持ってくること。
---------	----------------------------

成績評価の方法	発表などの平常授業の評価(20%)、小テスト(20%)、前期・後期試験(60%)の総合評価。
---------	--

教科書/テキスト	English through the News Media 『ニュースメディアの英語』 高橋優身・伊藤典子・Richard Powell 編著者 (株)朝日出版社 1600円+税 ISBN978-4-255-15520-3 C1082
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	259701
科目名	英語ⅡB
担当者名	永野 光一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBを基礎として、より高度なリーディング力を養成。
授業スケジュール	現代社会のさまざまな問題に関する英文テキストを読み進め、大意の把握やより速く正確に英文を読む練習をする。(1) Orientation (2-8) Men Are From Mars, Women Are From Venus, Chocolate, Product Placement, Fart Tax, Letter from an Iranian Girl, (9-15) Blogs, The Placebo Effect, Sedna, The Amazon, Space Junk, ID Theft, Euthanasia (16-23) Venice, Honorifics, Beauty in the Media, Salzburg, Sweatshops, Aroma Oils (24-30) German Education, Peter Jackson, Women in New Zealand, Wine in France, The Pygmalion Effect, Multinational Business
準備学習	前回授業内容の復習をし小テストの準備をすること。
履修上の留意点	授業に積極的に取り組むこと。原則として3分の2以上出席すること。
成績評価の方法	出席と授業への積極的な取り組み、時事および基本英語表現の小テストを重視。中間・期末テストと合わせ総合的に評価。
教科書/テキスト	Shishido, Makoto and Allen, Bruce (2010), "Reading Expert 2 (リーディング エキスパート 実践編)" (成美堂) 1800円 ISBN978-4-7919-3113-2
参考書	

履修コード	257571
科目名	英語ⅡB
担当者名	西原 克政

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	異文化を理解する際に、常に判断基準となるのは自国の文化との類似点と相違点であるのは、自然であるように思われます。アメリカのさまざまな変化を社会が抱える問題の現象として、われわれの文化と比較検討しその解決策を模索しようというのが、この講義のねらいです。21世紀を10年経た今から見た、10年前のアメリカの現状を比べてみたいと思います。
授業スケジュール	1. Orientation 2. Introduction: Sharing My Thoughts 3. Introduction: Sharing My Thoughts 4. The USA Looks Different 5. The USA Looks Different 5. Americans Look Different 6. TALK SHOW 7. Changing Attitudes Toward Work 8. Women, Work, and Marriage 9. TALK SHOW 10. Is There an American Family? 11. Are Schools Safe? 12. TALK SHOW 13. The Cult of Violence 13. The Responsibility of Media 14. TALK SHOW 15. Growing Old in a Youth Culture 16. Are Americans Physically (Un)Fit? 17. TALK SHOW 18. Altruism vs. Egoism 19. Technology and Communication 20. TALK SHOW 21. Reviving Responsibility 22. The Human Side of Education 23. TALK SHOW 24. Ethics Matter 25. Global Partnership 26. TALK SHOW 27. Looking at the USA 28. Looking at Japan 29. Comparing Different Cultures 30. Summary
準備学習	テキストを事前に学習し、新しい語彙を記憶に定着したうえで、授業に出ること。徐々に正確に把握出来るようになりますから、初めのうちは出来なくても気にせず、準備学習を継続させることです。
履修上の留意点	授業を休まないこと。授業回数の3分の1以上欠席すると、得点数が基準に達しないので、注意すること。中間試験、定期試験を休まないこと。出席と授業中のプレゼンの評価を重視する。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10% (ただし、皆勤の場合)、中間試験30%、定期試験30%、授業でのプレゼンテーション30%とします。
教科書/テキスト	ジョン・マコンネル『今日のアメリカとそのゆくえ』金星堂 1838円 (ISBN) 4-7467-3704-3
参考書	
その他	特になし。

履修コード	256101
科目名	英語II B
担当者名	埴 美智子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次の読解力を基礎として徐々にリーディングのレベルを深め、より高度な英語の運用能力を身につけることを目標とする。授業は基本的にテキストを中心に行う。
授業スケジュール	英語力を高めるために様々な話題や出来事について関心を抱くと同時に楽しく多面的な英語学習を行う。
準備学習	新聞や本などで自然科学の欄があったら読んでおくこと。
履修上の留意点	出席は大切ですので重視します。語学の特質として持続の心構えが大切ですので宿題や課題提出を求めることがあります。
成績評価の方法	出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、前期、後期試験の総合評価で示します。
教科書/テキスト	'Science World' Vol.2 朝日出版社
参考書	開講時に指示します。
その他	欠席はなるべく避けて下さい。

履修コード	350301
科目名	英語II B
担当者名	林 孝憲
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	速読の訓練を行うと同時に、正確に構文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。 中級の英文をできるだけ速く読めるようにし、必要に応じて精読も行う。内容は時事的な社会科学であり、アメリカの現状を扱ったものである。
授業スケジュール	1, 2回 : Laughing Matters 3, 4回 : A Spreading Problem 5, 6回 : Juneteenth 7, 8回 : Father's Day 9, 10回 : Watch Your Language 11, 12回 : A New York States of Mind 13, 14回 : Illegal 15, 16回 : Living with Animals 17, 18回 : Speaking of Facebook 19, 20回 : What Men want 21, 22回 : Don't Shoot 23, 24回 : Good Question 25, 26回 : Making the Grade 27, 28回 : And Justice for All 29, 30回 : The U. S. A. at a Glance
準備学習	単語の意味調べなどの予習が必要となる。
履修上の留意点	
成績評価の方法	平常での発表及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。平常点40%、前後期の試験60%を基準とする。
教科書/テキスト	『U. S. A. Update いま、アメリカを読む』(南雲堂) 1700円+税 ISBN978-4-523-17693-0
参考書	

履修コード	259501
科目名	英語II B
担当者名	ピアス. D. M.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	During most of the class period you will be talking to each other in groups or pairs. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. It is a process not of learning more English, but of learning to use what you already know. The English level you achieve should enable you to communicate in ordinary script exchanges: buying things, getting information, making reservations.
---------------------	--

授業スケジュール	SCHEDULE OF TOPICS																														
	<table> <tr> <td>CLASS 1 Addressing people</td> <td>CLASS 16 Consumption</td> </tr> <tr> <td>CLASS 2 Addressing people</td> <td>CLASS 17 Courtship</td> </tr> <tr> <td>CLASS 3 Social hierarchy</td> <td>CLASS 18 Courtship</td> </tr> <tr> <td>CLASS 4 Social hierarchy</td> <td>CLASS 19 Adolescence</td> </tr> <tr> <td>CLASS 5 Self expression</td> <td>CLASS 20 Adolescence</td> </tr> <tr> <td>CLASS 6 Self expression</td> <td>CLASS 21 Social classes</td> </tr> <tr> <td>CLASS 7 Gift-giving</td> <td>CLASS 22 Social classes</td> </tr> <tr> <td>CLASS 8 Gift-giving</td> <td>CLASS 23 Candor</td> </tr> <tr> <td>CLASS 9 Informality</td> <td>CLASS 24 Candor</td> </tr> <tr> <td>CLASS 10 Informality</td> <td>CLASS 25 Authority</td> </tr> <tr> <td>CLASS 11 News coverage</td> <td>CLASS 26 Authority</td> </tr> <tr> <td>CLASS 12 News coverage</td> <td>CLASS 27 Employment</td> </tr> <tr> <td>CLASS 13 Personal freedom</td> <td>CLASS 28 Employment</td> </tr> <tr> <td>CLASS 14 Personal freedom</td> <td>CLASS 29 Politicians</td> </tr> <tr> <td>CLASS 15 Consumption</td> <td>CLASS 30 Politicians</td> </tr> </table>	CLASS 1 Addressing people	CLASS 16 Consumption	CLASS 2 Addressing people	CLASS 17 Courtship	CLASS 3 Social hierarchy	CLASS 18 Courtship	CLASS 4 Social hierarchy	CLASS 19 Adolescence	CLASS 5 Self expression	CLASS 20 Adolescence	CLASS 6 Self expression	CLASS 21 Social classes	CLASS 7 Gift-giving	CLASS 22 Social classes	CLASS 8 Gift-giving	CLASS 23 Candor	CLASS 9 Informality	CLASS 24 Candor	CLASS 10 Informality	CLASS 25 Authority	CLASS 11 News coverage	CLASS 26 Authority	CLASS 12 News coverage	CLASS 27 Employment	CLASS 13 Personal freedom	CLASS 28 Employment	CLASS 14 Personal freedom	CLASS 29 Politicians	CLASS 15 Consumption	CLASS 30 Politicians
CLASS 1 Addressing people	CLASS 16 Consumption																														
CLASS 2 Addressing people	CLASS 17 Courtship																														
CLASS 3 Social hierarchy	CLASS 18 Courtship																														
CLASS 4 Social hierarchy	CLASS 19 Adolescence																														
CLASS 5 Self expression	CLASS 20 Adolescence																														
CLASS 6 Self expression	CLASS 21 Social classes																														
CLASS 7 Gift-giving	CLASS 22 Social classes																														
CLASS 8 Gift-giving	CLASS 23 Candor																														
CLASS 9 Informality	CLASS 24 Candor																														
CLASS 10 Informality	CLASS 25 Authority																														
CLASS 11 News coverage	CLASS 26 Authority																														
CLASS 12 News coverage	CLASS 27 Employment																														
CLASS 13 Personal freedom	CLASS 28 Employment																														
CLASS 14 Personal freedom	CLASS 29 Politicians																														
CLASS 15 Consumption	CLASS 30 Politicians																														

準備学習	Class preparation: The course proceeds exactly according to the series of topics in the textbook. You can prepare for the upcoming class by reading the first five pages, starting from the last exercise of the class.
------	---

履修上の留意点

成績評価の方法	<p>PARTICIPATION: We hope that you will participate in all classes, but allowance is made for marriages, funerals, interviews, seminars, sports events, and illness.</p> <p>EVALUATIONS: Informal and sporadic evaluations will be made of your absorption of the textbook material throughout the year, but there will be no major full-period examinations.</p> <p>FINAL ASSESSMENT: 70% of the assessment of your English ability depends on your spoken English in class, evaluated by comparison with your ability in the first class meeting.</p>
---------	---

教科書/テキスト	Textbook: Sociology, Economics, Political Science, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2006
----------	--

参考書

履修コード	257501
科目名	英語II B
担当者名	本間 俊一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Text の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常的な生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。 学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。 教材として、映画映像を利用し、スクリプトを音声で理解する力を養う。
---------------------	--

授業スケジュール	4月 ガイダンス 4月中旬～7月 Text Unit1～Unit7(p. 17-p. 58) の学習 7月後半 前期授業内テスト 9～12月 Text Unit8～Unit15(p. 59-p. 97) の学習 12月中旬 後期授業内テスト
----------	--

準備学習	授業前に、次回学習する内容を予習し、疑問点を明らかにして、講義にのぞむように努力したい。
------	--

履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
---------	---

成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。 授業の出席は3分の2以上必要、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、授業外でもパソコン・ネットワークを利用して、提出可能であるからその方法を習熟されたい。
---------	---

教科書/テキスト	Roman Holiday 『ローマの休日』 (英光社) 2,000円 ISBN 978-4-87097-103-5
----------	--

参考書	
-----	--

その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。 USBフラッシュメモリを携帯すると便利です。
-----	---

履修コード	257801
科目名	英語II B
担当者名	町田 成男

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBで学んだ英語力を基礎として、英語を理解する能力の向上を目的とします。リーディングに関しては、現代アメリカを理解する上で必要不可欠なトピックを紹介した英文を、より速く正確に読む訓練を行っていきます。リスニングに関しては、TOEICのリスニング問題等を毎時間行う予定です。
---------------------	--

授業スケジュール	(1～14週) Chapter1～7 (15週) テスト (16～29週) Chapter 8～15 (30週) テスト
----------	--

準備学習	毎時間必ず辞書を持ってくること。 常に予習復習に努め、分からないことは遠慮無く教員に質問すること。
------	--

履修上の留意点	出欠は必ず取る。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。 毎時間全員を指名する予定なので、教科書の予習は不可欠。
---------	--

成績評価の方法	出席、発表50%、テスト50%の割合で評価する。
---------	--------------------------

教科書/テキスト	現在未定につき、一回めの授業で発表。
----------	--------------------

参考書	
-----	--

履修コード	258901
科目名	英語ⅡB
担当者名	町田 成男
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英文に対する思考方法を学び、運用能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、実践的な英文読解および、速読法を学ぶ。
授業スケジュール	1 イントロ (1) 2 英文の構成速読法 (2~12) 3 前期のまとめ (13~14) 4 前期試験 (15) 5 長文英語の読解法 (16~27) 6 後期のまとめ (28~29) 7 後期試験 (30)
準備学習	五文型と文法の基礎を復習しておく。
履修上の留意点	出席しているだけでは評価されない。積極的な授業態度が求められる。
成績評価の方法	出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。
教科書/テキスト	現在未定につき一回めの授業で発表。
参考書	

履修コード	257201
科目名	英語ⅡB
担当者名	三木 望
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) あるテーマについて異なる二つのテキストあるいは動画を視聴することによって、そのテーマに関する語彙を習得して、多角的な視野(批判的思考)を培う。グループ活動とペア活動を交えながら、パラグラフ・リーディングを行う。 (到達目標) 長文の内容を図式化して、論理的な読解力を身につける。 各パラグラフのトピックと主な内容を述べるができる。 各トピックについて英語で情報をまとめることができる。
授業スケジュール	(前期) (第1回) オリエンテーション(授業の概要、評価方法等) (第2回) Chapter 1: Education and Student Life (第3回) Chapter 1: Education and Student Life (第4回) Chapter 1: Education and Student Life (第5回) Chapter 2: City Life (第6回) Chapter 2: City Life (第7回) Chapter 2: City Life (第8回) Chapter 3: Business and Money (第9回) Chapter 3: Business and Money (第10回) Chapter 3: Business and Money (第11回) Chapter 4: Jobs and Professions (第12回) Chapter 4: Jobs and Professions (第13回) Chapter 4: Jobs and Professions (第14回) 予備日 (第15回) 期末テスト (後期) (第16回) オリエンテーション(授業の概要、評価方法等)、Chapter 6: Global Connections (第17回) Chapter 6: Global Connections (第18回) Chapter 6: Global Connections (第19回) Chapter 7: Language and Communication (第20回) Chapter 7: Language and Communication (第21回) Chapter 7: Language and Communication (第22回) Chapter 8: Tastes and Preferences (第23回) Chapter 8: Tastes and Preferences (第24回) Chapter 8: Tastes and Preferences (第25回) Chapter 9: New Frontiers (第26回) Chapter 9: New Frontiers (第27回) Chapter 10: Ceremonies (第28回) Chapter 10: Ceremonies, Steve Jobs' commencement speech in Stanford University (第29回) Steve Jobs' commencement speech in Stanford University (第30回) 期末テスト
準備学習	辞書を必ず持参する。毎回小テストを行うので、必ず予習すること。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。遅刻3回で、欠席1回とみなす。
成績評価の方法	小テスト(30%)、授業活動、提出物(10%)、期末テスト(60%)
教科書/テキスト	(1) Pamela Hartmann, Elaine Kirn (2) Interactions 2: Reading (3) McGraw-Hill (4) 2415 円 (5) ISBN: 978-007-125827-2
参考書	

履修コード	256121
科目名	英語ⅡB
担当者名	水崎 野里子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語で書かれた詩を読んで行くことで英語の読解力と平明・簡潔な英語の文章に慣れて行きます。
授業スケジュール	前期 1.ガイダンス 2～11 読解練習。前期試験。 後期 読解練習。後期試験。
準備学習	できれば予習が望ましい。
履修上の留意点	積極的な授業参加を希望します。辞書は必ず持参のこと。
成績評価の方法	前期・後期二度の年末試験・出席点・授業態度・授業参加度によって総合評価します。
教科書/テキスト	最初の授業で指示します。 担当教師(水崎)から購入のこと。
参考書	場合に応じて指示・配布します。
その他	テキストと別に英語資料プリントを配布します。 各自フォルダーを用意してください。

履修コード	254901
科目名	英語ⅡB
担当者名	三輪 久恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テキストに添って、英語の基本項目を習得することをめざします。語学能力とともに、あわせてコミュニケーションにおいて異文化の視点からものを見て、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを理解することの重要性を学びます。
授業スケジュール	教材としては、テキストを中心に進みます。その他、ハンド・アウトも使用します。 第1回：丁寧なガイダンスを行ないます。 第2～3回：You and I are Equals. 第4回：Exercise 第5回：Thinking and Guessing 第6～7回：You and I are Close Friends 第8回：Exercise 第9～10回：You and I are Relaxed 第11回：Exercise 第12回：You and I are Independent 第13回：Exercise 第14回：People as Individuals 第15回：Exercise 第16回：夏休み明けのミニ・レポート 第17回：First Thanksgiving Day 第18～19回：Columbus-From Hero To Fall Guy 第20～22回：The Dramatic Incidents Leading Up To The American Revolution 第23回：1つの単語でも様々な意味を持つ事があり文章の中で判断する、文法をはずさない。 第24～25回：The Freedom Trail 第26回：ビデオ使用 第27回：中・テスト 第28回：単語を日本語の単語で置き換えるのではなく、概念として捉えたと様々な応用がきく。 第29回：単なる訳のための訳ではなく、作者の言わんとすることを捉える。 第30回：中間試験・ビデオも使用の予定
準備学習	テキストの予習等の準備が大切です、それだけは年間を通して忘れないように。
履修上の留意点	授業内のテストも行ないませんが、刺激となるように、予告をしないこともあります。授業は皆さんが1度も欠席をしないものと思って計画を立てていますから、欠席をしないようにして下さい。
成績評価の方法	予習や授業への積極的な参加を求めます。授業中15分程度の小テスト・ミニレポート等の提出物が8回程度あります。課題は授業内容に添ったもので、授業を真面目に受けていれば取り組めるようなやさしい内容を心がけています。中間試験も行なう予定で、そうした総合評価によって成績を出します。普段出席していない学生は、成績も記録されないこととなりますから、気を付けて下さい。
教科書/テキスト	前期用：Polite Fictions in Collision (金星堂) 1250円 後期用：The Spirit of New England (旺史社) 1500円
参考書	

履修コード	259971
科目名	英語II B
担当者名	三輪 久恵

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	テキストに添って、英語の基本項目を習得することをめざします。語学能力とともに、あわせてコミュニケーションにおいて異文化の視点からものを見て、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを理解することの重要性を学びます。
---------------------	---

授業スケジュール	教材としては、テキストを中心に進みます。その他、ハンド・アウトも使用します。 第1回：丁寧なガイダンスを行いません。 第2～3回：You and I are Equals. 第4回：Exercise 第5回：Thinking and Guessing 第6～7回：You and I are Close Friends 第8回：Exercise 第9～10回：You and I are Relaxed 第11回：Exercise 第12回：You and I are Independent 第13回：Exercise 第14回：People as Individuals 第15回：Exercise 第16回：夏休み明けのミニ・レポート 第17回：First Thanksgiving Day 第18～19回：Columbus-From Hero To Fall Guy 第20～22回：The Dramatic Incidents Leading Up To The American Revolution 第23回：1つの単語でも様々な意味を持つ事があり文章の中で判断する、文法をはずさない。 第24～25回：The Freedom Trail 第26回：ビデオ使用 第27回：中・テスト 第28回：単語を日本語の単語で置き換えるのではなく、概念として捉えると様々な応用がきく。 第29回：単なる訳のための訳ではなく、作者の言わんとすることを捉える。 第30回：中間試験・ビデオも使用の予定
----------	--

準備学習	テキストの予習等の準備が大切です、それだけは年間を通して忘れないように。
------	--------------------------------------

履修上の留意点	授業内のテストも行ないませんが、刺激となるように、予告をしないこともあります。授業は皆さんが1度も欠席をしないものと思って計画を立てています。欠席をしないようにして下さい。
---------	--

成績評価の方法	予習や授業への積極的な参加を求めます。授業中15分程度の小テスト・ミニレポート等の提出物が8回程度あります。課題は授業内容に添ったもので、授業を真面目に受けていけば取り組めるようなやさしい内容を心がけています。中間試験も行なう予定で、そうした総合評価によって成績を出します。普段出席していない学生は、成績も記録されないこととなりますから、気をつけて下さい。
---------	--

教科書/テキスト	前期用：Polite Fictions in Collision (金星堂) 1250円 後期用：The Spirit of New England (旺史社) 1500円
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	256501
科目名	英語II B
担当者名	山口 晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBでの勉強をさらに進める形で、より深いreadingへと進んでいきます。
---------------------	---------------------------------------

授業スケジュール	英文のテキストを毎回ていねいに検討していきます。
----------	--------------------------

準備学習	プリントはあらかじめ配りますので、めいめいで一回まず予習をしておいてください。これはとても大切なことです。授業の中でほかの人の発表に耳を澄まし、自分の内容との相違を考えてください。
------	--

履修上の留意点	三分の二以上の出席が必要です。 授業ではかならず、毎回、英和・和英の辞書を持ってきてください。 遅刻するとその日は発表に当たりませんので、遅刻のないようにしてください。
---------	--

成績評価の方法	出席、発表、レポートによる総合評価です。
---------	----------------------

教科書/テキスト	プリントを配布します。
----------	-------------

参考書	授業の中で、随時紹介します。
-----	----------------

履修コード	255901
科目名	英語II B
担当者名	渡辺 彰子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 近代的な話題に触れパラグラフの大意を把握しながら、文章全体の論理的構成を理解することを旨とする。学期末には興味のあるトピックに関連する話題を検索し、グループプレゼンテーションを行う。</p> <p>到達目標 300語～350語程度の英文から、単語力、文法力、理解力を強化するとともに、Sense Group Reading, Previewing and Predicting, Scanning, Skimmingなどのリーディングスキルを習得することで、速読に必要な能力の養成も行なう。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>テキストを一章から順番に読み進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Men Are From Mars, Women Are From Venus 2. Chocolate 3. Product Placement 4. Fart Tax 5. Blogs 6. The Placebo Effect 7. Sedna 8. The Amazon 9. Space Junk 10. ID Theft 11. Euthanasia 12. Honorifics 13. -15. Group Presentation 16. Beauty in Media 17. Sweatshop 18. Aroma Oils 19. German Education 20. Peter Jackson 21. Women in New Zealand 22. Wine in France 23. The Pygmalion Effect 24. Multinational Business 25. -27. Group Presentation 28. -30. Summary
----------	--

準備学習	<p>準備学習は授業内及びYeStudyで連絡をするので、毎回必ず確認し予習をすること。授業内容に関連したHPを取り扱う場合は、関連したメディアに目を通しておくこと。各トピックに関する重要単語は確認をしますので、毎回復習を怠らないこと。課題は期限内に提出すること。</p>
------	--

履修上の留意点	
成績評価の方法	<p>各トピック終了後に課せられる課題（グループワークを含む）60%、レポート（年2回出題）20%、平常点（トピックで使用された単語の確認、授業内での発表や発言などを含む）20%</p>

教科書／テキスト	<p>富岡龍明、James Hill『Read Better to Write Better』金星堂 2205円 ISBN4-7647-3757-4</p>
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	258201
科目名	英語II B
担当者名	渡部 孝治

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>文法・構文の基礎を確認しながら、英文の読解力を伸ばすことを中心に授業を行います。スラッシュ・リーディング（意味のまとまりごとの読み方）、スラッシュ・リスニング（意味のまとまりごとの聞き方）をマスターさせていきたい。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>英文の読解力を伸ばすために、スラッシュ・リーディングをマスターさせていきます。前期は基礎的なものを中心に、後期はその応用を実践します。リスニングにも力を入れていきます。</p>
----------	---

準備学習	<p>授業時に当てていきますのテキストの予習を必ずしておくこと。</p>
------	--------------------------------------

履修上の留意点	<p>初回の授業には必ず出席するよう、お願いします。 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価。</p>
---------	-----------------------------------

教科書／テキスト	<p>開講時に指示します。</p>
----------	-------------------

参考書	<p>開講時に指示します。</p>
-----	-------------------

履修コード	295901 295902
科目名	英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	安齋 薫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Reading、Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 Introduction 第2. 3. 4回 My heart will go on 第5. 6. 7回 Open arms 第8. 9. 10回 Oasis 第11. 12. 13回 A whole new world 第14. 15回 まとめ・テスト 第16. 17. 18回 Kiss of life 第19. 20. 21回 Every time I close my eyes 第22. 23. 24回 Life 第25. 26. 27回 The stranger 第28. 29回 All I want for Christmas is you 第30回 テスト
----------	--

準備学習	辞書、電子辞書を使用し、事前に目を通しておくこと。
履修上の留意点	授業中の携帯の使用は禁止。
成績評価の方法	出席状況 (2/3以上の出席が原則) 前後期試験、レポートで評価
教科書/テキスト	English with Hit Songs (成美堂) ¥2100+税 ISBN978-4-7919-3086-9
参考書	

履修コード	296901 296902
科目名	英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	木元 喜久子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 価値観の多元化と一元化が拮抗しつつあるこのグローバル社会において、多元国家の先駆としてのアメリカの問題はいずれ各国が直面する様々な課題を提示している。政治から文化まで20の多角的な視点から巨大国家の実像に迫る。 (授業目標) 英語ⅡBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、速度をあげて読む実践的な読解スキルの習得を目指す。また、大意の把握を心がけ、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。
---------------------	---

授業スケジュール	前期: Ch. 1~7, Which America? Which Americans?, Melting Pot or Vegetable Soup?, No Easy Task, Immigrants, Whose Right is Right? A Time for Change, The Right to Bear Arms 前期の最後の授業日は理解度の確認、 また各章の終了毎にリスニング教材を使って、聞き取りの練習をする。 後期: Ch. 8, 9, 10, 11, 14, 16, 18, 19, 20, Soul Mates, It's My Body, A National Health Care Plan, Education in America, Spreading the Wealth, The Will of the People, One Nation?, The Road Ahead 後期の最後の授業日は理解度の確認、 また前期同様リスニング教材を使って、聞き取りの練習を継続する。
----------	---

準備学習	特になし。
履修上の留意点	十分な予習と積極的な授業参加が求められる。毎回、辞書は必携のこと。(電子辞書も可) 全授業の3分の2以上必ず出席すること。
成績評価の方法	前後期の学期末試験の成績60%(欠試は不可)、平常点(授業中の発表、課題、レポート、小テスト)40%で総合評価する。
教科書/テキスト	John Tilmant, 庭野義弘(著者)、America: Images and Realities 「アメリカ そのイメージと実像」(成美堂) ISBN978-4-7919-5092-8
参考書	

履修コード	296911 296912
科目名	英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	熊沢 和明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(1) 講義のねらい: 英語の基礎的な語学力を確認し、平易な英語の読解能力を引き伸ばすことをねらいとします。 (2) 講義の内容: 平易な英語の、異文化理解を目的にした教科書を使います。前期は、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばします。ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。頻繁に簡単なパフォーマンスをこころみます。後期は、読解速度と内容理解、要旨要約の能力を引き伸ばすことに特化した練習に進みます。毎時間読んだアメリカ文化についての内容を、教科書で学んだ表現を利用して手際よく要約する作業を課します。
---------------------	---

授業スケジュール	前期 Unit1 How to Be a Sophomore after Only One Semester Unit2 Meeting a War Witness in America Unit3 Americans Can't Speak English! Unit4 Why Are Americans Strict about Alcohol? Unit5 Why Do College Girls Dress Casually for Class? Unit6 Are Guns Easy to Get in America? Unit7 Why Are So many Americans Overweight? 後期 Unit8 Getting a Driver's License Unit9 Americans Don't Carry Umbrellas Unit10 A TV Channel Specifically for African-Americans Unit11 Why Do Americans Have Parties at Their House? Unit12 The Amish Unit13 Dead Animals on the Road Unit14 African-American and Caucasian Students Don't Mix Unit15 Why Can't I Smoke in a Restaurant? 課題 Unit16-20
----------	---

準備学習	単語ノートを片手に、教科書に軽く目を通し、不明な点をはっきりさせてきてください。
履修上の留意点	アメリカ文化という異文化理解が目的の教科書ですので、教員が知ったかぶりの雑学を振りかざしてうんざりすることもあります。単位修得に必要な試験と考えて、耐え忍んでください。
成績評価の方法	発表、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書/テキスト	Why Is That? (金星堂)
参考書	開講時に適時指示、プリントを配布します。
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。教員所有のiPad、XBOX360、PS3を活用した授業をします。英語で楽しくまた真剣に遊ぶ、ということにもトライしてみます。

履修コード	296301 296302
科目名	英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	平野 桃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度を上げる。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 オリエンテーション 前期 教科書の前半 前期末テスト 後期 教科書の後半 学年末テスト
----------	---

準備学習	辞書をよくひきながら、予習・復習する
履修上の留意点	出席を重視します。 熱意を高く評価します。
成績評価の方法	前期、後期末に行うテストが70% 出席や、授業中に行う小テスト、レポートなどが30%
教科書/テキスト	Europe-A Changing Continent John H. Randle, Atsushi Mukuhira 成美堂 ¥1,800 ISBN978-4-7919-3084-5
参考書	

履修コード	296201 296202
科目名	英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	高野 秀夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	プリントと教科書で授業を進めます。 プリントの英字新聞、雑誌、インターネット等の記事では、日常生活に役立つ英文を読みます。教科書では、イギリスのロンドンで展開される主人公の物語を読みます。Natural Speedで英文を聞き取り、逐語訳しながら易しい英語による質疑応答で本文の内容理解を図ります。いろいろな視点でイギリス文化についての知識を深めて、読物の面白さを味わいながらリーディングの能力向上に努めます。
---------------------	--

授業スケジュール	プリントの授業では、現在、世間で話題になっている英文記事をQ&Aで進めます。教科書の授業では、本文の内容に沿って年間計画を立てています。前期は7-23頁、後期は24-43頁まで進む予定です。
----------	---

準備学習	英語による質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
履修上の留意点	普段から、興味深い英語の読物には積極的に眼を通すこと。
成績評価の方法	前・後期末試験、平常点(出席、レポート等)
教科書/テキスト	Mrs Dalloway(南雲堂) ISBN 0-14-081342-X
参考書	
その他	出席には、特に気をつけること。

履修コード	296501 296502
科目名	英語ⅡB 英語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	高野 秀夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	プリントと教科書で授業を進めます。 プリントの英字新聞、雑誌、インターネット等の記事では、日常生活に役立つ英文を読みます。教科書では、イギリスのロンドンで展開される主人公の人生の物語を読みます。Natural Speedで英文を聞き取り、逐語訳をしながら易しい英語による質疑応答で本文の内容理解を図ります。いろいろな視点でイギリス文化についての知識を深め、物語の英文の面白さを味わいながらリーディングの能力向上に努めます。
---------------------	--

授業スケジュール	プリントの授業は、世間で話題になっている英文記事をQ&Aで進めます。教科書の授業は本文の内容に沿って年間計画を立てています。前期は7-23頁、後期は24-43頁まで進む予定です。
----------	---

準備学習	英語による質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
履修上の留意点	普段から、興味深い英語の読物には積極的に眼を通すこと。
成績評価の方法	前・後期末試験、平常点(出席、レポート等)
教科書/テキスト	Mrs Dalloway(南雲堂) ISBN 0-14-081342-X
参考書	
その他	出席には、特に気をつけること。

履修コード	295801 295802
科目名	英語IIB 英語IIC (会話) 【再クラス】
担当者名	松堂 啓子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語I Bの内容を踏まえ、英語リーディング力、リスニング力の向上を目指さず。
---------------------	--

授業スケジュール	1 ガイダンス 2 Jack and the Beanstalk 3 Sinbad the Sailor (1) 4 Sinbad the Sailor (2) 5 Hansel and Gretel (1) 6 Hansel and Gretel (2) 7 Puss in Boots (1) 8 Puss in Boots (2) 9 Review 10 Sleeping Beauty (1) 11 Sleeping Beauty (2) 12 The Three Spinners (1) 13 The Three Spinners (2) 14 The Three Spinners (3) 15 The Three Spinners (4) 16 Review 17 Alice in Wonderland (1) 18 Alice in Wonderland (2) 19 Alice in Wonderland (3) 20 Aladdin and the Lamp (1) 21 Aladdin and the Lamp (2) 22 Aladdin and the Lamp (3) 23 Review 24 Ali Baba and the Forty Thieves (1) 25 Ali Baba and the Forty Thieves (2) 26 Ali Baba and the Forty Thieves (3) 27 Pinocchio (1) 28 Pinocchio (2) 29 Pinocchio (3) 30 review
----------	--

準備学習	語句の意味、発音等を確認する。
履修上の留意点	単位取得には、3分の2以上の出席が必要。
成績評価の方法	試験の結果9割、平常点1割で評価。
教科書/テキスト	『English Cradle』 センゲージラーニング 2100円 ISBN 978-0-8400-3008-5
参考書	

履修コード	260701
科目名	英語IID
担当者名	梅原 敏弘

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英文で書かれた法律関係の文書を読むための基礎力の養成を目指します。
---------------------	-----------------------------------

授業スケジュール	[授業の内容] 具体的な法律問題を扱った教材を順次読み進みながら、日米の司法制度や法律についての知識を深めると同時に、法律用語の英語表現を学習します。 [授業スケジュール] 前期：第1週 オリエンテーション：第2週～14週 教科書前半部分の講読と表現演習 第15週 前期試験 後期：第16週 前期試験の結果発表：第17週～第28週 教科書後半部分の講読と 表現演習：第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表
----------	---

準備学習	特になし
履修上の留意点	予習は必ずやってきてください。やってこない場合はテストの点から減点ということになります。
成績評価の方法	前期・後期の試験を中心に、予習のし具合、出席状況等を総合的に検討して評価します。
教科書/テキスト	塩野弘明編 『POINT OF LAW 1 (法廷百話)』、発行 南雲堂、定価1600円+税 ISBN4-523-42108-0
参考書	

履修コード	261601
科目名	英語IID
担当者名	久保 ひさ子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	健康、医療、看護に関する用語を覚える。たとえ、自分が、海外に居る場合でも、当地の医療機関も使いながら、自分の心身の健康は、自分で保つことができるのをねらいとする。
授業スケジュール	教科書は閉じ、テキストは見ないで、テープを聴く方法を用いる。 Designer Foods, Cancer, Depression, Heart Disease, The Art of Medicine
準備学習	授業箇所は、一体、何(主語)が、何(目的語)をすると、述べているのか、細かい部分はさておき、概略を考えて、出席して欲しいです。
履修上の留意点	後期は、なるべく本文の和訳をしないで、聞いている英語から、直接理解してしまう方法を目指す。
成績評価の方法	attendance, term-end tests, class works & small tests の合計点
教科書/テキスト	瀬谷幸男他/Healthy Living/南雲堂/1165円
参考書	

履修コード	261001
科目名	英語IID
担当者名	熊沢 和明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。 (1) 講義のねらい：映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。 (2) 講義の内容：現代英語映画を題材にした総合教科書を使い、映画化された社会問題を多読し、語彙力、読解能力を伸ばします。英語字幕を早読みずる能力も身に付けます。
授業スケジュール	前期、Unit1 Volunteer, Unit2 Child Abuse, Unit3 Internet Love, Unit4 Women and Jobs, Unit5 Barrier Free, Unit6 Racial Problems 後期、Unit7 Computer and CG, Unit8 Drugs, Unit9 Modern Medical Treatment, Unit10 Mass Media, Unit11 Major League, Unit12 TV Shopping 課題、Unit13 Aesthetics, Unit14 Abortion, Unit15 Business
準備学習	単語ノートを片手に、教科書に軽く目を通し、不明な点をはっきりさせてきてください。
履修上の留意点	可能な限り、教科書で取り上げる映画を自宅で見てください。
成績評価の方法	発表、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書/テキスト	EVERY MOVIE TELLS A STORY (金星堂)
参考書	開講時に適時指示、プリントを配布します。
その他	PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。教員所有のiPad、XBOX360、PS3を活用した授業をします。英語で楽しく、真剣に遊ぶ、ということにもトライしてみます。

履修コード	260901
科目名	英語IID
担当者名	白鳥 義博

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	学生生活でおそらく最後の英語授業になるため、難易度の高い教材を使用して高度な読解力を養いたい。具体的にはTOEFLテストに照準を合わせて、どのような知的トピックにも太刀打ちできる、頼りがいのある読解力を養成したい。例えばイギリスやアメリカの風土や国民性、文化に関する、難しい評論や研究、あるいは小説作品の原典などをテキストにして、語彙のさらなる増強と読解力ととりわけ難しい用語や内容を独力で読解する力を錬成したい。また、ドラマや映画など、高校までには学ばなかったようなタイプの英語を教材にすることで、英語圏の文化に親しむこともできたら幸いである。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回：ガイダンス 第2回：実力テスト 第3回：読解（1） 第4回：読解（2） 第5回：読解（3） 第6回：読解（4） 第7回：まとめ 第8回：聞き取り（1） 第9回：聞き取り（2） 第10回：聞き取り（3） 第11回：聞き取り（4） 第12回：聞き取り（5） 第13回：まとめ 第14回：予備日 第15回：テスト</p> <p>後期：前期と同じ</p>
----------	--

準備学習	指示に応じて自宅での予習復習を行うこと。
履修上の留意点	遅刻や欠席については共通のガイドラインに従う。
成績評価の方法	前期末試験（50%）および後期末試験（50%）の素点合計に、出席や授業中の態度に関して良い意味でも悪い意味でも顕著なポイントを加・減点する。
教科書／テキスト	プリント教材を使用する。
参考書	

履修コード	260401
科目名	英語IID
担当者名	平野 桃子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	専門書を読むために必要な英文読解力の養成を目標とします。
---------------------	------------------------------

授業スケジュール	<p>論理的な文章を読みこなすためには正確で幅広い語彙力と同時にしっかりした構文に対する知識が不可欠です。それと同時に英語の思考方式に慣れることも必要です。英語の思考の流れにそって理解していけるよう、できる限り頭から訳していくよう指導していくつもりです。</p> <p>前期 第1週 オリエンテーション 第2週—14週 教科書の前半部分の講読 第15週 前期試験 後期 第16週—29週 教科書の後半部分の講読 第30週 後期試験</p>
----------	---

準備学習	予習をしてくること。
履修上の留意点	出席を重視します。必ず辞書を持参し、授業中もよく参照すること。
成績評価の方法	前期、後期末に行うテストが70% 出席や、小テストなどの提出物が30%
教科書／テキスト	Legal Matters—Dramatic Stories behind the Leagal Scenes Masako Oka and Michael Howard Maesaka CENGAGE Learning ￥2100 ISBN 978-4-86312-150-8
参考書	

履修コード	261801
科目名	英語IID
担当者名	手島 敬子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	本授業では、英語 I 日に引き続き、英文を正確に読む上で必要となる語彙、文法に対する理解を深めながら、「読解力の向上」を目標に、標準的な英語文章を効率よく、正確に理解する練習を行います。また、世界で実際に起きた訴訟事件を取り上げた教材を読むことで、法律や裁判に対して関心に向け、現代社会の抱える問題についても考えていきます。
---------------------	--

授業スケジュール	第1回 : ガイダンス 第2回～第14回 : Case 1からCase 10の中から5～6ケースを取り上げて進める予定 第15回 : 前期末試験 第16回 : 答案返却と解説 第17回～第29回 : Case 11からCase 20の中から5～6ケースを取り上げて進める予定 第30回 : 後期末試験
----------	---

準備学習	授業は予習を前提に進めていきます。また事前に配布した課題プリントをもとに、受講者は授業時にプレゼンテーションを行います。従って、受講者は教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。
------	---

履修上の留意点	2/3以上の授業出席と前期・後期末試験の受験が評価の必要条件になります。
---------	--------------------------------------

成績評価の方法	前期・後期末試験 (50～60%)、課題 (30～40%)、授業参加度 (10～20%) に基づき、総合的に評価を行います。
---------	--

教科書/テキスト	Richard Powell著 『法社会の落とし穴』 マクミランランゲージハウス 1, 890円 ISBN 978-4-89585-235-7
----------	--

参考書	特になし。必要に応じプリント配布。
-----	-------------------

履修コード	260601
科目名	英語IID
担当者名	福田 一貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 法学部履修者のための専門書を原書で講読できる基礎力を身につける授業。 (到達目標) 法律に関する英文を読むための読解力と単語力の養成を目指す。基本的な単語をしつかりと押さえながら、徐々に難易度の高い英文を読むことができるようにする。同時に、法律に関する会話の聴解の訓練も行う。こちらで用意したハンドアウトを用いて、最初はゆっくりと読解に必要な単語や知識を確認していくその後、徐々に難易度の高い英文に挑戦していく。(ハンドアウトのレベル等は教室の要望などを踏まえて変更する場合もある。)
---------------------	--

授業スケジュール	(前期) 1. イントロダクション 2. ハンドアウト1の読解、聴き取りその1 3. ハンドアウト1の読解、聴き取りその2 4. ハンドアウト1の読解、聴き取りその3 5. ハンドアウト1の読解、聴き取りその4 6. ハンドアウト1の読解、聴き取りその5 7. ハンドアウト1の復習 8. ハンドアウト2の読解、聴き取りその1 9. ハンドアウト2の読解、聴き取りその2 10. ハンドアウト2の読解、聴き取りその3 11. ハンドアウト2の読解、聴き取りその4 12. ハンドアウト2の読解、聴き取りその5 13. ハンドアウト2の復習 14. 予備日 15. 前期試験 (後期) 16. 前期講評 17. ハンドアウト3の読解、聴き取りその1 18. ハンドアウト3の読解、聴き取りその2 19. ハンドアウト3の読解、聴き取りその3 20. ハンドアウト3の読解、聴き取りその4 21. ハンドアウト3の読解、聴き取りその5 22. ハンドアウト3の復習 23. ハンドアウト4の読解、聴き取りその1 24. ハンドアウト4の読解、聴き取りその2 25. ハンドアウト4の読解、聴き取りその3 26. ハンドアウト4の読解、聴き取りその4 27. ハンドアウト4の読解、聴き取りその5 28. ハンドアウト4の復習 29. 予備日 30. 後期試験
----------	--

準備学習	単語の確認を含めた復習を必ず行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。必ず辞書(電子辞書を含む)を持参すること。
成績評価の方法	前期・後期の試験(80%)、平常点(出席、遅刻状況、受講態度など)(10%)、授業内に行う単語テスト(10%)
教科書/テキスト	配布物
参考書	

履修コード	260501
科目名	英語IID
担当者名	真砂 久晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	法学部の学生が、専門書を原書で講読できる基礎力を身につけられるようにする。
授業スケジュール	(1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。 もしテキストが入荷していない場合は、注文しておくこと。 (2)～(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ。 (15) 前期末テスト (16)～(28) テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
準備学習	言うまでもなく、テキストの予習と復習が重要であるが、特に予習は怠けずに行うこと。
履修上の留意点	出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。
成績評価の方法	前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%) + テスト(75%) = 100%となる。詳細は最初の授業で説明する。
教科書/テキスト	「World Adventures」(金星堂) 2300円(税抜き)
参考書	

履修コード	260801
科目名	英語IID
担当者名	吉沢 栄治郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	高度な読解力達成をめざします。
授業スケジュール	使用するテキストは15単元にわかれており、1単元はリーダー、読解のための語彙ノート、読解のための文法、構文ノートなどから構成されている。2時限かけて1単元を習得する。一時限目には各自がリーダーを予習して授業に臨み、指名されたら読解できるようにしておく。リーダーは暗誦できるくらい読む。二時限目は残りの項目を学習する。語彙や文法、構文ノートも熟読し、リーダーの完全理解に役立てるようにする。 Reading comprehension questions においては質問の理解をまずすること。意味がわかれば解答は容易になるはずである。Listening comprehension questions は教師のほうでCDのかわりに肉声で読み上げ、学生に解答してもらう。 English compositionは指名された学生が板書すること、したがってかならず予習しておくこと。正解は教師が板書するので各自自分の誤りを訂正しておく。 また英文を暗記することも大事な英語上達の方法である。 このようなやりかたを一年間続けてゆく。
準備学習	予習してくることが望ましい。
履修上の留意点	英和辞典をまめに使用して下さい。
成績評価の方法	ペーパーテスト5割、レポート提出3割、平常点2割、などで総合評価します。
教科書/テキスト	エドワード・ホフマン「アメリカン・ポップカルチャー」(朝日出版)
参考書	

履修コード	261501
科目名	英語IID
担当者名	依田 里花

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	社会科学系分野の英文を読みながらトピックに関する知識を深め、英文読解力を高めることを目標にします。語彙、文法、構文にも注意を払いながらある程度まとまった量の文章を正確に読み取ること(精読)を心がけます。効率よく読めるように塊り (meaningful chunk) ごとに前から情報を読み取る練習も行います。
---------------------	--

授業スケジュール	1Unitを1～2回の授業で進めていきます。
----------	------------------------

【前期】

第1回 ガイダンス (要受講)
 第2・3回 Unit 1
 第4・5回 Unit 2
 第6・7回 Unit 3
 第8・9回 Unit 4
 第10・11回 Unit 5
 第12・13回 Unit 6
 第14まとめ
 第15回定期試験

【後期】

第1回 ガイダンス (要受講)
 第2・3回 Unit 7
 第4・5回 Unit 8
 第6・7回 Unit 9
 第8・9回 Unit 10
 第10・11回 Unit 11
 第12・13回 Unit 12
 第14まとめ
 第15回定期試験

準備学習	1. 音読 (／を引く、わからない単語をチェックする) 2. わからない単語を調べる 3. 音読
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。 ・ 辞書を必ず持参してください。 ・ 授業の2/3以上の出席が必要です。 ・ 遅刻3回で1回の欠席になります。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期試験 (50%)、講義への取り組み (50%)
---------	------------------------------

教科書/テキスト	Words to Remember 『心に残る言葉』 桐原書店、563円、ISBN978-4-342-73780-0
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	261711
科目名	英語IID
担当者名	依田 里花

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	社会科学系分野の英文を読みながらトピックに関する知識を深め、英文読解力を高めることを目標にします。語彙、文法、構文にも注意を払いながらある程度まとまった量の文章を正確に読み取ること(精読)を心がけます。効率よく読めるように塊り(meaningful chunk)ごとに前から情報を読み取る練習も行います。
---------------------	--

授業スケジュール	1Unitを1~2回の授業で進めていきます。
----------	------------------------

【前期】
 第1回 ガイダンス (要受講)
 第2・3回 Unit 1
 第4・5回 Unit 2
 第6・7回 Unit 3
 第8・9回 Unit 4
 第10・11回 Unit 5
 第12・13回 Unit 6
 第14まとめ
 第15回定期試験

【後期】
 第1回 ガイダンス (要受講)
 第2・3回 Unit 7
 第4・5回 Unit 8
 第6・7回 Unit 9
 第8・9回 Unit 10
 第10・11回 Unit 11
 第12・13回 Unit 12
 第14まとめ
 第15回定期試験

準備学習	1. 音読 (ノを引く、わからない単語をチェックする) 2. わからない単語を調べる 3. 音読
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習を前提に授業を進めていきますので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。 ・ 辞書を必ず持参してください。 ・ 授業の2/3以上の出席が必要です。 ・ 遅刻3回で1回の欠席になります。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期試験 (50%)、講義への取り組み (50%)
---------	------------------------------

教科書/テキスト	Words to Remember 『心に残る言葉』 桐原書店、563円、ISBN978-4-342-73780-0
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	262301
科目名	英語IIIA
担当者名	佐藤 孝一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	身近な国内外の話題を読解しながら基礎的英語力と運用力の向上を目指す。具体的には、基本文型の習得、リーディング文章の音読・語彙・構文理解・内容理解を順次行う。練習問題で学習した内容を元に、音声聞きながらの空所補充、ダイアログ練習、英文整序をこなして、学習内容の定着を図る。
---------------------	---

授業スケジュール	授業の進め方は、原則として1時間に1章を消化していく。 残りの時間は教科書の内容をE-learningを通して、ネットでの学習に当てる。 E-learningの時間が取れない時には、自宅学習とする。
----------	---

準備学習	授業には辞書を必ず持参すること。テキストを忘れた場合には借りてその日にやる章をコピーして出席するように。本文は前の週に割り当てるので十分な準備をしてくるように。
------	--

履修上の留意点	
成績評価の方法	前期・後期の学期末試験・小テストを総合的に評価する。欠席と遅刻は減点制にします。但し、授業は全体回数の7割以上出ない場合は評価の対象にしません。

教科書/テキスト	「Enjoyable Reading」 成美堂
----------	-------------------------

参考書	辞書は発音記号がついているものか、音声機能付き電子辞書を使うように(自分で判断すること)
-----	--

履修コード	265401
科目名	英語 L L I
担当者名	岩井 洋美
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語の発音を学んだことがない人を対象に、発音記号、個々の音 (母音・子音)、アクセント、リズム、イントネーションを学び、より良い発音を身につけます。同時にリスニングの力を伸ばし簡単な会話ができるようにすることを目標とします。
授業スケジュール	1 イントロダクション、2 発音記号、Ceremony、3 アクセント、School Life、4 リズム、Transportation、5 復習、確認テスト、6 母音 (1)、Outdoor Activities、7 母音 (2)、Weather、8 子音 (1)、Holiday Plans、9 子音 (2)、Resort Area、10 子音 (3) と半母音、Directions、11 復習、確認テスト、12 つながって聞こえる音、Job Experience、13 変化して聞こえる音、Summer Sales、14 復習、確認テスト、15 スピーチ、16 前期復習、確認、17 聞こえなくなる音 (1)、Restaurant、18 聞こえなくなる音 (2)、Arts&Entertainment、19 イントネーション (1)、Sports Events、20 イントネーション (2)、Having a Party、21 復習、確認テスト、22 World English、Health、23 数量表現、Christmas、24 復習、確認テスト、25 Clean Up、26 Our Traditions & Customs、27 Examinations、28 Housing、29 スピーチ、30 復習、確認テスト
準備学習	テキストのわからない単語を調べておくこと。 テキストのダウンロード音声を利用して声に出して復習をしておくこと。
履修上の留意点	授業でも家でも意欲的に声を出して練習をし、恥ずかしがらずに発話、発表する学生を望みます。遅刻欠席は減点し、3分の1以上欠席した人は単位を取得できません。人数が多い場合は人数制限をしますので、第1回目の授業に必ず出席のこと。
成績評価の方法	前後期学期末試験40%、確認テスト、スピーチ40%、平常点20%
教科書/テキスト	杉森幹彦ほか著、English Sounds, English Minds、金星堂、1800円、ISBN 978-4-7647-3938-3 Practical Situations for the TOEIC Test Listening、成美堂、1000円、978-4-7919-3093-7
参考書	

履修コード	265501
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	私の L L I のコースは、アメリカ英語の発音を学ぶ機会がなかった方を対象に、発音の基礎から、アメリカ英語の特色であるリエゾンまでを、みっちり学びます。1年間の学習の終わりには、ニュース英語のリスニングと、スピーキングの入り口まで、到達できるでしょう。前期は、アルファベットの各音を含む発音の基礎を、画像を確認しながら、スキットの練習をも交えて行い、リエゾンの入り口まで到達します。後期は、アメリカ英語の発音の上級コースであるリエゾンを、みっちり学びます。このことによって、日本人には聞き取りにくい、発話される文章の、谷間になる部分の音声、ハッキリ聞き取れるようになるでしょう。ニュース英語で、1年間の仕上げをします。
授業スケジュール	前期: 1回目: Lesson 1-2; 2回目: Lesson 2-3; 3回目: Lesson 4-5; 4回目: Lesson 6-7; 5回目: Lesson 8-9; 6回目: Lesson 10-11; 7回目: Lesson 12-13; 8回目: Lesson 14-15; 9回目: Lesson 16-17; 10回目: Lesson 18-19; 11回目: Lesson 20-21; 12回目: Lesson 22-Appendix 1; 13回目: Appendix 2; 14回目: ニュース英語; 15回目: ニュース英語 2 後期: 1回目: ネイティブ発音への道; 2回目: 英語のアクセントとリズム; 3回目: ナチュラルな発音を目指して; 4回目: 母音の発音; 5回目: Tの発音; 6回目: Lの発音; 7回目: Rの発音; 8回目: 長い語句のアクセント; 9回目: 応用練習; 10回目: V, TH, SZの発音; 11回目: M, N, NGの発音; 12回目: H, K, G, NGの発音; 13回目: 長い文をリズムカルに読む; 14回目: イントネーション; 15回目: 最後に
準備学習	前期は、希望者はUSBをお持ち下さい。復習の際、便利です。後期は、付属のCDを予復習に活用されることをお勧めします。
履修上の留意点	授業、クイズ、履修内容の習得状況の確認は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。受講希望者多数の場合、抽選を行います。
成績評価の方法	クイズ: 30% 履修内容の習得状況の確認: 全2回 各30% (7月下旬に1回、12月下旬から1月上旬に1回) 平常評価としての出席: 10% とします。
教科書/テキスト	前期: 1) Hisako Murakawa 著 2) Sounds Right! Sounds Good! 3) マクミラン・ランゲージハウス 4) 2,000円 5) 4-89585-304-7 後期: 1) Atsushi Mishima 著 2) Sounds Like America 3) センゲージ・ラーニング 4) 2,000円 5) 978-86312-117-1 注意事項: 教科書は3月、4月の時点で2冊とも購入して下さい。後期になると、手に入らなくなる可能性があります。
参考書	特になし。

履修コード	265601
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	私のLL-Iのコースは、アメリカ英語の発音を学ぶ機会がなかった方を対象に、発音の基礎から、アメリカ英語の特色であるリエゾンまでを、みっちり学びます。1年間の学習の終わりには、ニュース英語のリスニングと、スピーキングの入り口まで、到達できるでしょう。前期は、アルファベットの各音を含む発音の基礎を、画像を確認しながら、スキットの練習をも交えて行い、リエゾンの入り口まで到達します。後期は、アメリカ英語の発音の上級コースであるリエゾンを含み、みっちり学びます。このことによって、日本人には聞き取りにくい、発話される文章の、谷間になる部分の音声が、ハッキリ聞き取れるようになるでしょう。ニュース英語で、1年間の仕上げをします。
授業スケジュール	前期：1回目：Lesson 1-2； 2回目：Lesson 2-3； 3回目：Lesson 4-5； 4回目：Lesson 6-7； 5回目：Lesson 8-9； 6回目：Lesson 10-11； 7回目：Lesson 12-13； 8回目：Lesson 14-15； 9回目：Lesson 16-17； 10回目：Lesson 18-19； 11回目：Lesson 20-21； 12回目：Lesson 22-Appendix 1； 13回目：Appendix 2； 14回目：ニュース英語； 15回目：ニュース英語2 後期：1回目：ネイティブ発音への道； 2回目：英語のアクセントとリズム； 3回目：ナチュラルな発音を目指して； 4回目：母音の発音； 5回目：T の発音； 6回目：L の発音； 7回目：R の発音； 8回目：長い語句のアクセント； 9回目：応用練習； 10回目：V, TH, SZ の発音； 11回目：M, N, NG の発音； 12回目：H, K, G の発音； 13回目：長い文をリズムカルに読む； 14回目：イントネーション； 15回目：最後に
準備学習	前期は希望者はUSBをお持ち下さい。復習の際、便利です。後期は、付属のCDを予復習に活用されることをお勧めします。
履修上の留意点	授業、クイズ、履修内容の習得状況の確認は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。受講希望者多数の場合、抽選を行います。
成績評価の方法	クイズ：30% 履修内容の習得状況の確認：全2回 各30% (7月下旬に1回、12月から1月上旬に1回) 平常評価としての出席：10% とします。
教科書/テキスト	前期：1) Hisako Murakawa 著 2) Sounds Right! Sounds Good! 3) マクミラン・ランゲージハウス 4) 2,000円 5) 4-89585-304-7 後期：1) Atsushi Mishima 著 2) Sounds Like American 3) センゲージ・ラーニング 4) 2,000円 5) 978-86312-117-1
参考書	特になし。

履修コード	266001
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	私の L L I のコースは、アメリカ英語の発音を学ぶ機会がなかった方を対象に、発音の基礎から、アメリカ英語の特色であるリエゾンまでを、みっちり学びます。1年間の学習の終わりに、ニュース英語のリスニングと、スピーキングの入り口まで、到達できるでしょう。前期は、アルファベットの各音を含む発音の基礎を、画像を確認しながら、スキットの練習をも交えて行い、リエゾンの入り口まで到達します。後期は、アメリカ英語の発音の上級コースであるリエゾンを含み、みっちり学びます。このことによって、日本人には聞き取りにくい、発話される文章の、谷間になる部分の音声、ハッキリ聞き取れるようになるでしょう。ニュース英語で、1年間の仕上げをします。
---------------------	---

授業スケジュール	前期：1回目：Lesson 1-2；2回目：Lesson 2-3；3回目：Lesson 4-5；4回目：Lesson 6-7；5回目：Lesson 8-9；6回目：Lesson 10-11；7回目：Lesson 12-13；8回目：Lesson 14-15；9回目：Lesson 16-17；10回目：Lesson 18-19；11回目：Lesson 20-21；12回目：Lesson 22-Appendix 1；13回目：Appendix 2；14回目：ニュース英語；15回目：ニュース英語 2
----------	---

	後期：1回目：ネイティブ発音への道 2回目：英語のアクセントとリズム 3回目：ナチュラルな発音を目指して 4回目：母音の発音 5回目：Tの発音 6回目：Lの発音 7回目：Rの発音 8回目：長い語句のアクセント 9回目：応用練習 10回目：V, TH, S, Zの発音 11回目：M, N, NGの発音 12回目：H, K, Gの発音 13回目：長い文をリズムミカルに読む 14回目：イントネーション 15回目：最後に
--	--

準備学習	前期は、希望者はUSBをお持ち下さい。復習の際、便利です。後期は、付属のCDを予復習に活用されることをお勧めします。
------	--

履修上の留意点	授業、クイズ、履修内容の習得状況の確認は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。受講希望者多数の場合、抽選を行います。
---------	--

成績評価の方法	クイズ：30% 履修内容の習得状況の確認：全2回 各30% (7月下旬に1回、12月下旬から1月上旬に1回) 平常評価としての出席：10% とします。
---------	---

教科書/テキスト	前期：1) Hisako Murakawa 著 2) Sounds Right! Sounds Good! 3) マクミラン・ランゲージハウス 4) 2,000円 5) 4-89585-304-7 後期：1) Atsushi Mishima 著 2) Sounds Like America n 3) センゲージ・ラーニング 4) 2,000円 5) 978-86312-117-1 注意事項：教科書は3月、4月の時点で、2冊とも購入して下さい。後期になると、手に入らなくなる可能性があります。
----------	---

参考書	特になし。
-----	-------

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 ひさ子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
---------------------	-------------------------------

授業スケジュール	旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。
----------	---

準備学習	教科書右ページの解説文を前もって読んでおく。
------	------------------------

履修上の留意点	クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。オリエンテーション初回日に入室順に履修学生が決定されます。
---------	---

成績評価の方法	前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点
---------	-----------------------

教科書/テキスト	マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200
----------	---------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	351301
科目名	英語 L L I
担当者名	高野 秀夫
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	どの言語も、初めは音声による意志の伝達です。日本語との違いを再確認し、英語の発音、アクセント、抑揚等に焦点をあてながら、日常生活に役立つ英語の習得に努めます。
授業スケジュール	初めに、プリント配布の授業は、今世間で話題になっている英字新聞、雑誌、インターネット等の記事を使い、Q & Aで授業を進めます。 次に教科書の授業は、本文の内容に沿って年間計画を立てています。前期は Unit 1-6、後期は Unit 7-12まで進む予定です。
準備学習	英語による質疑応答があるので予習は欠かさないこと。
履修上の留意点	日頃から英語で物事を考える機会を多く持つこと。
成績評価の方法	前・後期末試験、平常点(出席、授業態度、レポート等)
教科書/テキスト	World Link Level 1 LSBN 978-1-4240-6818-0
参考書	
その他	普段からNatural speedで、英語が聞けて、話せるようになるように努めること。

履修コード	265801
科目名	英語LLI
担当者名	外池 一子
授業概要/ 到達目標(ねらい)	リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後テキストを使って英語の模擬授業を中心に正確に聞き取れるように練習します。また聞き取ったことをきちんとメモに取り、内容を英語で説明できるようになることを目指します。
授業スケジュール	<p>春学期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 英語の子音(発音記号) 3. 英語の母音(発音記号) 4. 個音の識別 5. 強勢(1) 6. 強勢(2) 7. リズム 8. イントネーション 9. 音声変化(1) 10. 音声変化(2) 11. 音声変化(3) 12. 音声変化(4) 13. 音声変化(5) 14. 固有名詞・外来語 15. 数字 <p>秋学期は下記の他多様なテーマに関する模擬授業を聞いて聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-2. History 3-4. Psychology 5-6. Linguistics 7-8. Public Health 9-10. Biology 11-12. Sociology 13-14. Technology 15. まとめ
準備学習	発音記号に慣れていない受講希望者は、辞書などで少し勉強しておいてください。授業で説明し、練習をしますが、慣れておいた方がよいでしょう。
履修上の留意点	<p>授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、第1回目の授業からユーザーIDとパスワードを用意しておくこと。パスワードを忘れた場合などは授業に参加できません。</p> <p>また、初回に受講の可否を判定するためのテストを行いますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。</p> <p>授業には必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とみなしません。また、コンピューターを使うため、遅刻をすると授業の進行の妨げになるので遅刻をしないこと。</p>
成績評価の方法	授業の進度に合わせて行う試験70%、出席・予習など平常点30%。 出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書/テキスト	開講時に指示します。
参考書	
その他	授業関連の連絡や練習問題・課題提出などにYeStudyを使いますから、コンピューターやメール(携帯は不可)にあまり慣れていない人は授業開始までに練習しておくこと。わからないことがある場合は情報センターのヘルプデスクなどを利用しましょう。
関連リンク	https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/

履修コード	265901
科目名	英語 L L I
担当者名	外池 一子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後テキストを使って英語の模擬授業を中心に正確に聞き取れるように練習します。また聞き取ったことをきちんとメモに取り、内容を英語で説明できるようにすることを目指します。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>春学期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 英語の子音 (発音記号) 3. 英語の母音 (発音記号) 4. 個音の識別 5. 強勢 (1) 6. 強勢 (2) 7. リズム 8. イントネーション 9. 音声変化 (1) 10. 音声変化 (2) 11. 音声変化 (3) 12. 音声変化 (4) 13. 音声変化 (5) 14. 固有名詞・外来語 15. 数字 <p>秋学期は下記の他多様なテーマに関する模擬授業を聞いて聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-2. History 3-4. Psychology 5-6. Linguistics 7-8. Public Health 9-10. Biology 11-12. Sociology 13-14. Technology 15. まとめ
----------	---

準備学習	発音記号に慣れていない受講希望者は、辞書などで少し勉強しておいてください。授業で説明し、練習をしますが、慣れておいた方がよいでしょう。
------	---

履修上の留意点	授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、第1回目の授業からユーザーIDとパスワードを用意しておくこと。パスワードを忘れた場合などは授業に参加できません。
---------	---

また、初回に受講の可否を判定するためのテストを行いますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

授業には必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とみなしません。また、コンピューターを使うため、遅刻をすると授業の進行の妨げになるので遅刻をしないこと。

成績評価の方法	授業の進度に合わせて行う試験70%、出席・予習など平常点30%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
---------	---

教科書/テキスト	開講時に指示します。
----------	------------

参考書	
-----	--

その他	授業関連の連絡や練習問題・課題提出などにYeStudyを使いますから、コンピューターやメール(携帯は不可)にあまり慣れていない人は授業開始までに練習しておくこと。わからないことがある場合は情報センターのヘルプデスクなどを利用しましょう。
-----	--

関連リンク	https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/
-------	---

履修コード	266111
科目名	英語 L L I
担当者名	ピアス. D. M.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	Program Content: During most of the class period you will be talking to each other in groups or pairs. You will not be learning English, but using the English you already know. Simple conversations in mundane activities (banking, restaurants, shopping, etc.) will introduce appropriate vocabulary and speech patterns.
---------------------	--

授業スケジュール	SCHEDULE OF TOPICS CLASS 1 Addressing people CLASS 2 Addressing people CLASS 3 Social hierarchy CLASS 4 Social hierarchy CLASS 5 Self expression CLASS 6 Self expression CLASS 7 Gift-giving CLASS 8 Gift-giving CLASS 9 Informality CLASS 10 Informality CLASS 11 News coverage CLASS 12 News coverage CLASS 13 Personal freedom CLASS 14 Personal freedom CLASS 15 Consumption CLASS 16 Consumption CLASS 17 Courtship CLASS 18 Courtship CLASS 19 Adolescence CLASS 20 Adolescence CLASS 21 Social classes CLASS 22 Social classes CLASS 23 Candor CLASS 24 Candor CLASS 25 Authority CLASS 26 Authority CLASS 27 Employment CLASS 28 Employment CLASS 29 Politicians CLASS 30 Politicians
----------	---

準備学習	Class preparation: The course proceeds exactly according to the series of topics in the textbook. You can prepare for the upcoming class by reading the first five pages, starting from the last exercise of the class.
------	---

履修上の留意点	
成績評価の方法	PARTICIPATION: We hope that you will participate in all classes, but allowance is made for marriages, funerals, seminars and interviews.

EVALUATIONS: There will be sporadic evaluations of your English ability throughout the year, but there will be no formal full-period examinations. Evaluations will be based on parts of the textbook that we have already practiced in class.

FINAL ASSESSMENT: 70% of the final assessment depends on your speaking ability, in comparison with your ability in the first class.

教科書/テキスト	Textbook and materials: We will probably use Sociological Investigation, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class.
----------	--

参考書

履修コード	265701
科目名	英語 L L I
担当者名	真砂 久晃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	英語による口頭コミュニケーション力の基礎を養成する。 前期は、平易な英文のリズムに慣れ、リスニング力を向上させることを目標にし、後期は、前期に養った能力の発展を目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	(1) 年間計画、諸注意などのオリエンテーションを行う。テキストを購入しておくこと。もしテキストが入荷していない場合は、キャンパス内の書店で注文しておくこと。 (2)~(13) テキストに沿って授業を行う。 (14) 前期のまとめ。 (15) 前期末テスト (16)~(28) テキストに沿って授業を行う。 (29) 後期のまとめ、確認 (30) 学年末テスト
----------	--

準備学習	このクラスでは予習より復習が重要になる。 自宅学習では、授業中に学んだ発音やイントネーションを練習し、CDを聞いてリスニング力の向上に努めること。
------	--

履修上の留意点	出席が3分の2に満たない学生は単位を取得できない。
---------	---------------------------

成績評価の方法	前期、後期共に100点満点で成績を出し、前期と後期の成績を足して2で割ったものが最終成績となる。前期、後期共に、平常点(25%) + テスト(75%) = 100%となる。詳細は最初の授業で説明する。
---------	--

教科書/テキスト	「ENGLISH SOUNDS, ENGLISH MINDS」(金星堂) 1800円(税別)
----------	--

参考書

履修コード	354401
科目名	英語L L II
担当者名	梅原 敏弘

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ディクテーションとシャドーイングを軸に聴解力の向上を目指します。
---------------------	----------------------------------

授業スケジュール	前期：第1週 オリエンテーション 第2週 - 第14週 ディクテーションとシャドーイングを中心とした音声訓練 第15週 前期試験 後期：第15週-第29週 ディクテーションとシャドーイングを中心とした音声訓練 第30週 後期試験
----------	--

準備学習	特になし
------	------

履修上の留意点	毎回の予習・復習を怠らないこと。強い意志をもって英語の勉強に臨むこと。
---------	-------------------------------------

成績評価の方法	平常点（ディクテーションとシャドーイングの結果）と前期・後期の試験結果を中心に、授業への積極的参加・出席等を加味して、成績評価をします。
---------	--

教科書/テキスト	教科書は使用しません。
----------	-------------

参考書	
-----	--

その他	教科書は使用せず、音声ファイルを提供するので、毎回 USBメモリーを持ってくること。
-----	--

履修コード	288701
科目名	英語L L II
担当者名	甲斐 捷子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	私のLL-IIのコースでは、今年度、アメリカ国内向けのTVニュース番組である、ABC World Newsを学びます。最も教育性の高いTVニュース番組の1つです。1年間の学習の終わりには、ABC 放送の報道姿勢を通して、一つの、何かとても良い経験をしたという印象が得られるでしょう。私たちが毎朝、TVニュースを耳で聞き、映像を通して理解するのと全く同様に、ABC ニュースが「わかる」ことが、この授業の目標です。
---------------------	--

授業スケジュール	1-2回目：Unit 1: Lady Liberty: Who's That Lady?; 3-4回目：Unit 2: Disaster in the Pacific; 5-6回目：Unit 3: Happiest Person in America; 7-8回目：Unit 4: Working Mom's Guilt; 9-10回目：Unit 5: America's Love: Elephants 11-12回目：Unit 6: McJobs: 50,000 New Jobs; 13-14回目：Unit 7: You and Your Siblings; 15-16回目：Unit 8: 911: Getting Answers; 17-18回目：Unit 9: Food and ADHD 19-20回目：Unit 10: Battle on the Hill; 21-22回目：Unit 11: Our Addiction; 23-24回目：Unit 12: BYU: Fair Punishment?; 25-26回目：Unit 13: Made in America; 27-28回目：Unit 14: Stopping a Killer: Polio 29-30回目：Unit 15: Person of the Week: Anthony Smith
----------	--

準備学習	予め、DVDを見て、どこが聞き取れて、どこが聞き取れないのか、聞き取れない場合、なぜ聞き取れないのか、自分で一通り、確認しておきましょう。
------	---

履修上の留意点	授業、クイズ、履修内容の習得状況の確認は、毎回の出席を前提として行います。大学が認める理由以外の欠席をしないことです。
---------	---

成績評価の方法	クイズ：30% 履修内容の習得状況の確認：全2回 各30%（7月下旬に1回、12月から1月上旬に1回）平常評価としての出席：10% とします。
---------	---

教科書/テキスト	1) Shigeru/Kathleen Yamane著 2) ABC World News 14 3) 金星堂 4) 2、300円 5) 978-4-7647-3936-9
----------	--

参考書	特になし。
-----	-------

履修コード	288601
科目名	英語L L II
担当者名	勅使河原 三保子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	LLIあるいはIA、IBで培った英語力を基礎とし、英語による口頭コミュニケーション力をさらに養成する。聞いたり読んだりした内容を基に自分の考えをまとめ、英語によるディスカッションで発言できるようにする。
授業スケジュール	今日的で、受け取る人の立場によって賛否両論の意見が出そうな話題に関するオンライン視聴覚資料等を用いて、聞く、読む練習をする。次に、聞いたり読んだりしたことを基に自分の考えを英語で書いてまとめ、書いたものを基に英語でディスカッションを行う。 前期1：導入 2～6：グループプレゼンテーションの準備 7～8：グループプレゼンテーション本番 9～13：テーマ1ディスカッションの準備 14～15：テーマ1ディスカッション本番 後期1～6：テーマ2ディスカッションの準備 7～8：テーマ2ディスカッションの本番 9～13：テーマ3ディスカッションの準備 14～15：テーマ3ディスカッション本番
準備学習	YeStudyに掲載の記事やビデオへのリンクを活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	プレゼンテーション、ディスカッションの本番に欠席する者は定期テスト未受検と同等とみなすので必ず出席すること。グループ活動が中心になるので、本番はもちろんのこと準備も毎回出席して他のメンバーに迷惑をかけないようにすること。
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッションにおけるパフォーマンス・貢献度、それに関わる提出物(80%)、平常点(授業態度、YeStudy活用20%)
教科書／テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	
その他	少なくとも授業の半分程度は英語で行いたいので、特に聞き取りが苦手な人は配布物、YeStudyを活用してよく復習するように。

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	三木 望

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) L L I で培った英語力を発展させるために、ハリウッドの俳優による絵本の朗読、長めのリスニング (大学の講義、スピーチ) を通じて、リスニングとスピーキングを養成する。前期は価値観のテーマについて、後期は差別と教育のテーマについて取り上げる。各学期末に自分の意見をまとめて、簡単なディベートを行う、あるいはインターネットで情報を集めて、プレゼンテーションを行う。 (到達目標) Podcast を定期購読して、日常的にリスニングをする習慣を身につける。 英語の視聴覚教材・資料から情報を集めて、意見を形成することができる。 自分の意見をまとめて口頭発表ができる。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期 (第1回) オリエンテーション (授業の概要、評価方法等) Story line Online からアメリカのヒーロー・ヒロインに関係する絵本の朗読を聴く。 (第2回目-第7回目) アメリカの価値観 (1) に関する講義とインタビュー、Steve Jobs のスピーチのリスニングとディスカッション (第8回目-第11回目) アメリカの価値観 (2) に関する講義とインタビュー (第12回目-第15回目) プレゼンテーションもしくはディベート</p> <p>後期 (第16回目) オリエンテーション (授業の概要、評価方法等)。Story line Online から黒人差別に関係する絵本の朗読と関連する映画の一部を視聴する。 (第17回目-第19回目) 公民権運動に関する講義とインタビュー、King 牧師のスピーチを聴く。 (第20回目-第21回目) 女性運動 (ウーマンリブ) に関する講義とインタビューを聴く。 (第22回目-第24回目) プレゼンテーションに向けて brainstorming (教育に関する3つのトピック) (第25回) プレゼンテーションの Visual message (graph, chart, bullet points, point of effective visuals) (第26回) プレゼンテーションの Physical message (posture, eyecontact, voice inflection) (第27回) プレゼンテーションの Story Message (導入) (第28回) プレゼンテーションの Story Message (本文) (第29回) プレゼンテーションの Story Message (結論) (第30回) プレゼンテーション</p>
----------	---

準備学習	Podcast が利用できるように、iTune を自分のパソコンにインストールしておくこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの単位を認めない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。授業及び連絡のEメールは英語で行う。ほぼ毎回Podcastから小テストあるいは単語のテストを行うので、課題が多い。内容及び進度はクラスの状態に応じて、あるいは学生と相談して変更する場合がある。
成績評価の方法	小テスト (40%)、プレゼンテーション (40%)、平常点 (20%)
教科書/テキスト	配布資料及びオンライン資料
参考書	

履修コード	289301
科目名	英語L L III
担当者名	勅使河原 三保子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要：海外留学等でスコアが必要となるTOEFL-iBTの受験準備として、英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）をバランスよく訓練し、磨きをかける。授業では毎回ライティングかスピーキングの時間を取り、英語を自発的に使う。後期後半には毎回、何人かが各自の専門に関する短い口頭発表を行う。</p> <p>到達目標：各自が目標とするTOEFL-iBTのスコアが取れるよう基礎力を身に付け、授業外で勉強を続けていくのに必要な動機を高め、自分で勉強が続けられるようにする。</p>
授業スケジュール	<p>前期1：TOEFL-iBTについて 2～7：Reading①～③ 8：理解度の確認 9～10：Independent Writing 11～14：Reading④～⑤ 15：理解度の確認 後期1～6：Listening①～③ 7：Independent Speaking 8：理解度の確認 9～11：Integrated Writing 12～15：Integrated Speaking</p>
準備学習	YeStudyも活用し、予習復習を行うこと。
履修上の留意点	授業回数の3分の2以上出席しないとテストの受験資格を失う。
成績評価の方法	理解度の確認テスト3回（60%）、プレゼンテーション（20%）、平常点（授業態度、授業内のスピーキング・ライティング等20%）
教科書/テキスト	配付物およびオンライン資料
参考書	1) Educational Testing Service 2) "Official Guide to the TOEFL Test With CD-ROM, 4th Edition" 3) McGraw-Hill 4) ￥2,955 5) 9780071766586
その他	原則として授業は全て英語で行うので、英語による授業に付いていけない人は受講できない。

履修コード	289401
科目名	英語L L III
担当者名	西村 祐子

授業概要/
到達目標 (ねらい)

インターネット上でえられる情報を利用して時事問題を討論する。
欧米の大学レベルでの基礎的な情報整理の訓練を英語でおこなう。
前期は英語による情報収集、サマリー、ディスカッションに主軸をおく。
後期はエッセイライティング、プレゼンテーションを中心に読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、社会問題について自分の考えが明確に英語で表現できるような英語力をつける。
授業はすべて英語でおこなう。質問(メール含む)もすべて英語でおこなう。
SKYPEをつかった海外との交流をおこなう。

受講後 TOEICで800-900程度をとれる実力をめざす。海外留学に支障のないレベルの英語力を養う。

授業スケジュール

前期:

- (1) 自己紹介、The Japan Timesの記事にもとづくディスカッション
- (2) Herald Tribuneの記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The Japan Times上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) 自主選択テーマによる発表とディスカッション (1)
- (5) 自己選択テーマによる発表とディスカッション (2)
- (6) ゲストレクチャーを交えたディスカッション (1)
- (7) 英語によるノートテイキングの基礎とエッセイの書き方 (1)
- (8) 同上 (2)
- (9) Herald Tribuneの記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) The Japan Timesの記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (11) まとめと英語サマリー提出
- (12) 小テスト
- (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期

- (1) 夏休み課題 のまとめ: ディスカッションとプレゼンテーション
- (2) Herald Tribuneの記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The New York Times上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) まとめと小テスト
- (5) Herald Tribuneより記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
- (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション (2)
- (9) The New York Timesの記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) 小テストと英語サマリー提出
- (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
- (12) TOEIC形式模擬試験 (1)
- (13) TOEIC形式模擬試験 (2)

準備学習

英語で自己紹介が2分程度できるように準備しておく。

YeStudyを多用するので使い方に慣れておく。

The Japan Timesなどの英字新聞をすくなくとも週に3回以上は目を通し、ひとつの記事をえらび、それを英語で1分以内でまとめられるような練習をしてみる。

履修上の留意点

本クラスの受講者は自己判断で例年TOEICで700点以上の水準なので、英語力がこれ以下であると自己判断する場合はレベルII(同一講師による英会話IIなど)を推奨する。

成績評価の方法

発表を含む平常点(40%)、提出物40%、小テストスコア(20%)など。

教科書/テキスト

オンラインで入手できる英字新聞 (The Japan Times, Herald Tribune, The New York Times など) および教場にある英語学習ソフト、YouTubeなどのオンラインによるビデオ教材。

参考書

教場で指示する。

その他

Skype用に自宅PCに簡易ヘッドセット(マイクつき)とウェブカメラを用意しておくとい。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

授業概要/
到達目標 (ねらい)

(授業概要)
現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。

(到達目標)
辞書を使ってどうにか8割~9割程度英文を理解し、小説を鑑賞出来るようになること。

授業スケジュール

1	pp. 1-2	プリント (1) 配布	16	pp. 1-2	プリント (2) 配布
2	pp. 3-4	(試訳提出)	17	pp. 3-4	(試訳提出)
3	pp. 5-6		18	pp. 5-6	
4	pp. 7-8		19	pp. 7-8	
5	pp. 9-10		20	pp. 9-10	
6	pp. 11-12	(試訳提出)	21	pp. 11-12	(試訳提出)
7	pp. 13-14		22	pp. 13-14	
8	pp. 15-16		23	pp. 15-16	
9	pp. 17-18		24	pp. 17-18	
10	pp. 19-20		25	pp. 19-20	
11	pp. 21-22	(試訳提出)	26	pp. 21-22	(試訳提出)
12	pp. 23-24		27	pp. 23-24	
13	pp. 25-26		28	pp. 25-26	
14	pp. 27-28		29	pp. 27-28	
15	前期のまとめ		30	後期のまとめ	

準備学習

普段から別の英語の授業等でも構文に関心を持つようにする。

履修上の留意点

遅刻 (交通機関の遅延を除く) 及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試訳 (40%) ②試験 (30%) ③平常点 (30%) で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の平常点が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書/テキスト

プリントを配布します。

参考書

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	福田 一貴
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 英文の基本構造を理解できていることを前提とする。文法構造を捉えて正確に読む力を養い、論旨の内容を把握し、英語を英語として理解できる英文読解力を培うことを目指す。</p> <p>(到達目標) 英語という言葉の最初期から現代までの歴史について書かれたテキストを読んでいく。テキストを通して、英語の背景知識を身につけ、これまでとは少しでも異なった視点で英語を見ることができるようになることを目指す。ただし、基本的に講読の時間なので、テキストを丁寧に読み進める。(クラスによっては進度を多少変更することもありうる)</p>
授業スケジュール	<p>(前期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. Chapter1 (1) 3. Chapter1 (2) 4. Chapter2 (1) 5. Chapter2 (2) 6. Chapter3 (1) 7. Chapter3 (2) 8. Chapter3 (3) 9. Chapter4 (1) 10. Chapter4 (2) 11. Chapter5 (1) 12. Chapter5 (2) 13. Chapter6 (1) 14. Chapter6 (2) 15. 前期試験 <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 前期講評 17. Chapter7 (1) 18. Chapter7 (2) 19. Chapter8 (1) 20. Chapter8 (2) 21. Chapter9 (1) 22. Chapter9 (2) 23. Chapter10 (1) 24. Chapter10 (2) 25. Chapter11 (1) 26. Chapter11 (2) 27. Chapter12 (1) 28. Chapter12 (2) 29. 予備日 30. 後期試験
準備学習	テキストのわからない単語を調べるだけでなく、その内容を大まかにでも把握できるように準備しておいてほしい。そのために、参考書に挙げた本やその他の「英語の歴史」に関する本を読み、予め知識を得ておくことを勧める。
履修上の留意点	講読なので予習が重要となる。
成績評価の方法	前期・後期試験70%、授業への参加度(予習を含める)、授業内の小テストなど30%。
教科書/テキスト	1) Bright Viney 2) The History of the English Language 3) Oxford University Press 4) ISBN978-0-19-423397-2
参考書	1) 唐澤一友 2) 『英語のルーツ』 3) 春風社 4) 2000円 5) ISBN 978-4-86110-283-7

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要： イギリスの戯曲の読み方を学ぶ授業です。2011年夏にロンドンで見たイギリス人劇作家Mike Kennyの作品『The Railway Children』(原作はEdith Nesbitの同名の児童文学)を読みます。作品は子供から大人まで楽しめるものです。辞書を引いて英語を理解することと、現実に近い(ただし説明文に近いセリフも入ります)英語会話と戯曲の読み方・理解の仕方を学びます。</p> <p>到達目標： 辞書を引けば、戯曲を読めるようになることです。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>授業スケジュール 前期： 1回目－授業・戯曲の説明、2～14回目－各回2～4ページずつ進む。15回目－前期末試験。</p> <p>後期： 16回目－前期末試験の解説と戯曲を少し読む、17～28回目－各回2～4ページずつ進む。29回目－授業のまとめと読み残しの分の説明。慣れれば進度をあげます。30回目－後期末試験。</p>
----------	--

準備学習	<p>初回の授業の始まる前に、少なくとも一冊は日本語の戯曲を読んでおいて下さい。</p> <p>授業前： 授業1回分全体について辞書を引いて内容を理解しておいてください。</p> <p>授業後： 学んだ分を読みなおしてください。</p>
------	--

履修上の留意点	<p>初回に50冊のみ注文した関係で、必ず一回目の授業に出て、履修を決めたらすぐに教科書を購入してください。後から注文すると、教科書が高くなり入手が遅くなる可能性があります。どんだん当てますから、必ず予習してくる。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則的に受験資格がなくなります。</p>
---------	--

成績評価の方法	平常点が15%、前期末・後期末試験が85%の成績評価をします。
---------	---------------------------------

教科書/テキスト	Mike Kenny, The Railway Children (the original story by Edith Nesbit), Nick Hern Books, 8.99 pounds, ISBN 978-1-84842-131-8
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	286301
科目名	現代を読むスペイン語
担当者名	齊藤 明美

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化についての簡単なテキストを読んでいきます。さらにインターネット等を利用した実践的な情報収集能力、情報発信力を高めます。</p> <p>前期終了時には、簡単な記事を理解したり、ネットを使つての旅行の計画や現地の友人とメールのやり取りができるようになります。</p> <p>後期が終了するころには、新聞記事を理解する力やインターネット等を利用して現地で住居や仕事を探せる力がついていることでしょう。またフォーマルな文書も書けるようになります。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) オリエンテーション(コース説明、辞書紹介、スペイン語キーボード) (1) (2) スペイン語圏の食習慣、レシピ等 (2-3) (3) スペイン語圏の余暇(旅行(交通手段、ホテル予約)、スポーツ等) (4-7) (4) 職業と賃金に関する簡単な記事を読んでみよう (8-10) (5) 近況報告レター(読解、メール、インフォーマルレターの書き方) (11-13) (6) 映画を通したスペイン社会(批評記事の読解+鑑賞+感想) (14-15) <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> (7) スペインの住宅事情(記事の読解と物件の検索) (16-17) (8) 新聞記事(若者と格差社会) (18-20) (9) スペイン人学生の就職活動(面接風景のビデオ) (21-22) (10) 求人サイト検索、スペイン語履歴書作成、フォーマルレター作成 (23-25) (11) スペインで活躍する日本人紹介記事+応援レター作成 (26-28) (12) 映画を通したラテンアメリカ社会 (29-30)
----------	--

準備学習	この授業ではYeStudyを使用します。
------	----------------------

履修上の留意点	<p>初級文法修了者対象(スペイン語1修了者以上または同程度の実力をもつ者。初心者は受講不可)</p> <p>出席3分の2以上を求めますがやむをえない理由の欠席は考慮します。</p>
---------	---

成績評価の方法	平常点(授業中の発言・態度)(50点)+各テーマの演習問題(20点)+夏休み課題(15点)+後期定期試験または課題(15点)によります。
---------	--

※このクラスは演習スタイルをとります。学生の積極的な授業参加が求められます。

教科書/テキスト	テキストは毎回配布します(100円ショップなどに売っているA4サイズのファイル帳を用意するとよいでしょう)
----------	---

Yestudyにも教材を掲載します。

参考書	<p>必ずスペイン語辞書を持参してください。</p> <p>すでに持っている学生はあたらめて購入する必要はありませんが、未購入の者は初回にいくつか推薦するのでその中から自分に合うものを用意すること。</p>
-----	---

その他	<p>講義内容の順序が前後する場合があります。</p> <p>オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。</p>
-----	--

履修コード	286201
科目名	現代を読む中国語
担当者名	塩旗 伸一郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>日中間にはしばしば摩擦が起きる。「世界の多文化と経済のグローバル化」の中でそれは避けがたいことではあるが、お互いが相手のことをよく知らぬまま、誤解と思いこみから性急に行動したり判断停止に陥ったりするケースがままある。</p> <p>先方に合わせるばかりが能ではないが、日本の地理的位置にあって安寧と幸福を享受しようと思えば、どうしても異なる隣人と平和共存を謀らなければならない。それにはまず相手を知ることが第一歩だ。</p> <p>彼我の違いの背景にある歴史・文化・社会事情を踏まえて人間行動を理解する力は、国籍や体制にとらわれぬ「国際人」に必要な教養である。</p> <p>この授業は、中国現代史における重要なエポックとなったテキストを原文で読み、中国語読解力を養うとともに、中国現代史の学習を通じて、国際人としての平和共存力を高めることを目標とする。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第一課 中華民国の成立 第1週：(1) 胡適「文学改良芻議」 第2週：(2) 「北京学界全体宣言」</p> <p>第二課 抗日戦争 第3週：(3) 毛澤東「論持久戦」 第4週：(4) 「慶祝抗戦最後勝利」</p> <p>第三課 新中国の成立 第5週：(5) 「中華人民共和国土地改革法」 第6週：(6) 「這是爲什麼？」 第7週：復習1</p> <p>第四課 大躍進運動期 第8週：(7) 彭德懷「上毛澤東万言書」 第9週：(8) 姚文元「評新編歴史劇『海瑞罷官』」</p> <p>第五課 文化大革命 第10週：(9) 「五一六通知」 第11週：(10) 「打倒新沙皇」</p> <p>第六課 文革期の終焉 第12週：(11) 「開展對『水滸』的評論」 第13週：(12) 「中國共產党第11届中央委员会第3回全体会議公報」 第14週：復習2 第15週：発展学習1</p> <p>第七課 改革開放のスタート 第16週：(13) 「關於建国以来党的若干歷史問題的決議」 第17週：(14) 胡耀邦「全面開創社会主义現代化建設的新局面」</p> <p>第八課 天安門事件と南巡講話 第18週：(15) 趙紫陽「沿着有中国特色的社会主义道路前進」 第19週：(16) 鄧小平「南巡講話」</p> <p>第九課 朱鎔基と三大改革 第20週：(17) 董建華「在香港特別行政區成立暨特区政府宣誓就職儀式上的講話」 第21週：(18) 朱鎔基「政府活動報告」 第22週：復習2</p> <p>第十課 WTO加盟と胡温体制 第23週：(19) 「布什總統談中国入世」 第24週：(20) 胡錦濤「省部級主要領導幹部提高構建社会主义和諧社会能力專題研討班开班式上的講話」</p> <p>第十一課 現代中国ウォッチング 1 中国の地域発展戦略 第25週：(21) 連戰「在北京大学演講」 第26週：(22) 胡錦濤「在上合組織成員国元首理事会第六次會議上的講話」</p> <p>第十二課 現代中国ウォッチング 2 交通網整備と物流の発展 第27週：(23) 「鐵道部青藏辦常務副主任出席国务院新聞发布会」 第28週：(24) 温家宝「2005年政府活動報告」</p> <p>第十三課 現代中国ウォッチング 3 調和の取れたモラル社会を目指して 第29週：(25) 「汪恕誠部長談南水北調問題」 第30週：(26) 胡錦濤「牢固樹立社会主义榮辱觀」</p>
----------	---

準備学習	テーマ別学習、練習問題への解答、史料の音読と翻訳の準備、ならびにYeStudy上の課題提出が必要。
履修上の留意点	履修には2年間もしくはそれに準ずる中国語学習歴を必要とする。毎回の予習と出席が必須であり、結果は成績に反映する。
成績評価の方法	平常点 (含YeStudy) 100%
教科書/テキスト	三瀆正道・松田徹『現代中国の軌跡——史料と演習』 (金星堂 2500円+税)
参考書	中日辞典は必携。以下の「辞書案内」を参照のこと。 { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhonjisho }
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	286001
科目名	現代を読むドイツ語
担当者名	井村 行子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 2011年6月11日、ドイツ連邦議会で連立与党が提出した原子力法改正法案が成立した。これによって福島第1原発事故直後に運転を停止した8基の原発の操業再開は行わず、残りの9基も段階的に廃止し、2022年までにすべての原発から撤退することが決定した。ここに至る過程を検証し、日本における脱原発の可能性を考える参考にしたい。</p> <p>到達目標 ドイツ語の新聞、雑誌、HPなどを読んで、自分のテーマについて調べることができる能力を身につける。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 日本の原発事故に対するドイツの反応 3. 日本の原発事故に対するドイツの反応 4. 日本の原発事故に対するドイツの反応 5. 日本の原発事故に対するドイツの反応 6. 原発問題倫理委員会の答申 7. 原発問題倫理委員会の答申 8. 原発問題倫理委員会の答申 9. 原発問題倫理委員会の答申 10. なぜ与党は政策を転換したのか 11. なぜ与党は政策を転換したのか 12. なぜ与党は政策を転換したのか 13. なぜ与党は政策を転換したのか 14. まとめ 15. まとめ 16. ガイダンス 17. 他のEU諸国の反応 18. 他のEU諸国の反応 19. 他のEU諸国の反応 20. 他のEU諸国の反応 21. 日本の対策に対するドイツの見方 22. 日本の対策に対するドイツの見方 23. 日本の対策に対するドイツの見方 24. 日本の対策に対するドイツの見方 25. ドイツでのその後の動き 26. ドイツでのその後の動き 27. ドイツでのその後の動き 28. ドイツでのその後の動き 29. まとめ 30. まとめ
----------	---

準備学習	教材を下読みしてきてください
履修上の留意点	
成績評価の方法	平常点
教科書／テキスト	コピーを配布します
参考書	

履修コード	286101
科目名	現代を読むフランス語
担当者名	小黑 昌文

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。フランス語で綴られた文章の読解を通して、フランス語圏の文化・社会に対する関心を広げてください。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>比較的平易な時事フランス語の文章を読み進めてゆきます。講読が中心となりますが、発音に対する意識も高めてゆきます。既習の文法事項については適宜確認しながら進めます。</p> <p>(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2) 大統領選挙 (前) (3) 大統領選挙 (後) (4) ダニー・ル・ルージュ (前) (5) ダニー・ル・ルージュ (後) (6) ベクレル (前) (7) ベクレル (後) (8) おんな経営者 (前) (9) おんな経営者 (後) (10) 世界最大の化粧品会社 (前) (11) 世界最大の化粧品会社 (後) (12) パリ・ディズニーランドへようこそ! (前) (13) パリ・ディズニーランドへようこそ! (後) (14) パリのチャイナタウン (15) 前期のまとめ (16) 白夜 (前) (17) 白夜 (後) (18) 外人部隊 (前) (19) 外人部隊 (後) (20) 愛は牧場に (前) (21) 愛は牧場に (後) (22) ウーマンパワー (前) (23) ウーマンパワー (後) (24) カトリックとプロテスタント (前) (25) カトリックとプロテスタント (後) (26) パン・ケーキ屋さんの守護聖人 (前) (27) パン・ケーキ屋さんの守護聖人 (後) (28) ジャンヌ・ダルク (前) (29) ジャンヌ・ダルク (後) (30) 一年間のまとめ</p>
----------	--

準備学習	読解に際しては初級文法の知識と柔軟な運用能力が求められます。これまでに学習した内容を十分に復習しておいてください。
------	---

履修上の留意点	授業での積極的な発言を期待します。
---------	-------------------

成績評価の方法	前期末授業内試験 (50%) と学年末試験 (50%) の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	ミシェル・サガズ、加藤晴久共著『時事フランス語 2012年度版』(朝日出版社) 本体1,900円+税 ISBN978-4-255-35222-0
----------	--

参考書	適宜紹介します。
-----	----------

履修コード	286401
科目名	現代を読むロシア語
担当者名	木村 英明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	21世紀のロシアは、豊かな天然資源を基盤に、新興国BRICSの一角を担って著しい経済成長維持している。また、天然資源のみならず、長い歴史と多様な民族、そして人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、人類の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。</p> <p>前期 (4-7月) 新聞や雑誌の記事をもとに様々なスタイルのロシア語を読む。 後期 (9-12月) 現在のロシアが直面する社会的課題と政治の対応に焦点を当てた論文を読み解く。</p>
----------	---

準備学習	授業では政治経済から文化領域まで幅広いテーマを取り上げるので、予習による単語の確認のほか、各テーマについて事前に下調べをしておくことが望ましい。
------	--

履修上の留意点	各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。
---------	--

成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価する。
---------	------------------

教科書/テキスト	プリントを配布する。
----------	------------

参考書	辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典
-----	-------------------------------

その他	この授業では直接ロシア語で現地のニュース等にふれていくため、ロシア語の既習者を対象とする。
-----	---

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	梅原 敏弘
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	新聞英語、放送英語、インターネットの英語に慣れることを主眼にします。
授業スケジュール	<p>【授業の内容】 新聞等で話題になったニュースをハンドアウトもしくはファイルの形で配布し、読んでいきま す。放送英語に慣れるために音声付きのニュースを利用し、シャドーイングの練習もします。</p> <p>【スケジュール】 前期：第1週 オリエンテーション：第2週～第14週 配布資料の講読及び シャドーイングの練習：第15週 前期試験 後期：第16週 前期試験の結果発表：第17週～第28週 配布資料の講読及び シャドーイングの練習：第29週 後期試験：第30週 後期試験の結果発表</p>
準備学習	配布された資料の英文を辞書をこまめにひいてしっかり予習してきてください。なお取り上げ られているニュースに関する情報を新聞やインターネットを利用して得ておく、英文の理解が 容易になります。情報の収集に努めてください。
履修上の留意点	予習は必ずしてきてください。アットランダムにあてて訳をやってもらいます。やってこない 場合はテストの点から減点ということになります。 【履修制限について】受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。 初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。
成績評価の方法	前期・後期の試験及びシャドーイングの試験を中心に、予習のし具合、出席状況等を総合的に 検討して評価します。
教科書／テキスト	教科書は使用しません。資料を配布します。
参考書	
その他	資料としてファイルを配布するので、USBメモリーを初回の授業時に持参すること。

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	落合 和昭

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスは時事英語(新聞、雑誌、インターネット、テレビ、ラジオ等で使用されている英語)のリスニングと読解の向上を目指す。授業概要に関しては、授業全体が、主として、三段階からなる。第一段階は、ミニ・テストを通して、その日のテキストの箇所の理解度を見る。第二段階はリスニングをする。第三段階は、学生による英文解釈である。 到達目標としては、このクラスのレベルは英語の中級から上級(英検二級、準一級、一級)の程度の読解力を目指し、かつ、読解力の面で、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	年間の授業計画は次の通りである。
----------	------------------

第一回	オリエンテーション	第十六回	『CNN』 UNIT 1
第二回	『企業』 Chapter 1	第十七回	『CNN』 UNIT 2
第三回	『企業』 Chapter 2	第十八回	『CNN』 UNIT 3
第四回	『企業』 Chapter 3	第十九回	『CNN』 UNIT 4
第五回	『企業』 Chapter 4	第二十回	『CNN』 UNIT 4
第六回	『企業』 Chapter 5	第二十一回	『CNN』 UNIT 5
第七回	『企業』 Chapter 6	第二十二回	『CNN』 UNIT 6
第八回	『企業』 Chapter 7	第二十三回	『CNN』 UNIT 7
第九回	『企業』 Chapter 8	第二十四回	『CNN』 UNIT 8
第十回	『企業』 Chapter 9	第二十五回	『CNN』 UNIT 9
第十一回	『企業』 Chapter 10	第二十六回	『CNN』 UNIT 10
第十二回	『企業』 Chapter 11	第二十七回	『CNN』 UNIT 11
第十三回	『企業』 Chapter 12	第二十八回	『CNN』 UNIT 12
第十四回	プリントによる応用問題	第二十九回	プリントによる応用問題
第十五回	前期のまとめ	第三十回	前期のまとめ

※ 上記の『企業』は使用テキストの『挑戦する企業—ものづくりへの情熱とビジネス成功の秘訣』、『CNN』は『CNN: ビデオで見る世界のニュース(13)』を指す。

準備学習	翌週のテキストの箇所に、わからない単語や表現があれば、必ず、辞書を引き、意味を明らかにしておくこと。また、音読することも忘れないこと。ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしてくること。
------	--

履修上の留意点	出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式(学生参加形式)を取り、学生の積極的な参加を求める。また、最初の授業で、教場の座席数以上の履修希望者がいた場合、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生は、このクラスを受講できない可能性がある。なお、クラスでは、リスニングは毎回行う。
---------	--

成績評価の方法	「前期まとめ」は20%、「後期まとめ」20%、「授業」(課題・授業中の発表・小テスト等)は60%。
---------	---

教科書/テキスト	1) Brenda Hayashi 『挑戦する企業—ものづくりへの情熱とビジネス成功の秘訣』 松 柏社 1,900円 ISBN4-88198-576-0 C3082 2) 関西大学英語教育研究会 『CNN: ビデオで見る世界のニュース(13)』 朝日出版社 2,000円 ISBN978-4-255-15510-4 C1082 3) プリント
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	高野 秀夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	世界の出来事をreal timeでとらえるために、英字新聞とBBCニュースの英語を読みます。
---------------------	--

授業スケジュール	まず、プリント配布による授業では、今、世界で話題になっている英字新聞の記事を読み、Q & Aで授業を進めます。次に、教科書のBBCニュースの授業では本文の内容に沿って年間計画を立てています。前期はUnit 1-6、後期はUnit 7-15まで読む予定です。
----------	--

準備学習	英語による質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
------	---------------------------

履修上の留意点	特に、普段から世界のニュースには気をつけて、大切な情報は取得しておくこと。
---------	---------------------------------------

成績評価の方法	前・後期末試験、平常点(出席、レポート、授業態度等)
---------	----------------------------

教科書/テキスト	Understanding the News English (金星堂) ISBN978-4-7647-3937-6
----------	--

参考書	
-----	--

その他	出席には、特に注意すること。
-----	----------------

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	町田 成男

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	海外の雑誌からの記事や社説を読みます。少し手ごわい内容になるかもしれませんが、そういうものに慣れていただければと思っています。詳しくは4月第1週の授業で指示します。 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。
---------------------	--

授業スケジュール	1 ユニット1	16 ユニット5
	2 ユニット1	17 ユニット6
	3 ユニット1	18 ユニット6
	4 ユニット2	19 ユニット6 (テスト)
	5 ユニット2	20 ユニット7
	6 ユニット2	21 ユニット7
	7 ユニット3	22 ユニット7
	8 ユニット3	23 ユニット8
	9 ユニット3 (テスト)	24 ユニット8
	10 ユニット4	25 ユニット8
	11 ユニット4	26 ユニット9
	12 ユニット4	27 ユニット9
	13 ユニット5	28 ユニット9 (テスト)
	14 ユニット5	29 ユニット10
	15 前期試験	30 後期試験

準備学習	日本の新聞や雑誌でいろいろな記事に触れておくこと。
履修上の留意点	遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。
成績評価の方法	①試読(40%)②テスト(30%)③出席(20%)④発表(10%)で総合評価するが、①、②、④のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、また③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。
教科書/テキスト	現在未定につき一回めの授業で発表。
参考書	

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	矢島 直子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	授業概要: 英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらい、問題を解くという形式で授業を進めます。 到達目標: 辞書を引いて英文のニュースを読めるようになることと、聞き取りができるようになることです。 今年度も教科書で扱うのは日本の英字新聞で、日本事情が中心ですが、最後に時間があれば、英米の新聞記事を取り上げます。
---------------------	--

授業スケジュール	前期: 1回目-授業の説明。2,3,4回目-1,2章、5,6,7回目-4,5章、8,9,10回目-7,8章、11,12,13回目-9,10章、14回目-授業進度を調整し、質問を受ける日、15回目-前期末試験。 後期: 16回目-前期末試験解説、17,18,19回目-11,12章、20,21,22回目-13,15章、23,24,25回目-16,17章、26,27,28回目-18,19章、29回目-20章ないしは英米の最近の記事を使つての授業、30回目-後期末試験。
----------	--

準備学習	授業前: 辞書を引いて、内容が分かるようにしてから、授業に臨むこと。 授業後: 学んだ分を読みなおすこと。
履修上の留意点	どんどん当てますから、予習して授業に臨むこと。1回目の授業から出席してください。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験資格がなくなります。
成績評価の方法	平常点が15%、前期末・後期末試験が85%の割合で成績評価をします。
教科書/テキスト	深山晶子、他、『Insights 2012』、金星堂、1,900円、ISBN 978-4-7647-3934-5
参考書	

履修コード	280001
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	上野 勝広
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>初級文法を軸にスペイン語の総合的な基礎力の習得を目指します。具体的にはスペイン語で自己紹介をしたり、日常的な話題を簡単なスペイン語でコミュニケーションできることを目標にします。またスペイン語圏文化への理解と関心を深めてゆきます。</p> <p>授業は下記のテキストを用い、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課の内容を解説します。一方的な講義にならないよう、口頭および筆記の実践練習も積極的に行ないます。</p>
授業スケジュール	<p>授業の冒頭、5分から10分くらい前回の授業のポイントを復習します。</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入、アルファベット 2. 文字と発音 3. 文字と発音 (続き)、主語の人称代名詞、動詞ser 4. 指示代名詞、名詞の性、冠詞 5. 名詞の数、形容詞、動詞hay 6. 指示形容詞、所有形容詞、位置の副詞、序数詞 7. 動詞estar、数詞0～31、時間・曜日・日付・季節の表現 8. 前回までの要点の整理・理解度の確認 9. 動詞estar (続き)、規則動詞の活用 -ar型 10. 規則動詞の活用 -er/-ir型、不定語・否定語 11. 前置詞に後続する人称代名詞、疑問詞 12. 動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞 13. 目的語を表す人称代名詞、天候の表現 14. 現在分詞、時の経過を表すhacer、数詞32～100 15. 前回までの要点の整理・理解度の確認 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 語根母音変化動詞、動詞 querer の使い方 17. 動詞 poder の使い方、saber/poder の使い分け 18. 動詞 tener, venir, decir, oír、縮小辞 19. 動詞 gustar、gustar 型の諸動詞 20. 比較の表現、絶対最上級、関係代名詞 que 21. 再帰動詞、-mente 副詞、数詞 101～1000 22. 前回までの要点の整理・理解度の確認 23. 不定主語文、仮定・条件を導く si 24. 命令形、婉曲・丁寧な表現 25. 命令形 (続き) 26. 過去分詞、現在完了 27. 現在完了 (続き)、感嘆文 28. 前置詞のまとめ、数詞 1001以上 29. 総合練習 30. 前回までの要点の整理・理解度の確認
準備学習	特に必要はありませんが、どんなカタカナ語がスペイン語から日本語に入っているのか関心をもって調べておきましょう。
履修上の留意点	少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。繰り返しの地道な練習が外国語習得への一番の近道です。
成績評価の方法	テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
教科書/テキスト	上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円
参考書	初回の授業で紹介します。

履修コード	353401
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	大岩 功

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 オリエンテーション、文字と発音</p> <p>第2回 文字と発音、アクセント</p> <p>第3回 名詞の性と数、冠詞</p> <p>第4回 主語となる代名詞、動詞serとestar (1)</p> <p>第5回 主語となる代名詞、動詞serとestar (2)</p> <p>第6回 形容詞の性と数</p> <p>第7回 平叙文、疑問文、否定文、疑問詞、地名形容詞 (1)</p> <p>第8回 平叙文、疑問文、否定文、疑問詞、地名形容詞 (2)</p> <p>第9回 -ar動詞の規則活用</p> <p>第10回 -er, -ir動詞の規則活用</p> <p>第11回 規則活用動詞のまとめ</p> <p>第12回 所有形容詞、所有代名詞</p> <p>第13回 指示形容詞、指示代名詞</p> <p>第14回 復習</p> <p>第15回 理解度の確認</p> <p>後期</p> <p>第16回 前期の復習</p> <p>第17回 目的語の代名詞 (1)</p> <p>第18回 目的語の代名詞 (2)</p> <p>第19回 目的語の代名詞 (3)</p> <p>第20回 前置詞</p> <p>第21回 過去分詞 (1)</p> <p>第22回 過去分詞 (2)、完了形</p> <p>第23回 完了形、hayとestarの使い分け</p> <p>第24回 動詞tenerの活用と用法 (1)</p> <p>第25回 動詞tenerの活用と用法 (2)</p> <p>第26回 語根母音変化動詞 (1)</p> <p>第27回 語根母音変化動詞 (2)</p> <p>第28回 動詞 poder, quererの用法</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回 理解度の確認</p> <p>(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)</p>
----------	---

準備学習	次回の授業までに予習する範囲または課題を毎回告知します。小テストを実施する場合は事前に告知します。
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	理解度確認(計2回)の評価=60%、小テスト(5~6回程度)の得点=30%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数在全授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。
教科書/テキスト	『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に、読解用の教材を適宜配布します。
参考書	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社 (または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	280511
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	齊藤 明美

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>初めスペイン語を学習する人のクラスです。 このクラスでは、月曜日のスペイン語ⅠBで学習する事柄を補足、応用しながら、特に①基本単語の習得 ②リスニング&発音練習 ③スペイン語での簡単な文章表現 ④日常表現の習得を目指します。 また随時スペイン語圏の文化や音楽をDVDやCDを交えながら紹介します。</p>
---------------------	---

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。短いメールも書けるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏に旅行にいける実力がついていくことでしょう。スペイン語の歌もいくつか歌えるようになっています。スペイン語検定試験では6級合格レベルになります。

授業スケジュール	<p>(1) オリエンテーション、スペイン語とスペイン語圏について知りましょう (アルファベット、発音の基礎、簡単な挨拶 (1)) (2) クラスメイトと知り合ひましょう (発音 (1)、あいさつ (2) スペイン語の名詞の特徴 (性と数)) 単語:身の回りの物 文化:スペイン料理 (3) 施設の電話番号を尋ねよう (冠詞とHay スペイン語の数字 (10まで)、単語:施設 文化:マラガの紹介) (4) スペイン語を話します (AR規則動詞: Hablar話す) 単語:人称代名詞 言語 国名 文化:フラメンコ (5) 学習、仕事について表現しよう (Ar動詞2)と数字 (20まで) 文化:大学生活 (6) 食生活について表現しよう (ER、ir動詞 comer, beber) 単語:食べ物、飲み物 (7) 日々の活動についてメールを書こう (さまざまな規則動詞、メールの書き方) (8) 理解度の確認1、プレゼン1 文化:スペイン語圏の国々 (9) 家族を紹介しよう (Ser動詞の用法、出身) 単語:家族、職業 文化:職業について (10) 友人を紹介しよう (Ser+特徴、性格を表す形容詞 指示形容詞) 文化:~人の性格のステレオタイプ (11) 人や物の状態を表現しよう (Estar動詞1 状態) 単語:状態の形容詞 (12) 場所を尋ねよう (Estar動詞2 位置) 単語:位置をしめす表現、施設2 文化:スペインの都市の紹介 (13) Quererの用法 (語根母音変化動詞1)、レストランでの注文のしかた、単語:月、曜日、数字31まで 文化:誕生日と聖人の日 (14) 前期のまとめ (15) 理解度の確認2 文化:牛追い祭りと闘牛</p>
----------	--

後期

(16) 頼んでみよう。許可をもらおう (Poderの用法) 単語:重要な語根母音変化動詞
(17) 年齢、体調を述べよう (一人称のみ不規則な動詞1 tener, venir, decir)
(18) 自分の街の天候を表現しよう (一人称のみ不規則な動詞2 hacer, saber, conocerを中心に) 単語:天候、季節 文化:スペインの地理
(19) 旅行の予定を作ろう、一週間の予定を述べよう (Ir (行く)とIrの派生的用法 (近い未来と勧誘) 単語:交通手段、時の表現 文化:スペインの地下鉄とバス
(20) 宣伝文を作ろう (助言) (querer, tener que, ir a 不定詞)
(21) 時間とスケジュールを質問しよう (時刻の表現) 単語:時間
(22) 理解度の確認3 プレゼン2 文化:メキシコについて (旅行スライド)
(23) メキシコ料理は好きですか (gustar型動詞) 単語:肉、野菜、趣味 文化:メキシコ料理
(24) 自分の意見を述べよう (parecer, interesar, encantarなど) 単語:意見を述べる形容詞 文化:スペイン語圏の映画
(25) 頭がとても痛いです (doler) 単語:体の部位 文化:死者の日について
(26) 身近な日常生活の場面を表現しよう (再帰動詞の用法1) 単語:服 色
(27) 自分について述べよう 感情を表現しよう (再帰動詞の用法2) 単語:感情の形容詞
(28) 今行っていることを言ってみましょう (現在進行形) 文化:スペイン語圏のクリスマスとお正月 単語 お祝いのことば
(29) 後期のまとめ
(30) 理解度の確認4

準備学習	YeStudyを使用しますので予習・復習に役立ててください。
------	--------------------------------

宿題は必ずやってくる。解らないことがあったらそのままにしておかないで、授業が終わった時やオフィスアワー時などに質問すること。

履修上の留意点	出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。
---------	--

発話練習をたくさん行いながら、基礎文法や生活に密着した語彙・表現を習得します。恥ずかしがらずに大きな声を出しましょう!

他の学生が発表している時は集中して聞きましょう。(抜き打ちにそれに関する質問をします)

授業中の携帯や授業に関係ないおしゃべり等厳禁。

居眠りしている学生は減点対象 (平常点から)

成績評価の方法	平常点 (授業態度・積極性、YeStudy使用) (25%) + 7月中旬試験 (25%) + 12月期末試験 (25%) + 小テスト (15%) (5月と11月各一回) + 月複数回の語彙ミニテスト (10%)
---------	---

※語彙ミニテスト: 挨拶、数字、人称代名詞、言語、国籍 国、職業、性格・特徴の形容詞、家

族、施設、位置、Ser, Estar活用、よく使う動詞、日用品、天候、曜日、月、日付、食べ物、身体などに関する語彙を中心に取り上げます

※授業中に回収する作文や会話文またプレゼンは平常点の採点の対象となります。

教科書/テキスト	GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社1200円 プリント配布。(100円ショップなどに売っているA4サイズのファイル帳を用意するとよいでしょう)
----------	---

※月曜日のスペイン語 I B で使用する教科書を毎回必ず持参してください。

参考書	講義中に推薦する辞書の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
-----	-------------------------------------

その他	オフィスアワーは毎週火・木曜日12:15~13:00です。
-----	-------------------------------

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	279401
科目名	スペイン語 I A
担当者名	佐藤 佐知

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。
---------------------	--

授業スケジュール	(1~2) 表記法・発音・アクセント (3~8) SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法 (9~15) 一般不規則動詞の活用と用法、表現練習 (16~23) 目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法 (24~30) 線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け
----------	---

準備学習	毎回テキストまたはプリント等で既習事項の復習のための宿題を出すので、必ず次回までにやって来ること。また、授業中に課題を課すこともあるので辞書は必ず毎回持ってくることを厳守してください。
------	--

履修上の留意点	授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること (初回の授業で辞書の紹介をします)。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。
---------	--

成績評価の方法	期末試験と平常点 (出席状況・提出物・小テスト) を総合的に判断して評価する。 平常点 (出席・課題等) 30点、試験の点数70点
---------	--

教科書/テキスト	福嶋敦隆『動く!スペイン語』 (“Español Dinámico”) 2008 (朝日出版社) 2600円
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	279801
科目名	スペイン語 I A
担当者名	佐藤 佐知

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。
---------------------	--

授業スケジュール	(1~2) 表記法・発音・アクセント (3~8) SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法 (9~15) 一般不規則動詞の活用と用法、表現練習 (16~23) 目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法 (24~30) 線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け
----------	---

準備学習	毎回テキストまたはプリント等で既習事項の復習のための宿題を出すので、必ず次回までにやって来ること。また、授業中に課題を課すこともあるので辞書は必ず毎回持ってくることを厳守してください。
------	--

履修上の留意点	授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること (初回の授業で辞書の紹介をします)。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。
---------	--

成績評価の方法	期末試験と平常点 (出席状況・提出物・小テスト) を総合的に判断して評価する。 平常点 (出席・課題等) 30点、試験の点数70点
---------	--

教科書/テキスト	福嶋敦隆『動く!スペイン語』 (“Español Dinámico”) 2008 (朝日出版社) 2600円
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	279601
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	中島 聡子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語の基礎 (発音・文法・語彙) を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行いません。 前期 (1) 導入、アルファベット (2～5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、動詞estar、所有詞、指示詞など (6～10) 規則動詞の活用、不規則動詞の活用など (11～15) 語根母音変化動詞の活用、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、目的語の人称代名詞 など 後期 (16～20) 比較表現、線過去など (21～25) 点過去、現在分詞、不定語・否定語など (26～30) 過去分詞、現在完了、再帰動詞など
準備学習	わからない単語などはあらかじめ辞書で確認しておきましょう。
履修上の留意点	外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。
成績評価の方法	テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
教科書/テキスト	1. 動く! スペイン語 Español dinámico (朝日出版社) 2. 西和辞書 (「西和中辞典」小学館、あるいは「現代スペイン語辞典 改訂版」白水社 電子辞書も可)
参考書	初回の授業で紹介します。
その他	授業では毎回辞書を使います。必ず持参すること。

履修コード	280501
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	真下 祐一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) スペイン語の初歩を学ぶ。文法の解説、練習問題、応用問題と進む。読む、書く、聞く、話すの四つの能力の総合的な指導を行う。スペイン語が身近なものと感じられるよう積極的に勉強に取り組んでもらう。 (到達目標) 発音、イントネーション、リズムに注意して、スペイン語の文章が正しく読めるようにする。文法の基礎知識を習得する。動詞の活用をしっかりと覚える。基本的な単語、表現を覚える。簡単な文を正しく書けるようにする。場面に即した会話力の養成を目指す。スペイン語圏への関心を深めてもらう。学習意欲を持続させ、翌年次以降の勉強につなげていく。スペイン語の学習を通して、他言語、他文化に接し、これを理解することの重要性を認識する。
---------------------	---

授業スケジュール	1. 導入 2. 名詞の性・数、冠詞 3. 動詞SER 4. 形容詞、疑問文、否定文 5. 直説法現在Ⅰ 6. 直説法現在Ⅱ 7. 直説法現在Ⅲ 8. 所有詞Ⅰ 9. 時刻の表現 10. 指示詞 11. 動詞HABER 12. 動詞ESTAR 13. 復習Ⅰ 14. 復習Ⅱ 15. 前期理解度の確認 16. 直接目的語代名詞 17. 不規則動詞Ⅰ 18. 間接目的語代名詞 19. 不規則動詞Ⅱ 20. 不規則動詞Ⅲ 21. 所有詞Ⅱ 22. 比較 23. 動詞GUSTAR 24. 再帰動詞Ⅰ 25. 再帰動詞Ⅱ 26. 再帰代名詞SEの用法 27. 過去分詞 28. 現在完了 29. 現在分詞 30. 後期理解度の確認
----------	--

準備学習	・教科書本文の解説が効果的となるように事前に単語の意味をしらべておく。 ・声を出して練習する。 ・授業中に学んだことをしっかりと復習しておく。 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
------	---

履修上の留意点	・しっかりと声を出して練習に参加する。 ・遅刻・欠席をしないよう心がける。
---------	--

成績評価の方法	試験の結果60%、授業参加40%
---------	------------------

教科書/テキスト	四宮瑞枝ほか『アクション!』白水社 ISBN978-4-560-01678-7 2200円+税
----------	---

参考書	適宜紹介する。
-----	---------

履修コード	279501
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	ルイズティノコ C.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な構造と会話能力を身につけることを目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞、不規則動詞、現在完了、再帰動詞、点過去、線過去まで学ぶ予定である。(第1~15回) 後期は、未来形、過去未来、接続法、命令形などを学ぶ予定である(第16~30回)。ビデオを見ることもある。
----------	--

準備学習	毎回授業で勉強した新しい文法と表現を復習すること。
------	---------------------------

履修上の留意点	毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。
---------	---------------------------------

成績評価の方法	前期と後期の試験(70%)と授業参加の状態(30%)で評価する。
---------	----------------------------------

教科書/テキスト	『やさしくくわしいスペイン語の基礎』 西川喬 第三書房
----------	-----------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	279901
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	ルイズティノコ, C.
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な構造と会話能力を身につけることを目指す。
授業スケジュール	前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞、不規則動詞、現在完了、再帰動詞、点過去、線過去まで学ぶ予定である。(第1～15回) 後期は、未来形、過去未来、接続法、命令形などを学ぶ予定である(第16～30回)。ビデオを見ることもある。
準備学習	毎回授業で勉強した新しい文法と表現を復習すること。
履修上の留意点	毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。
成績評価の方法	前期と後期の試験(70%)と授業参加の状態(30%)で評価する。
教科書/テキスト	『やさしくくわしいスペイン語の基礎』 西川喬 第三書房
参考書	

履修コード	302801 302802 302803
科目名	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC(会話) [再クラス]
担当者名	石井 登
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語の基本的な文法を習得することを目的とします。
授業スケジュール	教科書は全12課からなっており、前期は1～6課、後期は7～12課を学びます。 前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser, estar動詞、形容詞など、(6～10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11～15)目的語の人称代名詞、gustar動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。 後期は(16～20)点過去、線過去、現在分詞など、(21～25)過去分詞、再帰動詞など、(26～30)関係詞、接続法など。
準備学習	授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
履修上の留意点	課題提出が必要です。添削して返します。
成績評価の方法	前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
教科書/テキスト	福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社2600円978-4-255-55023-7
参考書	

履修コード	356401 356402
科目名	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB [再クラス]
担当者名	上野 勝広

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級文法を軸にスペイン語の総合的な基礎力の習得を目指します。具体的にはスペイン語で自己紹介をしたり、日常的な話題を簡単なスペイン語でコミュニケーションできることを目標にします。またスペイン語圏文化への理解と関心を深めてゆきます。
---------------------	--

授業は下記のテキストを用い、前期は1課～7課まで、後期は8課～14課の内容を解説します。一方的な講義にならないよう、口頭および筆記の実践練習も積極的に行ないます。

授業スケジュール	授業の冒頭、5分から10分くらい前回の授業のポイントを復習します。
----------	-----------------------------------

前期

1. 導入、アルファベット、あいさつ
2. 文字と発音
3. 文字と発音 (続き)、名詞の性数、冠詞
4. 数詞0～10、動詞hay、主語の人称代名詞、動詞ser/estar
5. 動詞ser/estar (続き)、形容詞、数詞11～31、時間・曜日・日付・季節の表現
6. 指示形容詞、指示代名詞、疑問詞、現在の規則活用
7. 現在の規則活用 (続き)、国名と国名形容詞、疑問詞 (続き)
8. 前回までの要点の整理・理解度の確認
9. 現在の不規則活用、天候の表現
10. 現在の不規則活用 (続き)、おもな前置詞
11. 目的語になる人称代名詞、前置詞の後の人称代名詞、数詞31～100
12. 動詞 gustar と好き嫌いの表現、ミニ講読 (1)
13. 所有詞、比較の表現、ミニ講読 (2)
14. 動詞活用の総復習、ミニ講読 (3)
15. 前回までの要点の整理・理解度の確認

後期

16. 再帰動詞の活用と使い方、-mente 副詞
17. 再帰動詞の活用と使い方 (続き)、点過去の規則活用
18. 点過去の不規則活用、ミニ講読 (4)
19. 数詞 101～、感嘆文、不定語・否定語
20. 線過去の活用と使い方、ミニ講読 (5)
21. 点過去と線過去、現在分詞
22. 前回までの要点の整理・理解度の確認
23. 過去分詞、現在完了の活用と用法
24. estar 受身、不定詞、縮小辞、ミニ講読 (6)
25. 肯定命令、関係詞
26. 肯定命令 (続き)、否定命令
27. 命令形のとめ、ミニ講読 (7)
28. 主要な動詞の総復習、ミニ講読 (8)
29. 総合練習
30. 前回までの要点の整理・理解度の確認

準備学習	特に必要はありませんが、どんなカタカナ語がスペイン語から日本語に入っているのか関心をもって調べておきましょう。
------	---

履修上の留意点	少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。繰り返しの地道な練習が外国語習得への一番の近道です。
---------	--

成績評価の方法	テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
---------	------------------------------------

教科書/テキスト	木村琢也・柳田玲奈『スペイン語へのとびら』(朝日出版社) 2,000円
----------	-------------------------------------

参考書	初回の授業で紹介します。
-----	--------------

履修コード	302601	302602	302603
科目名	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]		
担当者名	大岩 功		

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 オリエンテーション、文字と発音</p> <p>第2回 文字と発音、アクセント</p> <p>第3回 名詞の性と数、冠詞</p> <p>第4回 主語となる代名詞、動詞serとestar (1)</p> <p>第5回 主語となる代名詞、動詞serとestar (2)</p> <p>第6回 形容詞の性と数</p> <p>第7回 平叙文、疑問文、否定文、疑問詞、地名形容詞 (1)</p> <p>第8回 平叙文、疑問文、否定文、疑問詞、地名形容詞 (2)</p> <p>第9回 -ar動詞の規則活用</p> <p>第10回 -er、-ir動詞の規則活用</p> <p>第11回 規則活用動詞のまとめ</p> <p>第12回 所有形容詞、所有代名詞</p> <p>第13回 指示形容詞、指示代名詞</p> <p>第14回 復習</p> <p>第15回 理解度の確認</p> <p>後期</p> <p>第16回 前期の復習</p> <p>第17回 目的語の代名詞 (1)</p> <p>第18回 目的語の代名詞 (2)</p> <p>第19回 目的語の代名詞 (3)</p> <p>第20回 前置詞</p> <p>第21回 過去分詞 (1)</p> <p>第22回 過去分詞 (2)、完了形</p> <p>第23回 完了形、hayとestarの使い分け</p> <p>第24回 動詞tenerの活用と用法 (1)</p> <p>第25回 動詞tenerの活用と用法 (2)</p> <p>第26回 語根母音変化動詞 (1)</p> <p>第27回 語根母音変化動詞 (2)</p> <p>第28回 動詞 poder、quererの用法</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回 理解度の確認</p> <p>(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)</p>
----------	---

準備学習	次回の授業までに予習する範囲または課題を毎回告知します。小テストを実施する場合は事前に告知します。
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	理解度確認 (計2回) の評価=60%、小テスト (5~6回程度) の得点=30%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が全授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。
教科書/テキスト	『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に、読解用の教材を適宜配布します。
参考書	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社 (または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	303001 303002 303003
科目名	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	荻野 恵

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語文法の基礎 (直説法現在から接続法過去まで) を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>春学期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 首都 (会話) 2 首都 (講読) 3 第1課練習問題 4 生活時間 (会話) 5 生活時間 (講読) 6 第2課練習問題 7 ワイン (会話) 8 ワイン (講読) 9 第3課練習問題 10 闘牛 (会話) 11 闘牛 (練習問題) 12 第4課練習問題 13 復習 14 復習 15 理解度の確認 <p>秋学期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 パラドールとポウザーダ (会話) 2 パラドールとポウザーダ (講読) 3 第5課練習問題 4 ファドとフラメンコ (会話) 5 ファドとフラメンコ (講読) 6 第6課練習問題 7 クリスマス (会話) 8 クリスマス (講読) 9 第7課練習問題 10 大航海時代 (会話) 11 大航海時代 (講読) 12 大航海時代 (講読) 13 第8課練習問題 14 復習 15 理解度の確認
----------	---

準備学習	一年次において使用した文法のテキストを活用し、授業で学習した内容を確認すること。
------	--

履修上の留意点	
---------	--

成績評価の方法	成績は平常点 (2割)、テスト (8割) を総合して評価する。
---------	---------------------------------

教科書/テキスト	荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』 (大学書林)
----------	--------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	302701 302702 302703
科目名	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	齊藤 明美

授業概要/
到達目標 (ねらい)

このクラスはスペイン語1の再履修クラスです。

基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語の初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけ、日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。7月には簡単なあいさつや自己紹介、レストランで注文ができ、12月には場所を尋ねたり、自分の願望や日常生活について簡単な会話ができて、さらに西検6級の力がついているでしょう。

授業スケジュール

- (1) オリエンテーション(アルファベット 簡単な挨拶など)
- (2) 1課: 発音の仕組み1
- (3) 1課: 発音の仕組み2 あいさつの練習
- (4) 2課: 名詞の性・数
- (5) 2課: 冠詞の用法
- (6) 形容詞、数字10まで、飲み物の注文
- (7) 理解度の確認1 (1, 2課)、第3課: 人称代名詞、規則動詞(話す)と言語の単語、否定、疑問文
- (8) 3課: AR動詞、勉強する、働くと学問の単語、学校生活
- (9) 3課: ER, IR動詞(食べる、住むを中心に)と自己紹介の会話1
- (10) 4課: 一人称単数だけが不規則な動詞1 (hacerする、作る) 曜日の単語
- (11) 4課: 一人称単数だけが不規則な動詞2 (ver見る、会う、salir出かける)
- (12) 4課: 一人称単数だけが不規則な動詞3 前置詞、時を表す副詞
- (13) 5課: 自己紹介、Ser動詞の用法1、身分・職業の単語
- (14) 5課: Ser動詞の用法2、特徴、性質の形容詞
- (15) 理解度の確認2 (1-5課)
- (16) 5課: 国名、国籍、自己紹介の会話
- (17) 6課: 時計の読み方と数字31まで
- (18) 6課: 日付、誕生日の聞き方、答え方、月の単語
- (19) 6課: 指示形容詞と買い物の仕方
- (20) 7課: Estar動詞1、場所の尋ね方
- (21) 7課: HayとEstar 場所と位置関係の単語
- (22) 7課: 状態を表すEstar: 状態の形容詞
- (23) 理解度の確認3 (6, 7課)
- (24) 8課: 語根母音変化動詞Querer 1 衣服、色の単語
- (25) 8課: Querer+不定詞「～したい」
- (26) 8課: 将来の夢を語る
- (27) 9課: Poderの用法1 「～することができる」
- (28) 9課: Poderの用法2 許可と依頼
- (29) 10課: Tenerの用法: 年齢と慣用表現(空腹であるなど)
- (30) 理解度の確認4 (6-10課)

準備学習

YeStudyを使用しますので各自、予習・復習に役立ててください。

宿題は必ず準備しておくこと。

履修上の留意点

出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。

成績評価の方法

平常点(授業態度・積極性)(25%) + 7月中間試験(理解度の確認2)(25%) + 12月期末試験(理解度の確認4)(30%) + 小テスト(15%)(理解度の確認1(5月後半)と理解度の確認3(11月前) + 毎回の授業の確認テスト(YeStudy上)(5%)

※授業時に行う作文や会話の応答用紙は回収し平常点の評価の対象とします。

教科書/テキスト

辻本千栄子(つじもと ちえこ)『やあ、元気? Hola!¿Qué tal? 1』朝日出版社1900円

参考書

講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。

その他

学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	289901 289902
科目名	スペイン語ⅠA (選) スペイン語ⅠA
担当者名	中島 聡子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語の基礎 (発音・文法・語彙) を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。 前期 (1) 導入、アルファベット (2～5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞hay、動詞estar、所有詞、指示詞など (6～10) 規則動詞の活用、不規則動詞の活用など (11～15) 語根母音変化動詞の活用、動詞gustarの使い方、gustar型の諸動詞、目的語の人称代名詞 など 後期 (16～20) 比較表現、線過去など (21～25) 点過去、現在分詞、不定語・否定語など (26～30) 過去分詞、現在完了、再帰動詞など
準備学習	わからない単語はあらかじめ辞書で確認しておきましょう。
履修上の留意点	外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。
成績評価の方法	テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
教科書/テキスト	1. 動く!スペイン語 Español dinámico (朝日出版社) 2. 西和辞書 (「西和中辞典」小学館、あるいは「現代スペイン語辞典 改訂版」白水社 電子辞書も可)
参考書	初回の授業で紹介いたします。
その他	授業では毎回辞書を使います。必ず持参すること。

履修コード	281701
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	上野 勝広
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>初級文法を軸にスペイン語の総合的な基礎力の習得を目指します。具体的にはスペイン語で自己紹介をしたり、日常的な話題を簡単なスペイン語でコミュニケーションできることを目標にします。またスペイン語圏文化への理解と関心を深めてゆきます。</p> <p>授業は下記のテキストを用い、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課の内容を解説します。一方的な講義にならないよう、口頭および筆記の実践練習も積極的に行ないます。</p>
授業スケジュール	<p>授業の冒頭、5分から10分くらい前回の授業のポイントを復習します。</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入、アルファベット 2. 文字と発音 3. 文字と発音 (続き)、主語の人称代名詞、動詞ser 4. 指示代名詞、名詞の性、冠詞 5. 名詞の数、形容詞、動詞hay 6. 指示形容詞、所有形容詞、位置の副詞、序数詞 7. 動詞estar、数詞0～31、時間・曜日・日付・季節の表現 8. 前回までの要点の整理・理解度の確認 9. 動詞estar (続き)、規則動詞の活用 -ar型 10. 規則動詞の活用 -er/-ir型、不定語・否定語 11. 前置詞に後続する人称代名詞、疑問詞 12. 動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞 13. 目的語を表す人称代名詞、天候の表現 14. 現在分詞、時の経過を表すhacer、数詞32～100 15. 前回までの要点の整理・理解度の確認 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 語根母音変化動詞、動詞 querer の使い方 17. 動詞 poder の使い方、saber/poder の使い分け 18. 動詞 tener, venir, decir, oír、縮小辞 19. 動詞 gustar、gustar 型の諸動詞 20. 比較の表現、絶対最上級、関係代名詞 que 21. 再帰動詞、-mente 副詞、数詞 101～1000 22. 前回までの要点の整理・理解度の確認 23. 不定主語文、仮定・条件を導く si 24. 命令形、婉曲・丁寧な表現 25. 命令形 (続き) 26. 過去分詞、現在完了 27. 現在完了 (続き)、感嘆文 28. 前置詞のまとめ、数詞 1001以上 29. 総合練習 30. 前回までの要点の整理・理解度の確認
準備学習	特に必要はありませんが、どんなカタカナ語がスペイン語から日本語に入っているのに関心をもって調べておきましょう。
履修上の留意点	少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。繰り返しの地道な練習が外国語習得への一番の近道です。
成績評価の方法	テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
教科書/テキスト	上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円
参考書	初回の授業で紹介します。

履修コード	280901
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	栗林 ゆき絵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に活用できることを目標とする。
授業スケジュール	授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期(1-15回)は名詞句と現在形の文法、後期は過去形(1-8回)および再帰動詞(9-15回)の文法を中心に学習する。学期の中間に小テスト(活用・単語・作文)を実施。
準備学習	練習問題は随時課題とするので必ず家でやったうえで授業に臨むこと。表現集のページで、授業中で扱わない例文も、各自で単語と意味を確認しておくこと。文法ページの単語は調べておくこと。
履修上の留意点	前後期各1回程度中間テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。
成績評価の方法	中間テスト20%(日程は授業中に指示)、前後期の期末試験80%。
教科書/テキスト	栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3
参考書	〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1 ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円) ISBN4-09-506131-6 ネット上の辞書使用・携帯端末による辞書使用は認めない。紙の辞書もしくは、辞書機能のみの電子辞書を持参のこと。

履修コード	281301
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	栗林 ゆき絵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	前期60文、後期60文、年間で計120文程度の基本表現と、挨拶・数字・時間表現等の基本語彙を身につける。
授業スケジュール	1年間で下記教科書の第1課～第10課を中心に学習する。 前期は、挨拶・数字と発音(1-2回)、現在形(3-10回)、復習(11-15回)、の予定。 後期は、目的語代名詞・好き嫌いの文(1-2回)、過去形(3-10回)、基本動詞(*)の現在形・過去形を用いた自己紹介の表現(11-12回)、復習(13-15回)の予定。 毎回、初回に簡単な復習問題(表現集・会話練習の単語・活用形)を実施する予定。 (基本動詞20=hablar, comer, vivir, conocer, ver, tener, poder, querer, ser, ir, hacer, estar, venir, salir, llamarse, levantarse, decir, leer, dormir, dar + gustar)
準備学習	毎回授業の最初に小テストを行う。前回の復習をしておくこと。
履修上の留意点	平常点を重視するので、積極的に参加すること。考えたうえで間違えるのは構わないが、やる気のない者は出席扱いにはしない。
成績評価の方法	平常点50%(小テスト40%/出席・授業態度10%)、前後期の期末試験50%の予定。
教科書/テキスト	栗林ゆき絵ほか著 「エストレリータ スペイン語入門コース」(朝日出版社、2,200円) ISBN 978-4-255-55034-3
参考書	〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1 ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円) ISBN4-09-506131-6 ネット上の辞書使用・携帯端末による辞書使用は認めない。紙の辞書もしくは、辞書機能のみの電子辞書を持参のこと。

履修コード	280701
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	佐藤 麻里乃
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
授業スケジュール	教科書にそって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。授業は年間30回行う。
準備学習	語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。
成績評価の方法	試験(前期・後期各1回の予定)80%、出席率20%を原則とする。
教科書/テキスト	木村・泉水・高澤『コンティーゴ!1』第三書房
参考書	『デイリーコンサイズ西和・和西辞典』三省堂

履修コード	281201
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	佐藤 麻里乃

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
授業スケジュール	教科書によって解説と練習を行う。発音とアクセント、性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞などを主に扱う。授業は年間30回行う。
準備学習	語学は積み重ねなので、習ったことをしっかり理解することが重要。予習の必要はないが、復習をするとよい。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。
成績評価の方法	試験（前期・後期各1回の予定）80%、出席率20%を原則とする。
教科書/テキスト	仲井・アルバレス『はじめてのエスパニョール』三修社
参考書	『デイリーコンサイス西和・和西辞典』三省堂

履修コード	281711
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	真下 祐一

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) スペイン語の初歩を学ぶ。文法の解説、練習問題、本文読解と進む。読む、書く、聞く、話すの四つの能力の総合的な指導を行う。スペイン語が身近なものと感じられるよう積極的に勉強に取り組んでもらう。 (到達目標) 発音、イントネーション、リズムに注意して、スペイン語の文章が正しく読めるようにする。文法の基礎知識を習得する。動詞の活用をしっかりと覚える。基本的な単語、表現を覚える。簡単な文を正しく書けるようにする。場面に即した会話力の養成を目指す。スペイン語圏への関心を深めてもらう。学習意欲を持続させ、翌年次以降の勉強につなげていく。スペイン語の学習を通して、他言語、他文化に接し、これを理解することの重要性を認識する。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット、発音 2. 名詞の性・数、冠詞 3. 存在文 4. 直説法現在規則動詞Ⅰ 5. 直説法現在規則動詞Ⅱ 6. 直説法現在不規則動詞Ⅰ 7. 直説法現在不規則動詞Ⅱ 8. 形容詞 9. 直説法現在不規則動詞Ⅲ 10. 直説法現在不規則動詞Ⅳ 11. 所有形容詞Ⅰ、日付と曜日 12. 直説法現在不規則動詞Ⅴ 13. 従属節について、指示代名詞、数字 14. 直説法現在不規則動詞Ⅵ 15. 前期理解度の確認 16. 直説法現在不規則動詞Ⅶ 17. 所有形容詞Ⅱ、時刻 18. 間接目的格代名詞 19. 動詞 G U S T A R 20. 直接目的格代名詞 21. 再帰動詞Ⅰ 22. 再帰動詞Ⅱ 23. S E の用法 24. 現在分詞、進行形 25. 否定語・不定語 26. 過去分詞 27. 完了形 28. 比較Ⅰ 29. 比較Ⅱ 30. 後期理解度の確認
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の解説が効果的となるように事前に単語の意味をしらべておく。 ・声に出して練習する。 ・授業中に学んだことをしっかりと復習しておく。 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとはっきりと話す習慣が身に着くよう積極的な姿勢で授業に参加する。 ・遅刻、欠席をしない。
成績評価の方法	試験の結果60%、授業参加40%
教科書/テキスト	菊田和佳子、他『二つの世界で』同学社 ISBN 987-4-8102-0372-1 2700円+税
参考書	

履修コード	353601
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	横藤田 稔泰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語の基礎を学んでいきます。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地(マドリード、セビーリヤ、バルセローナなど)を訪れることとなりますが、みなさんいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。
---------------------	--

授業スケジュール	授業は年間30回行ないます。スペイン語の基本文法を教科書に沿って学習していきます。授業内容の目安は次のようになります。 前期：マドリードとセビーリヤ(アルファベット・発音、名詞・形容詞の性と数、serとestar、基数と時刻の表現、基本動詞の活用など) 後期：セビーリヤとバルセローナ(語根母音変化動詞、目的格人称代名詞、gustar型動詞、再帰動詞、点過去と線過去など)
----------	--

準備学習	各課の会話部分は、指示が無くても必ず予習すること。
------	---------------------------

履修上の留意点	授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。
---------	--

成績評価の方法	試験70%(前期と後期の二回実施)出席等30%
---------	-------------------------

教科書/テキスト	福高教隆『スペインの宝』同友社、2500円
----------	-----------------------

参考書	推奨辞書『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)
-----	---------------------------

履修コード	280801
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	米田 博美

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	世界的経済危機の中で、日米欧のG8で問題解決はできず、世界のGDPの85%を占める新興国を含むG20が経済運営に大きな役割を果たしています。中南米ではメキシコ、アルゼンチン、ブラジルなどが参加し、本年6月、G20サミットがメキシコを議長国として保養地ロスカボスで開催されます。APECでも、スペイン語圏から、メキシコ、ペルー、チリが参加し、世界のグローバル化が進むなか、4億以上の人々が話すスペイン語圏諸国と日本との関係も深まっています。授業では美しいスペイン語の発音、文法の基礎、文章読解の方法を中心に学び、スペイン語圏世界の文化の多様性をDVD(世界遺産)やCD(音楽)で鑑賞し、スペイン語への関心を高めること。
---------------------	--

授業スケジュール	授業は年間30回行ないます。年間スケジュールとして、下記テキストの1~6課までを前期に、7~10課の範囲を後期に学習します。(必要に応じて、17課など先の課を説明することもあれば、補足的に適宜プリント資料を配布します)
----------	---

準備学習	スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、テキストの予習やNHKの語学講座などで補完すると、よりよく理解でき授業が楽しくなります。
------	--

履修上の留意点	授業の初めには前週の講義内容の復習を若干しますが、自習や復習を心がけてください。講義内容がよく理解できれば、スペイン語を学ぶ楽しさ、意欲が倍増します。語学学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。最初の数回の授業は欠席しないように。特に最も大切な基礎が理解できないと、以後の授業の理解が難しくなります。
---------	---

成績評価の方法	成績は、出席、授業への積極的な参加の態度、小テスト、前期末テスト、学年末テストなどにより総合的な評価をします。
---------	---

教科書/テキスト	「英語からスペイン語へ」(細川幸夫、米田博美、Concepción Ruiz Tinoco著、弘学社)
----------	---

参考書	辞書は参考までに、「現代スペイン語辞典」(白水社)、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	281101
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	米田 博美
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	世界的経済危機の中で、日米欧のG8で問題解決はできず、世界のGDPの85%を占める新興国を含むG20が経済運営に大きな役割を果たしています。中南米ではメキシコ、アルゼンチン、ブラジルなどが参加し、本年6月、G20サミットがメキシコを議長国として保養地ロスカボスで開催されます。APECでも、スペイン語圏から、メキシコ、ペルー、チリが参加し、世界のグローバル化が進むなか、4億以上の人々が話すスペイン語圏諸国と日本との関係も深まっています。授業では美しいスペイン語の発音、文法の基礎、文章読解の方法を中心に学び、スペイン語圏世界の文化の多様性をDVD (世界遺産) やCD (音楽) で鑑賞し、スペイン語への関心を高めること。
授業スケジュール	授業は年間30回行ないます。年間スケジュールとして、下記テキストの1～6課までを前期に、7～10課の範囲を後期に学習します。(必要に応じて、17課など先の課を説明することもあれば、補足的に適宜プリント資料を配布します)
準備学習	スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、テキストの予習やNHKの語学講座などで補完すると、よりよく理解でき授業が楽しくなります。
履修上の留意点	授業の初めには前週の講義内容の復習を若干しますが、自習や復習を心がけてください。講義内容がよく理解できれば、スペイン語を学ぶ楽しさ、意欲が増します。語学学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。最初の数回の授業は欠席しないように。特に最も大切な基礎が理解できないと、以後の授業の理解が難しくなります。
成績評価の方法	成績は、出席、授業への積極的な参加の態度、小テスト、前期末テスト、学年末テストなどにより総合的な評価をします。
教科書/テキスト	「英語からスペイン語へ」(細川幸夫、米田博美、Concepción Ruiz Tinoco著、弘学社)
参考書	辞書は参考までに、「現代スペイン語辞典」(白水社)、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	290501 290502
科目名	スペイン語IB(選) スペイン語IB
担当者名	齋藤 明美

授業概要/到達目標(ねらい) スペイン語を初めて学習する人のための授業です。基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人とメールなどで簡単なやりとりができるようになります。スペイン語検定試験では6級合格レベルになります。

※この授業(1B選)のみ、もしくは1A(選)と合わせての受講も可です。ただしスペイン語1A(選)の授業とは連動しておりませんので、若干進度や内容に差が出る場合があります。

授業スケジュール

- (1) イントロダクション、1課: スペイン語とスペイン語圏について知しましょう(アルファベット、発音の基礎、簡単な挨拶(1)、自己紹介)
- (2) 1課: 「私はマリです。」(スペイン語であいさつ、自己紹介をしてみよう: Ser動詞と人称代名詞発音(2)、あいさつ(2))
- (3) 2課: 「彼女は学生です。」(Ser動詞の用法、国籍、職業を言ってみましょう)
- (4) 2課: スペイン語の名詞の特徴(性と数)と冠詞について 文化: スペイン料理
- (5) 2課: 友人を紹介しよう(Ser+特徴、性格を表す形容詞 指示形容詞、文化: スペインの職業)
- (6) 3課: 「君はスペイン語を上手に話すね。」日常生活の動作を表現しよう。(AR規則動詞: Hablar話す(言語の単語))
- (7) 3課: AR動詞Estudiar勉強するとTrabajar働く(学問の単語と数字1-15)
- (8) 3課: 理解度の確認1(1-3課)、ER動詞(食べる)、IR(住む) 文化: スペイン語圏の国々
- (9) 4課: 「アキラは今16歳です」(家族の単語、所有詞、Tener1、年齢の表現)
- (10) 4課: Tenerを使った表現(空腹である、義務など)、数字100まで 文化: スペインの家族
- (11) 5課: 「そのバルはどこにあるの」(Estar動詞の用法: 場所の尋ね方、位置の単語)
- (12) 5課: Estar動詞2(状態を表す、状態の形容詞)
- (13) 5課: HayとEstarの違い 文化: スペインの都市の紹介
- (14) 6課: 「僕はビールを一杯飲みたいです」 Quererの用法、レストランでの注文のしかた、料理・飲み物の単語、文化: 牛追い祭りと闘牛
- (15) 6課: 理解度の確認2(1-6課) 文化: バル レストラン
- (16) 6課: Poderの用法、目的語人称代名詞、バエリアの作り方
- (17) 7課: 「これから友達の家に行くつもりです」IrとVenir、お祝いの表現、文化: スペインの誕生日
- (18) 7課: IRの派生的用法(近い未来と勧誘)疑問詞、文化: スペインのお祭り
- (19) 8課: 「今日はいい天気ですね」天候、季節、月の単語、文化: スペインの気候
- (20) 8課: 時間の表現とスケジュール(Ser動詞)と時の表現の単語
- (21) 9課: 「私はバルサが好きです」好き嫌いを表現しましょう(Gustar動詞の用法)
- (22) 9課: 理解度の確認3(6-9課)他のGustar型動詞(痛むなど)や前置詞に導かれる人称代名詞
- (23) 10課: 「私はマリという名前です」再帰動詞の用法、日常の行動を表そう1
- (24) 10課: 日常の行動を表現しよう2 日本について語ろう
- (25) 11課: 「地下鉄はバスより早いです」比較級 交通手段の単語
- (26) 11課: 最上級の用法 文化: 観光について
- (27) 12課: 「すごく楽しかった」完了したことや経験を述べましょう(現在完了形)
- (28) 12課: 今行っていることを言ってみましょう(現在進行形)
- (29) 12課: メールを書いてみましょう!
- (30) 理解度の確認4(7-12課)

準備学習 YeStudyを使用しますので各自予習・復習に役立ててください。宿題は必ずやってくること。

履修上の留意点 出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする(理由のない遅刻は授業開始30分までに入室すること。やむをえない理由で欠席する場合は証明書等を提出すること。)

成績評価の方法 平常点(授業態度、積極性、YeStudy使用)(20%) + 7月中旬試験(25%) + 12月期末試験(30%) + 小テスト(15%)(5月と11月各一回) + 月複数回の語彙ミニテスト(10%)

※語彙ミニテスト: 挨拶、数字、人称代名詞、国籍、職業、性格・特徴の形容詞、家族、場所、位置、Ser、Estar活用、よく使う動詞、数字、天候、曜日、月、日付、食べ物、身体などに関する語彙を中心に取り上げます

※授業中行う作文や会話文応答用紙は平常点として評価されます。

教科書/テキスト 粕谷てる子(かすたに てるこ)『オラ!!HOLA!』第三書房 2400円

参考書 初回の授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。

その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	291101 291102
科目名	スペイン語Ⅱ(選) スペイン語ⅡA
担当者名	佐藤 麻里乃
授業概要/ 到達目標(ねらい)	文章の訳読を通じて、基礎文法を復習しまた新出事項を習得する。最終的には、辞書さえあれば一通りの説明文・報道文程度は読めるようになることを目指す。
授業スケジュール	受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。授業は年間30回行う。
準備学習	毎回必ず予習(わからない単語は辞書で調べ、全文を和訳できるように)してくる。
履修上の留意点	
成績評価の方法	試験70%、平常点(出席率と予習状況)30%。
教科書/テキスト	プリント配布
参考書	

履修コード	282111
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	石井 登
授業概要/ 到達目標(ねらい)	すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めま す。
授業スケジュール	教科書は全20課からなっておりますが、7課から始めます。前期は7~12課、後期は13~20課を学 びます。 前期は(1)オリエンテーション、(2~4) gustarと好き嫌いの表現、比較級・最上級、(5~6)再 帰代名詞を伴う動詞、人称代名詞の復習、(7~9)点過去、疑問詞など、(10~11)線過去、(12 ~15)現在分詞・過去分詞・現在完了など。 後期は(16~18)過去完了、(19~20)関係詞、(21~22)直説法未来・過去未来、(23)未来完了・過 去未来完了、(24~25)接続法現在、(26)命令文(27~30)接続法過去、接続法の用法など。
準備学習	スペイン語Ⅰの授業で、少なくとも直説法現在は習得済みであることを前提に授業します。1~6 課については、初回に小テストを実施するので各自確認しておいて下さい。
履修上の留意点	授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
成績評価の方法	前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
教科書/テキスト	木村琢也『スペイン語の基礎』朝日出版社2100円978-4-255-55038-1
参考書	

履修コード	353701
科目名	スペイン語IIA
担当者名	大岩 功

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語Iで学習した知識を活用して読解能力を養い、スペイン語を話す地域の生活や文化、考え方への理解を深めることをねらいとします。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 オリエンテーション、語根母音変化動詞 (1)</p> <p>第2回 語根母音変化動詞 (2)</p> <p>第3回 副詞</p> <p>第4回 疑問詞、感嘆文</p> <p>第5回 関係詞 (1)</p> <p>第6回 関係詞 (2)</p> <p>第7回 不規則活用動詞ir, venir, decir等 (1)</p> <p>第8回 不規則活用動詞ir, venir, decir等 (2)</p> <p>第9回 否定語と不定語</p> <p>第10回 無人称表現 (1)</p> <p>第11回 無人称表現 (2)</p> <p>第12回 向き違いの動詞 (1)</p> <p>第13回 向き違いの動詞 (2)</p> <p>第14回 復習</p> <p>第15回 理解度の確認</p> <p>後期</p> <p>第16回 前期の復習</p> <p>第17回 再帰動詞 (1)</p> <p>第18回 再帰動詞 (2)</p> <p>第19回 再帰動詞 (3)</p> <p>第20回 形容詞の比較級、最上級 (1)</p> <p>第21回 形容詞の比較級、最上級 (2)</p> <p>第22回 点過去時制 (1) 規則活用</p> <p>第23回 点過去時制 (2) 変則的な規則活用</p> <p>第24回 点過去時制 (3) 不規則活用</p> <p>第25回 点過去時制 (4) 不規則活用</p> <p>第26回 線過去時制 (1)</p> <p>第27回 線過去時制 (2)</p> <p>第28回 点過去時制と線過去時制の使い分け</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回 理解度の確認</p> <p>(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)</p>
----------	---

準備学習	次回の授業までに予習する範囲または課題を毎回告知します。小テストを実施する場合は事前に告知します。
------	---

履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
---------	---

成績評価の方法	理解度確認 (計2回) の評価=60%、小テスト (5~6回程度) の得点=30%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数 that 全授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。
---------	--

教科書/テキスト	『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に読解用の教材を適宜配布します。
----------	--

参考書	推奨辞書 宮城界編『現代スペイン語辞典』白水社 (または同辞書を搭載した電子辞書)
-----	---

履修コード	282401
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	濱田 和範
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語Iで習った知識をもとに、さらなる文法事項を身につけます。初級文法を習得し、会話や読解の実践につながるような総合的な語学力を身につけるのが目標です。
授業スケジュール	<p>前期</p> <p>(第1回) オリエンテーション、一年の学習範囲の確認・復習</p> <p>(第2-5回) 冠詞・形容詞の変化、ser、estarの用法、直説法現在形の活用など</p> <p>(第6-8回) 代名詞、gustar型動詞の用法など</p> <p>(第9-15回) 直説法点過去・線過去の活用、比較級など</p> <p>後期</p> <p>(第16回) 前期学習事項の復習</p> <p>(第17-21回) 現在分詞・過去分詞、現在完了、関係詞など</p> <p>(第22-25回) 再帰動詞、現在完了、未来形、過去未来形、感嘆文など</p> <p>(第26-30回) 接続法現在・過去形、命令表現など</p>
準備学習	不定期に課題プリントを配布します。また、学期ごとに数回の小テスト（予告あり）を行う予定です。
履修上の留意点	漫然と話を聞いているだけでは、語学は習得できません。頭と口をフルに使い、積極的にスペイン語を吸収することが求められます。各課のスキット部分や練習問題などでは随時指名して音読や回答をしてもらいます。
成績評価の方法	期末試験（前・後期）50%＋出席（授業への参加度を含む）30%＋各種提出物および小テスト（不定期）20%
教科書／テキスト	栗林ゆき絵ほか『La estrellita』朝日出版社、2,200円 ISBN: 978-4-255-55034
参考書	
その他	履修者の一年次での進度や授業での理解度を確かめながら進めていくので、上記のスケジュールには多少の変更が生じることがあります。

履修コード	282101
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	真下 祐一

授業概要/ 到達目標（ねらい）	<p>(受業概要) 一年次で学んだスペイン語の基礎を充実させ、以降の学習につなげていく。読む、書く、聞く、話す、四つの能力の総合的な発展を促す。スペイン語が身近なものと感じられるよう積極的に勉強に取り組んでもらう。</p> <p>(到達目標) スペイン語の初級文法を習得し終えることが目標です。以前に学習した事柄は基礎となりますので、しっかり復習しながら進めていきます。授業は、各科、文法の解説から始め、練習問題、本文と進んでいきます。毎回の練習問題には、常に正しい回答を求めませんが、大きな声で答えること。はっきりと話す態度も習得目標に含まれます。一年の勉強が終わったところで基礎文法には自信がもてるよう、しっかり学んでいきましょう。上級のクラスへの橋渡しができれば申し分ありません。</p>
--------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 直説法現在規則変化 2. SERとESTAR 3. 直説法現在不規則変化I 4. 直説法現在不規則変化II 5. 線過去I 6. 線過去II 7. 点過去規則変化I 8. 点過去規則変化II 9. 点過去不規則変化I 10. 点過去不規則変化II 11. 完了形 12. 関係詞 13. 未来・規則変化 14. 未来・不規則変化 15. 前期到達度の確認 16. 分詞、比較 17. 再帰動詞 18. 過去未来I 19. 過去未来II 20. 接続法現在・規則変化I 21. 接続法現在・規則変化II 22. 接続法現在・不規則変化I 23. 接続法現在・不規則変化II 24. 接続法現在完了 25. 肯定の命令文 26. 否定の命令文 27. 接続法過去・規則変化 28. 接続法過去・不規則変化 29. 条件文 30. 後期到達度の確認
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学んだことをしっかり復習しておく。 ・授業中に学んだことをしっかり復習して次の授業に取り組むこと。 ・教科書本文の解説が効果的となるように事前に単語の意味をしらべておく。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加する。 ・学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していること。 ・遅刻、欠席をしない。
---------	--

成績評価の方法	試験の結果60%、授業参加40%
---------	------------------

教科書／テキスト	東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロ 一スペイン語初級一』朝日出版社 2200円+税
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	282301
科目名	スペイン語ⅡA
担当者名	真下 祐一

授業概要/ 到達目標（ねらい）	<p>(授業概要) 一年次で学んだスペイン語の基礎を充実させ、以降の学習につなげていく。読む、書く、聞く、話す、四つの能力の総合的な発展を促す。スペイン語が身近なものと感じられるよう積極的に勉強に取り組んでもらう。</p> <p>(到達目標) スペイン語の初級文法を習得し終えることが目標です。以前に学習した事柄は基礎となりますので、しっかり復習しながら進めていきます。授業は、各科、文法の解説から始め、練習問題、本文と進んでいきます。毎回の練習問題には、常に正しい回答を求めませんが、大きな声で答えること。はっきりと話す態度も習得目標に含まれます。一年の勉強が終わったところで基礎文法には自信がもてるよう、しっかり学んでいきましょう。上級のクラスへの橋渡しができれば申し分ありません。</p>
--------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 直説法現在規則変化 2. SERとESTAR 3. 直説法現在不規則変化I 4. 直説法現在不規則変化II 5. 線過去I 6. 線過去II 7. 点過去規則変化I 8. 点過去規則変化II 9. 点過去不規則変化I 10. 点過去不規則変化II 11. 完了形 12. 関係詞 13. 未来・規則変化 14. 未来・不規則変化 15. 前期到達度の確認 16. 分詞、比較 17. 再帰動詞 18. 過去未来I 19. 過去未来II 20. 接続法現在・規則変化I 21. 接続法現在・規則変化II 22. 接続法現在・不規則変化I 23. 接続法現在・不規則変化II 24. 接続法現在完了 25. 肯定の命令文 26. 否定の命令文 27. 接続法過去・規則変化 28. 接続法過去・不規則変化 29. 条件文 30. 後期到達度の確認
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学んだことをしっかり復習しておく。 ・授業中に学んだことをしっかり復習して次の授業に取り組むこと。 ・教科書本文の解説が効果的となるように事前に単語の意味をしらべておく。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加する。 ・学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していること。 ・遅刻、欠席をしない。
---------	--

成績評価の方法	試験の結果60%、授業参加40%
---------	------------------

教科書/テキスト	東京大学教養学部スペイン語部『ディメロ -スペイン語初級-』朝日出版社 2200円+税
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	303301 303302 303303
科目名	スペイン語IIA スペイン語IIB スペイン語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	石井 登

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語文法の基礎を復習し、習得することを目的とします。
授業スケジュール	教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。 前期は(1)オリエンテーション(2～5)名詞、冠詞、ser, estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11～15)点過去、線過去など。 後期は(16～20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30)接続法など。
準備学習	授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
履修上の留意点	課題提出が必要です。添削して返します。
成績評価の方法	前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
教科書/テキスト	福嶋教隆『生き生きスペイン語』朝日出版社2000円978-4-255-55013-8
参考書	

履修コード	303201 303202 303203
科目名	スペイン語IIA スペイン語IIB スペイン語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	大岩 功

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語Iで学習した知識を活用して読解能力を養い、スペイン語を話す地域の生活や文化、考え方への理解を深めることをねらいとします。
授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 オリエンテーション、語根母音変化動詞(1)</p> <p>第2回 語根母音変化動詞(2)</p> <p>第3回 副詞</p> <p>第4回 疑問詞、感嘆文</p> <p>第5回 関係詞(1)</p> <p>第6回 関係詞(2)</p> <p>第7回 不規則活用動詞ir, venir, decir等(1)</p> <p>第8回 不規則活用動詞ir, venir, decir等(2)</p> <p>第9回 否定語と不定語</p> <p>第10回 無人称表現(1)</p> <p>第11回 無人称表現(2)</p> <p>第12回 向き違いの動詞(1)</p> <p>第13回 向き違いの動詞(2)</p> <p>第14回 復習</p> <p>第15回 理解度の確認</p> <p>後期</p> <p>第16回 前期の復習</p> <p>第17回 再帰動詞(1)</p> <p>第18回 再帰動詞(2)</p> <p>第19回 再帰動詞(3)</p> <p>第20回 形容詞の比較級、最上級(1)</p> <p>第21回 形容詞の比較級、最上級(2)</p> <p>第22回 点過去時制(1) 規則活用</p> <p>第23回 点過去時制(2) 変則的な規則活用</p> <p>第24回 点過去時制(3) 不規則活用</p> <p>第25回 点過去時制(4) 不規則活用</p> <p>第26回 線過去時制(1)</p> <p>第27回 線過去時制(2)</p> <p>第28回 点過去時制と線過去時制の使い分け</p> <p>第29回 復習</p> <p>第30回 理解度の確認</p> <p>(スケジュールは実際の授業進行状況により変動することがあります)</p>
準備学習	次回の授業までに予習する範囲または課題を毎回告知します。小テストを実施する場合は事前に告知します。
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	理解度確認(計2回)の評価=60%、小テスト(5～6回程度)の得点=30%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。出席回数が高授業回数の2/3に満たない場合は評価の対象外とします。
教科書/テキスト	『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 ※教科書とは別に読解用の教材を適宜配布します。
参考書	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』白水社(または同辞書を搭載した電子辞書)

履修コード	356501 356502
科目名	スペイン語IIA スペイン語IIB [再クラス]
担当者名	栗林 ゆき絵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。 教科書で会話表現を年間100程度学習し、それを応用してさまざまな口頭会話・作文表現ができるようになることを目指す。 辞書と活用表の見方に習熟することも本授業の目標である。
授業スケジュール	前期は現在形復習(1-4回)、点過去・線過去(5-10回)、再帰動詞(11-12回)、復習と応用(13-15回目)の予定。 後期は、現在完了(1-2回)、分詞(3回)、未来と過去未来(4-5回)、接続法(6-8回)、命令文(9-10回)、読み物(11-13回)、復習(14-15回)の予定。 応用会話の教材は別途プリント配布の予定。 希望があれば、スペインや中南米に関する新聞記事等の購読も行いたい。 最終授業時は作文と和訳の試験を実施する。
準備学習	各課最初のページは各自で和訳ができるよう、単語を調べておくこと。
履修上の留意点	最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかさないように。 提出課題として、前回の内容の復習の作文を毎回授業のはじめに実施する。 日々の授業で地道に力をつけていってほしい。 いかなる理由でも、試験のみ受験、あるいは課題のみ提出の受講者には単位を認めない。 辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。
成績評価の方法	平常点(授業中の課題および出席)50%、期末試験50% 会話練習を多く行うので出席を重視する。毎回提出課題(復習作文)あり。
教科書/テキスト	小池和良著 「改訂版・多国籍スペイン語入門」(同学社、2,500円) ISBN 978-4-8102-0386-8
参考書	〈辞書〉『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) * 辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。
その他	ネット上の辞書使用・携帯端末による辞書使用は認めない。紙の辞書もしくは、辞書機能のみの電子辞書を持参のこと。

履修コード	303101 303102 303103
科目名	スペイン語IIA スペイン語IIB スペイン語IIC(会話) [再クラス]
担当者名	濱田 和範
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	スペイン語Iで学んだスペイン語の基礎を確認しながら、さらなる文法事項を学習していきます。初歩的な文法をマスターし、会話や読解の実践につながる総合的な語学力をつけることが目標です。
授業スケジュール	下記のテキストを用いて、おおよそ以下のスケジュールで学習します。 前期 (第1回) オリエンテーション(アルファベット、発音、あいさつ文) (第2-4回) 動詞ser, estarの用法、人称代名詞、名詞、形容詞など (第5-9回) 動詞の活用(現在形)、数詞(1~100)、時刻、前置詞、接続詞など (第10-15回) 不規則変化動詞の活用、目的語、gustar型動詞、代名詞のまとめなど 後期 (第16回) 前期学習事項の復習 (第17-21回) 直接法点過去・線過去、疑問詞など (第22-26回) 現在分詞・過去分詞、日付の表現、現在完了、再帰動詞など (第27-30回) 受動態、命令文、接続法現在など
準備学習	随時、課題プリントを配布します。また、学期ごとに数回の小テスト(予告あり)を行う予定です。
履修上の留意点	漫然と授業を聞いているだけでは、語学は身に付きません。授業中は、皆で例文を音読したり、練習問題を解いてもらったり、随時指名をして質問に答えてもらいます。頭と耳と口をフルに使い、スペイン語を積極的に吸収・発信しましょう。
成績評価の方法	期末試験(前・後期)50%+出席(授業への参加度を含む)30%+各種提出物および小テスト(不定期)20%
教科書/テキスト	福嶋教隆『Español dinámico』朝日出版社 2,600円 ISBN: 978-4-255-55023-7 その他
参考書	
その他	履修者の進度や授業での理解度を確かめながら進めていくので、上記のスケジュールには多少の変更が生じることがあります。

履修コード	282501
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	石井 登
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めま す。
授業スケジュール	教科書は全10課からなっており、前期は1～6課、後期は7～10課と別途資料にて接続法過去を学 びます。 前期は(1)オリエンテーション、(2～3) gustar型動詞の用法など、(4～5)再帰動詞、(6～7)現 在分詞・関係詞、(8～10)過去分詞・現在完了、(11～13)点過去、(14～15)線過去・過去完了。 後期は(16～17)比較級・最上級、(18～20)直説法未来・過去未来、(21～23)接続法現在、(24～ 25)命令文、(26～30)接続法過去、接続法の用法など。
準備学習	スペイン語Iの授業で、少なくとも直説法現在は習得済みであることを前提に授業します。
履修上の留意点	授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
成績評価の方法	前期と後期の試験 (50%) と出席や課題提出などの平常点 (50%) で評価します。
教科書/テキスト	村上陽子他『スペイン語の世界へようこそ2』朝日出版社2200円978-4-255-55050-3
参考書	

履修コード	282621
科目名	スペイン語II B
担当者名	齊藤 明美

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	このクラスでは一年次で学習した基礎文法を土台に、中級文法 (Gustar型、再帰動詞、進行形、現在完了形、過去形、未来形、接続法の基礎) や日常よく使われる口語表現・基本単語を学びます。またスペイン語での簡単な文章表現 (毎日の生活、これまでの経験、個人の生き立ち、将来の目標など) にもチャレンジします。 7月にはスペイン語圏の友人に簡単なEメールで毎日の日常生活について報告したり、12月には自分の思い出話を語ったり、短期語学留学に無理なく参加できる力が付いていることでしょう。また西検5級合格 (努力次第で4級) の実力が付いているでしょう。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>(1) オリエンテーション・自己紹介 1課: 「私は旅行するのが好きです」 (gustar) (2) 1課: gustar型動詞 (doler) 体の部位の単語 所有形容詞後置形 (3) 1課: gustar型動詞 (interesar, parecer) を使って自分の意見を言う。 (4) 2課: 「何時に起きるの、再帰動詞の用法、一日のスケジュール (起床する、顔を洗う、服を着る、寝床につく) (5) 2課: 再帰動詞の派生的な用法 (相互、強調、受身、一般) (6) 理解度の確認1 文化紹介: メキシコの食べ物と音楽、観光 (7) 3課: 「イザベルを待っているところです」 現在分詞と現在進行形 (8) 3課: 現在分詞「～しながら」と関係詞que (9) 4課: 「メキシコに一度滞在したことがあります」 現在完了形と過去分詞 (10) 4課: 過去分詞のその他の用法 現在を含む時間を表す表現 (11) 4課: スペイン人の友人に近況報告をしよう (メールの書き方と作文演習) (12) 5課: 「フエノス・アイレスに二年間住んでいました」 点過去 規則活用AR (13) 5課: 点過去 規則活用er, ir 過去をあらわす時の表現 (14) 前期学習した事項のまとめ プレゼンテーション1 (15) 理解度の確認2 文化: ペルーについて</p>
----------	---

- 後期
- (16) 5課: 点過去 不規則活用1
(17) 5課: 点過去 不規則活用2 ガルシア・マルケスの生涯
(18) 6課: 「以前毎週土曜日に映画に行っていました」 線過去の用法 (規則活用)
(19) 6課: 線過去2、不規則活用、線過去と用いられる表現
(20) 6課: 点過去と線過去の使い分け、ガウディの生涯、個人の生き立ち作文
(21) 6課: 理解度の確認3 文化: アルゼンチンについて
(22) 7課: 「フアンは君と同じくらい背が高い」 比較級
(23) 7課: 最上級
(24) 8課: 「あなたたちとコンサートに行きます」 未来形の用法
(25) 8課: 過去未来の用法 将来の夢についての作文
(26) 9課: 接続法1
(27) 9課: 接続法2
(28) 10課: 命令形
(29) 後期のまとめ プレゼンテーション2
(30) 理解度の確認4

準備学習	YeStudyを使用しますの毎回の授業の予習・復習に役立ててください
履修上の留意点	出席3分の2以下は原則として定期試験受験不可。遅刻三回につき欠席一回とする。
成績評価の方法	平常点 (授業態度・積極性) (25%) + 7月中間試験 (25%) + 12月期末試験 (30%) + 小テスト (15%) (5月後半, 11月前半1回ずつ) + 毎回の授業の確認テスト (YeStudy上) (5%)

※授業時に回収する作文や会話解答プリント、単語小テスト (随時)、発表 (前期後期各一回) は平常点の採点対象になります。

教科書/テキスト	村上陽子 (むらかみ ようこ) 『Encuentro con el mundo del español 2 スペイン語の世界へようこそ 2』朝日出版社、2200円 ※青の表紙の教科書で2という数字が書いてあります。同シリーズの1 (赤い表紙) と間違えないようにしてください。
----------	---

随時補助プリント配布。(100円ショップなどに売っているA4サイズのファイル帳を用意するとよいでしょう)

参考書	講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
その他	学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。オフィスアワーは毎週火・木曜日 (12:15~13:00) です。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	282611
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	濱田 和範

授業概要/
到達目標 (ねらい) スペイン語Iで習った知識をもとに、さらなる文法事項を身につけます。初級文法を習得し、会話や読解の実践につながるような総合的な語学力を身につけるのが目標です。

授業スケジュール

前期
(第1回) オリエンテーション (アルファベット、発音、あいさつ文、動詞ser)
(第2-4回) 人称代名詞、名詞、形容詞、動詞estarの用法、数詞 (1~100) など
(第5-9回) 動詞の活用 (現在形)、不規則変化動詞の活用など
(第10-15回) 天候表現、目的格の代名詞、gustar型動詞、直接法点過去など

後期
(第16回) 前期学習事項の復習
(第17-21回) 再帰動詞、直接法線過去など
(第22-26回) 過去分詞、現在完了、受動態、比較級・最上級など
(第27-30回) 未来形、接続法現在、命令法など

準備学習 不定期に課題プリントを配布します。

履修上の留意点 漫然と話を聞いているだけでは、語学は習得できません。頭と口をフルに使い、積極的にスペイン語を吸収することが求められます。各課のスキット部分や練習問題などでは随時指名して音読や回答をしてもらいます。

成績評価の方法 期末試験 (前・後期) 50%+出席 (授業への参加度を含み) 30%+各種提出物および小テスト (不定期) 20%

教科書/テキスト イグナシオ・アリスティムニョほか『Intenso』朝日出版社、2,200円 ISBN: 978-4-255-55051-0

参考書

その他 履修者の一年次での進捗や授業での理解度を確かめながら進めていくので、上記のスケジュールには多少の変更が生じることがあります。

履修コード	353801
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	横藤田 稔泰

授業概要/
到達目標 (ねらい) 1年次に学習した内容の復習と新しい文法事項 (再帰動詞、点過去・線過去、現在完了、接続法現在) の習得をめざします。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるという物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地 (マドリッド、セビリア、バルセロナなど) を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。

授業スケジュール 授業は年間30回行ないます。前期は1年次の文法項目の復習が中心となります。後期は新しい文法事項を中心に学習していきます。もちろん、受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては次のようになります。
前期: バルセロナとパンブローナ (不規則動詞、gustar型動詞、再帰動詞、現在完了)
後期: サン・セバスティアンとラ・コルーニャ (点過去、線過去、未来形、接続法現在)

準備学習 各課の会話部分は、指示が無くても必ず予習すること。

履修上の留意点 授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。

成績評価の方法 試験70% (前期と後期の二回実施) 出席等30%

教科書/テキスト 福島教隆『スペインの宝』同学社、2500円

参考書 推奨辞書『プログレッシブスペイン語辞典』 (小学館)

履修コード	282801 282802
科目名	スペイン語IID スペイン語IIB
担当者名	真下 祐一

授業概要/
到達目標 (ねらい)

(授業概要)

一年次に学習したことを復習しながら、読解力を養成する。文法の基礎を確実にしつつ、以降各学習者が勉強を続けていくための土台の完成を目指す。スペイン語圏の時事を扱ったテキストを読むことで、言語は状況の中で生きているということを実感してもらう。

(到達目標)

教科書本文をしっかり理解し、文法に関する練習問題をこなしていきながら、基礎の習得を終え、辞書を引きながら時事などに関する平易な文章の読解を可能にすることが目標。文章を黙読するだけでなく、はっきりと音読できるよう練習する。各トピックについて自分の意見や感想を、はじめは日本語でもいいから述べられるようにする。読解には欠かせない社会・文化的文脈への理解を促し、スペイン語の学習を通し自分たちが生きる時代についての批評的視点の獲得を目指す。

授業スケジュール

1. 導入
2. メキシコにおける貧富の格差
3. アルゼンチンの輸出
4. メキシコ市の物価
5. まとめ
6. タンゴのフェスティバル
7. メキシコの文化イベント
8. アルゼンチンの行方不明者
9. まとめ
10. パバントラのボラドールたち
11. コスキンの国際フォルクローレ祭
12. アルゼンチンの経済
13. アルゼンチンの映画
14. まとめ
15. 前期到達度の確認
16. アルゼンチンのサッカー
17. 死者の日
18. フエノスアイレスの道路標識
19. まとめ
20. メキシコのパンダ
21. メキシコの高齢者問題
22. アルゼンチンの政治の話題
23. まとめ
24. メキシコのサパティスタ
25. 環境問題
26. まとめ
27. アルゼンチンの女性判事
28. メキシコのインディヘナの子供たち
29. まとめ
30. 後期到達度の確認

準備学習

- ・一年次で学んだことをしっかり復習しておく。
- ・本文の解説が理解できるよう単語の意味を調べておくなど予習は欠かせない。
- ・授業中に学んだことをしっかりと復習しておく。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

履修上の留意点

- ・積極的に授業に参加すること。
- ・あてられたときに黙ってしまうことがないように。
- ・遅刻、欠席をしない。

成績評価の方法

試験の結果60% 授業参加40%

教科書/テキスト

国本伊代 アレハンドロ・クダ『スペイン語でニュースを読む - メキシコとアルゼンチンの記事より -』朝日出版社 ISBN4 - 255 - 55014 - X C1087 1400円+税

参考書

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス、ムニョス、S.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 日常的な場面での、口語また文章でのコミュニケーションにおけるスペイン語文法の基礎構造の運用力を養う。自己表現また簡単な文章の読解に必要な基礎的な語彙を蓄え、実際に使えるようにする。</p> <p>(到達目標) 自分自信や周囲の人たちの日常生活についての基礎的な情報の発信と受容が適切に行えるようにする。身の回りのこと、人物や場所についての描写が行えるようにする。招待を行ったり、計画を伝えたりすることができるようにする。総じて、スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、描写や自己表現に必要な語彙を蓄えつつ、実際の表現力を獲得していく中で基礎文法の定着を目指す。同時に、コミュニケーション能力の涵養には不可欠であるスペイン語圏の文化や習慣についての知識を深めていく。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発音とアルファベット 2. 自己紹介 3. 動詞SERとESTAR 4. 一般形容詞 5. 所有形容詞 6. 場所と位置関係の表現 I 7. 場所と位置関係の表現 II 8. 直説法現在規則活用動詞 I 9. 直説法現在規則活用動詞 II 10. 曜日と月・数詞 11. 再帰動詞 I 12. 再帰動詞 II 13. 直説法現在不規則活用動詞 I 14. 直説法現在不規則活用動詞 II 15. 前期理解度の確認 16. HABERとESTAR 17. 動詞GUSTAR・I 18. 動詞GUSTAR・II 19. 食事について 20. 天候の表現 21. 命令法 (規則活用) 22. 依頼の表現 I 23. 依頼の表現 II 24. 現在進行形 25. 約束をするときの表現 26. 買い物をする 27. 目的語代名詞 28. 身体各部の名称 29. 病院で、動詞DOLER 30. 後期理解度の確認
----------	--

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。 ・単語の意味調べを行い、授業に出る。 ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。 ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。 ・努めて語彙を増やしていくこと。 ・スペイン語圏のニュースに注意している。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・受講希望者はスペイン語の基礎を一年以上学んでいること。 ・コミュニケーションの練習には自分のことを語らなければならないので、積極的かつ開放的に練習に取り組む心構えをしておくこと。 ・遅刻、欠席をしない。
---------	--

成績評価の方法	授業参加 (20%)、授業中の課題 (20%)、試験 (60%)。試験を受験できるためには80%以上授業に参加していることが必要である。
---------	--

教科書/テキスト	Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1, A1. (Libro del alumno)』 (S. G. E. L.) ISBN: 978-84-9778-190-9
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) スペイン語コミュニケーションIで学んだことを発展させる。現在のことだけでなく、過去や未来のことも話れるよう、複雑な状況を理解し、そこで自己発信が可能となるよう、様々な表現手段を獲得しつつコミュニケーションの基礎知識をさらに深める。</p> <p>(到達目標) 自分自身や周囲の人たちの日常生活についての基礎的な情報の発信と受容が適切に行えるようにする。身の回りのこと、人物や場所についての描写が適切に行えるようにする。招待を行ったり、受けたり断ったりできるようにする。自分の意見を述べたり、人に求めたりできるように、また同意や不同意が適切に表明できるようにする。自分に関わる過去の出来事、習慣を、現在のそれと対照しつつ述べられるようにする。未来の計画の語り方を学ぶ。スペイン語圏の文化や生活習慣に関する知識を深めていく。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、国籍、数 2. 職業、挨拶 3. 事物の所在 4. 住所と電話番号 5. 時間と日付 6. 習慣、頻度の表現 7. 値段など数を言う 8. 同意と不同意の表現 9. 家族について 10. 人間関係 11. スペインの若者 12. 意見を言う、色、天気 13. 好み、身体の部分 14. 義務と欲求 15. 前期理解度の確認 16. 計画を立てる 17. 意図を述べる 18. 電話で話す 19. 理由を述べる 20. 所見を述べる 21. 旅行について 22. 過去のことから 23. 短い物語を作る 24. 自分の過去 25. 過去の習慣 26. 過去の描写 27. 過去と現在の習慣の比較 28. 許可を求める、与える、断る 29. 義務の表現、未来 30. 後期理解度の確認
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前に学んだことをしっかり復習しておく。 ・ 単語の意味調べをして授業に出る。 ・ 授業中に出る宿題を必ず行うこと。 ・ 毎回学んだことを確実に復習しておくこと。 ・ 努めて語彙を増やしていくこと。 ・ スペイン語圏のニュースに注意している。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講希望者はスペイン語コミュニケーションIまたはそれに同等の勉強を終えていること。 ・ コミュニケーションの練習には自分のことを語らなければならないので、積極的また開放的に練習に取り組む心構えをしておくこと。 ・ 遅刻、欠席をしない。
---------	---

成績評価の方法	授業参加 (20%)、授業中の課題 (20%)、試験 (60%)。試験を受験できるためには80%以上授業に参加している必要がある。
---------	---

教科書/テキスト	Jesús Sánchez Lobato, et al. 『Nuevo Español sin fronteras. ESF 1. A2. Libro del alumno』 S. G. E. L. ISBN84-9778-161-9
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	287201
科目名	スペイン語スキルアップ
担当者名	上野 勝広

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>このクラスでは、スペイン語検定試験（4級レベル以上）に合格することを目標にします。</p> <p>既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。</p> <p>作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、既習事項の理解チェック 2. 文の構成要素と結合関係、テキスト講読（1） 3. 自動詞・再帰動詞構文、模擬問題の演習（1） 4. 他動詞構文、テキスト講読（2） 5. 同格構文等、模擬問題の演習（2） 6. 連結動詞、テキスト講読（3） 7. 与格・対格構文、模擬問題の演習（3） 8. 関係詞、テキスト講読（4） 9. 強調構文、模擬問題の演習（4） 10. 時を表す構文、テキスト講読（5） 11. 原因・理由を表す構文（1）、模擬問題の演習（5） 12. 原因・理由を表す構文（2）、テキスト講読（6） 13. 程度・結果を表す構文（1）、模擬問題の演習（6） 14. 程度・結果を表す構文（2）、模擬問題の演習（7） 15. 前回までの要点の整理・理解度の確認
----------	---

- 後期
16. 譲歩を表す構文（1）、テキスト講読（7）
 17. 譲歩を表す構文（2）、模擬問題の演習（8）
 18. 目的を表す構文、テキスト講読（8）
 19. 条件を表す構文（1）、模擬問題の演習（9）
 20. 条件を表す構文（2）、テキスト講読（9）
 21. 様態を表す構文・無主語文、模擬問題の演習（10）
 22. 不定主語文・受動文、テキスト講読（10）
 23. 比較構文（1）、模擬問題の演習（11）
 24. 比較構文（2）、テキスト講読（11）
 25. 様々な構文（1）、模擬問題の演習（12）
 26. 様々な構文（2）、テキスト講読（12）
 27. 模擬問題の演習（13）
 28. 模擬問題の演習（14）
 29. 模擬問題の演習（15）
 30. 前回までの要点の整理・理解度の確認

準備学習	既習の基礎文法を一通り復習しておきましょう。疑問点やよくわからなかったところを明確にして、この授業に臨んでください。
履修上の留意点	「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限上げるために、何より集中力が大切です。
成績評価の方法	前期末・学年末試験の結果（50%）と平常点（50%）を総合して評価します。
教科書／テキスト	小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円 これに合わせてプリント教材を随時配布します。
参考書	

履修コード	272501
科目名	中国語ⅠA
担当者名	秋元 翼

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 中国で使われている共通語「普通話」の基礎を学ぶ。まずピンイン(中国式のローマ字表記)の発音の仕方から始め、初級の文法、語彙、表現を学んでいく。同じ漢字を用いていてもかなり日本語とは違うので、その文化的背景にも適宜触れていきたい。また、日常役立つ会話表現も学ぶ。</p> <p>(到達目標) 中国語は発音が難しいので、どうしても漢字を目で追って理解しようとしがちである。初級のうちに発音の基礎をきちんと身につけ、教科書に出てくる単語や表現は字を見なくても音で意味が分かるようにすることが必要である。そのことを基本にして、初級の文法・語彙・表現を習得することを旨とする。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>(前期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音 1 2. 発音 2 3. 発音 3 4. 発音 4 5. 第1課 是 6. 第2課 S+V+O 7. 第3課 形容詞述語文 8. 復習 1 9. 第4課 量詞 10. 第4課 在 11. 第5課 名詞述語文 12. 第5課 比較表現 13. 第6課 助動詞 14. 第6課 連動文 15. 復習 2 <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第7課 V+了 2. 第7課 V+的+N 3. 第8課 了2 4. 第8課 可能表現 5. 第9課 受け身 6. 第9課 方向補語 7. 復習 3 8. 第10課 兼語文 9. 第10課 様態補語 10. 第11課 可能補語 11. 第11課 使役表現 12. 第12課 持続表現 13. 第12課 仮定表現 14. 復習 4 15. まとめ
----------	--

準備学習	必ず予習をすること。予習で分からなかったところを授業で解決するように。さらに疑問があれば、授業中に積極的に質問すること。また、習った箇所は暗記できるまでにしておく。付属のCDを活用し、ヒヤリングの訓練もするように。
履修上の留意点	土曜日2時限「中国語ⅠB(下出宣子先生)」と必ずセットで履修のこと。どちらのクラスにも4分の3以上は出席すること。
成績評価の方法	前期・後期それぞれに行う中間テスト・期末テストの成績を基本に、平常の学習態度・理解度を加味して総合的に評価する。
教科書/テキスト	内田慶市・張軼欧『極める中国語 初級編』(同学社)2,500円+税
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo

履修コード	273201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	秋元 翼

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 中国で使われている共通語「普通話」の基礎を学ぶ。まずピンイン(中国式のローマ字表記)の発音の仕方から始め、初級の文法、語彙、表現を学んでいく。同じ漢字を用いていても、かなり日本語とは違うので、その文化的背景にも適宜触れていきたい。また、日常役立つ会話表現も学ぶ。</p> <p>(到達目標) 中国語は発音が難しいので、どうしても漢字を目で追って理解しようとしがちである。初級のうちに発音の基礎をきちんと身につけ、教科書に出てくる単語や表現は字を見なくても音で意味が分かるようにすることが必要である。そのことを基本にして、初級の文法・語彙・表現を習得することを旨とする。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>(前期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音 1 2. 発音 2 3. 発音 3 4. 発音 4 5. 第1課 是 6. 第2課 S+V+O 7. 第3課 形容詞述語文 8. 復習 1 9. 第4課 量詞 10. 第4課 在 11. 第5課 名詞述語文 12. 第5課 比較表現 13. 第6課 助動詞 14. 第6課 連動文 15. 復習 2 <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第7課 V+了 2. 第7課 V+的+N 3. 第8課 了2 4. 第8課 可能表現 5. 第9課 受け身 6. 第9課 方向補語 7. 復習 3 8. 第10課 兼語文 9. 第10課 様態補語 10. 第11課 可能補語 11. 第11課 使役表現 12. 第12課 持続表現 13. 第12課 假定表現 14. 復習 4 15. まとめ
----------	--

準備学習	必ず予習をすること。予習で分からなかったところを授業で解決するように。さらに疑問があれば、授業中に積極的に質問すること。また、習った箇所は暗記できるまでしておく。付属のCDを活用し、ヒヤリングの訓練もするように。
------	--

履修上の留意点	土曜日1時限「中国語ⅠB(下出宣子先生)」と必ずセットで履修のこと。どちらのクラスにも4分の3以上は出席すること。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期のそれぞれに行う中間テスト・期末テストの成績を基本に平常の学習態度・理解度を加味して総合的に評価する。
---------	--

教科書/テキスト	内田慶市・張軼欧『極める中国語 初級編』同人社 2500円+税
----------	---------------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	272701
科目名	中国語ⅠA
担当者名	岩崎 皇

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言葉を経験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りになっています。音声をよく聞くこと、まねをして発音すること、この2点が重要ですから、繰り返し練習します。
---------------------	--

授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。 この授業は土曜日2限の「中国語ⅠB」と内容が連続した授業となります。ⅠAとⅠBあわせて60回の授業スケジュールは、最初10回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。なお、授業期間内に理解度の確認を4回以上行う予定です。
----------	--

準備学習	教科書についているCDをMP3プレーヤーに入れて、大学の行き帰りに毎日聞きましょう。
------	--

履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠAとⅠBそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。 この授業は必ず、曹先生担当の「中国語ⅠB」(土曜日2限)とセットで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
---------	--

成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、中国語ⅠAとⅠBあわせて年間4回以上行う試験で判断します。
---------	--

教科書/テキスト	遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社)2,500円(本体)
----------	-----------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	274411
科目名	中国語ⅠA
担当者名	岩崎 皇

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言葉を経験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りになっています。音声をよく聞くこと、まねをして発音すること、この2点が重要ですから、繰り返し練習します。
---------------------	--

授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。 この授業は月曜日1限の「中国語ⅠB」と内容が連続した授業となります。ⅠAとⅠBあわせて60回の授業スケジュールは、最初10回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。なお、授業期間内に理解度の確認を4回以上行う予定です。
----------	--

準備学習	教科書についているCDをMP3プレーヤーに入れて、大学の行き帰りに毎日聞きましょう。
------	--

履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠAとⅠBそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。 この授業は必ず、岩崎担当の「中国語ⅠB」(月曜日1限)とセットで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
---------	---

成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、中国語ⅠAとⅠBあわせて年間4回以上行う試験で判断します。
---------	--

教科書/テキスト	遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社)2,500円(本体)
----------	-----------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	352601
科目名	中国語ⅠA
担当者名	梅田 雅子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンインを正確に読めるようになる。知らない単語もピンインを見れば発音できるようになる。 ・身の回りのことなどについて、中国語で話すことができるようになる。 ・文法に基づいて、中国語の文章を作れるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。</p> <p>一課につき、主に梅田が前半（文法と本文の確認）を、王が後半（発音練習と応用練習、教科書の練習問題）を担当する。</p>
----------	--

■年間スケジュール（予定）※理解度により多少前後する
【前期】

- 1回目：発音練習
- 2回目：発音練習
- 3回目：1課前半①
- 4回目：1課前半②
- 5回目：2課前半①
- 6回目：2課前半②
- 7回目：3課前半①
- 8回目：3課前半②
- 9回目：4課前半①
- 10回目：4課前半②
- 11回目：5課前半①
- 12回目：5課前半②
- 13回目：6課前半①
- 14回目：6課前半②
- 15回目：期末まとめ

【後期】

- 1回目：答案返却＋7課前半①
- 2回目：7課前半②
- 3回目：8課前半①
- 4回目：8課前半②
- 5回目：9課前半①
- 6回目：9課前半②
- 7回目：10課前半①
- 8回目：10課前半②
- 9回目：11課前半①
- 10回目：11課前半②
- 11回目：12課前半①
- 12回目：12課前半②
- 13回目：自己紹介
- 14回目：学年末まとめ①
- 15回目：学年末まとめ②

準備学習	小テストについては事前に予告するので、自宅で準備してくること。
------	---------------------------------

履修上の留意点	<p>★中国語ⅠB（金曜：王聡 担当）も必ず合わせて履修すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を要する。 ・授業中は積極的に声を出して発音練習をすること。 ・恥ずかしがらずに何度もチャレンジすること。
---------	---

成績評価の方法	<p>■成績評価の方法 平常点（小テストの平均点・平常の出席状況・学習態度・理解度）および期末テスト（前期後期）の成績で総合的に評価する。</p> <p>■成績の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点30%＋期末試験（前期後期）70% ・無断で欠席することにより-2点 ・遅刻3回＝欠席1回
---------	---

教科書／テキスト	尹景春・竹島毅『《最新2訂版》中国語はじめの一步』白水社、2310円 ISBN：978-4-560-06925-7
----------	--

参考書	
-----	--

その他	<p>■欠席した場合は、クラスメートに宿題や小テストの有無を確認すること。</p> <p>■外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。</p>
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	272301
科目名	中国語ⅠA
担当者名	小栗山 恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
授業スケジュール	内容 IAでは文法の説明、入れ替え練習を主に、IBでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、第八課(能願動詞“会”“能”)、後期：第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”) 授業は年間30回行なう。
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。
履修上の留意点	土曜日2時限「中国語ⅠB」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ、提出物(3割)等により総合的に評価する。
教科書/テキスト	余慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円
参考書	

履修コード	273001
科目名	中国語ⅠA
担当者名	小栗山 恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
授業スケジュール	IAでは文法の説明、入れ替え練習を主に、IBでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期第1回～第15回：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、後期第16回～第30回：第八課(能願動詞“会”“能”)、第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。
履修上の留意点	土曜日1時限「中国語ⅠB」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ(3割)により評価する。
教科書/テキスト	余慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円
参考書	

履修コード	274301
科目名	中国語ⅠA
担当者名	神谷 智幸
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音・文法に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。授業は一冊の教科書を二人の教員で担当し、ⅠAは文法説明、入れ替え練習を主に行ない、ⅠBは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行なう。
授業スケジュール	前期： 第1回 ガイダンス 第5回 発音まとめ 第7回 第二課 (名詞述語文) 第9回 第四課 (形容詞述語文、主述述語文) 第11回 第六課 (在、方位詞) 第13回 第八課 (能願動詞“会”“能”) 第15回 前期 理解度の確認 後期： 第16回 第九課 (様態補語“得”) 第18～19回 第十一課 (二重目的語文、介詞) 第20回 第十二課 (動態助詞“过”、動量補語) 第21回～第22回 第十三課 (結果補語) 第24回～第25回 第十五課 (処置文、受け身文) 第26回 第十六課 (使役文) 第27回～第28回 第十七課 (存現文、“着”、“是～的”) 第29回 第十八課 (“才”、“就”) 第2回～第4回 発音 第6回 第一課 (是) 第8回 第三課 (動詞述語文) 第10回 第五課 (有、量詞) 第12回 第七課 (能願動詞“想”“要”) 第14回 前期のまとめ 第17回 第十課 (“了”) 第23回 第十四課 (方向補語) 第30回 全体のまとめ 理解度の確認
準備学習	・学んだ内容は必ず復習してください。 ・単語の暗記や本文の暗誦を課題として出します。 ・定着度の確認のため、授業時間内に小テストや口頭試験をしてもらいます。
履修上の留意点	・月曜日1時限のⅠB (徳間佳信先生担当) と必ずセットで履修してください。 ・中国語は入門段階で正しい発音を覚えることがきわめて重要です。 発音練習の際はお腹から大きな声を出すよう心がけてください。
成績評価の方法	試験の成績 (7割)、小テストや授業への取り組みなどの平常点 (3割) により総合的に評価する。成績はⅠA、ⅠBの教員がそれぞれ評価します。
教科書/テキスト	余慕・小栗山恵・綾部武彦『中国学習基礎編』(南雲堂フェニックス) 2500円+税
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	272711
科目名	中国語ⅠA
担当者名	佐藤 普美子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
授業スケジュール	第1回：導論 (中国に関する豆知識)。第2回～第7回：発音の基礎固め・基本文型と疑問文 (テキスト発音篇、第1課～第3課)。第8回～第14回：動詞・助動詞・助詞・副詞・前置詞・量詞・進行態 (テキスト第4課～第7課)。第15回：前期学習内容の総まとめと理解度の確認。第16回～第22回：結果補語・方向補語・可能補語・程度補語・比較・持続態・経験態 (テキスト第8課～第11課)。第23回～第29回：方位詞・前置詞・副詞・疑問詞・使役文 (テキスト第12課～第15課)。第30回：後期学習内容の総まとめと理解度の確認。都市部の生活における主な場面 (全5ユニット) で必要になる基礎文法と基本的表現を学びます。週2回 (ⅠA、ⅠB) の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD (テキストに付属) で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	土曜日2限のⅠB (佐藤担当) と必ずセットで履修して下さい。 発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	特別の事情がない限り、4分の3以上の出席が前提です。4分の1以上欠席すると、学期末試験は受けられません。前・後期の期末試験及び小テスト (前・後期各2回) を総合した成績80%、平常点 (授業への参加度) 20%。
教科書/テキスト	遠藤光暁監修・衛裕群・汪晓京著『入門 リアルタッチ中国』(朝日出版社) 2400円+税 ISBN: 978-4-255-45211-1
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	273311
科目名	中国語ⅠA
担当者名	佐藤 普美子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
授業スケジュール	第1回：導論（中国に関する豆知識）。第2回～第7回：発音の基礎固め・基本文型と疑問文（テキスト発音篇、第1課～第3課）。第8回～第14回：動詞・助動詞・助詞・副詞・前置詞・量詞・進行態（テキスト第4課～第7課）。第15回：前期学習内容の総まとめと理解度の確認。第16回～第22回：結果補語・方向補語・可能補語・程度補語・比較・持続態・経験態（テキスト第8課～第11課）。第23回～第29回：方位詞・前置詞・副詞・疑問詞・使役文（テキスト第12課～第15課）。第30回：後期学習内容の総まとめと理解度の確認。都市部の生活における主な場面（全5ユニット）で必要になる基礎文法と基本的表現を学びます。週2回（ⅠA、ⅠB）の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD（テキストに付属）で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	土曜日1限のⅠB（佐藤担当）と必ずセットで履修して下さい。 発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	特別の事情がない限り、4分の3以上の出席が前提です。4分の1以上欠席すると、学期末試験は受けられません。前・後期の期末試験及び小テスト（前・後期各2回）を総合した成績80%、平常点（授業への参加度）20%。
教科書／テキスト	遠藤光暁監修・衛榕群・汪暁京著『入門 リアルタッチ中国』（朝日出版社）2400円＋税 ISBN：978-4-255-45211-1
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	272721
科目名	中国語ⅠA
担当者名	塩旗 伸一郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	外の世界を知ることは楽しい。それは自らを豊かにすることでもある。 日本語と最も縁の深い中国語を学ぶことは、日本語をより深く知ることにもなる。 ことばと映像で中国各地を旅しながら中国語を楽しく学ぼう。
---------------------	---

授業スケジュール	中国語ⅠB(土曜第2時限)と連続しています。 第1週: 発音篇1 声調と単母音 第2週: 発音篇2 複合母音 第3週: 発音篇3 子音 第4週: 発音篇4 鼻母音 第5週: 発音篇5 発音の規則 第6週: 北京1 第7週: 北京2 第8週: 北京3 第9週: 北京4 第10週: 復習1 第11週: 泰山・黄山 第12週: 西安 第13週: 成都 第14週: 九寨溝 第15週: 前期末試験直前予想 第16週: 前期末試験解説と復習 第17週: 雲南省1 第18週: 雲南省2 第19週: 大連 第20週: 青島 第21週: 上海1 第22週: 上海2 第23週: 上海3 第24週: 上海4 第25週: 復習2 第26週: 杭州 第27週: 厦門 第28週: 海南島 第29週: 香港・桂林 第30週: 後期末試験直前予想
----------	--

準備学習	中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。附属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。 課ごとの練習問題は宿題とします。 事後学習としてeラーニング「YeStudy」上で課題提出を求めます。
------	---

履修上の留意点	中国語ⅠB(土曜第2時限 塩旗)とひと続きの授業です。必ず両方とも受講してください。 外国語の学習は毎回の出席と参加が肝腎です。 授業中の私語、通話、メール、睡眠は出席と見なしません。 欠席が前後期各3回を超えた場合は1回につき10点を減じます。
---------	--

成績評価の方法	期末試験(60%) + 小テスト&eラーニング(20%) + 平常点(20%)
---------	---

教科書/テキスト	楊凱榮・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社 2500円+税)
----------	----------------------------------

参考書	辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho }
-----	---

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	273321
科目名	中国語ⅠA
担当者名	塩旗 伸一郎
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	外の世界を知ることは楽しい。それは自らを豊かにすることでもある。日本語と最も縁の深い中国語を学ぶことは、日本語をより深く知ることにもなる。ことばと映像で中国各地を旅しながら中国語を楽しく学ぼう。
授業スケジュール	中国語ⅠB(土曜第1時限)と連続しています。 第1週: 発音篇1 声調と単母音 第2週: 発音篇2 複合母音 第3週: 発音篇3 子音 第4週: 発音篇4 鼻母音 第5週: 発音篇5 発音の規則 第6週: 北京1 第7週: 北京2 第8週: 北京3 第9週: 北京4 第10週: 復習1 第11週: 泰山・黄山 第12週: 西安 第13週: 成都 第14週: 九寨溝 第15週: 前期末試験直前予想 第16週: 前期末試験解説と復習 第17週: 雲南省1 第18週: 雲南省2 第19週: 大連 第20週: 青島 第21週: 上海1 第22週: 上海2 第23週: 上海3 第24週: 上海4 第25週: 復習2 第26週: 杭州 第27週: 廈門 第28週: 海南島 第29週: 香港・桂林 第30週: 後期末試験直前予想
準備学習	中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。附属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。 課ことの練習問題は宿題とします。 事後学習としてeラーニング「YeStudy」上で課題提出を求めます。
履修上の留意点	中国語ⅠB(土曜第1時限 塩旗)とひと続きの授業です。必ず両方も受講してください。 外国語の学習は毎回の出席と参加が肝腎です。 授業中の私語、通話、メール、睡眠は出席と見なしません。 欠席が前後期各3回を超えた場合は1回につき10点を減じます。
成績評価の方法	期末試験(60%) + 小テスト&eラーニング(20%) + 平常点(20%)
教科書/テキスト	楊凱栄・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社 2500円+税)
参考書	辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho }
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	274401
科目名	中国語ⅠA
担当者名	塩旗 伸一郎
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。
授業スケジュール	中国語ⅠB (月曜第1時限、陳先生) と連続しています。 第1週: 発音篇1 単母音・声調 第2週: 発音篇1 複母音 第3週: 発音篇2 子音・軽声 第4週: 発音篇3 鼻音で終わる組み合わせ 第5週: 発音篇4 第3声その他の変調・“儿化” 第6週: 発音総復習 第7週: 第一課 大学校園 第8週: 第二課 北京的馬路 第9週: 第三課 去長城 第10週: 復習1 第11週: 第四課 上海 第12週: 第五課 上海夜景 第13週: 第六課 公園 第14週: 復習2 第15週: 前期試験直前予想 第16週: 前期試験解説と復習 第17週: 第七課 小喫街 第18週: 第八課 月餅 第19週: 第九課 參觀故宮 第20週: 復習3 第21週: 第十課 四合院 第22週: 第十一課 春節的餃子 第23週: 第十二課 傳統民樂 第24週: 復習4 第25週: 第十三課 参加婚礼 第26週: 第十四課 北京的交通 第27週: 第十五課 春節廟会 第28週: 復習5 第29週: 後期試験直前予想 第30週: 發展学習
準備学習	中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。付属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。 課ごとの「筆頭練習」は宿題とします。(ⅠB) 事後学習としてeラーニング「YeStudy」上で課題提出を求めます。(ⅠA)
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠA、ⅠBとも各6回を超えた場合は単位取得ができません。この授業は必ず、月曜日第1時限「中国語ⅠB」(陳洲拳先生)とペアで履修してください。
成績評価の方法	期末試験(60%) + 小テスト/eラーニング(20%) + 平常点(20%)
教科書/テキスト	衛榕群・汪曉京『入門 リアルタッチ中国』(朝日出版社 2400円+税)
参考書	辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhोजिशो]
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	274101
科目名	中国語ⅠA
担当者名	曹 泰和
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を覚え、学習1年間終了後には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを到達目標とする。また付属のDVDを観ることで本文の内容について理解を深める。
授業スケジュール	①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 (第1回～14回) 第15回 到達度の確認 ②文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16回～29回) 第30回 到達度の最終確認
準備学習	必ず単語を予習すること。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 必ずⅠA(曹 泰和)とⅠB(三田村 圭子)をセットで履修すること。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験・期末試験は80%、授業態度と出席などの平常点を20%とし、総合評価する。
教科書/テキスト	遠藤光暁 監修『入門 リアルタッチ中国』朝日出版社 2400円 ISBN978-4-255-452111-1 C1087
参考書	授業開始時に説明する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo

履修コード	272201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	根岸 政子

授業概要/ 到達目標（ねらい）	中国語の発音と基本文法を学び、日常の簡単な会話表現を身につける。
--------------------	----------------------------------

授業スケジュール	<p>(前期)</p> <p>第1回：ガイダンス</p> <p>第2回：発音1</p> <p>第3回：発音2</p> <p>第4回：発音3</p> <p>第5回：人称代名詞 是の構文</p> <p>第6回：指示代名詞 動詞述語文</p> <p>第7回：数の表現 動詞「有」</p> <p>第8回：形容詞述語文 動詞「在」</p> <p>第9回：値段の言い方 月日の言い方</p> <p>第10回：時刻の言い方 進行表現</p> <p>第11回：連動文 助動詞「会」「能」「可以」</p> <p>第12回：反復疑問文 「有点」</p> <p>第13回：「了」 過去の経験</p> <p>第14回：選択疑問文 動詞の重ね式</p> <p>第15回：前期の総まとめ 理解度の確認</p> <p>(後期)</p> <p>第16回：前期の復習</p> <p>第17回：二重主語 前置詞「給」</p> <p>第18回：時間詞 時間補語</p> <p>第19回：様態補語 前置詞「跟」</p> <p>第20回：助動詞「想」</p> <p>第21回：是～的</p> <p>第22回：比較表現</p> <p>第23回：概数の言い方 「連～都…」</p> <p>第24回：把の構文 可能補語</p> <p>第25回：受身文</p> <p>第26回：存現文 使役表現</p> <p>第27回：「越来越～」</p> <p>第28回：「一～就…」「一边～一边…」</p> <p>第29回：複文</p> <p>第30回：後期の総まとめ 理解度の確認</p>
----------	--

中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ（合わせて週2回）の授業で1課進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。中国の人々の暮らしぶりや風景をみることのできるDVDつきの教科書を使います。興味をもったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきつと楽しくなるはずですよ。

準備学習	付属のCDを何回か聞いて予習しましょう。
履修上の留意点	土曜第2時限「中国語ⅠB（神谷智幸先生）」と必ずセットで履修してください。同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。教室でも、家でも大きな声を出して発音練習しましょう。毎日こつこつ単語を覚えましょう。
成績評価の方法	前期・後期試験の成績（70％）、宿題や小テスト（15％）、・出席状況や授業への取り組みなどの平常点（15％）を総合して評価します。成績はⅠA、ⅠBの担当教員がそれぞれ評価します。
教科書／テキスト	山下輝彦・張仕英・田禾『DVD JOYFUL中国語』（朝日出版社）2,500円＋税
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	272901
科目名	中国語ⅠA
担当者名	根岸 政子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語の発音と基本文法を学び、日常の簡単な会話表現を身につける。
---------------------	----------------------------------

授業スケジュール	<p>(前期)</p> <p>第1回: ガイダンス</p> <p>第2回: 発音 1</p> <p>第3回: 発音 2</p> <p>第4回: 発音 3</p> <p>第5回: 人称代名詞 是の構文</p> <p>第6回: 指示代名詞 動詞述語文</p> <p>第7回: 数の表現 動詞「有」</p> <p>第8回: 形容詞述語文 動詞「在」</p> <p>第9回: 値段の言い方 月日の言い方</p> <p>第10回: 時刻の言い方 進行表現</p> <p>第11回: 連動文 助動詞「会」「能」「可以」</p> <p>第12回: 反復疑問文 「有点」</p> <p>第13回: 「了」 過去の経験</p> <p>第14回: 選択疑問文 動詞の重ね式</p> <p>第15回: 前期の総まとめ 理解度の確認</p> <p>(後期)</p> <p>第16回: 前期の復習</p> <p>第17回: 二重主語 前置詞「給」</p> <p>第18回: 時間詞 時間補語</p> <p>第19回: 様態補語 前置詞「跟」</p> <p>第20回: 助動詞「想」</p> <p>第21回: 是～的</p> <p>第22回: 比較表現</p> <p>第23回: 概数の言い方 「連～都…」</p> <p>第24回: 把の構文 可能補語</p> <p>第25回: 受身文</p> <p>第26回: 存現文 使役表現</p> <p>第27回: 「越来越～」</p> <p>第28回: 「一～就…」 「一边～一边…」</p> <p>第29回: 複文</p> <p>第30回: 後期の総まとめ 理解度の確認</p>
----------	--

中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で1課進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。中国の人々の暮らしぶりや風景をみることのできるDVD付きの教科書を使います。興味をもったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきつと楽しくなるはずですよ。

準備学習	付属のCDを何回か聞いて予習しましょう。
履修上の留意点	土曜第1時限「中国語ⅠB(神谷智幸先生)」と必ずセットで履修してください。同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。教室でも、家でも大きな声を出して発音練習しましょう。毎日こつこつ単語を覚えましょう。
成績評価の方法	前期・後期試験の成績(70%)、宿題や小テスト(15%)、出席状況や授業への取り組みなどの平常点(15%)を総合して評価します。成績はⅠA、ⅠBの担当教員がそれぞれ評価します。
教科書/テキスト	山下輝彦・張仕英・田禾『DVD JOYFUL中国語』(朝日出版社)2,500円+税
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	272401
科目名	中国語ⅠA
担当者名	橋本 幸枝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語の発音を、単母音、複母音、子音と順を追って学び、反復練習をして身につける。発音表記法であるピンインを学ぶ。基本的な単語、文法を教科書に沿って学習する。各課の本文を正しく発音し覚えて使えるよう練習する。練習問題で学んだことの定着を図る。 (到達目標) 中国語の発音がしっかりできるようになる。ピンインを見て正しく発音できる。教科書に出てくる単語と文法を確実に身につける。それにより簡単な日常会話ができ、平易な文章を読んで理解できるようになることを目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は理解度の確認、第10・11回目は第3課、第12・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は理解度の確認。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は理解度の確認、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は理解度の確認。
----------	--

準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必須。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積むこと。単語と教科書の本文もよく復習し、覚えること。
------	--

履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進める。土曜日2限のIB(柳幹康先生担当)と必ずセットで履修すること。 わかり易く指導するので、休まず出席して、基本をしっかり身につけよう。
---------	--

成績評価の方法	試験の成績を75%、宿題や小テスト・授業中の態度を25%として成績を評価する。
---------	---

教科書/テキスト	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税
----------	-------------------------------------

参考書	授業中に紹介する。
-----	-----------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックして下さい。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	273101
科目名	中国語ⅠA
担当者名	橋本 幸枝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語の発音を、単母音、複母音、子音と順を追って学び、反復練習して身につける。発音表記法であるピンインを学ぶ。基本的な単語、文法を教科書に沿って学習する。各課の本文を正しく発音し、覚えて使えるように練習する。練習問題で学んだことの定着を図る。 (到達目標) 中国語の発音がきちんとできるようになる。ピンインを見て正しく発音できる。教科書の単語、本文を覚え、基本的な文法をしっかり身につける。それにより、基本的な日常会話ができ、平易な文章を読んで理解できるようになることを目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は理解度の確認、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は理解度の確認。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は理解度の確認、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は理解度の確認。
----------	--

準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必須。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積むこと。教科書の単語、本文をよく復習し、覚えること。
------	--

履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進める。土曜1限のIB(柳幹康先生担当)と必ずセットで履修すること。 わかり易く指導するので、休まず出席して、基本をしっかり身につけよう。
---------	---

成績評価の方法	試験の成績を75%、宿題や小試験・授業中の態度を25%として成績を評価する。
---------	--

教科書/テキスト	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税
----------	-------------------------------------

参考書	授業中に紹介する。
-----	-----------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックして下さい。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	272601
科目名	中国語ⅠA
担当者名	本間 由香利

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	【授業概要】中国語の発音規則、文法ルールを説明し、その応用。
---------------------	--------------------------------

	【到達目標】正しい発音を身に着け、ピンインを読めるようにし、簡単な会話ができるようになる。
--	---

授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をⅠAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をⅠBで行う。
----------	--

第1回 授業の進め方ガイダンス、中国語とは何か
 第2～5回 発音
 第6～15回 前期は8課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

後期
 第1回 前期の復習
 第2～15回 後期は16課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

準備学習	授業内容の復習をメインに行ってください。学習した部分のCDを聞いて声を出して発音練習するのが良いでしょう。
------	---

履修上の留意点	土曜日2限のⅠB(徳間先生担当)と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
---------	---

成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)60%、小テスト20%、学期末テスト20%を総合して評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
---------	--

教科書/テキスト	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ 改訂版』(金星堂)2,400円+税
----------	---

参考書	授業の中で紹介する。
-----	------------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo/
-------	---

履修コード	273301
科目名	中国語ⅠA
担当者名	本間 由香利

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	【授業概要】中国語の発音規則、文法ルールを説明し、その応用。
---------------------	--------------------------------

	【到達目標】正しい発音を身に着け、ピンインを読めるようにし、簡単な会話ができるようになる。
--	---

授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をⅠAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をⅠBで行う。
----------	--

第1回 授業の進め方ガイダンス、中国語とは何か
 第2～5回 発音
 第6～15回 前期は8課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

後期
 第1回 前期の復習
 第2～15回 後期は16課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

準備学習	授業内容の復習をメインに行ってください。学習した部分のCDを聞いて声を出して発音練習するのが良いでしょう。
------	---

履修上の留意点	土曜日1限のⅠB(徳間先生担当)と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
---------	---

成績評価の方法	出席を重視し、平常点(授業態度)60%、小テスト20%、学期末テスト20%を総合して評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
---------	--

教科書/テキスト	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ 改訂版』(金星堂)2,400円+税
----------	---

参考書	授業の中で紹介する。
-----	------------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo/
-------	---

履修コード	274211
科目名	中国語ⅠA
担当者名	三田村 圭子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を反復練習することを毎時間の課題とする。基本的に文法の練習と発音練習を担当を分担しながら、授業を進行する。</p> <p>到達目標 学習1年間終了時には簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。また、中国語検定の4級程度の能力を獲得する。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較。</p> <p>第2回 発音の異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。</p> <p>第3回 ピンインを正確に読む練習①</p> <p>第4回 簡体字とピンインを正確に読む練習②</p> <p>第5回 発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事の反復練習。</p> <p>第6回 是と疑問文。</p> <p>第7回 動詞述語文や疑問詞疑問文の練習。</p> <p>第8回 名詞述語文と省略疑問文。</p> <p>第9回 形容詞述語文。</p> <p>第10回 比較文。</p> <p>第11回 学習した3つの文型の復習と練習。</p> <p>第12回 発音練習。</p> <p>第13回 反復疑問文。</p> <p>第14回 各種の疑問文のまとめと練習。</p> <p>第15回 理解度・到達度の確認</p> <p>第16回 前期の復習①</p> <p>第17回 前期に習得した文法を使用したの会話練習。</p> <p>第18回 存在を表現する動詞。</p> <p>第19回 時点と時量補語を使つての練習。</p> <p>第20回 前置詞と数量補語。</p> <p>第21回 主述述語文。</p> <p>第22回 文型を再度復習してから応用会話や作文練習を行なう。</p> <p>第23回 完了の了的練習。</p> <p>第24回 変化の了的練習と連動文。</p> <p>第25回 結果補語。</p> <p>第26回 方向補語。</p> <p>第27回 様態補語と受身と使役文。</p> <p>第28回 補語表現のまとめと可能補語の練習。</p> <p>第29回 把構文と存現文の練習</p> <p>第30回 最終到達度の確認</p>
----------	---

準備学習	聴き取りの練習問題等、事前の準備を必ずすること。
履修上の留意点	出欠や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験 (以上80%)、授業態度や発表などの平常点 (20%) によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。
教科書/テキスト	内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』改定版 金星堂 2400円 ISBN978-4-7647-0685-9 C1087
参考書	授業開始時に説明する。
その他	李雲 (IB) と三田村 (IA) のペアであることに注意すること。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo

履修コード	274201
科目名	中国語ⅠA
担当者名	宮本 厚子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音、文法の基礎を学ぶ。 習得の難しい発音を繰り返し練習し、ピンイン（中国語の発音記号）を見れば、自分で読めるようにする。 基本的な単語を習得し、文法に沿って、簡単な文が作れ、話せるようにする。
授業スケジュール	前期 1 発音 2 発音 3 発音 4 発音 5 2-A 6 2-C 7 2-E 8 2復習② 9 3-B 10 3-D 11 3復習① 12 4-A 13 4-C 14 4-E 15 4復習② 後期 1 5-B 2 5-D 3 5復習② 4 6-B 5 6-D 6 6復習② 7 7-B 8 7-D 9 7復習② 10 8-B 11 8-D 12 8復習② 13 総復習 14 総復習 15 総復習
準備学習	予習は必ずしも必要ではないが、復習は必ず行うこと求める。
履修上の留意点	月曜第1限「中国語ⅠB（宮本厚子担当）」と必ずセットで履修すること。 語学は積み重ねが重要なので、真摯に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	前後期の期末と各ユニットが終わるたびに行う進捗度テストの平均（70%）と平常点（30%）で評価する。
教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『北京物語』2500円＋税（朝日出版社）ISBN978-4-255-45081-0 C1087
参考書	辞書、参考書は授業の中で適宜紹介する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/

履修コード	300601 300602 300603
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	秋元 翼

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 中国で使われている共通語「普通話」の基礎を学ぶ。まずピンイン (中国式のローマ字表記) の発音の仕方から始め、初級の文法、語彙、表現を学んでいく。同じ漢字を用いていてもかなり日本語とは違うので、その文化的背景にも適宜触れていきたい。また、日常役立つ会話表現も学ぶ。</p> <p>(到達目標) 中国語を初めて学ぶ者でも十分ついてこられるように、基礎的な単語や文法を繰り返し説明し、再履修の学生が初級中国語を挫折しないで最後まで学び終わられるようにする。ピンインの読み方など、基礎が分からないために中国語嫌いになる学生が出ないようにしたい。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音 2. 発音 3. 発音 4. 第1課 5. 第2課 6. 第3課 7. 復習1 8. 第4課 9. 第4課 10. 第5課 11. 第5課 12. 第6課 13. 第6課 14. 復習2 15. まとめ <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第7課 2. 第7課 3. 第8課 4. 第8課 5. 第9課 6. 第9課 7. 復習3 8. 第10課 9. 第10課 10. 第11課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第12課 14. 復習4 15. まとめ
----------	--

準備学習	先ず、再履修になった原因を克服するように、今年度は履修の心構えをしっかりと作ること。その上で、予習・復習をきちんとし、最後までやりきるように。課文、例文は暗記できるまでCDを聞き、発音練習をすること。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を要する。正当な理由のない欠席、遅刻はしないように。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。また、練習問題の解答など、提出を指示されたものは必ず提出すること。
成績評価の方法	前期・後期にそれぞれ行う中間テスト・期末テストの成績を基準に、平常の学習態度、理解度を加味し、総合的に評価する。
教科書/テキスト	本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円+税
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	301201 301202 301203
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	曹 泰和

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語の発音、初級文法を修得する
授業スケジュール	<p>(1) 発音表記の仕方と発音練習 (1~4)</p> <p>(2) 人称代名詞、疑問文・動詞、量詞 (5~7)</p> <p>(3) 形容詞、場所を表す言葉 (8~10)</p> <p>(4) 前置詞 (11~13)</p> <p>(5) 動詞と時間 (14)</p> <p>前期の復習・到達度の確認(15)</p> <p>(6) 完了と変化・助動詞 (16~19)</p> <p>(7) 進行・持続・未来 (20~22)</p> <p>(8) 状態補語・“是~的”構文 (23~25)</p> <p>(9) 方向補語 (26~27)</p> <p>(10) 結果補語・可能補語等 (28~29)</p> <p>後期の復習・到達度の最終確認(30)</p>
準備学習	必ず単語の予習をすること。
履修上の留意点	遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
成績評価の方法	授業内テスト (70%) + 出席・課題および授業態度の平常点 (30%) による総合評価
教科書/テキスト	荒川清秀著『簡明中文システム15』(同学社) 2200円 ISBN978-4-8102-0761-3 C1087
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	301511 301512 301513
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	曹 泰和

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語・中国に興味と関心を持ってもらうこと。
授業スケジュール	基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。(半期15回、通年30回)
準備学習	必ず予習・復習すること。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。ただし、私語厳禁。出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	テスト (70%)、宿題・出席・学習態度等平常点 (30%) で総合評価する。
教科書/テキスト	葉 紅・飯島啓子著『対話でたのしむ中国語一初級編一』(駿河台出版社) ISBN978-4-411-03072-6 C1087 ¥2300E
参考書	開講時に説明する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	301301 301302 301303
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	張 渭涛
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国人講師について中国語をゼロから学び直します。発音と会話の練習を繰り返し、語順と文法を丁寧に説明して、挫折せず最後まで修得できるよう指導します。
授業スケジュール	<p>第1回：中国語とピンイン概説 声調 単母音 二重と三重複母音表</p> <p>第2回：子音表 鼻音表</p> <p>第3回：発音問題総括 音節表 名前の音読み</p> <p>第4回：発音小テストと解説。</p> <p>第5回：第1課 みなさん、こんにちは。本文と練習問題</p> <p>第6回：第2課 これは辞書ですか？本文と練習問題</p> <p>第7回：第3課 何を買いますか？本文と練習問題</p> <p>第8回：第4課 今日は何日ですか？本文と練習問題</p> <p>第9回：第5課 机の上に何がありますか？本文と練習問題</p> <p>第10回：前半 復習：第1課から第5課 本文と練習問題</p> <p>第10回：後半 前期中間理解度確認</p> <p>第11回：前期中間理解度確認解説</p> <p>第12回：第6課 コーヒーを飲みますか、それとも紅茶を飲みますか？本文</p> <p>第13回：第6課 練習問題と復習 第7課本文予習</p> <p>第14回：第7課 王さんは今日来ましたか 練習問題と復習</p> <p>第15回：前期理解度確認</p> <p>第16回：前期理解度確認解説</p> <p>第17回：第8課 中国語を勉強しますか？本文と練習問題</p> <p>第18回：第8課復習 第9課 我々は映画を見に行きますが、君は？本文</p> <p>第19回：第9課 練習問題と復習 第10課 本文</p> <p>第20回：第10課 張さんはもうすぐ結婚します。練習問題と復習</p> <p>第21回：復習：第8課から第10課 本文と練習問題</p> <p>第22回：前半授業アンケート 後半後期中間理解度確認</p> <p>第23回：後期中間理解度確認解説</p> <p>第24回：第11課 私の言うことは聞いて分かりましたか？本文</p> <p>第25回：第11課 練習問題と復習</p> <p>第26回：第12課 君の自転車はどこにありますか？ 本文</p> <p>第27回：第12課 練習問題と復習</p> <p>第28回：復習 第8課から第10課</p> <p>第29回：復習 第11課から第12課</p> <p>第30回：後期理解度確認</p>
準備学習	予習、復習すること。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を求めます。今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。初級は音声の習得が第一なので、授業中は積極的に声を出して練習すること。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とし、年間2回小テストの成績(4割)と、前後期末試験の成績(6割)により総合的に評価する。
教科書/テキスト	山下輝彦『入門中国語の小窓』(同学社、CD付き、2300円+税)
参考書	
その他	基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や歴史、文化、流行に関わることを紹介する予定です。 また、外国語第二部門のホームページには「学習に役に立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo

履修コード	301501 301502 301503
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	弘兼 加奈子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法、講読、聞き取り、作文、音声練習等を行いながら、バランスの取れた学力向上を目指していきます。
---------------------	--

授業スケジュール	1～2. 自己紹介 発音(母音) 声調確認 他 3～4. 発音(子音) 変調 軽声 あいさつ言葉 他 5～6. 第1課 人称代名詞 是の用法 的の用法 7～8. 第1課の続き 聞き取り 作文 9～10. 第2課 疑問詞 也の用法 11～12. 第2課の続き 聞き取り 作文 13～14. 中間の総まとめ 15～16. テストの答え合わせ 第3課 在の用法 形容詞述語文 17～18. 第3課の続き 聞き取り 作文 19～20. 第4課 連動文 時間詞 時刻 21～22. 第4課の続き 聞き取り 作文 23～24. 第5課 了の用法 選択疑問文 25～26. 第5課の続き 聞き取り 作文 27～28. 復習 29～30. 期末の総まとめと理解度の確認
----------	--

授業に即した復習用のプリントを、各課終了ごとに配る予定です。

準備学習	教科書は本文が比較的長いので、一通り目を通して授業に臨んでください。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提である。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を超えた場合は単位取得が不可能となる。 サークル、部活動で休む場合も同様に、7回を超えれば単位取得は不可能となる。
成績評価の方法	中間試験の成績 40% 期末試験の成績 40% 平常点 20%
教科書/テキスト	木村裕章 『どンドン吸収中国語』 光生館 2300 円 ISBN978-4-332-81129-9
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。 下のリンクをクリックしてください。 【関連リンク】 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	301401 301402 301403
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	蘭 明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人、または再度ははじめからチャレンジする人を対象に、中国語を体験してもらうことが主な目的です。正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。
---------------------	--

授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。年間30回のうち、最初4回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後はほぼ1.5回で1課進みます。
----------	--

準備学習	予習、復習をすること。
履修上の留意点	欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。
成績評価の方法	出席、小テスト(朗読・暗誦・会話のプレゼンテーション)の平常点(20%)と年間2回行う試験(80%)で判断します。
教科書/テキスト	遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社)2,500円(本体)
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	356001 356002
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB [再クラス]
担当者名	蘭 明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人、または再度はじめからチャレンジする人を対象に、中国語を体験してもらうことが主な目的です。正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指す。
---------------------	---

授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。年間30回のうち、最初4回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後はほぼ1.5回で1課進みます。
----------	--

準備学習	予習、復習すること。
------	------------

履修上の留意点	欠席しないこと。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。
---------	---

成績評価の方法	出席、小テスト(朗読・暗誦・会話のプレゼンテーション)の平常点(20%)と年間2回行う試験(80%)で判断します。
---------	---

教科書/テキスト	遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社)2,500円(本体)
----------	-----------------------------

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	289801 289802
科目名	中国語ⅠA(選) 中国語ⅠA
担当者名	岩崎 皇

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語の会話に必要な技能を身につけるための練習をします。
---------------------	---

授業スケジュール	テキストに沿って練習していきます。年間30回の授業のうち、最初の5回は集中的に発音の説明と練習を行います。その後12課ある本文を1課につき1.5~2回のペースで進んでいきます。なお、授業期間内に理解度の確認を4回行う予定です。
----------	---

準備学習	教科書についているCDをMP3プレーヤーに入れて、大学の行き帰りに毎日聞きましょう。
------	--

履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は原則として単位取得はできません。なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。
---------	---

成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、年間4回行う試験の成績により評価します。ただし、試験を2回以上受けないと成績評価ができません。
---------	--

教科書/テキスト	劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2,200円(本体)
----------	-------------------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	289811 289812
科目名	中国語ⅠA (選) 中国語ⅠA
担当者名	宮本 厚子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語の基礎を学ぶ。 習得の難しい発音を繰り返し練習する。 基本的な文法や語彙を習得し、簡単な文が聞いて理解でき、 話せるように、訓練する。
---------------------	---

授業スケジュール	前期 1 ガイダンス・発音 2 発音 3 発音 4 発音 5 発音 6 1課 7 1課 8 2課 9 2課 10 3課 11 3課 12 4課 13 4課 14 復習 15 総復習 後期 1 5課 2 5課・6課 3 6課 4 7課 5 7課・8課 6 8課 7 復習 8 9課 9 9課・10課 10 10課 11 11課 12 11課・12課 13 12課 14 復習 15 総復習
----------	--

準備学習	教科書の「新出単語」欄にピンイン（発音記号）を本文の中から探して入れてくること。
履修上の留意点	必ず復習すること。 適宜小テストを行うので、それに備えることが復習になるはずである。
成績評価の方法	後期の中間、前後期の期末の3回のテストの成績の平均（70%）と平常点（30%）とで評価する。
教科書/テキスト	船田秀佳『声に出して覚える！やさしい中国語』（駿河台出版社）2300円（＋税）ISBN978-4-411-03073-3 C1087
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/

履修コード	276811
科目名	中国語ⅠB
担当者名	岩崎 皇

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言葉体験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りになっています。 音声をよく聞くこと、まねをして発音すること、この2点が重要ですから、繰り返し練習します。
---------------------	---

授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。 この授業は木曜日4限の「中国語ⅠA」と内容が連続した授業となります。ⅠAとⅠBあわせて60回の授業スケジュールは、最初10回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。なお、授業期間内に理解度の確認を4回以上行う予定です。
----------	--

準備学習	教科書についているCDをMP3プレーヤーに入れて、大学の行き帰りに毎日聞きましょう。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、急引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠAとⅠBそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。 この授業は必ず、岩崎担当の「中国語ⅠA」(木曜日4限)とセットで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。

成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、中国語ⅠAとⅠBあわせて年間4回以上行う試験で判断します。
---------	--

教科書/テキスト	遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社)2,500円(本体)
----------	-----------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	352801
科目名	中国語ⅠB
担当者名	王 聡

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ピンインを正確に読めるようになる。知らない単語もピンインを見れば発音できるようになる。身の回りのことなどについて、中国語で話すことができるようになる。 文法に基づいて、中国語の文章を作れるようになる。
---------------------	---

授業スケジュール	一課につき、主に梅田が前半・文法を、王が後半・応用練習を担当する。 ★前期 第1回：ガイダンス。第2～6回：発音(ピンイン)。第7～9回：第1～2課(名前の言い方、疑問文など)。第10～12回：第3～4課(移動に関する表現、所有に関する表現、お金の言い方など)。第13～14回：第5課(実現や完了に関する表現、所在に関する表現、食事の表現など)。第15回：理解度、到達度の確認。 ★後期 第1回：復習。第2～4回：第6～7課(曜日、時間、家族、存在などに関する表現)。第5～7回：第8～9課(職業、時間量、経験などに関する表現)。第8～10回：第10～11課(料理、食品、能力、可能性、程度、興味、動作の進行などに関する表現)。第11～13回：第12～13課(名所、比較などに関する表現、簡単な文章)。第14回：決まり文句。第15回：理解度、到達度の確認。
----------	--

準備学習	1. 予習すること。 2. 宿題を完成すること。
------	-----------------------------

履修上の留意点	1. 4分の3以上の出席を要する。授業中積極的に声を出して発音練習をすること。 2. 中国語ⅠA(火曜、梅田雅子担当)と合わせて履修すること。 3. 積極的な会話練習に参加する習慣を身につけること。
---------	---

成績評価の方法	前期テスト35%、後期テスト35%、平常点(出席状況・学習態度・理解度)30%。
---------	--

教科書/テキスト	尹景春・竹島毅『《最新2訂版》中国語はじめての一步』白水社、2200円+税
----------	---------------------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	274701
科目名	中国語ⅠB
担当者名	小栗山 恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
授業スケジュール	IAでは文法の説明、入れ替え練習を主に行い、IBでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期第1回～第15回：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、後期第16回～第30回：第八課(能願動詞“会”“能”)、第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。
履修上の留意点	火曜日3時限「中国語ⅠA」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ(以上3割)により総合的に評価する。
教科書/テキスト	余慕・小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円
参考書	

履修コード	275401
科目名	中国語ⅠB
担当者名	小栗山 恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。
授業スケジュール	IAでは文法の説明、入れ替え練習を主に行い、IBでは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行う。スケジュール 前期第1回～第15回：発音、第一課(是)、第二課(名詞述語文)、第三課(動詞述語文)、第四課(形容詞述語文、主述述語文)、第五課(有、量詞)、第六課(在、方位詞)、第七課(能願動詞“想”“要”)、後期第16回～第30回：第八課(能願動詞“会”“能”)、第九課(様態補語“得”)、第十課(“了”)、第十一課(二重目的語文、介詞)、第十二課、(動態助詞“过”、動量補語)、第十三課(結果補語)、第十四課(方向補語)、第十五課(処置文、受け身文)、第十六課(使役文)、第十七課(存現文、“着”“是～的”)、第十八課(“才”“就”)
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくる。暗記した内容を、ほぼ毎回の授業で口頭試験をする。
履修上の留意点	火曜日4時限「中国語ⅠA」と必ずセットで受講し、どちらのクラスにも休まずに出席すること。欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。授業中は大きな声を出して発音練習をすること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ(3割)により評価する。
教科書/テキスト	余慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円
参考書	

履修コード	274601
科目名	中国語ⅠB
担当者名	神谷 智幸

授業概要/
到達目標 (ねらい)

中国語の発音と基本文法を学び、日常の簡単な会話表現を身につける。

授業スケジュール

- (前期)
- | | | | |
|------------------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| 第1回：ガイダンス | 第2回：発音1 | 第3回：発音2 | 第4回：発音3 |
| 第5回：人称代名詞 是の構文 | 第6回：指示代名詞 動詞述語文 | 第7回：数詞述語文 | 動詞「在」 |
| 第7回：数の表現 動詞「有」 | 第8回：形容詞述語文 | 動詞「在」 | 第9回：時刻の言い方 進行表現 |
| 第9回：値段の言い方 月日の言い方 | 第10回：時刻の言い方 進行表現 | 第11回：連動文 助動詞「会」「能」「可以」 | 第12回：反復疑問文 「有点儿」 |
| 第11回：連動文 助動詞「会」「能」「可以」 | 第12回：反復疑問文 「有点儿」 | 第13回：「了」 過去の経験 | 第14回：選択疑問文 動詞の重ね式 |
| 第13回：「了」 過去の経験 | 第14回：選択疑問文 動詞の重ね式 | 第15回：前期の総まとめ 理解度の確認 | |
- (後期)
- | | |
|---------------------|------------------|
| 第16回：前期の復習 | 第17回：二重主語 前置詞「給」 |
| 第18回：時間詞 時間補語 | 第19回：様態補語 前置詞「跟」 |
| 第20回：助動詞「想」 結果補語 | 第21回：是～的 方向補語 |
| 第22回：比較の表現 | 第23回：概数の言い方 連～都… |
| 第24回：把の構文 可能補語 | 第25回：受身文 |
| 第26回：存現文 使役表現 | 第27回：越来越～ |
| 第28回：一～就… 一辺～一辺… | 第29回：複文 |
| 第30回：後期の総まとめ 理解度の確認 | |
- 中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で1課進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。中国の人々の暮らしぶりや風景をみることのできるDVDつきの教科書を使います。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきっと楽しくなるはずです。

準備学習

付属のCDを何回か聞いて、予習しましょう。

履修上の留意点

同じ教科書を二人の教員が連携して授業を進めます。火曜日3時限のⅠA(根岸政子先生担当)と必ずセットで履修して下さい。教室でも、家でも大きな声を出して発音練習をしましょう。また毎日少しずつ単語を覚えましょう。

成績評価の方法

前期・後期試験(70%)、宿題や小テスト(15%)、出席状況や授業への取り組みなどの平常点(15%)を総合して評価します。ⅠA、ⅠBの担当教員がそれぞれ評価します。

教科書/テキスト

山下輝彦・張仕英・田禾『DVD JOYFUL 中国語』(朝日出版社)2500円+税

参考書

関連リンク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/>

履修コード	275301
科目名	中国語ⅠB
担当者名	神谷 智幸

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語の発音と基本文法を学び、日常の簡単な会話表現を身につける。
---------------------	----------------------------------

授業スケジュール	(前期) 第1回: ガイダンス 第2回: 発音Ⅰ 第3回: 発音Ⅱ 第4回: 発音Ⅲ 第5回: 人称代名詞 是の構文 第6回: 指示代名詞 動詞述語文 第7回: 数の表現 動詞「有」 第8回: 形容詞述語文 動詞「在」 第9回: 値段の言い方 月日の言い方 第10回: 時刻の言い方 進行表現 第11回: 連動文 助動詞「会」「能」「可以」 第12回: 反復疑問文 「有点儿」 第13回: 「了」過去の経験 第14回: 選択疑問文 動詞の重ね式 第15回: 前期の総まとめ 理解度の確認 (後期) 第16回: 前期の復習 第17回: 二重主語 前置詞「給」 第18回: 時間詞 時間補語 第19回: 様態補語 前置詞「跟」 第20回: 助動詞「想」 結果補語 第21回: 是～の 方向補語 第22回: 比較の表現 第23回: 概数の言い方 連～都… 第24回: 把の構文 可能補語 第25回: 受身文 第26回: 存現文 使役表現 第27回: 越来越～ 第28回: 一～就… 一辺～一辺… 第29回: 複文 第30回: 後期の総まとめ 理解度の確認 中国語ⅠAと中国語ⅠBの授業と各1回ずつ(合わせて週2回)の授業で1課進むことを目安としますが、進捗の状況によって多少ずれることがあります。中国の人々の暮らしぶりや風景をみることでできるDVD付きの教科書を使います。興味を持ったことを自分でも調べてみると、中国語の勉強もきつと楽しくなるはずですよ。
----------	---

準備学習	付属のCDを何回か聞いて、予習しましょう。
------	-----------------------

履修上の留意点	同じ教科書を二人の教員が連携して授業を進めます。火曜日4時限のⅠA(根岸政子先生担当)と必ずセットで履修して下さい。教室でも、家でも大きな声を出して発音練習をしましょう。また毎日少しずつ単語を覚えましょう。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期試験(70%)、宿題や小テスト(15%)、出席状況や授業への取り組みなどの平常点(15%)を総合して評価します。ⅠA、ⅠBの担当教員がそれぞれ評価します。
---------	--

教科書/テキスト	山下輝彦・張仕英・田禾『DVD JOYFUL中国語』(朝日出版社)2500円+税
----------	--

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	275111
科目名	中国語ⅠB
担当者名	佐藤 普美子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
---------------------	-------------------------------------

授業スケジュール	第1回: 導論(中国に関する豆知識)。第2回～第7回: 発音の基礎固め・基本文型と疑問文(テキスト発音篇、第1課～第3課)。第8回～第14回: 動詞・助動詞・助詞・副詞・前置詞・量詞・進行態(テキスト第4課～第7課)。第15回: 前期学習内容の総まとめと理解度の確認。第16回～第22回: 結果補語・方向補語・可能補語・程度補語・比較・持続態・経験態(テキスト第8課～第11課)。第23回～第29回: 方位詞・前置詞・副詞・疑問詞・使役文(テキスト第12課～第15課)。第30回: 後期学習内容の総まとめと理解度の確認。都市部の生活における主な場面(全5ユニット)で必要になる基礎文法と基本的表現を学びます。週2回(ⅠA、ⅠB)の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
----------	--

準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD(テキストに付属)で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
------	---

履修上の留意点	火曜日3限のⅠA(佐藤担当)と必ずセットで履修して下さい。発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
---------	---

成績評価の方法	特別の事情がない限り、4分の3以上の出席が前提です。4分の1以上欠席すると、学期末試験は受けられません。前・後期の期末試験及び小テスト(前・後期各2回)を総合した成績80%、平常点(授業への参加度)20%。
---------	---

教科書/テキスト	遠藤光暁監修・衛榕群・汪晓京著『入門 リアルタッチ中国』(朝日出版社)2400円+税 ISBN: 978-4-255-45211-1
----------	--

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	275711
科目名	中国語ⅠB
担当者名	佐藤 普美子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級中国語の基本単語と基礎文法を学び、日常的表現を理解し、身につける。
授業スケジュール	第1回：導論（中国に関する豆知識）。第2回～第7回：発音の基礎固め・基本文型と疑問文（テキスト発音篇、第1課～第3課）。第8回～第14回：動詞・助動詞・助詞・副詞・前置詞・量詞・進行態（テキスト第4課～第7課）。第15回：前期学習内容の総まとめと理解度の確認。第16回～第22回：結果補語・方向補語・可能補語・程度補語・比較・持続態・経験態（テキスト第8課～第11課）。第23回～第29回：方位詞・前置詞・副詞・疑問詞・使役文（テキスト第12課～第15課）。第30回：後期学習内容の総まとめと理解度の確認。都市部の生活における主な場面（全5ユニット）で必要になる基礎文法と基本的表現を学びます。週2回（ⅠA、ⅠB）の授業を合わせて1課分を進めるペースで行います。
準備学習	予習として、その日に習う課の本文をCD（テキストに付属）で数回聞いて、耳慣らししておくのが効果的です。
履修上の留意点	火曜日4限のⅠA（佐藤担当）と必ずセットで履修して下さい。 発音練習の際は、普段より意識して大きめの声を出すこと。口と耳の回路を作ることが大切です。授業中の私語は慎むこと。クラスメイトに迷惑がかかります。
成績評価の方法	特別の事情がない限り、4分の3以上の出席が前提です。4分の1以上欠席すると、学期末試験は受けられません。前・後期の期末試験及び小テスト（前・後期各2回）を総合した成績80%、平常点（授業への参加度）20%。
教科書／テキスト	遠藤光暁監修・衛榕群・汪暁京著『入門 リアルタッチ中国』（朝日出版社）2400円＋税 ISBN：978-4-255-45211-1
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	275121
科目名	中国語ⅠB
担当者名	塩旗 伸一郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	外国の世界を知ることは楽しい。それは自らを豊かにすることでもある。日本語と最も縁の深い中国語を学ぶことは、日本語をより深く知ることにもなる。ことばと映像で中国各地を旅しながら中国語を楽しく学ぼう。
---------------------	--

授業スケジュール	中国語ⅠA(火曜第3時限)と連続しています。 第1週: 発音篇1 声調と単母音 第2週: 発音篇2 複合母音 第3週: 発音篇3 子音 第4週: 発音篇4 鼻母音 第5週: 発音篇5 発音の規則 第6週: 北京1 第7週: 北京2 第8週: 北京3 第9週: 北京4 第10週: 復習1 第11週: 泰山・黄山 第12週: 西安 第13週: 成都 第14週: 九寨溝 第15週: 前期末試験直前予想 第16週: 前期末試験解説と復習 第17週: 雲南省1 第18週: 雲南省2 第19週: 大連 第20週: 青島 第21週: 上海1 第22週: 上海2 第23週: 上海3 第24週: 上海4 第25週: 復習2 第26週: 杭州 第27週: 廈門 第28週: 海南島 第29週: 香港・桂林 第30週: 後期末試験直前予想
----------	--

準備学習	中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。付属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。 課ごとの練習問題は宿題とします。 事後学習としてeラーニング「YeStudy」上で課題提出を求めます。
------	---

履修上の留意点	中国語ⅠA(火曜第3時限 塩旗)とひと続きの授業です。必ず両方とも受講してください。 外国語の学習は毎回の出席と参加が肝腎です。 授業中の私語、通話、メール、睡眠は出席と見なしません。 欠席が前後期各3回を超えた場合は1回につき10点を減じます。
---------	--

成績評価の方法	期末試験(60%) + 小テスト&eラーニング(20%) + 平常点(20%)
---------	---

教科書/テキスト	楊凱栄・張麗群『旅して学ぶ中国語』(朝日出版社 2500円+税)
----------	----------------------------------

参考書	辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 (http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho)
-----	---

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	275721
科目名	中国語ⅠB
担当者名	塩旗 伸一郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	外の世界を知ることは楽しい。それは自らを豊かにすることでもある。日本語と最も縁の深い中国語を学ぶことは、日本語をより深く知ることになる。ことばと映像で中国各地を旅しながら中国語を楽しく学ぼう。
---------------------	--

授業スケジュール	中国語ⅠA（火曜第4時限）と連続しています。 第1週：発音篇1 声調と単母音 第2週：発音篇2 複合母音 第3週：発音篇3 子音 第4週：発音篇4 鼻母音 第5週：発音篇5 発音の規則 第6週：北京1 第7週：北京2 第8週：北京3 第9週：北京4 第10週：復習1 第11週：泰山・黄山 第12週：西安 第13週：成都 第14週：九寨溝 第15週：前期末試験直前予想 第16週：前期末試験解説と復習 第17週：雲南省1 第18週：雲南省2 第19週：大連 第20週：青島 第21週：上海1 第22週：上海2 第23週：上海3 第24週：上海4 第25週：復習2 第26週：杭州 第27週：厦門 第28週：海南島 第29週：香港・桂林 第30週：後期末試験直前予想
----------	--

準備学習	中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。附属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。 課ごとの練習問題は宿題とします。 事後学習としてeラーニング「YeStudy」上で課題提出を求めます。
------	---

履修上の留意点	中国語ⅠA（火曜第4時限 塩旗）とひと続きの授業です。必ず両方とも受講してください。 外国語の学習は毎回の出席と参加が肝腎です。 授業中の私語、通話、メール、睡眠は出席と見なしません。 欠席が前後期各3回を超えた場合は1回につき10点を減じます。
---------	--

成績評価の方法	期末試験（60%）＋小テスト&eラーニング（20%）＋平常点（20%）
---------	-------------------------------------

教科書／テキスト	楊凱栄・張麗群『旅して学ぶ中国語』（朝日出版社 2500円＋税）
----------	----------------------------------

参考書	辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhjisho]
-----	---

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	274901
科目名	中国語ⅠB
担当者名	下出 宣子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：ガイダンス—中国語とはどんな言葉か 第2回：音節、声調、単母音 (1) 第3回：二重母音 (1)、子音 (1) 第4回：単母音 (2)、二重母音 (2)、子音 (2) 第5回：三重母音、鼻音を伴う母音 第6回：発音の規則・まとめと復習 第7回：第1課 人称代名詞、動詞述語文 (1)、連体修飾語を作る“的” (1) 第8回：第2課 動詞述語文 (2)、“吗”と“呢”の疑問文 第9回：第3課 形容詞述語文、反復疑問文 第10回：“” 選択疑問文、“喜欢”+動詞句 第11回：第4課 数詞と量詞、動詞“在”と前置詞“在” 第12回：第5課 名詞述語文、比較表現 第13回：第6課 存現の表現—動詞“有”と“在”、助動詞“想”と“打算”「～したい、するつもり」 第14回：“” 連動文、方位詞、時刻と時量 第15回：前期のまとめと理解度の確認 第16回：前期の復習</p> <p>第17回：第7課 動詞+“了”、連体修飾語を作る“的” (2) 第18回：“” 動詞+“过”、動詞+動量補語 第19回：第8課 文末の“了”、結果補語 第20回：“” 可能を表わす助動詞、“一点儿”と“有点儿”「すこし～だ」 第21回：第9課 受け身文、動作の進行形 第22回：“” 方向補語、動詞の重ね型 第23回：後期前半の復習 第24回：第10課 兼語文、様態補語 第25回：“” 前置詞“把”を使う文、“快要/就要～”「もうすぐ～」 第26回：第11課 可能補語、使役表現 第27回：“” 二重目的語文、主述述語文 第28回：第12課 動詞+“着”、仮定表現 第29回：“” 副詞“就”と“才”、“是～的”構文 第30回：後期のまとめと理解度の確認</p>
----------	---

中国語ⅠBとⅠA、同一の教科書を二人の教員が連携して授業を進めます。上記のスケジュールは授業の進行状況、受講者の理解度によって多少ずれることもあります。

各課に中国の文化や生活習慣について触れた本文がついています。興味をもったことを自分で調べてみると、中国語の勉強もきつと楽しくなるでしょう。

準備学習	前の授業で学んだ内容を十分に復習してから、次の授業に臨んでください。
履修上の留意点	火曜日3限のⅠA (秋元担当) と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味する。私語など他の学生の学習を妨げる行為は厳禁。
成績評価の方法	前期と後期の期末試験は70%、小テスト20%、出席・授業態度10%
教科書/テキスト	内田慶市、張軼政著『極める中国語 初級編』 同学生、2,500円+税
参考書	授業開始時に説明する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	275601
科目名	中国語ⅠB
担当者名	下出 宣子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：ガイダンス—中国語とはどんな言葉か 第2回：音節、声調、単母音 (1) 第3回：二重母音 (1)、子音 (1) 第4回：単母音 (2)、二重母音 (2)、子音 (2) 第5回：三重母音、鼻音を伴う母音 第6回：発音の規則・まとめと復習 第7回：第1課 人称代名詞、動詞述語文 (1)、連体修飾語を作る“的” (1) 第8回：第2課 動詞述語文 (2)、“吗”と“呢”の疑問文 第9回：第3課 形容詞述語文、反復疑問文 第10回：“” 選択疑問文、“喜欢”+動詞句 第11回：第4課 数詞と量詞、動詞“在”と前置詞“在” 第12回：第5課 名詞述語文、比較表現 第13回：第6課 存現の表現—動詞“有”と“在”、助動詞“想”と“打算”「～したい、するつもり」 第14回：“” 連動文、方位詞、時刻と時量 第15回：前期のまとめと理解度の確認</p> <p>第16回：前期の復習 第17回：第7課 動詞+“了”、連体修飾語を作る“的” (2) 第18回：“” 動詞+“过”、動詞+動量補語 第19回：第8課 文末の“了”、結果補語 第20回：“” 可能を表わす助動詞、“一点儿”と“有点儿”「すこし～だ」 第21回：第9課 受け身文、動作の進行形 第22回：“” 方向補語、動詞の重ね型 第23回：後期前半の復習 第24回：第10課 兼語文、様態補語 第25回：“” 前置詞“把”を使う文、“快要/就要～”「もうすぐ～」 第26回：第11課 可能補語、使役表現 第27回：“” 二重目的語文、主述述語文 第28回：第12課 動詞+“着”、仮定表現 第29回：“” 副詞“就”と“才”、“是～的”構文 第30回：後期のまとめと理解度の確認</p>
----------	---

中国語ⅠBとⅠA、同一の教科書を二人の教員が連携して授業を進めます。上記のスケジュールは授業の進行状況、受講者の理解度によって多少ずれることもあります。各課に中国の文化や生活習慣について触れた本文がつけられています。興味をもったことを自分で調べてみると、中国語の勉強もきつと楽しくなるでしょう。

準備学習	前の授業で学んだ内容を十分に復習してから、次の授業に臨んでください。
履修上の留意点	火曜日4限のⅠA (秋元担当) と必ずセットで履修すること。 出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。 授業態度も成績に加味する。私語など他の学生の学習を妨げる行為は厳禁。
成績評価の方法	前期と後期の期末試験は70%、小テスト20%、出席・授業態度10%
教科書/テキスト	内田慶市、張軼政著『極める中国語 初級編』 同学社、2,500円+税
参考書	授業開始時に説明する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo

履修コード	275101
科目名	中国語ⅠB
担当者名	曹 泰和

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めて中国語を学ぶ人を対象に、中国語という言葉を経験してもらうことが主な目的です。それは同時に、使える中国語を習得するための基礎作りになっています。音声をよく聞くこと、まねをして発音すること、この2点が重要ですから、繰り返し練習します。
---------------------	--

授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。 この授業は火曜日3限の「中国語ⅠA」と内容が連続した授業となります。ⅠAとⅠBあわせて60回の授業スケジュールは、最初10回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後、前半(20課分に相当)は1つの課を1.5回で、後半(16課分に相当)は、ほぼ1回で1課進みます。 なお、授業期間内に理解度の確認をⅠAとあわせて4回以上行う予定です。
----------	---

準備学習	教科書についているCDをMP3プレーヤーに入れて、大学の行き帰りに毎日聞きましょう。
------	--

履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠAとⅠBそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。 この授業は必ず、岩崎先生担当の「中国語ⅠA」(火曜日3限)とセットで履修してください。片方だけの履修では単位取得は出来ません。
---------	---

成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、中国語ⅠAとⅠBあわせて年間4回以上行う試験で判断します。
---------	--

教科書/テキスト	遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社)2,500円(本体)
----------	-----------------------------

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo
-------	---

履修コード	276801
科目名	中国語ⅠB
担当者名	陳 洲挙

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語という言葉を経験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。
---------------------	---

授業スケジュール	テキストに沿って練習していきます。月曜日1限の「中国語ⅠB」と木曜日4限の「中国語ⅠA」は連続した授業となり、あわせて年間60回行なわれます。
----------	---

準備学習	中国語は意味はわかりやすいが音に表わすのが難しい。附属のCDをよく聞いて口まねを繰り返すこと。課ごとの「筆頭練習」は宿題とします。
------	---

履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、中国語ⅠAとⅠBそれぞれで、6回を越えた場合は単位取得はできません。 この授業は必ず、木曜日4限「中国語ⅠA」(塩旗先生担当)とペアで履修してください。
---------	---

成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、年間5~6回行う試験で判断します。
---------	-------------------------------------

教科書/テキスト	衛裕群・汪曉京『入門 リアルタッチ中国』(朝日出版社 2400円+税)
----------	-------------------------------------

参考書	辞書の購入は義務ではないが、学習に楽しみと広がりを与えるためにお勧めします。以下の「辞書案内」を参照のこと。 { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo/zhojisho }
-----	---

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo
-------	---

履修コード	275001
科目名	中国語ⅠB
担当者名	徳間 佳信

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	【授業概要】中国語の発音規則、文法ルールを説明し、その応用。 【到達目標】正しい発音を身に着け、ピンインを読めるようにし、簡単な会話ができるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をⅠAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をⅠBで行う。
----------	--

第1回 授業の進め方ガイダンス、中国語とは何か
 第2～5回 発音
 第6～15回 前期は8課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

後期
 第1回 前期の復習
 第2～15回 後期は16課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

準備学習	授業内容の復習をメインに行ってください。学習した部分のCDを聞いて声を出して発音練習するのが良いでしょう。
------	---

履修上の留意点	火曜日3限のⅠA (本間先生担当) と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
---------	---

成績評価の方法	出席を重視し、平常点 (授業態度) 50%、小テスト20%、中間・期末テスト30%を総合して評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
---------	--

教科書/テキスト	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ 改訂版』(金星堂) 2,400円+税
----------	--

参考書	授業の中で紹介する。
-----	------------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/
-------	---

履修コード	275701
科目名	中国語ⅠB
担当者名	徳間 佳信

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	【授業概要】中国語の発音規則、文法ルールを説明し、その応用。 【到達目標】正しい発音を身に着け、ピンインを読めるようにし、簡単な会話ができるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をⅠAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をⅠBで行う。
----------	--

第1回 授業の進め方ガイダンス、中国語とは何か
 第2～5回 発音
 第6～15回 前期は8課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

後期
 第1回 前期の復習
 第2～15回 後期は16課までの予定。授業内で適宜、理解度の確認を行う。

準備学習	授業内容の復習をメインに行ってください。学習した部分のCDを聞いて声を出して発音練習するのが良いでしょう。
------	---

履修上の留意点	火曜日4限のⅠA (本間先生担当) と必ずセットで履修すること。 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
---------	---

成績評価の方法	出席を重視し、平常点 (授業態度) 50%、小テスト20%、中間・期末テスト30%を総合して評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
---------	--

教科書/テキスト	内田慶市・奥村佳代子ほか『中国語への道 近きより遠きへ 改訂版』(金星堂) 2,400円+税
----------	--

参考書	授業の中で紹介する。
-----	------------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/
-------	---

履修コード	276701
科目名	中国語ⅠB
担当者名	徳間 佳信

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音・文法に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。特に読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。授業は一冊の教科書を二人の教員で担当し、ⅠAは文法説明、入れ替え練習を主に行ない、ⅠBは課文の音読・日訳、定着のために問題演習を行なう。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期：</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>ガイダンス</td> <td>第2回～第4回</td> <td>発音</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>発音まとめ</td> <td>第6回</td> <td>第一課 (是)</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>第二課 (名詞述語文)</td> <td>第8回</td> <td>第三課 (動詞述語文)</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>第四課 (形容詞述語文、主述述語文)</td> <td>第10回</td> <td>第五課 (有、量詞)</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>第六課 (在、方位詞)</td> <td>第12回</td> <td>第七課 (能願動詞 “想” “要”)</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>第八課 (能願動詞 “会” “能”)</td> <td>第14回</td> <td>前期のまとめ</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>前期 理解度の確認</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>後期：</p> <table border="0"> <tr> <td>第16回</td> <td>第九課 (様態補語 “得”)</td> <td>第17回</td> <td>第十課 (“了”)</td> </tr> <tr> <td>第18～19回</td> <td>第十一課 (二重目的語文、介詞)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第20回</td> <td>第十二課 (動態助詞 “过”、動量補語)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第21回～第22回</td> <td>第十三課 (結果補語)</td> <td>第23回</td> <td>第十四課 (方向補語)</td> </tr> <tr> <td>第24回～第25回</td> <td>第十五課 (処置文、受け身文)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第26回</td> <td>第十六課 (使役文)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第27回～第28回</td> <td>第十七課 (存現文、“着”、“是～的”)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第29回</td> <td>第十八課 (“才”、“就”)</td> <td>第30回</td> <td>全体のまとめ 理解度の確認</td> </tr> </table>	第1回	ガイダンス	第2回～第4回	発音	第5回	発音まとめ	第6回	第一課 (是)	第7回	第二課 (名詞述語文)	第8回	第三課 (動詞述語文)	第9回	第四課 (形容詞述語文、主述述語文)	第10回	第五課 (有、量詞)	第11回	第六課 (在、方位詞)	第12回	第七課 (能願動詞 “想” “要”)	第13回	第八課 (能願動詞 “会” “能”)	第14回	前期のまとめ	第15回	前期 理解度の確認			第16回	第九課 (様態補語 “得”)	第17回	第十課 (“了”)	第18～19回	第十一課 (二重目的語文、介詞)			第20回	第十二課 (動態助詞 “过”、動量補語)			第21回～第22回	第十三課 (結果補語)	第23回	第十四課 (方向補語)	第24回～第25回	第十五課 (処置文、受け身文)			第26回	第十六課 (使役文)			第27回～第28回	第十七課 (存現文、“着”、“是～的”)			第29回	第十八課 (“才”、“就”)	第30回	全体のまとめ 理解度の確認
第1回	ガイダンス	第2回～第4回	発音																																																										
第5回	発音まとめ	第6回	第一課 (是)																																																										
第7回	第二課 (名詞述語文)	第8回	第三課 (動詞述語文)																																																										
第9回	第四課 (形容詞述語文、主述述語文)	第10回	第五課 (有、量詞)																																																										
第11回	第六課 (在、方位詞)	第12回	第七課 (能願動詞 “想” “要”)																																																										
第13回	第八課 (能願動詞 “会” “能”)	第14回	前期のまとめ																																																										
第15回	前期 理解度の確認																																																												
第16回	第九課 (様態補語 “得”)	第17回	第十課 (“了”)																																																										
第18～19回	第十一課 (二重目的語文、介詞)																																																												
第20回	第十二課 (動態助詞 “过”、動量補語)																																																												
第21回～第22回	第十三課 (結果補語)	第23回	第十四課 (方向補語)																																																										
第24回～第25回	第十五課 (処置文、受け身文)																																																												
第26回	第十六課 (使役文)																																																												
第27回～第28回	第十七課 (存現文、“着”、“是～的”)																																																												
第29回	第十八課 (“才”、“就”)	第30回	全体のまとめ 理解度の確認																																																										

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ内容は必ず復習してください。 単語の暗記や本文の暗誦を課題として出します。定着度の確認のため、授業時間内に小テストや口頭試験をしてもらいます。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 木曜日4時限のⅠA (神谷先生担当) と必ずセットで履修してください。 中国語は入門段階で正しい発音を覚えることがきわめて重要です。発音練習の際はお腹から大きな声を出すよう心がけてください。
---------	--

成績評価の方法	試験の成績 (7割)、小テストや授業への取り組みなどの平常点 (3割) により総合的に評価する。成績はⅠA、ⅠBの教員がそれぞれ評価します。
---------	--

教科書/テキスト	余慕・小栗山恵・綾部武彦『中文学習基礎編』(南雲堂フェニックス) 2500円+税
----------	--

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	276501
科目名	中国語ⅠB
担当者名	三田村 圭子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要</p> <p>発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を覚え、使えるように反復練習をする。また付属のDVDを観ることで本文の内容について理解を深める。担当者2人で文法と会話を分担して進行する。</p> <p>到達目標</p> <p>1年後には、簡単な中国語を正確に使い、自分自身の生活や意志を表現できるようになる。また中国語検定4級を習得できる能力を獲得する。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>①発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。(第1回～14回)</p> <p>第15回 到達度の確認</p> <p>②文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。(第16回～29回)</p> <p>第30回 到達度の最終確認</p>
----------	--

準備学習	必ず単語の予習をすること。
------	---------------

履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数が4分の1を超えた学生は単位をとるのが難しい。
---------	---

成績評価の方法	前期と後期の中間試験・期末試験は80%、授業態度と出席などの平常点を20%とし、総合評価する。
---------	---

教科書/テキスト	監修 遠藤光暁『入門 リアルタッチ中国』朝日出版社 2400円 「入門」であることに気をつけること。 ISBN978-4-255-45211-1 C1087
----------	---

参考書	授業開始時に説明する。
-----	-------------

その他	必ずⅠA (曹 泰和) とⅠB (三田村 圭子) をセットで履修すること。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaku_joho
-------	---

履修コード	276601
科目名	中国語ⅠB
担当者名	宮本 厚子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音、文法の基礎を学ぶ。 習得の難しい発音を繰り返し練習し、ピンイン（中国語の発音記号）を見れば、自分で読めるようにする。 基本的な単語を習得し、文法に沿って、簡単な文が作れ、話せるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	前期 1 発音 2 発音 3 発音 4 発音 5 2－B 6 2－D 7 2 復習① 8 3－A 9 3－C 10 3－E 11 3 復習② 12 4－B 13 4－D 14 4 復習① 15 総復習 後期 1 5－B 2 5－D 3 5 復習② 4 6－B 5 6－D 6 6 復習② 7 7－B 8 7－D 9 7 復習② 10 8－B 11 8－D 12 8 復習② 13 総復習 14 総復習 15 総復習
----------	--

準備学習	予習は必ずしも必要ではないが、復習は必ず行うこと求める。
履修上の留意点	木曜第4限「中国語ⅠA（宮本厚子担当）」と必ずセットで履修すること。 語学は積み重ねが重要なので、真摯に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	前後期の期末と各ユニットが終わる度に行う進捗度テストの平均（70%）と平常点（30%）で評価する。
教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『北京物語』2500円＋税（朝日出版社）ISBN978-4-255-45081-0 C1087
参考書	辞書、参考書は授業の中で適宜紹介する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/

履修コード	274801
科目名	中国語ⅠB
担当者名	柳 幹康

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語の発音を、単母音、複母音、子音と順を追って学び、反復練習して身につける。発音表記法であるピンインを学ぶ。基本的な単語、文法を教科書に沿って学習する。各課の本文を正しく発音し、覚えて使えるように練習する。練習問題で学んだことの定着を図る。 (到達目標) 中国語の発音がきちんとできるようになる。ピンインを見て正しく発音できる。教科書の単語、本文を覚え、基本的な文法をしっかりと身につける。それにより、基本的な日常会話ができ、平易な文章を読んで理解できるようになることを目指す。
---------------------	--

授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は理解度の確認、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は理解度の確認。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は理解度の確認、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第14回目は第15課、第15回目は理解度の確認。
----------	---

準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必須。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積むこと。教科書の単語、本文をよく復習し、覚えること。
------	--

履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進める。火曜3限のIA (橋本幸枝先生担当) と必ずセットで履修すること。 わかり易く指導するので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけよう。
---------	---

成績評価の方法	試験の成績を75%、宿題や小試験・授業中の態度を25%として成績を評価する。
---------	--

教科書/テキスト	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税
----------	-------------------------------------

参考書	授業中に紹介する。
-----	-----------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	275501
科目名	中国語ⅠB
担当者名	柳 幹康

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語の発音を、単母音、複母音、子音と順を追って学び、反復練習して身につける。発音表記法であるピンインを学ぶ。基本的な単語、文法を教科書に沿って学習する。各課の本文を正しく発音し、覚えて使えるように練習する。練習問題で学んだことの定着を図る。 (到達目標) 中国語の発音がきちんとできるようになる。ピンインを見て正しく発音できる。教科書の単語、本文を覚え、基本的な文法をしっかりと身につける。それにより、基本的な日常会話ができ、平易な文章を読んで理解できるようになることを目指す。
---------------------	--

授業スケジュール	前期第1回目～第4回目までは発音の説明と練習。第5回目・6回目は第1課、第7回目・8回目は第2課、第9回目は理解度の確認、第10回目・11回目は第3課、第12回目・13回目は第4課、第14回目は第5課、第15回目は理解度の確認。 後期第1回目・2回目は第6課、第3回目・4回目は第7課、第5回目・6回目は第8課、第7回目は第9課、第8回目は理解度の確認、第9回目は第10課、第10回目は第11課、第11回目は第12課、第12回目は第13課、第13回目は第14課、第14回目は第15課、第15回目は理解度の確認。
----------	--

準備学習	発音を身につけるには繰り返しの練習が必須。授業で教わったことをよく思い出し、練習を積むこと。教科書の単語、本文をよく復習し、覚えること。
------	--

履修上の留意点	二人の教師が連携して授業を進める。火曜4限のIA (橋本幸枝先生担当) と必ずセットで履修すること。 わかり易く指導するので、休まず出席して、基本をしっかりと身につけよう。
---------	---

成績評価の方法	試験の成績を75%、宿題や小試験・授業中の態度を25%として成績を評価する。
---------	--

教科書/テキスト	趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税
----------	-------------------------------------

参考書	授業中に紹介する。
-----	-----------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	276611
科目名	中国語ⅠB
担当者名	李 雲

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 発音 (ピンイン=中国語の表音ローマ字) と基本文法を反復練習することを毎時間の課題とする。基本的に文法の練習と発音練習を担当を分担しながら、授業を進行する。</p> <p>到達目標 学習1年間終了時には簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。また、中国語検定の4級程度の能力を獲得する。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較。</p> <p>第2回 発音の異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。</p> <p>第3回 ピンインを正確に読む練習①</p> <p>第4回 簡体字とピンインを正確に読む練習②</p> <p>第5回 発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事の反復練習。</p> <p>第6回 是 と疑問文。</p> <p>第7回 動詞述語文や疑問詞疑問文の練習。</p> <p>第8回 名詞述語文と省略疑問文。</p> <p>第9回 形容詞述語文。</p> <p>第10回 比較文。</p> <p>第11回 学習した3つの文型の復習と練習。</p> <p>第12回 発音練習。</p> <p>第13回 反復疑問文。</p> <p>第14回 各種の疑問文のまとめと練習。</p> <p>第15回 理解度・到達度の確認</p> <p>第16回 前期の復習①</p> <p>第17回 前期に習得した文法を使用した会話練習。</p> <p>第18回 存在を表現する動詞。</p> <p>第19回 時点と時量補語を使つての練習。</p> <p>第20回 前置詞と数量補語。</p> <p>第21回 主述述語文。</p> <p>第22回 文型を再度復習してから応用会話や作文練習を行なう。</p> <p>第23回 完了の了的練習。</p> <p>第24回 変化の了的練習と連動文。</p> <p>第25回 結果補語。</p> <p>第26回 方向補語。</p> <p>第27回 様態補語と受身と使役文。</p> <p>第28回 補語表現のまとめと可能補語の練習。</p> <p>第29回 把構文と存現文の練習</p> <p>第30回 最終到達度の確認</p>
----------	---

準備学習	聴き取りの練習問題等、事前の準備を必ずすること。
履修上の留意点	出欠や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験 (以上80%)、授業態度や発表などの平常点 (20%) によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。
教科書/テキスト	内田慶市著『中国語への道 近きより遠きへ』改定版 金星堂 2400円 ISBN978-4-7647-0685-9 C1087
参考書	授業開始時に説明する。
その他	三田村 (IA) 李雲 (IB) のペアであることに注意すること。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	290401 290402
科目名	中国語ⅠB (選) 中国語ⅠB
担当者名	蘭 明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語を学びたいという強い意欲を有し、自ら進んで練習に取り組むことができる人を対象とします。発音をマスタした上、初級レベルの会話力を身につけることを目標とします。同時に、中級へのよりよい基礎作りのために、文法事項もしっかり学習します。
授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。年間30回のうち、最初5回の授業は集中的に発音の説明と練習を行います。その後はほぼ1.5回で1課進みます。 ★小テストとしてのプレゼンのほか、前後期とも中間テストがあります。
準備学習	予習、復習をすること。
履修上の留意点	欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。
成績評価の方法	出席、小テスト(朗読・暗誦・会話のプレゼンテーション)の平常点(20%)と中間試験、期末試験(80%)によって総合的に判断します。
教科書/テキスト	遠藤光暁『北京物語』(朝日出版社)2,500円(本体)
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	291001 291002
科目名	中国語II (選) 中国語IIA
担当者名	三田村 圭子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。後期は、実際に作文や口頭の練習を行う。また毎時間、簡単な中国語の会話練習を行う。</p> <p>到達目標 1年間の学習終了時には、より複雑な表現を獲得し、中国語検定3級程度の力を修得することを目的とする。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習。 第2回 基礎で学習した内容の応用と発音練習。 第3回 基礎の総合復習。大学について① 第4回 簡単な構文の練習。北京について① 第5回 場所に関する表現。北京について② 第6回 基礎項目についての到達度確認。 第7回 補語表現と少し複雑な表現。四合院について① 第8回 補語表現の練習。四合院について② 第9回 より複雑な表現の練習。万里の長城について① 第10回 より複雑な表現の練習。万里の長城について② 第11回 さまざまな構文についての説明。北京の美味しいもの① 第12回 構文の実践練習。北京の美味しいもの② 第13回 全体の復習。 第14回 ヒアリングと発音の復習と確認。 第15回 到達度の確認。</p> <p>第16回 前期の会話を暗記し、簡単な文章を書く練習。 第17回 前期分本文の発音練習。 第18回 新しい構文と復習。故宮① 第19回 構文と助動詞の応用練習。故宮② 第20回 構文と副詞の応用練習。上海① 第21回 第7から第9課を中心に復習。上海② 第22回 4・3級程度の検定問題。 第23回 前置詞と離合詞。中秋節① 第24回 方向補語の練習。中秋節② 第25回 「了」の練習。中国伝統の結婚式① 第26回 「就」「才」などの練習。中国伝統の結婚式② 第27回 新しい構文を使った表現練習。春節について① 第28回 ヒアリングと発音のチェック。春節について② 第29回 応用表現と作文の復習。 第30回 最終到達度の確認。</p>
----------	---

準備学習 必ず予習をすること。また、できるだけラジオ・テレビの中国語講座などを利用してほしい。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。
欠席が4分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)(80%)と平常点(20%)で総合評価する。
本文の暗記も点数に加算する。

教科書/テキスト 遠藤光暁著『リアルタッチ中国語』朝日出版社 2300円
ISBN978-4-255-45200-5 C1087

参考書 辞典や参考書については、授業開始時に紹介する。

その他 辞典を持っていることが望ましい。
外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。
積極的に利用してください。

関連リンク <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo>

履修コード	277601
科目名	中国語IIA
担当者名	秋元 翼

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 生活に身近な話題を扱った文を読んで正確な意味をとる訓練をする。各課に文法のキーポイントが例文とともに記載されているので、それを学びながら読解力を高める。さらに練習問題をやることによって、文法事項の定着と応用力の向上を図る。</p> <p>(到達目標) 中国語Iで学んだ文法事項を復習し、確実に基礎力を定着させながら、応用レベルに進む力を養う。このクラスでは主に読解力を養うことを目標とし、語彙力を養うとともに文の基本構造きちんと身につけるようにする。また、音読練習も重視し、標準発音で発音できるようにする。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1課 2. 第1課 3. 第2課 4. 第2課 5. 第3課 6. 第3課 7. 復習1 8. 第4課 9. 第4課 10. 第5課 11. 第5課 12. 第6課 13. 第6課 14. 復習2 15. まとめ
----------	--

- 後期
1. 第7課
 2. 第7課
 3. 第8課
 4. 第8課
 5. 第9課
 6. 第9課
 7. 復習3
 8. 第10課
 9. 第10課
 10. 第11課
 11. 第11課
 12. 第12課
 13. 第12課
 14. 復習4
 15. まとめ

準備学習	中国語Iで学んだ基礎をしっかりと復習しておくことが必要。分からない単語は巻末の単語リストや辞書で必ず調べておくこと、練習問題も事前にやっておき、授業で答えを確認するように。予習・復習をきちんとし、疑問があれば積極的に質問をすること。また、付属のCDを活用し、ヒヤリング練習も怠らないように。
履修上の留意点	4分の3以上の出席を要する。正当の理由のない欠席・遅刻はしないように。
成績評価の方法	前期・後期にそれぞれ行う中間テスト・期末テストの成績を基準にし、平常の学習態度、理解度を加味して総合的に評価する。
教科書/テキスト	劉穎・柴森・小澤正人著『2冊めの中国語』白水社 2300円+税
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	277521
科目名	中国語ⅡA
担当者名	天野 祐子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要 中国の日常生活、文化などを学べる教科書を使用し、実際に旅行や留学で使える会話フレーズや読解力を身につける。ときには、教科書をはなれて、いまの中国を理解するための知識や情報を提供する。</p>
---------------------	---

到達目標
一年次の会話練習や音声練習を継続しつつ、まとまりのある平易な中国語の文章を正確にかつ速く読めるようにする。そのために、基礎文法を復習しながら、応用文法を作文練習などを通じて反復学習しながら身につける。一年をつうじて、会話・読解・作文の基礎を盤石なものとする。

授業スケジュール	使用教科書に沿って授業を進めていく。
----------	--------------------

前期

第一回	ガイダンス	一年次の基礎文法・会話を復習
第二回	第一課	大学 会話部分 文法説明
第三回	第二課	大学 短文部分 作文練習
第四回	第三課	北京 会話部分 文法説明
第五回	第四課	北京 短文部分 作文練習
第六回	第五課	公園 会話部分 文法説明
第七回	第六課	公園 短文部分 作文練習
第八回	理解度の確認のための小テスト	復習
第九回	第七課	四合院 会話部分 文法説明
第十回	第八課	四合院 短文部分 作文練習
第十一回	第九課	長城 会話部分 文法説明
第十二回	第十課	長城 短文部分 作文練習
第十三回	第十一課	北京 会話部分 文法説明
第十四回	第十二課	北京 短文部分 作文練習
第十五回	理解度の確認のための小テスト	復習

後期

第一回	第七課	故宮 会話部分 文法説明
第二回	第八課	故宮 短文部分 作文練習
第三回	第九課	上海 会話部分 文法説明
第四回	第十課	上海 短文部分 作文練習
第五回	第十一課	中秋節 会話部分 文法説明
第六回	第十二課	中秋節 短文部分 作文練習
第七回	理解度の確認のための小テスト	復習
第八回	第十三課	中国伝統婚礼 会話部分 文法説明
第九回	第十四課	中国伝統婚礼 短文部分 作文練習
第十回	第十五課	中国民族音楽 会話部分 文法説明
第十一回	第十六課	中国民族音楽 短文部分 作文練習
第十二回	第十七課	春節 会話部分 文法説明
第十三回	第十八課	春節 短文部分 作文練習
第十四回	理解度の確認のための小テスト	復習
第十五回	文法の総仕上げ	まとめ プリント使用

準備学習	事前に教科書の会話・短文を音声練習し、わからない単語は辞書でしらべておくこと。
------	---

履修上の留意点	辞書はかならず携帯すること。 やむえない事情で欠席する場合は事前もしくは事後一週間以内に担当者に連絡をとること。
---------	---

成績評価の方法	平常点（授業態度・出席状況）2割、小テストの成績2割、期末試験の成績6割で評価する。
---------	--

教科書／テキスト	遠藤光暁監修、衛榕群・汪暁京著『リアルタッチ中国』朝日出版社 定価2300円 ISBN 978-4-255-45200-5
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	277201
科目名	中国語IIA
担当者名	上原 かおり

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語文章の読解に重点を置いて学びます。 (到達目標) 一年次に学んだ発音と基礎文法を定着させ、中級程度の語彙・文法の習得と読解力を養成します。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本文法の復習と小テスト 2. 第1課 文法説明と作文練習 (動詞の重ね型、“再～又…” “并” その他) 3. 第1課 例文・本文《饺子》読解と総合練習 4. 第2課 文法説明と作文練習 (“由～” “才” “把～” “如果…的话” その他) 5. 第2課 例文・本文《卡》読解と総合練習 6. 第3課 文法説明と作文練習 (“着” “就” “不但～而且…” “有” その他) 7. 第3課 例文・本文《微笑》読解と総合練習 8. 定着度の確認 (第1～3課) 9. 第4課 文法説明と作文練習 (“显得～” “尽管～但是…” “有所” その他) 10. 第4課 例文・本文《寒暄》読解と総合練習 11. 第5課 文法説明と作文練習 (“很少” + 動詞、数量補語、その他) 12. 第5課 例文・本文《请客》読解と総合練習 13. 第6課 文法説明と作文練習 (“令人” “无论～都…” “又～又…” その他) 14. 第6課 例文・本文《笑话两则》読解と総合練習 15. 定着度の確認 (第4～6課) 16. 前期学習内容の復習 17. 第7課 文法説明と作文練習 (形容詞の重ね型、“只要～就…” その他) 18. 第7課 例文・本文《服务》読解と総合練習 19. 第8課 文法説明と作文練習 (“因为～所以…” “甚至” “竟然” その他) 20. 第8課 例文・本文《手机》読解と総合練習 21. 第9課 文法説明と作文練習 (“算不上～” “好像～” “还是～” その他) 22. 第9課 例文・本文《价值》読解と総合練習 23. 定着度の確認 (第7～9課) 24. 第10課 文法説明と作文練習 (“据说” “任何” “只不过” その他) 25. 第10課 例文・本文《你别误会》読解と総合練習 26. 第11課 文法説明と作文練習 (“也就是说” “来自～” “靠～” その他) 27. 第11課 例文・本文《贫富之差》読解と総合練習 28. 第12課 文法説明と作文練習 (“将要” “怎么也” “难道～吗?” その他) 29. 第12課 例文・本文《你在哪儿?》読解と総合練習 30. 定着度の確認 (第10～12課)
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・一年次に学んだ IA、IB の内容は基礎知識として重要です。よく復習しておいてください。 ・読解や練習問題の解答の際は受講生を指名します。毎回入念に受講準備をしてきてください。 ・本文や例文を熟読するだけでなく、付属の音声教材を頻繁に聞き、何度も音読を試みると、より身につきます。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・読解や解答の際、指名されてから慌てないよう準備学習を行い、授業に集中してください。 ・授業内で頻繁に単語テストや小テストを実施し、課題の提出を求めます。 ・欠席した場合は、授業の進捗状況やテスト予告、課題、その他連絡事項について、出席者から聞くなどして確認し、次回の授業に備えてください。 ・4分の3以上の出席を求めます。部・サークルの試合等の活動は公欠とはなりません。 ・恥ずかしがらず、積極的に授業に参加してください。
---------	--

成績評価の方法	単語テスト・小テストの成績 (60%)、提出物 (20%)、授業への取り組み等の平常点 (20%) によって総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	杉野元子、黄漢青著『中国語中級講読テキスト 大学生のための現代中国12話』白帝社、2500円＋税、ISBN 978-4891748098
----------	--

参考書	中日辞典 (授業の時に必ず携帯すること)。辞書については下記ページ参考のこと { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhonjisho/ }
-----	---

その他	千里之行，始于足下。まずは単語を覚えましょう。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下記ページをぜひご覧ください。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	277811
科目名	中国語IIA
担当者名	上原 かおり

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語文章の読解に重点を置いて学びます。 (到達目標) 一年次に学んだ発音と基礎文法を定着させ、中級程度の語彙・文法の習得と読解力を養成します。
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本文法の復習と小テスト 2. 第1課 文法説明と作文練習 (動詞の重ね型、“再～又…” “并” その他) 3. 第1課 例文・本文《饺子》読解と総合練習 4. 第2課 文法説明と作文練習 (“由～” “才” “把～” “如果…的话” その他) 5. 第2課 例文・本文《卡》読解と総合練習 6. 第3課 文法説明と作文練習 (“着” “就” “不但～而且…” “有” その他) 7. 第3課 例文・本文《微笑》読解と総合練習 8. 定着度の確認 (第1～3課) 9. 第4課 文法説明と作文練習 (“显得～” “尽管～但是…” “有所” その他) 10. 第4課 例文・本文《寒暄》読解と総合練習 11. 第5課 文法説明と作文練習 (“很少” + 動詞、数量補語、その他) 12. 第5課 例文・本文《请客》読解と総合練習 13. 第6課 文法説明と作文練習 (“令人” “无论～都…” “又～又…” その他) 14. 第6課 例文・本文《笑话两则》読解と総合練習 15. 定着度の確認 (第4～6課) 16. 前期学習内容の復習 17. 第7課 文法説明と作文練習 (形容詞の重ね型、“只要～就…” その他) 18. 第7課 例文・本文《服务》読解と総合練習 19. 第8課 文法説明と作文練習 (“因为～所以…” “甚至” “竟然” その他) 20. 第8課 例文・本文《手机》読解と総合練習 21. 第9課 文法説明と作文練習 (“算不上～” “好像～” “还是～” その他) 22. 第9課 例文・本文《价值》読解と総合練習 23. 定着度の確認 (第7～9課) 24. 第10課 文法説明と作文練習 (“据说” “任何” “只不过” その他) 25. 第10課 例文・本文《你误会》読解と総合練習 26. 第11課 文法説明と作文練習 (“也就是说” “来自～” “靠～” その他) 27. 第11課 例文・本文《贫富之差》読解と総合練習 28. 第12課 文法説明と作文練習 (“将要” “怎么也” “难道～吗?” その他) 29. 第12課 例文・本文《你在哪儿?》読解と総合練習 30. 定着度の確認 (第10～12課)
----------	--

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・一年次に学んだIA、IBの内容は基礎知識として重要です。よく復習しておいてください。 ・読解や練習問題の解答の際は受講生を指名します。毎回入念に受講準備をしてきてください。 ・本文や例文を黙読するだけでなく、付属の音声教材を頻繁に聞き、何度も音読を試みると、より身につきます。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・読解や解答の際、指名されてから慌てないよう準備学習を行い、授業に集中してください。 ・授業内で頻繁に単語テストや小テストを実施し、課題の提出を求めます。 ・欠席した場合は、授業の進捗状況やテスト予告、課題、その他連絡事項について、出席者から聞くなどして確認し、次回の授業に備えてください。 ・4分の3以上の出席を求めます。部・サークルの試合等の活動は公欠とはなりません。 ・恥ずかしがらず、積極的に授業に参加してください。
---------	--

成績評価の方法	単語テスト・小テストの成績 (60%)、提出物 (20%)、授業への取り組み等の平常点 (20%) によって総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	杉野元子、黄漢青著『中国語中級講読テキスト 大学生のための現代中国12話』白帝社、2500円 + 税、ISBN 978-4891748098
----------	--

参考書	中日辞典 (授業の時に必ず携帯すること)。辞書については下記ページ参考のこと { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo/zhjisho }
-----	---

その他	千里之行、始于足下。まずは単語を覚えましょう。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下記ページをぜひご覧ください。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo
-------	---

履修コード	277301
科目名	中国語II A
担当者名	梅田 雅子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>■ねらい この授業では、中国文化について書かれた文章を読んでいきます。本文の内容を足掛かりにして、日中の文化の違いについて理解を深めて行きましょう。</p> <p>■出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピンインの書いていない言葉も調べられるようになる。 ・中国語の簡体字を読んで意味がわかるようになる。 ・中国語の音を聞いて意味を理解できるようになる。 ・ピンインをきれいに発音できるようになる。 ・中国の文化についての文章を通して、中国を理解し、さらに日本への理解も深化させることができるようになる。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>■一課ごとの授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: ウォーミングアップ 文章を読む前の「自己確認」 2: 「新出語句」十分からない単語・文型の確認 (ピンインと日本語の意味を調べてくる) ★Yestudyに単語リストをアップするので活用すること。 3: 本文確認 (日本語の意味) と発音練習 4: 本文内容理解の確認 (中国語によるQ&A) ★3~4回で1課進む予定
----------	---

■日程 (進度によって変更有)

- 前期
- 1: ウォーミングアップ
 - 2: 第1課
 - 3: 第1課
 - 4: 第1課
 - 5: 第1課
 - 6: 第2課
 - 7: 第2課
 - 8: 第2課
 - 9: 第2課
 - 10: 第3課
 - 11: 第3課
 - 12: 第3課
 - 13: 第3課
 - 14: 前期末まとめ
 - 15: 解説復習など

- 後期
- 1: 第4課
 - 2: 第4課
 - 3: 第4課
 - 4: 第4課
 - 5: 第5課
 - 6: 第5課
 - 7: 第5課
 - 8: 第5課
 - 9: 第6課
 - 10: 第6課
 - 11: 第6課
 - 12: 第6課
 - 13: 第6課
 - 14: 学年末まとめ
 - 15: 解説復習など

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンインは必ず調べてくること。その場で発音してもらいます。読みにくいピンインにはカタカナを書きましょう。 ・単語リストは他人のリストを写さずに自力で書きましょう。 ・単語リストは「文章で使われている意味」を書いてきましょう。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・3/4以上の出席が必要 ・読み間違いやすいピンインに注意! 子音: q、x、c 母音: ian (yan)、siのiなど
---------	--

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期と後期末試験70パーセント ・平常点 (出席、小テスト) 30パーセント ・欠席1回ごとに-2点 ・3回遅刻=1回欠席
---------	---

教科書/テキスト	<p>適宜プリントを配布</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はい」は中国語で何と言うか? ・「いただきます」は中国語 (英語も可) で何と言うか? ・魚の骨をどこに置くか? ・餃子は主食かおかずか?
----------	---

・タブーについて
などを予定

参考書

- ・辞書を必ず教室に持ってくること。
- ・電子辞書がお勧め。★ピンインのついていない文章を読むから
- ・紙の辞書を買うときは、日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。
- ・自分の持っている辞書に該当する単語が載っていない場合は、図書館で大きめの辞書を調べる
- こと。
- ・電子辞書を買わない場合は、インターネットの辞書を活用すること（使い方は授業で説明）

その他

- 授業進度等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。
hanyu555@komazawa-u.ac.jp
- 文化比較の時の注意点
異文化と自文化を比較する際に、注意して貰いたい事が一つあります。
それは、相対的な視点です。人はとかく自文化を絶対視しがちです。
最近のマスコミでは、一方的で感情的な中国報道が目立ちます。
しかし周りから見ると、自分の尺度が実は特殊であることもしばしばあります。
異文化と向き合う時、単に自文化中心主義の視点から優劣を競うのではなく、
相対的な視点から判断できるよう努力してみてください。
また本文には中国文化について書かれていますが、同時に日本のことの理解も深められるように意識してみてください。
- 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
【関連リンク】
{<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho>}

関連リンク

http://www.excite.co.jp/dictionary/chinese_japanese/

履修コード	353001
科目名	中国語ⅠA
担当者名	梅田 雅子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>■ねらい この授業では、中国文化について書かれた文章を読んでいます。本文の内容を足掛かりにして、日中の文化の違いについて理解を深めていきましょう。</p> <p>■出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピンインの書いていない言葉も調べられるようになる。 ・中国語の簡体字を読んで意味がわかるようになる。 ・中国語の音を聞いて意味を理解できるようになる。 ・ピンインをきれいに発音できるようになる。 ・中国の文化についての文章を通して、中国を理解し、さらに日本への理解も深化させることができるようになる。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>■一課ごとの授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: ウォーミングアップ 文章を読む前の「自己確認」 2: 「新出語句」十分からない単語・文型の確認 (ピンインと日本語の意味を調べてくる) ★Yestudyに単語リストをアップするので活用すること。 3: 本文確認(日本語の意味)と発音練習 4: 本文内容理解の確認 (中国語によるQ&A) ★3~4回で1課進む予定
----------	---

■日程(進度によって変更有)

- 前期
- 1: ウォーミングアップ
 - 2: 第1課
 - 3: 第1課
 - 4: 第1課
 - 5: 第1課
 - 6: 第2課
 - 7: 第2課
 - 8: 第2課
 - 9: 第2課
 - 10: 第3課
 - 11: 第3課
 - 12: 第3課
 - 13: 第3課
 - 14: 前期末まとめ
 - 15: 解説復習など

- 後期
- 1: 第4課
 - 2: 第4課
 - 3: 第4課
 - 4: 第4課
 - 5: 第5課
 - 6: 第5課
 - 7: 第5課
 - 8: 第5課
 - 9: 第6課
 - 10: 第6課
 - 11: 第6課
 - 12: 第6課
 - 13: 第6課
 - 14: 学年末まとめ
 - 15: 解説復習など

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンインは必ず調べてくること。その場で発音してもらいます。読みにくいピンインにはカナを書きましょう。 ・単語リストは他人のリストを写さずに自力で書きましょう。 ・単語リストは「文章で使われている意味」を書いていきましょう。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・3/4以上の出席が必要 ・読み間違いやすいピンインに注意! 子音: q, x, c 母音: ian (yan)、siのiなど
---------	--

成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期と後期期末試験70パーセント ・平常点(出席、小テスト)30パーセント ・欠席1回ごとに-2点 ・3回遅刻=1回欠席
---------	--

教科書/テキスト	<p>適宜プリントを配布</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はい」は中国語で何と言うか? ・「いただきます」は中国語(英語も可)で何と言うか? ・魚の骨をどこに置くか? ・餃子は主食かおかずか?
----------	---

・タブーについて
などを予定

参考書

- ・辞書を必ず教室に持ってくること。
- ・電子辞書がお勧め。★ピンインのついていない文章を読むから
- ・紙の辞書を買うときは、日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。
- ・自分の持っている辞書に該当する単語が載っていない場合は、図書館で大きめの辞書を調べる
- こと。
- ・電子辞書を買わない場合は、インターネットの辞書を活用すること（使い方は授業で説明）
{http://www.excite.co.jp/dictionary/chinese_japanese/}

その他

- 授業進度等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。
hanyu555@komazawa-u.ac.jp
- 文化比較の時の注意点
異文化と自文化を比較する際に、注意して貰いたい事が一つあります。
それは、相対的な視点です。人はとかく自文化を絶対視しがちです。
最近のマスコミでは、一方的で感情的な中国報道が目立ちます。
しかし周りに見ると、自分の尺度が実は特殊であることもしばしばあります。
異文化と向き合う時、単に自文化中心主義の視点から優劣を競うのではなく、
相対的な視点から判断できるよう努力してみてください。
また本文には中国文化について書かれていますが、同時に日本のことの理解も深められるように
意識してみてください。
- 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをク
リックしてください。
{<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/>}

関連リンク

http://www.excite.co.jp/dictionary/chinese_japanese/

履修コード 277821

科目名 中国語IIA

担当者名 大久保 明男

授業概要/
到達目標 (ねらい)

一年次で習った内容を復習しつつ、発音と基礎文法の定着をはかりながら、中級レベルの語彙や文法を習得し、中国語文章を読む力(読解力)の養成や向上に努める。あわせて、中国語の学習を通じて、中国の歴史や文化、現代中国社会、中国の人々の生活や考え方などにも触れ、中国に対する理解を深めていくことをめざす。

授業スケジュール

- ・基本的に教科書に沿って進めていく。全14課をほぼ二回に一課のペースで学習することになる。
- ・第1回：オリエンテーション、発音の復習や練習
- ・第2回～14回：取り上げる予定のトピックスは、自己紹介、趣味について、ある中国人年寄りの一日、中国のOL、中国語コンクール、中国語の外来語など
- ・第15回：理解度の確認
- ・第16回～29回：取り上げる予定のトピックスは、中国の大学、若者の流行、中国における日本のアニメや漫画、中国の民族、飲食、祭日など
- ・第30回：理解度の確認
- ・理解を助けるために、授業内容に即した視聴覚教材を随時使う予定。

準備学習

授業前後の予習や復習は欠かせない。

履修上の留意点

「なぜ中国語を学ぶのか」を常に意識し、自分の将来(就職、仕事上、あるいは教養としてなど)にとって、中国語はどのように役に立つのかを予想し、その上で積極的に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

平常点(授業参加の積極性など)と試験成績で総合勘案して評価する。割合はだいたい6対4。

教科書/テキスト

王安ほか著、『標準中国語 読解力UP編』、朝日出版社、2200円(税別)、ISBN978-4-255-45215-9 C1087

参考書

履修コード	277701
科目名	中国語II A
担当者名	佐藤 普美子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国人の生活習慣や伝統文化、中国の大学事情、若者やお年寄りのライフスタイルなど中国のさまざまな側面を扱った文章を読みながら、初級・中級レベルに必要な語彙と文法を習得し、中国の文化・習慣に関する基礎知識を身につける。 初級～中級中国語の基本語彙と文法の要点を押さえながら、読解力を確実にアップさせることを目標とする。
授業スケジュール	テキストは全14課。2回の授業で1つの課を進める予定です。 第1回：導論、2～3回：第1課（自己紹介）、4～5回：第2課（李さんの趣味）、6～7回：第3課（趙おばさん）、8～9回：第4課（許さんの悩み）、10～11回：第5課（外国人の友達）、12～13回：第6課（中国語コンテスト）、14～15回：第7課（外来語）、16～17回：第8課（大学）、18～19回：第9課（若者の流行）、20～21回：第10課（日本のアニメ）、22～23回：第11課（北京）、24～25回：第12課（飲食）、26～27回：第13課（中国の民族）、28～29回：第14課（旧正月）、30回：学習の総まとめ・理解度の確認
準備学習	毎回の予習は必須です。
履修上の留意点	授業にはやむを得ない事情がある場合を除き、すべて出席することが前提です。欠席回数が全授業回数の四分の一を越えた場合は試験を受けることができません。
成績評価の方法	四分の三以上の出席を前提とします。学期末試験（年2回）60%、小テスト20%、平常点（予習の有無など）20%。
教科書／テキスト	王安・楊川・王欣・孫樹林『標準中国語 読解力UP編』（朝日出版社）2,200円 ISBN978-4-255-45215-9
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	277501
科目名	中国語II A
担当者名	弘兼 加奈子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	IA、IBで学んだことを復習しつつ、講読、文法、作文、音声練習等、さらに深く学んでいきます。
授業スケジュール	1～2. 自己紹介 一年次の復習 他 3～4. 第1課 機上で 文法 課文 5～6. 第1課の続き 7～8. 第2課 空港での出迎え 9～10. 第2課の続き 練習問題 11～12. 第3課 銀行での両替 13～14. 第3課の続き 復習 15～16. 中間の総まとめ 第4課 宿泊 17～18. テストの答え合わせ 第4課の続き 19～20. 第5課 教室にて 21～22. 第5課の続き 23～24. 第6課 食事 25～26. 第6課の続き 27～28. 復習 予備 29～30. 期末の総まとめと理解度の確認
準備学習	本文の内容を見ておくこと。 必ず復習をすること。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提である。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となる。 サークル、部活動で休む場合も同様に、7回を超えれば単位取得は不可能となる。
成績評価の方法	中間試験、期末試験とも、各2回ずつ行う。 中間試験の成績 40% 期末試験の成績 40% 平常点 20%
教科書／テキスト	金子真也 『上海びより』 好文出版 2000円 ISBN4-87220-091-8
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。 下のリンクをクリックしてください。 【関連リンク】 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujo
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	277401
科目名	中国語IIA
担当者名	宮本 厚子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	教科書に沿って、1年生で学んだ知識を復習しつつ、更に高度な表現を身につけていく。
---------------------	--

授業スケジュール	前期1 ガイダンス
2	1 課
3	1 課
4	2 課
5	2 課
6	3 課
7	3 課
8	復習
9	4 課
10	4 課
11	5 課
12	5 課
13	6 課
14	6 課
15	総復習
後期1	7 課
2	7 課
3	8 課
4	8 課
5	9 課
6	9 課
7	復習
8	10 課
9	10 課
10	11 課
11	11 課
12	12 課
13	12 課
14	復習
15	総復習

準備学習	・必ず予習をし、本文を日本語に訳したノートを作ってから授業にでること。 ・単語の表は教科書にあるが、それ以外に分からない語を調べるため、毎回辞書を携帯すること。
履修上の留意点	・必ず予習、復習をすること。 ・宿題も課すので、やってくること。
成績評価の方法	前後期ともに、中間、期末の試験を行う。その試験の成績（70%）と平常点（30%）で評価する。
教科書／テキスト	劉穎・柴森・小澤正人『2冊目の中国語』《講読クラス》白水社（2300円＋税）ISBN978-4-560-06927-1 C3887
参考書	辞書は開講時に、参考書は適宜紹介する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/

履修コード	277511
科目名	中国語IIA
担当者名	李 雲
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指します。その為に既習の文法を復習しながら、更に補語や複文表現を学んでいきます。また新しい単語をどんどん覚えていきます。 発音についても、より正確に美しく発音できるよう練習します。
授業スケジュール	前期：第1回目・第2回目は第1課、第3回目・第4回目は第2課、第5回目・第6回目は第3課、第7回目は復習、第8回目・第9回目は第4課、第10回目・第11回目は第5課、第12回目・第13回目は第6課、第14回目は復習、第15回目は期末テスト。 後期：第1回目・第2回目は第7課、第3回目・第4回目は第8課、第5回目・第6回目は第9課、第7回目は復習、第8回目・第9回目は第10課、第10回目・第11回目は第11課、第12回目・第13回目は第12課、第14回目は復習、第15回目は期末テスト。
準備学習	何度も復習したり、練習したりしないと身につけませんので、とにかくよく復習をするようにして下さい。
履修上の留意点	欠席しないこと。出された宿題をきちっとやってくること。
成績評価の方法	テストの成績を75%、出席状況、宿題、授業中の態度を25パーセントとし、これ等を総合して判断します。
教科書/テキスト	八木章好ほか『おぼえる中国語』（朝日出版社）2200円＋税
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	277801
科目名	中国語IIA
担当者名	李 雲
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
授業スケジュール	テストのかわりに、本文の暗誦を要求します。年間30回の授業では、暗誦も含めて授業7、8回で4課ずつ進むこととなります。
準備学習	きちんと予習と復習をするはこの授業に参加するために是非とも必要です。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、テスト（60%）と平常点（40%）によって評価します。テストは年間4回行う予定です。
教科書/テキスト	小川利康、王延偉『中国語・新天地2』（朝日出版）2500円＋税
参考書	
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	301901 301902 301903
科目名	中国語IIA 中国語IIB 中国語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	小栗山 恵
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
授業スケジュール	第1回：発音等含む小テスト 第2-4回：発音の復習、数字にまつわる会話、まとめ、第5-8回：是字句、名詞述語文、動詞述語文、まとめ、第9-13回：形容詞述語文、主述述語文、まとめ、第14-15回：有、量詞、前期試験。第16-21回：在、方位詞、能願動詞、様態補語“得”、まとめ、第22-27回：“了”、“着”、“过”、数量補語、結果補語、方向補語、第28-30回：処置文、兼語文、存現文、総まとめ。
準備学習	与えられた課題は、家で時間をかけて暗記してくること。暗記した内容を、毎回の授業で試験をする。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を心得、つねに意欲的、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	試験の成績(7割)、出席状況、授業中の取りくみ(3割)により総合的に評価する。
教科書/テキスト	開講時に提示する。
参考書	

履修コード	356201 356202
科目名	中国語ⅡA 中国語ⅡB [再クラス]
担当者名	弘兼 加奈子
授業概要/ 到達目標(ねらい)	ⅡA、ⅡBで学んだことを復習しつつ、講読、文法、作文、音声練習等、さらに深く学んでいきます。
授業スケジュール	1～2. 自己紹介 一年次の復習 他 3～4. 第1課 機内で 文法 課文 5～6. 第1課の続き 練習問題 7～8. 第2課 空港での出迎え 9～10. 第2課の続き 11～12. 復習 第3課 銀行での両替 13～14. 中間の総まとめ 第3課の続き 15～16. テストの答え合わせ 第4課 宿泊 17～18. 第4課の続き 19～20. 第5課 教室にて 21～22. 第5課の続き 23～24. 第6課 食事 25～26. 第6課の続き 27～28. 復習 29～30. 期末の総まとめと理解度の確認
準備学習	本文に一通り目を通しておいてください。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提である。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を超えた場合は単位取得が不可能となる。 サークル、部活動で休む場合も同様に、7回を超えれば単位取得は不可能となる。 当クラスは再履修クラスのため、成績は最良でも80点満点である。
成績評価の方法	中間試験、期末試験とも、年間各2回ずつ行う。 中間試験の成績 40% 期末試験の成績 40% 平常点 20%
教科書/テキスト	金子真也『上海びより』 好文出版社 2000円 ISBN4-87220-091-8
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。 下のリンクをクリックしてください。 【関連リンク】 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	301801 301802 301803
科目名	中国語IIA 中国語IIB 中国語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	本間 由香利

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	簡単なテキストを用い、基本文法を系統立てて整理し、復習します。
---------------------	---------------------------------

朗読目標：発音矯正と安定の為の訓練を行い、単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。
文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回 ピンインの復習。発音訓練と矯正</p> <p>第2回 1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習など。</p> <p>第3～15回 第1課～第5課まで。</p> <p>授業内で適宜、理解度の確認を行います。</p>
----------	---

後期

第1回 前期の復習

第2～15回 第12課まで。

授業内で適宜、理解度の確認を行います。

準備学習	各課の練習問題を事前にやっておくこと。 自宅での復習はCDを聞いて発音練習をメインに行ってください。
------	---

履修上の留意点	必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
---------	-------------------------------

成績評価の方法	授業出席を前提とし、授業態度(60%)、小テスト(20%)、期末テスト(20%)により評価します。
---------	---

教科書/テキスト	『最新2訂版 中国語はじめの一步』竹島金吾ほか 白水社 2,200円
----------	------------------------------------

参考書	授業内で指示する。
-----	-----------

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/
-------	---

履修コード	302001 302002 302003
科目名	中国語IIA 中国語IIB 中国語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	李 雲

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
---------------------	--

授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。3週間に2課の進捗で進めていく予定です。全20課からなる教科書ですが、前期10課、後期10課、それぞれの14回目は全内容の復習、最終15回目は理解度の確認に当てます。授業回数は年間30回。
----------	---

準備学習	きちんと出席し、さらに予習と復習をするは授業についていくための是非とも必要な条件です。
------	---

履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
---------	----------------------

成績評価の方法	筆記試験(60%)、書き取り・会話のでき具合と出席率など平常点(40%)によって総合的に評価する。
---------	---

教科書/テキスト	小池一郎ほか『新訂 開門!中国語』(朝日出版社)2300円+税
----------	---------------------------------

参考書	中国語IAとIBで使った教科書を持参してください。
-----	---------------------------

その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	278401
科目名	中国語ⅡB
担当者名	秋元 翼

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語Ⅰで習った文法を基礎とした会話体の課文を学ぶ。各課にまとめてある文法のキーポイントで基礎の復習をしながら、発展させる。さらに練習問題をやることによって応用力を養う。 (到達目標) 中国語Ⅰで学んだ文法事項を復習し、確実に定着させながら、さらに発展させ応用力を養う。特に音声面での基礎力を養うことを目標とする。基本的な単語や文型は文字を見ずに聞いただけで理解でき、発音できるようにする。そのうえで、語彙を増やし応用表現ができるようにする。
---------------------	---

授業スケジュール	前期 1. 第1課 2. 第1課 3. 第2課 4. 第2課 5. 第3課 6. 第3課 7. 復習1 8. 第4課 9. 第4課 10. 第5課 11. 第5課 12. 第6課 13. 第6課 14. 復習2 15. まとめ 後期 1. 第7課 2. 第7課 3. 第8課 4. 第8課 5. 第9課 6. 第9課 7. 復習3 8. 第10課 9. 第10課 10. 第11課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第12課 14. 復習4 15. まとめ
----------	--

準備学習	中国語Ⅰで学んだ基礎をしっかりと復習しておくこと。その上で、予習・復習をきちんとするように。わからない単語は巻末の単語索引で授業前に調べておくこと。ヒヤリングの練習問題は必ず事前にCDを聞いて予習しておくこと。また、既習部分は繰り返しCDを聞き、文字を見ないで音だけで意味が理解できるまでにほしい。
------	---

履修上の留意点	4分の3以上の出席を要する。正当な理由のない欠席、遅刻はしないように。このクラスは音声を重視するクラスなので、授業中は積極的に声を出して発音練習をすること。また、CDをよく聞き、耳から覚えることを意識的にやってほしい。
---------	---

成績評価の方法	前期、後期それぞれ中間・期末テストを行い、その成績を基礎に平常の学習態度、理解度を加味して総合的に評価する。
---------	--

教科書/テキスト	塚本慶一監修・劉穎 著『2年生のコミュニケーション中国語』白水社、2200円+税
----------	--

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	278121
科目名	中国語ⅡB
担当者名	岩崎 皇
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の学習のうち、音声に関する部分の仕上げを目指します。具体的には、個々の音節を聞き分けること、一文を即座に記憶できること、この二つのことを目標に練習をします。
授業スケジュール	PC教場を使い、パソコンに中国語を入力するという作業を通して、練習していきます。授業回数を30回とすると、前半15回は音節の聞き取りとタイピングを重点的に行います。後半15回は会話の聞き取りに重点を置きます。なお、授業期間内に理解度の確認を4回以上行う予定です。
準備学習	予習はできませんので、復習に力を入れてください。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合、単位取得は難しくなります。なお、授業中パソコンを私的に使用することは厳禁です。そのような学生がいた場合は、退場してもらいます。
成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、年間4回行う試験で評価します。
教科書／テキスト	教材は毎回ファイルで提供します。
参考書	
その他	第一回目の授業で、授業の手順を説明するので、必ず出席してください。外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	278521
科目名	中国語ⅡB
担当者名	岩崎 皇
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次の学習のうち、音声に関する部分の仕上げを目指します。具体的には、個々の音節を聞き分けること、一文を即座に記憶できること、この二つのことを目標に練習をします。
授業スケジュール	PC教場を使い、パソコンに中国語を入力するという作業を通して、練習していきます。授業回数を30回とすると、前半15回は音節の聞き取りとタイピングを重点的に行います。後半15回は会話の聞き取りに重点を置きます。なお、授業期間内に理解度の確認を4回以上行う予定です。
準備学習	予習はできませんので、復習に力を入れてください。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合、単位取得は難しくなります。なお、授業中パソコンを私的に使用することは厳禁です。そのような学生がいた場合は、退場してもらいます。
成績評価の方法	上記の出席を満たした上で、年間4回行う試験で評価します。
教科書／テキスト	教材は毎回ファイルで提供します。
参考書	
その他	第一回目の授業では、授業の手順を説明するので、必ず出席してください。外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	278001
科目名	中国語ⅡB
担当者名	上原 かおり

授業概要/ 到達目標(ねらい)	(授業概要) 中国語の音声練習や作文に重点を置いて学びます。 (到達目標) 一年次に学んだ語彙や文法事項を基に、簡単な内容を声や文字で表現する能力を育成します。
--------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本文法の復習と小テスト 2. 第1課《大学校园》文法説明と作文練習（“在”“除了～以外”“从～到…”その他） 3. 第1課 聞き取り練習と会話練習 4. 第2課《南京路 步行街》文法説明と作文練習（“和～一样”“差不多”その他） 5. 第2課 聞き取り練習と会話練習 6. 第3課《晨练》文法説明と作文練習（“着”“能”“对～来说”“既～又…”等） 7. 第3課 聞き取り練習と会話練習 8. 定着度の確認（第1～3課） 9. 第4課《豫园》文法説明と作文練習（可能補語、“形容詞+极了”その他） 10. 第4課 聞き取り練習と会話練習 11. 第5課《国宝 大熊猫》文法説明と作文練習（“让～”“除了～就是”その他） 12. 第5課 聞き取り練習と会話練習 13. 第6課《世界遗产 九寨沟》文法説明と作文練習（“随着～”“越～越…”その他） 14. 第6課 聞き取り練習と会話練習 15. 定着度の確認（第4～6課） 16. 前期学習内容の復習 17. 第7課《大学的社团活动》文法説明と作文練習（“上～的时候”その他） 18. 第7課 聞き取り練習と会話練習 19. 第8課《故宫博物院》文法説明と作文練習（“是～的”“把”“过来”“连～也”等） 20. 第8課 聞き取り練習と会話練習 21. 第9課《北京798艺术区》文法説明と作文練習（“没想到～”“成了～”その他） 22. 第9課 聞き取り練習と会話練習 23. 定着度の確認（第7～9課） 24. 第10課《秦始皇 兵马俑》文法説明と作文練習（“为～”“動+过～的人,その他） 25. 第10課 聞き取り練習と会話練習 26. 第11課《少数民族》文法説明と作文練習（“被”“動+下来”“以～为…”その他） 27. 第11課 聞き取り練習と会話練習 28. 第12課《丽江 古城》文法説明と作文練習（“動+回去”“～,而…”その他） 29. 第12課 聞き取り練習と会話練習 30. 定着度の確認（第10～12課）
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・一年次に学んだⅠA、ⅠBの内容は基礎知識として重要です。よく復習しておいてください。 ・練習問題の解答の際は受講生を指名します。毎回入念に受講準備をしてきてください。 ・本文や例文を黙読するだけでなく、付属の音声教材を頻繁に聞き、何度も音読を試みると、より身につきます。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・解答の際、指名されてから慌てないよう準備学習を行い、授業に集中してください。 ・授業内で頻繁に単語テストや小テストを実施し、課題の提出を求めます。 ・欠席した場合は、授業の進捗状況やテスト予告、課題、その他連絡事項について、出席者から聞くなどして確認し、次回の授業に備えてください。 ・4分の3以上の出席を求めます。部・サークルの試合等の活動は公欠とはなりません。 ・恥ずかしがらず、積極的に授業に参加してください。
---------	---

成績評価の方法	単語テスト・小テストの成績（60%）、提出物（20%）、授業への取り組み等の平常点（20%）によって総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	洪潔清著『Chinese Adventure ～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂、2700円+税、ISBN 978-4764706866
----------	---

参考書	中日辞典（授業の時に必ず携帯すること）。辞書については下記ページ参考のこと [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhohjisho]
-----	---

その他	千里之行、始于足下。まずは単語を覚えましょう。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下記ページをぜひご覧ください。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	--

履修コード	278301
科目名	中国語II B
担当者名	上原 かおり

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 中国語の音声練習や作文に重点を置いて学びます。 (到達目標) 一年次に学んだ語彙や文法事項を基に、簡単な内容を声や文字で表現する能力を育成します。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本文法の復習と小テスト 2. 第1課《大学校园》文法説明と作文練習 (“在” “除了~以外” “从~到…” その他) 3. 第1課 聞き取り練習と会話練習 4. 第2課《南京路 步行街》文法説明と作文練習 (“和~一样” “差不多” その他) 5. 第2課 聞き取り練習と会話練習 6. 第3課《晨练》文法説明と作文練習 (“着” “能” “对~来说” “既~又…” 等) 7. 第3課 聞き取り練習と会話練習 8. 定着度の確認 (第1~3課) 9. 第4課《豫园》文法説明と作文練習 (可能補語、“形容詞+极了” その他) 10. 第4課 聞き取り練習と会話練習 11. 第5課《国宝 大熊猫》文法説明と作文練習 (“让~” “除了~就是” その他) 12. 第5課 聞き取り練習と会話練習 13. 第6課《世界遗产 九寨沟》文法説明と作文練習 (“随着~” “越~越…” その他) 14. 第6課 聞き取り練習と会話練習 15. 定着度の確認 (第4~6課) 16. 前期学習内容の復習 17. 第7課《大学的社团活动》文法説明と作文練習 (“上~的时候” その他) 18. 第7課 聞き取り練習と会話練習 19. 第8課《故宫博物院》文法説明と作文練習 (“是~的” “把” “过来” “连~也” 等) 20. 第8課 聞き取り練習と会話練習 21. 第9課《北京798艺术区》文法説明と作文練習 (“没想到~” “成了~” その他) 22. 第9課 聞き取り練習と会話練習 23. 定着度の確認 (第7~9課) 24. 第10課《秦始皇 兵马俑》文法説明と作文練習 (“为~” “動+过~の人, その他) 25. 第10課 聞き取り練習と会話練習 26. 第11課《少数民族》文法説明と作文練習 (“被” “動+下来” “以~为…” その他) 27. 第11課 聞き取り練習と会話練習 28. 第12課《丽江 古城》文法説明と作文練習 (“動+回去” “~,而…” その他) 29. 第12課 聞き取り練習と会話練習 30. 定着度の確認 (第10~12課)
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・一年次に学んだ IA、IB の内容は基礎知識として重要です。よく復習しておいてください。 ・練習問題の解答の際は受講生を指名します。毎回入念に受講準備をしてきてください。 ・本文や例文を黙読するだけでなく、付属の音声教材を頻繁に聞き、何度も音読を試みると、より身につきます。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・解答の際、指名されてから慌てないよう準備学習を行い、授業に集中してください。 ・授業内で頻繁に単語テストや小テストを実施し、課題の提出を求めます。 ・欠席した場合は、授業の進捗状況やテスト予告、課題、その他連絡事項について、出席者から聞くなどして確認し、次回の授業に備えてください。 ・4分の3以上の出席を求めます。部・サークルの試合等の活動は公欠とはなりません。 ・恥ずかしがらず、積極的に授業に参加してください。
---------	---

成績評価の方法	単語テスト・小テストの成績 (60%)、提出物 (20%)、授業への取り組み等の平常点 (20%) によって総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	洪潔清著『Chinese Adventure ~DVDで学ぶ中国文化~』金星堂、2700円+税、ISBN 978-4764706866
----------	---

参考書	中日辞典 (授業の時に必ず携帯すること)。辞書については下記ページ参考のこと [http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhjisho]
-----	---

その他	千里之行、始于足下。まずは単語を覚えましょう。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下記ページをぜひご覧ください。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaku_joho
-------	---

履修コード	278101
科目名	中国語ⅡB
担当者名	梅田 雅子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・文字に頼らず、ぱっと中国語が発音できるようになる (反応力) ・自分の力で中国語を話せるようになる (自発能力) ・教科書にない言い方もできるようになる (応用力) ・会話の最中に困ったことがあっても解決できる (問題解決能力) ・恥ずかしがらずに話すことができる (積極性)
---------------------	---

授業スケジュール	授業の流れ：1課を一回または二回で終わらせる。 前期は1～7課、後期は8～12課を予定。
----------	---

■一課の具体的な流れ

- 1: ひとこと会話 (よく使うフレーズ練習)
- 2: その課で使う単語の発音練習 (絵カード・文字カードを使って)
- 3: 文型発音練習 (置き換え練習)
- 4: Q&A (ペア練習またはクラス全体で行うグループ練習)
- 5: ペアごとに発表。もしくはリレー式に発表。
- 6: 教科書の練習問題+中国語によるQ&A小テスト

■日程 (進度によって若干前後することがある)

前期

- 1: ガイダンスと単語練習。
- 2: 第一課
- 3: 第二課
- 4: 第二課
- 5: 第三課
- 6: 第三課
- 7: 第四課
- 8: 第五課
- 9: 第五課
- 10: 第六課
- 11: 第六課
- 12: 第七課
- 13: 第七課
- 14: 前期末まとめ
- 15: 解説復習など

後期

- 1: 復習と単語練習
- 2: 第八課
- 3: 第八課
- 4: 第九課
- 5: 第十課
- 6: 第十課
- 7: 第十課
- 8: 第十一課
- 9: 第十一課
- 10: 第十一課
- 11: 第十二課
- 12: 第十二課
- 13: 第十二課
- 14: 学年末まとめ
- 15: 解説復習など

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストは事前に予告するので、必ず自宅で準備すること。 ・必ず復習すること
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3 / 4 以上の出席が必要。 ■ 積極的に練習する。 ■ 辞書 (日中・中日) 持参。 ■ 添付のCDを何度も聞くこと。 ■ 適宜単語を補充する (教科書の単語がとても少ないため) ★特に学生諸君に求めること 1: ぱっと中国語で言ってみる (反応力) 2: シャイな気持ちを乗り越える (積極性) 3: 会話中に何か問題が起きて、とにかく何か言うまたは行動を起こす (問題解決能力の育成) 4: 問かけには必ず反応する (コミュニケーションの基本です)
---------	---

成績評価の方法	前期・後期試験70パーセント 平常点 (出席・小テストなど) 30パーセント
---------	---

教科書/テキスト	山下輝彦『你好!中国語』金星堂 2200円+税
----------	-------------------------

参考書	日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。
-----	---

その他	<ul style="list-style-type: none"> ■なぜ中国語が話せるようにならないのでしょうか? ①1課あたりの学習項目 (単語・文法) が多く、未消化のまま次の課に進んでいたから。 ②いつも先ず日本語で考えてから中国語に直していたから。
-----	---

- ③いつも先生（またはCD）の後について発音していたから。
- ④いつも教科書の文字を見ながら発音していたから。
- ⑤オリジナルの中国語を考える練習が少なかったから。
- ★この授業ではこれらの問題を克服しながら進めていきます。
- ★外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
履修コード	353111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	王 聡

授業概要/ 到達目標（ねらい）	1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。
--------------------	--

授業スケジュール	<p>〈前期〉</p> <p>第1回 ガイダンス・復習</p> <p>第2～3回 初対面の会話、兼語文、練習問題。</p> <p>第4～5回 いろいろな挨拶方法、仮定複文、練習問題</p> <p>第6～7回 中国茶の話、「～思う」の表現、練習問題</p> <p>第8～9回 中国の付き合い方法、「給」「～就～」、練習問題</p> <p>第10 総合練習、復習、理解度の確認</p> <p>第11～12回 十二支の話、「應該」や反語表現、練習問題</p> <p>第13～14回 外国語学習についての話、比較文、受身文、練習問題</p> <p>第15回 理解度の確認</p> <p>〈後期〉</p> <p>第1回 復習</p> <p>第2～3回 外来語の話、「可能」「除了」、練習問題</p> <p>第4～5回 中国の方言の話、類似表現、結果補語、可能補語、練習問題</p> <p>第6回 総合練習、理解度の確認</p> <p>第7～8回 漫画の話、助動詞、練習問題</p> <p>第9～10回 興味の話、いくつかの複文、練習問題</p> <p>第11～12回 色の話、「把」構文、動詞の重ね型、練習問題</p> <p>第13～14回 お土産の話、「聽說」、いくつかの疑問文、練習問題</p> <p>第15回 理解度の確認</p>
----------	---

準備学習	1年次の学習内容を復習すること。
履修上の留意点	辞書を用意し、予習・復習や宿題をちゃんとすること。
成績評価の方法	前期テスト35%、後期テスト35%、平常点（出席状況・授業態度・理解度）30%。
教科書／テキスト	相原茂他『ドリル式中国語テキストⅡ』、くろしお出版、1,800＋税

参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	278531
科目名	中国語ⅡB
担当者名	大久保 明男

授業概要/ 到達目標（ねらい）	一年次に習った内容を復習しつつ、発音と基礎文法の定着をはかりながら、中級レベルの語彙や文法を習得し、発音練習や作文に重点を置く。あわせて、中国語の学習を通じて、中国の歴史や文化、現代中国社会、中国の人々の生活や考え方などにも触れ、中国に対する理解を深めていくことを目指す。
--------------------	--

授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書に沿って進めていく。全14課をほぼ二回に一課のペースで学習することになる。 ・第1回：オリエンテーション、発音の復習や練習 ・第2回～14回：取り上げる予定のトピックスは、北京旅行、お茶の話、友達を紹介する、万里の長城に登る、中国の漢字など ・第15回：理解度の確認 ・第16回～29回：取り上げる予定のトピックスは、街を歩く、映画を見る、買い物、レストランで注文をとる、読書について、中国の春節など ・第30回：理解度の確認 ・理解を助けるために、授業内容に即した視聴覚教材を随時使う予定。
----------	--

準備学習	授業前後の予習や復習は欠かせない。
履修上の留意点	「なぜ中国語を学ぶのか」を常に意識し、自分の将来（就職、仕事上、あるいは教養としてなど）にとって、中国語はどのように役に立つのかを予想し、その上で積極的に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	平常点（授業参加の積極性など）と試験成績で総合勘案して評価する。割合はだいたい6対4。
教科書／テキスト	尹晨春ほか著、『中国語 つぎへの一歩』、白水社、2200円（税別）、ISBN978-4-560-06924-0
参考書	

履修コード	278111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	弘兼 加奈子

授業概要/ 到達目標（ねらい）	IA、IBで学んだことを復習しつつ、講読、文法、作文、音声練習等、さらに深く学んでいきます。
--------------------	--

授業スケジュール	1～2. 自己紹介 一年次の復習 3～4. 第1課 名前を言う 5～6. 第1課の続き 7～8. 第2課 家族について 9～10. 第2課の続き 11～12. 復習 13～14. 中間の総まとめ 第3課 趣味 15～16. テストの答え合わせ 第3課の続き 17～18. 第4課 一日の生活 19～20. 第4課の続き 21～22. 第5課 一週間の生活 23～24. 第5課の続き 25～26. 第6課 天気の話 27～28. 復習 29～30. 期末の総まとめと理解度の確認
----------	---

準備学習	教科書の本文が空欄になっている個所があるので、予習の際にはDVDを聴いて空欄を埋めておいてください。
------	--

履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提である。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を超えた場合は取得が不可能となる。サークル、部活動で休む場合も同様に、7回を超えれば単位取得は不可能となる。
---------	---

成績評価の方法	中間試験、期末試験とも、年間各2回ずつ行う。 中間試験の成績 40% 期末試験の成績 40% 平常点 20%
---------	---

教科書／テキスト	相原 茂 『中国語スピーキング倶楽部』 朝日出版社 ISBN978-255-45065-0 C1087
----------	---

参考書	
-----	--

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。 【関連リンク】 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	278511
科目名	中国語II B
担当者名	本間 由香利
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	比較的簡単なテキストを用い、基本文法を系統立てて整理し、復習します。 朗読目標：発音矯正と安定の為の訓練を行い、単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。 文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。 テキストには新語や中国事情の紹介等も有るので言語以外の知識も学べます。
授業スケジュール	前期 第1回 ピンインの復習。発音訓練と矯正 第2回 1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習など。 第3～15回 第1課～第7課まで。 授業内で適宜、理解度の確認を行います。 後期 第1回 前期の復習 第2～15回 第15課まで。 授業内で適宜、理解度の確認を行います。
準備学習	自宅での復習はCDを聞いて発音練習をメインに行ってください。 各課の練習問題を事前にやっておくこと。
履修上の留意点	必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	授業出席を前提とし、授業態度（60%）、小テスト（20%）、期末テスト（20%）により評価します。
教科書/テキスト	『入門リアルタッチ中国』遠藤光暁・監修 衛榕群ほか 朝日出版社 2,400円
参考書	授業内で指示する。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/

履修コード	278501
科目名	中国語II B
担当者名	李 雲
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。年間30回のうち、1-7回は中国語Iで習った文型と単語の復習に重点を置く。8-14回は助動詞の使いわけ、「不」と「没有」の違いなどを練習する。15回目は理解度の確認。16-29回は「介詞」の使いわけ、受身、使役などを練習する。30回目は理解度の確認。
準備学習	きちんと予習と復習をするはこの授業に参加するために是非とも必要です。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。4分の1以上の欠席がある場合、評価しない。
成績評価の方法	筆記試験（60%）、書き取り・会話のでき具合と出席率など平常点（40%）によって総合的に評価する。
教科書/テキスト	しゃべっていいとも中国語 中西君と一緒に中国へ行こう！陳淑梅 劉光赤 定価：2,415円（本体2,300円+税）
参考書	授業中で指示する。
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	278911 278912
科目名	中国語ⅡD 中国語ⅡB
担当者名	塩旗 伸一郎

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(1)一人の若者の成長物語を講読し、中級程度の中国語読解力を養う (2)ピンインを見ながら朗読する力をつける (3)中国現代社会への理解を深め、他者への共感力を高める
---------------------	---

授業スケジュール	第1,2週：第1課 阿强的出生 第3,4週：第2課 阿强的童年 第5,6週：第3課 阿强学艺 第7,8週：第4課 大上海 第9,10週：第5課 东莞 第11,12週：第6課 阿娥的出现 第13,14週：第7課 长途跋涉 第15週：前期復習 第16,17週：第8課 创业 第18,19週：第9課 办工厂 第20,21週：第10課 跳槽 第22,23週：第11課 阿强的新助手 第24,25週：第12課 阿强的烦恼 第26,27週：第13課 阿强的牵挂 第28,29週：第14課 阿娥心目中的阿强 第30週：第15課 憧憬未来
----------	--

準備学習	本文はほぼ段落ごとに指名し、本文の音読と翻訳を求める。 練習問題は宿題とする。 現代社会解説についてはeラーニング「YeStudy」上で課題を提出すること。
------	--

履修上の留意点	毎回の予習と出席が必要であり、結果は成績に反映する。
---------	----------------------------

成績評価の方法	前期試験35%、後期試験35%、YeStudy15%、平常点15%
---------	-----------------------------------

教科書／テキスト	相原茂・蘇明『阿强的故事——中国現代社会論』（好文出版 2000円＋税）
----------	--------------------------------------

参考書	中日辞典は必携。以下の「辞書案内」を参照のこと。 { http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho }
-----	---

その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	---

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho
-------	---

履修コード	278901 278902
科目名	中国語IID 中国語IIB
担当者名	曹 泰和
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国社会への関心に応える文章に慣れ親しみ、原文を読むための基礎作りをする。
授業スケジュール	<p>第1課：アジア発のテニス世界チャンピオン (1~3) 第2課：インフレが庶民を直撃 (4~5) 第3課：高速鉄道 (6~7) 第4課：中国式教育 (8~9) 第5課：中国で活躍する日本人 (10~11) 第6課：中国式「百元ショップ」開業秘話 (12~13)</p> <p>前期の総合復習・理解度の確認 (14~15)</p> <p>第7課：中国小都会探訪 (1~2) 第8課：都会の大渋滞 (3~4) 第9課：京劇の現在と未来 (5~6) 第10課：教育重視？商業重視？ (7~8) 第11課：中国式離婚 (9~10) 第12課：環境トピックあれこれ (11~12) 第13課：台湾・大陸交流こぼれ話 (13~14)</p> <p>後期の総合復習・理解度の確認 (15)</p>
準備学習	授業の前に必ず知らない単語を調べ、予習しておくこと。 日訳については毎回、担当者を決め日訳をしてもらうので担当に当たった人は必ず準備すること。
履修上の留意点	遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。
成績評価の方法	授業内テスト (50%) + 出席・課題および授業態度の平常点 (50%) による総合評価
教科書/テキスト	三浦正道・陳祖蓓『2012年版時事中国語の教科書』2012年刊 (朝日出版社) 1,900円 ISBN978-4-255-45209-8 C1087
参考書	中日辞典が必要です。
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	278801 278802
科目名	中国語IID 中国語IIB
担当者名	宮本 厚子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語に関する、さまざまなテーマの文を読む。 辞書を引けば、自分で中国語の文章を読むよう、読むための基礎を身につけることが、目標であるが、文を読むことによって、お隣の国中国に対する理解も深めて欲しい。
---------------------	---

授業スケジュール	前期 1 ガイダンス 2 6課 3 6課 4 6課 5 6課 6 1課 7 1課 8 1課 9 1課 10 復習 11 13課 12 13課 13 13課 14 13課 15 総復習 後期 1 20課 2 20課 3 20課 4 20課 5 復習 6 23課 7 23課 8 23課 9 23課 10 30課 11 30課 12 30課 13 30課 14 復習 15 総復習
----------	---

準備学習	教科書の順に沿って読むわけではないので、スケジュールを見て順番を確認すること。 辞書を引いて本文を日本語に訳し、ノートに書いてくるという予習は必ずしてから、授業に臨むこと。
------	---

履修上の留意点	授業の時に必ず辞書を携帯すること。
---------	-------------------

成績評価の方法	前後期の中間・期末テストの平均(70%)と平常点(30%)で評価する。
---------	-------------------------------------

教科書/テキスト	松村恵子・董紅俊『中国語の窓—真実の隣国を知ろう』、白帝社、2600円+税、ISBN978-4-86398-8 C3087
----------	---

参考書	辞書・参考書については、開講時に紹介する。
-----	-----------------------

その他	時間の関係で、教科書すべての課を学ぶことができないが、各課最初にある「基礎知識」に目を通して、中国への理解を深めて欲しい。 外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/
-------	---

履修コード	279101
科目名	中国語III A
担当者名	岩崎 皇

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語という言語を体験してもらうことが目的です。まずは、音声をよく聞くこと、まねをして発音すること、この2点が重要です。
---------------------	--

授業スケジュール	「中国語会話301句」のビデオ教材を使って、毎回1課ずつ進めて行き、年間30回の授業を行います。
----------	--

準備学習	予習はできませんので、復習に力を入れてください。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が難しくなります。
成績評価の方法	履修者はごく少数であると思われるので、毎回の授業の様子から判断します。
教科書／テキスト	ビデオ教材を使用するので、教科書は購入不要。
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	小川 隆

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級の語彙と語法を使って、中国語による簡単なコミュニケーションができるようになることを目指す。難しいことを新しく学ぶのではなく、初級の段階で学修した事項を使いこなし、習慣や制度の違いにも配慮しながら、活きた異文化コミュニケーションができるようになることが目標である。かつて中国語IA・IBを履修した、でも、その内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。
---------------------	---

授業スケジュール	大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。 (1)～(3) 発音とピンインの総復習。 (4)～(15) 下記教科書の前半を1回約2課のペースで進める。 (16)～(18) 前期学習内容の復習。 (19)～(27) 下記教科書の後半を1回約1課のペースで進める。 (28)～(30) 後期学習内容の復習。
----------	--

準備学習	次にやる課の映像を前もって教科書付録のDVDで見ておくこと。授業終了後は毎回の学習内容をすべてピンインで書けるようにすることを要求する。また授業と平行してテレビ・ラジオの中国講座を視聴してほしい。
------	--

履修上の留意点	
成績評価の方法	成績は平常点評価。授業中に見られる中国語コミュニケーションの習熟度と不定期に行う授業時間内の小テストの点数を総合して評価する。出席回数が授業回数の4分の3以上に達していない者は評価の対象にしない。出席不足の者、授業への積極的な取り組みの見られない者は、学期途中でも受講を止めてもらう。

教科書／テキスト	董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版（朝日出版社）¥2500＋税 ISBN978-4-255-45167-1
----------	--

参考書	
-----	--

関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
-------	---

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	陳 洲 拳
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話表現を口でスムーズに応答できるように習得する。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。
授業スケジュール	比較的やさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話をを行う。授業回数は年間30回。
準備学習	教科書のCDをよく聞き、繰り返し音読すること。
履修上の留意点	
成績評価の方法	中間テストと期末テストの成績で評価する。
教科書/テキスト	陳洲拳他『中国語耳留学』CD2枚つき 隆美出版 2600円+税
参考書	
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	287101
科目名	中国語スキルアップ
担当者名	張 涓涛

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この講義とは『中国語検定試験』受験対策における専門講義です。 中国語で話したり書いたりして意思疎通を円滑に進めるコミュニケーション能力を養うと同時に、個人のレベルにふさわしい『中国語検定試験』受験対策を徹底的に行い、前期6月末は中国語検定試験準4級と4級、そして後期11月末は3級、ひいては来年2級の合格を目指します。中検だけでなく、HSKを受験する学生はもちろん、短期・長期の留学に興味がある学生や、中国語の実用レベルをアップしたい学生も、大歓迎します。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：自己紹介と実力テスト、中国語検定試験と対策概説</p> <p>第2回：中国語検定試験準4級過去問1 兼声調母音復習</p> <p>第3回：中国語検定試験準4級過去問2 兼子音復習</p> <p>第4回：中国語検定試験準4級過去問3 兼鼻音と発音ルール復習</p> <p>第5回：中国語検定試験準4級過去問4 兼品詞と語順復習 中検試験申込受付</p> <p>第6回：中国語検定試験4級過去問1 兼述語（主述文）と目的語（二重）復習</p> <p>第7回：中国語検定試験4級過去問2 兼肯否疑（反復疑と付加疑）文型復習</p> <p>第8回：中国語検定試験4級過去問3 兼量詞復習 前期中間テスト</p> <p>第9回：中国語検定試験4級過去問4 兼「了」（了1と了2）復習 中間テスト解説</p> <p>第10回：中国語検定試験4級過去問5 兼「着」（進行と持続）「過」復習</p> <p>第11回：中国語検定試験4級過去問6 兼前置詞復習</p> <p>第12回：中国語検定試験4級過去問7 兼助動詞復習</p> <p>第13回：中国語検定試験4級過去問8 兼比較文復習（日曜日中検準4と4級受験）</p> <p>第14回：中国語検定試験4級過去問9 中検受験問題解説 兼補語概説と結果補語復習</p> <p>第15回：中国語検定試験4級過去問10 兼可能補語と程度補語復習 前期末試験</p> <p>第16回：中国語検定試験3級過去問1 兼様態補語復習 中検試験申込受付</p> <p>第17回：中国語検定試験3級過去問2 兼方向動詞と方向補語復習</p> <p>第18回：中国語検定試験3級過去問3 兼数量補語と副詞疑問代名詞復習</p> <p>第19回：中国語検定試験3級過去問4 兼存現文と強調文（過去と未来）復習</p> <p>第20回：中国語検定試験3級過去問5 兼処置文復習</p> <p>第21回：中国語検定試験3級過去問6 兼使役文復習</p> <p>第22回：中国語検定試験3級過去問7 兼受身文復習</p> <p>第23回：中国語検定試験3級過去問8 兼六大複文復習（日曜日中検3級受験）</p> <p>第24回：中国語検定試験3級過去問9 中検3級受験問題解説 後期中間テスト</p> <p>第25回：中国語検定試験3級過去問10 中検3級受験問題解説 後期中間テスト解説</p> <p>第26回：中国語検定試験3級過去問11 中検3級受験問題解説</p> <p>第27回：中国語検定試験2級過去問1 兼同義詞と類義詞復習</p> <p>第28回：中国語検定試験2級過去問2 兼複文段落復習</p> <p>第29回：中国語検定試験2級過去問3 兼段落読解復習</p> <p>第30回：中国語検定試験2級過去問4 兼複文翻訳復習 後期末試験</p>
----------	---

準備学習	中検問題集の問題を必ず予め自分で解答しておくことが必要です。
履修上の留意点	中国語を最低一年間履修していることが必要です。 4分の3以上の出席、中国語検定試験を受験する意欲と中国人とコミュニケーションする欲求、失敗を懼れない果敢さ、旺盛な好奇心を求めます。遅刻厳禁。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とし、中検過去問宿題（4割）、中間テスト（4割）、中検受験（2割）によって総合的に評価します。
教科書／テキスト	前期中検準4級と4級問題集、後期中検3級問題集。 『中検準4級問題集』2012年版 中検研究会編 光生館出版 CD付き（前期） 『中検4級問題集』2012年版 中検研究会編 光生館出版 CD付き（前期） 『中検3級問題集』2012年版 中検研究会編 光生館出版 CD付き（後期）
参考書	辞書や役立つ検定対策教材・読み物・サイトなどは、教場で紹介します。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho （辞書案内）
その他	外国語第二部門のホームページには「学習に役立つ情報」が載っています。下のリンクをクリックしてください。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho

履修コード	290101
科目名	朝鮮語ⅠA（選）
担当者名	宋 美玲

授業概要/ 到達目標（ねらい）	「韓国語入門クラス」の授業である。このⅠA（選）の授業内容は、同じ「韓国語入門クラス」ⅠB（選）（木曜開講）と異なるが連携している。ⅠA（選）のみの履修も可能で、ⅠA（選）だけでも基本となる「文字と発音」及び初級文法の基礎を学べる。ⅠB（選）とあわせて受講すれば、さらに高い学習効果が期待できる。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。
--------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回：オリエンテーション及びハングルについて</p> <p>第2～6回：第1課～第5課（韓国語の文字と発音）</p> <p>第7回：テスト及び単語の読みの練習</p> <p>第8～9回：第6課～第7課</p> <p>第10～11回：第8課～第9課</p> <p>第12～13回：第10課～第11課</p> <p>第14回：テスト及び韓国文化の理解</p> <p>第15回：前期のまとめ</p> <p>第16回：前期の復習及び後期の概要</p> <p>第17～18回：第12課～第13課</p> <p>第19回：テスト及び応用練習</p> <p>第20～21回：第14課～第15課</p> <p>第22回：テストと応用練習</p> <p>第23～25回：第16課～第17課</p> <p>第26～27回：第18課～第19課</p> <p>第28回：テスト及び韓国文化の理解</p> <p>第29回：第20課</p> <p>第30回：後期のまとめ</p>
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ2週間隔で本文の暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習をすること。 ・次週の授業範囲及び課題は授業内とYeStudyで連絡するので、欠席等の場合は必ず確認し、予習をしてください。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻は15分まで認め、遅刻3回は欠席1回と見なす。 ・欠席日数が前後期のそれぞれ5回以上の場合は単位取得が不可となる。 ・就職活動の場合は、欠席日数が通年で証明書付きの10回に限る。 ・最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、とりわけ4月と5月の授業には熱心に取り組んでほしい。
---------	--

成績評価の方法	テストの成績(60%)、出席(20%)・課題及び平常点(20%)により、総合的に評価する。
---------	---

教科書／テキスト	宋美玲・印省熙・白寅英著『韓国語初級テキスト』授業内配布(実費)
----------	----------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	290111
科目名	朝鮮語ⅠA (選)
担当者名	宋 美玲

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	「韓国語入門クラス」の授業である。このⅠA (選) の授業内容は、同じ「韓国語入門クラス」ⅠB (選) (木曜開講) と異なるが連携している。ⅠA (選) のみの履修も可能で、ⅠA (選) だけでも基本となる「文字と発音」及び初級文法の基礎を学べる。ⅠB (選) とあわせて受講すれば、さらに高い学習効果が期待できる。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回：オリエンテーション及びハングルについて</p> <p>第2～6回：第1課～第5課(韓国語の文字と発音)</p> <p>第7回：テスト及び単語の読みの練習</p> <p>第8～9回：第6課～第7課</p> <p>第10～11回：第8課～第9課</p> <p>第12～13回：第10課～第11課</p> <p>第14回：テスト及び韓国文化の理解</p> <p>第15回：前期のまとめ</p> <p>第16回：前期の復習及び後期の概要</p> <p>第17～18回：第12課～第13課</p> <p>第19回：テスト及び応用練習</p> <p>第20～21回：第14課～第15課</p> <p>第22回：テストと応用練習</p> <p>第23～25回：第16課～第17課</p> <p>第26～27回：第18課～第19課</p> <p>第28回：テスト及び韓国文化の理解</p> <p>第29回：第20課</p> <p>第30回：後期のまとめ</p>
----------	---

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ2週間隔で本文の暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習をすること。 ・次週の授業範囲及び課題は授業内とYeStudyで連絡するので、欠席等の場合は必ず確認し、予習をしてこること。
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻は15分まで認め、遅刻3回は欠席1回と見なす。 ・欠席日数が前後期のそれぞれ5回以上の場合は単位取得が不可となる。 ・就職活動の場合は、欠席日数が通年で証明書つきの10回に限る。 ・最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、とりわけ4月と5月の授業には熱心に取り組んでほしい。
---------	--

成績評価の方法	テストの成績(60%)、出席(20%)・課題及び平常点(20%)により、総合的に評価する。
---------	---

教科書/テキスト	宋美玲・印省熙・白寅英著『韓国語初級テキスト』授業内配布(実費)
----------	----------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	290701
科目名	朝鮮語ⅠB（選）
担当者名	白 寅英

授業概要/ 到達目標（ねらい）	「韓国語入門クラス」の授業である。このⅠB（選）の授業内容は、同じ「韓国語入門クラス」ⅠA（選）（火曜開講）と異なるが連携している。ⅠB（選）のみの履修も可能で、ⅠB（選）だけでも基本となる「文字と発音」及び初級文法の基礎を学べる。ⅠA（選）とあわせて受講すれば、さらに高い学習効果が期待できる。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。
--------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回：オリエンテーション及びハングルについて</p> <p>第2～6回：韓国語の文字と発音</p> <p>第7回：テスト及び単語の読みの練習</p> <p>第8～9回：第6課～第7課</p> <p>第10～11回：第8課～第9課</p> <p>第12～13回：第10課～第11課</p> <p>第14回：テスト及び韓国文化の理解</p> <p>第15回：前期のまとめ</p> <p>第16回：前期の復習及び後期の概要</p> <p>第17～18回：第12課～第13課</p> <p>第19回：テスト及び応用練習</p> <p>第20～21回：第14課～第15課</p> <p>第22回：テストと応用練習</p> <p>第23～25回：第16課～第17課</p> <p>第26～27回：第18課～第19課</p> <p>第28回：テスト及び韓国文化の理解</p> <p>第29回：第20課</p> <p>第30回：後期のまとめ</p>
----------	--

準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ2週間隔で暗記などの小テストを実施するため、毎回授業の復習をすること。 ・次週の授業範囲及び課題は授業内とYeStudyで連絡するので、欠席等の場合は必ず確認し、予習をしてください。
------	--

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻は15分まで認め、遅刻3回は欠席1回と見なす。 ・欠席日数が前後期のそれぞれ5回以上の場合は単位取得は不可となる。 ・就職活動の場合は証明書つきの通年で10回に限る。 ・最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、とりわけ4月と5月の授業には熱心に取り組んでほしい。
---------	--

成績評価の方法	テストの成績(60%)、出席(20%)・課題及び平常点(20%)により、総合的に評価する。
---------	---

教科書／テキスト	宋美玲・印省熙・白寅英著『韓国語初級テキスト』授業内配布(実費)
----------	----------------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	290711
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	白 寅英
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	「韓国語入門クラス」の授業である。このIB (選) の授業内容は、同じ「韓国語入門クラス」IA (選) (火曜開講) と異なるが連携している。IB (選) のみの履修も可能で、IB (選) だけでも基本となる「文字と発音」及び初級文法の基礎を学べる。IA (選) とあわせて受講すれば、さらに高い学習効果が期待できる。なお、多様な資料をもって韓国の文化との触れ合いを試みる。
授業スケジュール	第1回：オリエンテーション及びハングルについて 第2～6回：韓国語の文字と発音 第7回：テスト及び単語の読みの練習 第8～9回：第6課～第7課 第10～11回：第8課～第9課 第12～13回：第10課～第11課 第14回：テスト及び韓国文化の理解 第15回：前期のまとめ 第16回：前期の復習及び後期の概要 第17～18回：第12課～第13課 第19回：テスト及び応用練習 第20～21回：第14課～第15課 第22回：テストと応用練習 第23～25回：第16課～第17課 第26～27回：第18課～第19課 第28回：テスト及び韓国文化の理解 第29回：第20課 第30回：後期のまとめ
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ2週間隔で暗記などの小テストを実施するため、毎回授業の復習をすること。 ・次週の授業範囲及び課題は授業内とYeStudyで連絡するので、欠席等の場合は必ず確認し、予習をしてください。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻は15分まで認め、遅刻3回は欠席1回と見なす。 ・欠席日数が前後期のそれぞれ5回以上の場合は単位取得は不可となる。 ・就職活動の場合は証明書つきの通年で10回に限る。 ・最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、とりわけ4月と5月の授業には熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	テストの成績(60%)、出席(20%)・課題及び平常点(20%)により、総合的に評価する。
教科書/テキスト	宋美玲・印省熙・白寅英著『韓国語初級テキスト』授業内配布(実費)
参考書	

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	基本的な文法内容をふまえ、日常生活の会話が話せるよう表現能力を養成するとともに、新聞などの書き言葉の学習を通して、読解力をも強化していく。なお、多様な資料をもって韓国文化への理解を深める。
授業スケジュール	第1回～第3回:初級の学習内容の復習(第4課～7課)。 第4回～第5回:第8課～9課 第6回:テスト及び韓国文化の理解 第7回～第8回:第10課～11課 第9回:テスト及び応用練習 第10回～第12回:第12課～14課 第13回:テスト及びドラマ鑑賞 第14回:リスニング及び読解練習 第15回:前期のまとめ 第16回:前期の復習及び後期の概要 第17回～第18回:第15課～16課 第19回:テスト及び韓国文化の理解 第20回～第22回:第17課～18課及びテスト 第23回～第25回:第19課～20課及びテスト 第26回～第27回:リスニング及び読解練習 第28回:21課及び総合練習 第29回:テスト及びドラマ鑑賞 第30回:後期のまとめ
準備学習	・およそ2週間隔で本文の暗記や暗誦などの小テストを実施するため、毎回授業の復習をしておくこと。 ・次週の授業範囲及び課題は授業内とYeStudyで連絡するので、欠席等の場合は必ず確認し、予習をしてくること。
履修上の留意点	・この授業は、朝鮮語IAやIBを受講した人、または、韓国語の初歩的な文法事項を学習した人を対象とするため、初めての人は朝鮮語IAかIBのほうを受講すること。 ・遅刻は15分まで認め、遅刻3回は欠席1回と見なす。 ・欠席日数が前後期のそれぞれ5回以上の場合単位取得が不可となる。 ・就職活動の場合、欠席日数は通年で証明書つきの10回に限る。
成績評価の方法	テストの成績(60%)、出席(20%)、課題及び平常点(20%)により総合的に評価する。
教科書/テキスト	生越直樹・曹喜澈 著『ことばの架け橋』白帝社 2,400円 +税
参考書	

履修コード	266901
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	志真 斗美恵

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>はじめてドイツ語を学ぶ方のためのクラスです。A B Cの発音からはじめて接続法まで、ドイツ語の初級文法を学びます。また、ドイツの日常と文化に触れていきます。ドイツ語の初級文法を1年間でマスターし、辞書をつかってドイツ語の文章を理解できるようになることを目標とします。</p> <p>同時に、発音練習をくりかえしおこない、簡単な会話ができるようになることを目指します。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>1回目 アルファベット・つづりと発音 2回目 発音の復習・挨拶・1課 動詞 3回目 Lektion 1 4回目 2課 名詞 Lektion 2 5回目 Übungen 1 Kreuzworträtsel 1 6回目 3課 冠詞類 Lektion 3 7回目 4課 命令形 Lektion 4 8回目 Übungen 2 ミニ会話 1 9回目 5課 人称代名詞 前置詞 Lektion 5 10回目 6課 形容詞 Lektion 6 11回目 Übungen 3 ミニ会話 2 12回目 7課 語法の助動詞・未来形 13回目 Lektion 7 14回目 前期のまとめ 15回目 前期理解度の確認 16回目 答案返却と前期内容復習・8課 分離動詞 17回目 Lektion 8 18回目 Übungen 4 Kreuzworträtsel 2 19回目 9課 3基本形 20回目 Lektion 9 21回目 10課 完了形 Lektion 10 22回目 Übungen 5 ミニ会話 3 23回目 11課 関係代名詞 Lektion 11 24回目 12課 受動 Lektion 12 25回目 Übungen 6 ミニ会話 4 26回目 13課 比較 Lektion 13 27回目 14課 接続法 28回目 Lektion 14 29回目 Übungen 7 Kreuzworträtsel 3 30回目 後期のまとめ・後期試験について</p>
----------	--

準備学習	語学をマスターするには復習が大切です。前回学習した内容の練習問題を通して、それまで学習したことを確認しておきましょう。
履修上の留意点	かならず出席して、積極的に授業に参加し、毎回の内容を自分のものにしてください。語学は積み重ねが大切です。理解を確実にするための小テストを随時行ないます。
成績評価の方法	小テストおよび平常点(出席)・前期確認テスト・後期試験の成績を、1:1:1の割合とし、総合的に評価します。
教科書/テキスト	<p>1) 高橋泰雄・城間宏朋著 2) 『ハンサムドイツ』 3) 朝日出版社 4) 2400円+税 5) ISBN978-4-255-25357-2 C1084</p>
参考書	特になし

履修コード	351401
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	清水 修

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら、理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。また、ドイツについての基礎的な地理学的知識を身に付けたり、相互の文化の比較対照にも留意する。</p> <p>(到達目的) ドイツ語で基本的なコミュニケーションができるように、ドイツ語の文法と基礎的な語彙を身に付ける。ドイツ語Ⅱでまとまったテキストを読むための基礎的な知識を習得する。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語とはどんな言葉か。ドイツ語の語彙と発音 2. ドイツ語の語彙と発音。 3. ドイツ語の文の構造 (現在人称変化) ① (第1課) 4. ドイツ語の文の構造 (現在人称変化) ② (第1課) 5. 名詞の性と数と格① (第2課と第4課) 6. 名詞の性と数と格② (第2課と第4課) 7. 名詞の性と数と格③ (第2課と第4課) 8. 不規則な変化をする動詞① (第3課) 9. 不規則な変化をする動詞②、命令法 (第3課) 10. 前置詞① (第5課) 11. 前置詞② (第5課) 12. 名詞の複数形 (第6課) 13. 分離動詞 (第7課) 14. 前期の復習 15. 理解度の確認 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 前期の復習 17. 語法の助動詞① (第8課) 18. 語法の助動詞② (第8課) 19. ドイツ語の時制① (第9課と13課) 20. ドイツ語の時制② (第9課と13課) 21. ドイツ語の時制③ (第9課と13課) 22. ドイツ語の形容詞について① (第10課) 23. ドイツ語の形容詞について② (第10課) 24. 文と文の結びつき方 (接続詞) ① (第12課) 25. 文と文の結びつき方 (接続詞) ② (第12課) 26. 指示代名詞と関係代名詞 (第14課と第21課) 27. 受動 (第15課) 28. 接続法 (第19課と20課) 29. 後期の復習 30. 理解度の確認
準備学習	<p>予習は特に必要ではないが、必ず復習をするように心がけること。 暗記するように指示すること(多くない)は、必ず暗記すること。 指示された必須単語(約100語)は必ず覚えること。</p>
履修上の留意点	<p>教師も受講者の関心と意欲が反映される授業を心がけます。受講者も積極的に授業に参加することを期待しています。</p>
成績評価の方法	<p>平常点を60%、期末ごとに実施する試験(持ち込不可)の成績を40%とします。</p>
教科書/テキスト	<p>早川東三著『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社)</p>
参考書	<p>ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)</p>

履修コード	266701
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	杉本 正俊
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>新たにドイツ語を学ぶ学生に、ドイツ語の基礎を教える。ドイツ語ⅠAでは、文法的観点から、ドイツ語を学ぶが、発音、文字表記など、最も初歩的段階の知識から、丁寧に学んでもらう。</p> <p>この授業は、ひとりひとりの学生が、将来更に深くドイツ語を学ぶための基礎を身につけることを目標としているが、またひとつの外国語を学ぶことを通じて、人間の多様なありかたの一面を知っていただけたらと思う。</p> <p>文法の規則を覚えることで手一杯の授業になりがちの「文法」担当授業だが、単語集などのプリントを配布して語彙の習得にも配慮し、また様々な音源のネイティブ・スピーカーのドイツ語</p>
授業スケジュール	<p>初回の発音と文字表記(アルファベット)はプリントを使用する。3回目の授業あたりから簡単な文の構造を説明しながら、所定の教科書(「教科書/テキスト」欄参照)にしたがって進み、夏休み前までに、単純な文の現在形の表現の主な規則および助動詞を使った表現を学ぶ。夏休み以降、動詞の「3基本形」とともに、過去形、現在完了、複雑な文の構造などを学ぶ。「30動詞の3基本形」のプリントを配布、秋のいずれかの時点で、動詞「3基本形」テストを行う。</p> <p>ここまでの基礎をしっかりと固めたうえで、順次、受動態、関係代名詞、接続法を学ぶ。授業は年間30回行なう。</p>
準備学習	前回学んだことをしっかりと自分のものにして次の授業に臨む。
履修上の留意点	配布するプリントをなくさないように、しっかりと管理してください。初回授業時に作成する「出席簿」をもとに毎回出席を取ります。3回以上連続して休まねばならない理由がある時には、それを教員に伝えてください。また遅刻者は授業終了時に申し出ること。
成績評価の方法	成績配点の目安は、基礎出席点(必ずしも全出席でなくてもよいが、必ず授業についてゆくことが必要。出席できる時は出席すること)20%、「3基本形テスト」などの小さいテストを含めた平常点25%、学年末定期試験55%とする。成績評価の全体の前提として、平常点の存在は重要である。
教科書/テキスト	教科書: 識名章喜(しきな あきよし)著『ダンケ・シェーン, ドレスデン』白水社 ¥2200
参考書	配布プリント

履修コード	266301
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	武田 利勝
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。
授業スケジュール	(1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (21～23) 接続詞、受動文、zu不定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ
準備学習	毎時間の学習事項について、しっかりと復習しておくこと。
履修上の留意点	外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶対やさないこと。もちろん、出席し続けること! とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的な参加が望まれます。具体的には、ノートをしっかりと取る、そして考える、学んだことをすぐに実践する—これが、真剣な学びの場を楽しむために皆さんがするべきことです。
成績評価の方法	各学習事項について的小テストのスコアを平常点とし、前期・後期にそれぞれ行う期末試験のスコアと合わせて評価します。配分は平常点5割・期末試験5割とします。「平常点」はあくまでも小テストの点数です。「出席点」ではありません。
教科書/テキスト	『Kreuzung Neo (クロイツング・ネオ)』朝日出版社 ISBN978-4-255-25345-9 定価2500円 その他、ほぼ毎回補助教材を配布します。紛失しないよう、ファイルしておくこと。
参考書	独和辞典は必ず購入して下さい。初回授業時に案内します。
その他	各回の学習事項をしっかりと復習し、知識を構築・発展させて行くのが小テストの意義です。小テストは授業開始時に行います。遅刻者・欠席者の受験は認めません。どうしても出席できない場合は、あらかじめ届けること。

履修コード	266501
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	武田 利勝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。
---------------------	--

授業スケジュール	(1)オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3)発音の練習 (4～6)動詞の変化、その1 (7～10)名詞の格変化のいろいろ (11～15)数詞、疑問詞、前置詞など (16～20)動詞の変化、その2 (21～23)接続詞、受動文、zu不定詞など (24～26)形容詞、序数 (27～28)関係代名詞と関係文 (29～30)非現実話法、まとめ
----------	--

準備学習	毎時間の学習事項についてしっかりと復習しておくこと。
------	----------------------------

履修上の留意点	外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的な参加が望まれます。具体的には、ノートをしっかり取る、そして考える、学んだことをすぐに実践する——これが、真剣な学びの場を楽しむために皆さんがするべきことです。
---------	---

成績評価の方法	各学習事項についての小テストのスコアを平常点とし、前期・後期にそれぞれ行う期末試験のスコアと合わせて評価します。配分は平常点5割・期末試験5割とします。「平常点」はあくまでも小テストの点数です。「出席点」ではありません。
---------	--

教科書/テキスト	教科書/テキスト 『Kreuzung Neo (クロイツング・ネオ)』朝日出版社 ISBN978-4-255-25345-9 定価2500円 その他、毎回補助教材を配布します。紛失しないよう、ファイルしておくこと。
----------	---

参考書	初回の授業で適切な独和辞典を紹介いたしますので、毎回それを持参してください。
-----	--

履修コード	266401
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	森 公成

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	はじめてドイツ語を学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を身につけます。発音を覚えることが最初の目標です。
---------------------	---

授業スケジュール	1:オリエンテーション 2:発音 3~13:教科書1課～7課 14:教科書1課～7課の復習 15:理解度の確認 16:前期の復習 17~28:教科書8課～14課 29:教科書8課～14課の復習 30:理解度の確認
----------	--

準備学習	毎週、次回までの課題を指示しますので、必ず行なってから授業にのぞんでください。
------	---

履修上の留意点	授業への積極的な参加を希望します。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。わからないことがあれば、どんどん質問してください。出席は重視します。半期3回以上欠席した場合は、原則として、単位の習得はできません。なお遅刻は30分以内のみ認め、遅刻は2回で欠席1回に換算します。やむをえない事情での欠席や遅刻は必ず申し出てください。
---------	---

成績評価の方法	定期試験の成績60%、授業時間内での小テスト20%、平常点20%とします。
---------	---------------------------------------

教科書/テキスト	森・渡辺著『クヴェレ・ドイツ文法』同学社 2200円 ISBN978-4-8102-0871-9
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	266201
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	吉中 俊貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ドイツ語をまったく学んだことのない学生に、ドイツ語の基礎を教えます。初級文法のマスターが、目標です。
---------------------	--

授業スケジュール	第1、2回、オリエンテーション 第3、4回、動詞の人称変化 第5、6回、性と格 第7、8回、冠詞類 第9、10回、不規則動詞 第11、12回、前置詞 第13、14回、複数形 第15、16回、形容詞 第17、18回、話法の助動詞 第19、20回、分離動詞 第21、22回、zu不定詞 第23、24回、三基本形 第25、26回、完了 第27、28回、受動形 第29、30回、比較表現
----------	---

準備学習	毎回の小テストにそなえて、復習に力を入れること。
------	--------------------------

履修上の留意点	教員も教材も、もう一つの授業（IB）と共通なので、注意すること。
---------	----------------------------------

成績評価の方法	小テストを含む平常点50パーセント、期末テスト50パーセント。
---------	---------------------------------

教科書／テキスト	在間進『新生ドイツ語文法V6』（朝日出版社）2,520円 ISBN：978-4-255-25355-8
----------	---

参考書	初回の授業で、適切な独和辞典を紹介します。
-----	-----------------------

履修コード	266601
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	吉中 俊貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ドイツ語をまったく学んだことのない学生に、ドイツ語の基礎を教えます。初級文法のマスターが、目標です。
---------------------	--

授業スケジュール	第1、2回、オリエンテーション 第3、4回、動詞の人称変化 第5、6回、性と格 第7、8回、冠詞類 第9、10回、不規則動詞 第11、12回、前置詞 第13、14回、複数形 第15、16回、形容詞 第17、18回、話法の助動詞 第19、20回、分離動詞 第21、22回、zu不定詞 第23、24回、三基本形 第25、26回、完了 第27、28回、受動形 第29、30回、比較表現
----------	---

準備学習	毎回の小テストにそなえて、復習に力を入れること。
------	--------------------------

履修上の留意点	教員も教材も、もう一つの授業（IB）と共通なので、注意すること。
---------	----------------------------------

成績評価の方法	小テストを含む平常点50パーセント、期末テスト50パーセント。
---------	---------------------------------

教科書／テキスト	在間進『新生ドイツ語文法V6』（朝日出版社）2,520円 ISBN：978-4-255-25355-8
----------	---

参考書	初回の授業で、適切な独和辞典を紹介します。
-----	-----------------------

履修コード	297401 297402 297403
科目名	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	岡本 時子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。
---------------------	---

授業スケジュール	前期
	第 1 回: オリエンテーション
	第 2 回: 発音
	第 3~4 回: 冠詞
	第 5~6 回: 動詞の現在人称変化 (規則動詞)
	第 7~9 回: 冠詞類
	第 10~11 回: 不規則動詞
	第 12~13 回: 前置詞、命令形
	第 14 回: 復習
	第 15 回: 理解度の確認

	後期
	第 16~17 回: 助動詞
	第 18 回: 復習
	第 19~20 回: 複合動詞
	第 21~22 回: 接続詞
	第 23 回: 動詞の三基本形
	第 24~26 回: 過去形・現在完了形
	第 27~29 回: 形容詞、関係代名詞
	第 30 回: 理解度の確認

準備学習	授業で予定している部分の教科書に目を通して、必要に応じて辞書を引いて単語をチェックしておくこと。
------	--

履修上の留意点	きちんと出席をして文法項目を復習することが重要です。
---------	----------------------------

成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
---------	--

教科書/テキスト	斎藤佑史・荒木詳二『おもしろドイツ! — 異文化への招待』(郁文堂) 2500円+税 ISBN978-4-261-01239-2
----------	--

参考書

履修コード	297411 297412 297413
科目名	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	岡本 時子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。
---------------------	---

授業スケジュール	前期
	第 1 回: オリエンテーション
	第 2 回: 発音
	第 3~4 回: 冠詞
	第 5~6 回: 動詞の現在人称変化 (規則動詞)
	第 7~9 回: 冠詞類
	第 10~11 回: 不規則動詞
	第 12~13 回: 前置詞、命令形
	第 14 回: 復習
	第 15 回: 理解度の確認

	後期
	第 16~17 回: 助動詞
	第 18 回: 復習
	第 19~20 回: 複合動詞
	第 21~22 回: 接続詞
	第 23 回: 動詞の三基本形
	第 24~26 回: 過去形・現在完了形
	第 27~29 回: 形容詞、関係代名詞
	第 30 回: 理解度の確認

準備学習	授業で予定している部分の教科書に目を通して、必要に応じて辞書を引いて単語をチェックしておくこと。
------	--

履修上の留意点	きちんと出席をして文法項目を復習することが重要です。
---------	----------------------------

成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
---------	--

教科書/テキスト	斎藤佑史・荒木詳二『おもしろドイツ! — 異文化への招待』(郁文堂) 2500円+税 ISBN978-4-261-01239-2
----------	--

参考書

履修コード	297201 297202 297203
科目名	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	松岡 晋
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	下記の教科書を用いて、初等ドイツ語文法のうちで最も大事な事項をもう一度やり直します。それによってドイツ語の基礎の基礎を自分のものにするを旨とします。同時に、単語もある程度は覚えていただきます。
授業スケジュール	(1)発音の基礎の学習 (2~4)Lektion 1 (動詞の現在人称変化) (5~7)Lektion 2(名詞の性、定冠詞・不定冠詞など) (8~10)Lektion 3(冠詞の1格と4格) (11~13)Lektion 4(冠詞の3格) (14)これまでの復習 (15~17)Lektion 5(所有冠詞について) (18~20)Lektion 6 (冠詞の2格) (21~23)Lektion 7(不規則に現在人称変化する動詞) (24~26)Lektion 8(前置詞[1]) (27~29)Lektion 9(前置詞[2]) (30)まとめ
準備学習	次回の学習事項を前もって必ずお知らせしますので、教科書の該当部分に目を通しておいてください。
履修上の留意点	再履修に至った最大の原因は、多くの場合、授業の欠席です。今年度は定期的に出席するように努めてください。
成績評価の方法	1年間に数回行う予定の筆記試験に、平常点(出席率、授業中の課題の実行具合など)を加味して成績評価を行います。筆記試験と平常点の比率は7対3と考えてください。
教科書/テキスト	金井英一ほか著『CD付き 300語で話すドイツ語』、三修社、¥2400、ISBN978-4-384-12272-5
参考書	特になし。

履修コード	355601 355602
科目名	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB [再クラス]
担当者名	南 はるつ
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。
授業スケジュール	<p>第 1 回：オリエンテーション</p> <p>第 2 回：発音</p> <p>第 3~4 回：冠詞</p> <p>第 5~6 回：動詞の現在人称変化 (規則動詞)</p> <p>第 7~9 回：冠詞類</p> <p>第 10~11 回：不規則動詞</p> <p>第 12~13 回：前置詞、命令形</p> <p>第 14~15 回：助動詞</p> <p>第 16~17 回：前期内容の復習・理解度の確認</p> <p>第 18 回：形容詞</p> <p>第 19~20 回：複合動詞</p> <p>第 21~22 回：接続詞</p> <p>第 23 回：動詞の三基本形</p> <p>第 24~26 回：過去形・現在完了形</p> <p>第 27~28 回：関係代名詞</p> <p>第 29 回：総復習</p> <p>第 30 回：理解度の確認</p>
準備学習	毎回宿題を忘れずにやってくるのが重要です。
履修上の留意点	
成績評価の方法	定期試験の成績(年2回)80%、平常点20%として評価します。
教科書/テキスト	高橋泰雄・城間宏朋著 『おしゃれなドイツ語』(朝日出版社)2520円 ISBN978-4-255-25316-9 C1084
参考書	

履修コード	297101 297102 297103
科目名	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	本橋 右京

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。</p> <p>(第1週) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (第2-3週) 発音の練習 (第4-6週) 動詞の変化<その1> (第7-10週) 名詞の格変化のいろいろ (第11-15週) 数詞、疑問詞、前置詞など (第16-20週) 動詞の変化<その2> (第21-23週) 接続詞、受動文など (第24-26週) 形容詞、序数 (第27-28週) 関係代名詞と関係文 (第29-30週) まとめ</p>
----------	---

準備学習	特になし。
------	-------

履修上の留意点	予習のみならず、復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
---------	--

成績評価の方法	前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
---------	---------------------------

教科書/テキスト	諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社) 2004年刊 2300円+税 ISBN978-4-8102-0839-7
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	289601 289602
科目名	ドイツ語ⅠA (選) ドイツ語ⅠA
担当者名	森 公成

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	はじめてドイツ語を学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を身につけます。発音を覚えることが最初の目標です。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>1:オリエンテーション 2:発音 3~13:教科書1課~7課 14:教科書1課~7課の復習 15:理解度の確認</p> <p>16:前期の復習 17~28:教科書8課~14課 29:教科書8課~14課の復習 30:理解度の確認</p>
----------	--

準備学習	毎週、次回までの課題を指示しますので、必ず行なってから授業にのぞんでください。
------	---

履修上の留意点	授業への積極的な参加を希望します。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。わからないことがあれば、どんどん質問してください。出席は重視します。半期3回以上欠席した場合は、原則として、単位の習得はできません。なお遅刻は30分以内のみ認め、遅刻は2回で欠席1回に換算します。やむをえない事情での欠席や遅刻は必ず申し出てください。
---------	---

成績評価の方法	定期試験の成績60%、授業時間内での小テスト20%、平常点20%とします。
---------	---------------------------------------

教科書/テキスト	森・渡辺著『クヴェレ・ドイツ文法』同学社 2200円 ISBN978-4-8102-0871-9
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	351601
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	篠原 敏昭
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初歩的なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言う、さらに手を使って書くことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。
授業スケジュール	下記の教科書を用い、DVD教材を使った授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方なども教科書をとおして学んでいきます。 前期 第1～2回 アルファベットと発音 第3～4回 人称代名詞と規則動詞の現在形、sein 第5～6回 名詞の性・格、定冠詞と不定冠詞 第7～8回 名詞の複数形、haben 第9～10回 不規則動詞、命令形、werden 第11～12回 前置詞、定冠詞との融合形 第13～14回 定冠詞類と不定冠詞類、否定のnichtと否定冠詞kein 第15回 理解度の確認 後期 第16～17回 前期授業の復習 第18～19回 分離動詞と非分離動詞、従属接続詞 第20～21回 語法の助動詞、未来形 第22～23回 動詞の三基本形、過去形 第24～25回 現在完了形、非人称のes 第26～27回 形容詞の格変化、比較変化 第28～29回 受動態、再帰動詞 第30回 理解度の確認
準備学習	授業開始前に教科書を必ず入手しておくこと
履修上の留意点	欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくる、辞書を必ずもってくる。
成績評価の方法	授業への取り組み(宿題の消化などを含む)20%、小テスト(前後期数回ずつ)20%、前期末試験30%、後期末試験30%の比重で成績を評価します。
教科書/テキスト	『ぼくらの未来 映像と会話で学ぶ初級ドイツ語』(朝日出版社)2,500円
参考書	辞書・参考書は授業の中で指示します。
その他	DVDやCDを活用した授業をおこなう予定です。

履修コード	267201
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	武田 利勝
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ドイツ語ⅠAで学習した文法事項を、練習問題や読解を通じて応用的に実践し、理解を深めます。前期はⅠAと協同して文法学習を進め、後期からはグループによるドイツ語長文の読解作業にシフトしていきます。
授業スケジュール	前期(1～2)オリエンテーション、発音練習 (3～4)動詞の現在人称変化Ⅰ (5～6)名詞の性と格変化 (7～8)さまざまな冠詞類 (9～10)動詞の現在人称変化Ⅱ、代名詞の格変化 (11～12)前置詞、語法の助動詞 (13～15)分離動詞、動詞3基本形、現在完了 後期(16)理解度の確認 (17～18)前期までの学習事項を用いた作文練習 (19～30)ⅠAでの学習事項と並行しつつ、ドイツ語長文読解
準備学習	毎時間の学習事項について、しっかりと復習しておくこと。
履修上の留意点	前期はほぼ毎回小テストを行います。出席はもちろん、必ず学習事項の復習を怠らないように。後期は、少人数でのグループ作業を中心に授業を進めますので、積極的な授業参加が不可欠となります。チームワーク力をみがくための、いい練習にもなるはずです。
成績評価の方法	前期各授業時の小テスト、また後期第1回目の中間テスト、後期期末テストの総合点での評価となります。比率はそれぞれ3分の1とします。小テストは授業開始時に行いますが、出席状況確認も兼ねています。くれぐれも遅刻はしないこと、また欠席の場合は予め届け出ること。
教科書/テキスト	前期に用いる教科書は、『クロイツング・ネオ』(朝日出版社)です。後期の読解授業の際には、こちらで配布プリントを準備します。
参考書	初回授業時にご案内します。

履修コード	267401
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	武田 利勝

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ドイツ語ⅠAで学習した文法事項を、練習問題や読解を通じて応用的に実践し、理解を深めます。前期はⅠAと協同して文法学習を進め、後期からはグループによるドイツ語長文の読解作業にシフトしていきます。
---------------------	--

授業スケジュール	前期(1~2)オリエンテーション、発音練習 (3~4)動詞の現在人称変化Ⅰ (5~6)名詞の性と格変化 (7~8)さまざまな冠詞類 (9~10)動詞の現在人称変化Ⅱ、代名詞の格変化 (11~12)前置詞、語法の助動詞 (13~15)分離動詞、動詞3基本形、現在完了 後期(16)理解度の確認 (17~18)前期までの学習事項を用いた作文練習 (19~30)ⅠAでの学習事項と並行しつつ、ドイツ語長文読解
----------	--

準備学習	毎時間の学習事項について、しっかりと復習しておくこと
------	----------------------------

履修上の留意点	前期はほぼ毎回小テストを行います。出席はもちろん、必ず学習事項の復習を怠らないように。後期は、少人数でのグループ作業を中心に授業を進めますので、積極的な授業参加が不可欠となります。チームワーク力をみがくための、いい練習にもなるはずですよ。
---------	---

成績評価の方法	前期各授業時の小テスト、また後期第1回目の中間テスト、後期期末テストの総合点での評価となります。比率はそれぞれ3分の1とします。小テストは授業開始時に行いますが、出席状況確認も兼ねています。くれぐれも遅刻はしないこと、また欠席の場合は予め届け出ること。
---------	--

教科書/テキスト	前期に用いる教科書は、『クロイツング・ネオ』（朝日出版社）です。後期の読解授業の際には、こちらで配布プリントを準備します。
----------	---

参考書	初回授業時にご案内します。
-----	---------------

履修コード	267801
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	堀内 美江

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	今やヨーロッパを政治的にも経済的にも牽引するドイツ。一方でグリム童話を生み出したり、親日派が多かったりと、親しみやすさも持つ国です。この授業では、そんなドイツを知り、そこで話されるドイツ語を、聴く、話す、読む、書くなどの練習を通して、 ①基礎的な文章の骨組を知り、それを使いこなすことができる ②ドイツ語の自然な会話に慣れ、多少なりとも理解できる ③正しい発音で、日常会話を話すことができる ④簡単な文章なら、辞書を用いて読み、書くことができる ⑤ドイツの学生たちの映像を見ながら、日本との違いを発見できる 以上の総合的能力を身につけていくことが目標となります。
---------------------	---

授業スケジュール	1~3回 オリエンテーション&発音とあいさつ 16~17回 持ち主を問う&冠詞のレベルアップ 4~5回 自己紹介&主語と動詞のきまり 18~19回 パーティに行こう&副文構造 6~7回 物の名前&冠詞について 20~21回 お金を払う&助動詞の学習 8~9回 学生生活&名詞の複数形 22~23回 旅の思い出&動詞の過去形 10~11回 ドイツの食べ物&動詞のレベルアップ 24~25回 車について&現在完了形 12~13回 おでかけ&前置詞の学習 26~27回 大学生になる&その他の文法 14~15回 今までのまとめと確認 28~29回 今までのまとめと確認
----------	---

準備学習	復習は思いのほかレベルアップに貢献する作業です。授業の前に5分でいいですから前回学んだことを思い出しましょう。予習するより、この5分の方が、学習効率は優れています。
------	--

履修上の留意点	語学は最初はとにかく触れる量を増やすことです。そのためには、できるだけ休まないこと。それが、参考書を読んだりするより手っ取り早い語学上達法なのです。
---------	--

成績評価の方法	各学期末試験：平常点（出席、授業参加度）：小課題（宿題など） = 50 : 30 : 20 の総合評価となります。
---------	---

教科書/テキスト	荻野蔵平他著『ぼくらの未来 映像と会話で学ぶ初級ドイツ語』（朝日出版社）
----------	--------------------------------------

参考書	辞書などは初回の授業でご案内します。
-----	--------------------

その他	この授業は大学進学を控えたドイツの学生たちが主人公となる、DVD映像を用いた授業になります。学生のドイツ語を聞き、ほぼ同世代のドイツの人たちがどう考え、どう生活しているかを楽しみながら経験していただきたいと思っています。
-----	--

履修コード	267301
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	松岡 晋
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法の説明も交えながら、基本的なドイツ語の文章の読解、構文の習得、語彙の蓄積をめざします。それによってドイツ語の文章になじみ、一年後には平易なドイツ語の文章なら独和辞書を用いて内容を理解できる程度になることを、共通の目標といたします。
授業スケジュール	(1~3)ドイツ語のアルファベットと発音の原則の学習 (4)Lektion 1(動詞の現在人称変化) (5)Lektion 2(名詞の性と冠詞/冠詞の格変化) (6~7)Lektion 3(人称代名詞/動詞の現在人称変化[続]) (8~9)Lektion 4(前置詞の格支配) (10)Lektion 5(名詞の複数形) (11~12)Lektion 6(冠詞類の格変化) (13~14)Lektion 7(形容詞の格変化) (15~16)Lektion 8(分離動詞・非分離動詞) (17~18)Lektion 9(再帰動詞) (19~20)Lektion 10(語法の助動詞) (21~22)Lektion 11(過去時制・現在完了時制) (23~24)Lektion 12(受動文) (25~26)Lektion 13(関係文) (27~29)Lektion 14(接続法) (30)パワーアップ1~3
準備学習	次回学習箇所についてその都度予告しますので、教科書の当該部分に目を通しておいください。
履修上の留意点	語学の学習は継続性が必要です。従って定期的に出席することを何よりも望みます。なお、初回の授業で紹介する中型の独和辞典を入手してください。
成績評価の方法	1年間に数回行う予定の記述試験に、平常点(出席率、授業中の課題の実行具合など)を加味して成績評価を行います。記述試験と平常点の比率は7対3と考えてください。
教科書/テキスト	在間進ほか著『ヴェーラとヴェルナー・新訂版——ドイツ、学生の日常生活——』、朝日出版社、¥2,400 ISBN978-4-255-25327-5
参考書	特になし。

履修コード	267601
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	松岡 晋
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	文法の説明も交えながら、基本的なドイツ語の文章の読解、構文の習得、語彙の蓄積をめざします。それによってドイツ語の文章になじみ、一年後には平易なドイツ語の文章なら独和辞書を用いて内容を理解できる程度になることを、共通の目標といたします。
授業スケジュール	(1~3)ドイツ語のアルファベットと発音の原則の学習 (4)Lektion 1(動詞の現在人称変化) (5)Lektion 2(名詞の性と冠詞/冠詞の格変化) (6~7)Lektion 3(人称代名詞/動詞の現在人称変化[続]) (8~9)Lektion 4(前置詞の格支配) (10)Lektion 5(名詞の複数形) (11~12)Lektion 6(冠詞類の格変化) (13~14)Lektion 7(形容詞の格変化) (15~16)Lektion 8(分離動詞・非分離動詞) (17~18)Lektion 9(再帰動詞) (19~20)Lektion 10(語法の助動詞) (21~22)Lektion 11(過去時制・現在完了時制) (23~24)Lektion 12(受動文) (25~26)Lektion 13(関係文) (27~29)Lektion 14(接続法) (30)パワーアップ1~3
準備学習	次回学習箇所についてその都度予告しますので、教科書の当該部分に目を通しておいください。
履修上の留意点	語学の学習は継続性が必要です。従って定期的に出席することを何よりも望みます。なお、初回の授業で紹介する中型の独和辞典を入手してください。
成績評価の方法	1年間に数回行う予定の記述試験に、平常点(出席率、授業中の課題の実行具合など)を加味して成績評価を行います。記述試験と平常点の比率は7対3と考えてください。
教科書/テキスト	在間進ほか著『ヴェーラとヴェルナー・新訂版——ドイツ、学生の日常生活——』、朝日出版社、¥2,400 ISBN978-4-255-25327-5
参考書	特になし。

履修コード	267101
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	吉中 俊貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ドイツ語をまったく学んだことのない学生に、ドイツ語の基礎を教えます。初級文法のマスターが、目標です。
授業スケジュール	第1、2回、オリエンテーション 第3、4回、動詞の人称変化 第5、6回、性と格 第7、8回、冠詞類 第9、10回、不規則動詞 第11、12回、前置詞 第13、14回、複数形 第15、16回、形容詞 第17、18回、語法の助動詞 第19、20回、分離動詞 第21、22回、zu不定詞 第23、24回、三基本形 第25、26回、完了 第27、28回、受動形 第29、30回、比較表現
準備学習	毎回の小テストにそなえて、復習に力を入れること。
履修上の留意点	教員も教材も、もう一つの授業（ⅠA）と共通なので、注意すること。
成績評価の方法	小テストを含む平常点50パーセント、期末テスト50パーセント。
教科書／テキスト	在間進『新生ドイツ語文法V6』（朝日出版社）2,520円 ISBN：978-4-255-25355-8
参考書	初回の授業で、適切な独和辞典を紹介します。

履修コード	267501
科目名	ドイツ語ⅠB
担当者名	吉中 俊貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ドイツ語をまったく学んだことのない学生に、ドイツ語の基礎を教えます。初級文法のマスターが、目標です。
授業スケジュール	第1、2回、オリエンテーション 第3、4回、動詞の人称変化 第5、6回、性と格 第7、8回、冠詞類 第9、10回、不規則動詞 第11、12回、前置詞 第13、14回、複数形 第15、16回、形容詞 第17、18回、語法の助動詞 第19、20回、分離動詞 第21、22回、zu不定詞 第23、24回、三基本形 第25、26回、完了 第27、28回、受動形 第29、30回、比較表現
準備学習	毎回の小テストにそなえて、復習に力を入れること。
履修上の留意点	教員も教材も、もう一つの授業（ⅠA）と共通なので、注意すること。
成績評価の方法	小テストを含む平常点50パーセント、期末テスト50パーセント。
教科書／テキスト	在間進『新生ドイツ語文法V6』（朝日出版社）2,520円 ISBN：978-4-255-25355-8
参考書	初回の授業で、適切な独和辞典を紹介します。

履修コード	290201	290202
科目名	ドイツ語IB(選)	ドイツ語IB
担当者名	井村 行子	

授業概要/ 到達目標(ねらい)	<p>授業概要 総合教材を用いて、さまざまな日常生活の場を設定し、そこで必要とされる基本的なドイツ語を学んでいく。</p> <p>到達目標(ねらい) 具体的な日常生活の場で必要な基本的なドイツ語を話し、聞き、読み、書く能力を身につける。</p>
--------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベットと発音 2. アルファベットと発音 3. 第1課 挨拶をする、出身地や住所を言う 4. 第1課 挨拶をする、出身地や住所を言う 5. 第2課 専攻・国籍・職業を言う(現在人称変化) 6. 第2課 専攻・国籍・職業を言う(現在人称変化) 7. 第2課 専攻・国籍・職業を言う(現在人称変化) 8. 第3課 自分の持ち物を言う、100まで数える(名詞の性、複数形) 9. 第3課 自分の持ち物を言う、100まで数える(名詞の性、複数形) 10. 第4課 レストランで注文する(定冠詞、不定冠詞の4格) 11. 第4課 レストランで注文する(定冠詞、不定冠詞の4格) 12. 第4課 レストランで注文する(定冠詞、不定冠詞の4格) 13. 第5課 家族を紹介する(所有冠詞、人称代名詞) 14. 第5課 家族を紹介する(所有冠詞、人称代名詞) 15. 理解度の確認 16. 第6課 趣味を言う、人を誘う(不規則動詞、命令形) 17. 第6課 趣味を言う、人を誘う(不規則動詞、命令形) 18. 第6課 趣味を言う、人を誘う(不規則動詞、命令形) 19. 第7課 休暇の予定を言う(話法の助動詞) 20. 第7課 休暇の予定を言う(話法の助動詞) 21. 第8課 贈り物をする、服を買う(3格) 22. 第8課 贈り物をする、服を買う(3格) 23. 第8課 贈り物をする、服を買う(3格) 24. 第9課 道を尋ねる(前置詞) 25. 第9課 道を尋ねる(前置詞) 26. 第10課 時刻を言う(分離動詞、再帰動詞、zu不定詞) 27. 第10課 時刻を言う(分離動詞、再帰動詞、zu不定詞) 28. 第10課 時刻を言う(分離動詞、再帰動詞、zu不定詞) 29. 第11課 体の状態を説明する、過去のことを語る(過去形、現在完了) 30. 理解度の確認
----------	---

準備学習	とくに必要ありません
履修上の留意点	欠席しないこと/宿題を必ずやってくる
成績評価の方法	各課ごとに行なう小テストの成績50%、前期と後期のテストの成績50%
教科書/テキスト	新倉真矢子他『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語』第三書房、2500円、ISBN978-4-8086-1184-2
参考書	

履修コード	290801 290802
科目名	ドイツ語II(選) ドイツ語IIA
担当者名	志真 斗美恵

授業概要/ 到達目標(ねらい)	ひととおりドイツ語を学んだ方が、ワンランク上の読解力と文法、そして表現力を身につけることを目標とします。 初級文法を復習しながら、簡単な戯曲やドイツの日常生活についてふれた文章、カフカ、ケストナー、エンデなどの文章を読みすすんでいきます。
--------------------	--

授業スケジュール	1回目 オリエンテーション・ドイツ語で挨拶と自己紹介 2回目 Lektion 1 3回目 Das Geheimnis der Goldmaske I・Deutschland 4回目 Lektion 2 5回目 Das Geheimnis der Goldmaske II・Fußball 6回目 Lektion 3 7回目 Das Geheimnis der Goldmaske III・Die EU 8回目 Lektion 4 9回目 Das Geheimnis der Goldmaske IV・Mahlzeit, Mahlzeit! 10回目 Lektion 5 11回目 Das Geheimnis der Goldmaske V・Gute Besserung! 12回目 Lektion 6 13回目 Das Geheimnis der Goldmaske VI・Ingeborg Bachmann:Malina 14回目 前期のまとめ 15回目 前期理解度の確認 16回目 答案返却 Lektion 7 17回目 Das Geheimnis der Goldmaske VII E・Kästner:Das doppelte Lottchen 18回目 Lektion 8 19回目 Das Geheimnis der Goldmaske VIII Michael Ende:Momo(1) 20回目 Lektion 9 21回目 Das Geheimnis der Goldmaske IX Die Sommerzeit 22回目 Lektion 10 23回目 Das Geheimnis der Goldmaske X Franz Kafka:Die Verwandlung 24回目 Lektion 11 25回目 Das Geheimnis der Goldmaske XI Michael Ende:Momo(2) 26回目 Lektion 12 27回目 Das Geheimnis der Goldmaske 1 2 28回目 Michael Ende:Die unendliche Geschichte 29回目 後期のまとめ 30回目 後期試験について
----------	--

準備学習	テキストの本文・練習問題の予習をかならずした上で出席してください。
------	-----------------------------------

履修上の留意点	語学力は反復練習によって身につきます。毎回かならず出席して積極的に授業に参加してください。
---------	---

成績評価の方法	前期・後期の試験と平常点で総合的に評価します。
---------	-------------------------

教科書/テキスト	1) 清野智昭・須藤温子・会田素子著 2) 『ドイツ語の時間——読解編——〈読めると楽しい〉』 3) 朝日出版社 4) 2300円+税 5) ISBN978-4-255-25341-1 C1084
----------	--

参考書	特になし
-----	------

履修コード	268111
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	飯塚 公夫
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年と同じようなことをまた繰り返してやっても意味があるとも思えないし、面白くもないので、実際の表現に接しながら、自ら辞書を引いて文法や言い回しや意味を理解し、それに慣れるようになってもらうことをめざします。
授業スケジュール	春学期 初回：オリエンテーション（まずDVDで映画の予告編と頭の部分を見てもらいます。それから出席者にテキストを読んでもらい、こちらが訳し時々文法事項を尋ねて、理解度を確認して、これからのやり方を判断します。） 第2回～14回 教材を読んていきます。まず映画を見てもらい、当該シーンのセリフを読んで訳していきます。手順はおおよそ以下の通りです。①映画を見る②教師が読んで、問題点を指摘する③映画を再び見る④出席者に読んで訳をつけてもらう⑤教師がまとめる。また、折に触れて文法事項をまとめて、その問題を出して確認することもあります。（あらかじめ当てておくことはしません。）1968年の話なので、戦後から再統一へいたるドイツ史及び世界史について触れることもあります。 最終回：春学期末到達度確認 秋学期 第16回～29回 春学期と同じ教材を読んていきます。前期と同じ手順で進めていきます。 第30回：秋学期末到達度確認
準備学習	毎回、次回のシーンを見せますので、そのシーンを頭に入れておいて、予習しておくといいでしょう。
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習してなくても当たればその場で辞書を引いてやってもらいます。はじめから辞書を引く気のない人は、成績評価の対象になりませんから、出ても時間の無駄になるだけです。受講しない方がいいと思います。
成績評価の方法	学期末の到達度確認の点数と発表点。割合は、到達度確認の点数の平均点によって変動します。こちらの点数が高ければ、こちらの割合が多くなり、悪ければ、発表点の割合が多くなります。
教科書／テキスト	ドイツ映画「Friedliche Zeiten」(2008)より、セリフだけ抜き出したプリント教材(無料配布)。
参考書	

履修コード	351801
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	清水 修

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>ドイツ語Ⅱでは、様々な、少しまとまったテキストを読みながら、ドイツ語Ⅰで学んだドイツ語の基礎を復習し、また足りないところを補います。最初は日本のマンガのドイツ語訳を読みます。また、料理のレシピ、子供のための科学実験の手順書などを読みます。</p> <p>(到達目標)</p> <p>ドイツ語Ⅰで学んだことを確実にし、また足りないところを補い、辞書があれば、簡単なテキストが読めるようになるのが目標です。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドラゴンボールを読む① 最初はsein haben の重要性や枠構造の重要性等についての文法的な復習を主にしますが、2話3話目と読み進む内に内容を楽しむことに主眼をおきます。 2. ドラゴンボールを読む② 3. ドラゴンボールを読む③ 4. ドラゴンボールを読む④ 5. ドラゴンボールを読む⑤ 6. 料理のレシピを読む (準備) レシピを読む際の約束事や特徴的な文体について。 7. 料理のレシピを読む① 受講者に自分の読んだレシピの料理について発表してもらいます。 8. 料理のレシピを読む② 9. 料理のレシピを読む③ 10. 料理のレシピを読む④ 11. 子供の科学の実験の手順書を読む (準備) 文章の構成や文体について。 12. 子供の科学の実験の手順書を読む① 受講者に自分の読んだ手順書に従って実際に実験をしてもらいます。 13. 子供の科学の実験の手順書を読む② 14. 子供の科学の実験の手順書を読む③ 15. 理解度の確認 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. グリム童話を読む① 誰でもが知っている短い話を読みます。 17. グリム童話を読む② 18. グリム童話を読む③ 19. グリム童話を読む④ 20. インターネットのニュースを読む (準備) ネットのニュースの特徴的な文章の構成や文体について解説します。 21. インターネットのニュースを読む① ネットで受講者が読みたいと思うテキストを探し、それを発表してもらいます。 22. インターネットのニュースを読む② 23. インターネットのニュースを読む③ 24. インターネットのニュースを読む④ 25. イソップ物語を読む (準備) 誰でもが知っているイソップの話のドイツ語で読みます。特徴的な文章の構成や文体について解説します。 26. イソップ物語を読む① 27. イソップ物語を読む② 28. イソップ物語を読む③ 29. イソップ物語を読む④ 30. 理解度の確認
----------	---

準備学習	発表の準備のために授業中にも時間を割きますが、大部分は自分で授業外で準備することが求められます。
------	--

履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて考えるということでもあります。受講者には自分自身の意見を持つこと、そしてそれを常に批判的に発展させていくという態度を期待します。
---------	---

成績評価の方法	発表等、授業への貢献を70%、定期試験(辞書のみ持ち込可)を30%とします。
---------	--

教科書/テキスト	プリントを用意します。
----------	-------------

参考書	授業中に指示します。
-----	------------

履修コード	268101
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	杉本 正俊
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、適宜、文法の説明・復習も行います。 なお教科書とは別に授業中に様々なプリントを配布します。授業のかなりの部分をこのプリントにもとづいて行います。 様々な角度から、ドイツ語およびドイツ語圏の歴史や文化の一端に触れて行く事を授業のねらいとします。
授業スケジュール	教科書は、目次にしたがって進む。文法の説明や簡単な練習をしながら、1課から順次教科書を読み進みますが、様々なプリントを手がかりに、ネイティブ・スピーカーの音声を聞いたり、簡単な会話の練習をしつつ、色々な『話題』を取り上げて、楽しく授業を進めるつもりです。 授業は年間30回行ないます。
準備学習	前回までの授業内容をしっかりと把握して授業に臨んでください。
履修上の留意点	配布するプリントをなくさないように、しっかりと管理してください。初回授業時に作成する「出席簿」をもとに毎回出席を取ります。3回以上連続して休まねばならない理由がある時には、それを教員に伝えてください。また遅刻者は授業終了時に申し出ること。
成績評価の方法	成績配点の目安は、基礎出席点（必ずしも全出席でなくてもよいが、必ず授業についてゆくことが必要。出席できる時は出席すること）20%、「3基本形テスト」などの小さいテストを含めた平常点25%、学年末定期試験55%とする。 成績評価の全体の前提として、平常点の存在は重要である。
教科書/テキスト	教科書：荻野恭平著『ドイツ暮らしのスケッチ』（新訂版）朝日出版社。 ¥2300
参考書	配布プリント

履修コード	268301
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	松岡 晋
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	下記の教科書のドイツ語テキスト部分を中心に読むことによって、中級のドイツ語読解力を養うことを目標とします。教科書中の文章はごく基礎的なものからだんだんと内容が高度になっていきます。適宜、文法の説明も行います。
授業スケジュール	(1) Lektion 1: Wer ist das? (2) Lektion 2: Europa ist ein Kontinent. (3) Lektion 3: EU (4~5) Lektion 4: "Du" oder "Sie" (6~7) Lektion 5: Einige Tips (8~10) Lektion 6: Das Alphabet (11~13) Lektion 7: Europas Grenzen (14) これまでの復習 (15~17) Lektion 8: "Je mehr, desto besser" oder "Je weniger, desto lieber"? (18~19) Lektion 9: Im Café (20~22) Lektion 10: Multikulturelle Gesellschaft (23~25) Lektion 11: Deutschsprachige Medien und Internet (26~27) Lektion 12: Der Klammeraffe (28~30) Lektion13: Japan und Europa
準備学習	次回学習箇所についてその都度予告しますので、教科書の当該部分にあらかじめ目を通し、独和辞典を用いて和訳を試みてください。もしその時に不明な箇所があれば、授業中に積極的に質問してください。
履修上の留意点	独和辞典を毎回持参してください。
成績評価の方法	1年間に数回行う予定の記述試験に、平常点(出席率、授業中の課題の実行具合など)を加味して成績評価を行います。記述試験と平常点の比率は7対3と考えてください。
教科書/テキスト	諏訪功ほか著『文法読本――ヨーロッパとは何か(新訂版)』、郁文堂、¥2000、ISBN4-261-01189-1
参考書	1年次に用いたドイツ語文法教科書を大いに活用してください。

履修コード	298001 298002 298003
科目名	ドイツ語IIA ドイツ語IIB ドイツ語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	摂津 隆信
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	短文の読解を行いながら、発音～受動態までの文法項目を強化します。私たちの目標は、この授業が終わったときには自分でドイツ語を読めるようになっていく力をつけることです。
授業スケジュール	前期 1) オリエンテーション、発音、あいさつ等の基本表現 2～4) 動詞の現在人称変化、語順、名詞の格変化 5～7) 不規則変化動詞、冠詞類、前置詞 8～10) 話法の助動詞、分離動詞、11～14) 形容詞の用法、比較 15) 前期理解度の確認 後期 16～18) 過去形 19～21) 完了形 22～23) 受動態 24～26) zu不定句、esの用法 27～29) 関係代名詞、副文 30) 後期理解度の確認
準備学習	この授業では基本的に予習は必要ありません。しかし各期末試験に向けた復習は必須であり、授業中の問題練習そのものが確認テストの役割を果たしていると理解してください。
履修上の留意点	読解・文法練習問題ともに授業中にしっかり解いてもらいます。したがってドイツ語辞書を必ず持参してください。
成績評価の方法	授業中に行う演習問題を指名して答えてもらい、このときの参加度を50%、そして各期末試験の結果50%の割合で評価します。
教科書/テキスト	『Am Ende wird getanzt (シンプルドイツ語)』 (郁文堂、寺井紘子、川島隆、池田晋也、Bernd Neumann著) ISBN978-4-261-01246-0
参考書	独和辞典は必ず持参すること。

履修コード	298201 298202 298203
科目名	ドイツ語IIA ドイツ語IIB ドイツ語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	南 はるつ
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	これまで習得してきた文法的な知識を生かし、文法事項の復習をするとともに、簡単な文章を読みながら、総合的なドイツ語の力を身につけます。
授業スケジュール	第 1 回: オリエンテーション 第 2～3 回: 冠詞類・時制変化・形容詞などの復習 第 4～5 回: 関係代名詞・受動態などの復習 第 6～7 回: Die Bremer Stadtmusikanten 1 第 8～9 回: Die Bremer Stadtmusikanten 2 第 10～11 回: Die Bremer Stadtmusikanten 3 第 12～13 回: Die Bremer Stadtmusikanten 4 第 14～15 回: Die Bremer Stadtmusikanten 5 第 16 回: 理解度の確認 第 17～18 回: Der Räuberbräutigam 1 第 19～20 回: Der Räuberbräutigam 2 第 21～22 回: Der Räuberbräutigam 3 第 23～24 回: Der Räuberbräutigam 4 第 25～26 回: Der Räuberbräutigam 5 第 27～28 回: Der Räuberbräutigam 6 第 29 回: 総復習 第 30 回: 理解度の確認
準備学習	毎回きちんと予習をして授業に出席してください。
履修上の留意点	
成績評価の方法	定期試験の成績80%、平常点20%として評価します。
教科書/テキスト	本橋右京、シュテファン・ヴント著 『グリム童話で学ぶドイツ語 Part II』 郁文堂 2600円 ISBN: 978-4-261-01223-1
参考書	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	298101 298102 298103
科目名	ドイツ語IIA ドイツ語IIB ドイツ語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	本橋 右京
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。基本的な表現は使えるようになりますように！
授業スケジュール	初級文法に準拠して、各項目を練習問題で確認しながら学んでいきます。テキストも、それぞれに相応したレベルで構成されます。練習問題と読章を通して、ドイツ語の基本的な単語と仕組みを反復的に身につけることを目指します。 全体の構成を記しておきますが、各章2ないし3週かけて取り組む予定です。 1) Aussprache 2) Ich heie Julia. 3) Wie heit du? 4) Julia kauft einen Apfel. 5) Wohin fhrt du? 6) Das ist meine Familie. 7) Etwa 5 Minuten mit dem Fahrrad. 8) Ich muss viel lernen. 9) Wann fngt die Party an? 10) ber japanische Kultur. 11) Wir fahren nach Wien. 12) Was haben Sie heute gemacht? 13) Am Ende wird getanzt.
準備学習	特になし。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。予習のみならず、毎回しっかり復習してください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
教科書/テキスト	寺井・川島・池田・Neumann『シンプル・ドイツ語-空欄補充式』(郁文堂)2012年刊 2,500円+税 ISBN978-4-261-01246-0
参考書	

履修コード	355701 355702
科目名	ドイツ語IIA ドイツ語IIB [再クラス]
担当者名	吉中 俊貴
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級文法を、ていねいに復習する授業。中級程度のドイツ語を辞書を使って読めるようになる事が、目標です。
授業スケジュール	第1、2回、オリエンテーション 第3、4回、動詞の位置と人称変化 第5、6回、名詞の性と格 第7、8回、不規則動詞 第9、10回、前置詞と副文 第11、12回、人称代名詞 第13、14回、冠詞類 第15、16回、複合動詞 第17、18回、話法の助動詞 第19、20回、過去・完了・受動態 第21、22回、形容詞 第23、24回、関係代名詞 第25、26回、接続法 第27、28回、総まとめ一 第29、30回、総まとめ二
準備学習	毎回の小テストにそなえて、復習に力を入れること。
履修上の留意点	
成績評価の方法	小テストを含む平常点50パーセント、期末テスト50パーセント。
教科書/テキスト	清野智昭ほか『Meine Deutschstunde ドイツ語の時間 —読解編—』(朝日出版社)2,415円 ISBN: 978-4-255-25341-1
参考書	

履修コード	268401
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	飯塚 公夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年と同じようなことをまた繰り返してやっても意味があるとも思えないし、面白くもないので、実際の表現に接しながら、自ら辞書を引いて文法や言い回しや意味を理解し、それに慣れるようになってもらうことをめざします。
---------------------	---

授業スケジュール	春学期 初回：オリエンテーション（まずDVDで映画の頭の部分を見てもらいます。それから出席者にテキストを読んでもらい、こちらが訳し時々文法事項を尋ねて、理解度を確認して、これからのやり方を判断します。） 第2回～14回 教材を読んでいきます。映画を見てもらい、当該シーンのセリフを読んで訳していきます。手順はおおよそ以下の通りです。①映画を見る②教師が読んで、問題点を指摘する③映画を再び見る④出席者に読んで訳をつけてもらう⑤教師がまとめる。また、折に触れて文法事項をまとめて、その問題を出して確認することもあります。あらかじめ当てておくことはしません。60-70年代の活動家ルディ・ドゥチュケという人物を描いた作品なので、60年代後半から現在に至るドイツの歴史にも時々触れると思います。 最終回：春学期末到達度確認 秋学期 第16回～29回 春学期と同じ教材を読んでいきます。前期と同じ手順で進めていきます。 第30回：秋学期末到達度確認
----------	--

準備学習	毎回、次のシーンを見せますので、そのシーンを頭に入れておいて、予習しておくといいでしょう。
------	---

履修上の留意点	辞書を毎回持つてくること（完全に予習をしている人は持つてこなくてもよろしい）。予習してなくても当たればその場で辞書を引いてやってもらいます。はじめから辞書を引く気のない人は、成績評価の対象になりませんから、出ても時間の無駄になるだけです。受講しない方がいいと思います。
---------	--

成績評価の方法	学期末の到達度確認の点数と発表点。割合は到達度確認の点数の平均点によって変動します。この点が高ければ、こちらの割合が多くなり、悪ければ、発表点の割合が多くなります。
---------	--

教科書／テキスト	ドイツ映画「ルディ・ドゥチュケ」（2009）より、セリフだけ抜き出したプリント教材（無料配布）。
----------	--

参考書	三島憲一「戦後ドイツーその知的歴史」（岩波新書）。井関正久「ドイツを変えた六八年運動」（白水社）。
-----	---

履修コード	351901
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	篠原 敏昭

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。
---------------------	---

授業スケジュール	下記のテキストを用い、DVD教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方も学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。希望があれば後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。
----------	--

前期
第1～2回 1年次学習内容の復習確認 第3～4回 2格、西暦の読み方、序数
第5～6回 動詞の三基本形、過去形、副文 第7～8回 形容詞の格変化
第9～10回 形容詞の比較変化 第11～12回 再帰代名詞と再帰動詞(1)、非人称表現
第13～14回 zu不定句の用法(1)
第15回 理解度の確認
後期
第16～17回 前期学習内容の復習 第18～19回 再帰動詞(2)、zu不定句(2)
第20～21回 受動文、werdenの用法 第22～23回 関係代名詞、形容詞の名詞化
第24～25回 接続法Ⅱ式・外交語法 第26～27回 接続法Ⅱ式・非現実語法
第28～29回 意見を述べる表現
第30回 理解度の確認

準備学習	授業開始前に教科書を入手しておくこと。また1年次の教科書を復習しておくこと。
------	--

履修上の留意点	課された宿題は必ずこなしてくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもつてくること。
---------	--

成績評価の方法	授業への取り組み（宿題の消化も含む）20%、小テスト（前後期数回ずつ）20% 前期末試験30%、後期末試験30%の比重で成績を評価します。
---------	--

教科書／テキスト	『CD付き モデル2』（三修社）2,700円
----------	------------------------

参考書	授業の中で指示します。
-----	-------------

その他	DVDやCDを活用する授業をおこなう予定です。
-----	-------------------------

履修コード	268501
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	撰津 隆信

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次に学んだドイツ語文法の基礎を再確認しながら、コミュニケーションのためのドイツ語に慣れ、「聞く」「読む」「話す」ためのドイツ語修得を目指します。
---------------------	--

授業スケジュール	前期 1-3) オリエンテーション、発音・数の読み方などの復習 4) あいさつ、人称代名詞 5) 尋ねる表現・アルファベット 6) 数の数え方 7-8) 不定詞、現在形 9-11) 名詞の性、動詞の3要形 12-14) 名詞の格変化 15) 前期理解度の確認
----------	--

後期
16) 前期文法事項の復習 17-19) 形容詞 20-21) 語法の助動詞 22-23) 完了形 24-25) 分詞、受動態 26-27) 接続詞、関係詞 28-29) 接続法 30) 後期理解度の確認

準備学習	大した準備はありませんが、各項目には会話文が載っていますので、そこにわからない単語があれば辞書で調べてきて下さい。
------	---

履修上の留意点	CDを使って聴いてもらい、それをみなさんに発音してもらいます。内容は初級コミュニケーションレベルです。ときには個別に、ときにはグループになってもらいながら「話し」てもらいますので、授業への貢献度が成績評価のポイントになります。また、授業には必ず辞書を持参とノートを持参するようにしてください。
---------	--

成績評価の方法	平常点50%、各期末テスト50%。
---------	-------------------

教科書/テキスト	『Deutsch Auditiv (聴いて学ぶドイツ語)』 (第三書房、田中宏幸、田中まり著) 2300円+税、ISBN978-4-8086-1187-3
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	268511
科目名	ドイツ語ⅡB
担当者名	吉中 俊貴

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年次に学んだドイツ語の基礎知識を活用して、中級程度の読み物にチャレンジする授業です。読解の技術の習得が、目標です。
---------------------	--

授業スケジュール	第1、2回、オリエンテーション 第3、4回、トイレでノックはするな 第5、6回、ドイツ人と音 第7、8回、ドイツ人はケチ？ 第9、10回、ドイツ人のジョーク 第11、12回、割り勘 第13、14回、ドイツ人とサンドイッチ 第15、16回、ドイツ人の時間感覚 第17、18回、保守と革新 第19、20回、客はどこに座らせる？ 第21、22回、遅れてきたとき、どのように着席するのか？ 第23、24回、使いやすい表現と使いにくい表現 第25、26回、働いてばかりはいられない 第27、28回、総まとめ一 第29、30回、総まとめ二
----------	---

準備学習	毎回の小テストにそなえて、復習に力を入れること。
------	--------------------------

履修上の留意点	
---------	--

成績評価の方法	小テストを含む平常点50パーセント、期末テスト50パーセント。
---------	---------------------------------

教科書/テキスト	大谷弘道『新ドイツ語読みかた教室』 (三修社) 2,205円 ISBN: 978-4-384-13088-1 C1084
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	268701 268702
科目名	ドイツ語IID ドイツ語IIB
担当者名	松岡 晋
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	下記の教科書のドイツ語テキスト部分を中心に読むことによって、中級のドイツ語読解力を養うことを目標とします。教科書中の文章はLektion 1からLektion 12まで、難易度はほぼ同じです。適宜、文法の説明も行います。
授業スケジュール	(1~2) Lektion 1: Papa, Mama, Liebling, Schätzchen (3~4) Lektion 2: Kehrwoche (5~6) Lektion 3: Wozu brauchen Deutsche überhaupt ein Bad? (7~8) Lektion 4: Das Ladenschlussgesetz (9~10) Lektion 5: Bodybuilding ist in (11~12) Lektion 6: Fußball (13~14) Lektion 7: Das Oktoberfest in München (15~16) Lektion 8: Studiengebühren (17~18) Lektion 9: Was ist besser, wenn man in Deutschland Freunde finden will? (19~21) Lektion 10: Heiraten und Scheidungen (22~25) Lektion 11: Waldorfschulen sind anders (26~28) Lektion 12: Auslandsstudium in Deutschland (29~30) まとめ
準備学習	次回学習箇所についてその都度予告しますので、教科書の当該部分にあらかじめ目を通し、独和辞典を用いて和訳を試みてください。もしその時に不明な箇所があれば、授業中に積極的に質問してください。
履修上の留意点	独和辞典を毎回持参してください。
成績評価の方法	1年間に数回行う予定の記述試験に、平常点(出席率、授業中の課題の実行具合など)を加味して成績評価を行います。記述試験と平常点の比率は7対3と考えてください。
教科書/テキスト	橋本政義ほか著『グレードアップドイツ語[新訂増補版]』、郁文堂、¥2500 ISBN978-4-261-01248-4
参考書	1年次に用いた文法教科書を大いに活用してください。

履修コード	268801
科目名	ドイツ語IIIA
担当者名	井村 行子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業概要</p> <p>元になっているテキストは1899年にドイツで刊行され、戦前からたびたび邦訳されている有名な恋物語ですが、授業で使うテキストは20世紀のアメリカでドイツ語を学ぶ学生向けにやさしくリライトされたものです。</p> <p>到達目標(ねらい)</p> <p>辞書を引いて単語の意味をつなぎ合わせて内容を推定するのではなく、これまでのドイツ語の知識を生かして、できるだけ読むという行為に近づけていきたいと思います。さらに、できればこの小説の背景になっているドイツの社会はどんなところだったのか考えてみたいと思います。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 1. Karl Heinrich(カール・ハインリヒ) 3. 2. Doktor Jüttner(ユットナー博士) 4. 3. Die Reise nach Heidelberg(ハイデルベルクへの旅) 5. 4. Der Wartesaal in Frankfurt(フランクフルトの待合室) 6. 5. Die Ankunft in Heidelberg(ハイデルベルク到着) 7. 6. Frau Dörffel(デルフェル夫人) 8. 7. Die erste Nacht in Heidelberg(ハイデルベルク最初の夜) 9. 8. Das Frühstück(朝食) 10. 9. Der Spaziergang(散歩) 11. 10. Das Schloss(城) 12. 11. Die Einladung(招待) 13. 12. Das Gasthaus(居酒屋) 14. 13. Der Kommers(祝宴) 15. 理解度の確認 16. 13. Der Kommers 17. 14. Die Nacht(夜) 18. 14. Die Nacht 19. 15. Das Leben in Heidelberg(ハイデルベルクの生活) 20. 15. Das Leben in Heidelberg, 16. Das Fest(祭り) 21. 16. Das Fest 22. 17. Der Abschied(別れ) 23. 17. Der Abschied 24. 18. In Karlsburg(カールスブルクで) 25. 18. In Karlsburg, 19. Die Überraschung(予期せぬ出来事) 26. 19. Die Überraschung 27. 19. Die Überraschung, 20. Das Wiedersehen(再会) 28. 20. Das Wiedersehen 29. 20. Das Wiedersehen 30. 理解度の確認
----------	--

準備学習	該当箇所を下読みしてきてください
------	------------------

履修上の留意点	
---------	--

成績評価の方法	前期と後期のテストの点数50%、平常点50%
---------	------------------------

教科書/テキスト	Otto P. Schinnerer, Geschichte von Alt-Heidelberg(アルト・ハイデルベルク物語)、白水社、950円、ISBN978-4-560-01427-1
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	リープハート, A.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	実践ドイツ語の入門。初級ドイツ語文法や基本語彙を学習しながら、日常生活上の実際の場面に即した「話す」「聞く」「読む」「書く」といった総合的なコミュニケーション能力を養う。具体的には、挨拶、数字、自己紹介などから始まって家族、食事、買い物、住まい、趣味、余暇、スケジュール、住まいなどをテーマにして、パートナーとの会話練習や聞き取り練習など、多様な応用練習や様々なシチュエーションを想定したロールプレイなどを行う。教科書の他に、DVDやプレゼンテーションなどを使い、現代ドイツの事情についても少し紹介したい。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. - 4. 第1課 挨拶、自己紹介 5. - 7. 第2課 家族、友人 8. -10. 第3課 食事 11.-13. 第4課 住まい 14. 復習 15. 理解度の確認 16.-19. 第5課 スケジュール 20.-24. 第6課 余暇、趣味 25.-28. 第7課 (過去の)活動 29. 復習 30. 理解度の確認
----------	---

準備学習	前回授業内容を復習し、理解した上で授業に臨むこと。十分な予習がなされていることを前提に授業を進める。
------	--

履修上の留意点	学生参加型の授業を中心に、対話練習やグループ学習を多用するので、積極的に出席すること。
---------	---

成績評価の方法	授業への参加度を40%、(口頭)テストを60%の割合で評価する。
---------	----------------------------------

教科書/テキスト	Schritte international I Kursbuch und Arbeitsbuch (Hueber), ISBN 978-3-19-001851-2
----------	---

参考書	
-----	--

その他	
-----	--

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	リープハート, A.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では、様々な場面における実践的なドイツ語運用力の向上を目指す。ドイツ語Iで学んだ文法や基本語彙知識をさらに広げ、「話す」「聞く」「読む」「書く」といった総合的なコミュニケーション能力を身につける。初級レベルを復習しながら、受講生のドイツ語レベルに応じて、具体的な授業内容を決定する。視聴覚教材など、多様なメディアを使い、できる限り、ドイツ語圏に関する知識を深めることによって異文化を理解する力も育成したい。
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. - 5. 第7課 仕事と日常 6. - 9. 第8課 ベルリンにて 10.-13. 第9課 休暇とドイツ旅行 14. 復習 15. 理解度の確認 16.-19. 第10課 食事 20.-24. 第11課 服装、天気 25.-28. 第12課 身体、健康 29. 復習 30. 理解度の確認 (履修者のドイツ語レベルによる変更可)
----------	--

準備学習	前回授業内容を復習し、理解した上で授業に臨むこと。十分な予習がなされていることを前提に授業を進める。
------	--

履修上の留意点	学生参加型の授業を中心に、対話練習やグループ学習を多用するので、積極的に出席すること。
---------	---

成績評価の方法	授業への参加度を40%、口頭テストを60%の割合で評価する。
---------	--------------------------------

教科書/テキスト	studio d A1 Gesamtband (Cornelsen), ISBN 978-3-464-20707-9
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	286901
科目名	ドイツ語スキルアップ
担当者名	堀内 美江
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業は、これまで学んできたドイツ語がまだ曖昧と感じている方、ドイツ語がわかったと実感したい方、資格としてドイツ語を考えている方に向けられています。せつかく勉強したドイツ語も、使いこなせなければ残念ですね。ここでは基礎知識をもとに、さまざまな場面や分野を設定し、そこで使われる語いや表現を、読む、書く、話す、聴く練習を通して、バランス良くレベルアップしていきます。また、ヨーロッパを牽引するドイツの言葉を学ぶことは、それを通じてヨーロッパを知ることであります。機会を見ながら、映像やネットを用いて、ドイツ語は世界への扉となりうるのだという経験もしていただこうと思っています。
授業スケジュール	1～2回 オリエンテーション&挨拶 14～16回 ドイツの移動手段&前置詞の復習 3～6回 ドイツの仕事事情&冠詞の復習 17～19回 買い物をする&接続法の学習 7～9回 日独異文化体験&助動詞の復習 20～23回 ファッション&名詞の3格の用法 10～12回 体と健康の語い&所有冠詞の確認 24回 これまでのまとめと確認 13回 これまでのまとめと確認 25～30回 ドイツの祝祭&名詞の4格、序数
準備学習	予習よりも、復習に力を注いでください。
履修上の留意点	皆さんのペースに合わせて授業を進めますので、安心して参加してください。授業中は、間違いを恐れないこと。間違えようがしっかりと頭に入ります。また、語学は触れる量が増えるほど、上達するものです。教科書を忘れても、多少遅れたとしても、出席するようにしてみましょう。
成績評価の方法	各学期末の課題：平常点（出席、授業参加度）：その他（たまに小課題も） = 50 : 40 : 10 の総合評価となります。 *試験は行いません
教科書/テキスト	Silke Hilpert他『Schritte international 2』 Hueber Verlag
参考書	辞書は前年度まで使用していたものを携帯してください。 必要があれば、以前使ったことのある文法教科書を参考書代わりに使ってください。
その他	この授業では、国際的なドイツ語学習基準ののっとりつくられたドイツのテキストを用います。この教科書を終えると、ドイツ国認定の初級終了試験の力が自然と身につくようになっていきます。（日本の独語検定では3級）。ドイツ語ばかりで最初はとまどうかもしれませんが、ゆっくり説明していきますので、すぐに慣れることでしょう。世界中のドイツ語学習中の人々がこのテキストを使っていると思うと、ちょっと嬉しいものです。

履修コード	269901
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	大野 英士
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。授業終了時に仏検5級～4級程度の文法・語彙力の養成を目指します。
授業スケジュール	1)～3) 受講上の諸注意/Alphabetと発音の基礎 4)～14) 文法の基礎 (名詞の性と数/冠詞/形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など) 前期11課までを一応のめどとします。 15) 理解度の確認 16)～29) 文法の発展 (比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など) 教科書12課から20課までを一応のめどとします。30) 理解度の確認 ※毎回発音練習に取り組むと共に、随時動詞の活用に関する小試験、問題演習レポートなどを実施し、これらは提出してもらい成績の一部として勘案します。
準備学習	教科書を読み、わからない単語を辞書で調べ、各課の練習問題を解いておくこと。
履修上の留意点	基本的に出席を重視しますがそれだけでは十分ではありません。欠かさず予習して積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。
成績評価の方法	前期末授業内試験 (40%) と学年末試験 (40%)、小テスト (20%) を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	高橋信良『フランス語ブルー 文法編』(朝日出版社) 2300円+税
参考書	授業開始時にプリントをくばって指示します。特に辞書の使用が絶対的に必要です。電子辞書ではなく紙の辞書(ブチ・ロワイヤル仏和辞典、クラウン仏和辞典、ディコ仏和辞典等)の使用を強く推奨します。
その他	最近、スマート・フォンを含めて、携帯搭載のフランス語辞書を使用する学生を見かけるが、授業における使用は禁止します。

履修コード	269201
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	桑田 禮彰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語初級。文法中心総合基礎クラス。文法を中心としながら、発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。まず発音の基本をしっかりと説明・練習した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>第1回 受講上の諸注意／alphabet</p> <p>第2回 発音の基本(1)</p> <p>第3回 発音の基本(2)</p> <p>第4回 発音の基本(3)</p> <p>第5回 名詞の性と数</p> <p>第6回 冠詞</p> <p>第7回 主語人称代名詞</p> <p>第8回 動詞êtreとavoirの直説法現在</p> <p>第9回 否定形</p> <p>第10回 形容詞</p> <p>第11回 第1群規則動詞の直説法現在</p> <p>第12回 疑問形</p> <p>第13回 基数</p> <p>第14回 指示形容詞と所有形容詞</p> <p>第15回 動詞allerとvenirの直説法現在</p> <p>第16回 近接未来と近接過去</p> <p>第17回 縮約</p> <p>第18回 疑問形容詞と疑問代名詞</p> <p>第19回 第2群規則動詞の直説法現在</p> <p>第20回 比較級と最上級</p> <p>第21回 命令法と非人称表現</p> <p>第22回 目的語人称代名詞と強勢形人称代名詞</p> <p>第23回 複合過去と受動態</p> <p>第24回 関係代名詞と指示代名詞</p> <p>第25回 代名動詞</p> <p>第26回 単純未来</p> <p>第27回 半過去</p> <p>第28回 現在分詞とジェロンディフ</p> <p>第29回 条件法と接続法</p> <p>第30回 復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)</p> <p>* 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。</p>
----------	---

準備学習	毎回、しっかり授業の復習をしてください。ただし、教科書各課末のExercicesは予習しておくこと。そのためには、教科書各課本文の予習も必要です。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	太田浩一他著『フランス語文法の〈基礎〉——新装版——』駿河台出版社、2625円、ISBN978-4-411-00765-0 C1085
参考書	そのつど授業で指示します。

履修コード	269601
科目名	フランス語 I A
担当者名	桑田 禮彰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語初級。文法中心総合基礎クラス。文法を中心としながら、発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。まず発音の基本をしっかり説明・練習した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
---------------------	---

授業スケジュール	第1回 受講上の諸注意／alphabet 第2回 発音の基本(1) 第3回 発音の基本(2) 第4回 発音の基本(3) 第5回 名詞の性と数 第6回 冠詞 第7回 主語人称代名詞 第8回 動詞êtreとavoirの直説法現在 第9回 否定形 第10回 形容詞 第11回 第1群規則動詞の直説法現在 第12回 疑問形 第13回 基数 第14回 指示形容詞と所有形容詞 第15回 動詞allerとvenirの直説法現在 第16回 近接未来と近接過去 第17回 縮約 第18回 疑問形容詞と疑問代名詞 第19回 第2群規則動詞の直説法現在 第20回 比較級と最上級 第21回 命令法と非人称表現 第22回 目的語人称代名詞と強勢形人称代名詞 第23回 複合過去と受動態 第24回 関係代名詞と指示代名詞 第25回 代名動詞 第26回 単純未来 第27回 半過去 第28回 現在分詞とジェロンディフ 第29回 条件法と接続法 第30回 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し) * 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。
----------	---

準備学習	毎回、しっかり授業の復習をしてください。ただし、教科書各課末のExercicesは予習しておくこと。そのためには、教科書各課本文の予習も必要です。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト	太田浩一他著『フランス語文法の〈基礎〉——新装版——』駿河台出版社、2625円、ISBN978-4-411-00765-0 C1085
参考書	そのつど授業で指示します。

履修コード	269101
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	佐藤 久美子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を習得する。
授業スケジュール	第1回：フランス語の概略、発音の基本、アルファベット；第2～4回：名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞；第5～7回：所有形容詞、指示形容詞、主語人称代名詞、動詞être；第8～10回：冠詞の縮約、数詞、形容詞、複数不定冠詞の変形、代名詞の強勢形；第11～13回：動詞avoir、否定文、非人称構文、第一群規則動詞、比較級・最上級；第14～16回：疑問文、疑問詞、命令文；第17～19回：動詞aller, venir、第二群規則動詞、近接未来・近接過去、直接目的補語、間接目的補語；第20～22回：動詞devoir, pouvoir, vouloir、代名動詞、現在分詞とジェロンディフ；第23～25回：複合過去形、半過去形、；第26～28回：関係代名詞、単純未来形；第29～30回：条件法、受動態
準備学習	単語を調べておく下準備が不可欠。付属CDもあらかじめ聞いておくこと。
履修上の留意点	出席と授業での積極性を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価に重大な影響があると思ってもらいたい。
成績評価の方法	授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。
教科書/テキスト	小畑、寺家村、久保著『超快速フランス語』（駿河台出版社） ISBN978-4-411-00770-4 2,200円＋税
参考書	仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。
その他	教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に活用すること。

履修コード	269501
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	佐藤 久美子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、1年間で文法の基礎を習得する。
授業スケジュール	第1回：フランス語の概略、発音の基本、アルファベット；第2～5回：発音の決まり、名詞と冠詞、基本動詞1；第6～10回：形容詞、基本動詞2、否定形；第11～15回：規則動詞、疑問文、指示形容詞、所有形容詞、不規則動詞3, 4；第16～20回：不規則動詞、部分冠詞、過去形1、数字；第21～25回：目的人称代名詞、疑問代名詞、代名動詞；第21～25回：非人称動詞、命令形、過去形2、関係代名詞；第25～30回：未来形、比較級・最上級、特殊な代名詞、ジェロンディフ、受動態
準備学習	単語を調べておく下準備が不可欠。付属CDもあらかじめ聞いておくこと。
履修上の留意点	出席と授業での積極性を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価に重大な影響があると思ってもらいたい。
成績評価の方法	授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。
教科書/テキスト	佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』改訂版（白水社） ISBN978-4-560-06097-1 C3885 2,300円＋税
参考書	仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。
その他	教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に活用すること。

履修コード	352001
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	高橋 明美

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。
---------------------	--

授業スケジュール	前期 (第1回～第15回) : (1) アルファベ、発音と音、つづり字記号、フランスの地図 (2) つづり字の読み方第一歩、主語人称代名詞と動詞être (3) 国籍身分をいう、挨拶 (4) ものの名前を尋ねる、名詞の性と数、動詞avoir (5) 形容詞の性・数、定冠詞、-er動詞 (6) 否定文、好き嫌いを表現する、趣味を尋ねる (7) 指示形容詞、人称代名詞強勢形 (8) onを使った表現、faire, descendre (9) 理解度の確認 (10) 挨拶の表現、aller/venir、前置詞と定冠詞の縮約 (11) 疑問文の3つのかたち、命令形 (12) 年齢をいう、名前を聞く、疑問形容詞 (13) 所有形容詞、70までの数、好きな色を聞く (14) 身体の状態を表現する、部分冠詞、-ir動詞 (15) 理解度の確認
----------	--

後期 (第16回～第30回) (16) vouloir、飲み物を頼む、時刻表現 (17) 非人称構文、pouvoir、直接目的語の人称代名詞 (18) 人を紹介する、デザートを頼む prendre (19) 間接目的語の人称代名詞、代名動詞 (20) カフェで注文する、近接未来、近接過去 (21) 曜日、中性代名詞 en (22) 理解度の確認 (23) C'est + 形容詞、比較級、最上級 (24) 基数の復習、序数、数を用いるさまざまな表現 (25) 過去分詞の形と作り方、複合過去-その1 (26) 複合過去-その2 (27) 値段を聞く、12ヶ月 (28) 中性代名詞 y 71 ~ 100の数 (29) 半過去、大過去 (30) 理解度の確認

準備学習	毎回出される課題は必ずやって次の授業に臨むこと。必ず復習を行い、毎日短時間でよいから教科書とノートを見てフランス語から離れない体勢を整えること。
------	--

履修上の留意点	積極的に講義に参加すること。極力欠席を避けること。宿題と復習を怠らないこと。
---------	--

成績評価の方法	前期末の授業内試験 (50%) と後期末の授業内試験 (50%) を基本に、出席状況と授業態度などを動かし総合的に評価します。
---------	---

教科書/テキスト	『ピエールとユゴー』小笠原洋子著 白水社 2500円
----------	----------------------------

参考書	
-----	--

履修コード	269301
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	遠山 博雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語の文法の初歩と発音の基礎を学ぶこと。
---------------------	-------------------------

授業スケジュール	(1~7) 授業方針の説明、音の単位の紹介、発音基礎、名詞、冠詞、最基本不規則動詞と規則動詞の現在形、形容詞の使い方、否定・疑問表現; (8~15) 所有・指示形容詞、不規則動詞の現在形、疑問詞、形容詞・副詞の比較級・最上級; (16~24) 命令形、動詞の過去形、動詞の目的語の代名詞、関係代名詞; (25~30) 代名動詞、動詞の未来形、中性代名詞、動詞の過去形のつづき、受動態、現在分詞。//はじめに詳しい説明をし、後で練習問題をやります。プリントによる補足もあります。
----------	--

準備学習	宿題をやってくること。
------	-------------

履修上の留意点	必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。
---------	-------------------------

成績評価の方法	3回の筆記試験 (40点+30点+30点) をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。
---------	---

教科書/テキスト	小野ゆり子・村松エマニュエル: 『マ・グラメール (改訂版)』、白水社、2300円+税、ISBN 978-4-560-06103-9
----------	--

参考書	
-----	--

その他	最初の授業で辞書のガイダンスをします。
-----	---------------------

履修コード	269401
科目名	フランス語ⅠA
担当者名	浜崎 設夫

授業概要/到達目標 (ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。

授業スケジュール (1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)～(15) 初級文法への誘い [導入編]：アルファベ・挨拶・自己紹介/動詞の活用/疑問文/名詞の性・数/形容詞 etc. (16)～(29) 初級文法への誘い [発展編]：比較級・最上級/動詞の活用/命令法/複合過去/直接目的語・間接目的語代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ

準備学習 毎回、前回までの授業内容を復習して授業に臨むこと。

履修上の留意点 授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介します)。

成績評価の方法 前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・予習・発表内容・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。

教科書/テキスト 山下 浩、内藤陽哉著『カイエ・ドゥ・フランセ』駿河台出版社、1400円+税 ISBN 4-411-00806-8 c1085

参考書 適宜紹介。

その他 NHK教育テレビのフランス語の番組を視聴することをお勧めします。ラジオ放送もあります。

履修コード	299301 299302 299303
科目名	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC(会話) [再クラス]
担当者名	大野 英士

授業概要/到達目標 (ねらい) フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。一年の終わりまでに仏検5級に合格できる実力の涵養を目指します。

授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意/Alphabetと発音の基礎 4)～14) 文法の基礎 準備～6課まで(名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/非人称構文/感嘆文など)と会話練習および読解 15) 理解度の確認 16)～29) 文法の発展 7課～12課まで(関係代名詞/命令法/比較級/中性代名詞en/動詞過去形など)と会話練習および読解の発展 30) 理解度の確認

準備学習 教科書を読んで、わからない単語を辞書で調べ、練習問題を解いておくこと。これを怠っておいて、授業がわからないとは言わせません。

履修上の留意点 出席を重視します。積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。

成績評価の方法 前期末授業内試験(40%)と学年末試験(40%)、小テスト・宿題(20%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。

教科書/テキスト エリック・バンキエ、後藤美和子著『サンプリシム』(早美出版社) 本体1900円+税 この他に補充の練習問題をプリントして配布します。

参考書 授業開始時にプリントで指示します。辞書は絶対に必要です。電子辞書よりも紙の辞書(プチ・ロワイヤル仏和辞典、クラウン仏和辞典、ディコ仏和辞典等)を強く推奨します。

その他 最近、スマート・フォンを含め、携帯搭載の仏和辞典を使用する学生を見かけますが、授業中の使用は禁止します。

履修コード	299001 299002 299003
科目名	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	小黒 昌文

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年を通してフランス語の初歩を学びます。基礎文法の習得が第一目標ですが、同時に本授業がフランス語圏の文化・社会への関心をひらく機会となることを願っています。
---------------------	--

授業スケジュール

- (1) ガイダンス：履修上の注意事項
- (2) フランス語の発音と綴り字
- (3) 主語人称代名詞と動詞 être の直説法現在
- (4) 名詞・形容詞の性・数、疑問文 [1]
- (5) 不定冠詞・定冠詞
- (6) 動詞 avoir の直説法現在、否定文の作り方
- (7) er型規則動詞の活用、疑問文 [2]
- (8) ir型規則動詞の活用、疑問副詞
- (9) 動詞 aller / venir、前置詞 à / de と定冠詞の縮約
- (10) 指示形容詞、所有形容詞
- (11) 疑問形容詞、時刻の表現
- (12) 疑問代名詞
- (13) 近接未来・近接過去
- (14) 非人称のil、いろいろな否定表現
- (15) 前期のまとめ

- (16) 部分冠詞、数量表現
- (17) 命令形の作り方
- (18) 直接目的語人称代名詞
- (19) 間接目的語人称代名詞
- (20) 中性代名詞 (en / y / le)
- (21) 指示代名詞 (celui / celle / ceux / celles)
- (22) 比較級・最上級 [1]
- (23) 比較級・最上級 [2]
- (24) 代名動詞の活用と用法
- (25) 過去分詞の作り方、直説法複合過去 [1]
- (26) 直説法複合過去 [2]、直説法半過去 [1]
- (27) 直説法半過去 [2]、直説法大過去
- (28) 関係代名詞、直説法単純未来 [1]
- (29) 直説法単純未来 [2]
- (30) 一年間のまとめ

準備学習	辞書を活用しながら例文の和訳や練習問題に取り組んでください。予習・復習を通して各自の疑問点を明確にすることが何よりも重要です。
履修上の留意点	授業への出席はもちろん、積極的な発言を期待します。和辞典はかならず持参すること(初回の授業で紹介いたします)。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	金子美都子他『モン・プチボワソン』(白水社)2,300円+税 ISBN978-4-560-06108-4
参考書	適宜紹介します。

履修コード	355801 355802
科目名	フランス語ⅠA フランス語ⅠB [再クラス]
担当者名	小黒 昌文

授業概要/
到達目標 (ねらい) 一年を通してフランス語の初歩を学びます。基礎文法の習得が第一目標ですが、同時に本授業がフランス語圏の文化・社会への関心をひらく機会となることを願っています。

授業スケジュール

- (1) ガイダンス：履修上の注意事項
- (2) フランス語の発音と綴り字
- (3) 主語人称代名詞と動詞 être の直説法現在
- (4) 名詞・形容詞の性・数、疑問文 [1]
- (5) 不定冠詞・定冠詞
- (6) 動詞 avoir の直説法現在、否定文の作り方
- (7) er型規則動詞の活用、疑問文 [2]
- (8) ir型規則動詞の活用、疑問副詞
- (9) 動詞 aller / venir、前置詞 à / de と定冠詞の縮約
- (10) 指示形容詞、所有形容詞
- (11) 疑問形容詞、時刻の表現
- (12) 疑問代名詞
- (13) 近接未来・近接過去
- (14) 非人称のil、いろいろな否定表現
- (15) 前期のまとめ
- (16) 部分冠詞、数量表現
- (17) 命令形の作り方
- (18) 直接目的語人称代名詞
- (19) 間接目的語人称代名詞
- (20) 中性代名詞 (en / y / le)
- (21) 指示代名詞 (celui / celle / ceux / celles)
- (22) 比較級・最上級 [1]
- (23) 比較級・最上級 [2]
- (24) 代名動詞の活用と用法
- (25) 過去分詞の作り方、直説法複合過去 [1]
- (26) 直説法複合過去 [2]、直説法半過去 [1]
- (27) 直説法半過去 [2]、直説法大過去
- (28) 関係代名詞、直説法単純未来 [1]
- (29) 直説法単純未来 [2]
- (30) 一年間のまとめ

準備学習	辞書を活用しながら例文の和訳や練習問題に取り組んでください。予習・復習を通して各自の疑問点を明確にすることが何よりも重要です。
履修上の留意点	授業への出席はもちろん、積極的な発言を期待します。仏和辞典はかならず持参すること（初回の授業で紹介いたします）。
成績評価の方法	前期末授業内試験（50%）と学年末試験（50%）を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	金子美都子他『モン・ブチボワソン』（白水社）2,300円＋税 ISBN978-4-560-06108-4
参考書	適宜紹介します。

履修コード	299011 299012 299013
科目名	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC（会話） [再クラス]
担当者名	長谷川 光明

授業概要/
到達目標 (ねらい) フランス語初級。総合基礎クラス。文法・発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。

授業スケジュール

- まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
- (1) 受講上の諸注意 / alphabet (2)～(4) 発音の基本 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 不定冠詞・定冠詞 / 形容詞 / 主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展 (部分冠詞 / 縮約 / 目的語人称代名詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)
- * 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。

準備学習	特になし。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験（50%）と学年末試験（50%）の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト	藤田裕二著『パリのクール・ジャパン』（朝日出版社）本体2,500円＋税 ISBN978-4-255-35211-4
参考書	そのつど授業で指示します。

履修コード	298801 298802 298803
科目名	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	浜崎 設夫
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	一年を通してフランス語の初歩を勉強します。基礎文法の習得が第一の目標ですが、同時にフランス語圏の文化事情・社会事情への関心をひらくきっかけになればと考えています。
授業スケジュール	(1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2)~(15) 初級文法への誘い「導入編」：アルファベ・挨拶・自己紹介／動詞の活用／疑問文／名詞の性・数／形容詞 etc. (16)~(29) 初級文法への誘い「発展編」：比較級・最上級／動詞の活用／命令法／複合過去／直接目的語・間接目的語代名詞 etc. (30) 一年間のまとめ
準備学習	毎回、前回までの授業の内容を復習して臨むこと。
履修上の留意点	授業での積極的な参加・発言を期待しています。仏和辞典はかならず持参すること（初回の授業で紹介します）。
成績評価の方法	前期末授業内試験（50%）と学年末試験（50%）を基本として、出席状況・予習・発表内容・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書／テキスト	大田浩一、前田保他著『フランス語文法の《基礎》一新装版』駿河台出版社、2500円＋税 ISBN 978-4-411-00765-0 c1085
参考書	適宜紹介。
その他	NHK教育テレビのフランス語の番組の視聴をお勧めします。ラジオ放送もあります。

履修コード	289711 289712
科目名	フランス語ⅠA (選) フランス語ⅠA
担当者名	伊藤 なお
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。一年かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。
授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> (1) 受講上の諸注意／Alphabet (2) 発音の基礎 (3) 綴り字の読み方 (4) 数 (1~10)・フランス語で話してみよう (1) (5) 動詞êtreと-er動詞 (6) 疑問文 (1)・職業など (7) 名詞の性と数・不定冠詞と定冠詞 (8) 動詞avoirとvenir・疑問文 (2) (9) 形容詞の性と数・所有形容詞・フランス語で話してみよう (2) (10) 動詞aller・faire・指示形容詞 (11) 前置詞と定冠詞の縮約形・人称代名詞強勢形 (12) 近接未来・近接過去・国名と前置詞 (13) 否定文・否定の時のde・部分冠詞 (14) 非人称表現 (1) : 天気・月・数 (21~31)・曜日 (15) 理解度の確認 (16) 疑問形容詞quel・不規則動詞 (17) 命令形・時間の表現 (18) 複合過去 (1) (19) 複合過去 (2) (20) 補語人称代名詞 (直接目的語と間接目的語) (21) よく使う表現など (22) 代名動詞 (23) 中性代名詞 (24) 比較級・最上級 (25) 疑問代名詞 (26) 単純未来形・よく使う表現：位置について (27) 関係代名詞 (1)・受動態 (28) 関係代名詞 (2)・非人称表現 (2) (29) 半過去 (30) 理解度の確認
準備学習	特になし
履修上の留意点	毎回出席し、与えられる課題を必ずして授業に臨んでください。辞書は毎回持参して下さい。
成績評価の方法	前期末授業内試験(40%)+学年末試験(40%)+小テスト(10%)+夏休み課題(10%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書／テキスト	丸川誠司他『トーム・アン』(第三書房)2200円 ISBN978-4-2069-1
参考書	

履修コード	289701 289702
科目名	フランス語ⅠA (選) フランス語ⅠA
担当者名	桑田 禮彰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語初級。文法中心総合基礎クラス。文法を中心としながら、発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。まず発音の基本をしっかり説明・練習した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 受講上の諸注意/alphabet</p> <p>第2回 発音の基本(1)</p> <p>第3回 発音の基本(2)</p> <p>第4回 発音の基本(3)</p> <p>第5回 名詞の性と数</p> <p>第6回 冠詞</p> <p>第7回 主語人称代名詞</p> <p>第8回 動詞êtreとavoirの直説法現在</p> <p>第9回 否定形</p> <p>第10回 形容詞</p> <p>第11回 第1群規則動詞の直説法現在</p> <p>第12回 疑問形</p> <p>第13回 基数</p> <p>第14回 指示形容詞と所有形容詞</p> <p>第15回 動詞allerとvenirの直説法現在</p> <p>第16回 近接未来と近接過去</p> <p>第17回 縮約</p> <p>第18回 疑問形容詞と疑問代名詞</p> <p>第19回 第2群規則動詞の直説法現在</p> <p>第20回 比較級と最上級</p> <p>第21回 命令法と非人称表現</p> <p>第22回 目的語人称代名詞と強勢形人称代名詞</p> <p>第23回 複合過去と受動態</p> <p>第24回 関係代名詞と指示代名詞</p> <p>第25回 代名動詞</p> <p>第26回 単純未来</p> <p>第27回 半過去</p> <p>第28回 現在分詞とジェロンディフ</p> <p>第29回 条件法と接続法</p> <p>第30回 復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)</p> <p>* 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。</p>
----------	---

準備学習	毎回、しっかり授業の復習をしてください。ただし、教科書各課末のExercicesは予習しておくこと。そのためには、教科書各課本文の予習も必要です。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	太田浩一他著『フランス語文法の〈基礎〉——新装版——』駿河台出版社、2625円、ISBN978-4-411-00765-0 C1085
参考書	そのつど授業で指示します。

履修コード	270301
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	東 辰之介

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要) 問いかけと返事からなるシンプルな会話例から出発して、フランス語による初歩的なコミュニケーション能力を身につける。聞く、読む、話す、書くの4つの能力を偏りなく鍛えるためにさまざまな練習問題をこなしていくが、とりわけ受講者同士がペアで行う会話練習に力点を置く。 (到達目標) 日常生活に必要な行為をフランス語でこなすための表現を、関連する基本的な語彙・文法とともに習得することを到達目標とする。具体的には、挨拶、自己紹介、好き嫌いの表現、時や場所をたずねる表現などを身につける。また、数字、国籍、職業、言語名、食べ物・飲み物、趣味、科目、曜日、日用品などの基本的な語彙を覚えて文中で使えるようにする。そのために、基本的な動詞活用を覚え、冠詞の使い方や形容詞の変化といった文法もマスターする。</p>
---------------------	---

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講上の諸注意、アルファベ、綴り字と発音の決まり 2. 挨拶 3. 自己紹介 4. ある人についてたずねる 5. 名前をつづりを言う 6. 第1課 (1) 職業をたずねる 7. 第1課 (2) 練習 8. 第2課 (1) 国籍をたずねる 9. 第2課 (2) 練習 10. 第3課 (1) 何語を話すか言う 11. 第3課 (2) 練習 12. 第4課 (1) 好きなものを言う 13. 第4課 (2) 練習 14. 第5課 (1) 好き嫌いの程度を言い表す 15. 前期学習内容の理解度の確認 16. 第5課 (2) 練習 17. 第6課 (1) どちらが好きか理由を述べる 18. 第6課 (2) 練習 19. 第7課 (1) 科目について話す 20. 第7課 (2) 練習 21. 第8課 (1) 持っているものについて話す 22. 第8課 (2) 練習 23. 第9課 (1) ある場所について説明する 24. 第9課 (2) 練習 25. 復習問題 26. 第10課 (1) 何をするかたずねる 27. 第10課 (2) 練習 28. 第11課 (1) 趣味・余暇の過ごし方について話す 29. 第11課 (2) 練習 30. 後期学習内容の理解度の確認
----------	--

準備学習	<p>教科書の練習問題の一部を宿題として課すので、必ず家でやってくる。授業中に受講者が分担して黒板に解答を書く場合と、レポート用紙にまとめたものを各自提出する場合がある。また、前期2回、後期2回の書き取り小テストを予定しているので、この日に備えて単語のつづりを覚えておくこと。付属のCDを繰り返し聞いて、自分でも発音してみる。授業を欠席した場合は、宿題や小テストについての連絡がないか、YeStudyを見て確認すること。</p>
------	--

履修上の留意点	<p>単位修得には、補講を除く正規授業数の3分の2以上の出席が必要です。やむを得ない事情で欠席する場合は、その都度届け出てください。軽微な遅刻は3回で欠席1回とカウントしますが、30分以上の遅刻は1回で欠席とみなします。外国語学習を成功させるためには、何より学習時間をしっかり確保することが重要ですから、なるべく遅刻・欠席はしないようにしてください。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>小テストと課題提出 (50%)、前期末授業内試験 (25%)、学年末試験 (25%) を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。</p>
---------	--

教科書/テキスト	<p>『スピラール日本人初心者のためのフランス語教材』 (アシェット・ジャポン) 2,500円+税 ISBN978-2-01-155808-4</p>
----------	---

参考書	
-----	--

その他	<p>YeStudyを活用します。</p>
-----	-----------------------

履修コード	270901
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	東 辰之介

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>(授業概要)</p> <p>問いかけと返事からなるシンプルな会話例から出発して、フランス語による初歩的なコミュニケーション能力を身につける。聞く、読む、話す、書くの4つの能力を偏りなく鍛えるためにさまざまな練習問題をこなしていくが、とりわけ受講者同士がペアで行う会話練習に力点を置く。</p> <p>(到達目標)</p> <p>日常生活に必要な行為をフランス語でこなすための表現を、関連する基本的な語彙・文法とともに習得することを到達目標とする。具体的には、挨拶、自己紹介、好き嫌いの表現、時や場所をたずねる表現などを身につける。また、数字、国籍、職業、言語名、食べ物・飲み物、趣味、科目、曜日、日用品などの基本的な語彙を覚えて文中で使えるようにする。そのために、基本的な動詞活用を覚え、冠詞の使い方や形容詞の変化といった文法もマスターする。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講上の諸注意、アルファベ、綴り字と発音の決まり 2. 挨拶 3. 自己紹介 4. ある人についてたずねる 5. 名前のつづりを言う 6. 第1課 (1) 職業をたずねる 7. 第1課 (2) 練習 8. 第2課 (1) 国籍をたずねる 9. 第2課 (2) 練習 10. 第3課 (1) 何語を話すか言う 11. 第3課 (2) 練習 12. 第4課 (1) 好きなものを言う 13. 第4課 (2) 練習 14. 第5課 (1) 好き嫌いの程度を言い表す 15. 前期学習内容の理解度の確認 16. 第5課 (2) 練習 17. 第6課 (1) どちらが好きか理由を述べる 18. 第6課 (2) 練習 19. 第7課 (1) 科目について話す 20. 第7課 (2) 練習 21. 第8課 (1) 持っているものについて話す 22. 第8課 (2) 練習 23. 第9課 (1) ある場所について説明する 24. 第9課 (2) 練習 25. 復習問題 26. 第10課 (1) 何をするかたずねる 27. 第10課 (2) 練習 28. 第11課 (1) 趣味・余暇の過ごし方について話す 29. 第11課 (2) 練習 30. 後期学習内容の理解度の確認
----------	--

準備学習	教科書の練習問題の一部を宿題として課すので、必ず家でやってくる。授業中に受講者が分担して黒板に解答を書く場合と、レポート用紙にまとめたものを各自提出する場合がある。また、前期2回、後期2回の書き取り小テストを予定しているので、この日に備えて単語のつづりを覚えておくこと。付属のCDを繰り返し聞いて、自分でも発音してみる。授業を欠席した場合は、宿題や小テストについての連絡がないか、YeStudyを見て確認すること。
------	---

履修上の留意点	単位修得には、補講を除く正規授業数の3分の2以上の出席が必要です。やむを得ない事情で欠席する場合は、その都度届け出てください。軽微な遅刻は3回で欠席1回とカウントしますが、30分以上の遅刻は1回で欠席とみなします。外国語学習を成功させるためには、何より学習時間をしっかり確保することが重要ですから、なるべく遅刻・欠席はしないようにしてください。
---------	--

成績評価の方法	小テストと課題提出 (50%)、前期末授業内試験 (25%)、学年末試験 (25%) を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。
---------	---

教科書/テキスト	『スピラール-日本人初心者のためのフランス語教材』(アシェット・ジャポン) 2,500円+税 ISBN978-2-01-155808-4
----------	--

参考書	
-----	--

その他	YeStudyを活用します。
-----	----------------

履修コード	352201
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	木下 雄介

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語の基本文法を習得する。
授業スケジュール	教科書の章立てにそって授業を行います。 第1回 全般的な説明、辞書の紹介、発音。 第2回 発音練習の続き。 第3回～第30回 2回で1課のペースで授業を進める。
準備学習	予習のさいには、きちんと辞書をひき、単語の意味ばかりでなく、品詞名や構文といった文法的な事項もノートに記入しておくこと。
履修上の留意点	初めて学ぶ外国語ですから、もちろん予習復習が必要です。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりなので、きちんと勉強していれば、修得は難しくありません。学生諸君の努力に期待します。
成績評価の方法	前期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。
教科書/テキスト	石川・清水・須長・中川『ゆっくりいそげフランス語』(弘学社、2400円+消費税、ISBN978-4-902964-32-5 C1085)
参考書	仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は初心者には向かないので使用しないこと。 ・『ジュネス仏和辞典』(大修館) ・『クラウン仏和辞典』(三省堂) ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)

履修コード	270501
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	桑田 禮彰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語初級。総合基礎クラス。文法・発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。まず発音の基本をしっかり説明・練習した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
---------------------	---

授業スケジュール	<p>第1回 受講上の諸注意/alphabet</p> <p>第2回 発音の基本(1)</p> <p>第3回 発音の基本(2)</p> <p>第4回 発音の基本(3)</p> <p>第5回 ぼくたち親友なんだ！ (主語人称代名詞/etreの直説法現在)</p> <p>第6回 これはなに？ (名詞の性と数/不定冠詞/avoirの直説法現在/形容詞の性と数)</p> <p>第7回 切符がない… (定冠詞/第1群規則動詞の直説法現在/否定文)</p> <p>第8回 この列車は直通だ！ (指示形容詞/強勢形人称代名詞)</p> <p>第9回 バリから来ました。 (aller・venirの直説法現在/疑問文/命令文)</p> <p>第10回 君たち、何歳なの？ (疑問形容詞/所有形容詞/基数詞(1))</p> <p>第11回 のど、からから…、おなか、ぺこぺこ… (部分冠詞/第2群規則動詞の直説法現在)</p> <p>第12回 お手伝いできます。 (非人称構文/直接目的語人称代名詞)</p> <p>第13回 ご案内いたします。 (間接目的語人称代名詞/代名動詞)</p> <p>第14回 聞いてみましょう…(1) (近接未来/近接過去)</p> <p>第15回 聞いてみましょう…(2) (中性代名詞en)</p> <p>第16回 君より速いぞ！(1) (比較級/最上級)</p> <p>第17回 君より速いぞ！(2) (序数詞)</p> <p>第18回 よく働いてくれたわね。(1) (過去分詞)</p> <p>第19回 よく働いてくれたわね。(2) (複合過去)</p> <p>第20回 ぼくが生まれたのは…(1) (中性代名詞y)</p> <p>第21回 ぼくが生まれたのは…(2) (基数詞(2))</p> <p>第22回 さっきから海の音が聞こえていたよ。(1) (半過去)</p> <p>第23回 さっきから海の音が聞こえていたよ。(2) (大過去)</p> <p>第24回 夏にまた来るぞ。(1) (単純未来)</p> <p>第25回 夏にまた来るぞ。(2) (前未来)</p> <p>第26回 そうできれば、すばらしい。(1) (条件法現在)</p> <p>第27回 そうできれば、すばらしい。(2) (条件法過去)</p> <p>第28回 言葉を学ばなくてはね。 (接続法)</p> <p>第29回 写真を送ります… (関係代名詞/強調構文)</p> <p>第30回 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)</p> <p>* 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。</p>
----------	---

準備学習	毎回、しっかり授業の復習をしてください。ただし、教科書各課末のExercicesは予習しておくこと。そのためには、教科書各課本文の予習も必要です。
------	---

履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
---------	--

成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	小笠原洋子著『ピエールとユゴー』(白水社) 本体2,500円+税 ISBN978-4-560-06100-8
----------	--

参考書	そのつど授業で指示します。
-----	---------------

履修コード	270201
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	谷川 かおる
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初歩的な会話を覚えながら、フランス語初級文法を習得する。
授業スケジュール	第1回 フランス語の歴史。発音の第一歩 第2回 発音の規則 第3回 初めての挨拶 第4回 カフェでの注文の仕方 第5-6回 国籍・職業の言い方、聞き方 第7-8回 家族、好きなものの言い方 第9-10回 年齢の言い方、紹介の仕方 第11回 着ている服は？ 第12-13回 誉める表現 第14回 どこに行く？ 第15回 理解度の確認 第16-17回 どうやって行く？ 第18-19回 道の聞き方 第20-21回 部分冠詞の使い方 第22-23回 時間の表現 第24-25回 過去の表現 (1) 第26-27回 過去の表現 (2) 第28-29回 過去の表現 (3) 第30回 理解度の確認
準備学習	宿題をやってくること。
履修上の留意点	必ず仏和辞典持参で出席すること。積極的に参加・発言すること。
成績評価の方法	前期末授業内試験 (50%) と学年末試験 (50%) を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版社、ISBN4-86042-052-9 C3085 2400円
参考書	

履修コード	270401
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	谷川 かおる
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初歩的な会話を覚えながら、フランス語初級文法を習得する。
授業スケジュール	第1回 フランス語の歴史。発音の第一歩 第2回 発音の規則 第3回 初めての挨拶 第4回 カフェでの注文の仕方 第5-6回 国籍・職業の言い方、聞き方 第7-8回 家族、好きなものの言い方 第9-10回 年齢の言い方、紹介の仕方 第11回 着ている服は？ 第12-13回 誉める表現 第14回 どこに行く？ 第15回 理解度の確認 第16-17回 どうやって行く？ 第18-19回 道の聞き方 第20-21回 部分冠詞の使い方 第22-23回 時間の表現 第24-25回 過去の表現 (1) 第26-27回 過去の表現 (2) 第28-29回 過去の表現 (3) 第30回 理解度の確認
準備学習	宿題をやってくること。
履修上の留意点	必ず仏和辞典持参で出席すること。積極的に参加・発言すること。
成績評価の方法	前期末授業内試験 (50%) と学年末試験 (50%) を基本にし、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版社、ISBN4-86042-052-9 C3085 2400円
参考書	

履修コード	270601
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	遠山 博雄

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語の文法の初歩を重ねて学び、それを応用して簡単なスケッチを読み取り、発音すること。
---------------------	---

授業スケジュール	(1～7) 授業方針の説明、音の単位の紹介、発音の基礎。名前・国籍・職業・年齢・家族・好きな物・持ち物をいう。友達についていう。(8～15) 尋ねる。近い過去・未来をいう。時間・天候をいう。数量を表す。紹介する。(16～24) 一日を語る。頼む・命令する。未来のことを語る。過去のことを語るⅠ。(25～30) 過去のことを語るⅡ。人やものについて語る。比較する。受身の形を使う。//はじめに詳しい説明をします。その後、練習問題や本文に各自取り組みます。
----------	--

準備学習	宿題をやってくること。
------	-------------

履修上の留意点	必ず仏和辞典持参で出席すること。声を出すこと。
---------	-------------------------

成績評価の方法	3回の筆記試験(40点+25点+35点)をします。さらに、最終的に平常点を考慮します。
---------	---

教科書/テキスト	藤田裕二他:『新・東京-パリ、初飛行[新装改訂版]』、駿河台出版社、2,200円+税、ISBN 978-4-411-01114-5 C1085
----------	---

参考書	
-----	--

その他	最初の授業で辞書のガイダンスをします。
-----	---------------------

履修コード	270101
科目名	フランス語ⅠB
担当者名	長谷川 光明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語初級。総合基礎クラス。文法・発音・解釈・会話・練習問題・文化的説明など総合的に指導・学習が行なわれます。
---------------------	---

授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。 (1)受講上の諸注意/alphabet (2)～(4)発音の基本 (5)～(15)文法の基礎(名詞の性・数/不定冠詞・定冠詞/形容詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在など) (16)～(29)文法の発展(部分冠詞/縮約/目的語人称代名詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し) *毎回、発音練習・練習問題を行ないます。
----------	---

準備学習	特になし。
------	-------

履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
---------	--

成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	藤田裕二著『パリのクール・ジャパン』(朝日出版社)本体2,500円+税 ISBN978-4-255-35211-4
----------	---

参考書	そのつど授業で指示します。
-----	---------------

コード	299801	299802	299803
名	フランス語IIA	フランス語IIB	フランス語IIC (会話) [再クラス]
名	東 辰之介		

概要/ (ねらい)
(授業概要)
 文法学習と表現練習をバランスよく組み合わせ、フランス語の初歩的な知識を確実なものとする。使用する教科書は各課4ページからなっており、文法説明、文法練習問題、対話文の読解、表現練習の順に進んでいく。フランスの文化や社会に関するコラムについて、補足説明をする。
(到達目標)
 初級文法を最初から復習してこれまでの知識を整理すると同時に、基本的な表現や語彙を数多く覚えることによって、フランス語学習を継続するために必要となる土台を形成する。そのためには、受動的な態度で授業に出席するのではなく、辞書を引き、練習問題を解き、フランス語の音に耳を澄まし、会話例を声に出して読み、あるいは受講者同士で会話練習をし、単語や文をくり返しノートに書いて覚えるといった、積極的な学習態度が不可欠である。

- ジュール**
1. 受講上の諸注意、アルファベ、綴り字と発音の決まり
 2. 第1課 (1) 名詞、冠詞
 3. 第1課 (2) 挨拶する
 4. 第2課 (1) 主語人称代名詞、être
 5. 第2課 (2) 自己紹介する
 6. 第3課 (1) avoir、疑問文
 7. 第3課 (2) 持ち物・年齢・趣味をいう
 8. 第4課 (1) 第一群規則動詞、疑問詞
 9. 第4課 (2) 尋ねる
 10. 第5課 (1) 形容詞、指示形容詞
 11. 第5課 (2) ものや人を提示する・説明する
 12. 第6課 (1) aller、venir
 13. 第6課 (2) 夏休みの予定をいう
 14. 第7課 (1) 第二群規則動詞、直説法複合過去
 15. 前期学習内容の理解度の確認
 16. 第7課 (2) バカンスの報告をする
 17. 第8課 (1) 非人称表現、命令法
 18. 第8課 (2) 鉄道に乗る・時刻を聞く・頼む
 19. 第9課 (1) 目的語人称代名詞、中性代名詞
 20. 第9課 (2) 贈り物を考える
 21. 第10課 (1) 代名動詞
 22. 第10課 (2) 日常の行動をいう
 23. 第11課 (1) 関係代名詞
 24. 第11課 (2) 旅した国について話す
 25. 第12課 (1) 直説法半過去
 26. 第12課 (2) 過去を語る
 27. 第13課 (1) 直説法単純未来
 28. 第13課 (2) 未来の計画を語る
 29. 第14課 (1) 条件法現在
 30. 後期学習内容の理解度の確認

学習
 教科書の練習問題の一部を宿題として課すので、必ず家でやってくる。授業中に受講者が分担して解答を言う(黒板に書く)場合と、レポート用紙にまとめたものを各自提出する場合があります。また、前期2回、後期2回の確認小テストを予定しているため、この日に備えてよく復習しておくこと。付属のCDを繰り返し聞いて、自分でも発音してみる。授業を欠席した場合は、宿題や小テストについての連絡がないか、YeStudyを見て確認すること。

留意点
 単位修得には、補講を除く正規授業数の3分の2以上の出席が必要です。やむを得ない事情で欠席する場合は、その都度届け出てください。軽微な遅刻は3回で欠席1回とカウントしますが、30分以上の遅刻は1回で欠席とみなします。外国語学習を成功させるためには、何より学習時間をしっかり確保することが重要ですから、なるべく遅刻・欠席はしないようにしてください。

評価の方法
 小テストと課題提出(50%)、前期末授業内試験(25%)、学年末試験(25%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

テキスト
 『エスカパード! フランス語への旅』(駿河台出版社) 2,500円+税 ISBN978-4-411-01115-2

参考書
 仏和辞典が必要です。初回授業から必ず持ってきてください。

その他
 YeStudyを活用します。

目標ですが、同時です。

目を通して各自の疑問(初回の授業で紹介)授業への積極的な参

00-8

履修コード	299701 299702 299703
科目名	フランス語IIA フランス語IIB フランス語IIC (会話) [再クラス]
担当者名	今関 アン

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) まとまった量の仏文を読むだけの文法知識と読解力を身につけ、あわせて表現・聴き取り・会話などフランス語運用能力全般を練習問題会話練習などを通して高めていく。使用するテキストは最新のフランスの現状を扱っているので、フランスに関する基礎的な知識も得られるであろう。
---------------------	---

(到達目標)
ある程度の難易度をそなえた仏文を読解できる文法的知識を獲得し、表現・会話・聴き取りなどフランス語検定試験3級から4級程度の能力を身につける。

授業スケジュール	前期：(1) ガイダンス (2) L.0. フランス、発音 (3-4) L.1. フランスのオタク (5-6) L.2. ヴィトンとコングロマリット (7-8) L.3. スポーツ (9-10) L.4. 移民 (11-12) L.5. フレンチ・ポップ (13-14) L.6. PACS (15) 前期のまとめ 後期：(1-2) L.7. フランス映画 (3-4) L.8. 共和主義か多文化主義か? (5-6) L.9. バカロレア (7-8) L.10. 仕事と余暇 (9-11) L.11. 料理 (12-13) フランス語圏世界 (14) 日本のイメージ (15) 後期のまとめ
----------	--

準備学習	YeStudyに予習範囲、宿題、課題など随時告知するから、必ず確認して該当箇所の単語調べ、練習問題などを予習しておくこと。
------	---

履修上の留意点	課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。 前週欠席者もYeStudyに予習範囲と宿題を告知しておくので、欠席したといういわけは一切認めない。
---------	---

成績評価の方法	平常点 (小テスト、授業中の訳読、作文、会話など) 40%+定期テスト60%
---------	--

教科書/テキスト	『マルチコロール』福島祥行、鈴木田研二著 青山社、2300円 ISBN9784-88179-139-4
----------	--

参考書	
-----	--

履修コード	355901 355902
科目名	フランス語IIA フランス語IIB [再クラス]
担当者名	桑田 禮彰

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語IIの再クラス。初級文法の重要ポイントを丁寧に復習しながら、簡単な会話表現を覚えつつ、20世紀最大の小説家と言われるプルーストの平易な文章を読んでいきます。フランス語の読解力の基礎を身に着けることを目標にします。
---------------------	---

授業スケジュール	はじめの数回は、ウォーミングアップとして、特に文法事項の確認、会話表現の習得に力を入れながら、プルーストを読むための準備となるように、フランス、パリ、フランス語など、そしてプルーストについて解説した簡単な文章を読みます。その上で、プルースト自身の小説、エッセイ、書簡から選ばれた平易で魅力的な文章を味わっていきましょう。
----------	--

第1回	受講上の諸注意
第2回	Géographie de la France
第3回	Lutèce
第4回	Paris d'aujourd'hui
第5回	La province
第6回	Le langage et la langue
第7回	Proust à l'écran
第8回	Qui est Proust?
第9回	Avoir un jardin est une douce chose (1)
第10回	Avoir un jardin est une douce chose (2)
第11回	Lettre à Louisa de Mornand I (1)
第12回	Lettre à Louisa de Mornand I (2)
第13回	La mer (1)
第14回	La mer (2)
第15回	Questionnaire Marcel Proust (1)
第16回	Questionnaire Marcel Proust (2)
第17回	Lettre à Louisa de Mornand II (1)
第18回	Lettre à Louisa de Mornand II (2)
第19回	Lettre au comte Robert de Montesquiou-Fezensac (1)
第20回	Lettre au comte Robert de Montesquiou-Fezensac (2)
第21回	Gilberte aux Champs-Élysées I (1)
第22回	Gilberte aux Champs-Élysées I (2)
第23回	Gilberte aux Champs-Élysées II (1)
第24回	Gilberte aux Champs-Élysées II (2)
第25回	Mémoire involontaire (1)
第26回	Mémoire involontaire (2)
第27回	Mémoire involontaire (3)
第28回	Marcel Proust par lui-même (1)
第29回	Marcel Proust par lui-même (2)
第30回	復習と今後の学習について

準備学習	授業開始前は、初級の授業の復習をしておくこと。毎回の授業のためには予習が必要です。予習の仕方については、初回の授業で詳しく指示します。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	前期末授業内試験(50%)と学年末試験(50%)の結果を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	保苅瑞穂他著『マルセル・プルースト初級読本』朝日出版社、1529円、ISBN4-255-35055-8
参考書	そのつど授業で指示します。

履修コード	299601 299602 299603
科目名	フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	畑中 千晶
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	やさしいフランス語で書かれた笑話を読みます。日本語に訳す必要はありません。どのような人物が出てきて、何が起こったのか、結果は、というように、物語の流れをつかみ取る読み方を目指します。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。
授業スケジュール	(1) ガイダンス/L1 (2)～(6) L2-4 (7) 復習 (8)～(13) L5-7 (14)～(15) 復習/発展項目 (16) 課題提出/L8 (17)～(21) L9-11 (22) 復習 (23)～(27) L12-14 (28)～(30) 復習/発展項目
準備学習	ほぼ毎回、それほど負担にはならない分量で宿題を出します。それに取り組むほかは、特別な準備は要りません。
履修上の留意点	①毎回、仏和辞典を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わりに宿題を出します(平常点としてカウント)。
成績評価の方法	前期末試験30%、学年末試験30%、宿題30%、夏休みの課題10%を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
教科書/テキスト	リリアンス・ラタンジオ/村松定史『小さなコント』(駿河台出版社)1,800円+税
参考書	西村牧夫・曾我祐典・田高宏『コレクション フランス語3 文法』1990年刊(白水社)
その他	YeStudyに授業実施内容、宿題等の情報を随時掲載していく予定です。

履修コード	271611
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	小黒 昌文
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	初級から中級への橋渡しのクラスです。フランス語で書かれた文章の読解を中心としながら、すでに学習した文法事項を復習し、文法の基礎固めと運用能力向上を目指します。フランスの風土・文化・歴史についての関心を深める契機としてください。
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> (1) ガイダンス：履修上の注意事項 (2) フランス人の朝食 カフェとクロワッサン (前) (3) フランス人の朝食 カフェとクロワッサン (後) (4) 初級文法の復習 [1] (5) フランス人流あいさつのABC (前) (6) フランス人流あいさつのABC (後) (7) 初級文法の復習 [2] (8) 笑う牛 フランス最初のオリジナルチーズブランド (前) (9) 笑う牛 フランス最初のオリジナルチーズブランド (後) (10) 初級文法の復習 [3] (11) 雄鶏 フランスの象徴 (前) (12) 雄鶏 フランスの象徴 (後) (13) 初級文法の復習 [4] (14) 印象派 (15) 前期のまとめ (16) グラン・ゼコール フランスの教育システム (前) (17) グラン・ゼコール フランスの教育システム (後) (18) ジェロントディフと現在分詞 (19) セルジュ・ゲンズブール 反抗する音楽 (前) (20) セルジュ・ゲンズブール 反抗する音楽 (後) (21) 中性代名詞 y, en, le (22) ヴィクトール・ユゴーのプレゼンス (前) (23) ヴィクトール・ユゴーのプレゼンス (後) (24) 条件法現在と条件法過去の形と用法 (25) 犬と猫 ペットをめぐる諸事情 (前) (26) 犬と猫 ペットをめぐる諸事情 (後) (27) 接続法現在の形と用法 (28) ポール・アンブロワ フランス版職業安定所 (前) (29) ポール・アンブロワ フランス版職業安定所 (後) (30) 一年間のまとめ
準備学習	読解に際しては初級文法の知識と柔軟な運用能力が求められます。これまでに学習した内容を十分に復習しておいてください。
履修上の留意点	授業での積極的な発言を期待します。仏和辞典は必ず持参すること。
成績評価の方法	前期末授業内試験 (50%) と学年末試験 (50%) を基本として、出席状況・授業への積極的な参加などを含めて総合的に評価します。
教科書/テキスト	Denis C. MEYER 著、北村卓編著『フランスを読み解く鍵 第1巻』アシェット・ジャポン、1800円+税 ISBN 9784860958008
参考書	適宜紹介します。

履修コード	352501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	木下 雄介
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。
授業スケジュール	平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。 第1回 テキストの紹介・全般的な説明。 第2回～第30回 説明をまじえながら、テキストを読み進める。
準備学習	予習のさいには、きちんと辞書をひき、単語の意味ばかりでなく、品詞名や構文といった文法的な事項もノートに記入しておくこと。
履修上の留意点	予習復習が必要なのは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、前期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書／テキスト	最初の授業のときにプリントを配布します。
参考書	

履修コード	271501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	菅谷 暁
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化について理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。
授業スケジュール	教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課ありますが、1年30回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。
準備学習	担当者だけでなく、全員がある程度の予習をしておいてください。
履修上の留意点	
成績評価の方法	前期末(40%)と後期末(60%)の試験によります。
教科書／テキスト	ポームルー著『セレクション・時事フランス語Ⅲ』(朝日出版社)1,890円
参考書	

履修コード	271601
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	今関 アン

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	(授業概要) 1年次に学んだ事項を確認しながら、ディクテ(聴き取り)を中心に実践的なフランス語運用能力(仏検4級レベル)を身につけていく。ディクテの内容は「フランスの祭り」「生活」「食文化」など文化的テーマを扱い、フランス語のみならずフランスそのものを知る点でも有意義である。各課毎に特定の文法事項の定着を図る。
---------------------	---

(到達目標)
フランス語運用能力の向上、フランス語とフランス文化の深い理解を目標とする。

授業スケジュール	前期 (1) アンケート、ガイダンス、席決め (2-3) 発音、L. 1. 名詞・形容詞 (4-5) L. 2. 動詞の活用 (6-7) L. 3. 冠詞 (8-9) L. 4. 前置詞 (10-11) L. 5. 複合過去・半過去 (12-14) L. 6. 疑問詞 (15) 前期まとめ 後期 (1-2) L. 7. 目的語人称代名詞 (3-4) L. 8 単純未来 (5-6) L. 9. 量をいう表現 (7-8) L. 10. 比較級・最上級 (10-11) L. 11. 受動態 (12-14) L. 12. 条件法現在 (15) 後期まとめ
----------	---

準備学習	練習問題を自宅でやっておくこと、次週に答え合わせをする。 聴き取りや読解に自信がない場合は、ディクテ箇所を予め聞いたり、単語調べをしておくことよ
------	---

履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・YeStudyを通して告知することが多いので、各自アクセス方法に習熟しておいて下さい。 ・最初に文法事項を説明してからディクテを行う。一課毎に簡単な試験(文法、内容把握、聴き取りなど)を行い、学習事項の習得を確認する。 ・聴き取り(ディクテ)が中心の授業なので、必ず自宅でCDを聴き、フランス語の音に慣れること。 ・教室には仏和辞典持参。
---------	---

成績評価の方法	前・後期試験(30%+30%)、授業内小テストを含む平常点(40%)の合計点で60点以上を単位修得とする。
---------	---

教科書/テキスト	『シヴィ・ラングーディクテ中心に学ぶフランス語と文化-』, Michel Sagaz, 中里まき子著, 駿河台出版社, 2500円
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	271801 271802
科目名	フランス語IID フランス語IIB
担当者名	伊藤 なお

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>少なくとも一年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生が対象です。フランス語の読解に関しては、初級文法の復習と未習の文法事項を学習しながら、平易に書かれた対話文と時事的文章を読みます。さらに後期後半からは子供用に書かれたフランスの新聞を読みます。一年の学習の後に、簡単な内容なら辞書を使わずともテーマと概要を把握でき、難易度が多少高い場合には辞書を用いてフランス語を正しく理解できるようにします。題材としては、今日のフランスが抱えるさまざまな問題を取り上げ、フランスの社会が置かれている状況についての理解を深めます。テーマによってはできるだけ詳しい情報を提供したいと考えています。</p> <p>これと並行して、フランス語検定試験の準備をします。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> (1) 受講上の諸注意/綴り字と発音・動詞現在形の復習 (2) パリに部屋を借りる・疑問代名詞の復習 (3) パリ住宅事情 (4) デモ風景・目的語人称代名詞 (ふたつの場合) (5) デモとストライキ (6) お家パーティー・代名動詞複合過去の復習 (7) パリの騒音・複合過去と半過去の復習 (8) ヴァカンス事情・単純未来の復習と前未来 (9) 多発する盗難 (1)・中性代名詞の復習 (10) 多発する盗難 (2) (11) 演劇祭・比較級と最上級、関係代名詞の復習 (12) 演劇従事者・強調構文 (13) パリの嵐・条件法 (14) 地球温暖化 (15) 理解度の確認 (16) 夏休み宿題解説 (17) パリのカフェ・接続法 (18) PACS (連帯の民事契約) (19) 郊外問題・現在分詞とジェロンディフ (20) ラインテ (非宗教性) (以後、新聞購読とフランス語検定試験の準備) (21) 大統領選 (1) (22) 大統領選 (2) (23) 荒れる学校と教員のストライキ (24) 若者の同棲 (1) (25) 若者の同棲 (2) (26) 女性の地位 (1) (27) 女性の地位 (2) (28) 家族事情 (1) (29) 家族事情 (2) (30) 理解度の確認
----------	--

準備学習	可能なら、1年次の文法の復習
------	----------------

履修上の留意点	<p>単に辞書を引いて訳すだけでなく、CDを活用して何度も声に出して読むこと、さらに対話文などはテキストを見ずにCDと一緒に発話する(シャドーイング)練習を自宅でも怠らずにしてください。また難しい訳しにくい箇所は予め自分できちんと日本語に訳してから授業に臨んで下さい。授業に必ず出席するのは当然のこと、予習も全員必須です。辞書は必ず持って来て下さい。電子辞書は避けるようにして下さい。</p>
---------	--

成績評価の方法	前期末授業内試験(35%)+学年末試験(35%)+諸課題(30%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し総合的に評価します。
---------	--

教科書/テキスト	北山研二著『レサマン』(朝日出版社 2400円+税) ISBN4-255-35175-9 その他プリント使用
----------	---

参考書	
-----	--

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	ラリア・三倉 M.
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。
授業スケジュール	あくまで全くの初心者にフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。 (1) Alphabet/興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2) ~ (4) Leçon 1 (5) ~ (7) L2 (8) ~ (10) L3 (11) ~ (13) L4 (14) ~ (16) L5 (17) ~ (19) L6 (20) ~ (22) L7 (23) ~ (25) L8 (26) ~ (28) L9 (29) ~ (30) L10
準備学習	特になし。
履修上の留意点	授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
成績評価の方法	成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。
教科書/テキスト	高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドウ・クール』第三書房 ISBN 4-8086-2136-3
参考書	

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	ラリア・三倉 M.
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。
授業スケジュール	ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。 (1) 受講上の諸注意/à l'Aéroportの1回目 (2) ~ (4) à l'Aéroport (5) ~ (7) à l'hôtel (8) ~ (10) Paris, la nuit (11) ~ (13) Au café (14) ~ (16) Le train (17) ~ (19) Le téléphone (20) ~ (22) invitations (23) ~ (25) les courses (26) ~ (28) Au Restaurant (29) ~ (30) まとめと復習
準備学習	特になし。
履修上の留意点	授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
成績評価の方法	試験はいたしません。通常評価で採点します。
教科書/テキスト	教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。
参考書	

履修コード	287001
科目名	フランス語スキルアップ
担当者名	遠山 博雄
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	既習のフランス語の知識を確認しながら、きちんとした発音と基礎的な文字表現力を身につけること。(初級文法の復習授業ではありません。)
授業スケジュール	(1~7) 自分と家族を紹介する; 街を紹介する; 趣味についてのアンケート; (8~15) 日本の行事を紹介する; 過去の出来事を語る; クラブ活動を紹介する; レシピを書く; (16~23) 観光案内; お土産を勧める; 日本の習慣について助言する; (24~30) より高度な作文へのステップ; 人物について話す; 留学について問い合わせる。
準備学習	宿題が出たらやってくる。留学・仏検受験準備などのため希望者には書き取り(ディクテ)を行うので、受ける場合には課題文を暗記して書けるようにすること。
履修上の留意点	続けて出席すること。(既使用の)文法教科書持参が望ましい。
成績評価の方法	平常点(出席点にあらず)を原則とし、総合的に評価します。
教科書/テキスト	足立和彦他:『ブリュム・ア・ラ・マン!』、駿河台出版社、1、800円+税、 ISBN 978-4-411-01168-8
参考書	

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	上田 倫史

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>授業では次のようなことを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パワーポイントを使い、プレゼンテーションを行う技術を身につける。 2. インターネットを活用し、情報を検索する能力を身につける。 3. ワードを使って、レポートなどを書く英語力を身につける。 4. ビデオやDVDを活用し、リスニング力を向上させる。 <p>具体的には、自己紹介を英語で行ったり、グループで観光地のプレゼンテーションなどをおこなったり、英語での質疑応答の練習を行う。また、DVDの内容に関する聞き取りなども行う。第1週はオリエンテーションをおこない、第2週以降は、それぞれの課題に一人で、あるいはグループで取り組んでもらうこととなる。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. self-introduction 3. introducing partners (パートナーを紹介する) (1) 4. introducing partners (パートナーを紹介する) (2) 5. Direction (1) 6. Direction (2) 7. Direction (3) 8. Explanation: hometown 9. Explanation: hometown 10. Explanation: hot spots (1) 11. Explanation: hot spots (2) 12. Explanation: hot spots (3) 13. Explanation: hot spots (4) 14. 予備 15. 予備 16. Explanation of personal experience (1) 17. Explanation of personal experience (2) 18. Explanation of personal experience (3) 19. Description (1) 20. Description (2) 21. Description (3) 22. Description (4) 23. Description (5) 24. Explanation of process (1) 25. Explanation of process (2) 26. Explanation of process (3) 27. Explanation of process (4) 28. Explanation of process (5) 29. 予備 30. 予備
----------	---

準備学習	授業中の活動に向けた、準備をする事が要求されます
履修上の留意点	3分の1以上欠席をすると単位は認定されないため注意すること
成績評価の方法	授業中の活動 (30%)、試験 (プレゼンテーション等を含む) (40%)、課題 (30%)
教科書/テキスト	
参考書	

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	梅原 敏弘
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	映画の中で使われている英語表現を勉強することによって、実用的な英語力の向上を目指します。
授業スケジュール	<p>[授業内容]</p> <p>映画を見ながら場面ごとに字幕を筆写し、そこで使われている英語表現を勉強します。セリフの理解と有用表現の作文練習が中心となります。</p> <p>今年度はアメリカ映画 ON GOLDEN POND を取り上げる予定。</p> <p>[授業スケジュール]</p> <p>前期：第1週 オリエンテーション 第2週-14週 映画前半部分のセリフの筆写と理解及び有用表現演習 第15週 前期試験</p> <p>後期：第16週-24週 後半部分のセリフの筆写と理解及び有用表現演習 第30週 後期試験</p>
準備学習	特になし
履修上の留意点	セリフの筆写を毎回行わなければならないので、欠席すると授業についていけなくなります。 【受講制限について】 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。初回の授業で受講の可否を判定しますので、必ず出席すること。
成績評価の方法	前期試験、後期試験を中心に、授業への積極的参加、出席状況等をも考慮に入れて成績評価をします。
教科書／テキスト	使用しません。
参考書	

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	落合 和昭

授業概要/到達目標 (ねらい)
 授業では、主として、前期では、リスニングを中心として、基礎的な現代口語英語の表現を学び、後期では、それを土台として、映画を見ながら、映画台本を通して、さらに、高度な口語表現を学ぶ。授業は、主として、三段階からなる。第一段階として、テキストの箇所ミニ・テストを通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする。そのため、このクラスに副タイトルを付けると、「日常会話から映画の英語へ」ともなるだろう。
 到達目標としては、英語の中級から上級(二級、準一級、一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞(せりふ)を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許せば、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

授業スケジュール 年間の授業計画は次の通りである。

第一回	オリエンテーション	第十六回	『映画』 UNIT 1
第二回	『口語』 第1課	第十七回	『口語』 14
第三回	『口語』 2	第十八回	『映画』 UNIT 2
第四回	『口語』 3	第十九回	『口語』 15
第五回	『口語』 4	第二十回	『映画』 UNIT 3
第六回	『口語』 5	第二十一回	『口語』 16
第七回	『口語』 6	第二十二回	『映画』 UNIT 4
第八回	『口語』 7	第二十三回	『口語』 17
第九回	『口語』 8	第二十四回	『映画』 UNIT 5
第十回	『口語』 9	第二十五回	『口語』 18
第十一回	『口語』 10	第二十六回	『映画』 UNIT 6
第十二回	『口語』 11	第二十七回	『口語』 19
第十三回	『口語』 12	第二十八回	『映画』 UNIT 7
第十四回	『口語』 13	第二十九回	『口語』 20
第十五回	『口語』 前期のまとめ	第三十回	『映画』 UNIT 8, 9, 10のまとめ

※ 上述の『口語』は使用テキスト『話すためのコミュニケーションのための口語ヒヤリング』、『映画』は「映画総合教材『アバウト・ア・ボーイ』」を指す。

準備学習	翌週のテキストの箇所を、わからない単語や表現があれば、必ず、辞書を引き、意味を明らかにしておくこと。また、音読することも忘れないこと。ほぼ毎回、クラスの初めに、まず前もって、その日の課の小テストを行うので、必ず、予習をしておくこと。
履修上の留意点	このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生は、このクラスを受講できない可能性がある。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。なお、クラスでは、リスニングは毎回行う。
成績評価の方法	「前期のまとめ」は20%、「後期のまとめ」20%、「授業」(課題、小テスト、授業中の発表等)は60%とする。
教科書/テキスト	1) 山口俊治 『話すための口語英語リスニング』 成美堂 1, 800円 ISBN978-4-7919-4560-3 C1082 2) Peter Hedges 「映画総合教材『アバウト・ア・ボーイ』」 松柏社 2, 1000円 ISBN978-4-88198-6431 C3082
参考書	

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	白鳥 義博

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>外国語で表現されたものがわかるとは、いったいどのようなことなのだろうか。本授業では、英語のさまざまなメッセージを理解し、楽しむために必要な知識と技法を、多角的に追及する。具体的には、難易度の高い英語の文章(小説やエッセイなど)を読解して情報を役立てるトレーニングや、英米人が日常的に楽しんでいる言語を使った芸術作品(映画や音楽など)を、彼らと同じ様に鑑賞するトレーニングを行う。したがって、森羅万象さまざまなトピックへの知的好奇心が旺盛であることが受講と単位取得への最低条件となる。内容に応じて臨機応変にさまざまな課題が追加されるであろうが、怯まず積極的に取り組んでほしい。例えば、疑問を感じた内容をインターネットで調べてリサーチすること、英語の曲を歌うこと、映画であれば名場面を再演すること、など。高校までには学ばなかったようなタイプの英語を教材にすることで、英語圏の文化にも課される予定である。英米人が基本とする知的常識を広く網羅したいために、話題が政治や宗教、セックスやドラッグなどに及ぶ場合がある。もちろん、そうした話題に興味本位でふれることはしないが、しかし教場においてその種の話が議論されることに苦手意識を持つ学生は、最初から履修を避けること。なお、予想されるテキストは以下の通り。</p> <p>映画：『ターマ&グレッグ』や『サイドウエイズ』などのコメディ作品。 文学：デイヴ・バリヤーなどのユーモア文学。 音楽：ビートルズ、ストーンズ、フォーなどの1960年代UKロックバンド。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期</p> <p>第1回：ガイダンス 第2回：実力テスト 第3回：読解(1) 第4回：読解(2) 第5回：読解(3) 第6回：読解(4) 第7回：まとめ 第8回：聞き取り(1) 第9回：聞き取り(2) 第10回：聞き取り(3) 第11回：聞き取り(4) 第12回：聞き取り(5) 第13回：まとめ 第14回：予備日 第15回：テスト</p> <p>後期：前期と同じ</p>
----------	--

準備学習	高校レベルまでの文法知識を各自でもう一度よく復習しておくこと。
------	---------------------------------

履修上の留意点	<p>必修の授業ではないので、受講態度については厳格に対応する。扱う英文の内容に対して旺盛な知的好奇心を持ってない学生の履修は、まったくお勧めできない。授業中の私語や睡眠は、決して許されない。即興で様々な課題が課されると思うが、そのすべてに積極的に反応するやる気が不可欠である。上述の通り、必修の英語とは違って教材の内容が英米人の日常的な関心事にもっと近い、セックスや政治などのいわゆる「きわどい」話題に触れる可能性があるため、くれぐれも注意されたい。もちろん、そうした話題に不真面目に触れることはしない。森羅万象、様々な話題を知的に論じることが講師も心がけるし、学生にも真面目な態度で受講することを求めたい。</p>
---------	---

成績評価の方法	小テスト、および期末テストの成績を基本とし、そこに出席点や授業中の態度などから算出されるポイントを加・減点する。
---------	--

教科書/テキスト	プリント教材を使用する予定。
----------	----------------

参考書	
-----	--

履修コード	285501
科目名	名文で味わうスペイン語
担当者名	齊藤 明美

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では、辞書の力を借りながらスペイン語圏の文学作品や文化的な内容の文章を味わい理解する力を養成します。また講読を通して基礎文法の復習、中級上級文法の習得と語彙力の増加を目指します。毎回の授業は①基礎講読(5行ほどの平易な文章)②文法確認(練習問題)③長文読解(10~15行ほどの文化的な内容の文章)④作品鑑賞(スペイン語圏の有名な詩や音楽など)の構成です。
---------------------	---

前期は教科書に沿って初級、中級文法(直説法現在形、過去形(点過去、線過去))と長文読解を行います。また毎回、スペイン語圏の有名な詩人の作品、または日本でもおなじみのスペイン語圏の音楽を鑑賞(文章と聴解)します。後期は、引き続き教科書に沿って上級文法習得(未来形 接続法など)を目指します。また後期後半にはスペイン語圏の映画の台本を2、3本用い、映像を見ながら台詞とト書きの意味を理解します。

講義が終わるころにはスペイン語で書かれた作品を辞書をたよりに読め、映画も字幕なしでほぼ理解できる実力がついていることでしょう。西検4級合格も目指せます。

授業スケジュール

- 前期
- (1) オリエンテーション・自己紹介
 - (2) 作品鑑賞: ベッケル 「RIMA XXI」 (文法1課 Ser動詞)
 - (3) 読解: ガルシア・ロルカ 作品鑑賞: ロルカ 「Remanso」
 - (4) 読解: グラナダ 作品鑑賞: Lorca 2 (文法2課 Estar動詞)
 - (5) 読解: Lengua española (文法3課 直説法現在規則動詞)
 - (6) 作品鑑賞: マリオ・ベネデッティ 「Te quiero」 (文法4課 不規則動詞1)
 - (7) 読解: ¿Dónde está España? (文法5課 不規則動詞2 目的格)
 - (8) 読解: Tortilla de patatas 作品鑑賞: パブロ ネルダ 「poema 15」
 - (9) 作品鑑賞: フラメンコ1 (文法6課 gustar型)
 - (10) 読解: 支倉常長とハボンさん (文法7課 現在分詞)
 - (11) 読解: Comer es un placer 作品 スペインポップス (文法8課 再帰動詞)
 - (12) 読解: El día de San Jordi 作品 「鳥の詩」 (文法9課 現在完了)
 - (13) 作品: アントニオ マッチャード 「Cantares」 (文法10課 点過去)
 - (14) 読解: マッチャードの生い立ち 鑑賞: マッチャード 「El crimen fue en Granada」 (文法11課 点過去2)
 - (15) 前期のまとめ

- 後期
- (16) 作品鑑賞: ラファエル アルベルティ 「Paloma se equivocaba」 読解: Una historia (文法12課 線過去)
 - (17) 作品鑑賞: ミゲル エルナンデス 「Nana de cebolla」 (文法: 過去形) 読解: ピカソについて(ゲルニカ)
 - (18) 作品 ベッケル 「Rima LIII Volverán las oscuras golondrinas」 (文法13課 未来形)
 - (19) 読解: 天正少年使節 作品: 中南米音楽1 (文法14課 過去未来形)
 - (20) 作品: 中南米音楽2 (文法15課 接続法1)
 - (21) 作品: 中南米音楽3 「Volver」 (文法15課 接続法1)
 - (22) 作品: タンゴ 「La Cumparsita」 (文法16課 接続法2)
 - (23) 映画台本講読1 (スペイン語圏映画作品1) (文法16課 接続法2)
 - (24) 映画台本講読2 (スペイン語圏映画作品1)
 - (25) 映画台本講読3 (スペイン語圏映画作品2)
 - (26) 映画台本講読4 (スペイン語圏映画作品2)
 - (27) 映画台本講読5 (スペイン語圏映画作品3)
 - (28) 映画台本講読6 (スペイン語圏映画作品3)
 - (29) 後期のまとめ
 - (30) 一年の総まとめ

準備学習

- ・宿題はかならずやってくること。
- ・後期の後半に以下の映画を扱う予定ですので、できれば各自前もって鑑賞しておいてください。

ペドロ・アルモドバル監督 『帰郷 Volver』
ホセ・ルイス・クエルタ監督 『蝶の舌 La lengua de las mariposas』
ピクトル・エリセ 監督 『ミツバチのささやき El espíritu de la colmena』

履修上の留意点

初級文法修了者(スペイン語1修了以上)を対象としますので初心者を受講できません(初心者は選択クラスのスペイン語1A,B(選)を受講できます)。出席3分の2以上を求めますが、やむをえない理由の欠席は考慮します。

成績評価の方法

平常点 出席(20%) + 授業態度、発言(30%) と年二回の演習課題(各25%)によります。

教科書/テキスト

平井/田中/カワクボ/川成 「大好きスペイン語 スペイン語講読のための文法 Al ritmo del español」 同学社 2600円 を購入してください。

また随時プリント(作品鑑賞 文法補助)を配布します。(100円ショップなどに売っているA4サイズのファイル帳を用意するとよいでしょう)

参考書

スペイン語の辞書を必ず毎回持参すること。すでに持っている学生は新しいものを買う必要はないが、まだ買っていない人は初回に紹介する辞書の中から自分に合うものを購入すること。

その他	講義内容の順序が前後する場合があります。 オフィスアワーは毎週火・木曜日(12:15~13:00)です。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/
履修コード	285401
科目名	名文で味わう中国語
担当者名	佐藤 普美子
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	中国は「文」の国である。この授業ではさまざまなジャンルの古今の名文を精読し、話し言葉とはまた違う中国語書き言葉の特色と魅力を探る。
授業スケジュール	第1回：導論とウォーミングアップ。第2～5回：エッセイ（文学関連）。第6回～9回：エッセイ（社会科学関連）。第10～13回：短編小説。第14～17回：詩歌。第18～21回：演説。第22～25回：手紙文。第26～29回：評論。第30回：学習の総まとめ。理解度の確認。
準備学習	授業は演習形式で進めるので、担当時は特に予習を十分に行い、音読できるようにしておくこと。
履修上の留意点	
成績評価の方法	出席及び予習の有無など平常点50%、学期末試験30%、課題20%とします。
教科書／テキスト	随時プリントを配布します。
参考書	辞書は必携。下記URLを参考にしてください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhjisho
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gaikoku2/

履修コード	285201
科目名	名文で味わうドイツ語
担当者名	松岡 晋
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	鴨長明『方丈記』のドイツ語訳を読みます。原著は五つの部分に分かれていますので、それら各部分を一年間で抜粋的に読むこととなります。日本の古典がどんなドイツ語に移し換えられているのかを確認することも、楽しい作業でしょう。ドイツ語のみならず、日本文学に興味をもっている方々の受講も歓迎いたします。
授業スケジュール	(1～2) 1: Unaufhörlich strömt der Fluß dahin (3～10) 2: der Sturm, das Feuer, ein Wirbel, die Verlegung der Hauptstadt, Hungersnöte, ein schweres Erdbeben (11～23) 3: Was mich anbelangt (24～27) 4: Als ich hier zu leben begann (28～30) 5: Mein Leben neigt sich nun gleich dem Mond im Nachthimmel
準備学習	次回の講読箇所についてその都度予告しますので、テキストの当該部分にあらかじめ目を通し、独和辞典を用いて和訳を試みてください。もしその時に不明な箇所があれば、授業中に積極的に質問してください。
履修上の留意点	独和辞典を毎回持参してください。
成績評価の方法	受講者は多数ではないと予測されますので、平常点で成績評価を行います。
教科書／テキスト	テキストはKamo no Chomei: "Aufzeichnungen aus meiner Hütte", aus dem Japanischen übertragen und mit einem Nachwort versehen von Nicola Liscutin. Insel Verlag Berlin 2011を用い、受講者にはコピーを配布いたします。
参考書	『方丈記』は例えば岩波文庫でも出版されています。その原文および現代語訳を参考にし、ドイツ語版を読むのもよいでしょう。なお、授業担当者が作成した文法事項、語句等の説明のためのコピーも適宜配布いたします。

履修コード	285301
科目名	名文で味わうフランス語
担当者名	遠山 博雄
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	口語的で読みやすいヴァシーリ・アレクサキスのショートショートをはじめに読み、なれてから、平明な文体をもつ、魅力的なミシェル・トゥルニエの短編を熟読することによって、現代フランス文学に親しむこと。
授業スケジュール	まず受講者がテキストの音読と、日本語訳をします。(理解できた範囲で可)。その後、教員がチェックと詳しい解説をします。授業スケジュールは受講者のレベルを考慮して調整しますが、さしあたり以下のように考えています。(1)~(15)「ババ」(アレクサキス) ; (16)~(30)「アマンディーヌもしくは二つの庭」(トゥルニエ)
準備学習	前の週の授業であらかじめ指定された箇所を、辞書(と手持ちの文法の教科書)を活用して和訳して来ること。
履修上の留意点	必ず仏和辞典持参で授業に出席すること。(既使用の)文法教科書持参が望ましい。
成績評価の方法	平常点(出席点にあらず)を原則とし、総合的に評価します。
教科書/テキスト	プリントを用意します。前期の教材には註を付けます。
参考書	

履修コード	285601
科目名	名文で味わうロシア語
担当者名	廣田 英靖
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシアの各メディアのホームページをパソコン画面で見渡すと、エネルギー関係を含むその豊富な天然資源のもとで、ロシアの経済発展が極めて著しいと感じられます。さらに、ロシア語で検索すると、様々な情報がリアルタイムに入手でき、日本の国土の約45倍もの広大な領土で生活するロシア人の科学、文化、芸術等の分野での思考方法、独創性、奥深さが伝わってきます。 本授業では、近年のグローバル化、多極化したIT時代の状況をも踏まえ、PCルームにてインターネットなどの機能を活用し、膨大な情報の山に秘められている、簡潔で、温かみのある短文、詩、歌などの入手手順も分かりやすく説明し、五感を生かし、きらりと光る“ロシア語”を楽しみ、内容豊かに学びます。気分転換もかね、『千と千尋の神隠し』などのアニメ作品で有名な宮崎駿監督など、日本を代表する多数の映画監督も、その若き日に、感銘や影響を受けたソ連時代のロシアアニメやビデオ映画を鑑賞します。
授業スケジュール	インターネットを活用し、発音、基本文法を復習しつつ、平明なロシア語講義を行います。 4-7月 ○基礎文法の復習 ○中級文法の導入 ○ロシア語版のソフトになれるようにする。 9-12月 ○インターネットを駆使し様々なロシア関係の知識を集積し深める。
準備学習	基礎文法を復習しておこう。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。
成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価します。
教科書/テキスト	教場にてプリント配布。
参考書	

履修コード	283601
科目名	ロシア語IA
担当者名	大須賀 史和
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語人口はまだ日本では少ないが、国連の6つの公用語(英語、中国語、スペイン語、フランス語、アラビア語、ロシア語)のうちのひとつである。21世紀は個性化時代。ロシア語をやって他の学生と差異化をはかろう。
授業スケジュール	1~5回:文字と発音、6~10回:ロシア語の簡単な文と名詞的表現、11~15回:動詞を使った文、16~20回:動詞の過去と形容詞などを使った表現、21~25回:色々な動詞表現、26~30回:数詞を使った表現など
準備学習	新しい言語を学ぶ時にもっとも有効で確実な方法は「予習・復習」をすることです。一度学習した内容を「使える」ようにするためです。語学に限らず、何かを勉強したい時にもっとも効果がある方法なので、大学で学ぶためのトレーニングと考えるとよいでしょう。
履修上の留意点	初級段階では辞書が重要です。電子辞書もありますが、説明の詳しい初級用辞書から始める方が安くて効果があります。
成績評価の方法	平常点(毎回の小テスト、5割程度)と期末試験(5割程度)で総合的に評価します。
教科書/テキスト	安徳二ナ他『21世紀のロシア語』大学書林
参考書	米重文樹編『パスポート初級ロシア語辞典』白水社
関連リンク	http://www.jade.dti.ne.jp/~osuka/21rus/

履修コード	353901
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	木村 敦夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。腰が抜けそうにすごいだろ? globalな視野を持ち、coolなロシア語!! 積極的にがつ〜んとぶつかってくれ。
---------------------	--

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(カ点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ホデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返しかえし練習します。先生が質問した事を何回も何回も繰り返し、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、何回もゆっくり繰り返しながら発音練習します。

授業スケジュール	4-9月はイントネーションや発音にカ点をおき、10-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
----------	--

準備学習	前回学習分の復習。
------	-----------

履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を勉強しよう。 出席は必ずとり(だから、きちんと出ることが大切)、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。楽しいからね。
---------	--

成績評価の方法	期末試験 平常点 授業への貢献
---------	-----------------------

教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
----------	---------------------------

参考書	『露和辞典』(授業中に指示)
-----	----------------

その他	困ったこと、分からないこと、どうしたらいいか分からないことetcがあったら、なんでもかんでも、先生に訊くこと。怖い顔してるように見えるかもしれないが、とても優しいから。だいじょうぶ、安心して接してくれ。
-----	---

履修コード	283401
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	佐野 洋子

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業は、初めてロシア語を学ぶ人を対象としたクラスで、一年間で、標準ロシア語文を読む上で必要な文法を習得していきます。最終的には、辞書と文法表を用いれば、平易なロシア語文を自力で読める読解力をつけることが本授業の目標です。
---------------------	--

授業スケジュール	前期 —— 発音と文法の基礎を学習します。 第1回:オリエンテーション、第2~5回:発音(母音と子音)、第6~7回:名詞、第8~10回:形容詞、第11~13回:動詞、第14回:格変化、第15回:総まとめ
----------	--

後期 —— 教科書を辞書を用いて読んでいきます。更なる必要文法事項の説明を加え、読解力をつけていきます。
第16回:前期の復習、第17回:前置格、第18回:生格、第19回:対格、第20回:与格、第21回:造格、第22回:動詞の体、第23回:運動動詞、第24回:複文、第25~30回:テキストの訳読

準備学習	早いうちから辞書に慣れてもらうため、宿題を課します。前期の後半あたりから、予習が必要となります。また、音読の復習はしっかり行なうようにしてください。
------	--

履修上の留意点	語学が苦手な人でも、誰でも理解できるよう心がけて説明しますので、気楽に受講してください。まずは文字と音に慣れること、そして文法項目は暗記するのではなく、文法体系を全体から理解・把握することに重点を置いてください。
---------	--

成績評価の方法	平常点 —— 小テスト、課題の発表などを総合して判断します。
---------	--------------------------------

教科書/テキスト	・安德ニーナ他著『21世紀のロシア語』大学書林(定価1,890円) その他、プリントを配布します。
----------	--

参考書	『露和辞典』が必要になりますが、初回の授業で説明します。
-----	------------------------------

履修コード	283301
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	廣田 英靖

授業概要/ 到達目標（ねらい）	ロシア語は国連の6つの公用語（英語、中国語、スペイン語、ロシア語、フランス語、アラビア語）のうちの一つで、面白い文字を持った独特な言葉です。宇宙では近じかアメリカのスペース・シャトルの引退予定後もロシアのソユーズが堂々40年以上の現役を続投する予定です。ソユーズで行われる宇宙飛行士の訓練用語はすべてロシア語でおこなわれますのでまさに今後も目が離せない注目度の高い言語といえます。
--------------------	--

本講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセントや、基本的イントネーションの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらビデオを使い更に理解度を深めてもらうようにします。

授業スケジュール	4、5、6月はイントネーションや発音に力点をおき、やさしいロシア語文を声を出して読めるようにします。7、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
準備学習	複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
履修上の留意点	正しい発声のために口の周りの筋肉をゆっくり、大きく動かす運動をあらかじめしておきましょう。 正しい発声のために常日頃姿勢に気をつけ、胸を張って歩くようにしましょう。
成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
教科書／テキスト	『21世紀のロシア語』（大学書林）
参考書	博友社『露和辞典』、『コンサイス露和辞典』 最初の授業のときに説明し、実物を見せます。
その他	YeStudy 出来るだけ早く登録をし、個人学習に役立ててください。

履修コード	303801 303802 303803
科目名	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅠC（会話）〔再クラス〕
担当者名	安德 ニーナ

授業概要/ 到達目標（ねらい）	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語とともに国連の公用語に指定されていて母語話者は2億6千万人で世界で5番目に多くの人々が話します。 また、欧州地域でも話者人口が多い言語でもあります。 ロシア語を学習することは、学問や芸術の理解を深めるだけでなく、ビジネスなど実用的な見地からも大きな意義があります。 この授業では、ロシア文字の読み方、発音から始まり、基本的な文法と表現の習得を目指します。
--------------------	---

授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進めます。 前期（4-7月）文字と発音、イントネーションなどロシア語の音に慣れることから初め、挨拶、受け答えなどを初級文法を使った簡単な会話を練習します。 後期（9-12月）初級文法の事項を確認しながら、徐々に語彙を増やしてやや長い文の読み書き、会話の受け答えを学びます。
準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせません。未習の言語の場合、はじめは特に復習に時間をかけるように心がけてください。その際、できるだけ声に出してロシア語を読むようにしてください。
履修上の留意点	要点は必ず繰り返し自分で声を出して復習してほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題への取り組み方、日ごろの学習態度など平常点を重視します。
教科書／テキスト	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）
参考書	必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	303501 303502 303503
科目名	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	木村 敦夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(カ点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。 <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。先生が質問したことを何回も繰り返し、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、何回もゆっくり、繰り返して練習します。授業では各人が何回もすることになりますが、怖がらなくていい。先生が、「優しく」指導してくれるので安心していい。恥かかずに、積極的に発音練習することが大切!!楽しくロシア語、勉強しよう!!</p>
---------------------	--

授業スケジュール	4-7月はイントネーションや発音にカ点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
----------	---

準備学習	前回の復習
------	-------

履修上の留意点	PC教室にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学ぼう!!時代は激しく変化している。ロシア語使いのみんなを世の中は待っているぞ。
---------	---

成績評価の方法	期末試験 授業への貢献 平常点
---------	-----------------------

教科書/テキスト	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
----------	---------------------------------

参考書	『露和辞典』(授業中に指示)
-----	----------------

その他	困ったこと、分からないこと、どうしたらいいか分からないことetcがあったら、なんでもかんでも、先生に訊くこと。怖い顔してるように見えるかもしれないが、とても優しいから。
-----	--

履修コード	303701 303702 303703
科目名	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅠC (会話) [再クラス]
担当者名	木村 英明

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国連の6つの公用語のひとつに認定されています。また、ユーラシア大陸全域で幅広く通じる言語です。ロシア語の学習を通して、ロシアの政治や経済、文化にアプローチする足がかりを作ると同時に、ますますグローバル化する社会において、コミュニケーションツールとしても、受講者の将来に役立つ言葉の習得を目指します。
---------------------	--

授業スケジュール	<p>前期(4月-7月)は、キリル文字(ロシア文字)の読み方・書き方と発音、文のイントネーションを集中的に学びながら、挨拶表現や初級の文法を使った短い文を作る練習を重ねます。</p> <p>後期(9-12月)は前期に学習した項目を復習し、さらに文法項目と語彙の拡充をはかりながら、少しずつ長めの文章を読み、理解できるようにしていきます。実用的でコミュニケーション的な例文を用い、音声面に十分な注意を払っていきましょう。そのために、時間の許す限り、AV資料も用いたいと思います。</p>
----------	--

準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせません。未習の言語の場合、はじめは特に復習に時間をかけ、慣れてきたら徐々に予習にも重点を置くようにしてください。
------	--

履修上の留意点	受講者には毎回ロシア語を発音してもらいますが、間違いを恐れず、楽しく声を出して授業に参加してください。
---------	---

成績評価の方法	授業の出席と平常の受け答えを重視し、年2回の定期試験の結果も加味して評価します。
---------	--

教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
----------	---------------------------

参考書	『露和辞典』
-----	--------

履修コード	356601 356602
科目名	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB 【再クラス】
担当者名	廣田 英靖

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>ロシア語は6つの国連公用語（英、仏、中、露、スペイン、アラビア語）の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション（ISS）に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期に搬送しています。米国のスペースシャトルが近い将来退役予定のためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。</p> <p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（カ点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初級文法を学びます。 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	4-6月はイントネーションや発音に重点をおき、7-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
準備学習	複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価します。
教科書／テキスト	『21世紀のロシア語』（大学書林）
参考書	『露和辞書』
その他	YeStudy 参考にしてください。

履修コード	290001 290002
科目名	ロシア語ⅠA（選） ロシア語ⅠA
担当者名	クロチコフ、 Y.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。</p> <p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（カ点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディー・ランゲージを含む）を身につけます。 3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初級文法を学びます。 5) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。講師が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。 ロシア語を通じて世界を広げていきましょう。</p>
---------------------	--

授業スケジュール	4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。
準備学習	授業の始めに10-15分間発音の練習をします。その後前回の授業について小テストを行い、答え合わせと説明を行います。前回の復習と当日の授業の予習をしてください。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法	期末試験は行わず、平常点で評価します。
教科書／テキスト	『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。その他プリント配布。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参考書	露和辞典（博友社） コンサイス露和辞典
その他	YeStudyも参考にしてください。

履修コード	284001
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	木村 英明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国連の6つの公用語のひとつに認定されています。また、欧州地域ではもっとも話者人口の多い言語でもあります。ロシア語の学習を通して、ロシアの政治や経済、文化にアプローチする足がかりを作ると同時に、コミュニケーションツールとして受講者の将来に役立つ言葉の習得を目指します。
授業スケジュール	2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。 前期(4月-7月)は、キリル文字(ロシア文字)の読み方・書き方と発音、文のイントネーションを集中的に学びながら、挨拶表現や初級の文法を使った短い文を作る練習を重ねます。 後期(9-12月)は前期に学習した項目を復習し、さらに文法項目と語彙の拡充をはかりながら、少しずつ長めの文章を読み、理解できるようにしていきます。実用的でコミュニケーションな例文を用い、音声面に十分な注意を払っていくようにします。そのために、時間の許す限り、AV資料も用いるようにします。
準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせませんが、未習の言語の場合、はじめは特に復習に時間をかけてください。慣れてきたら、徐々に予習にも重点を置くようにしてください。
履修上の留意点	受講者には毎回ロシア語を発音してもらいますが、間違いを恐れず、楽しんで声を出して授業に参加してください。
成績評価の方法	授業の出席と平常の受け答えを重視し、定期試験の試験結果も加味して評価します。
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
参考書	『露和辞典』

履修コード	283701
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	廣田 英靖
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)のひとつです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定のためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆつくり、くりかえしながら発音してもらおうようにします。
授業スケジュール	4-6月は発音、イントネーションに重点をおき、7-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。
準備学習	複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 IGTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』(大学書林 1,800円+税)
参考書	『露和辞典』

履修コード	283801
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	廣田 英靖

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>ロシア語は6つの国連公用語(英、仏、中、露、スペイン、アラビア語)の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション(ISS)に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。</p>
---------------------	--

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(カ点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。

授業スケジュール	4-6月は発音、イントネーションに重点をおき、7-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。
----------	---

準備学習	<p>複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。</p>
------	--

履修上の留意点	<p>PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。</p>
---------	---

成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点をします。
---------	---

教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』(大学書林 1,800円+税)
----------	----------------------------

参考書	『露和辞典』
-----	--------

履修コード	354001
科目名	ロシア語ⅠB
担当者名	廣田 英靖

授業概要/ 到達目標（ねらい）	ロシア語は6つの国連公用語（英、仏、中、露、スペイン、アラビア語）の1つです。旧ソ連で開発されたソユーズ型の宇宙船が、国際宇宙ステーション（ISS）に、宇宙飛行士や実験研究設備などを定期的に搬送しています。米国のスペースシャトルが本年春にも退役予定なためロシアの“ソユーズ”だけが往復手段となり、ISSではロシア語が必須となっています。グローバルな視野を持ち、積極的に学ぶことを期待します。
--------------------	---

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感がなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。

授業スケジュール	4-6月はイントネーションや発音に力点を置き、7-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
----------	---

準備学習	複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
------	---

履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
---------	---

成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価します。
---------	-------------------

教科書／テキスト	『21世紀のロシア語』（大学書林 1,800円＋税）
----------	----------------------------

参考書	『露和辞典』
-----	--------

履修コード	290601 290602
科目名	ロシア語ⅠB（選） ロシア語ⅠB
担当者名	木村 英明

授業概要/ 到達目標（ねらい）	ロシア語は国連の公用語であるだけでなく、欧州地域では最も話者人口の多い言語です。ロシア語の習得は、世界とコミュニケーションするための有効なツールといえます。アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的にとっても混迷しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思えます。
--------------------	---

授業スケジュール	この授業では、前期（4月-7月）はロシア文字の読み方・発音、文のイントネーションなど音声面に力を入れながら、挨拶文などを中心に短い日常表現を練習します。後期（9月-12月）では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用していく予定です。
----------	---

準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせないのはもちろんですが、未習の言語の場合、はじめは特に復習に時間をかけるようにしてください。
------	--

履修上の留意点	外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。
---------	--

成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価します。
---------	-------------------

教科書／テキスト	黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。
----------	--

参考書	学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。 辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典
-----	--

履修コード	291201 291202
科目名	ロシア語II (選) ロシア語IIA
担当者名	クロチコフ, Y.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、イントネーション、単語、文法の復習、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 手紙やハガキ、Eメールの書き方についても触れます。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
授業スケジュール	4-7月 発音・会話を学ぶ。 9-12月 会話力を一層高める。
準備学習	授業の始めに10-15分間発音の練習をします。その後前回の授業について小テストを行い、答え合わせと説明を行います。前回の復習と当日の授業の予習をしてください。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法	期末試験は行わず、平常点で評価します。
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』の後半、 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。 その他プリント配布。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参考書	露和辞典 (博友社) コンサイス露和辞典
その他	YeStudyも参考にしてください。

履修コード	354101
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 敦夫

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語IIAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文 (関係代名詞、形動詞、副動詞など) をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書を使って簡単な文章を読んだり、日常会話をしたりします。 授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる!!」ことを実感します。
授業スケジュール	4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、 9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、 興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。
準備学習	各自の能力を考えて 前回までに学習した内容を復習しておくこと
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法	出席 (だが、ただ、出ればいいというものではない。えっ?じゃどうしたらいいんだ?ということは、各自が考えること) 平常点 (+授業への貢献) 授業内に行う小テスト 期末試験
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』 (大学書林) の後半および 『やさしいロシア語読本』 (大学書林) 1,800円+税
参考書	『露和辞書』
その他	最も大切なのは「学ぼう」という意欲だな。それは、別にロシア語に限ったことではないが。教員はみんなのために存在している。だから、怖がらずに、ちょっとでも、どんなことでも困ったことがあったら、相談してほしい。

履修コード	284201
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 英明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	この授業では、さまざまなトピックを取り上げた文章を講読しながら、ロシア語Iで学習した文法事項を再確認し、さらに中級文法の習得へと歩を進める。たんにロシア語を日本語に置き換えてだけでなく、国連の公用語として言わば「世界語」であるロシア語を使ってコミュニケーションできる力を身につけることも十分留意したい。
授業スケジュール	教科書にそって、前期(4月-7月)は自己紹介、ユーモラスな小説、ロシアの地理や天候についてなどの比較的短い文章を、ロシア語Iの初級文法を復習しながら読み進める。後期(9月-12月)はロシアの伝統料理、お伽噺などのやや長い文章に挑戦しながら、中等文法を学んでいく。前後期ともに、実用的な例文を作りながら、文法事項を確認していくことにする。
準備学習	講読を中心とした外国語の学習においては、予習が大切なポイントになる。特に新出単語の意味と用法を確認しておくようにしたい。
履修上の留意点	毎回、受講者にはロシア語を発声してもらうので、積極的な参加を望む。
成績評価の方法	出席と平常点を重視する。
教科書/テキスト	『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
参考書	『露和辞典』
その他	適宜プリント配布を配布する。

履修コード	284301
科目名	ロシア語IIA
担当者名	廣田 英靖
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
授業スケジュール	4月-7月 ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 9月-12月 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強します。
準備学習	一年で習った初級文法を復習して自分の頭のなかで整理しておこう。 1から20までの数はスラスラ言えるように復習しておこう。
履修上の留意点	出席は重視します。 塵も積もれば山となることわざがあるように少しでも毎日ロシア語にふれるようにする。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書/テキスト	『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)
参考書	露和辞典は用意して下さい。コンサイズか博友社のものを用意して下さい。『パスポート』は簡潔でいいですが、2年生用には語彙が足りませんので要注意。
その他	プリント配布。教場にて指示します。 YeStudy はかならず目をとおすこと。

履修コード	304101 304102 304103
科目名	ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	安徳 ニーナ

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は国連の公用語として、英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並び、国際社会で重要な位置を占める言語です。ユーラシア大陸全域で広く通じる言葉でもありEU内でも8番目に多く使用される言語で3千5百万人程の市民がロシア語についてある程度の能力を持っていると言われています。今後日本人がロシア語を学ぶ意義はますます増大するはずで この授業では、ロシア語Ⅰで学習した初級文法をもとに、よりコミュニケーションなロシア語のスキルを高めることを目標とします。
---------------------	--

授業スケジュール	教科書と配布資料に基づいて講義を進めます。 前期(4-7月) 日常の会話表現に重点を置きながら、ロシア語Ⅰで習得した文法事項を復習します。 後期(9-12月) 比較的平易なテキストの読解と、その内容についての受け答えを通して会話練習をします。
----------	---

準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせません。新出単語の意味はあらかじめ調べておいてください。また、文例を復習する際には声を出して読み、音として記憶するようにしてください。
------	---

履修上の留意点	日々の学習の積み重ねが大切です。要点の復習は必ずしてほしい。 繰り返し声を出して復習をすることは語学学習では大切なことです。
---------	---

成績評価の方法	授業の中で時々行う練習問題や会話練習など、平常の学習態度を重視します。
---------	-------------------------------------

教科書/テキスト	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)
----------	-------------------------

参考書	必要に応じてその都度資料を配布します。
-----	---------------------

履修コード	304001 304002 304003
科目名	ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	大須賀 史和

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	発音や初級文法から見直して、きちんとしたロシア語が使えるようにします。
---------------------	-------------------------------------

授業スケジュール	1~10回: 発音・初級文法の復習、11~15回: 初級文法の発展、16~20回: 初級文法の完成、21~30回: やさしいロシア語文章の読解
----------	---

準備学習	新しい言語を学ぶ時にもっとも有効で確実な方法は「予習・復習」をすることです。一度学習した内容を「使える」ようにするためです。語学に限らず、何かを勉強したい時にもっとも効果があるので、そのためのトレーニングと考えるとよいでしょう。
------	--

履修上の留意点	言語の学習は少しずつコツコツと行えば、必ず結果がでます。語学学習を通して確実性や安定性を身につけましょう。
---------	---

成績評価の方法	平常点(5割)と期末試験(5割)で総合的に評価します。
---------	-----------------------------

教科書/テキスト	安徳ニーナ他『21世紀のロシア語』大学書林 笹尾道子他『やさしいロシア語読本』大学書林
----------	--

参考書	木村彰一他編『博友社ロシア語辞典』博友社
-----	----------------------

関連リンク	http://www.jade.dti.ne.jp/~osuka/21rus/
-------	---

履修コード	303901 303902 303903
科目名	ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅡC (会話) [再クラス]
担当者名	クロチコフ Y.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、イントネーション、単語、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
授業スケジュール	4-7月 発音、会話を学ぶ。 9-12月 会話力を一層高める。
準備学習	授業の始めに10-15分間発音の練習をします。その後前回の授業について小テストを行い、答え合わせと説明を行います。前回の復習と当日の授業の予習をしてください。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法	期末試験は行わず、平常点で評価します。
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』の後半, 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林 定価1751円, その他プリント配布。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参考書	露和辞典 (博友社) コンサイス露和辞典
その他	YeStudyも参考にしてください。

履修コード	356701 356702
科目名	ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB [再クラス]
担当者名	廣田 英靖

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。 ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
授業スケジュール	○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。 ○4-7月 基礎文法の復習 ○9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。
準備学習	複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 ICTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上みならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書/テキスト	既習の教科書と文法表。
参考書	『露和辞書』
その他	プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284501
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	木村 敦夫
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	新聞記事なり、簡単な読み物なりといった、ロシア語で書かれた文章を読めるようになる！
授業スケジュール	基本的に前半15回は文法事項の復習・学習に当て、後半15回で、ロシア語テキストを読みつつ、さらに学習を深めていくこととする。 以下におおよその学習scheduleの目安を示しておく。 第1回～3回：名詞の「格変化」 第4回～6回：形容詞の「格変化」 第7回～9回：動詞の時制（過去形・現在形・未来形） 第10回～12回：動詞の「体」（完了体と不完了体） 第13回～15回：前置詞、接頭辞 文法の学習とは言え、文法事項をただ並べ立てるだけではない。干からびた文法事項の講義を想定している向き（このシラバスを読んでいるきみのことだぞ）には、目から鱗が落ちることを確約しておこう。ロシア語の表現の奥深さ、すばらしさを実感できるような授業を展開する。 第16回～30回：教科書に収録されている話しをいくつか選び出し、各話2～3回ほど読んでいく。各話に登場する文法事項を再び復習しつつ、各話に登場するロシア文化の解説なども交えて、ロシアの一端に触れていく。諸君も、これで、「ロシア通」だ。
準備学習	前回までに学習したこと（少なくとも、直前回に学習したこと）を復習して、頭に入れておく。
履修上の留意点	学習意欲をもって、授業に出ること。（当たり前の話したが） 「意欲」さえあれば、無限の可能性を秘めたみんなのことだ、何でもできる!! 授業は、とにかく楽しい。期待してくれ。
成績評価の方法	授業に出るのは当たり前。 授業に出て、どれくらい貢献したか（質問なり、コメントなり、なんらかの発表なり）、と、期末試験の成績によって評価を下す。 授業への貢献とは、具体的にどうすることなのか、なにをどうしたらよいのかは、各自が自分なりに考えて、判断し、実際行動に移してほしい。諸君がどう貢献してくれるか、教員も、楽しみにしているぞ。教員の度肝を抜くようすばらしい貢献を披露してくれ。
教科書／テキスト	『やさしいロシア語読本：26の短いおはなし』（大学書林）定価1751円
参考書	中級以上のロシア語学習には、辞書があったほうがよい。どの辞書がいいかについては授業中に指示する。
その他	1に「やる気」、2に「熱意」、3に「意欲」、4,5に「楽しい授業」というstepsを経て1年後には、諸君は、ロシア語のexpertだ！

履修コード	284401
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	木村 英明
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は日本の隣国の言葉であることに加えて、国連の公用語として国際社会で広く使われている言葉でもある。この授業では、ロシア語Ⅰで学んだ初級文法事項を再確認し、さらに語彙を増やしながら中級文法の習得を目指す。基本的に講読形式の授業であるが、実用的な例文を用いて文法の練習を行い、コミュニケーションに役立つロシア語が身につくように配慮する。
授業スケジュール	教科書にそって、前期（4月-7月）は自己紹介、ユーモラスな小話、ロシアの地理や天候についてなどの比較的短い文章を、ロシア語Ⅰの初級文法を復習しながら読み進める。後期（9月-12月）はロシアの伝統料理、お伽噺などのやや長い文章に挑戦しながら、中等文法を学んでいく。前後期ともに、実用的な例文を作りながら、文法事項を確認していくことにする。
準備学習	中級以上の外国語の学習にとって、大切なのは予習である。新出単語の意味と用法をあらかじめ確認して授業にのぞんでほしい。
履修上の留意点	各受講者に毎回ロシア語を発声してもらうが、間違いを恐れず、積極的な参加を望む。
成績評価の方法	基本的に平常点で評価する。
教科書／テキスト	『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。
参考書	『露和辞典』
その他	適宜プリントを配布する。

履修コード	354201
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	廣田 英靖

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語ⅡBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。 授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。
授業スケジュール	4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、 9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味の持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。
準備学習	複式呼吸に馴れるように心がける。 声を大きく出す習慣をつける。 背筋を伸ばし、姿勢を正す。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 出席は必ずとり、学習向上のため簡単なクイズをそのつど行います。 IoTを活用したeラーニング「YeStudy」には、学習の向上のみならず、一般教養を身につけるためにも役立つロシアメディアのニュース、一コマ漫画、動画などをリソースしますので積極的にアクセスすること。
成績評価の方法	出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』の後半および 『やさしいロシア語読本』（大学書林 1,800円+税）
参考書	『露和辞書』

履修コード	284701 284702
科目名	ロシア語ⅡD ロシア語ⅡB
担当者名	クロチコフ Y.

授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。 以前に学習した発音、イントネーション、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 手紙やハガキ、Eメールの書き方についても触れる。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
授業スケジュール	4-7月 発音、イントネーション、単語、前に覚えた文書の復習をします。 9-12月 文法と会話に力を入れる
準備学習	授業の始めに10-15分間発音の練習をします。その後前回の授業について小テストを行い、答え合わせと説明を行います。前回の復習と当日の授業の予習をしてください。
履修上の留意点	出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。
成績評価の方法	期末試験は行わず、平常点で評価します。
教科書/テキスト	『21世紀のロシア語』の後半 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』 大学書林、定価1751円。その他プリント配布。 コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。
参考書	露和辞典（博友社） コンサイス露和辞典
その他	YeStudyも参考にして下さい。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	安徳 ニーナ
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並んで国連の6つの公用語のひとつです。日本の隣国でもあり、日本人がロシア語を学ぶ意義は大きいものがあります。この授業ではロシア語I、IIで学んだ文法や語彙を復習しながら、初歩的な会話表現を学習することにします。徐々に平易な文章も読みこなせるようにしていきます。音声に重点を置きながら、実用的なロシア語の習得を目指します。
授業スケジュール	教科書にそって、会話中心の授業を進めます。前期ではロシア語の簡単な受け答えを学び、後期には徐々に長い文章も読み、聞き、話せるようにしていきます。
準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせません。会話の授業なので、既習の表現を声を出して復習するようにしてください。
履修上の留意点	会話中心の授業なので、間違いを恐れずに積極的にロシア語を話してください。
成績評価の方法	通常の定期試験は行わず、授業で行う練習問題を主として、学習意欲を参考に、平常点で評価します。
教科書/テキスト	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)
参考書	必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	安徳 ニーナ
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	ロシア語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語と並んで、国連の6つの公用語のひとつです。日本の隣国の言語でもありながら、日本では授業がない大学がほとんどです。ロシア語を学ぶことは、学生の皆さんの将来にとってもきっと役立つはずで、この授業では、平易な日常的話題に始まり、さまざまな社会的な話題についても一定の表現ができることを目指します。折にふれて、新聞や雑誌の内容なども紹介したいと思います。
授業スケジュール	資料にもとづいて、会話練習に重点を置いた授業を進めます。4月から7月の前期の授業では、比較的平易なロシア語の日常会話をモデルに、応用練習を重ねます。9月から12月の後期の授業では、新聞や雑誌の記事なども紹介しながら、より語彙や表現を広げた会話を練習していきます。
準備学習	外国語の習得には、予習・復習が欠かせません。コミュニケーションの授業なので、ただ目で文字を追って予習・復習するのではなく、声を出してテキストを読むように心がけてください。
履修上の留意点	会話中心の授業なので、間違いを恐れずに、積極的にロシア語を話すようにしてください。
成績評価の方法	通常の定期試験は行わず、授業で行う会話練習を主として、学習態度も参考に、平常点で評価します。
教科書/テキスト	日常の簡単な表現から、意見を交換できるレベルの会話表現まで、その都度資料を配布します(できるだけ学生の関心対象、希望も考慮します)。学生の進度にあわせて、その他の資料も利用します。
参考書	
その他	授業の内容に応じ、可能ならばビデオ等を使用しつつ、現在のロシアの様子やロシア語についても話をします。

履修コード	287301
科目名	ロシア語スキルアップ
担当者名	クロチコフ. Y.
授業概要/ 到達目標 (ねらい)	<p>ロシア語は国連で用いられている公用語のひとつです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会話練習：講師と受講生、および受講生どうしの会話を通じて会話能力を高める。 2. リスニング：自然なテンポによるロシア語の話し言葉をききとる。 3. 作文：独自の教材を用いて、いろいろな場面に必要な作文を教授する。 <p>手紙やハガキ、Eメールの書き方、簡単なエッセーやスピーチの文体について、実際に作文してもらい、添削する予定。</p> <p>簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。 講読した内容について自由会話を行う。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。</p>
授業スケジュール	<p>4-7月 初歩の会話を学ぶ。 9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。</p>
準備学習	授業の始めに10-15分間発音の練習をします。その後前回の授業について小テストを行い、答え合わせと説明を行います。前回の復習と当日の授業の予習をしてください。
履修上の留意点	<p>出席を重視します。 試験は一週間に一度簡単なテストを行います。</p>
成績評価の方法	期末試験は行わず、平常点で評価します。
教科書/テキスト	<p>杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』大学書林、定価1751円。 プリント配布。 学生の要望も考慮してテキストを選びます。コンピューター、ビデオ、オーディオ、DVD、等を使用します。</p>
参考書	<p>露和辞典 (博友社) コンサイス露和辞典</p>
その他	YeStudyも参考にしてください。

